

平成20年度

2008年

講義要綱・シラバス

目次

I	日吉設置共通授業科目	1
---	------------	---

II	少人数セミナー形式授業科目	103
----	---------------	-----

	【文学部設置の少人数セミナー形式科目】	104
	【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】	105
	【法学部設置の少人数セミナー形式科目】	115
	【商学部設置の少人数セミナー形式科目】	120
	【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】	133

III	学部独自設置授業科目	141
-----	------------	-----

1	文学部	142
2	経済学部	
	〔基礎教育科目〕	150
	〔専門教育科目〕	159
	〔総合教育科目〕	166
3	法学部	
	〔数学・統計・情報処理科目〕	168
	〔自然科学科目〕	173
	法律学科	174
	政治学科	185
	〔社会科学科目〕	185
	〔政治学科目－基礎科目（必修）〕	189
	〔政治学科目－系列科目〕	191
	〔政治学科目－集中学習科目〕	194
4	商学部	
	〔基礎科目Ⅰ類（基礎必修科目）〕	201
	〔基礎科目Ⅱ類（基礎基盤科目）〕	202
	〔専攻科目Ⅰ類（専攻核科目）〕	203
	〔専攻科目Ⅱ類（専攻基本科目）〕	206
	〔総合教育科目（Ⅰ類）〕	209
	〔総合教育科目（Ⅲ類）〕	209

〔総合教育科目（Ⅳ類）〕	210
〔基礎科目Ⅰ類〕	212
〔基礎科目Ⅱ類 A群〕	212
〔基礎科目Ⅱ類 B群〕	213
〔基礎科目Ⅱ類 C群〕	213
〔専攻科目Ⅰ類〕	213
〔専攻科目Ⅱ類〕	214
〔総合教育科目（Ⅲ類）〕	214
〔自主選択科目〕	214
5 医学部	
第1学年	
〔基礎科学必修科目〕	215
〔医学基礎教育科目〕	217
6 理工学部	
〔基礎教育科目〕	219
〔専門基礎科目〕	223
〔総合教育科目〕	259
7 薬学部	
〔必修科目〕	263
〔選択必修科目〕	265
〔自由科目〕	265

Ⅳ 研究所設置講座、履修案内 267

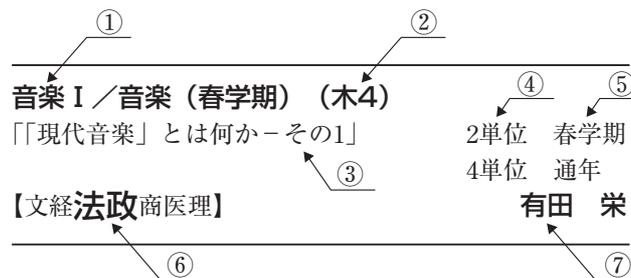
1 メディア・コミュニケーション研究所	268
2 体育科目（体育研究所）	270
体育学講義	272
体育学演習	274
体育実技A/B（ウィークリー・スポーツ）	275
体育実技A/B（シーズン・スポーツ）	284
3 福澤研究センター	289
4 保健管理センター	290
5 外国語教育研究センター	291
6 情報処理教育室	294
7 教養研究センター	297
8 国際センター	300
9 言語文化研究所	302
10 知的資産センター	306
11 教職課程センター	307
12 外国語学校	310

I 日吉設置共通授業科目

【科目の掲載順について】

日吉設置共通授業科目は、原則として科目名の50音順（アイウエオ順）で、同じ科目名の中では担当者名の50音順に掲載しています。ただし、同じ担当者が「〇〇Ⅰ」「〇〇Ⅱ」という科目名で春学期と秋学期を継続して授業を行う場合は「〇〇Ⅰ」の後に「〇〇Ⅱ」を掲載します。

<凡例>



① **科目名**（太字部分）

学部・学年により科目名が異なる科目は科目名を複数記載しています

② **授業の曜日時限**

曜日時限により授業の内容が異なる場合のみ曜日時限を記載しています

③ **授業のサブタイトル**

④ **単位数**

⑤ **開講学期**

- 通年 : 1年間通して行われる科目
- 春学期 : 春学期に開講される科目
- 秋学期 : 秋学期に開講される科目
- 春学期／秋学期 : 春学期と秋学期にそれぞれ開講される科目
- 春集中 : 春学期に週2回開講される科目
- 秋集中 : 秋学期に週2回開講される科目

⑥ **科目設置学部**

【 】内の文字は以下の学部・学科を表し、それらの学部・学科の時間割にその科目が記載されています。科目を履修する場合は所属学部の時間割に記載のある登録番号（5桁の数字）で履修申告してください。

文：文学部 経：経済学部 法：法学部法律学科 政：法学部政治学科
 商：商学部 医：医学部 理：理工学部 薬：薬学部

他学部の科目は、科目設置学部（【 】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号で履修してください。

⑦ **科目担当者**

【複数の科目名が併記されている科目について】

<例1>

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)	
文学 (通年)	
「文学と演劇にみる文化継承の問題」	
	2単位 春学期 / 秋学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	井戸田 総一郎

同一担当者の科目で、科目名に a または b がつくものがあります。これらはそれぞれ半期科目ですが、2科目を共に履修することが義務付けられています。またこれらの科目は年度末に2科目一括して成績評価されます。(春学期終了時には成績評価はされません。)なお、これらの科目を通年科目として履修する場合は年度末に成績評価されます。

<例2>

文学 I / 文学 (春学期)	
「物語・自己・歴史 I」	
	2単位 春学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	武藤 浩史

同一担当者の科目で、科目名に I または II がつくものがあります。原則として I は春学期、II は秋学期で1年間を通して継続する内容で授業が行われます。I と II は共に履修することが望ましいものですが、それぞれ単独で履修することも可能です。

これらの科目を通年科目として履修する場合は(春学期分)と(秋学期分)の2つのシラバスを参照してください。継続する内容の授業については I のシラバスの直後に II のシラバスを掲載しています。なお、春学期と秋学期で担当者が変わる場合も継続する内容の場合は I II の順で掲載しています。

履修したい授業を、どの科目名で履修登録するかは学部によって異なります。所属する学部の時間割・履修案内などで確認した上で履修申告してください。

【科目認定用紙について】

- ① 所属学部の時間割に記載のない科目を履修希望する場合は、科目認定用紙の提出が必要になります。
- ② 用紙は科目設置地区・所属学部の学事センター窓口で配布しています。
- ③ 授業に出席して科目担当者から履修許可を得てください。(詳細は所属学部の履修案内の「履修申告までの流れ」で確認してください。)
- ④ 他学部に開放していない科目もあり、履修できない場合もありますので注意してください。
- ⑤ 履修申告をする場合、科目設置学部(【 】内の文字が大きく表示されている学部)の時間割に記載されている登録番号を選択してください。

医療・福祉の行政

秋学期 2単位

【文商薬】

楳沢 栄一

〔授業科目の内容〕

21世紀は生産優先の価値観にかわり、人間優先・生活優先の価値観が益々重要視される時代だという。これらの価値観は医療制度や福祉制度などによって具現化するのである。しかし今日医療に関しては、関係省庁、政府機関、日本医師会、保健連などさまざまな機関が意見を出しながら、その見通しは混沌としたものがある。また福祉に関しては、次々の改革案が打ち出されるが実態とのギャップが指摘されている。このような状況の中でマスコミは医療制度や福祉制度について多く取り上げ、国民も大きな関心を寄せるようになって来ている。本講義では医療と福祉について行政の関わりを歴史的に考察しながら、今日の医療・福祉行政の実態を外国と比較しつつ解明し、将来の医療・福祉行政について考えてみたい。

【教科書】

使用せず（レジュメと資料配付）

【参考書】

授業で指示する

映像・音響文化論

2単位 春学期

【経商医理薬】

杉田 敦

〔授業科目の内容〕

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

また、関連する歴史として、視覚理論の成立、写真術の誕生、映画の成立などについても解説する。

【教科書】

杉田敦『ナノ・ソート 現代美学、あるいは現代美術で考察するということ』（彩流社）

【参考書】

杉田敦『リヒター、グールド、ベルンハルト』（みすず書房）

U・エーコ『開かれた作品』（青土社）

映像・音響文化論

2単位 秋学期

【経商医理薬】

杉田 敦

〔授業科目の内容〕

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

秋期は、ポリティカル・コレクトネス（PC：政治的正当性）関連の問題として、セクシャリティの問題にス

ポットをあてつつ、それをエドワード・サイードのオリエンタリズム批判と並行するものとして、また、ファイヤアーベント、ハンス・ベーター・デュルらの過激な相対主義を延長したものとして位置づけることができるかどうか考察する。さらに、大きな物語を一掃したポスト・モダニズム以降の、物語を再建しようとする、ポスト・ポスト・モダニズムの動きについても紹介する。

【教科書】

杉田敦『ナノ・ソート 現代美学、あるいは現代美術で考察するということ』（彩流社）

【参考書】

杉田敦『リヒター、グールド、ベルンハルト』（みすず書房）

U・エーコ『開かれた作品』（青土社）

総合教育科目「音楽」について

慶應義塾大学日吉キャンパスでは、塾生諸君の興味や資質に併せ、導入的な授業から、かなり深い内容を扱うものまで、多彩な音楽関連の授業を提供しています。なかには、実習や実技、演習を含む音楽の授業もあり、このことは他の一般大学にない特徴です。

履修者は、次の各講義の要項をよく読んで、自分にあった授業を見つけてください。なお、設置学部の関係でここに掲載されていない授業もありますので、詳細は音楽学研究室ホームページ <http://musicology.fbc.keio.ac.jp/> も併せて参照してください。

音楽Ⅰ／音楽（春学期）

「バロックから古典派の音楽」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 石多 正男

〔授業科目の内容〕

バロック時代（ヴィヴァルディやバッハなど）から古典派（モーツァルトなど）までの18世紀の音楽を中心に講義し、鑑賞していただきます。そして、遠いヨーロッパの国々で200年から300年も前に作られた曲が、なぜ我々に理解され愛されるのかという音楽の本質的な問題を理解できるようにします。

【教科書】

石多正男著『チャート式クラシック鑑賞術』春秋社 3,000円

【参考書】

石多正男著『交響曲の生涯』東京書籍、3,200円

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）

「19世紀から現代の音楽」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 石多 正男

〔授業科目の内容〕

ベートーヴェンの後期からシューベルト、ショパン、ヴァーグナー、ヴェルディなどの19世紀、そして20世紀

の音楽について講義し、鑑賞していただきます。クラシック音楽についての教養を身につけることが第一の目的です。音楽って何か、音楽は我々には不可欠なものかなど、音楽の本質的な問題についても考えたいと思います。

〔教科書〕

石多正男著『チャート式クラシック鑑賞術』春秋社、3,000円

〔参考書〕

石多正男著『交響曲の生涯』東京書籍、3,200円

音楽Ⅰ／音楽（春学期）

「音の東西遍路」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 尾高 暁子

〔授業科目の内容〕

諸民族の伝統音楽や芸能の多様な世界を、動画と音声、簡単な実践をとおして体験します。地域間の関係にも目を向け、代表的な音楽や芸能のジャンル、楽器、リズムと音組織の基本理論、文化的背景が音楽・芸能に及ぼす影響などを概観のポイントとします。

〔教科書〕

なし、必要に応じてプリントを配布します

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）

「人間はなぜ音楽を求めるのか」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 尾高 暁子

〔授業科目の内容〕

この講義では、人間が音／音楽をなぜ必要としてきたのか、また音楽といかにかかわってきたのか。という二つの問いを常に頭におきながら、諸民族の音楽のありかたや役割をさぐります。今、身のまわりにあふれる商業主義を前提にした音楽消費とはちがひ、人間が古くから音／音楽と実にさまざまな関りを持ってきたことを、想像力を働かせながら体感することが狙いです。

話の切り口として、人間の誕生と死、社会集団の維持や秩序、祭り、労働、娯楽、戦争、観光、文化の伝承などを設定します。これらの観点にそって、ときには特定民族の音楽史や現状に注目し、ときには諸民族の行動を比較します。

〔教科書〕

なし、必要に応じてプリントを配布します

音楽Ⅰ／音楽（春学期）

「オペラ入門」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 加藤 浩子

〔授業科目の内容〕

オペラ初心者を対象に、オペラの基礎的な知識や歴史を学ぶことを目的とする。

〔教科書〕

特に用いない。

〔参考書〕

講義中に指示する。

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）

「モーツァルトと18世紀のオペラ」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 加藤 浩子

〔授業科目の内容〕

18世紀オペラの総決算ともいえるヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756-1791）のオペラ作品。秋学期は、モーツァルトへいたるオペラの歴史をたどり、そのうえでモーツァルトの代表的なオペラを紹介、オペラ史上におけるモーツァルトの位置を確かめる。できれば春学期と連続して受講することが望ましい。

〔教科書〕

特に用いない。

〔参考書〕

講義中に指示する。

音楽Ⅰ／音楽（春学期）（水5）

「合唱音楽（春学期）」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 佐藤 望

〔授業科目の内容〕

海外の大学には、よくコレギウム・ムジクムというものがあります。この授業は、その伝統に倣い、音楽を実際の演奏を体験します。合唱の名曲を歌うことを通じて、音楽の歴史を身体で感じ取っていきます。取り上げる曲は、古い西洋のものから、現代の日本のものまでです。

秋学期の終わりには授業時間内に演奏会を企画します。演奏会では、オーケストラとの共演も予定しています。

なお、春学期は、秋学期の演奏会準備という性格が強いため、春学期（音楽Ⅰ）・秋学期（音楽Ⅱ）を通して履修してください。

〔教科書〕

その都度指示します。

〔参考書〕

その都度指示します。

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）（水5）

「合唱音楽（秋学期）」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 佐藤 望

〔授業科目の内容〕

音楽Ⅰ 合唱音楽（春学期）に引き続き、合唱音楽の歴史を歌いながら学び、秋学期は、学期の終わり近くで開かれる演奏会の準備を進めて行きます。

〔教科書〕

その都度指示します。

〔参考書〕

その都度指示します。

音楽Ⅰ／音楽（春学期）（金3）

「声の音楽の歴史——古代～16世紀」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 佐藤 望

〔授業科目の内容〕

古代より人間は、声を使ったさまざまな音楽をつくってきました。この授業では、人間の根本的な音楽表現である「声」の音楽、とりわけ西洋における古代から16世紀までの古い音楽を中心に扱います。西洋において、声の音楽の歴史は、多声音楽の歴史に他なりません。この授業ではその歴史をたどっていきます。

古代から声の音楽がどのように記録されてきたかについて扱ったあと、多声音楽がシステム化されていく過程と、楽譜の歴史について扱います。ルネサンス期の高度な声楽作曲法は、後の時代の音楽の礎ともなりました。声の音楽の歴史を辿ることは、人間にとって音楽とは何か、という根本の問いに取り組むことに他なりません。

〔教科書〕

指定しない

〔参考書〕

D.J.グラウト、C.V.パリスカ 『新西洋音楽史』上・中（音楽之友社、1998年）

皆川達夫 『西洋音楽史：中世・ルネサンス』（音楽之友社、1986年）

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）（金3）

「バロック音楽」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 佐藤 望

〔授業科目の内容〕

西洋音楽史では1600年頃～1750年頃までの時代を、「バロック時代」と呼んでいます。西洋音楽文化の原型をつくった時代といっても過言ではないでしょう。この時代の豊かな音楽文化に触れ、その時代の背後の思想や時代精神を読み取っていきます。

モンテヴェルディ、ヴィヴァルディ、シュッツ、クープラン、バッハなどの記念碑的な作品を取り上げ、それぞれの音楽の背後にあるものを探っていきます。

〔教科書〕

指定しない

〔参考書〕

D. J. グラウト、C. V. パリスカ『新西洋音楽史』中（音楽之友社、2001年）

服部幸三『西洋音楽史 バロック』（音楽之友社、2001）

音楽Ⅰ／音楽（春学期）（金5）

「音楽理論入門①」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 佐藤 望

〔授業科目の内容〕

本授業は、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いつつ学ぶ授業です。授業は、1) 教科書『総合和声』に従った和声学の学習と、2) 西洋音楽理論の諸問題についての講義の、2つの部分からなります。

各回に、実習課題を課します。基礎編（春学期）においては、和声の原則を一通り学んだあと、簡単な4声体の和声を書けるようになることを目的とします。

内容的には高度の授業であり、予めそれなり心構えが必要ですが、秋学期まで履修し1年間終わったあとにはかなりの技術が身に付くはずですので、チャレンジしてみてください。

〔教科書〕

島崎譲他著『総合和声—実技・分析・原理』、音楽之友社、1998年。

〔参考書〕

W. ピストン、M. デヴォート著『和声法——分析と実習』、音楽之友社、2006年。

U. ミヒェルス編『図解音楽事典』（日本語版監修、角倉一郎）、白水社、1989年。

野崎哲 著『新しい楽典』、音楽之友社。

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）（金5）

「音楽理論入門②」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 佐藤 望

〔授業科目の内容〕

音楽Ⅰ 音楽理論入門①（春学期）に引き続き、和声の学習と、音楽理論関連のトピックの講義を行います。

秋学期の目標は、借用和音、転調課題ができるようになることです。また、和声の学習を生かして、実際の音楽の楽曲分析も試みます。

〔教科書〕

音楽Ⅰ 音楽理論入門①と同じ。

〔参考書〕

音楽Ⅰ 音楽理論入門①と同じ。

音楽Ⅰ（春学期）／音楽Ⅱ（秋学期）

音楽（通年）
「バロック時代のオーケストラとその演奏習慣」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 広沢 麻美

〔授業科目の内容〕

バロック時代のオーケストラに関して、その音楽、作曲家、演奏習慣などについての様々な要素を実践（演奏）

を通して学ぶ。春学期はイタリア又はドイツの作曲家の作品（例えばコレリ、ヴィヴァルディ、G.ムファット、ヘンデル、J.S.バッハなど）から取り上げる予定。秋学期は、春学期に学んだ知識や技術をさらに発展させ、合唱クラスとの合同演奏を念頭に、同じくバロック時代の声楽を含む作品（例えばJ.S.バッハのカンタータなど）に取り組む予定。

音楽Ⅰ／音楽（春学期）

「ドイツ・オペラ史（1）」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

広瀬 大介

〔授業科目の内容〕

17世紀から19世紀初頭にかけてのドイツ語圏におけるオペラの歴史とその諸特徴を理解し、その特徴が生み出された社会的・思想的背景を併せて考察し、同時期におけるオペラ作品の重要性について学びます。特に、オペラというジャンルの発生とその発展の軌跡を、実際に音楽と言葉の関わりという観点から詳しく分析し、その意義を探ります。具体的に取り上げる作品については、学生の参加人数、およびその興味によって変える可能性があります。ヘンデル、ハイドン、モーツァルト等の作品を中心に取り上げる予定です。なお、秋学期に開講される『音楽Ⅱ』では、この『音楽Ⅰ』の続きとなる19世紀半ばから20世紀のドイツ・オペラを取り上げます。連続して履修することが望ましいですが、必須条件ではありません。

〔教科書〕

授業で必要となる読み物については、資料用プリントを配布します。特に購入してもらう必要はありません。

〔参考書〕

Grout, Donald J. and Claude V. Palisca. *A History of Western Music*. New York: W.W. Norton, 2005 (7th ed.); 邦訳：『新西洋音楽史』、上・中・下、音楽之友社、1998－2001.

Warrack, John. *German Opera: from the Beginnings to Wagner*. Cambridge University Press, 2001.

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）

「ドイツ・オペラ史（2）」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

広瀬 大介

〔授業科目の内容〕

19世紀中期から20世紀にかけてのドイツ語圏におけるオペラの歴史とその諸特徴を理解し、その特徴が生み出された社会的・思想的背景を併せて考察し、同時期におけるオペラ作品の重要性について学びます。特に、オペラというジャンルの発生とその発展の軌跡を、実際に音楽と言葉の関わりという観点から詳しく分析し、その意義を探ります。具体的に取り上げる作品については、学生の参加人数、およびその興味によって変える可能性があります。ワーグナー、オペレッタ、リヒャルト・シ

ュトラウス、ベルク等の作品を中心に取り上げる予定です。なおこの『音楽Ⅱ』は、春学期に開講される『音楽Ⅰ』の続きです。連続して履修することが望ましいですが、必須条件ではありません。

〔教科書〕

授業で必要となる読み物については、資料用プリントを配布します。特に購入してもらう必要はありません。

〔参考書〕

Grout, Donald J. and Claude V. Palisca. *A History of Western Music*. New York: W.W. Norton, 2005 (7th ed.); 邦訳：『新西洋音楽史』、上・中・下、音楽之友社、1998－2001.

Warrack, John. *German Opera: from the Beginnings to Wagner*. Cambridge University Press, 2001.

音楽Ⅰ／音楽（春学期）

「近代の音楽文化（モダニズム）」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

福中 冬子

〔授業科目の内容〕

音楽作品は作曲家個人の創造思想の結晶であると同時に、その時代の社会的、政治的、文化的様相を反映する鏡でもあります。当授業では音楽作品を通じて、異なる文化ジャンル（文学、絵画、舞踊など）における潮流や歴史的、社会的な動きを考察します。主に西洋のクラシック音楽を扱いますが、ジャズやポピュラー音楽、民族音楽も視野に入れることにより、より広い視点から近代音楽文化の「語るもの」を解き明かしていきます。前期では主に一九世紀の終わりから第二次大戦終了までの時代の作品が中心となります。またAV資料や楽譜のコピーを授業内に使用し、様々なスタイルの音楽作品に触れてもらいます。

〔教科書〕

ポール・グリフィス著『現代音楽小史』石田一志訳、音楽之友社、1978年。

注：授業中には使用しませんが、現代音楽の歴史的・社会的背景を知る上で、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。その他、毎回授業内にプリントを配ります。

〔参考書〕

ロバート・モーガン著『音楽の新しい地平』長木誠司監修、音楽之友社、1996年。

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）

「現代の音楽文化（ポスト・モダニズム）」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

福中 冬子

〔授業科目の内容〕

音楽作品は作曲家個人の創造思想の結晶であると同時に、その時代の社会的、政治的、文化的様相を反映する鏡でもあります。当授業では音楽作品を通じて、異なる

文化ジャンル（文学、アート、パフォーマンス・アート、映画など）における潮流や歴史的、社会的な動きを考察します。主に西洋のクラシック音楽を扱いますが、ジャズやポピュラー音楽、民族音楽も視野に入れることにより、より広い視点から現代音楽文化の「語るもの」を解き明かしていきます。後期では主に第二次大戦修了以降に創られた作品が中心となります。またAV資料や楽譜のコピーを授業内に使用し、様々なスタイルの音楽作品に触れてもらいます。

〔教科書〕

ロバート・モーガン『世界音楽の時代』長木誠司監修、音楽之友社、1997年

注：授業中には使用しませんが、現代音楽の歴史的・社会的背景を知る上で、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。その他、毎回授業内にプリントを配ります。

〔参考書〕

なし

音楽Ⅰ／音楽（春学期）

「音楽と技術①（1950年代以前）」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 藤井 孝一

〔授業科目の内容〕

テクノロジーやメディアという言葉を知ると、21世紀に生きる我々は、コンピュータやインターネットなどのエレクトロニクスに基づく先端技術を思い浮かべがちである。しかしながら、ルネサンス期の印刷技術や産業革命期の機械技術も、当時は最先端の技術であった。

この講義では、印刷、機械、録音など、近代以降に発達した技術やメディアと音楽との関係を軸に、18世紀末から20世紀半ばにかけての西洋音楽を振り返る。年代記的な音楽史ではなく、トピック毎に、技術の発達が音楽の聴取（消費）の有り様にどのような変化をもたらしたか、ひいては現在の私たちの音楽に向き合う態度を形成する上でどのような影響を及ぼしてきたのか、学生諸君と一緒に考えてみたいと思う。「芸術」音楽ばかりでなく、ポピュラー音楽についても時間の許す限り触れたい。講義で取り上げる作品の理解に必要な音楽の基礎知識や時代背景などについても詳説する。現代社会に生きる私たちの技術と向き合う態度について、また音楽の享受について、深く考えるきっかけになれば幸いである。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。教材・資料は、適宜プリントとして配布するか、PowerPointを用い映写する。

〔参考書〕

初回に基本的なリファレンスの一覧を配布し、講義中にも適宜指示する。

音楽Ⅱ／音楽（秋学期）

「音楽と技術②（1940年代以降）」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 藤井 孝一

〔授業科目の内容〕

エレクトロニクスの発達は音楽の創作に大きな影響を与えてきた。ミュージック・コンクレートに始まる電子音響音楽（electroacoustic music）の歴史は今年でちょうど60年を迎える。多くの作曲家達が積極的にこのジャンルに関わってきたことからわかるように、欧米においては重要なレパートリーとして確立されている。

この講義では、第二次大戦後のエレクトロニクスと関係の深い個々の音楽動向について解説する。「芸術」音楽ばかりでなく、ポピュラー音楽についても時間の許す限り触れたい。専門知識の習得というよりも、電子技術の発達が音楽家や研究者達の創造性や知的好奇心をどのように刺激し、その作品や創作態度に影響を与えてきたのか、また、電子技術を活用した音楽がいかに身近なところで用いられてきたのか、という点に主眼をおいてお話しする。講義で取り上げる作品の理解に必要な音楽の基礎知識や時代背景などについても詳説する。現代社会に生きる私たちの技術と向き合う態度について、また音楽の享受について、深く考えるきっかけになれば幸いである。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。教材・資料は、適宜プリントとして配布するか、PowerPointを用い映写する。

〔参考書〕

初回に基本的なリファレンスの一覧を配布し、講義中にも適宜指示する。

**化学Ⅰ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（春学期）**

「化学結合と地球環境」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 大場 茂

〔授業科目の内容〕

この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。また、科学史における化学の発展や、地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

〔教科書〕

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

**化学Ⅱ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（秋学期）**

「有機化学と生活環境」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

大場 茂

【授業科目の内容】

この授業では有機化合物の性質および反応性を学びます。社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。また、化学あるいは化学物質に関する調査・発表を各自に行ってもらいます。これを通して、諸君に化学に対する興味と理解が深まることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

**化学Ⅰ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（春学期）**

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

小瀬村 誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

**化学Ⅱ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（秋学期）**

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

小瀬村 誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ

水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

**化学Ⅰ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（春学期）**

「現代化学のあけぼの」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』（上、下）岩波書店

**化学Ⅱ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（秋学期）**

「現代化学のあけぼの」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性

性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』（上、下）岩波書店

**化学Ⅰ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（春学期）**

「物質の化学 基礎編」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

私たちのまわりには、実にさまざまな物質があふれています。物質のもつ性質、すなわち色や形状、導電性などはすべて化学構造と密接に関係しています。近年の技術向上により生み出されている“新素材”と呼ばれるものも特殊な機能をもたせるため、化学的に構造設計されたものがほとんどです。

講義では、化学の一般的な事柄を分かりやすく解説し、物質とその性質について考えていく基礎を養います。

【実験】

文科系の皆さんにとってこれから先、自分の手で化学実験を行う機会にめぐり合うことはまずありえないでしょう。実際に取り扱ってその性質を調べたり、物質を合成したりすることは、化学を理解する上で必要不可欠です。

実験では、金属イオンの系統分析、炎色反応などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

**化学Ⅱ（実験を含む）／
化学（実験を含む）（秋学期）**

「物質の化学 応用編」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】 講義では、物質とその性質について化学的に考えていきます。

【実験】 実験では、有機化合物の合成、色素の合成と染色、化学発光などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

科学技術と現代社会

2単位 春学期

【文商薬】

谷田部 雅嗣

【授業科目の内容】

地球は二酸化炭素を主とした温暖化ガスの過剰で温暖化の危機を迎えています。人間はなぜ地球環境を破滅させるまでに進化してきたのか。地球環境は生命進化の歴史と大きなかわりを持っていきます。現在の地球環境問題を考える上で、生命進化の歴史を学ぶことは意義のあることだと思います。人工化学物質による汚染問題、各種の公害、食糧問題は政治経済も含めた問題として考える必要もあります。

また、ヒトの遺伝情報の全てであるヒトゲノムの解読が進み、医薬や医療への応用など、具体的な成果に結びつき始めています。しかし、科学技術が急速に進歩し、専門家の持つ知識と一般の人の持つ知識には著しい差が生まれています。しかし、最先端の科学技術について専門家だけが知っていればいいというものではありません。BSEや環境ホルモン、遺伝子組み替え植物など、知らずに生まれる不安、知らせずに起きる不信感など様々な問題が起きています。薬学や医学の世界でも患者にわかりやすく説明し、理解を得ることは事故を防ぐ意味からも欠かせないことでしょう。

そこで、豊富な映像素材を使い、科学技術と社会との関連を立体的に考えることを目的とした講義を展開します。

【教科書】

設けません

【参考書】

随時紹介します。

科学史Ⅰ

「博物学から進化論へ」

2単位 春学期

【経法政商薬】

下坂 英

【授業科目の内容】

「博物学」とは、様々な自然物について研究する学問で、現在では、動物学、植物学、地質学などに分化しています。講義では、18世紀のヨーロッパにおける博物学の発展を、時代背景の中でとらえます。さらに、博物学を土台として、進化論が形成されていく過程をみていきます。進化論と社会思想との相互関係も考えます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。

科学史Ⅱ

「人物でみる日本近代科学史」 2単位 秋学期
【経法政商薬】 下坂 英

〔授業科目の内容〕

近代科学は17世紀の西欧で誕生したといわれています。その近代科学が、日本にどのように導入され、発展していったかを考えます。主に明治時代を扱い、重要な役割を果たした人物に注目して概観します。お雇い外国人についても詳しく考察していきます。以上のような歴史的理解は、現代日本の科学・技術をめぐる諸問題を考える際に欠かせないと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。講義の際に、資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

科学と社会

「環境回復へのビジョンと実践」 2単位 秋学期
【文経商】 岸 由二 長沖 暁子 他

〔授業科目の内容〕

倍々ゲームのような急拡大を続けてきた私たちの産業文明は、地球という限りある惑星の提供する資源、環境、空間的諸制約とさまざまな領域で大きな衝突をはじめ、社会的危機の大きな震源ともなりつつある。この危機に、大学・企業・市民セクターの領域における専門家たちは、どのようなビジョン、どのような実践を持って対応しているのか。気候変動の危機、生物多様性の危機、防災や自然との共生を巡る都市の課題等を焦点として、さまざまな立場の専門家・実践家の参加も要請しつつ、環境回復を目指す戦略と実践の現場を、リアルタイムで紹介したいと思います。

〔教科書〕

使いません

〔参考書〕

授業で紹介します

漢文a（春学期）／漢文b（秋学期）

漢文（通年） 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年

【文経法政経商医】 千田 大介

〔授業科目の内容〕

高校で学習した漢文の基礎をもとに、より高度な漢文読解力を養成することを目的とする。

教材には、小説『三国志演義』に清代に付けられた前書きの一つ、『読三国志法』を取りあげる。漢文における論述のパターンを典型的になぞった文であるので、テキストの読解を通じて、漢文のさまざまな言い回し・句形などを身につけてもらいたい。

なお、二～三回、パソコンによる多漢字処理と、オンライン中国古典データベースの利用法について実習する。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

基礎の数学

「数学が苦手な人のための数学」 2単位 春学期
【経商理】 丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

基本的には、昨年までの方針を続ける。

1変数関数の微分法と積分法を中心とする内容を予定しているが、一部若干変更する可能性もある。高校数学の復習と問題演習に重点を置く。また、偏微分と2変数関数の極値（経済・商・理工の必修科目で学ぶはず）についても解説する。一方理論の習得と同時に、昨年同様、応用として微積分の知識を元に、計算機を使った高度な計算ができるようになることをひとつの目的とする。場合によっては応用が中心になることもありうる。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリント等を配布する。

〔参考書〕

講義の最初に説明する。

教育学Ⅰ／教育学（春学期）

「日米比較から考える教育の概念とシステム」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経医】 松浦 良充

〔授業科目の内容〕

教育学とは、「教育」という事象の現状と意味を解明しようとする学問です。簡単に言えば、教育とは何か、という問いを立て、その答えを学問的・科学的に探究しようとする活動です。みなさんは、これまで教育（を受ける側）の当事者として、この事象に深くかかわってきています。さらに現代に生きる人間にとって、教育は、社会的にも個人的にもかけがえのないものだと考えられています。すなわち教育は私たちにとって「あたりまえ」のものとして存在しています。けれどもここで、あらためて問い直してみてもうどうでしょうか。人間にとって、社会にとって教育とは何であるか、と。もしも「教育」がなければ、私たちは、私たちの社会はどうなるだろうか、と。

この授業では、まず「教育」という考え方や人間の営みがどのように生まれたのかを考えてみましょう。その後、主として日米比較の観点から、日本の教育システムの現状と将来について考えたいと思います。たとえば、いま世界の多くの国で、児童・生徒・学生たちの「学力」が低下していることが指摘され、大きな議論が生じ、政策課題ともなっています。日本でも、「ゆとりvs.学力」

論争として知られています。ここではこの問題を考えるための事例として、アメリカ合衆国の教育に眼を向けてみましょう。アメリカと日本では、この問題に対してどのような対応をしているのか。その相違と共通点をうきほりにすることで、これからの日本の教育のあり方を考え、各自の視点から政策提言を試みましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

松浦良充編著『いま教育を考えるための8章—現代教育の基礎理論—』川島書店、ほか。授業時に随時紹介します。

教育学Ⅱ／教育学（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経医〕

藤澤 啓子

〔授業科目の内容〕

本講義では、発達心理学におけるさまざまなテーマについて概説します。乳幼児期の子どもの育ちのさまざまな側面について知ることを通して、人間の発達について考えを深めることを目的とします。

〔教科書〕

講義中に適宜紹介します。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

近代思想史Ⅰ／近代思想史（春学期）

社会科学の考え方（春学期）

「近代日本における文明の受容と拒絶」 2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

小野 修三

〔授業科目の内容〕

わが国では幕末維新期以来、西洋文明と総称されるものに対しては、これを受容する歴史と、拒絶ないしこれ以上は不要とする歴史との、二つの対応があった。この近代の受容と拒絶との観点から、近代日本の歴史を考察して行こうと思う。

具体的には、1864年生まれの小河滋次郎という国家官僚に関する伝記的研究を中心に置くが、小河と直接また間接に関係した同時代人たちの「人と業績」も紹介して行く。また講義全般にわたってヨーロッパにおける近代思想の諸潮流に言及する。

〔教科書〕

無

〔参考書〕

拙著『公私協働の発端』時潮社、高島通敏編『現代市民政治論』世織書房

近代思想史Ⅱ／近代思想史（秋学期）

社会科学の考え方（秋学期）

「解体と統合の継続」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

小野 修三

〔授業科目の内容〕

近代とは、オランダの歴史家ホイジンガの定義では「世界そのものの改良と完成をめざす道」であった。近代とは異なるのは「世界の外に通じる俗世放棄の道」と「きびしい現実から美しいみせかけへの逃避」の道であった。（『中世の秋』1919年）この近代を、近代以前と近代以後とを意識しつつ、原典およびその翻訳を通して、考察して行く。

〔教科書〕

無

〔参考書〕

随時紹介する。

近代思想史Ⅰ／近代思想史（春学期）

「人間を自立させ孤独に逞しく生きてゆかせようとする思想の流れ」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

片山 素秀

〔授業科目の内容〕

近代思想史というからには、古代思想史や中世思想史もあるのです。そして、古代や中世とは人間が別の思想を持つようになったから、近代思想史という講座も成り立つのです。

すると、近代思想はそれまでとどこが違うのでしょうか。江戸時代の俳人、松尾芭蕉の名句に「秋深き隣は何をする人ぞ」というのがあります。大坂の旅の宿で、病に倒れようとしている晩年の芭蕉が、隣の部屋に居るのはどんな人だろうかと思って詠んだ句です。そして、ここに近代の暗示があります。芭蕉は旅先でしたから隣人を知らないのは無理ありません。ところが、近代になると、日本の歴史ならだいたい明治以後になると、旅先でなくても、隣人が何者かよく分からない状況が当たり前になってきます。人が家や村や共同体から離れ、バラバラに暮らしたすからそうなるのです。別の言い方をすると、バラバラになって自由に勝手にしたいと願うのが近代人なのです。

要するに近代思想史とは、第一には、人間がバラバラに自由になりたいという思想の歴史であり、第二には、個々人がバラバラになっても危険にさらされず安心して、家や村や共同体に縛られていたとき以上の幸せを追求できる社会を保証しようとする思想の歴史になります。

この講座では、そういう近代思想の王道を素直に追っかけてみたいと思っています。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとし

て適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、講義の中で紹介します。

近代思想史Ⅱ／近代思想史（秋学期）

「近代人の孤独を何らかのかたちで克服しようとする思想の流れ」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

片山 素秀

〔授業科目の内容〕

春学期では、人間個々人の自立をよしとして、それこそが立派な近代人なのだと説く思想を紹介する予定です。

しかし、人間は誰もひとりて遅しくこの世の荒波に立ち向かっていけるほど強い存在なのでしょうか。必ずしもそうではないから、近代の進展とともに、人間の心の病を扱う精神医学が発達したり、ノルウェーの画家、ムンクの『叫び』に端的に象徴されるような、孤独のやりきれなさを表現する芸術が勃興したのではないのでしょうか。

そこで、秋学期は、近代の推進する人間の孤独化に抗し、何らかの共同性の回復を目指そうとする思想の系譜を紹介してみたいと考えます。講座名は近代思想史ですが、それを正確に言い直すとすれば、「近代にあって、その矛盾を克服しようと試行錯誤する思想史」ということになるかと思えます。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

片山杜秀『近代日本の右翼思想』（講談社）＊この本の著者名は本講座担当者の筆名です。

近代思想史Ⅰ（春学期）／近代思想史Ⅱ（秋学期）
近代思想史（通年）

「ドイツ近代社会思想における自由と共同」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

針谷 寛

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討する。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定である。これらの理論を扱うに際しては歴史的なコンテキストの中で考察することに努める。これを材料にして、現代の生活についてもその特殊性をみずからの頭で考え表現する力を培ってほしい。

〔教科書〕

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

〔参考書〕

講義の中で紹介する。

近代思想史Ⅰ／近代思想史（春学期）

「独仏近代市民思想Ⅰ」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

松村 宏

〔授業科目の内容〕

ドイツ近代思想像の定義の叙述を重ねていく行程に、その歴史的な脈をさぐるというのが、本講の内容である。

独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立した。しかし、さらに日本との比較を加えないと近代世界史はわからないことになる。ヴェーバーのキリスト教と「儒教と道教」研究に日本儒学古学派研究を補充して考えていく。（本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。）

〔教科書〕

ヴェーバー著『職業としての政治』岩波文庫、丸山

『日本の思想』岩波新書、他はプリント配布

近代思想史Ⅱ／近代思想史（秋学期）

「独仏近代市民思想Ⅱ」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法商医理薬〕

松村 宏

〔授業科目の内容〕

フランス近代思想像の定義の叙述を重ねていく中に、その歴史的な脈をさぐるというのが、本講の内容である。

独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立したのであるが、日本との比較が近代世界史の理解に不可欠でもある。モンテスキューからコンスタン、ギゾー、トクヴィル、そしてジード、アロンまでのテキストを活用する。（本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。）

〔教科書〕

プリント配布。

経済学Ⅰ／経済学（春学期）

「経済の理論と現実」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文法医理〕

武藤 功

〔授業科目の内容〕

経済現象はかなり身近ではあるが、それを正確に語るとなるとかなり難しい。経済分析の基礎を習得しながら、「経済」を見る眼を養うことを目標にする。この授業では、ケインズ経済学を中心とするマクロ経済学の基礎をまず学ぶことにする。その上で、日本経済の抱える問題（例えば、財政赤字問題、地方財政、年金問題など）を取り上げることにする。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜プリントを配布する予定である。

経済学Ⅱ／経済学（秋学期）

「経済の理論と現実」 2単位 秋学期
4単位 通年

【**文法**医理】 武藤 功

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学を中心とした経済分析の基礎を学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜プリントを配布する予定である。

経済学Ⅰ／経済学（春学期）

「マクロ経済学の初歩」 2単位 春学期
4単位 通年

【**文法**医理】 吉岡 忠昭

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学は、一国の経済全体の立場から、国民総生産・利子・物価 水準などの重要な経済変数の決定について明らかにしようとするものである。これらの経済変数が経済政策によってどのような影響をうけるのかも検討する。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社
酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣
塩澤修平著『基礎コース経済学』新生社、その他授業中に指示する

経済学Ⅱ／経済学（秋学期）

「ミクロ経済学の初歩」 2単位 秋学期
4単位 通年

【**文法**医理】 吉岡 忠昭

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学の基礎的基本的事項のうちから重要なものを選んで講義する。また、近年、様々な分野で利用されるようになってきているゲームの理論の初歩についても経済分析との関連で取り上げる。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社
酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣
塩澤修平著『基礎コース経済学』新生社、その他授業中に指示する

**経済人類学a（春学期）／経済人類学b（秋学期）
経済人類学（通年）**

「現代市場経済を相対化する」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【**文経商**] 栖原 学

〔授業科目の内容〕

「経済人類学」という科目名は、多くの学生諸君にとって聞きなれないものでしょう。経済人類学の創始者は、K.ポラニー (K.Polanyi, 1883-1964) だといわれていますが、この講義は、このポラニーの経済思想をてがかりに、現代市場経済の相対化を試みようとするものです。特に最近の市場経済は、「カジノ」にたとえられるほどリスクとスピードを伴い、予測が重要な要素を占め、激しい変動と不確実性を特徴としています。このような市場経済の不安定性の増大は、いつ頃から始まったのでしょうか。その歴史的起源をたどり、自己調整的市場原理が社会にどのような影響を与えてきたのか、あるいはその未来はどのようなのかについて考えてみたいと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義中に文献リストを紹介する予定ですが、とりあえず次の著書を挙げておきます。K. ポラニー著、吉沢・野口・長尾・杉村訳『大転換—市場社会の形成と崩壊』東洋経済新報社、1975年。

健康科学

「Ⅰ 健康と環境因子、Ⅱ 病気と薬」 2単位 春学期
【**商理**] 西村 多美子 手島 玲子

〔授業科目の内容〕

様々な化学物質が環境因子や医薬品として生み出され、人々の健康に対する認識も高まっています。本講義では、皆の健康に対する興味をさらに深めるため、「健康と環境因子」及び「病気と薬」をとりあげ、身近な話題を例に解説します。

Ⅰ「健康と環境因子」—環境がヒトにどのような影響を与え、ヒトはどのように適応しているのか— 人々の健康を左右する天然ならびに人工の身近な環境因子を取り上げ、環境因子がヒトにどのように影響を与えるか、その仕組みについて考えると同時に、ヒトの持っている防御機構についても触れます。

Ⅱ「病気と薬」—薬が病気に効くとは、体に現れるどのような変化なのか— 元来生物が持つ調節機能のバランスが崩れた状態が病気であるとすれば、それをもとに戻す、あるいはもとに戻す手助けをするものが薬と考えられます。正しい使い方をすれば、安全に有効に使える薬も、使い方を誤れば、その有効性は発揮されず、安全性も保証されません。その理由を科学的に解説し、理解できるようにします。

〔教科書〕

講義において、プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の時に紹介します。

言語学Ⅰ／言語学（春学期）

〔人間言語の諸特徴〕

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医薬〕

小屋 逸樹

〔授業科目の内容〕

「言語学Ⅰ」及び「言語学Ⅱ」は、法学部設置の「言語学Ⅲ」や「言語学Ⅳ」、さらには三田の副専攻科目「人文科学研究会」へと展開する一連の言語関連授業の最初のステップとなる授業である。

「言語学Ⅰ」では、まず人間の言語を他の記号体系から区別し、その主だった特徴を概説する。具体的には、単なる信号や動物のコミュニケーションと比較した時、人間言語はいかなる点で異なっているかといった点を論じる。続いて、世界の言語を類型分けする際に採られる種々の方法を紹介し、地球上の言語がどのようなタイプに分類されるかを解説する。その際、日本語はどのような言語として特徴づけられるのかを見る。その後、今日の言語学の基本的な考え方に影響を与えた20世紀の主だった言語学者の論説を解説する。具体的には、ソシュールやブルームフィールド、チョムスキーの言語観をおおまかに解説する予定である。時間が許せば認知言語学のアプローチについても触れてみたい。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

中島・外池著『言語学への招待』（大修館書店）

言語学Ⅱ／言語学（秋学期）

〔言語の構造と機能〕

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医薬〕

小屋 逸樹

〔授業科目の内容〕

「言語学Ⅰ」及び「言語学Ⅱ」は、法学部設置の「言語学Ⅲ」や「言語学Ⅳ」、さらには三田の副専攻科目「人文科学研究会」へと展開する一連の言語関連授業の最初のステップとなる授業である。

「言語学Ⅱ」では、いわゆる言語学プロパーと言われる音声学、統語論、意味論といった個別分野の領域を言語データと共に具体例に解説する。実際の言語資料をいかに記述・分析・説明するかという各論を取り上げるので、「言語学Ⅰ」とは独立に「言語学Ⅱ」を履修しても学習上の障害にはならない。授業は、まず英語を中心とした調音音声学の解説から始め、有声音と無声音、調音点と調音方法などを解説する。続いて、主に英語と日本語の例を見ながら、文を構成する単位や統語論における基本的な概念—「文法関係」などを概説する。最後に、意味論では「言語的意味とは何か」といった問題から、単語や文レベルにおける種々の意味的關係について解説する。これらの各分野を概観する際には、英語や日本語

のデータはもちろん、それ以外の言語のデータにも積極的に言及する予定である。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

中島・外池著『言語学への招待』（大修館書店）

言語学Ⅰ／言語学（春学期）

〔言語学への招待（Ⅰ）〕

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医薬〕

星 浩司

〔授業科目の内容〕

この授業では、我々人間を人間たらしめている重要な属性の一つである「言語」に対する科学的アプローチを学び、科学的な言語観を理解することを目標としている。具体的には、「言語学」とは何か、また、「言語」とは何か、という根本的な問題から出発し、自然言語に共通して観察される諸特徴を概観した後、各論へと進む。各論では、練習問題も適宜入れながら、音声学、音韻論、形態論の基礎を学んでいく。

〔教科書〕

星浩司 著 『言語学への扉』慶應義塾大学出版会、2006

〔参考書〕

- ① 井上和子、原田かづ子、阿部泰明 共著『生成言語学入門』大修館書店、1999
- ② 大津由紀雄 他 編著『言語研究入門：生成文法を学ぶ人のために』研究社、2002

言語学Ⅱ／言語学（秋学期）

〔言語学への招待（Ⅱ）〕

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医薬〕

星 浩司

〔授業科目の内容〕

この授業では、我々人間を人間たらしめている重要な属性の一つである「言語」に対する科学的アプローチを学び、科学的な言語観を理解することを目標としている。具体的には、「言語学」とは何か、また、「言語」とは何か、という根本的な問題から出発し、自然言語に共通して観察される諸特徴を概観した後、各論へと進む。各論では、練習問題も適宜入れながら、統語論、意味論、語用論の基礎を学んでいく。

〔教科書〕

星浩司 著 『言語学への扉』慶應義塾大学出版会、2006

〔参考書〕

- ① 井上和子、原田かづ子、阿部泰明 共著『生成言語学入門』大修館書店、1999
- ② 大津由紀雄 他 編著『言語研究入門：生成文法を学ぶ人のために』研究社、2002

言語学Ⅲ

「言語科学への招待」
【経法政商医】

2単位 春学期
辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

人間は本当によくしゃべる。これほど賑やかな動物はないと思わせるほどである。では、このおしゃべりを可能にしている言語とは何なのか。

本講座では、まず言語を成り立たせている物理的、生理的、心理的、社会的な基盤について考察し、言語科学の関心と分析の枠組みを概観します。

同時に、人間の子どもはどのように言語を習得しているのか、大人が第二言語を習得するときはどうか、言語を失うとはどういうことか、言語と精神活動の関係はどうなっているのか、人間の言語と機械の言語はどう異なるのか、そもそも他の動物や機械が人間の言語を理解できるのかなど、言語の使用に関する様々な諸相について概観し、後期の講座に繋げたいと思います。

〔教科書〕

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年
山鳥重・辻幸夫共著、対談『心とことばの脳科学』、大修館、2006年

〔参考書〕

その都度、紹介します。

言語学Ⅳ

「意味論への招待」
【経法政商医】

2単位 秋学期
辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

言語学Ⅲにおける言語の科学に関する知見を背景に、言語と意味について考察します。

日常的に私たちは言葉や概念の意味を理解しているつもりである。では、そもそも意味とは何であるのか。言語学の立場だけではなく、広く認知的科学的視点から、意味にまつわる諸問題を熟考します。

〔教科書〕

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年

〔参考書〕

辻幸夫編、『認知言語学への招待』大修館、2003年
山鳥重・辻幸夫共著、対談『心とことばの脳科学』、大修館、2006年
辻幸夫他訳、J.テイラー著、『認知言語学のための14章』、紀伊國屋書店、2008年など。

言語認識論

「ことばと文化と人間と」
【経商医理】

2単位 秋学期
井上 京子

〔授業科目の内容〕

本講座では、言語学の成果と方法をもとに、ことばと文化、および人間の相関性を探り、ことばを通して文化を読み解こうと試みます。

このような試み、すなわち環境のカテゴリー化と表裏一体である言語を研究することは、人間の認識体系を発見し、当の文化に固有の行動様式を探る重要な手がかりとなります。今日、世界中で異文化接触が進む中、言語と文化の切り離しがたい結びつきはますます強くなってきていますが、そうした状況を視野に入れ、多言語・多文化主義の広がり、その逆方向の英語のグローバル化といった問題に対して、私たちが今後どのようなスタンスで対応していったら良いのかをここで考えてもらいたいと思います。また、それと関連して、人間の外界認識方法がどう言語教育分野/応用言語学の分野に関わるかといった問題も取り上げる予定です。

Keio.jpの掲示板機能を活用します。授業中に提示したディスカッションテーマへ皆さんから回答を寄せてもらうことによって、双方向的な意見交換の場を創出したと思っています。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

R.ダンバー『ことばの起源』青土社1996 [1998訳]
M.トマセロ『心とことばの起源を探る』勁草書房1999 [2006訳]
宮岡伯人編『言語人類学を学ぶ人のために』世界思想社1996
G.レイコフ『認知意味論』紀伊国屋書店1987 [1993訳]
松本曜編『認知意味論』大修館書店2003
大堀壽夫『認知言語学』東京大学出版会2002
今井邦彦『語用論への招待』大修館書店2001
井出祥子『わきまへの語用論』大修館書店2006
大堀壽夫編『認知コミュニケーション論』2004
井上京子著『もし「右」や「左」がなかったら』大修館書店1998
飯野公一他著『新世代の言語学：社会・文化・人をつなぐもの』くろしお出版2003
池上嘉彦『英語の感覚・日本語の感覚』NHKブックス2006
小林春美・佐々木正人編『子どもたちの言語獲得』大修館書店1997
渡部信一『ロボット化する子どもたち』大修館書店2005

現代化学概論

2単位 秋学期

〔商理薬〕

栄長 泰明 他

〔授業科目の内容〕

理工学部化学科・応用化学科教員・外部からの特別講師がオムニバス形式で毎回、化学の最先端の内容（トピックス）を分かりやすく講義します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

現代芸術論

〔第二次世界大戦後から現代までの美術〕

2単位 春学期

〔経商医理薬〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

第二次世界大戦後、世界の美術の中心は、パリからニューヨークへと移ります。授業では、この時期から現代までの美術の動きについての基礎的な知識の習得を目的とします。適宜、現代美術のタイムリーな話題や展覧会のはなしを織り交ぜながら授業をすすめていく予定です。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

適宜授業中に指示します

現代芸術論

〔現代芸術の諸特徴〕

2単位 春学期／秋学期

〔経商医理薬〕

高桑 和巳

〔授業科目の内容〕

現代芸術の諸特徴について検討します。ただし、正史をたどるのではなく、この奇妙なジャンルを成立させている諸条件を浮き彫りにするよういくつかの特徴をテーマとして立てて説明する予定です。思想的アプローチもおこないます。

〔教科書〕

とくにありません。

〔参考書〕

授業中に指示します

現代思想論

〔ジャック・デリダの思想〕

2単位 秋学期

〔経商医理薬〕

荒金 直人

〔授業科目の内容〕

ジャック・デリダ (Jacques Derrida, 1930-2004) の著作の読解を通じて、彼の思想への接近を試みます。

〔教科書〕

ジャック・デリダ『マルクスの亡霊たち』増田一夫訳、藤原書店、2007年。

〔参考書〕

●ジャック・デリダ『マルクスと息子たち』國分功一郎訳、岩波書店、2004年。

●高橋哲哉『デリダ——脱構築』講談社、2003年。

現代思想論

〔近現代に考えるということ〕

2単位 春学期

〔経商医理薬〕

高桑 和巳

〔授業科目の内容〕

主として20世紀の思想から、私たちが考えるうえで参考になるはずのものを、テーマや人物ごとに（ただし非体系的に）解説します。

数回ごとに完結した話をする予定。

〔教科書〕

とくにありません。

〔参考書〕

授業中に指示します。

現代思想論

〔現代思想の争点〕

2単位 春学期／秋学期

〔経商医理薬〕

田辺 秋守

〔授業科目の内容〕

「現代思想」において近年どのようなことが話題になっているのか、その論争の「争点」になっている事柄を、分かりやすく紹介したい。「現代思想」は独立した科目としてはほとんど定義不可能である。一般に欧米の大学の学科編成の中には、伝統的に「哲学」「現代哲学」という科目はあるが、「現代思想」という科目は見当たらない。アメリカの現代思想家フレドリック・ジェイムソンはそれと同等なものとして「現代の理論」という言葉を使っている。「現代」はおおよそ20世紀初頭から現在までであり、その理論として考えられるのは、哲学から社会学、精神分析から文学理論と多岐にわたる。そのなかでも特に「現代思想」として理解される理論のおもな特徴は四つある。(1) アクチュアリティ (actuality) (2) 脱領域性 (extraterritoriality) (3) ラディカリズム (radicalism) (4) 論争的性格 (polemic)。ここではおもに1960年以降の「現代思想」の基礎的な話題を取り上げたい。中心となるのはヨーロッパ、アメリカの思想家たちの議論である。しかしそうした議論がすでに現代日本の課題と地続きであり、「われわれの課題」であることがすぐに理解されると思う。

〔教科書〕

田辺秋守著『ビフォア・セオリー：現代思想の〈争点〉』（慶應義塾大学出版会）

〔参考書〕

詳細な参考文献一覧は開講時に配付する。

現代社会論

「国民国家と社会変動—その形成と変貌—」

2単位 秋学期

【経商医理薬】

池田 緑

〔授業科目の内容〕

現代日本社会は、様々な社会システムの転換点にあります。私たちが子供の頃から「あたりまえ」と思っていたことは、じつはきわめて一時的な現象で特殊なものであり、これからは「あたりまえ」ではなくなる過程でもあります。この授業では、近代国民国家とともに発展してきた現在の社会システムとその転換を「脱工業化」と「植民地主義」という2つの視点から考えてゆきます。

まず前半では、近代国民国家の発展を支えてきた「工業化」が、どのように現在の社会システムをかたち作ってきたかを、フォーディズム、社会階層の形成、“地域”という枠組みの形成、などを通じて検討します。

さらに後半では、性差という社会制度を通して、国民国家における“女性”の構築と家族制度や婚姻制度と権力、植民地主義の関係を考えます。

授業全体を通じて、多様な選択肢を前にこれからの時代を生きてゆかなければならない私たちの社会との関係について、そのヒントを模索できる授業になればよいと考えています。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に紹介する

現代社会論

「高齢社会の実態と課題」

2単位 春学期

【経商医理薬】

岡田 あおい

〔授業科目の内容〕

わが国は、世界に類例のない速さで人口の高齢化が進行している。高齢化が進む中で、高齢者の介護問題、年金問題、社会福祉・社会保険・老人医療の問題など、早急な解決を必要とする深刻な社会問題が山積している。こういった、いわゆる「高齢者問題」にいかに取り組むべきかを真剣に考え、迅速に対処することが現代社会を生きる私たちの一つの課題なのである。

本講義は、これまで提示されてきたさまざまな高齢化社会論を整理し、わが国の「高齢社会」の実態とその動向に伴う社会変化の必要性など、「高齢社会」とそこに内在する諸問題（特に介護問題）について具体的に考えることを目的とする。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『日本人口論』 放送大学

『高齢社会基礎資料』 中央法規

現代社会論

「犯罪からみる現代日本社会」

2単位 秋学期

【経商医理薬】

芹沢 一也

〔授業科目の内容〕

犯罪は社会を映す鏡だと言われる。本講義は犯罪を通して、現代日本社会を照射しようというものである。だが、ある犯罪を生み出した社会は一体いかなる社会なのか、という問いを立てるのではない。そうではなく、犯罪に対する見方、語り方に、その社会の特質が現われると考える。

具体的には、日本社会の治安が崩壊したとする言説が巷間に流布しているが、まずこのことがまったく事実ではないことを説明し、ではなぜそのような治安悪化言説が定着したのかを、犯罪をめぐる語りを分析することによって明らかにしていく。そして、犯罪をめぐる現在のわたしたちの社会が、いかなる方向に向かいつつあるのかを展望する。

講義を通じて、メディアや統計に対して懐疑的であること、つまりは批判的な態度をつねに保つことの重要性を学んで欲しい。

〔教科書〕

芹沢一也『ホラーハウス社会』（講談社+α新書）

浜井浩一・芹沢一也『犯罪不安社会』（光文社新書）

〔参考書〕

授業中に紹介する

現代生物学概論

「生命科学、生命工学の最先端」

2単位 秋学期

【商理薬】

井本 正哉 他

〔授業科目の内容〕

生命体は、タンパク質、糖、脂質等が整然と制御されて動的平衡にある化学物質の集合体と見ることもできる。また、血液が体の隅々まで流れ、神経細胞には電子が流れて刺激が伝わるように、精緻な物理現象の場であると見ることもできる。また、免疫作用や発生の仕組みを見ればトータルなシステムとして制御されていると言うこともできる。さらに遺伝子や脳のことを考えれば、情報論の概念で捉えることもできる対象である。これらの神秘を解明することは興味の尽きないところであるが、一方これらの機能を護ること、利用することも非常に重要である。

「機能を護る」とは即ち健康を保つ、回復することであり、即ち医学ということになる。「使う」一例は、食料生産であり、物質変換にも生命機能は利用されている。

本講義では、これら様々な現代生物学の科学と工学に関するトピックの中から、幾つかのテーマを選び平易に解説する。

〔参考書〕

太田博道、柳川弘志編著

『生命科学への招待』 三共出版、本体価格2,200円

現代世界史

「20世紀の国際政治史とイラク戦争」 2単位 春学期
【経商医理薬】 齋藤 直樹

〔授業科目の内容〕

20世紀は二度にわたる世界戦争と半世紀近くに及んだ冷戦に彩られたことから、「戦争の世紀」と言われる。そうした「戦争の世紀」が終わったからといって、21世紀が調和と均衡のとれた明るく輝く世界であることが保証されているわけではない。これは2001年の「同時多発テロ事件」と2003年のイラク戦争の勃発が正確に物語るとおりである。今、21世紀を迎え世界は予想もできない混迷の時代に突入している。今後の21世紀がどのような世紀になるのだろうか。これを知るためには20世紀がどのような世紀であったのかという問いかけが行われる必要がある。20世紀の歴史は21世紀の世界に多くの教訓を与えるものであり、新世紀のための道しるべとなるはずである。本講はこうした問題意識の中で、20世紀の歴史を通観した上で、2003年に起きたイラク戦争を取りあげる。

〔教科書〕

齋藤直樹『イラク戦争と世界』現代図書

〔参考書〕

齋藤直樹『現代国際政治史』（上、下）北樹出版

現代日本史

「民衆意識と近代国民国家の形成」 2単位 春学期
【経商医理薬】 柳田 利夫

〔授業科目の内容〕

本講義では、まず、考え方の枠組みを理解していただくために、近代史そのものについて多少面倒な議論をしますが、近代国民国家としての日本と、その国民としての日本人が生成されるプロセスを、幕末から明治初頭にかけての具体的な出来事を通して再構成してゆくことを基本的な内容としています。

必然的に、政治や経済の歴史にも言及することになりますが、主な関心は、具体的な事件の経過の中に浮かび上がってくる民衆の素朴な国家意識を掘りだし、近代国民国家形成に民衆が果たした／果たせなかった役割を考えるとあります。

あくまでも歴史学的方法を基礎に分析を行いながら、最終的には現代日本人のアイデンティティの創られ方や、大きく動いている世界の中で、私たちが向かってゆくべき方向を考えるための何等かの手がかりが掴めればと考えています。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

必要があれば適宜、授業中に紹介します。

現代メディア論

「メディア史から考える社会の変化と人間の変容」
 2単位 秋学期
【経商医理薬】 木下 京子

〔授業科目の内容〕

身近なところでコンピュータや携帯電話の普及や技術の進化は、生活形態や人間関係、社会環境、国家のあり方だけではなく、私たち自身の思考法や諸感覚にまで大きな変化をもたらしている。そこでメディアの歴史に視座を据え、新たなメディアが成立し発展する過程や社会にもたらした影響などをさまざまな角度より検証し、現状を考え、近い未来を展望する。現時点で考え得るメディア論を履修者各自に展開してもらいたい。

〔教科書〕

授業時にプリントを配布

〔参考書〕

佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店、1998年

現代メディア論

「美術と写真の関係からメディアとしての写真映像の特性を考える」
 2単位 秋学期
【経商医理薬】 近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

私たちが日常でなにげなく消費している写真映像の存在論的な部分を、絵画と写真の歴史的な関係、美術のなかで写真が如何に使われてきたか、写真を使った現代美術作品などを通じて考えます。

美術のさまざまな局面で現われる写真の使用を検討することによって表現媒体としての写真の特性を明らかにします。授業はスライドを使用し、ある程度個々の作品を覚えることを前提とします。映像や写真に興味のない学生にとって内容の特殊性から、授業についてゆけず単位を落としてしまうことも考えられますので注意してください。日頃、現代美術や写真に興味を持っている学生、あるいは、私の「美術」をすでに受講し美術の基礎知識をもっている学生の受講を希望します。

〔教科書〕

ありません

〔参考書〕

適宜、授業中に挙げます。

国語国文 I

「絵入り古典文学を読む」 2単位 春学期
【文経商医】 石川 透

〔授業科目の内容〕

日本の古典文学は多くの絵入り本を生み出した。その絵入り本について、具体的に取り上げ、実物の作品を鑑賞する。

〔教科書〕

石川 透『慶應義塾大学図書館蔵 図解御伽草子』慶

應義塾大学出版会

国語国文Ⅱ

「漢文入門」

2単位 秋学期

【文経商医】

佐藤 道生

〔授業科目の内容〕

国文学を理解する上で必要な漢詩文の知識を教授する。授業では、初めに我が国の漢学について概説し、その後、日本人が慣れ親しんだ漢文学作品をいくつか選んで読解する。今年度は『史記』項羽本紀を取り上げる予定。

〔教科書〕

こちらで用意する。

国語国文a（春学期）／国語国文b（秋学期）（火2）

国語国文（通年）

「江戸絵本と浮世絵を読む」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商医】

津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

江戸時代後期に作られた浮世絵や草双紙（江戸で出版された絵本）で、中世以来多くの人々に愛された源義経の一代記を読みます。取り上げるのは主として鳥居清長画『義経一代記』。軍記物語の『平家物語』『義経記』などで知られる名場面のダイジェストしたわかりやすい読み物です。文章を読み解くと共に、北尾重政画『絵本義経記』、勝川春章画『絵本義経一代実記』、歌川広重画『義経一代記図会』、美図垣笑顔作・歌川国芳画『花槽詠義経』などの絵本や浮世絵の武者絵を参照して、絵もじっくり鑑賞します。必要に応じ、能・浄瑠璃・歌舞伎・御伽草子等々、室町・江戸期の芸能や文芸に触れます。

義経を入りに江戸文学・文化に親しみ、日本古典文学を自分で調べて読む基本的な力を身につける事が目標です。

〔教科書〕

『仮名変体集』（新典社）

〔参考書〕

日本古典文学大系『義経記』『平家物語』（岩波書店）

日本古典文学全集／新編日本古典文学全集『義経記』『平家物語』（小学館）

島津久基『義経伝説と文学』（明治書院）

鈴木健一編『義経伝説一判官びいき集大成』（小学館）

浅野秀剛・吉田伸之 浮世絵を読む『国芳』（朝日新聞社）

その他適宜授業内で指示します。

国語国文a（春学期）／国語国文b（秋学期）（金3）

国語国文（通年）

「日本初の経済小説『日本永代蔵』を読む」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商医】

津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

元禄時代に出版された井原西鶴の『日本永代蔵』は日本初の経済小説。欧州より一世紀以上も早く先物市場を成立させた日本経済の底力を見せ、江戸から昭和に至るまで商売や人生の教訓書として読みつがれた本です。大資本のみが景気のいい「銀（かね）が銀を溜める世の中」で生き抜く人々の諸相には、食品偽装の問題やブランド力の構築など、今に通じる話題も多く、大きな示唆に富んでいます。

人の心を掴む西鶴の名文を味わいつつ、日本古典文学を自分で調べて読む基本的な力を身につける事が目標です。

〔教科書〕

岩波文庫『日本永代蔵』（岩波書店）

〔参考書〕

日本古典文学大系『西鶴集 下』（岩波書店）

日本古典文学全集／新編日本古典文学全集『井原西鶴集 3』（小学館）

新潮日本古典集成『日本永代蔵』（新潮社）

中嶋隆 NHKブックス『西鶴と元禄メディアーその戦略と展開一』（日本放送出版協会）

その他適宜授業内で指示します。

ジェンダー論Ⅰ

2単位 春学期

【文経商医薬】

長沖 暁子 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼んでいます。ジェンダーは、過去30年間の人文・社会科学全般において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、北米・ヨーロッパの各国で大学・大学院に Gender Studies などの名称を持ったコースが設置されてきました。日本では市民権を得たのはこの10年くらいですが、現在の日本においても歴史と現代を理解し、未来を構想するために必要とされている考え方の一つであるといってもいいでしょう。法律・政治・経済・文学など、さまざまな領域をジェンダーという視点から分析することが、可能であり、ジェンダー論の領域は広範です。この授業は、ジェンダー論の基本的な視点を、入門的に学ぶことができるように設置されているものです。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

それぞれの講義で参考図書を紹介します。

ジェンダー論Ⅱ

2単位 秋学期

【文経商医薬】

長沖 暁子 鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼んでいます。ジェンダーは、過去30年間の人文・社会科学全般において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、北米・ヨーロッパの各国で大学・大学院に Gender Studies などの名称を持ったコースが設置されてきました。日本では市民権を得たのはこの10年くらいですが、現在の日本においても歴史と現代を理解し、未来を構想するために必要とされている考え方の一つであるといってもいいでしょう。法律・政治・経済・文学など、さまざまな領域をジェンダーという視点から分析することが、可能であり、ジェンダー論の領域は広範です。この授業は、ジェンダー論の基本的な視点を、入門的に学ぶことができるように設置されているものです。

【教科書】

なし

【参考書】

それぞれの講義で参考図書を紹介します。

自然人類学

「進化の産物としての自分を知る ～ゲノム人類学の冒険～」

2単位 春学期

【商理】

太田 博樹

【授業科目の内容】

自然人類学は、生物としてのヒトが辿ってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるがために有する特徴を理解することを目的としている。元来、自然人類学は化石標本などを対象とした形態学が中心であった。しかし最近ではゲノム情報が充実し、分子生物学、分子進化学、集団遺伝学、生命情報工学などを取り込んだ様々なアプローチがなされてきている。この講義では、自然人類学の基礎をふまえ、国内外の最新の研究成果を紹介し、如何なる先端技術や理論がヒトの進化研究に応用されてきたか、またヒトの進化研究が考古学、民族学、医学、薬学など他分野に如何に影響を与えるかを詳述する。

【教科書】

なし

【参考書】

授業中に参考資料を配布する。

下記図書が授業内容の一部について良い参考書である：1) 海部陽介著『人類がたどってきた道』日本放送出版会2005年。2) 斎藤成也著『ゲノム進化学入門』共立出版2007年

社会科学概論Ⅰ／社会科学の考え方（春学期）

「社会科学者の社会科学」

2単位 春学期

4単位 通年

【経商医】

小野 修三

【授業科目の内容】

社会科学が社会を対象とするとした時、そしてその社会をわれわれが構成すると考える時、そこで営まれる社会科学は社会科学を営む人たるわれわれ社会科学者を対象とするという側面があるはずである。この社会科学者を社会科学の正当な対象とする時、どんな社会科学が営まれるとすることが出来るであろうか。

本講義はそうした社会科学の例として、R.S.Lyndの『何のための知識か』を挙げるが、このR.S.Lyndに学びつつ、丸山真男、きだみのる、Michel Foucault、石田雄などの社会科学者の業績を検討して行く。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会科学概論Ⅱ／社会科学の考え方（秋学期）

「近代日本の異色の人間像」

2単位 秋学期

4単位 通年

【経商医】

小野 修三

【授業科目の内容】

同時代人からは白い目で見られた人物でも、現代のわれわれにはむしろそうした人々の方がわれわれの価値観に近いものがある、と感じられることがある。この時間はそうした「異色の日本人」たちに関する私なりの伝記的理解を提示し、人間についての社会科学を営んでみたい。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会学Ⅱ

「宗教社会学」

2単位 秋学期

【文経法商医理薬】

栗津 賢太

【授業科目の内容】

宗教社会学や宗教人類学などの、社会的次元から宗教現象を理解しようとするアプローチの理論と方法を論じる。基礎的な理論や学説を学ぶとともに、出来るだけ具体的な事例に即して共に考察したい。現代の日本社会や世界情勢の中で露になる現象を理解するために必要な宗教の基本的な知識を身につけることも目的とする。そして、社会学の理論的な中核である宗教社会的なものの見方と基本的な知識を習得するとともに、その今日的な意義を問う。

【教科書】

使用しない。プリントを配布する

〔参考書〕

テーマにそくして、その都度指示するが、次のものに目を通しておくことが望ましい。

マックス・ヴェーバー、大塚久雄訳『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波文庫、1989年。

井上順孝（編）『現代日本の宗教社会学』世界思想社、1994年。

中野毅（他編）著『宗教とナショナリズム』世界思想社、1996年。

山之内靖著『マックス・ヴェーバー入門』岩波新書、1997年。

大谷栄一（他編）『構築される信念：宗教社会学のアクチュアリティを求めて』ハーベスト社、2000年。

ブライアン・ウイルソン、中野毅・栗原淑江訳『宗教の社会学：東洋と西洋を比較して』法政大学出版会、2002年。

伊藤雅之（他編）『スピリチュアリティの社会学：現代世界の宗教性の探求』世界思想社、2004年。

櫻井義秀・三木英（編）『よくわかる宗教社会学』ミネルヴァ書房、2007年。

社会学 a（春学期）／社会学 b（秋学期）

社会学（通年）

「社会心理学」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔文経法商医理〕 **榊 博文**

〔授業科目の内容〕

現代社会心理学の対象・方法・歴史についてまず講義し、個人と個人の関係、個人と集団の関係、集団や社会の影響、集合現象について論じる。中でも、流行、流言、マスコミ、広告、デマ、普及、など、集合現象に重点を置いて講義する。

〔教科書〕

青池・榊 編著『現代社会心理学』慶應大学出版会

〔参考書〕

榊 博文著『説得と影響—交渉のための社会心理学』ブレーン出版

社会学 a（春学期）／社会学 b（秋学期）

社会学（通年）

「食・農・地域の社会学」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔文経法商医理〕 **土居 洋平**

〔授業科目の内容〕

本講義では、二つのことを行います。ひとつは、社会学という学問の視点・考え方を様々な現象を通じて紹介していくことです。もうひとつは、私たちにとってもっとも身近な「食べること」というテーマを社会学的な視点をもって探求し、その農業生産や地域社会への広がりを考えていくことです。

前期の講義においては、社会学についてのごく基本的

な考え方について紹介した後に、様々なトピックをもとに、社会学の考え方を紹介していきます。これを通じて、社会学の概要や全体像についてイメージできるようになることを目指します。また、後期の講義においては、「食べること」という身近な行為の背後に広がる世界～農業・農村・流通・消費～を、社会学的視点から描いていきます。これによって、ひとつのテーマについて社会的に考える力を身につけることを目指します。

〔教科書〕

藤田弘夫・西原和久編『権力から読みとく現代人の社会学・入門 増補版』有斐閣 2000（前期）

榊渥俊子・松村和則編『食・農・からだの社会学』新曜社 2002（後期）

〔参考書〕

授業中に適宜指示します

社会学 a（春学期）／社会学 b（秋学期）

社会学（通年）

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔文経法商医理〕 **藤川 千歳**

〔授業科目の内容〕

多くの人は、自分たちが生きている日常についてあまり意識して生活することはないと思います。けれど、いったん意識的に見直してみると、規範や慣習など人間の相互行為が織り成す様々な現象が存在することに気づかざるを得ません。社会学とは、このような現象を解明することによって、私たちの社会の仕組みを明らかにしていこうというものです。

〔教科書〕

星野 潔・杉浦郁子編著『テキスト社会学』学文社、2007年

社会学 I

「世相から日本社会を読み解く」 2単位 春学期
〔文経法商医理薬〕 **中山 和久**

〔授業科目の内容〕

日本の社会について「生活様式」という視点から考えて頂くことを目的とします。具体的には、日本における様々な文化を、特に明治・大正時代における生活の中に見られる習慣や風習について紹介・考察し、現代の文化を視野に入れた上で再考することを目的とします。社会を、実際に生きる人々の生活の中に位置付けて理解する視角を身につけることが目標です。それは他者との相互理解を深める基礎力になると思います。

〔教科書〕

柳田国男著『明治大正史〈世相篇〉』講談社学術文庫（新装版）、1994年、1,200円

〔参考書〕

色川大吉著『昭和史世相篇』小学館ライブラリー55（1994年）1,000円

社会学Ⅰ／社会学（春学期）

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

三浦 直子

〔授業科目の内容〕

この講義の一番重要な研究対象となるのは、「今この日本に生きている『自分自身』の在り方」について、である。自分の中に深く根を下ろしている社会の「常識」（あるいは「偏見」と呼ばれる固定観念を問い直し、あらためて「自らの考え・行い」がどのような時代的・社会的影響を受けて形成されてきたのかを省みること。それは、既存の社会の枠組み（そして、そこに埋没してきた「自分自身」）から自由を得るための第一歩でもある。講義では、視覚教材を取り入れ、身近な日常世界に関する問題提起を行いつつ、そこから掘り下げて自分の心の内側に入り込んでいる様々な「社会の枠組み」を考察するために、現代社会の具体的な様相をミクロ（社会学Ⅰ・春学期分）からマクロ（社会学Ⅱ・秋学期分）へと至る諸事象・多岐にわたるフィールドから取り上げていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義時に適宜紹介します。

社会学Ⅱ／社会学（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

三浦 直子

〔授業科目の内容〕

この講義では、マクロで動態的な視点から、社会とそこに生きる「人々の考え・行い」について考えてみたい。まず、私たちが最初に接する社会集団である「家族」の歴史の変遷をたどりながら、人々の価値観（考え）の変化と社会における宗教の位置づけの変化について、祖父母の世代・父母の世代・私たちの世代を比較し検討する。次に、「家族」の背景にある「社会階層」が現代日本でどのような作用を及ぼしているのかについて、家族をめぐる感情の歴史的形成や、社会的行為としての恋愛、学校教育と家庭環境（ライフスタイルや言語）などとの関連から考察する。このような講義内容を通じて、いま一度、自らの「考え・行い」がどのような影響を受けて形成されてきたかについて、マクロな社会的文脈のなかに位置づけて、考えをめぐらせてもらえれば幸いである。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義時に適宜紹介します。

社会心理学Ⅰ

「社会的認知と対人行動」

2単位 春学期

【政商メコ】

萩原 滋

〔授業科目の内容〕

春学期は、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題を取り上げる。すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。文化心理学の最近の研究成果にも言及したい。

〔教科書〕

使用しない

〔参考書〕

山本真理子他編『社会的認知ハンドブック』 北大路書房（2001）

唐沢穰・池上知子・唐沢かおり・大平英樹『社会的認知の心理学—社会を描く心のはたらき』 ナカニシヤ出版（2001）

社会心理学Ⅱ

「メディアとコミュニケーション」

2単位 秋学期

【政商メコ】

萩原 滋

〔授業科目の内容〕

秋学期は、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程に関わる諸問題を取り上げる。対人コミュニケーションに関しては「説得効果」、マス・コミュニケーションに関しては「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

〔教科書〕

使用しない

〔参考書〕

萩原滋編著『テレビニュースの世界像—外国関連報道が構築するリアリティ』 勁草書房（2007）

萩原滋・国広陽子編『テレビと外国イメージ—メディア・ステレオタイプ研究』 勁草書房（2004）

萩原滋編著『変容するメディアとニュース報道—テレビニュースの社会心理学』 丸善（2001）

宗教学a（春学期）／宗教学b（秋学期）

宗教学（通年）

「ユダヤ教・キリスト教・イスラームの歴史のアウトライン」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

高木 久夫

〔授業科目の内容〕

今日では中立的に Abrahamic religions と呼ばれることの多いユダヤ教・キリスト教・イスラームの歴史を聖典

テキストを手がかりに概観し、それぞれの文化形成の特色と相互関係について理解を深めます。宗教への知的アプローチの類型にふれたのち、ヘブライ語聖書（いわゆる旧約）を生んだ古代イスラエルの宗教、ラビ・ユダヤ教、キリスト教、イスラームを、時系列的に取りあげます。古い時代により重点を置きつつおおむねオープンに、中世の入口までを一応の範囲とします。日本の啓示宗教理解は過去の欧米の宗教観に依存し、無自覚的にキリスト教本位であるため、ひとつの試みとしてユダヤ学の知見を取り入れ、これを可能なかぎり是正します。講義は宗教的テキストを人文学と思想史の方法で取りあげるかたちとなりますが、今日のコンテキストを理解するためにも有益なものとなるよう心がけます。履修後ある程度各論的な文献を独力で理解できることを目指します。

【教科書】

講義範囲をうまくカバーする教科書のない分野なので、資料プリントを配布します。なお「教科書」ではありませんが、聖書の指定箇所を読むことを求めます。ウェブテキストでも読めますが、手もとに1冊ないと不便かもしれません。いわゆる「旧約」をふくむものなら訳は問いませんが、あらたに求めるばあい、いわゆる「旧約聖書続編つき」をすすめます。また文庫版の通史『聖書時代史』全2巻（下記）の購入をすすめます。

【参考書】

(*のあるものは絶版です)

- (A) 【資料】 聖書（上述）／『コーラン』井筒俊彦訳、岩波文庫
- (B) 【参考書】『聖書時代史 旧約編』山我哲雄、岩波現代文庫／佐藤研『聖書時代史 新約編』岩波現代文庫／石田友雄『ユダヤ教史』山川出版社／A.マラマト、Ch.タドモールほか『ユダヤ民族史*』（1-6）、六興出版／I.エプスタイン『ユダヤ思想の発展と系譜*』紀伊国屋書店／R.C. ムーサフ＝アンドリーセ『ユダヤ教聖典入門 トーラーからカバラまで*』市川裕訳、教文館／手島勲矢編著『わかるユダヤ学』日本実業出版社／C. リンドバーグ『キリスト教史』教文館／『キリスト教神学入門』A.E.マクグラス、教文館／中村廣治郎『イスラーム思想と歴史』UP選書／M.リズン『イスラーム』、岩波書店（1冊でわかるシリーズ）／（講義でも紹介します）
- (C) 【自習教材】 関根正雄・木田献一ほか『聖書の世界（総解説）』自由国民社／J.ボウカー編著『聖書百科全書』三省堂／吉見崇一『ユダヤ教小辞典』リトン

なお (B) のうち何を讀んだかを、試験のさい申告してもらいます

宗教学Ⅰ

「一神教研究の諸相（聖典テキストのなりたちと解釈の問題）」 2単位 春学期

【文経法政商医理薬】 高木 久夫

【授業科目の内容】

ヘブライ語聖書（いわゆる旧約）は、ユダヤ教の聖典であるばかりでなく、キリスト教の正典の一部ともなり、イスラームにおいても啓示の原形をコーランと共有するとされます。このヘブライ語聖書の成立をめぐる議論を概観し、ユダヤ教の宗教的テキストの集成過程をふり返り、キリスト教とイスラームがそれぞれ新約聖書、コーランなどのテキストや、それらとヘブライ語聖書の関連をどのように捉えてきたかに触れます。なお中世にかけての聖典解釈の理論もできれば簡単に紹介する計画ですが、原理主義のテキスト理解など、今日の問題との関わりを優先するばあひがあります。また進度には固執せず、受講者の理解と関心にあわせ、可能ならディスカッションなども取りいれます。通史のアプローチから一歩踏みこんで、テキストに付与された解釈があらたにテキストとなって行く連鎖的なダイナミズムを捉え、この三つの宗教における「テキスト解釈にもとづく宗教」という性格の重要性を理解することを目指します。

【教科書】

適切な教科書のない分野なので、講義でプリント資料を配布します。なお「教科書」ではありませんが、聖書やコーランの指定箇所を読むことを求めます。いずれもウェブテキストでも読めますが、とくに聖書は手もとに1冊ないと不便かもしれません。いわゆる旧約をふくむものなら訳は問いませんが、あらたに求めるばあい、いわゆる「旧約聖書続編つき」をすすめます。またとくに通史をおさえたい方には、文庫版の『聖書時代史』全2巻（下記）の購入をすすめます。

【参考書】

- (A) 【資料】 聖書（上述）／『コーラン』井筒俊彦訳、岩波文庫
- (B) 【参考書】 C.レヴィン『旧約聖書 歴史・文学・宗教』教文館／R.C.ムーサフ＝アンドリーセ『ユダヤ教聖典入門』教文館／G.タイセン『新約聖書 歴史・文学・宗教』教文館／R.ベル『コーラン入門』ちくま学芸文庫／M.リズン『ファンダメンタリズム』岩波書店
- (C) 【自習教材】（下記） 山我哲雄『聖書時代史 旧約編』岩波現代文庫／佐藤研『聖書時代史 新約編』岩波現代文庫／関根正雄・木田献一ほか『聖書の世界（総解説）』自由国民社／J.ボウカー編著『聖書百科全書』三省堂／吉見崇一『ユダヤ教小辞典』リトン／中村廣治郎『イスラーム 思想と歴史』UP選書

なお (B) のうち何を讀んだかを、試験のさい申告してもらいます

宗教学Ⅱ

「一神教研究の諸相（聖典に見る異教観）」

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】

高木 久夫

【授業科目の内容】

一神教世界が、それぞれの社会の少数派・異教徒をどのように捉えたかを、中世までの思想史を軸に概観しま

す。一神教的な異教徒観の原形として、古代イスラエルの宗教と初期ユダヤ教の異教徒観を確認してから、“世界宗教”というセルフ・イメージをもつキリスト教とイスラームが、それぞれを、またユダヤ人をどのように見たかを検討します。宗教の狭さと寛さが、はたして「民族宗教」か否か、「律法主義」か否かというなりたちと関係するのか、いわゆる「聖戦」概念は何を意味するのか、日本に根づよい一神教批判は妥当か、異教徒への寛容度とホスト社会内部での世俗知への寛容度に相関性はあるのか、などについて考えます。エスニシティの問題、多元主義の問題、宗教・政治・哲学という前近代の宗教思想の三つ組みなどを理解するうえで、有益な視点を提供することを旨とします。

【教科書】

適切な教科書のない分野なので、講義でプリント資料を配布します。なお「教科書」ではありませんが、聖書やコーランの指定箇所を読むことを求めます。いずれもウェブテキストでも読めますが、とくに聖書は手もとに1冊ないと不便かもしれません。いわゆる旧約をふくむものなら訳は問いませんが、あらたに求めるばあい、いわゆる「旧約聖書続編つき」をすすめます。またとくに通史をおさえたい方には、文庫版の『聖書時代史』全2巻（下記）の購入をすすめます。

【参考書】

- (A) 【資料】 聖書（上述）／『コーラン』井筒俊彦訳、岩波文庫
- (B) 【参考書】 L. ポリアコフ『反ユダヤ主義の歴史』1～2巻・筑摩書房／M.R. Cohen: *Under Crescent & Cross*, Princeton／A. マアルーフ『アラブが見た十字軍』／山内進『十字軍の思想』ちくま新書／安達かおり『イスラム・スペインとモサラベ』彩流社／（講義でも紹介します）
- (C) 【自習教材】（下記） 山我哲雄『聖書時代史 旧約編』岩波現代文庫／佐藤研『聖書時代史 新約編』岩波現代文庫／関根正雄・木田猷一ほか『聖書の世界（総解説）』自由国民社／J. ボウカー編著『聖書百科全書』三省堂／吉見崇一『ユダヤ教小辞典』リトン／中村廣治郎『イスラム 思想と歴史』UP選書

なお（B）のうち何を読んだかを、試験のさい申告してもらいます

住宅・建築史概論

2単位 春学期

【経商医理】

岸本 達也

【授業科目の内容】

建築デザインとその形式は、その時代の技術、文化や社会システムと関係している。この授業では古代から近現代までのその歴史的な変遷について学びます。

【教科書】

プリントを配布する予定

【参考書】

堀口捨己ほか『建築史』オーム社

『三訂版 西洋建築史図集』日本建築学会編 彰国社
『日本建築史図集 新訂版』日本建築学会編 彰国社
西田雅嗣ほか『図説 建築の歴史 西洋・日本・近代』学芸出版社

S. ギーディオ『空間・時間・建築』丸善
森田慶一『西洋建築入門』東海大学出版会
大田博太郎『日本建築史序説』彰国社
その他

女性学

「暴力とは……？」

2単位 春学期

【文経商医理薬】

長沖 暁子

【授業科目の内容】

女性学とは女性の視点から既存の学問や社会現象を見直す作業です。今年度はこの観点から「暴力」を考えます。

レイプ、セクシュアル・ハラスメントなど性暴力、幼児虐待やドメスティック・バイオレンス、女性の周りには暴力に関連したさまざまな問題があります。圧倒的に被害者の立場に立つことが多い女性が、ある場合は加害者にもなります。

一方、個人と個人の関係の中だけでなく、組織的な形で行使される「暴力」もあります（たとえば戦争、テロ、解雇、いじめ）。どのような形で力は行使され、正当化されるのか、加害者と被害者を分けるものは何なのか。さまざまな角度から暴力を取り上げることによって、その構造を考えたいと思います。そして、授業の最後には各自に「どのような行為を暴力と考えるのか」を定義してもらおうと考えています。

【教科書】

使いません。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

女性学

「セクシュアリティとジェンダー」

2単位 秋学期

【文経商医理薬】

西山 千恵子

【授業科目の内容】

セクシュアリティは、性現象と訳されることがあります。やや抽象的ですが、女性学ではセクシュアリティ論として、性をめぐる諸問題、諸課題が論じられてきました。例えば性行動、性意識における男女差や、男女の関係、売買春、ポルノグラフィ、妊娠・避妊・出産・中絶など性と生殖に関する問題、性表現、性をめぐる欲望やファンタジー、性暴力、性教育、婚姻制度などさまざまに広がります。

一方、最近の女性学は、「女性・男性」という区分を自明視せず、性別を相対化して捉えようとする傾向があります。その中で、性別についての自己同一性や、異性愛、同性愛などの議論も展開してきました。また、女性学のみならず、セクシュアリティをめぐる研究やセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の主張を反映する

社会的な動き、情報はますます広がりつつあります。

授業では、女性学のキーワードであるジェンダー（社会・文化的性別）概念を中心に、これらセクシュアリティ論の入門的理解を目指すとともに、現代の性をめぐる諸問題のいくつかを取り上げ検討します。ビデオ教材を使用することもあります。

〔教科書〕

特に使用しません。授業時に資料等を配布します。

〔参考書〕

基本的、入門的な参考書として、
『ジェンダーがわかる。』アエラ・ムック 朝日新聞社
『図解雑学 ジェンダー』加藤秀一監修 ナツメ社
その他、授業時に適宜紹介します。

身体文化論

「ダンスと身体」

2単位 春学期

〔経商理薬〕

稲田 奈緒美

〔授業科目の内容〕

身体は、生理的、物理的な存在であると共に、歴史的、社会的な存在です。どのように身体を使って意志や感情を伝えるか、どのように身体を着飾って個性を表現するかなどは、時代、地域、社会、民族、性別、階級などによって異なります。多様で多義的な身体とその背景にある文化について、この授業では主にダンス（舞踊）という切り口を通して解説します。身体とその動きを素材、媒体とする芸術、文化であるダンスは、古今東西さまざまに変化してきました。様々なダンスの身体に現れる動作、身振り、フォーム、スピード、リズム、ダンサーの体格、衣装などを具体的に引き上げ、また、その社会的な背景を考えることによって、身体にまつわる文化を幅広く学びます。

〔教科書〕

特に使いません。適宜、講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業時に適宜、紹介します。

人文総合講座Ⅰ／人文総合講座

「21世紀のアメリカの行方」

2単位 春学期

〔経法政商〕

鈴木 透（コーディネーター）
近藤 光雄 杉浦 章介
マイケル・エインジ 奥田 暁代
常山菜穂子 大和田俊之

〔授業科目の内容〕

21世紀のアメリカは、民族構成が大きく変化しつつある中、貧富の差の増大や文化戦争など、国内には分裂の危機を抱え、一方、対外的には、冷戦の終結からテロとの戦いへという転換点を迎えて、これまで未経験の次元に足を踏み入れようとしています。この授業では、「マイノリティ」、「メディア」、「コミュニティ」、「集団の記憶の再構築」の4つのキーワードを軸に、アメリカがこの難局をどう乗り越えようとしているのか、未来のアメ

リカを方向づけようとする知の潮流を、現代アメリカが抱える様々な社会現象・文化現象の中から領域横断的に探り当て、アメリカ社会の現状と今後を展望します。とりわけこの授業では、こうした新たな時代状況の中で、従来からの積み残し課題と現代アメリカ社会がどう向き合おうとしているのかに着目しながら、アメリカ社会にどのような変化が忍び寄ってきているのかを考えるとともに、そうした新たな動きがアメリカという枠を越えていかなるインパクトを持ちうるのか、考えていきます。

〔教科書〕

近藤光雄 他『記憶を紡ぐアメリカ：分裂の危機を超えて』（慶應義塾大学出版会、2005）

〔参考書〕

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

〔授業の計画〕（内容と順序は変更になる場合があります）

- 1 序論：21世紀アメリカへの視角（鈴木）
- 2 マイノリティをめぐる過去の清算：その課題と現状
 - (1) 奴隷制度をめぐる補償問題（奥田）
 - (2) ブルース百年をめぐるカルチュラル・ポリティクス（大和田）
 - (3) 過去の見せ方・語り方：公共空間におけるマイノリティの記憶の復権（鈴木）
- 3 メディアが生産／清算する記憶
 - (1) 現代アメリカ映画における過去の戦争の描かれ方（エインジ）
 - (2) 舞台が再構築するアメリカ・インディアン表象（常山）
- 4 アメリカン・デモクラシーの行方
 - (1) アメリカン・サバービアの経済地理（杉浦）
 - (2) 人工首都ワシントンのアーバン・ヒストリー（近藤）
 - (3) テロの記憶とローカル／グローバルコミュニティ（鈴木）

人文総合講座Ⅱ／人文総合講座

「アメリカ研究の過去と現在」

2単位 秋学期

〔経法政商〕

鈴木 透（コーディネーター）
近藤 光雄 マイケル・エインジ
奥田 暁代 常山菜穂子
大和田俊之

〔授業科目の内容〕

この授業では、アメリカに関する事柄を将来専門的に勉強しようとしている学生を想定して、専攻分野にかかわらず誰もが知っておくべきアメリカ研究史上の重要な著作を毎回一、二点ずつ紹介しながら、アメリカ研究の観点や手法の変遷をたどり、現在展開されているアメリカ研究の到達点と課題について考えます。高度な専門書を独力で読みこなすのに困難を感じているような人たちを念頭において、重要な研究書の背景、概要、意義、影響などを平易に解説することで、アメリカ研究のトレン

ドの変化の持つ意味について理解を深めてもらい、高度なアメリカ研究への橋渡しをすることがこの授業の目的です。授業では、①アメリカ研究の問題意識の推移には、宗教研究、文学研究、歴史学、経済学、労働史研究など、人文科学・社会科学の様々な分野の研究成果が関わっていること、②そこには、神話的アメリカ像の構築と解体というべき流れが見られること、③現代アメリカの重要な争点である、多文化主義や人種・移民をめぐる激しい論争は、これらの延長上に位置していること、の三点が理解できるようにするつもりです。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

心理学履修ガイド

心理学は自分の所属する学部に設置されている心理学のみ履修申告できます。設置学部以外の学生は履修申告の結果、定員に余裕がある場合に限って心理学研究室で手続きの上、追加履修申告（5月上旬）時に申告することができます（下表参照）。追加申告できる心理学については4月下旬に発表予定の抽選結果で確認してください。

【文学部設置心理学】

文学部の学生のみ履修申告することができます。経済学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は文学部の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	小嶋 祥三	春学期	2単位
心理学Ⅱ	小嶋 祥三	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	増田 直衛	春学期	2単位
心理学Ⅱ	増田 直衛	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	望月 要	春学期	2単位
心理学Ⅱ	望月 要	秋学期	2単位

【経済学部設置心理学】

経済学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は経済学部の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	曾我 重司	春学期	2単位
心理学Ⅱ	曾我 重司	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	中野 泰志	春学期	2単位
心理学Ⅱ	中野 泰志	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	増田早哉子	春学期	2単位
心理学Ⅱ	増田早哉子	秋学期	2単位

【法学部設置心理学】

法学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は法学部（法律学科）の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	菅野理樹夫	春学期	2単位
心理学Ⅱ	菅野理樹夫	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	鈴木 恒男	春学期	2単位
心理学Ⅱ	鈴木 恒男	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	井垣 竹晴	春学期	2単位
心理学Ⅱ	井垣 竹晴	秋学期	2単位

【商学部設置心理学】

商学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、法学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は商学部の時間割で確認してください。

心理学Ⅰ	小松 英海	春学期	2単位
心理学Ⅱ	小松 英海	秋学期	2単位
心理学Ⅰ	木島 伸彦	春学期	2単位
心理学Ⅱ	木島 伸彦	秋学期	2単位

【医学部設置心理学】

医学部の学生のみ履修申告することができます。他学部の学生は履修できません。

心理学	増田 直衛	通年	4単位
-----	-------	----	-----

【理工学部設置心理学】

理工学部の学生のみ履修申告することができます。他学部の学生は履修できません。

心理学Ⅰ	高山 緑	春学期	2単位
心理学Ⅱ	高山 緑	秋学期	2単位

心理学Ⅰ／心理学（春学期）

2単位 春学期

4単位 通年

[文]

小嶋 祥三

[授業科目の内容]

下記の教科書を利用して、心理学のいろいろな領域の研究を広く紹介する。

[教科書]

今田・宮田・賀集 共編『心理学の基礎』（三訂版）培風館

心理学Ⅱ／心理学（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

[文]

小嶋 祥三

[授業科目の内容]

記憶を中心とした心の働きを脳と関係づけ、新しい知識に基づいて紹介する。

[参考書]

授業内で紹介する。

心理学Ⅰ／心理学（春学期）

「知覚・認知」

2単位 春学期

4単位 通年

[文]

増田 直衛

[授業科目の内容]

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。

ここでは、個体がいかに環境からの情報を得て行動しているのか、知覚、認知を中心に講義をします。

[教科書]

テキストは特に指定しません。

講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

授業中に使用したスライドは、講義後、pdfファイルにして順次、keio.jpにアップロードしていきます。

[参考書]

大山 正ほか（著）『心理学のあゆみ（新版）』有斐閣新書

野口 薫ほか（著）『心理学入門（新版）』有斐閣新書

心理学Ⅱ／心理学（秋学期）

「行動・個性」

2単位 秋学期

4単位 通年

[文]

増田 直衛

[授業科目の内容]

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。

ここでは、環境に適応して生きていくためにどのような行動するか、動物も含めて行動変容のダイナミズムを講義します。また、個性はどのように理解され、それはどのように形成されてくるのか考えます。

[教科書]

テキストは特に指定しません。

講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

授業中に使用したスライドは、講義後、pdfファイルにして順次、keio.jpにアップロードしていきます。

[参考書]

大山 正ほか（著）『心理学のあゆみ（新版）』有斐閣新書

野口 薫ほか（著）『心理学入門（新版）』有斐閣新書

心理学Ⅰ／心理学（春学期）

「知覚と認知の心理学」

2単位 春学期

4単位 通年

[文]

望月 要

[授業科目の内容]

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学Ⅰ』では、知覚と認知に関する心理学を取り上げる。秋学期の『心理学Ⅱ』と通して履修することが望ましい。

[教科書]

使用しない。授業資料は授業用web site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/~moc/psychology/>) で配布する。

[参考書]

授業中に随時紹介する。

心理学Ⅱ／心理学（秋学期）

「行動分析学入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文〕

望月 要

〔授業科目の内容〕

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貫うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貫うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学Ⅰ』に引き続き、『心理学Ⅱ』では行動分析学について紹介する。できれば『心理学Ⅰ』と通して履修することが望ましい。

〔教科書〕

使用しない。授業資料は授業用web site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/~moc/psychology/>) で配布する。

〔参考書〕

授業中に随時紹介する。

心理学Ⅰ

「ヒトは環境をどのように知覚するのか」2単位 春学期

〔経〕

曾我 重司

〔授業科目の内容〕

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、人間と他の動物の比較に基づく生物としての人間の特徴、有機体を取りまく環境世界からの情報をどのように取り入れているのかなど、主に知覚・認知的側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

〔教科書〕

特に指定しない（必要な資料は講義中に配布する）

〔参考書〕

特に指定しない

心理学Ⅱ

「ヒトは環境にどのように働きかけるのか」

2単位 秋学期

〔経〕

曾我 重司

〔授業科目の内容〕

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。ヒトが自らを取り巻く環境に対してどのように働きかけているのかについて主に行動・個性の側面からの現代心理学の主

要なアプローチ、成果について概観する。

〔教科書〕

特に指定しない（必要な資料は講義中に配布する）

〔参考書〕

特に指定しない

心理学Ⅰ

「知覚・認知心理学の教育・福祉・支援技術への応用」

2単位 春学期

〔経〕

中野 泰志

〔授業科目の内容〕

心理学は人間や動物の純粋な経験（現象）を整理し、その働き（機能）や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズム（機序）を探求する学問です。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」（行動）の理解と予測であり、個々の豊かな生活（Quality of Life; QOL）を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことです。

本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究手法や成果を、主として障害児・者の教育・福祉や彼らの生活をより豊かにする支援技術等と関連させながら紹介する点にあります。超高齢社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めています。「障害」を理解し、支援技術等を用いて、障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たします。例えば、目が不自由であっても単独で行動することは可能なわけですが、白杖（白い杖）や盲導犬が自動的に導いてくれるわけではありません。白杖や盲導犬という道具を使って目の不自由な人自身が「自分はどこに行きたいのか」「そのためにはどのようなルートをとるのか」「そのルートに沿って移動するためにはどのような手がかりがあるのか」「ルート中に段差や穴や障害物はないか」「迷ってしまったときにどうするか」等を判断しながら移動していきます。このような判断がより安全に、効果的にできるためには、人が環境や地理を知覚・認知する方法を科学的に明らかにしなければなりません。このように、本講義では、知覚・認知心理学が対象とする諸現象や科学的方法論を障害児・者の教育・福祉に関する具体的な事例や支援技術開発と関連づけながら、わかりやすく解説します。

〔教科書〕

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanov/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

〔参考書〕

適宜紹介します。

心理学Ⅱ

「行動・個性の測定と発達」

2単位 秋学期

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

私達人間を含め、生物にはそれぞれ個性があり、同じ状況下でも、それぞれが異なる行動をすることがあります。そして、それぞれがユニークでかけがえのない存在です。本講義では、それぞれの行動や個性がどのように形成され、変容していくのかについて紹介します。また、科学としての心理学がどのような方法で行動や個性を測定するかについて、実験実習等を交えながら、解説します。それぞれの個性的な行動がどのようにして発達するのか、また、何らかの原因で発達が阻害された場合に、どのような困難（障害）が生じるのかについても概観します。さらに、行動や個性を変えるためには、どのような取り組みが可能かについて、適宜、事例も紹介しながら、理論的に解説します。

本講義の最大の特徴は、心理学の研究手法や成果を、教育や福祉や支援技術と関連させながら紹介する点です。少子化や超高齢化により、教育や福祉は身近な問題になりつつあります。これらの問題に対して、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たしていることを具体例を挙げながら、解説していきます。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

適宜紹介します。

心理学Ⅰ

2単位 春学期

【経】

増田 早哉子

【授業科目の内容】

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっています。では、「心」とは何を指しているのでしょうか。本講義では、心理学が対象とする、様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としています。また最新の脳科学の知見が行動科学に与える多大な影響を鑑み、脳科学からの心理学への貢献に若干比重を置きながら講義をすすめる予定です。

心理学Ⅰの講義では、「心」の一側面として、環境とひととの相互作用の問題についてとりあげます。ひとは環境からの情報を、どのように知覚し、また認知しているのでしょうか。さらに、知覚し認知した情報に基づいて、ひとはどのように行動するのでしょうか。ひとがも

のを見たり聴いたりする仕組み（知覚心理学）、ひとの記憶の仕組み、問題の解決の方法（認知心理学）といった領域について、日常的な現象をもとに、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説します。

【教科書】

とくに指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

心理学Ⅱ

2単位 秋学期

【経】

増田 早哉子

【授業科目の内容】

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっています。では、「心」とは何を指しているのでしょうか。本講義では、心理学が対象とする、様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としています。また最新の脳科学の知見が行動科学に与える多大な影響を鑑み、脳科学からの心理学への貢献に若干比重を置きながら講義をすすめる予定です。

心理学Ⅱでは、「心」の一側面として、対人関係における問題についてとりあげます。私たちの日常生活は、様々な人との関わりによって豊かに彩られています。ひとは生きているかぎり他者と関っていく社会的存在であり、その関わりの中で他者と共感し、他者に様々な感情を抱く感情存在であるともいえます。そこで本講義では、感情が知覚・認知とどのように関わっているか（感情心理学）、対人・集団における個人の行動様式（社会心理学）、さらに様々な心的・社会的機能がどのように発達するのか（発達心理学）について、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説します。

【教科書】

とくに指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

心理学Ⅰ

「心理学の応用領域を学ぶ」

2単位 春学期

【法政】

井垣 竹晴

【授業科目の内容】

心理学とは読んで字のごとく心（こころ）の理（ことわり）を学ぶことです。しかし心は眼に見えません。この眼に見えない心を科学的に究明することが心理学に課せられた課題だといえます。本講義では、心理学の先人たちが明らかにしてきた心に関する法則や理論の紹介を通じて、心についての科学的理解を深めることを目的とします。

心理学Ⅰでは、発達、パーソナリティ、臨床、社会など心理学の応用的な側面を扱います。なお心理学Ⅱとは内容的には独立していますが、ⅠとⅡの両方で心理学の

全体像が把握できるようになっているため、両方受講することを勧めます。基礎理論の紹介など一部難しい話題もありますが、できるだけ日常生活の素朴な疑問や問題に関連させて解説していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

心理学Ⅱ

「心理学の基礎領域を学ぶ」

2単位 秋学期

〔法政〕

井垣 竹晴

〔授業科目の内容〕

心理学とは読んで字のごとく心（こころ）の理（ことわり）を学ぶことです。しかし心は眼に見えません。この眼に見えない心を科学的に究明することが心理学に課せられた課題だといえます。本講義では、心理学の先人たちが明らかにしてきた心に関する法則や理論の紹介を通じて、心についての科学的理解を深めることを目的とします。

心理学Ⅱでは、知覚、認知、学習、生理、情動と動機づけなど心理学の基礎的な側面を扱います。なお心理学Ⅰとは内容的には独立していますが、ⅠとⅡの両方で心理学の全体像が把握できるようになっているため、両方受講することをお勧めします。基礎理論の紹介など一部難しい話題もありますが、できるだけ日常生活の素朴な疑問や問題に関連させて解説していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

心理学Ⅰ

「精神の座の変遷と視覚系に関連する脳の構造と機能」

2単位 春学期

〔法政〕

菅野 理樹夫

〔授業科目の内容〕

科目概要と到達目標

心理学、あるいは環境心理学とは何かを、どのように明らかにしようとする学問なのかについて考える。自らを取り巻く日常生活のかかわり合いの中から考える。

そして、その中で人間は環境をどう捉え、どのように関わりあうのか？そのとき人間は環境のことをどれだけ知っているか、あるいは環境を知っている自分のことについてどれだけ知っているのだろうか？このようなことを理解するためには何を知らなければならないかについてできるだけわかりやすく解説する。

本講は環境科学と行動科学の関連性を重視しながら人間の「意図」あるいは、その背景に潜む本質を考えることが目標である。これらのことを知るためには基礎的な知識が必要である。たとえば、人間の生理学的側面である脳の構造と機能、神経系、視覚系などである。また、心理学的側面として感覚、知覚、認知、記憶、学習、発達、知能などの領域がある。人間が環境世界をどのように見ているか、あるいは環境世界とどう折り合いをつけて共存していくかということについて考えていただきたい

い。特に基礎知識は必要としない。受講を希望する学生は講義でこれらのことを理解できるように努力する態度をもつことが望ましい。

〔教科書〕

菅野理樹夫（2008）、見るちから、北樹出版

〔参考書〕

講義の中で随時必要な文献を指示する。

心理学Ⅱ

「人間は環境世界をどのように知覚し行動するのか条件付けとは何か。知能の物語」

2単位 秋学期

〔法政〕

菅野 理樹夫

〔教科書〕

菅野理樹夫（2008）、見るちから、北樹出版

〔参考書〕

講義の中で随時必要な文献を指示する。

以下の文献は知覚心理学を理解するために必要な概念とその歴史的、哲学的背景が詳述されているので参照されたい。

1. J.J.ギブソン著、古崎敬他共訳 生態学的視覚論－ヒトの知覚世界を探る サイエンス社 1985
2. T.J.ロンバルド著、古崎、境、河野監訳 ギブソンの生態学的心理学－その哲学的、科学史的背景 勁草書房 2000
3. 境 敦史他共著 ギブソン心理学の核心 勁草書房 2002

心理学Ⅰ

「知覚・認知（見ることを考えることから論理的思考を養う）」

2単位 春学期

〔法政〕

鈴木 恒男

〔授業科目の内容〕

我々が物を見ることを日常的に行っているの、目を開けば見えることは当たり前だと思っている。しかし、見るとは何をやっているのかに関しては、自分で行っているのに自分では分からない。

この日常的な行動であり、誰でもが行っているが自分では何が行われているかが理解できない行為である見ること考え、その行為を論理的に説明することを行う。その繰り返しから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

必要であれば授業で紹介する。

心理学Ⅱ

「行動・個性（人間の行動を観察することから論理的思考を養う）」

2単位 秋学期

〔法政〕

鈴木 恒男

〔授業科目の内容〕

我々が日常的に行っている行動はほとんど無意識である。何故その行動が起こるのであろうか、その行動は何を目的としているのだろうか、等のことは意識することはほとんど無い。日常的に行っている行動を取り上げ、その行動の理由、なぜそれが出来るようになったかを分かっていくことが出来るのだろうかを考えることから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

必要であれば授業で紹介する。

心理学Ⅰ

2単位 春学期

〔商〕

木島 伸彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、心理学の広範な領域のうち、知覚心理学、認知心理学を中心とした基礎的な心理学について、基本的な知識や考え方を身につけることを目的とします。心理学は人あるいは動物の行動を対象として科学的にアプローチする学問と言えます。人の「こころ」のようなとらえどころのないものではなく、人や動物の測定可能な「行動」を対象とします。知覚心理学では、人間が外界をどのように知覚しているか、そのメカニズムとプロセスについて概説します。また、認知心理学では、人が何かを理解するとはどういうことなのか、そのメカニズムとプロセスについて概説します。

さらに、知覚心理学、認知心理学では、参加者全員で行える実験を行います。また、希望者には、知能テストを受けてもらい、どのように「知能」を測定しているのかを、理論だけではなく、実際に体験してもらいます。

〔教科書〕

- ・特に指定しません。講義資料プリントを配布します。
- ・講義資料プリントはwebサイトよりダウンロードできます。
- ・webサイトのアドレスはガイダンスの時にお知らせします。

〔参考書〕

- ・特に指定しません。授業中に適宜紹介します。

心理学Ⅱ

2単位 秋学期

〔商〕

木島 伸彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、心理学の広範な領域のうち、学習心理学、パーソナリティ心理学を中心とした心理学について、基本的な知識や考え方を身につけることを目的とします。心理学は人あるいは動物の行動を対象として科学的にアプローチする学問と言えます。人の「こころ」のようなとらえどころのないものではなく、人や動物の測定可能な「行動」を対象とします。本講義では、人の特定の「行動」が如何にして起こるのか、基本的なメカニズムを紹介しながら、人の様々な行動への理解を深めていきたいと思えます。さらに、いわゆる「こころの病」と言われる症状について、様々な症状の特徴、治療法、予防法も紹介していきます。

また、本講義では、講義だけではなく、希望者にはパーソナリティ・テストを受けてもらい、巷に溢れている心理テストとは異なる学術的に用いられている心理テストの理論と実際にも触れてもらう予定です。

〔教科書〕

- ・特に指定しません。講義資料プリントを配布します。
- ・講義資料プリントはwebサイトよりダウンロードできます。
- ・webサイトのアドレスはガイダンスの時にお知らせします。

〔参考書〕

- ・特に指定しません。授業中に適宜紹介します。

心理学Ⅰ

「知覚・認知」

2単位 春学期

〔商〕

小松 英海

〔授業科目の内容〕

人間は外界を知覚し、その知覚した環境の中で行動している。心理学Ⅰでは、こうした人間の働きのうちで、知覚と認識の部分を重点的に考える。そもそも人間にとっての環境とは何で、そこから何を情報として得ているのかに焦点を当て、日常生活での経験と関連づけて考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介する。

心理学Ⅱ

「学習・個性」

2単位 秋学期

〔商〕

小松 英海

〔授業科目の内容〕

人間は外界を知覚し、その環境の中で行動している。その行動は他者を含む周囲の環境との相互作用を経る中で変容していく。このことを心理学では学習と呼んでいる。心理学Ⅱでは、この学習に焦点を当て、人間を含む生体の行動の法則性について考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを行うこともある。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介する。

心理学

「医学のためのミニマム・サイコロジー」 4単位 通年

〔医〕 増田 直衛

*医学部生以外は履修できません。

〔授業科目の内容〕

将来医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要なと考えられる心理学の問題を中心に捉えて、基礎的な心理学の問題を扱います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれらに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えます。

〔教科書〕

山田 富美雄 (監修) 『シリーズ 医療の行動科学Ⅰ 医療行動科学のためのミニマム・サイコロジー』(北大路出版1,900円)

〔参考書〕

講義に関連した文献は授業中に随時紹介します。

心理学Ⅰ

「生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを科学する」 2単位 春学期

〔理〕 高山 緑

〔授業科目の内容〕

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期、青年期を経て高齢期までを視野に入れて、しなやかに生涯発達する人間のチカラを学んでいきます。最新の実証研究から得られた知見をもとに、具体的には、愛着、自己、情動、性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、ライフスタイル、サクセスフル・エイジング等のテーマを取り上げます。さまざまなテーマを通じて、生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを学びましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

心理学Ⅱ

「認知と学習」 2単位 秋学期

〔理〕 高山 緑

〔授業科目の内容〕

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がど

のように発達していくのか学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

人類学a (春学期) / 人類学b (秋学期)

人類学 (通年)

「自然界の中のヒト：進化と変異」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経〕

高山 博

〔授業科目の内容〕

ヒト (*Homo sapiens*) の定義を知っていますか？ 人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト (地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位) が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

〔教科書〕

指定しません。

〔参考書〕

講義内容に近いものとしては、埴原和郎『人類の進化史』(講談社)、ルーウィン,R.(保志訳)『ここまでわかった人類の起源と進化』(てらべいあ)、馬場・高山編著『人類の起源』(集英社)

人類学Ⅰ

「進化から見た人類の理解」

2単位 春学期

〔経商薬〕

真家 和生

〔授業科目の内容〕

生命誕生から現在のヒトが形成されるまでの進化過程をたどりながら、人類の特徴がどのように獲得されてきたかを講義する。履修者は人体に秘められた進化過程に伴う獲得形質を実感することを目標としてもらいたい。

〔教科書〕

真家和生著『自然人類学入門』技報堂出版

〔参考書〕

適宜紹介する。

人類学Ⅱ

「体のしくみから見た人類の理解」

2単位 秋学期

〔経商薬〕

真家 和生

〔授業科目の内容〕

人類が世界各地の環境にどのように適応して拡散移住したのか、そしてその結果として現在の人類がどのような多様性を持つに至ったかを講義する。履修者は自分がこうした多様性のなかのどのような位置にいるのかを実感することを目標としてもらいたい。また、人類の動作や生理的特徴を解説。履修者は自分が人類であることをより深く実感することを目標としてもらいたい。

〔教科書〕

真家和生著『自然人類学入門』技報堂出版

〔参考書〕

適宜紹介する。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「民主主義の政治学」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法商医理薬〕 岡山 裕

〔授業科目の内容〕

民主主義的な統治が望ましいという考えは、今日世界のかなり広い範囲に浸透しています。日本でも、政治的な問題が生じると「政治をより民主的に」「真の民主主義を実現しよう」といった声がしばしば聞かれます。しかし、民主主義という統治形態が他よりも望ましいと広く考えられるようになったのは、実は世界史的には割に最近のことです。それに、民主主義が実現すれば理想の政治が直ちに出現するわけではなく、また民主主義という政治の方式は固有の難しさを抱えていることが知られています。この授業では、民主主義をただ礼賛するのではなく、むしろ民主主義という「暴れ馬」をどうしたら乗りこなせるのかという観点から様々に再検討することで、政治の必要性和面白さを理解し、政治学の基本的な発想法を身につけてもらうことを目的としています。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

授業時に案内します。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「現代政治の制度と過程」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法商医理薬〕 岡山 裕

〔授業科目の内容〕

現代の先進民主主義国を念頭において、国内政治について考えるうえで、本質的に重要と考えられる諸要素を取り上げて検討を加えます。講義は、先進民主主義国に共通の大きな問題を扱う部分と、変革期にあると考えられる日本の政治過程に焦点を当てる部分とに分かれます。ここでは、民主政治の課題について理解してもらうに加えて、(新)制度論と呼ばれる、政治学のみならず社会科学の多くの分野で今日重要とされている考え方を体得してもらうのが重要なねらいとなります。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

授業時に案内します。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「政治の理論と機構」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法商医理薬〕 小川原 正道

〔授業科目の内容〕

政治学の基礎的な理解を深めることを目標とする本講義では、特に、政治学の基礎的な概念およびイデオロギー、思想といった理論的部分と、官僚制、議会、司法部といった政治機構について焦点を当てて講義をすすめる。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「政治過程の基礎」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法商医理薬〕 小川原 正道

〔授業科目の内容〕

本講義では、政治過程に主な焦点を当てて、政治学の基本的な理解を深めることを目指す。とりわけ、選挙や投票行動、政党、利益集団、世論やマスコミュニケーションといった領域に焦点を当てながら、政策過程についても講じていく。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「統治と自治」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法商医理薬〕 小野 修三

〔授業科目の内容〕

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「統治と自治」の観点から、歴史的な解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントはstateという言葉の当初の意味である。ブルクハルトはその『イタリア・ルネサンスの文化』(1860年)のなかで、マキャベリにおいては「支配者と、それに付随するものをいっしょにして、lo statoと呼ぶ。そしてこの名称はやがて不当にも、一つの領土全体を意味することになる」という一節を、理解することから、この政治学の時間は始まる。

〔教科書〕

無

〔参考書〕

篠原一『ヨーロッパの政治』（東大出版会）、高島通敏編『現代市民政治論』（世織書房）。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「国家と社会」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 小野 修三

〔授業科目の内容〕

今日の国民国家（nation state）の基礎を成している諸条件に関して、「国家と社会」の観点から、ヨーロッパ史上の出来事を材料に、解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントは国家という言葉の当初の意味である。篠原一がその『ヨーロッパの政治』（1986年）のなかで、16世紀の「国家はのち、市民革命の発生とともに生まれた国民国家と同一のものではなく、国王を中心とした中央機構の成立を意味するにすぎない」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

〔教科書〕

無

〔参考書〕

篠原一『ヨーロッパの政治』（東大出版会）、高島通敏編『現代市民政治論』（世織書房）。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「政治のこころ（政治の本質）」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 片山 素秀

〔授業科目の内容〕

たとえば、経済を定義するのは、簡単なようにも思えます。人間はからだを持っており、からだは物質であり、それを維持するには水や食料が必要であり、衣類や建物もあった方がよいでしょう。つまり、物である人間が生きてためには別の物がいろいろとなくてはならず、そこに自ずと経済が、換言すれば経済的機能を担った社会が発生するのです。というわけで、経済の基本は、物がなければ生きられないというところにあり、物が少ししかないと何だか心配になり、たくさんあると豊かな感じがするのです。

すると政治はどうでしょうか。経済よりも話が少しややこしくなるかもしれません。自分が慎ましく安全に生きたい、他人を幸せにしたい、みんなに自分の信ずる世界の理想のありようを押しつけない、あるいは他人をやっつけたい……。どれもこれもが、政治の基礎になり、本質をなしてきます。

そういうもろもろを解きほぐし、掘り下げ、展開しながら、政治とは何なのかを考えてみたいと思っています。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして、適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、講義の中で紹介します。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「政治のかたち（政治の規模と形態）」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 片山 素秀

〔授業科目の内容〕

政治をとりあえず何らかの駆け引きだとすると、それは常識的にはひとりで行うことはできません。相手があります。その相手の多い少ないの問題、あるいは相手の質の問題などで、種々多様な政治の状況が想定されてくるでしょう。そういう政治の規模や形態に着目してみたいと思います。

まずは人間でなくて、サルやチンパンジーの社会のこともはじめ、それから心理学の助けを借りて人間同士の1対1とか小人数間の駆け引きの話にゆき、続いて人類学や民俗学を援用して家や村の政治へ、ついで国、さらにもっと大きな規模へと、なるべく具体的な例に即しながら、膨らましてゆきたいと考えています。

きっと講義には、いろいろな時代や地域のさまざまな例が出てくることになるでしょう。筋が一本通るといっても、ばらけた具合になるでしょう。そんな中から皆さんの政治についての想像力が広まることを期待しています。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして、適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、講義の中で紹介します。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「分権・自治と民主主義」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 片山 善博

〔授業科目の内容〕

政治には常に権力が伴う。その権力をいかに民主的に作動させるかは、今日の社会にとって極めて重要な課題である。国政では憲法がその枠組みを決めているが、地方政府のレベルでも様々な仕組みが設けられている。民主主義の学校とも草の根民主主義とも言われる地方自治の諸制度について、国政や諸外国の制度との比較なども試みながら、我が国の民主政治の仕組みとこれからの課題について理解を深めたい。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布したい。

〔参考書〕

拙著『市民社会と地方自治』（慶應義塾大学出版会、2007年8月）

その他、授業の進捗に応じて随時示す。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「分権・自治と民主主義」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 片山 善博

〔授業科目の内容〕

春学期の授業を踏まえ、地方分権や財政再建など現在のわが国における主要な政治課題について取り上げ、その中から民主主義や民主政治にとって大切な要素を抽出・普遍化することにより、政治学を具体的かつ実践的に学ぶこととする。また、日々生起する様々な事象の中から重要な課題を読み取り、自ら主体的に考える力を身につけるようにしたい。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料プリントを配布したい。

〔参考書〕

拙著『市民社会と地方自治』（慶應義塾大学出版会、2007年8月）

その他、授業の進捗に応じて随時示す。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「戦後日本政治を理解する基礎」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 河野 武司

〔授業科目の内容〕

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の現代日本政治のこれまでの展開を理解する目を養うことが本講義の目的です。春学期に開講される本講義では、55年体制の成立まで取り扱います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

・石川真澄『戦後政治史 新版』（岩波新書、2004年、780円＋税）。その他適宜紹介します。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「現代日本政治を理解する基礎」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 河野 武司

〔授業科目の内容〕

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の現代日本政治のこれまでの展開を理解する目を養うことが本講義の目的です。秋学期に開講される本講義では、55年体制以降から現代までを取り扱います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

- ・石川真澄『戦後政治史 新版』（岩波新書、2004年、780円＋税）。
- ・河野武司他編『利益誘導政治』（芦書房、2004年）。その他適宜紹介します。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「国際政治を見る眼」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 西野 純也

〔授業科目の内容〕

本講義は、国際政治学で用いられる基礎的概念、分析枠組みを紹介しつつ、現代国際政治の諸問題に関する理解を深めることを目的とします。講義を通じて、現代国際政治の諸問題を表層的にではなく構造的に分析する力を養うことを目指します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

高坂正尙『国際政治』中公新書、1966年。

ブルース・ラセット他『世界政治の分析手法』論創社、2002年。

中西寛『国際政治とは何か』中公新書、2003年。

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』有斐閣、2004年。

原彬久編『国際関係学講義（第3版）』有斐閣、2006年。
山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年。

吉川直人・野口和彦編『国際関係理論』勁草書房、2006年。

ジョセフ・S・ナイ・ジュニア『国際紛争（原書第6版）』有斐閣、2007年。

藤原帰一『国際政治』放送大学教育振興会、2007年。

『シリーズ国際関係論』全5巻、東京大学出版会、2007年。

〔授業の計画〕（内容と順序は変更になる場合があります）

初回授業時に講義計画等に関するガイダンスを行いません。

〔成績評価方法〕

学期末試験の結果による評価。また、授業時間中に簡単なアンケートを数回実施して期末試験結果に加算します。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「北東アジアの国際政治と日本」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 西野 純也

〔授業科目の内容〕

本講義は、冷戦期から現在に至るまでの東アジアの国際関係について、日本との関わりを中心に検討します。なかでも、朝鮮半島をめぐる国際政治に対する理解を深めることを目指します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

- 渡辺昭夫編『戦後日本の対外政策』有斐閣、1985年。
 李庭植『戦後日韓関係史』中央公論社、1989年。
 小此木政夫編『ポスト冷戦の朝鮮半島』日本国際問題研究所、1994年。
 添谷芳秀『日本外交と中国 1945 - 1972』慶應義塾大学出版会、1995年。
 高崎宗司『検証 日韓会談』岩波新書、1996年。
 田中明彦『安全保障』読売新聞社、1997年。
 大島英樹・文正仁編『日韓国際政治学の新天地』慶應義塾大学出版会、2005年。
 鐸木昌之他編『朝鮮半島と国際政治』慶應義塾大学出版会、2005年。
 五百旗頭真編『戦後日本外交史（新版）』有斐閣、2006年。
 小此木政夫・西野純也編『韓国における市民意識の動態Ⅱ』慶應義塾大学出版会、2008年。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「政治学的手法による東アジアの政治社会分析」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

星野 昌裕

〔授業科目の内容〕

この授業は、東アジアの政治社会を理解するために必要不可欠な政治学の基本的な概念を実践的に理解してもらうことを目的とする。具体的には中国と台湾を事例にとりあげて民主主義、権威主義、社会主義などといった政治学の基本概念を習得してもらう。

〔教科書〕

授業で指示する。

〔参考書〕

授業で指示する。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「現代中国・台湾における政治社会の構造変動と諸問題の検討」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

星野 昌裕

〔授業科目の内容〕

この授業では、中国と台湾を事例に取り上げながら、政治社会上の構造変動によってもたらされる諸問題が各国各地域の政治や対外関係にどのようなインパクトを与えているかについて、地域研究および政治史の視点から解明することを目的とする。

〔教科書〕

授業で指示する。

〔参考書〕

授業で指示する。6. まとめ

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「現代日本の立法過程」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

柳瀬 昇

〔授業科目の内容〕

この講義は、わが国の立法過程の基礎などについて学ぶことを通じて、現実の政治を考える際の視点を養うことを目的とする。

これから法律学や経済学などの社会科学を専門に学ぼうとする学生にとっては、立法過程に関する基礎的な知識を習得することは不可欠である。また、人文科学や自然科学の道に進む学生も、現代社会において、政治と無関係に生きることはできない以上、自律的な市民生活を営むうえでの基礎的素養として、立法過程について学ぶことは、きわめて有益なことである。

わが国の政治制度はどのようになっていて、諸外国の制度と比較すると、どのような特徴が挙げられるのか。政党は、本来、どのような機能を果たすべきであり、そして、実際にわが国ではどのような機能を果たしているのか。選挙制度の類型にはどのようなものがあり、わが国の選挙制度はどのように変遷していったのか。戦後の政治・経済の歴史と呼応して、立法は、質的ないし量的に、どのように変化していったのか。法律が制定される過程は、どのようになっているのか。世界の議会はどのようになっているのか。わが国の国会の特徴とは何か。わが国の国会は、立法機関として十分に機能しているといえるのか。わが国の国会は、どのように改革すべきなのか——こういった問題について、受講する学生とともに考えていきたい。また、立法過程論とともに立法学を構成する立法政策論及び立法技術論についても講述することによって、制度デザインの構想力を養いたいという学生の知的欲求にも応えたいと思う。

なお、学生からの要望があれば、課外に、希望者のみで、霞ヶ関や永田町にある国の施設等の見学会を行うことも検討している（昨年度は、衆議院、厚生労働省、財務省、東京地方検察庁及び東京家庭裁判所を見学した）。

〔教科書〕

教科書は指定しない。授業担当者がレジュメと資料を作成し、授業時間中に配布する。

〔参考書〕

この講義を受講するにあたって有用な参考書等は、第1回の講義において説明する。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「現代日本の公共政策」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

柳瀬 昇

〔授業科目の内容〕

この講義は、わが国の公共政策の決定過程などについて学ぶことを通じて、現実の政治を考える際の視点を養うことを目的とする。

学問としての公共政策論は、どのように生成し、展開し、発展していくのか。そして、それは、現実の政策過程とどのような関係をもつのか。わが国の行政機関の組織は、どのようになっているのか。公共政策は、どのように形成され、遂行されているのか。公務員制度は、どのようになっているのか。橋本行革は、何だったのか。小泉改革は、何を指し、何を實現したのか。国の財政の仕組みはどのようになっているのか。地方の政治システムは、どのようになっているのか。民主的な政策決定とは、どうあるべきなのか。そもそも民主主義とは何なのか——こういった問題について、受講する学生とともに考えていきたい。また、公的年金制度、少子高齢社会対策、初等・中等教育制度の改革、行刑制度、産業振興政策、安全保障政策など、さまざまな個別具体的な政策分野についても、受講する学生の問題関心などに応じて、概観していくこととする。

なお、必要に応じて、現役の官僚や政治家など、ゲストスピーカーを呼ぶことや、任意の学生による自主的な調査研究成果の報告会を設けることなども検討している(昨年度は、内閣官房の課長補佐級の職員と人事院の審議官をお招きした)。

【教科書】

教科書は指定しない。授業担当者がレジュメと資料を作成し、授業時間中に配布する。

【参考書】

この講義を受講するにあたって有用な参考書等は、第1回の講義において説明する。

政治学Ⅰ／政治学（春学期）

「政治の世界への誘い」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 和田 寛伸

【授業科目の内容】

かつて哲学者高山岩男が「政治というものは実は天使の世界にもなければ畜類の世界にもなく、実に我々人間の世界にのみ存する現象なのである。“疑は人間にあり、天に偽なきものを”(謡曲「羽衣」と言われるように、天使の世界ありとすれば、それは嘘偽なく、作為術策なき政治以上の世界であるといえよう。これに対し、禽獣や畜生の世界は政治以下、政治以前と解していいであろう。政治はその意味で人間的な現象だと言わなければならぬ」(『哲学とは何か』『政治哲学』)とラコニックに道破した政治を、神と獣の狭間に生きる我々の“人間の学としての政治学”の立場を見定めて、より身近な現象としての政治を可能な限り平易に解説します。

【教科書】

小林良彰・河野武司・山岡龍一著『新訂 政治学入門』(放送大学教育振興会、2007年、2,100円、ISBN978-4-595-30734-8 C1331)

【参考書】

授業の場で指示・紹介します。

政治学Ⅱ／政治学（秋学期）

「政治の世界への誘い」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】 和田 寛伸

*前期の「政治学Ⅰ」との継続的受講が望まれます。所属学部によってはシステム上Ⅰ・Ⅱそれぞれ半期ごとの受講も可能ですが、教科書も通年使用で指定されていることから、後期の政治学Ⅱのみの受講はかなり厳しい独習が要求されますので、受講希望者は可能な限りⅠ・Ⅱの通年受講をしてください。

【授業科目の内容】

政治学Ⅰに同。Ⅱでは特に制度論と日本の政治の仕組みに焦点を絞った講義を準備しています。

【教科書】

政治学Ⅰに同。小林良彰・河野武司・山岡龍一著『新訂 政治学入門』(放送大学教育振興会、2007年、2,100円、ISBN978-4-595-30734-8 C1331)

【参考書】

授業の場で指示・紹介します。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）／
生物科学（実験を含む）（春学期）**

「ニュースの中の生物学」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。ヒトの皮膚細胞から万能細胞を誘導、BSEと狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子鑑定・遺伝子組み替え食品などの遺伝子関連の話題、クローン・ES細胞・臓器移植・代理母など生殖工学、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど。これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらの生物学的背景を持った社会問題をトピックスとして各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありませんが、体系的な概論ではなく、映像資料やプリント教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。初回の授業で年間授業予定を検討しますので、皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

種田保穂・秋山豊子共著『生きているってどういうこ

と?』培風館(2006年刊行)

〔参考書〕

授業時に適宜、紹介します。

**生物学Ⅱ(実験を含む) /
生物学(実験を含む)(秋学期) /
生物科学(実験を含む)(秋学期)**

「ニュースの中の生物学」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。ヒトの皮膚細胞から万能細胞を誘導、BSEと狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子鑑定・遺伝子組み替え食品などの遺伝子関連の話題、クローン・ES細胞・臓器移植・代理母など生殖工学、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど。これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらの生物学的背景を持った社会問題をトピックスとして各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありませんが、体系的な概論ではなく、映像資料やプリント教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。初回の授業で年間授業予定を検討しますので、皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

〔教科書〕

種田保穂・秋山豊子共著『生きていてどういうこと?』培風館(2006年刊行)

〔参考書〕

授業時に適宜、紹介します。

**生物学Ⅰ(実験を含む) /
生物学(実験を含む)(春学期)**

「生きもの(植物)の暮らしに学ぶ」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 上野 健

〔授業科目の内容〕

我々ヒトは、地球の生態系のなかに住まう一つの生きものである。よって、生態系の構造や仕組み、生態系を構成するヒト以外の様々な生きものの暮らしぶりを理解することは、我々がこれからの21世紀をよりよく生きて

いくためには必要不可欠である。本科目では、生態系の骨格をなす植物の生態現象を様々な観点から講述することにより、地球で暮らす生きものの流儀を学び、我々の今後の生き方の指針となるような知見の獲得を目指す。

〔教科書〕

特になし。適宜プリントを配布する。

〔参考書〕

特になし。必要があれば、講義のなかで紹介する。

**生物学Ⅱ(実験を含む) /
生物学(実験を含む)(秋学期)**

「生態系の構造と仕組みを理解する」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 上野 健

〔授業科目の内容〕

「生物学Ⅰ—植物の暮らしに学ぶ」に続く科目である。本科目では、主に地球上の様々な生態系の構造や仕組みに関して、時事問題を含めたいくつかの話題を提供する。「極地の生態学」では北極と南極の環境と生物を扱う。

〔教科書〕

特になし。適宜プリントを配布する。

〔参考書〕

特になし。必要があれば、講義のなかで紹介する。

**生物学Ⅰ(実験を含む) /
生物学(実験を含む)(春学期) /
生物科学(実験を含む)(春学期)**

「遺伝子の基本機能とヒトの遺伝」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 小野 裕剛

〔授業科目の内容〕

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。しかし文系学部の方皆さんもヒトという生物である以上、「知らなくて良いこと」ではありえません。これらの知見は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生き抜くための判断の材料に必要なからです。講義では遺伝や遺伝子の仕組みについて、基礎から解説することが中心になりますが、それが我々ヒトの生老病死にとってどのような意味を持ち、将来どのような判断を迫られる可能性があるのかについても解説を加えます。実験ではショウジョウバエを用いて「遺伝」「遺伝子」「酵素」「分子生物学」が統合的に理解できるようなプログラムを用意しています。実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な「調査・研究レポート」の書き方も指導していく予定です。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

〔参考書〕

講義の中で紹介する予定です。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）／
生物科学（実験を含む）（秋学期）**

「ヒトの高次生命現象を分子生物学的に見る」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】

小野 裕剛

〔授業科目の内容〕

遺伝子工学や細胞工学技術の発展により、これまで「運命」とされていたヒトの高次生命現象にも科学的介入が行われるようになってきました。このクラスではヒトの発生や免疫といった高次生命現象を解説しながら、遺伝子診断（着床前診断）、移植医療、環境ホルモン、エイズ、アレルギー、BSE、アルツハイマーなどトピックスについて、「遺伝子」「細胞工学」という切り口から、現在何が分かって何ができるのかについて解説を加えていきます。現在ではまだ法整備や倫理面での調整が付いていないことが多くありますので、これからの社会を担う皆さんに「生命科学技術がどうあるべきか」よく考えていただきたいと思っています。実験では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）／
生物科学（実験を含む）（春学期）**

「ヒトの生命活動」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】

金谷 信宏

〔授業科目の内容〕

ヒトは生きている間に様々な生命活動を行っている。ヒトは空腹になると食物を食べる。食物は消化され、分解されてエネルギーが生成される。そのエネルギーを使いヒトは運動することができるし、体の一部をつくり成長させることができるのである。これらの生命活動は細胞という、生命の基本単位で行われる。細胞の核にはDNAという高分子化合物が存在していて、その一部は遺伝子という、生命の設計図になっている。それは生殖により子孫に伝えられていくのである。このようなヒトの生命活動を生物学的に理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容をより理解するために、細胞の観察、細胞運動の観察、浸透圧と原形質分離、DNA模型作製、DNAの抽出などのテーマで隔週行われる。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）／
生物科学（実験を含む）（秋学期）**

「環境因子とヒト」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】

金谷 信宏

〔授業科目の内容〕

近年、地球環境の悪化は深刻な問題になっている。クロロフルオロカーボン（フロン）がオゾン層を破壊することにより、地上に到達する有害紫外線量が多くなり植物の生育が阻害され、ヒトの皮膚がんが増えると予想されている。アスベストによる肺がん増加、ダイオキシンなどの環境ホルモンの生殖細胞への影響も懸念されている。このような様々な環境因子がヒトに対してどのような影響を及ぼすのか、またヒトはそれにどのように対応しているのかを理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容と関連するテーマで隔週行われる。酵素反応、気孔の観察、体細胞分裂、ヒトの染色体、発がん物質による染色体異常の観察などを予定している。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「どうして私たちは、今ここにいるのか？：生物の進化」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】

金子 洋之

〔授業科目の内容〕

あなたたちは、「自分がどうして今ここにいるのか？」といった疑問を持ったことがあるだろうか？この問いは、現在、そして未来を生きていくあなたたちに、生物としての自分、そして自身の存在意義を考えさせることに繋がる大変重要なテーマである。何故なら、あなたたちの身体には、生物進化の歴史が刻まれており、両親の愛の結晶として生まれてきたといった個人レベルを越えた約38億年もの時間があなたたちの背景に存在している。この様な壮大な時間軸を背負っていることを明確に意識すれば、急速に変化を遂げている社会に個人としての尊厳無しに埋没させられがちな状況、対人関係などの些細な悩みに、全く別の視点（知的根拠）を持って立ち向かえると考えられる。さらに、あなたたちは人間社会のみでなく、地球家族の一員でもあり、ヒトのみが行うようになった自然破壊の危険を本当に自覚できるようになると思われる。

生物進化を少し紐解いてみたい。地球が46億年前に誕生し、細胞のプロトタイプが出来てきたのが38億年前。現在のバクテリアのような生き物であったと考えられている。そのうちにあるものは酸素を排出し、またあるものは酸素を利用するシステムを獲得し、約20億年といった気が遠くなるような膨大な時間をかけて、現在のあな

たたちを構成する細胞と似たものになってきた。最初は、これらの生き物（細胞）は個々に生活していたが、そのうちに互いが集合し、協調して生活する状態の多細胞生物が現れた。約18億年前のことである。多細胞生物は多様な形や生活様式を可能にするようになったと思われる、5億3000万年前のカンブリア紀と名付けられている時期では、約1万種とも推測される「かたち」の創出を試みた生き物たちが海の中に生存していた。そのうちの1種、ピカイアは私たちの先祖であり、他の多くの種は滅んでいった。やがて海から川を経由して、魚の一部が陸に上がり、最初は水部で生活していたが、代謝システムを発達させ、次第に陸の奥深くまで進出していった。

繁栄を窮めた恐竜の中で冴えない連中が哺乳類への進化を遂げた。この過程でも、多くの生き物は絶滅し、ほんの一部が地球環境の変化の荒波に偶然生き残り、リスからサルへ、そしてヒトへと分かれていった。地球46億年の歴史の中で、カンブリア紀以降の進化は加速している。現在の地球上に見られる多種多様な生き物は、絶滅の危機を回避しているものであるが、ヒトはその1種にしか過ぎない。

本講義では、生物進化に軸足を置き、「どうして私たちは今ここにいるのか？」というテーマで自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。

また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

〔教科書〕

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

〔参考書〕

M.ホーランド『Oh 生きもの！』三田出版会
石原勝敏他『目でみる生物学』培風館

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「私っていったい何？：生物としての身体の成り立ち」
3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 **金子 洋之**

〔授業科目の内容〕

多かれ少なかれ、あなたたちは自分の身体について何らかの興味を持ったことはあるだろう。しかし、それは自身が病気の時であったり、マスコミが何らかの形で紙面を賑わしていたりする時のみであったりするのかもしれない。もう少し幅を広げた視点から、生き物としての自分を学んでみると、あなたたちは如何に精緻な生き物であるかに驚かされると思う。そして、その理解は己の潜在的な能力だけでなく、逆にその脆さをも、日々の生活の中で意識させることに繋がると考えられる。それゆえ、これらの知識は、あなたたちに個人としての自立のための知的根拠を提供する。

講義内容を少し紹介してみよう。あなたたちの身体の

構造は、クラゲの身体が2段階ほど複雑になっただけである。またそのボディプランは、ハエやヒトデと一緒にある。一方、脊椎動物でもあるあなたたちは、無脊椎動物の生体防御システムを踏襲しながら、日吉と三田のバクテリアを識別して攻撃できる精密な防御システムを備えており、親兄弟での移植手術も不可能なことが多い程の生き物としての独自性を持っている。さらに脊椎動物でも最大に発達したあなたたちの脳は、本能的な、そして崇高な愛を遂行する器官であり、思考を介しての柔軟な記憶回路をも備えている。約60兆個もの細胞から成るあなたたちの身体には、機能的な無駄もあることは分かっているが、細胞どうしが協調し、互いに連携を行う効率性の高いシステムを完備した芸術品であることに気付かれることだろう。

本講義では、「私っていったい何？」というテーマのもと、自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。

具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

〔教科書〕

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

〔参考書〕

M.ホーランド『Oh 生きもの！』三田出版会
石原勝敏他『目でみる生物学』培風館

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「進化の産物としての生命」
3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 **上村 佳孝**

〔授業科目の内容〕

生物と無生物の違いとは何だろうか？ヒトとはどのような動物なのか？この授業では「進化」をキーワードにミクロからマクロまで、生物の世界を俯瞰します。すべての生物の体には30億年の進化の歴史の足跡が刻まれていて、その歴史の理解は私たち人類が今ここにこのような形で存在している理由を探る手がかりになります。授業では講義と実習を隔週でおこないます。実習では生命現象を自分の手と眼で理解するための多様なテーマが用意されています。また、講義の中でも実物資料や映像資料を多く取り入れます。各回の講義の最初にはその日のテーマに関連する疑問を挙げます。「なぜ多くの文化で近親間の結婚は禁忌とされるのか？」、「ヒトの男性と女性で持っている遺伝子の数はどれくらい違うのか？」、「地球上の生命の起源が単一だとされる根拠は何か？」などなど。必ずしも一つの正解があるとは限らないこれらの疑問に対し、自分の考えに基づいて議論できる能力を養うことで、日常に溢れる生物学関連のニュース（医療・環境・人間関係など）を批判的に理解できるようになることが授業の目的です。

〔教科書〕

指定しません。授業でプリント資料を配布します。

〔参考書〕

授業時に紹介します。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「進化の産物としてのヒト」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 上村 佳孝

〔授業科目の内容〕

生物と無生物の違いとは何だろうか？ヒトとはどのような動物なのか？この授業では「進化」をキーワードにミクロからマクロまで、生物の世界を俯瞰します。すべての生物の体には30億年の進化の歴史の足跡が刻まれていて、その歴史の理解は私たち人類が今ここにこのような形で存在している理由を探る手がかりになります。授業では講義と実習を隔週でおこないます。実習では生命現象を自分の手と眼で理解するための多様なテーマが用意されています。また、講義の中でも実物資料や映像資料を多く取り入れます。各回の講義の最初にはその日のテーマに関連する疑問を挙げます。「なぜ哺乳類では単為生殖（メスだけで子供を産んで増えること）が発見されていないのか？」、「生物が進化するということは進歩するということか？」、「『がん』がヒトからヒトへ感染する可能性はあるだろうか？」、「なぜ幼稚園の記憶はあるのに、一週間前の夕飯が思い出せないのか？」などなど。必ずしも一つの正解があるとは限らないこれらの疑問に対し、自分の考えに基づいて議論できる能力を養うことで、日常に溢れる生物学関連のニュース（医療・環境・人間関係など）を批判的に理解できるようになることが授業の目的です。

〔教科書〕

指定しません。授業でプリント資料を配布します。

〔参考書〕

授業時に紹介します。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「生物多様性をまなぶ」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 岸 由二

〔授業科目の内容〕

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として、進化論の視野を基礎としつつ、微生物、植物、動物、ヒトにわたる多様多彩な生物の特性をまなぶ。講義と隔週で実施される実験では多様な生きものにふれ、理解する機会を提供する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「地球環境危機と生物多様性」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 岸 由二

〔授業科目の内容〕

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として地球環境危機を主体的・構造的に理解するための基本ツール、ならびに生物多様性の危機に関する基本的な理解を提供する。講義と隔週で実施される実験では身近な機会を活かして生物多様性と生態系の姿にふれる。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「〔ヒト〕の生物学」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 倉石 立

〔授業科目の内容〕

皆さんは自分たちの生活と生物学との関わりをどう感じているのでしょうか。マスメディアを賑わす先端医療や遺伝子組み換え食品等を除けば、あまり実生活とは関係ないと思う人も多いかもしれません。しかし、我々自身も一種の動物であることを考えれば、全く無関心であることは出来ません。この講義では最も身近な生物である我々「ヒト」について様々な視点からみつめることによって、生物学の基礎的な知識や考え方を直接自分に関わる事柄として学んでいきます。具體的に「ヒト」の生殖と発生、身体の構造、体調を維持する機構について、ニュース等を賑わせた話題等も取り入れて解説します。並行して講義の主要なテーマである遺伝子・有性生殖・初期発生に関する実習を行い、これらのテーマに対する理解を深めます。

〔教科書〕

特にありません。必要に応じて講義時に資料を配布します。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「ヒトを取り巻く世界」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 倉石 立

〔授業科目の内容〕

皆さんは日常の生活の中で「ヒト」以外の生物との関わりをどのくらい意識しているのでしょうか。ひょっとするとこの世が人間だけで成り立っている様な錯覚に落ちいってはいないでしょうか。実際には呼吸に必要な酸素、日々の食料、快適な生活を支える化石燃料等、直接・間接に他の生物に依存して生活しています。我々は地球環境を構成する複雑なシステムの一部であり、このシステムから離れては生きては行けません。

この講義では、我々を取り巻く多様な生物を生み出した進化の歴史、それらの生物の生活を支える環境と生物との関わり等について話を進めます。かけがえの無い地球の環境が実に微妙なバランスの下に保たれているということを認識し、その安定を脅かす諸問題に目を向けるきっかけとなることを望みます。

〔教科書〕

特にありません。必要に応じて講義時に資料を配布します。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「科学技術・生殖技術と人間」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

生物Ⅰ・Ⅱの講義と実験を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知ることをテーマにします。生物Ⅰの講義では性と生殖をめぐる問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

〔教科書〕

使いません。必要に応じて資料・プリントを配布します。

〔参考書〕

テーマに応じて紹介します。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「環境と人間」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

生物Ⅰ・Ⅱの講義と実験を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知ることをテーマにします。生物Ⅱでは地球の歴史とヒトの誕生、環境問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

〔教科書〕

使いません。必要に応じて資料・プリントを配布します。

〔参考書〕

テーマに応じて紹介します。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「生物のしくみを知ると見えてくるもの」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 西川 純雄

〔授業科目の内容〕

生物はどんなに原始的、単純なものでも合理的で自己完結した系を作っているように見える。ゾウリムシのような単細胞生物にも口の役割を果たす構造があり、一方わたしたち人間にも食物を摂取する複雑な口腔が見られる。どんなに構造が違っていても、生物は要求される機能に対応している。生物は巧妙な仕掛けを、驚嘆するほどの精度で作りに上げるとともに、ある働きを行うためにさまざまなやり方をフレキシブルに利用しているように見える。この授業ではこれらの一端を、基本単位である細胞を中心として生命を理解し、さらに発展的にいくつかのトピックスについて話題を提供し理解を深める。トピックスとしては、組織の例としての歯や骨の生物学、細胞の死（アポトーシス）、等を取り上げる予定である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の際に紹介します。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「生物のしくみを知ると見えてくるもの」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 西川 純雄

〔授業科目の内容〕

生物はどんなに原始的、単純なものでも合理的で自己完結した系を作っているように見える。ゾウリムシのような単細胞生物にも口の役割を果たす構造があり、一方わたしたち人間にも食物を摂取する複雑な口腔が見られる。どんなに構造が違っていても、生物は要求される機能に対応している。生物は巧妙な仕掛けを、驚嘆するほどの精度で作りに上げるとともに、ある働きを行うためにさまざまなやり方をフレキシブルに利用しているように見える。この授業ではこれらの一端を、基本単位である細胞を中心として生命を理解し、さらに発展的にいくつかのトピックスについて話題を提供し理解を深める。トピックスとしては、免疫系、感覚に関わる神経系、細胞骨格、遺伝子と遺伝、発生の生物学、動物の比較解剖・生理等を取り上げる予定である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の際に紹介します。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「ヒトに見る生物学Ⅰ」
3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 長谷川 由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられています。現代は、文系の人たちにとっても、生命科学に対して無関心ではいられない時代となっています。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる社会問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「ヒトに見る生物学Ⅱ」
3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 長谷川 由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられています。現代は、文系の人たちにとっても、生命科学に対して無関心ではいられない時代となっています。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる社会問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

**生物学Ⅰ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（春学期）**

「生命のしくみを探る（遺伝子から見た生命）」
3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。バイオの知識と技術が我々に恩恵をもたらす一方で、「何をどこま

でやるか」ということが大きな問題となっている。これからの時代においては、「生命とは何か」という本質的な問いかけに一人一人が真剣に向き合い、自分の“生命観”を持つことが必要になる。そこで本講義では、生命の設計図である遺伝子DNAの構造・機能を踏まえた上で、生命のしくみを分りやすく解説する。また、遺伝子DNAに関する応用技術・トピックなど、生物学や医学の興味深い話題も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

**生物学Ⅱ（実験を含む）／
生物学（実験を含む）（秋学期）**

「生命のしくみを探る（遺伝子から見たヒト）」
3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。このような時代だからこそ、「生命とは何か」「ヒトとは何か」といった、根源的な問題を生物学的に考えることが重要になっている。そこで本講義では、ヒトに関するさまざまな生命現象をとりあげ、ミクロレベル・マクロレベル・進化的観点から多角的に考察し、分りやすく解説する。また、遺伝子が関係する身近な病気やトピックなど、我々の健康に関する有用な情報も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生命現象の分子科学

2単位 秋学期
【商理】 柳川 弘志

【授業科目の内容】

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA→RNA（リボ核酸）→タンパク質となっている。これはセントラルドグマ（中心教義）と呼ばれている。DNAの情報がいったんmRNA（メッセンジャーRNA）に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質

の働きによってつくられ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕組み、セントラルドグマ、生命の起源や化学進化、タンパク質と酵素の働き、RNAの基本的な性質とRNA触媒、進化分子工学、ゲノムと医療などについて、基礎から先端分野まで解説する。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

配布プリント

柳川弘志著『遺伝子情報は人類に何を問うか』ウエッジ選書、ウエッジ

柳川弘志（共著）『新しい地球史・46億年の謎』有隣堂

柳川弘志著（共著）『地球惑星科学入門』岩波講座・地球惑星科学第1巻、岩波書店

生命の科学

〔生命科学の最前線の現況と問題〕 2単位 春学期

【文経商医】

大前 和幸（コーディネーター）

*医学部生は履修できません。

相磯 貞和 岡野 栄之

岡本 真一郎 鹿島 晴雄

北川 雄光 小安 重夫

白波瀬丈一郎 末岡 浩

竹内 勤 藤田 眞幸

向井万起男

（五十音順）

〔授業科目の内容〕

最近の生命科学の進歩は著しいものがあるが、それにつれて人文、社会科学などとの接点が次第に複雑、多面化しつつある。従って、相互の理解を推進することは益々重要になってきている。このような状況に鑑み、本科目においては現在の生命科学のうち最も先端的なテーマを選定し、人文、社会、理工など他領域との接点に配慮しながら、医学部の専門研究者が平易な解説を行う予定である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

世界の政治

〔グローバル化する世界と日本〕 2単位 春学期

【経商医理薬】

明田 ゆかり

〔授業科目の内容〕

グローバル化の進行は、安全保障や経済的繁栄の追及における多国間協力の必要性を高める一方で、世界各地での地域主義の増大を招いています。この講義では今日の国際関係におけるこの多国間主義と地域主義の関係を理解し、またそれに対する日本のこれまでの政策と今後の戦略についての理解を深めることを目的とし

ています。第1部では集団安全保障の枠組みである国連（UN）、第2部では多国間の貿易レジームである世界貿易機関（WTO）、そして第3部では地域統合の代表である欧州連合（EU）およびアジアにおける地域主義を扱い、それぞれにおける日本の立場を解説します。

講義ではパワーポイントと教材提示装置を用い、毎回講義のハンドアウトを配布します。さらに必要に応じてビデオ、インターネットを活用します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

・ 庄司真理子・宮脇昇[編著]『グローバル公共政策』（晃洋書房、2007年、2,300円）

・ 藤原帰一・他[編]『国際政治講座』1-4（東京大学出版会、2004年、各2,625円）

・ John Baylis and Steve Smith, The Globalization of the World Politics, Oxford University Press, 2005.

・ テーマ毎の参考書は毎回配布するハンドアウトに記載します。

戦争と社会

2単位 春学期

【経商】

長谷川 淳一 矢野 久 他

〔授業科目の内容〕

20世紀は〈戦争の世紀〉といっても過言ではないほど、戦争や虐殺がおこなわれ、地域紛争も絶えなかった世紀であった。20世紀の戦争は、戦争の手段、技術あるいは規模といった点で、19世紀までの戦争とは根本的に異なる性格をもっている。そして、今世紀は9・11で始まり、対イラク戦争などが生じ、戦争が終わる徴候は一向にみられない。

本総合講座は、戦争にかかわるさまざまな問題を社会・歴史に関係させて多面的に考えてみようという試みである。戦争は政治、経済、社会、文化、宗教などさまざまな要因がからんでいるからである。また、「戦争と社会」といっても、多様な考え方があり。本講座では、さまざまや領域で活躍する人を、経済学部のスタッフをはじめ多数の講師を学外から招いて、それぞれの立場から、戦争と社会の問題を論じてもらう。

造形・デザイン論

〔古美術に見る日本の造形・日本のデザイン〕

2単位 秋学期

【経商医理】

木下 京子

〔授業科目の内容〕

美術の見方がわからない、それが古美術になるとなおさら難しい。このように思う人は多いかもしれませんが。けれども、歴史的背景や文化の流れを踏まえて作品を見ていくと、例えばその時々々の為政者の趣味や世の中の流行が反映されていたり、あるいは貿易を通して海外からもたらされた美術品の影響を受けていることがわかってきます。また、絵巻物を詞書（ことばがき）（絵と絵の

説明文や画中の言葉)とともに端から見ていくと、漫画やアニメに通じるものがあることが感じられます。平安時代や鎌倉時代に制作された作品が決して遠い過去のものではなく、今に生きる私たちにも理解し共感することができるのです。そこで本授業では、平安時代から江戸時代までの主な絵画や工芸意匠を、作品が成立した背景と考え合わせながらスライドで鑑賞し、日本の造形美について考えます。

〔教科書〕

授業時にプリントを配布

〔参考書〕

辻惟雄監修『日本美術史』美術出版社、1991年

造形・デザイン論

「ヴィジュアルの意味：すぐれた造形、良いデザインとは？」 2単位 秋学期

〔文経商医薬〕

児島 やよい

〔授業科目の内容〕

「造形・デザイン」を広くとらえ、日常接するもの、メディアで目にするものから、美術、建築、ファッション、映像なども含め、「ヴィジュアル」の意味を考えてみましょう。そのヴィジュアルはなぜカッコイイのか？なぜ人の心を打つのか？と。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しません。

授業時にプリントを適宜配布します。

地域研究—スペイン事情 I

「スペインにおける国と地域」 2単位 春学期

〔文経商医薬〕

八嶋 由香利

〔授業科目の内容〕

スペインと聞くと皆さんは何をイメージしますか。フランメンコや闘牛でしょうか。それともサッカーですか。最近ではマドリードの列車爆破テロが世界を驚かせました。スペインは実に多様な地域からなり、地中海と大西洋、内陸中央と周縁部では気候・風土や言語、歴史、文化・習慣などがかなり異なっています。サッカーなどのスポーツからテロという社会問題に至るまでこの「地域性」が関わっているのです。本授業ではスペインの基礎的な知識を習得し、この国への理解を深めるとともに、日本社会との比較検討を行いつつ、「現代に生きる」ことの意味を考えたいと思います。

〔教科書〕

・碓編『ヨーロッパ読本 スペイン』（河出書房新社、2008年初頭出版予定）

また、授業中にプリント、資料を配布する。

〔参考書〕

・坂東、戸門、碓編『現代スペイン情報ハンドブック（改訂版）』（三修社、2007年）

・碓順治『現代スペインの歴史』（彩流社、2005年）

（授業中にビブリオ配布）

地域研究—スペイン事情 II

「スペイン人の関心事と社会問題」 2単位 秋学期

〔文経商医薬〕

八嶋 由香利

〔授業科目の内容〕

国境を越えてヒトやモノが容易に移動する今日、スペインでも外国人移民の存在が深刻になっています。ベルリンの壁崩壊後、東欧からの流入者が増え、また歴史的繋がり強い中南米諸国からも移民が急増しました。さらに、アフリカから船で不法入国しようとする人も絶えません。こうした移民の流入は、これまでスペイン人から疎外されてきた「ヒターノ（ジプシー）」との暮らしにも影響を与えています。授業では少子高齢化社会に向かうスペインが「外国人」や「内なる他者」とどのような共生関係を築き上げようとしているのかについて考えます。この課題はアジアの人びと向き合う私たち日本人にとっても無縁ではありません。最後に、やはり現代社会が共通に抱える問題として「環境」「都市」を取り上げます。

〔教科書〕

・碓編『ヨーロッパ読本 スペイン』（河出書房新社、2008年初頭出版予定）

また、授業中にプリント、資料を配布する。

〔参考書〕

・坂東、戸門、碓編『現代スペイン情報ハンドブック（改訂版）』（三修社、2007年）

・碓順治『現代スペインの歴史』（彩流社、2005年）

（授業中にビブリオ配布）

地域研究—中国事情 I

「近代中国の歩み」 2単位 春学期

〔文経商医薬〕

宇 振領

〔授業科目の内容〕

中国はアヘン戦争（1840-1842）で負けた。その年から中国が二千年以上も続いた封建社会が終わり、半植民地・半封建社会に入った。それまで、「天朝大国」とうぬぼれていたが、この敗戦より強い屈辱感を受けた。アヘン戦争から第二次アヘン戦争（アロー号事件）、清仏戦争、日清戦争、八国連合軍の北京占領…、敗戦の連続だった。敗戦の恥をそそぎ、外国列強の抑圧から抜け出す熱望が近現代中国の底流になっている。

当講義では、中国近代史で大きな役割を果たした人物また事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

〔教科書〕

参考資料を配布する

〔参考書〕

適宜に指示する

地域研究－中国事情Ⅱ

「現代中国の歩み」

2単位 秋学期

【文経商医薬】

宇 振領

〔授業科目の内容〕

第一次世界大戦と第二次世界大戦の時、アジア唯一の強国－日本はその機に乗じて、中国や東南アジアでの勢力範囲を拡大した。特に、中国での権益を守り、さらに拡大のために、「満洲事変」「盧溝橋事件」などを起こし、八年間も続く「日中戦争」に発展した。中国は国際戦線の一員として戦勝を得た。

その後、蒋介石と毛沢東はさらに五年間の戦争を経て、新中国建国。やっと外国列強の抑圧と戦乱から逃れた人民大衆は、平和な生活を望んだが、それと裏腹に建国後も「運動」に続く「運動」の混乱による災難が余儀なく経験させられた。

当講義では、中国現代史で起った事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

〔教科書〕

参考資料を配布する

〔参考書〕

適宜に指示する

地域研究－中国事情Ⅲ

「中国の地域と食文化」

2単位 春学期

【文経商医薬】

千田 大介

〔授業科目の内容〕

多くの人は漠然と、中国は均一な国民から成り立つ近代的な国家であると考えているのではなからうか。だが現実の中国は、言語・文化・気風の大きく異なる地方の連合体としての性格が色濃い。こういった中国における地域文化の差異を、本講義では食文化を一つの手がかりとして考察する。

題材には、北京・上海・四川・広東料理を取りあげる。清代以降、それぞれの地域文化・食文化がいかに形成されたのかをなぞり、またそれらの地域文化が20世紀以降、全国そして世界に広まった経緯を検討する。食という身近な素材を通じて、現代中国文化の形成過程・中央と地方・伝統文化の保護などの諸問題について考える上での基礎的な知識と視点を身につけてもらいたい。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

張競『中華料理の文化史』ちくま新書

陳建民『さすらいの麻婆豆腐』平凡社ライブラリー

その他、教場で指示する。

地域研究－中国事情Ⅳ

「中国同時代文化概説」

2単位 秋学期

【文経商医薬】

千田 大介

〔授業科目の内容〕

現代中国の文化について、その概略を講義する。

中華人民共和国における文化は、従来、共産党のプロパガンダツールという位置づけであったが、近年の市場経済化と対外開放の進展によって、大きく様相を変えつつある。本講義ではその実態を、ネット・映画・音楽（ポップス・ロック）・テレビ・雑誌および日本アニメ・漫画の受容などを題材に考察する。本講義を通じて、中国文化を取り巻く特殊な環境についての知識を身につけ、中国理解を深めてもらいたい。

なお、Windows PCによる中国情報検索・中国語処理の実習も行う予定である。

〔教科書〕

千田大介・山下一夫『北京なるほど文化読本』大修館書店（近刊）

〔参考書〕

『チャイニーズ・カルチャー・レビュー』1～5、好文出版

その他、必要に応じて教場で指示する。

地域研究－北米事情Ⅰ

「文化地理への入門」

2単位 春学期

【文経商医薬】

近藤 光雄

〔授業科目の内容〕

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。全米各地の文化地理を紹介します。将来旅行、留学、滞在を考えている学生には特に有益な授業になると思います。

〔参考書〕

岡田 泰男『アメリカ地域発展史』（有斐閣、1988）

Luther S Luedtke, Making America, 1988

田辺裕『世界の地理：図説大百科、アメリカ』（朝倉書店、2000）

地域研究－北米事情Ⅱ

「多様なアメリカ文化」

2単位 秋学期

【文経商医薬】

近藤 光雄

〔授業科目の内容〕

（北米事情Ⅰを履修していない学生も履修してもかまいません）

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。現在のアメリカ社会の多様性についての文化・歴史背景を探って、アメリカ社会をまとめているものは何かを探っていきます。合衆国の人びとのもつどのような価値観からアメリカ合衆国がなぜ世界や日本にたいし現在にいたる態度をとるのか。アメリカ合衆国を中心に北米社会の様々な問題を歴史、言語、文化、エ

スニックの巨視的観点から論じ講義をすすめます。

〔参考書〕

坂本一哉『日米同盟の絆』（有斐閣：2000）

五十嵐武士編『アメリカ外交と21世紀の世界：冷戦史の背景と地域的多様性をふまえて』（昭和堂、2006）

Studs Terkel:Race (NY:The New Press, 1992) スタッズ・ターケル『人種問題』（晶文社、1995）

紀平英作他『グローバリゼーションと帝国』（ミネルヴァ書房、2006）

『史料で読むアメリカ文化史（5） アメリカ的価値観の変容 1960年代～20世紀末』（東京大学出版会、2006年）

地域生態文化論

「自然と共存する都市をつくる」2単位 春学期／秋学期

〔文経商〕 岸 由二

〔授業科目の内容〕

自然と共存する都市あるいは都市文化の形成は、環境回復の時代を拓く大テーマのひとつである。本講義は流域を中心とする自然ランドスケープの地図ならびに生態文化複合という概念を手がかりとして、都市における自然保全、あるいは自然共生型都市づくりの方法、モデル、現在進行中の実践事例などを学ぶ。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

- ・岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）
- ・岸由二『リバーネーム』リトル・モア（1994年）
- ・岸由二ほか『流域圏プランニングの時代』技報堂（2005）
- ・慶應義塾大学経済学部編『変わりゆく共生空間』弘文堂（1999年）
- ・本間義人『国土計画を考える』中公新書（1999年）

地域文化論

「都市と近代 —19世紀の首都パリ」

2単位 春学期／秋学期

〔経商医理〕 宮川 尚理

〔授業科目の内容〕

パリの屋根つき商店街パサージュは、ベンヤミンが19世紀を考察するときの出発点でした。一方で、パサージュは20世紀前半の前衛運動シュルレアリスムの主要な舞台のひとつでもあります。ベンヤミンの『パサージュ論』をひとつの手掛かりに、パリを舞台にした文学作品を紹介し、19世紀後半から20世紀前半までのパリという都市の変貌を追います。『眠るパリ』、『ファントマ』など、パリを舞台にした初期の無声映画も紹介する予定です。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

ベンヤミン『パサージュ論』岩波現代文庫、ブルトン『ナジャ』岩波文庫など、授業の中で指示します。

地域文化論Ⅰ～Ⅳの今年度開講の授業は次の通りです。

地域	科目名	担当者
アメリカ	「地域文化論Ⅰ」	常山 菜穂子
アメリカ	「地域文化論Ⅱ」	奥田 暁代
アメリカ	「地域文化論Ⅲ」	鈴木 透
アメリカ	「地域文化論Ⅳ」	大和田 俊之
イギリス	「地域文化論Ⅰ」	佐藤 元状
イギリス	「地域文化論Ⅱ」	武藤 浩史
イギリス	「地域文化論Ⅲ」	横山 千晶
イギリス	「地域文化論Ⅳ」	佐藤 元状 武藤 浩史 横山 千晶
ドイツ	「地域文化論Ⅰ」	三瓶 愼一
ドイツ	「地域文化論Ⅱ」	許 光俊
ドイツ	「地域文化論Ⅲ」	岩下 真好
ドイツ	「地域文化論Ⅳ」	岩下 真好
フランス	「地域文化論Ⅰ」	宮下 理恵子
フランス	「地域文化論Ⅱ」	宮下 理恵子
フランス	「地域文化論Ⅲ」	大出 敦
フランス	「地域文化論Ⅳ」	大出 敦
スペイン	「地域文化論Ⅰ」	丸田 千花子
スペイン	「地域文化論Ⅱ」	鈴木 恵美子
ラテンアメリカ	「地域文化論Ⅰ」	大久保 教宏
ラテンアメリカ	「地域文化論Ⅱ」	矢澤 達宏
ラテンアメリカ	「地域文化論Ⅲ」	本谷 裕子
ラテンアメリカ	「地域文化論Ⅳ」	本谷 裕子
東アジア・中国	「地域文化論Ⅰ」	林 秀光
東アジア・中国	「地域文化論Ⅱ」	安田 淳 林 秀光
東アジア・中国	「地域文化論Ⅲ」	安田 淳
東アジア・中国	「地域文化論Ⅳ」	安田 淳
ロシア	「地域文化論Ⅰ」	山田 恒
ロシア	「地域文化論Ⅱ」	山田 恒
東アジア・朝鮮半島	「地域文化論Ⅰ」	磯崎 敦仁
東アジア・朝鮮半島	「地域文化論Ⅱ」	磯崎 敦仁

地域文化論Ⅰ

「アメリカ研究入門」 2単位 春学期
【経法政商医薬】 常山 菜穂子

〔授業科目の内容〕

今後とも日本にとって重要な国であり続けるアメリカを理解するには、統合化と多様化という相反するベクトルが、この国の推進力としてどのように作用しているのかを把握する必要があります。この授業では、アメリカに関わる問題を扱う際に欠かせない基礎知識や背景の知識を整理しながら、これら二つのベクトルを軸に実験国家としてのアメリカ文化・社会の特質を考えます。アメリカ史の概略も理解できるよう、各回のテーマを組んでいます。

〔教科書〕

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年 2,400円）

地域文化論Ⅱ

「アメリカ南部論」 2単位 秋学期
【経法政商医薬】 奥田 暁代

〔授業科目の内容〕

イラクのアブグレイブ刑務所における囚人虐待の実態が明らかになり説明を求められたブッシュ大統領は、虐待写真に「嫌悪を催す」、虐待は「私の知っているアメリカを反映していない」と述べた。虐待の担い手としてマスコミに大々的に報じられ、軍法会議では実刑判決を受けた女性兵士リンディー・イングランドは、南部の田舎出身いわゆる「ヒルビリー」である。アメリカは往々にして犯した過ちやネガティブなイメージを南部の教養もなく貧しい白人に押しつけようとし、このときもそうだった。過去の人種差別にしても現在の移民に対する反発にしても変わらない。

それでいてブッシュ大統領は「南部的」だと言われる。また、上院、下院両議会で実権を握る政治家の多くも南部出身者である。アメリカの恥部を象徴し（あるいはそのスケープゴートとなる）、なおかつアメリカの中核でもある「南部」を歴史的に考察することによって、見えざるアメリカの姿を解明するのがこの授業の目的である。

講義では、

- (1) 南部には、奴隷制度、人種差別、貧困、低教育水準などつねに否定的なイメージがつきまどってきた、
 - (2) しかし、南部に内在する諸問題はアメリカの諸問題でもある、
 - (3) しかも、南部はアメリカ社会、文化、政治、経済に多大な影響を及ぼしてきた、
 - (4) 現在、アメリカ全体が「南部化」している
- という点を前提に、おおまかに年代を追いながら以下の話題を取り上げ、現代アメリカの抱える諸問題について考えていく。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003年）

地域文化論Ⅲ

「食」から考えるアメリカ

2単位 春学期

〔経法政商医〕

鈴木 透

〔授業科目の内容〕

食べ物は、私たちが外国に対して興味を持つ際の重要な入り口の一つといえるでしょう。しかしながら、栄養学のような分野を除けば、食文化というテーマが学問の対象として、まして、それが外国研究の一つの柱として大学で扱われることは、日本ではほとんどありません。とはいえ、考えてみれば、「その社会の人々が何を食べ、何を食べないのか」、また、「どうやって、どういう時に食べるのか」、そして、「そもそもなぜそれを食べるようになったのか」といったことは、本来その社会の文化的特性を最もよく表す現象の一つであるばかりでなく、そこには、その社会の歴史的経験や、外界との交流の記憶が凝縮されているのではないのでしょうか。食べ物、それは、一見学問の対象にそぐわないように見えて、実は特定の人間集団の正体を考え直す、重要なヒントを含んでいるはずなのです。

この授業では、上記のような問題意識に立って、アメリカが生み出してきた様々な食べ物／飲み物や食習慣の持つ、歴史的、社会的、文化的、経済的、政治的意味を総合的に検証しながら、そこに刻まれたアメリカの経験の特質とアメリカ的創造力の可能性や課題について考えていきます。授業では以下の点に力点を置きます。

- ①アメリカの食文化が、その成立過程において非西洋に起源を持つ食の伝統に大きく依存しており、その意味において、アメリカ料理＝西洋料理という常識を再検討する必要があること
- ②アメリカの歴史的経験が、新たな食の創造や、食べ物／飲み物の社会的選択に深く関わっていること
- ③アメリカの食文化は、この国がどのような創造力を発揮し、何を目指そうとしてきたのかの生き証人であり、今後アメリカが歩むべき方向性に対する重要なヒントがそこに隠されていること

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

地域文化論Ⅳ

「アメリカン・ポピュラー・ミュージックの文化史」

2単位 秋学期

〔経法政商医〕

大和田 俊之

〔授業科目の内容〕

ブルース、ジャズ、カントリー、R&B、ロックンロール、ファンク、ヒップホップ、ハウスなど、20世紀ポピュラー音楽の多くはアメリカで誕生しました。本講義では、アメリカの音楽文化を社会との関わりにおいて考察し、様々な音楽ジャンルがどのように形成され、発展してきたかをたどります。19世紀のミンストレル・ショウから現代のポピュラー・カルチャーまで概観しますが、その際、「アメリカ音楽の歴史」を単に年代順に解説するだけでなく、そのような「音楽史」そのものがどのように構築されてきたかという系譜学的手法を採用します。

ある国の音楽文化は、その国の法制度や政治形態、さらには産業構造と無縁ではありません。特にアメリカにおいては、「その音楽は誰のものなのか？」という所有＝音楽著作権の問題がジャンル形成や商品の流通と深く関わってきました。ヒップホップにみられる「サンプリング」の技術や、昨今のCD違法コピーの問題はその顕著な例でしょう。また、ブルースやジャズ、それにカントリーなど主に「人種」によって分節化される音楽ジャンルの発展は、各時代の政治的イデオロギーと密接な関係があります。こうした点を念頭におきつつ、最終的にはアメリカン・ポピュラー・ミュージックの日本への流入にも触れる予定です。

講義の性質上、CD、DVD、ビデオ等の資料を頻繁に利用し、実際の音源や映像を通してアメリカのポピュラー音楽に対する理解を深めます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布する。

地域文化論Ⅰ

「イギリス文化を学び捨てる——イギリス地域文化（超入門）」

2単位 春学期

〔経法政商医薬〕

佐藤 元状

〔授業科目の内容〕

本講義では、イングランドのみを主要な対象とする従来のイギリス地域文化論を相対化するために、大英帝国の〈遺産〉であるイギリス連邦や連邦には属さない旧植民地の国々や都市の文化を概観し、「イギリス文化」が現地のさまざまな文化と混合し、格闘し、各地でユニークな文化を生み出していく様子を学んでいきます。純粋で均質的な文化は存在しません。文化はつねに雑種であり絶えず変化していくものです。イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランドにはじまり、ケニア、南アフリカ、インド、シンガポール、香港、オーストラリア、ニュージーランド、カリブ海、カナダと駆け足で、世界を一周していき、イギリス文化なるものの多

様な変遷をグローバルな視野から問い直します。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

武藤浩史他編『愛と戦いのイギリス文化史 1900-1950年』（慶應義塾大学出版会、2007年）

地域文化論Ⅱ

「イギリス的想像力とイギリス社会」 2単位 秋学期

【経法政商医薬】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

映画、音楽、文学などの芸術作品を用いて、第二次世界大戦後のイギリス的想像力の諸相と政治・社会・文化との関係を探ってゆきたい。もっとも、戦後は戦前と繋がっているから、戦前のイギリス文化の伝統がどのように受け継がれ、どのように断絶しているかも、合わせて検討することになるだろう。中心を成すのはベートルズを核として世界を席卷した1960年代のイギリス発「文化革命」論である。

【教科書】

D.H.ロレンス著『チャタレー夫人の恋人』（ちくま文庫）

川端康雄、武藤浩史他編『愛と戦いのイギリス文化史——1900-1950年』（慶應義塾大学出版会）

地域文化論Ⅲ

「There's No Wealth but Life—ヴィクトリア朝の夢と私たち」 2単位 春学期

【経法政商医】

横山 千晶

【授業科目の内容】

21世紀とはどんな時代でしょうか。情報化の波、環境問題、広がる格差、衝突する価値観、宗教と倫理の相克……。現代はとてもエキサイティングな時代であると同時に、大変生きにくい時代でもあります。同じような興奮と問題に直面していたのが、19世紀のイギリスです。産業革命をいち早く成し遂げたイギリスでは、科学と宗教、自然と土地開発、階級間の相克と共存など、新旧の価値観がせめぎ合いつつも共存を計ろうとした時代でした。同時に芸術を始めとし、さまざまな人間の創造的な活動が大量生産と資本主義の中に組み込まれ、大きく変化していく時代でもあります。

そんな変化の中で、人々はどのようにして生きる足場を築き、生きる意義を見出そうとしたのか。そして、その試みはどのような運動となって今の私たちにまで影響を与えているのか。その足跡をたどることがこの講義の目標です。キーワードはまさに今の私たちにも大いに関係する「環境」「消費」そして「未来への夢」です。過去を振り返ることで前へと進んでいくヒントをつかみましょう。

【教科書】

なし。ハンドアウトを使います。

【参考書】

武藤浩史他編『愛と戦いのイギリス文化史 1900-1950年』（慶應義塾大学出版会、2007年）

地域文化論Ⅳ

「愛と戦いのイギリス文化——20世紀前半編」

2単位 秋学期

【経法政商医】

佐藤 元状

【授業科目の内容】

20世紀前半に、さまざまな領域で、イギリス文化が花開いた。アルフレッド・ヒッチコックとチャーリー・チャップリンという2人のイギリス人が揺籃期の映画を20世紀の芸術に育てあげた。コナン・ドイルがシャーロック・ホームズを書き、アガサ・クリスティがエルキュール・ポワロやミス・マーブルを生んで、探偵小説が一大ブームをまきおこした。J・M・バリの戯曲『ピーター・パン』は、子どもだけでなく大人も楽しめる意味深い児童文学を誕生させた。『タイム・マシン』や『透明人間』や『宇宙戦争』を書いたSF小説の父H・G・ウェルズがいた。繊細きわまる女流作家ヴァージニア・ウルフや『チャタレー夫人の恋人』を書いた爆弾児D・H・ロレンスがいた。ラジオや大衆新聞が大流行し、ウェンブレイ・スタジアムが出来て、プロ・サッカーが盛り上がった。

しかし、文化が花開く時代は常に激動と混乱の時代である。20世紀前半のイギリス社会は、第一次世界大戦に大きく傷めつけられ、フェミニズムと婦人参政権が絡んだ女性運動で揺さぶられ、精神分析やオカルトが流行り西洋の理性信仰が弱体化して、インドやアイルランドの独立問題で頭を悩ました。しかし、アメリカの追い上げにも関わらず、いまだイギリスは世界最大の植民地を誇り、構造改革と不況による深刻な階級戦争と失業者問題にもかかわらず、経済は成長を示した。そして、ヒットラーとナチス政権の誕生、第二次世界大戦、戦時中の左傾化。その結果、1945年には労働党が多数派となり、戦後福祉社会が実現される。

本講義では、このような20世紀前半の多彩な文化を、さまざまな角度から紹介しようと思う。われわれが編集した『愛と戦いのイギリス文化史』から美味しいところを抜き出して、武藤、横山、佐藤を中心としながらも、他の研究者の協力を得て、イギリス文化の楽しさと怖さを紹介したいと思っている。

【教科書】

武藤浩史他編『愛と戦いのイギリス文化史 1900-1950年』（慶應義塾大学出版会、2007年）

【参考書】

参考文献については、毎回の授業の中で紹介していきます。

地域文化論Ⅰ

「現代ドイツ入門」

2単位 春学期

【経法政商医薬】

三瓶 慎一

〔授業科目の内容〕

ドイツという国、その自然景観、気候風土、社会、文化、歴史、言語などについて考える。ドイツというと思いつくいくつかのイメージ、あるいは日本でドイツ文化と捉えられているものは、ともするとステレオタイプであるかもしれない。現代ドイツを理解するために不可欠な視座を持つために、ここではステレオタイプからの脱却を試みてみたい。同時にドイツの現代を語るためのドイツ語のキーワードの習得を目指す。コンピューターソフト、インターネットを駆使し、CD、ビデオ、スライド等の資料を多用する講義形式である。

〔教科書〕

各自がまとめたノート。

〔参考書〕

初講日に文献リストを配布する予定。

地域文化論Ⅱ

「ドイツ語圏の文化」

2単位 秋学期

【経法政商医薬】

許 光俊

〔授業科目の内容〕

ドイツおよび周辺地域のさまざまな文化を概観する。

〔参考書〕

私が書いたさまざまな本など。

地域文化論Ⅲ

「ニーチェ、マーラーとその時代」

2単位 春学期

【経法政商医】

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

現代まで大きな影響力をもつドイツの思想家フリードリヒ・ニーチェ（1844～1900）の生涯と思想を見渡したのち、そのニーチェの影響を強く受けた作曲家グスタフ・マーラー（1860～1911）の人と作品を考察します。それを軸にして19世紀後半から20世紀初頭のドイツ語圏の文化状況を眺めてみようと思います。そのうえで、ニーチェの思想、マーラーの音楽が、その後、現代にいたるまで、どのような影響をもったかについても触れるつもりです。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業時に指示します。

地域文化論Ⅳ

「ウィーン文化」

2単位 秋学期

【経法政商医】

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

19世紀末から20世紀前半のウィーンは、文学、音楽、美術、建築、思想、学術といった多様な分野で革新的な仕事を成し遂げた人々を数多く輩出しました。たとえば、文学ではシュニッツラー、ホーフマンスタール、ムージル、音楽ではシェーンベルク、ベルク、ウェーベルン、美術ではクリムト、シーレ、ココシュカ、建築ではワグナー、ロース、哲学ではヴィトゲンシュタイン、精神医学ではフロイトといった人々です。この時期のウィーンを、まずその前提となるバロック文化から始めて全般的に眺めたうえで、今年は、ホーフマンスタール、シェーンベルクとベルク、クリムト、ロースあたりを少し詳しく考察するつもりです。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業時に指示します。

地域文化論Ⅰ

「フランスの社会・歴史・地理・産業・芸術」

2単位 春学期

【経法政商医薬】

宮下 理恵子

〔授業科目の内容〕

「フランス文化」と聞いて皆さんが思い浮かべるのは何でしょうか？

フランスを巡る観光ツアーには必ずと言って良いほどノートル・ダム大聖堂、凱旋門、エッフェル塔を始めとするパリ市内観光、ルーブルかオルセーでの美術鑑賞、ベルサイユ宮殿、もう少し時間的ゆとりがあればロワール河畔の城巡りとモン・サン・ミッシェルへの遠出が企画されています。観光客はフランスの過去の栄光を目の当たりにした後、ブランド店での買い物を楽しみ慌しくフランスを去るのが常です。

フランス史やフランス文学に関心があれば、ノートル・ダム横小広場のシャルル・マーニュとロラン、オリビエ像、ボン・ヌフのアンリ四世像、リポリ通りにある金びかのジャンヌ・ダルク像を見て、あるいはヴォージュ広場のユゴーの家を訪れて感慨に耽ることがあるかもしれません。

本来であれば文化とはその土地に行き始めて体験的に知るものなのであり、それこそフランス語の *connaître*（その場に行き、あるいはその人と話して「知る」こと）すべき対象であるのです。

従ってこの講義では飽くまでも担当者の抱くフランス文化のイメージをも含めた「あるフランス文化論」であることを前提とした上で受講してもらいたいと希望しています。

フランス語学習者、あるいはフランスに関心のある受講者にごく基本的なフランスに関する知識を習得してもらうことを目的とした講義なのでひとつの項目に偏ることは避けたいと考えていますが、興に乗ればかなり「脱線」するかもしれません。

〔教科書〕

特に使用しません。プリントを配布します。

〔参考書〕

柴田三千雄『フランス史10講』（岩波新書1016）
 渡邊啓貴『フランス現代史 英雄の時代から保革共存へ』（中公新書1415）

地域文化論Ⅱ

「フランスの社会・歴史・地理・産業・芸術」

2単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

宮下 理恵子

〔授業科目の内容〕

「フランス文化」と聞いて皆さんが思い浮かべるのは何でしょうか？

フランスを巡る観光ツアーには必ずと言って良いほどノートル・ダム大聖堂、凱旋門、エッフェル塔を始めとするパリ市内観光、ルーブルかオルセーでの美術鑑賞、ベルサイユ宮殿、もう少し時間的ゆとりがあればロワール河畔の城巡りとモン・サン・ミシェルへの遠出が企画されています。観光客はフランスの過去の栄光を目の当りにした後、ブランド店での買い物を楽しみ慌しくフランスを去るのが常です。

フランス史やフランス文学に関心があれば、ノートル・ダム横小広場のシャルル・マーニュとロラン、オリビエ像、ボン・ヌフのアンリ四世像、リポリ通りにある金ぴかのジャンヌ・ダルク像を見て、あるいはヴォージュ広場のユゴーの家を訪れて感慨に耽ることがあるかもしれません。

本来であれば文化とはその土地に行き始めて体験的に知るものなのであり、それこそフランス語の *connaître*（その場に行き、あるいはその人と話して「知る」こと）すべき対象であるのです。

従ってこの講義では飽くまでも担当者の抱くフランス文化のイメージをも含めた「あるフランス文化論」であることを前提とした上で受講してもらいたいと希望しています。

フランス語学習者、あるいはフランスに関心のある受講者にごく基本的なフランスに関する知識を習得してもらうことを目的とした講義なのでひとつの項目に偏ることは避けたいと考えていますが、興に乗ればかなり「脱線」するかもしれません。

〔教科書〕

特に使用しません。プリントを配布します。

〔参考書〕

柴田三千雄『フランス史10講』（岩波新書1016）
 渡邊啓貴『フランス現代史 英雄の時代から保革共存へ』（中公新書1415）

地域文化論Ⅲ

「フランス1885年－1886年 第三共和制的「自由」を巡る言説Ⅰ」

2単位 春学期

〔経法政商医〕

大出 敦

〔授業科目の内容〕

みなさんはこれまで政治史、経済史、文学史、芸術史

といったようなテーマ毎の通史を多く学んできたことと思います。ですが、それぞれが相互にどのように関連しているかという視点をともしれば見失いがちなのではないのでしょうか。本講義では、1885年と1886年のフランスに着目して、この時、フランスの政治、文学、芸術、科学などがどのような状況におかれ、どのように相互に影響しあっていたかということを考察していきます。

第三共和制下の1885年の最大の出来事は、ヴィクトル・ユゴーの死です。ユゴーは第三共和制によって共和主義的自由の象徴として国葬にふされました。ユゴーの国葬は一方では共和主義を脅かす王党派やボナパルティスムを「自由」を武器に封じ込め、もう一方では武器としての「自由」を骨抜きにして急進的共和主義を押し込めようとした国家イベントだったといえます。ユゴーの死を利用して共和制は政体の維持に必要な「自由」の普及と馴致を目指したのです。一見、成功を収めたかに見えたこの「自由」のプロパガンダですが、すぐに反動と思われることがでてきます。このユゴーの国葬をもとに自由の女神の建設、ブーランジェ将軍、象徴主義宣言、植民地主義、印象派展の終焉といったことを検討していきたいと思います。春学期はユゴーの国葬から始まり、自由の女神の建設、ブーランジェ将軍、象徴主義を中心に見ていきます。

また授業と並行して、授業関連の文献検索、データベースの構築、レポートの制作といったこともみなさんに実践してもらいます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

各自で参考文献一覧を作成してもらいます。

地域文化論Ⅳ

「フランス1885年－1886年 第三共和制的「自由」を巡る言説Ⅱ」

2単位 秋学期

〔経法政商医〕

大出 敦

〔授業科目の内容〕

春学期に引き続き、1885年と1886年のフランスで政治、文学、芸術がどのように相互に影響しあってきたかを「自由」という語をキーワードにして考察していきます。春学期はユゴーの国葬から始まり、自由の女神、象徴主義、ブーランジェ将軍の事件を中心にみる予定ですが、秋学期はフランスの植民地政策と絵画を巡る「自由」が主題となります。

ユゴーの死と並んで1885年に起こった事件に、天津条約とマダガスカル保護領化が挙げられます。これはこの年、フランスの植民地政策が決定的になったことを意味します。もちろん植民地主義は経済政策として捉えられますが、当時、これが文化政策としても考えられていたことに着目する必要があります。そこには「自由」をはじめとするヨーロッパ思想を啓蒙するという使命感が隠されています。

1886年になると、もうひとつの事件がおきます。この年、第1回が開催されて以来、常に物議を醸してきた印

象派展が幕を閉じます。そこにはマネが試みたように絵画を主題から自由なことからやがてセザンヌが試みることになる形からの自由の模索という変化が反映されています。

春学期同様、論文を作成するための文献検索、データベース構築、レポート作成などを実践してもらいます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

各自で参考文献一覧を作成してもらいます。

地域文化論Ⅰ

「スペイン文化入門」

2単位 春学期

【経法政商医薬】

丸田 千花子

〔授業科目の内容〕

現在、国連の公用語になっているスペイン語を話す人口は約3億5千万人、スペイン語圏は約20カ国の国と地域に広がっています。この広がりは一とえにスペインが15世紀以降、アメリカ大陸などにその領地を展開していった結果といえます。この授業は広範なスペイン語文化圏を築く基礎となったスペインとその文化について学びます。国の歴史は古いことは、世界遺産として現在登録されている約34点の文化遺産が幅広い時代に属することからもわかります。旧石器時代の洞窟壁画、ローマ帝国属州時代の円形劇場、そして19世紀末から20世紀にかけてのガウディの建築作品など、各時代の文化を代表する遺産が存在します。またその文化は、ローマ時代からのキリスト教文化、8世紀から15世紀までのイスラム教文化、15世紀までのユダヤ教文化が融合した結果、他のヨーロッパ諸国とは異なる独特なものを形成してきました。20世紀後半に入っては軍事独裁政権後、立憲君主制の下、王国として民主化への道を進みました。授業では「闘牛とフラメンコ」という固定化されたイメージとは異なるスペインのもつ様々な顔を紹介し、スペイン文化に対する理解を深めます。前半はスペインの歴史をたどります。各時代の重要事件や代表的な人物を中心に、その時代をわかりやすく解説していきます。後半はスペインの現代社会の様相をテーマ別に紹介します。

〔教科書〕

指定なし。

〔参考書〕

授業の中で紹介します。

地域文化論Ⅱ

「スペイン語の世界」

2単位 秋学期

【経法政商医薬】

鈴木 恵美子

〔授業科目の内容〕

スペイン語は、世界の20カ国以上で約3億5千万人という莫大な話者によって話されている言語です。この授業は、多様な文化・社会をもつスペイン語圏に第一歩を踏み出すために、スペイン語とはどのような言語か、世界の中でどのような位置を占めるかなど、特に言語に関す

る基本的な知識を得ることを目的とします。スペイン語を出発点にしてどのような知の世界が広がっていくか、皆さんに何らかの糸口を見出してもらえればと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。随時プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

地域文化論Ⅰ

「中米・カリブ海地域とメキシコ」

2単位 春学期

【経法政商医薬】

大久保教宏

〔授業科目の内容〕

一口にラテンアメリカと言っても、あまりにも広大な地域であり、国の数も多いため、当地域文化論Ⅰでは便宜的にパナマより北の部分扱います。そこには世界でも有数の小国地帯かつ「文化混濁地帯」である中米・カリブ海地域が広がっています。この地域に着目することで、大国、先進国中心の現代世界の捉えられ方を相対化することができます。また、「ラテンアメリカは本当にラテン文化圏なのか」という具合に地域と文化の関連を問うことも可能です。併せて、「ラテンアメリカの大国」メキシコについても学ぶことで、同じラテンアメリカという地域内での対照性を見ることができるでしょう。取り上げるテーマは、宗教、人種、言語、運河、鉄道、バナナ、コーヒー、さとうきび、海賊、地震、火山、国立公園、遺跡、革命、内戦、非武装中立、ノーベル平和賞、経済統合など様々です。これらを通して国をこえた地域としての連続性とその内部での多様性、地域内各国の個性について考察していきます。

「国と地域」という視点から講義を進める関係上、ラテンアメリカ、カリブ海地域33か国の国名、首都名くらい覚えてほしいので、期末試験でこれらを問う問題も出します。スリナムの首都はパラマリボで、アンティグア・バーブダの首都はセントジョンズだ、といったことを覚えてもらいます。くだらないと思われるかもしれませんが、たとえば首都がロンドンであることを知らずにイギリスのことを、イタリア、スペイン、ドイツなどと接していることを知らずにフランスのことを語れないのと同じと考えてください。

地域文化論Ⅱ

「ブラジルの社会と文化」

2単位 秋学期

【経法政商医薬】

矢澤 達宏

〔授業科目の内容〕

「ブラジル」と聞いて、何を思い浮かべるであろうか？ サッカー、コーヒー、サンバ、アマゾン、日系人——これらはたしかにブラジルを語る際には欠かせないキーワードではあろう。しかし、これらキーワードを挙げるとき頭のなかで描いているイメージは、それらの実際のありようとどの程度まで合致しているであろうか？ また、一般的に流通しているこうしたキーワード

では象徴されてこなかったブラジル社会の横顔には、どのようなものがあるだろうか？

ブラジルの社会や文化の様々な側面は、かねてより外部の人々の好奇心を刺激し、それに触れた多くの者たちを魅了してきた。「未来の国」、「人種の楽園」など、これまでに生み出されてきた数々のレッテルがそのことを物語っている。しかし同時に、そこに足を踏み入れ、容易ならざる社会矛盾を目の当たりにして、とまどいを覚えてきた人々もまた少なくない。理想、希望と現実とが交錯し、表裏一体をなすブラジル社会は、多くの人々にとって様々な示唆に富んだ興味深い対象であるに違いない。

この授業は、ブラジルの社会・文化のなりたちと現在のありように対する理解を深めてもらうことを目的とするものである。主たる対象はブラジルのケースではあるものの、性格を共有する地域として、あるいは比較の対象として、他の南米諸国に関しても折に触れて言及していければと思っている。

なお、ビデオやスライドをできるかぎり利用していく予定である。

〔教科書〕

本授業では特定の教科書は使用せず、各トピックごとに要点をまとめたレジュメと、必要に応じて資料を配布する予定である。

〔参考書〕

- ・ 全般的なものとして、以下のものを挙げておく。その他についてはトピックごとに適宜、紹介していきたい。
- ・ ブラジル日本商工会議所編『現代ブラジル事典』新評論、2005年
- ・ シッコ・アレンカール他『ブラジルの歴史——ブラジル高校歴史教科書』明石書店、2003年
- ・ 斉藤広志『新しいブラジル——歴史と社会と日系人(新版)』サイマル出版会、1983年
- ・ アンジェロ・イシ『ブラジルを知るための55章』明石書店、2001年

地域文化論Ⅲ

「メソアメリカ（おもにメキシコ・グアテマラ）からラテンアメリカ世界を知ろう！」 2単位 春学期

〔経法政商医〕 本谷 裕子

〔授業科目の内容〕

この授業ではメキシコ・グアテマラを中心とするメソアメリカ地域をとりあげ、ラテンアメリカ世界の不思議とその魅力について学んでいきたいと思っています。授業内容は、アステカ・マヤをはじめとする先スペイン期の話（遺跡がいろいろ）、チョコレートやとうもろこし、タバコ・コチニールをはじめとするメソアメリカ原産の食べ物と大航海時代の話、メキシコ建国に見る国民国家形成とアイデンティティの話、メキシコ壁画運動やチカーノ（アメリカ生まれのメキシコ人）の壁画運動をはじめとするメキシコ現代美術の話、メキシコ南部からグアテマラ北西部高地に暮らす先住民たちとその暮らしから考える南北問題などを予定。考古学・歴史学、はたまた民族

学や社会学、美学美術史などさまざまな視点とテーマからこの地域について学びつつ、この地域のかかえる社会経済的問題や文化問題の所在について、みなさんとともに考えていきたいと思っています。

〔教科書〕

最初の授業の際にお話します。

〔参考書〕

最初の授業の際にお話します。

地域文化論Ⅳ

「グローバリゼーションの幕開け—15世紀「大航海時代」から21世紀の現在へ」 2単位 秋学期

**〔経法政商医〕 本谷 裕子
小笠原小枝 松森奈津子
榊 玲子 伏見 岳史**

〔授業科目の内容〕

「グローバリゼーション」、みなさんはこの言葉を耳にしたことがありますか？

運輸と通信技術の爆発的な発展や冷戦崩壊後の自由貿易圏の拡大により、世界各地で、国境にとらわれない文化的、経済的紐帯が促進されていく過程を意味する「グローバリゼーション」。私が夕べおいしいといった鶏肉料理とは「ブラジル」産の鶏肉が「スペイン」のオリーブオイルで焼かれ、「ボリビア」の塩で味付けされたもの、あるいは、真冬の東京の寒さに震えながら、午前12時に私が携帯電話で話していた相手とは、じつは、前日正午、真夏のアルゼンチン・ブエノスアイレスにいるファンだった…、つまり私と私をとりまくこうした現実が、みなさんにとってもまた、ありふれた日常の一コマととらえられるほどに、現在、私たちは日々の暮らしのさまざまな局面でグローバリゼーションのもたらす数々の恩恵を享受しています。そこで、この講義では、グローバリゼーションを歴史的アプローチから捉える一つの試みとして、15世紀、航路の発見とともに世界規模での貿易関係が展開されるようになった「大航海時代」を皮切りに、スペインとポルトガル・メキシコ（ヌエバエスパーニャ）・アジア（日本・フィリピン）のあいだで展開された『ヒトとモノと思想』の移動のダイナミズムを、15世紀から21世紀の現在へと遡っていきます。なお、この講義は、それぞれのテーマに関し、その研究分野におけるエキスパートの先生方にご講義いただくオムニバス形式の授業となっています。

地域文化論Ⅰ

2単位 春学期

〔経法政商医薬〕 林 秀光

〔授業科目の内容〕

中国はその悠久の歴史に育まれてきた民俗や政治文化が多様かつ変化に富んだものであるため、観察の対象としてそれ自体は不思議な国である。一方日本では中国に親近感をもつ人、なんとなく中国が好きになれないあるいは反感をもつ人に分かれるというのも不思議である。

その背景に、中国の歴史や文化のロマンに惹かれつつも、今日の中国の政治体制に違和感を覚えたり、アジアまたは世界で影響力を増していく中国の姿が威圧に感じたりする、という複雑な感情が存在する。とはいえ、近年、エネルギー問題を中心に日中間で新たな関係の構築が模索されている。そこで、この授業は中国の全体像を把握した上、中国のエネルギー問題とりわけ電力開発をめぐるさまざまな動きを取り上げる。中国の実像に迫ることによって、中国をより身近な国に捉えられるようにするのが本講義の目標である。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

各授業の前に適宜に指定する。

地域文化論Ⅱ

「東アジアの中の日中関係」 2単位 秋学期
〔経法政商医薬〕 安田 淳 林 秀光

〔授業科目の内容〕

今日、日中関係にはさまざまな問題が生じているが、この日中関係は東アジアにとっても世界全体にとっても重要な国際関係の一つである。この授業では、そうした日中関係を総合的・歴史的に検討し、今後の日中関係を考察するための材料を提供する。単なる日中関係の通史を学ぶのではなく、これまで比較的取り上げられることの少なかった事象にも、東アジアの中の日中関係という視点から光を当てるのが、この授業の目的である。したがって近現代の日中関係に関する多様な分野のそれぞれの専門家を招き、オムニバス形式で授業を展開する。なおこの授業は東アジア研究所の協力を得て開講される。

〔教科書〕

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

〔参考書〕

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

地域文化論Ⅲ

「現代中国の軍事・国防」 2単位 春学期
〔経法政商医薬〕 安田 淳

〔授業科目の内容〕

現代中国が、その歴史的な要因、多様な環境、地理的位置関係などいずれの点においても、世界の安全保障環境に大きな影響を与え、また国際関係から大きな影響を受けていることは改めて言うまでもない。なかでも中国の軍事については、まだ不明な点も多く、また理解も不足している。中国の、またひいては東アジアの安全保障を考察する際に無視することのできない中国の軍事についての理解を深め、併せて中国の安全保障にかかわる諸問題についての基礎的な知識を習得することが、この講義の目的である。

〔教科書〕

講義中に適宜、提示する。

〔参考書〕

講義中に適宜、提示する。

地域文化論Ⅳ

「現代中国の安全保障と東アジア」 2単位 秋学期
〔経法政商医薬〕 安田 淳

〔授業科目の内容〕

現代中国の安全保障の総論から、個別の安全保障上の問題までを概観し、中国のみならず、日中関係や東アジア情勢をも考察できるようになるための基本的事実を解説する。

〔教科書〕

講義中に適宜、提示する。

〔参考書〕

講義中に適宜、提示する。

地域文化論Ⅰ

「ドストエフスキーからロシアを考える」 2単位 春学期
〔経法政商医薬〕 山田 恒

〔授業科目の内容〕

ドストエフスキーという作家を通してロシア文化の基礎を追求する。

ロシア文化が日本に大きな影響を与えたことは良く知られているが、その影響を論ずる際には、各分野の部分的な側面にとどまっておらず、ロシア文化の総体、ことにその根源に言及されることは少ないのが現状である。ドストエフスキーを講義の中心にそえたのは、優れて古典的な、また世界的な作品を残しているだけではなく、当然ながら、一際優れてロシア的な作品を書いているからである。『罪と罰』では、しばしば見受けられる優れた青年の苦悩を描くとともに、金貸しの老婆の形象には、明らかにバーバ・ヤガーの姿が認められ、また彼女の遺言状には「修道院」という言葉が書かれている。バーバ・ヤガーとは？ロシア人にとって修道院とは？といった疑問、また最も有名な場面である十字路での懺悔、なぜ教会ではなく十字路なのか、という問題を追及する。

チャイコフスキーの『白鳥の湖』も若くして非業の死を遂げた女性になると言われるルサルカを知っているなら、非常に興味深く鑑賞できるであろう。

こうしたロシア文化の根底に存在する精神世界、フォークロアと正教を紹介することが、春学期の講義の目的である。それゆえ、特に文学に関心がなくとも興味深く聴講できると考えている。

〔教科書〕

ロシア文化を紹介する通史的な本は、あまりないように思われる。

〔参考書〕

出来るならドストエフスキーの作品『罪と罰』と『カラマーゾフの兄弟』を読んでおくこと。

受け付ける。

地域文化論Ⅱ

「ロシア芸術を考える、映画とバレエを中心にして」

2単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

山田 恒

〔授業科目の内容〕

秋学期には映画とバレエを取り上げ、ロシア芸術の一端を紹介したい。

映画を取り上げるのは、日露文化交渉史と深くかかわっているからである。エイゼンシュテイン、タルコフスキーなどロシアを代表する優れた映像作家たちは、日本文化に強い関心を抱いていた。ことにエイゼンシュテインの理論には歌舞伎を始めとする日本文化が大きな影響を及ぼしているからである。

バレエはロシアを代表する芸術として取り上げる。19世紀末から20世紀初頭にかけてチャイコフスキーが優れたバレエ音楽を創作し、ロシア・バレエ団（バレエ・リュス）は、西欧に衝撃を与えた。また現代日本でもロシア・バレエの愛好者は数多い。

ただし全く別個の現象ではない。エイゼンシュテインの『ストライキ』、『戦艦ポチョムキン』などと、ロシア・バレエの歴史には、ロシアという国の歴史を考えるなら、通底するものが視られる。その通底するものを理解しようように講義を進める。これはドストエフスキーを始めとする作家たちにも言うことである。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

参考文献として授業中に紹介するか、春学期と同様、記載したペーパーを配布する。

地域文化論Ⅰ

「北朝鮮入門—上部構造」

2単位 春学期

〔経法政商医薬〕

磯崎 敦仁

〔授業科目の内容〕

北朝鮮についてどのようなイメージを持っているだろうか。本講義では、大学生として知っておくべき北朝鮮に関する基礎知識について講義し、問題意識を深めてもらう。特定のイデオロギー・思想に捉われない、客観的で学術的な講義を展開する。

春学期配当の地域文化論Ⅰ（東アジア・朝鮮半島）では、朝鮮語圏の全体像—地理、言語、文化等—について概説した後、北朝鮮の政治に焦点を当てる。1945年の「解放」後から現在に至るまでの北朝鮮史を振り返り、金日成（キムイルソン）、金正日（キムジョンイル）という二人のリーダーや朝鮮労働党が果たした役割、「主体」・「先軍」といったキーワードを読み解く。後継者問題、核問題、六カ国協議等の現状分析も織り交ぜ、必要に応じて映像資料も用いる。北朝鮮の位置や首都名といった超基礎的事項から社会主義、共産主義、全体主義、独裁といった諸概念まで分かりやすく解説するので、世界史や政治経済、朝鮮語等の前提知識は問わない。

秋学期の地域文化論Ⅱ（東アジア・朝鮮半島）とセットで履修することが望ましいが、単独での履修も妨げない。学部、学年を問わず多くの学生が履修することを希望する。多少でも関心があれば初回のガイダンスに出席してほしい。

〔教科書〕

福田恵介『図解 金正日と北朝鮮問題』東洋経済新報社、2007年（1,200円+税）。

（一般向けの概説書だが写真や図表が講義理解の助けになる）

〔参考書〕

小此木政夫編著『北朝鮮ハンドブック』講談社、1997年。

小此木政夫編『危機の朝鮮半島』慶應義塾大学出版会、2006年。

徐大肅『金日成と金正日』岩波書店、1996年。

鐸木昌之『北朝鮮—社会主義と伝統の共鳴』東京大学出版会、1992年。

成蕙琅『北朝鮮はるかなり』文春文庫、2003年。

崔銀姫・申相玉『闇からの罅』（上・下巻）文春文庫、1989年。

藤本健二『金正日の料理人』扶桑社、2003年。

『現代用語の基礎知識』自由国民社、2008年度版。

地域文化論Ⅱ

「北朝鮮入門—下部構造」

2単位 秋学期

〔経法政商医薬〕

磯崎 敦仁

〔授業科目の内容〕

北朝鮮についてどのようなイメージを持っているだろうか。本講義では、大学生として知っておくべき北朝鮮に関する基礎知識について講義し、問題意識を深めてもらう。特定のイデオロギー・思想に捉われない、客観的で学術的な講義を展開する。

秋学期配当の地域文化論Ⅱ（東アジア・朝鮮半島）では、北朝鮮の経済・社会、日本との関係に焦点を当てる。飢餓、脱北者問題、マスゲーム、北朝鮮の映画やドラマ、市民の日常生活等にも触れる。それらの理解を促すために各種映像資料を用いたり、様々な北朝鮮製品を実際に手にとって見てもらう予定である。日本との関係については拉致問題や日本人妻問題が中心になろう。基礎から分かりやすく講義するので、世界史や政治経済、朝鮮語等の前提知識は問わない。

春学期の地域文化論Ⅰ（東アジア・朝鮮半島）とセットで履修することが望ましいが、単独での履修も妨げない。学部、学年を問わず多くの学生が履修することを希望する。多少でも関心があれば春学期初回のガイダンスに出席してほしい。

〔教科書〕

福田恵介『金正日と北朝鮮問題』東洋経済新報社、2007年（1,200円+税）。

（一般向けの概説書だが写真や図表が講義理解の助けになる）

〔参考書〕

今村弘子『北朝鮮「虚構の経済」』集英社新書、2005年。

木村光彦『北朝鮮の経済一起源・形成・崩壊』創文社、1999年。

小倉紀蔵・小針進編『韓流ハンドブック』新書館、2007年。

萩原遼『北朝鮮に消えた友と私の物語』文春文庫、2001年。

『北朝鮮（ARCレポート）』世界経済情報サービス、2007年。

『朝鮮民主主義人民共和国 対外貿易統計2006』WTS、2006年。

『現代用語の基礎知識』自由国民社、2008年度版。

地学Ⅰ／地学（春学期）

「地球は生きている惑星」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商理薬】

大路 樹生

【授業科目の内容】

地球は他の死んだ惑星とは異なり45億年にわたって生き続けている惑星である。この「地学Ⅰ」では、地球の基本構造の理解、地震、火山などのなじみ深い現象から学び、この地球がダイナミックな動きを持つ特異な惑星であることを理解する。また地質時間（年代）の概念、その測定法、過去の環境推定なども解説する。理科系科目に弱い学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。

【教科書】

資料集を配布します。

【参考書】

ピーターウェストブルック著、遠藤・阿部・大路訳、『地球を動かしてきた生命』国際書院、2,625円。

地学Ⅱ／地学（秋学期）

「地球と生命の歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商理薬】

大路 樹生

【授業科目の内容】

地球表層環境と生命は互いに影響を及ぼしながら、いわゆる「共進化」を行ってきた。「地学Ⅱ」では、生命進化を中心とした地球史をたどり、生命現象が地球表層環境とどのようにかわりながら進化してきたのかをたどる。理科系科目に弱い学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。

【教科書】

資料集を実費販売します。

【参考書】

阿部・田近・茅根他、『進化する地球惑星システム』東京大学出版会、2,625円。

地学Ⅰ／地学（春学期）

「地球を知る一測地学入門」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商理薬】

里 嘉千茂

【授業科目の内容】

地球は私たち人間の生活の場であり、それをよりよく理解することは基本的に重要なことであると思います。この授業では、地球を測地学的な観点から概観し、その理解を深めることを目的とします。はじめに、地球の形と大きさに関連して地球球形説や地球楕円体説などについて学びます。次いで、測地測量や近年発展してきたGPSに代表される宇宙測地技術、さらに、地殻変動や地球の重力とその測定方法、地球磁場、地球潮汐と地球回転などについて概説します。

【教科書】

特に指定しません。最初の授業時に講義資料プリントをまとめて配布します。

【参考書】

- ・力武常次著『地球科学ハンドブック』（聖文社、1992年）
- ・日本測地学会監修・大久保修平編著『地球が丸いってほんとうですか？』（朝日新聞社、2004年）

地学Ⅱ／地学（秋学期）

「地球を知る一地震・火山・テクトニクス」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商理薬】

里 嘉千茂

【授業科目の内容】

私たちの生活の場である地球を、地震や火山、テクトニクスなどの観点から概観し、その理解を深めることを目的とします。はじめに、身近な地学現象であり、かつ、私たちの生活にも関連が深い地震や火山などについて、地球内部構造にも触れながら重点的に講義します。次に、これらの地学現象と密接に関連するプレートテクトニクスについて、その基礎として大陸移動説や海洋底拡大説、さらに、より新しい考えであるブルームテクトニクスにも触れながら、概説します。

【教科書】

特に指定しません。最初の授業時に講義資料プリントをまとめて適宜配布します。

【参考書】

- ・パリティ編集委員会編『地震の科学』（丸善、1996年）
- ・日本地震学会地震予知検討委員会編『地震予知の科学』（東京大学出版会、2007年）
- ・瀬野徹三『プレートテクトニクスの基礎』（朝倉書店、1995年）

地学Ⅰ／地学（春学期）

「地球システムの科学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経商理薬】 鹿園 直建

〔授業科目の内容〕

以下の内容の授業を行う。

1. 地球システムの構成物質についての理解を深める。
2. 地球システム構成物質間の相互作用（地学現象）
3. 人間－自然システム間の相互作用（資源）

〔教科書〕

鹿園直建著「地球システム科学入門」東大出版（1992年）

〔参考書〕

鹿園直建著『地球システムの化学』東京大学出版会（1997年）

鹿園直建著『廃棄物とのつきあい方』コロナ社（2001年）

地学Ⅱ／地学（秋学期）

「地球システムの科学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経商理薬】 鹿園 直建

〔授業科目の内容〕

以下の内容の授業を行う。

1. 人間－自然システム間相互作用（環境、自然災害）
2. 地球システムの進化

〔教科書〕

鹿園直建著「地球システム科学入門」東京大学出版会（1992年）

〔参考書〕

鹿園直建著『地球システムの化学』東京大学出版会（1997年）

鹿園直建著『廃棄物とのつきあい方』コロナ社（2001年）

地学Ⅰ／地学（春学期）

「宇宙の科学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経商理薬】 坪田 幸政

〔授業科目の内容〕

宇宙の科学の基礎と自然観の変遷を学習する。そして、現代の宇宙観や地球観を養い、現代社会と科学の関係について考える。

〔教科書〕

坪田幸政訳、『新版 宇宙の科学』、丸善

〔参考書〕

加藤万里子著、『100億年を翔ける宇宙』、恒星社厚生閣

地学Ⅱ／地学（秋学期）

「地球・人間システムの科学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経商理薬】 坪田 幸政

〔授業科目の内容〕

このコースはアメリカで開発された「地球規模の変動」を理解するためのプログラム（Global Change Instruction Program）を用いて、地球規模の環境やその変化について学習する。太陽地球システム、雲と気候、地球史における気候変動、成層圏オゾン、気候変化の天気と人間活動への影響などのモジュールをシステム科学の立場から学習し、持続可能な社会についての理解を深め、地球人として自ら判断・行動できるようになることを目標とする。

〔教科書〕

<http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html>

〔参考書〕

坪田幸政・吉田優著、『インターネット気象学』（クライム）

地球科学概論Ⅰ

「気象学概論」 2単位 春学期
【商理薬】 坪田 幸政

〔授業科目の内容〕

- ・地球科学の諸分野の中の気象学を体系的に学習します。
- ・この授業を通して気象学の基礎を理解し、地球環境問題に対して、各自の意見を持てるようになることがこの授業の目的となります。
- ・内容は気象予報士試験の学科試験と一致しており、履修者の中から夏の試験の合格者が出ています。

〔教科書〕

小倉義光著『一般気象学 第2版』（東京大学出版会）

〔参考書〕

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』（クライム）

高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』（丸善）

地球科学概論Ⅱ

「インターネット気象学」 2単位 秋学期
【商理薬】 坪田 幸政

〔授業科目の内容〕

- ・地球科学の諸分野の中で、特に気象学に焦点を合わせて授業を行う。
- ・天気予報を主体的に利用できるようになり、その評価を科学的に行えるようになる。
- ・地球環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。

〔教科書〕

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』（クラ
イム）

〔参考書〕

高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』（丸善）
http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html

中国事情

「漢字・漢語から中国と日本を考える」 2単位 秋学期

【文経商医】 **種村 和史**

〔授業科目の内容〕

漢字とそれによって表された漢語は、文化の媒体として、政治的な武器として、また情念の器として、何千年にもわたって威力を発揮し続けてきました。中国文明の核としてその持続性を支えるとともに、異なる文化と伝統をもつ国や地域を結びつけてきたために、普遍性と多様性を持ったつきせぬ魅力にあふれた存在となっています。

本授業では、漢字や漢語を巡る諸問題を、古代から現代にわたる幅広い時空を超えて、文化・政治・民俗・思想など様々な側面から取り上げ紹介しながら、中国文明の特質・中国人の心性を探っていききたいと思います。同時に、それを通してわが国日本が、異文化をいかに受容し血肉化させてきたかをも考えていききたいと思います。

〔教科書〕

授業時に資料を配付します（keio.jpにアップロードする場合もあります）。

〔参考書〕

授業時に指示・紹介します。

中国事情

「中国の対外経済関係」 2単位 春学期

【文経商医】 **孟 若燕**

〔授業科目の内容〕

1970年代末に始まった中国の大転換は普通「改革・開放」と言われます。「改革・開放」期における目覚ましい経済高成長は、対外関係の飛躍的發展によって加速化されたといつてよい。

対外貿易、直接投資、国際的生産・流通ネットワークへの積極的参与、WTO加盟、いずれも経済成長の牽引車となっています。

中国はこうした対外的経済関係の深化・拡大を通して、国際経済に与える影響は日増しに増大していることは明白です。ポジティブな側面もあれば、ネガティブな側面もあります。こうした事実を確認するのはまず必要があるのではないのでしょうか？

この授業はまず近代以降における対外関係の歴史を觀察しておき、次に「改革・開放」以来の対外関係に重点を置き、国・地域別、分野別にそって詳細に講義します。中国の対外関係を通して中国の様々な側面を理解して頂きたい。

〔参考書〕

下記参考書の関連章節はテキストとして使われる予定

です。

1. 上野秀夫著『中国と世界経済』、中央経済社、1990年。
2. 渡辺利夫編『華南経済－中国改革・開放の最前線』、勁草書房、1993年。
3. 篠原三代平著『中国経済の巨大化と香港』、勁草書房、2003年。
4. 阿部一知・浦田秀次郎編著『中国のWTO加盟と日中韓貿易の将来』、日本経済評論社、2002年。
5. 関志雄著『共存共栄の日中経済』、東洋経済新報社、2005年。
6. 大橋英夫著『米中経済摩擦：中国経済の国際展開』、勁草書房、1998年。
7. 鮫島敬治・日本経済研究センター編『中国WTO加盟の衝撃』、日本経済新聞社、2001年。
8. 渡辺利夫編『東アジア経済連携の時代』、東洋経済新報社、2004年。
9. 石原享一編『中国経済と外資』、アジア経済研究所、1998年。
10. China Enters WTO: Pursuing Symbiosis with the Global Economy, Edited by Ippei Yamazawa and Ken-ichi Imai, Institute of Development Economies, Japan External Trade Organization, 2001

**地理学 a（春学期）／地理学 b（秋学期）（火曜日）
地理学（通年）**

「産業立地について考える」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

長田 進

〔授業科目の内容〕

地理学は実証的な学問でありそのとり扱う分野は幅広い。ここでは企業がいかに立地するかについて考える機会を持つこととする。

このような年間テーマに沿って、ここでは（1）企業はどのような点を考慮した上で事業所の立地を決定するのか、と（2）企業の活動と地域経済との関係はどのようなものなのか、について有益な理論を紹介していく予定である。

講義の具体的内容は、古典的立地論を学ぶことに始まり、多国籍企業の展開例や政策と企業の関係について考察を行うことまで網羅する予定である。

〔教科書〕

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

資料の配布はKeio.jp上の教育支援システムを利用して配布する。

〔参考書〕

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学 a (春学期) / 地理学 b (秋学期) (金曜日)
地理学 (通年)

「現代社会における都市のあり方」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

長田 進

〔授業科目の内容〕

地理学で取り扱う分野のうち、この講座では、都市に関連する学問的話題について取り上げる。

この講座では、年間を通じて以下に述べる形式で構成されている。前期の講義では、「都市とは何か？」という問題について取り上げることで、都市の本質について考える機会とする。それをふまえて、後期には、「今、都市をめぐる諸現象について理解を深める」ことに焦点を当てて、学問的に考察する機会を提供する予定である。

〔教科書〕

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

資料の配布は教育支援システムを利用して行う予定である。(詳しくはガイダンスの時に説明する。)

〔参考書〕

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学 I / 地理学 (春学期)

「日本北方地域・シベリア・ロシア極東の歴史地理 (1)」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

米家 志乃布

〔授業科目の内容〕

本講義では、日本北方地域・シベリア・ロシア極東地域を対象として、近年の歴史地理学・社会地理学・文化地理学的な関心に基づきながら、当該地域の歴史・社会・文化について考えていくことを目的とする。具体的な内容としては、探検の歴史と地誌の作成、日本とロシアによる地図の作製、先住民族の文化や社会、ロシア帝国・ソ連とシベリア論、などの最新の研究動向を紹介しながら、講義をすすめていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義プリントを配布します。

〔参考書〕

秋月俊幸著『日本北辺の探検と地図の歴史』北海道大学図書刊行会、1999年。

ジェームス・フォーシス著『シベリア先住民の歴史』彩流社、1998年。

地理学 II / 地理学 (秋学期)

「日本北方地域・シベリア・ロシア極東の歴史地理 (2)」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

米家 志乃布

〔授業科目の内容〕

本講義では、日本北方地域・シベリア・ロシア極東地域を対象として、日本とロシアの関係を縦軸に、当該地域の歴史・文化・社会を横軸に、新たな日露関係の模索をしていく。具体的な内容としては、日露関係史、北方領土問題、ロシア・シベリアにおける日本人・日本文化、日本におけるロシア人・ロシア文化、日本・ロシアとアイヌ民族、などについて講義をすすめていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義プリントを配布します。

〔参考書〕

山下恒夫著『大黒屋光太夫 - 帝政ロシア漂流の物語』岩波新書、2004年。

木村汎著『遠い隣国 - ロシアと日本』世界思想社、2002年。

岩下明裕著『北方領土問題』中公新書、2005年。

地理学 a (春学期) / 地理学 b (秋学期) (火曜日)

地理学 (通年)

「自然災害の地理学的解析」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

松原 彰子

〔授業科目の内容〕

人類は、長年にわたって気象災害・地震災害・火山災害などのさまざまな被害を受けてきた。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども新たな災害として問題になっている。本講義では、災害の原因や実態を解説すると共に、災害と地理的条件（特に地形条件）との関係について考察し、災害予測のための基礎資料を示す。

〔教科書〕

松原 彰子著『自然地理学 — 自然環境の過去・現在・未来』（第2版）（慶應義塾大学出版会、2008年）

〔参考書〕

適宜紹介します。

地理学 a (春学期) / 地理学 b (秋学期) (金曜日)

地理学 (通年)

「自然地理学的視点から見た地球環境変動」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

松原 彰子

〔授業科目の内容〕

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することがきわめて重要である。本講義では、自然地理学の立場

から、最も新しい地質時代である第四紀後期における地球環境変遷を中心にして、環境変動の原因と実態を解説する。

〔教科書〕

松原 彰子著『自然地理学 —自然環境の過去・現在・未来』（第2版）（慶應義塾大学出版会、2008年）

〔参考書〕

適宜紹介します。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）

地理学（通年）

「日本と世界の農業・農村地域」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

水嶋 一雄

〔授業科目の内容〕

この講義は、農業・農村地域の持続的発展に関わる方策を考えるため、日本と世界の農業・農村地域の現状と変化、問題点を、具体的な事例で理解することを目的とする。春学期は、①日本の食料自給の現状と問題点、②環境保全型農業（持続的農業）の考え方と問題点、③水田開発の過程を地形や水との関わり、などについて講義する。秋学期は、近年における農業地域の現状と変化、とくに農業形態の変化を具体的な事例を紹介して講義する。また、アジア諸国やカリフォルニア州の農業・農村地域についても、日本との関連性を踏まえながら具体的な事例で講義する。講義内容を補足するために、ビデオやスライドを使用する。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

授業時間中に指示する。

地理学 a（春学期）／地理学 b（秋学期）

地理学（通年）

「地域問題を理解する地理学」 2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

両角 政彦

〔授業科目の内容〕

地理学は、自然、環境、文化、社会、経済等を対象として広範に研究を進めており、様々な方法でこれら諸現象を分析してきた。本講義では、まず地理学の歴史的展開から基本的な見方と地域概念について解説した上で、具体例として村落と都市の立地条件を学ぶ。さらに現実世界に対する地図の表現方法について地域スケールに着目して捉え、地形図の基本読解を身につけた上で、文字情報や画像情報を活用して地域問題を多角的に理解する方法を学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

杉浦章介・松原彰子・武山政直・高木勇夫『人文地

理学—その主題と課題—』慶應義塾大学出版会、2005年。

籠瀬良明『地図読解入門（2000年増補版）』古今書院、2000年。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「哲学の諸問題——自然の中における心」2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

浅野 光紀

〔授業科目の内容〕

哲学の基本的な諸問題について論じる初学者向けの概論的な授業である。

意味のある言葉を喋り、自由な行為によって未来を分岐させ、極彩色の世界を知覚し、精妙な味や匂い、音色に酔いしれる——私たちの心は汲めども尽きぬ驚きの源泉だが、それはそのまま哲学的な悩みの種でもある。自然の一部でありながら、一切の物質的なプロセスから隔絶しているようにも見えるからである。本講義では、自由意志、言葉の意味と志向性、心身問題、意識の問題、自己知と他我問題、非合理的な行為や信念形成——といった伝統的かつ現代的な哲学的問題について論じながら、全体として、自然世界の中に人間の心をどのように位置づけたいのかという大きなテーマを浮上させたいと考えている。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

授業の進行に従って指示する。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「哲学の諸問題——自然の中における心」2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

浅野 光紀

〔授業科目の内容〕

哲学の基本的な諸問題について論じる初学者向けの概論的な授業である。

意味のある言葉を喋り、自由な行為によって未来を分岐させ、極彩色の世界を知覚し、精妙な味や匂い、音色に酔いしれる——私たちの心は汲めども尽きぬ驚きの源泉だが、それはそのまま哲学的な悩みの種でもある。自然の一部でありながら、一切の物質的なプロセスから隔絶しているようにも見えるからである。本講義では、自由意志、言葉の意味と志向性、心身問題、意識の問題、自己知と他我問題、非合理的な行為や信念形成——といった伝統的かつ現代的な哲学的問題について論じながら、全体として、自然世界の中に人間の心をどのように位置づけたいのかという大きなテーマを浮上させたいと考えている。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

授業の進行に従って指示する。

哲学Ⅰ（春学期）／哲学Ⅱ（秋学期）

哲学（通年）

「知識の哲学—その歴史と問題」2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】

荒畑 靖宏

〔授業科目の内容〕

私たちは普段、「知っている」という言葉を何気なく使い、あえてその言葉の意味を問うことはしません。しかし私たちは果たして「知っている」ということが何なのかを知っているのでしょうか。私たちが「知っている」ものは何か。私たちが「知りうる」ものは何か——つまり私たちの知識や認識の限界はどこにあるのか。私たちが「知っている」とされるのはどんな場合なのか——つまり知識の規準というものは存在するか、するとしたらそれは何か。こうした認識論・知識の哲学は、存在論などと並んで二千年以上に渡る歴史をもつヨーロッパ哲学の主要部門のひとつであり続けました。そしてこの流れは、この流れを断ち切ろうとする新動向をも含めて、現代にまで脈々と続いています。本講義の主眼は、現代にいたるまでの認識論・知識論の変遷を概観することで、「知識」の問題を考えるための基盤を形成することにあります。前期では、古代ギリシアから二十世紀初頭に至るまでの哲学史の中から、知識の問題について重要な考えを提示した哲学者たちを厳選して論じます。これに対して後期では、こうした伝統的知識論へのアンチテーゼとして二十世紀に登場した新しい知識論の流れを採り上げ、詳細に論じます。

〔参考書〕

戸田山和久著『知識の哲学』（産業図書、2002年、2,600円、ISBN4-7828-0208-0 C3310）

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「フランス現代思想における経済学批判の可能性（1）」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

荒谷 大輔

〔授業科目の内容〕

この授業は、フランスの現代思想（ドゥルーズ＝ガタリ、フーコー等）を概観した上で、現代社会において支配的な考え方を批判的に検討するための基本的な能力を身につけてもらうことを目的とする。普段の生活では「当たり前」になりすぎて問い直す機会もないようなことの、背景となる思想的な構造を見直すことで、社会に流されるだけではない視座を各自がもてるように努める。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業で指示します。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「フランス現代思想における経済学批判の可能性（2）」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

荒谷 大輔

〔授業科目の内容〕

この授業は、フランスの現代思想（ドゥルーズ＝ガタリ、フーコー等）を概観した上で、現代社会において支配的な考え方を批判的に検討するための基本的な能力を身につけてもらうことを目的とする。普段の生活では「当たり前」になりすぎて問い直す機会もないようなことの、背景となる思想的な構造を見直すことで、社会に流されるだけではない視座を各自がもてるように努める。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業で指示します。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「問題からの哲学入門」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

飯田 隆

〔授業科目の内容〕

哲学は、ひとの話をただ聞いたり、ひとの書いたものをただ読むだけでは、なかなかその面白さがわからないものです。言ってみれば、哲学というのは、「勉強する」ものではなく、自分で「やってみる」ものなのです。そのためのもっとも正統的なやり方は、多くのひとびとによって議論されてきた哲学的問題のいくつかに自分で取り組んでみることでしょう。哲学的問題と言っても、じつにさまざまなものがありますが、この授業では、何が本当にあるのかとか、何かを確実に知ることは可能なのかといった話題を取り上げます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

野矢茂樹著『哲学の謎』講談社現代新書

大森荘蔵著『流れとよどみ』産業図書

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「テキストからの哲学入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

飯田 隆

〔授業科目の内容〕

春学期の哲学Ⅰ（問題からの哲学入門）に引き続く、哲学への入門的講義の第二部です。この学期では、哲学の歴史のなかで偉大な存在だとされている哲学者たちのテキストの一部を細かく読むことを通じて、哲学の問題を考え、その解決をはかるというのはどういうことなの

かを具体的にみます。扱う哲学者としては、プラトン、アリストテレス、デカルト、ヒューム、カント、さらには、現代の哲学者も考えています。扱うテキストは、どの哲学者についても、翻訳で、しかも、せいぜい2-3頁ですが、それだけのものをきちんと読むのにどれだけの手間がかかるかを知ってもらおうと思います。

【教科書】

必要なテキストのコピーを授業の際に配布します。

【参考書】

熊野純彦著『西洋哲学史 古代から中世へ』岩波新書
熊野純彦著『西洋哲学史 近代から現代へ』岩波新書

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「哲学の始まり」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 奥田 和夫

【授業科目の内容】

西洋哲学は古代ギリシアから始まる。「起源」を探求することは、その対象の本質を考察する上で重要であるが、哲学の探求（哲学とは何であり、また哲学はわれわれにとってどのような意義があるのかということ）の場合は、とりわけそのことが言える。この授業（春学期）では、古代ギリシア哲学の初期のあり方とソクラテスの思想を確認することにより、哲学とはそもそも何であったのか、ということを考えてみる。この作業をとおして、哲学の意義も少しずつ見えてくることだろう。

【教科書】

特に指定しない。講義内容・資料をプリントして配布する。

【参考書】

その都度、紹介する。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「古代哲学の展開」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 奥田 和夫

【授業科目の内容】

この授業では、「哲学Ⅰ」に続いて、古代ギリシア哲学のいわば後期をあつかう。春学期であつかった哲学思想が、どのように充実し展開していくかを確認する。プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの哲学が主内容となるが、これらの哲学思想は現代においても研究が盛んであり、古代哲学はある意味で現代哲学であるといえるかもしれない。いずれにせよ、歴史的には、春-秋学期であつた哲学が西洋思想の大きな基礎になったことは事実であり、さらには現代を生きるわれわれにとっても思索の大きな糧となっている。これらの哲学を検討することにより、特に秋学期ではプラトンら哲学の巨人たちを検討することにより、哲学の本質、哲学の意義、哲学の必要性を理解できることだろう。

【教科書】

特に指定しない。講義内容・資料をプリントして配布

する。

【参考書】

その都度、紹介する。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「哲学の古典」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 金子 善彦

【授業科目の内容】

どの学問領域でも「古典」と呼ばれるものがあるが、哲学も例外ではない。この授業では、哲学の古典から主なものを取り上げ、その読解と内容の検討を通じて、「哲学的に考える」ということについて基本的な理解を得たい。そのためには、解説をただ漫然と聞くだけは意味がなく、哲学者が繰り広げる一つ一つの議論展開を丹念に追い、それを基に「自分でも考えてみる」という作業がぜひとも必要となる。そのような趣旨から、毎回範囲を決め、当該箇所について報告・発表してもらうなど、積極的な態度が期待される参加型の授業を目指す。

【教科書】

初回の授業で講読テキストを発表する。当面はプリントを用意するが、教科書売場に揃う頃に各自1冊購入してもらおう。

【参考書】

授業内で紹介する。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「哲学の古典」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 金子 善彦

【授業科目の内容】

どの学問領域でも「古典」と呼ばれるものがあるが、哲学も例外ではない。この授業では、哲学の古典から主なものを取り上げ、その読解と内容の検討を通じて、「哲学的に考える」ということについて基本的な理解を得たい。そのためには、解説をただ漫然と聞くだけは意味がなく、哲学者が繰り広げる一つ一つの議論展開を丹念に追い、それを基に「自分でも考えてみる」という作業がぜひとも必要となる。そのような趣旨から、毎回範囲を決め、当該箇所について報告・発表してもらうなど、積極的な態度が期待される参加型の授業を目指す。

【教科書】

初回の授業で講読テキストを発表する。当面はプリントを用意するが、教科書売場に揃う頃に各自1冊購入してもらおう。

【参考書】

授業内で紹介する。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「意志と人間」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 佐藤 真基子

〔授業科目の内容〕

意志や心といった考え方は、哲学の長い歴史の中で育まれてきた考え方です。この授業では、「意志」の概念について、西洋古代、中世の文献を中心に、その概念が生まれ育まれる背景を学びます。

私たちは日ごろ、「意志をもつ」、「意志が弱い」などの表現を用いて当たり前のように意志について語りますが、そもそも「意志」とはいったい、私たちのどのような内面的あり方を指して言うのでしょうか。意志は幸福や悪といった考え方とも深いかわりをもっており、意志をめぐる問題は今生きる私たち自身の生の問題であるといえるでしょう。諸哲学者の考え方を学び知るばかりでなく、その考察を土台として、意志という考え方について出席者一人ひとりに様々な角度から考えていただきたいと思います。授業を通して、哲学的思考法を体験していただくことを目指しています。

〔教科書〕

特に指定しません。必要な資料はプリントして配布します。

〔参考書〕

適宜紹介します。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「意志と人間」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 佐藤 真基子

〔授業科目の内容〕

意志や心といった考え方は、哲学の長い歴史の中で育まれてきた考え方です。この授業では、「意志」の概念について、西洋古代、中世の文献を中心に、その概念が生まれ育まれる背景を学びます。

私たちは日ごろ、「意志をもつ」、「意志が弱い」などの表現を用いて当たり前のように意志について語りますが、そもそも「意志」とはいったい、私たちのどのような内面的あり方を指して言うのでしょうか。意志は幸福や悪といった考え方とも深いかわりをもっており、意志をめぐる問題は今生きる私たち自身の生の問題であるといえるでしょう。諸哲学者の考え方を学び知るばかりでなく、その考察を土台として、意志という考え方について出席者一人ひとりに様々な角度から考えていただきたいと思います。授業を通して、哲学的思考法を体験していただくことを目指しています。

〔教科書〕

特に指定しません。必要な資料はプリントして配布します。

〔参考書〕

適宜紹介します。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「心と知識の哲学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 長澤 英俊

〔授業科目の内容〕

この講義では、心の哲学と知識論における諸問題を取り上げます。また、それらと関連のある形而上学的な諸問題も扱われます。論じられる予定になっているのは、以下のようなテーマです。心身問題、自由意志、人格の同一性、志向性、知識の定義、知識の構造、内在主義と外在主義、懐疑論、およびそれらに関連する諸問題。主として20世紀以降の英語圏における様々な理説を検討しながら、自分なりの解決策を見出すことを目標にしたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002年。

ジョン・R・サール 山本貴光・吉川浩満 訳『マインド：心の哲学』朝日出版社 2006年。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「心と知識の哲学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 長澤 英俊

〔授業科目の内容〕

この講義では、心の哲学と知識論における諸問題を取り上げます。また、それらと関連のある形而上学的な諸問題も扱われます。論じられる予定になっているのは、以下のようなテーマです。心身問題、自由意志、人格の同一性、志向性、知識の定義、知識の構造、内在主義と外在主義、懐疑論、およびそれらに関連する諸問題。主として20世紀以降の英語圏における様々な理説を検討しながら、自分なりの解決策を見出すことを目標にしたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002年。

戸田山和久『知識の哲学』産業図書 2002年。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「ギリシア哲学への誘い（1）」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 納富 信留

〔授業科目の内容〕

大学で学ぶ者は、誰でも一度は哲学に接してもらいたい。とりわけ、古代ギリシアの哲学は西洋哲学の根源で

あり、その入門として相応しい。ソクラテスやプラトンなど名前だけ聞いたことのある哲学者たちの本当の思索と向き合い、その著作を読むのが、この授業である。一度手ほどきを受けた者は、その後自分で哲学書を読んでいくことができるだろう。

春学期には、最初に「哲学とは何か」を概説し、古代ギリシア哲学の背景を説明した後、プラトンの『ソクラテスの弁明』と『ゴルギアス』を読む。プラトン対話篇は難解な哲学用語を用いない平易な文章であるが、その分、哲学的議論を理解するのに手ほどきが必要である。授業では、著作を丹念に解説しながら、そこから析出される問題を議論する。

【教科書】

プラトン『ソクラテスの弁明ほか』（中公クラシックス）

納富信留『プラトン』（NHK出版）

【参考書】

納富信留『哲学者の誕生』（ちくま新書）、『ソフィストとは誰か？』（人文書院）、『ソフィストと哲学者の間』（名古屋大学出版会）

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「ギリシア哲学への誘い（2）」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 納富 信留

【授業科目の内容】

大学で学ぶ者は、誰でも一度は哲学に接してもらいたい。とりわけ、古代ギリシアの哲学は西洋哲学の根源であり、その入門として相応しい。ソクラテスやプラトンなど名前だけ聞いたことのある哲学者たちの本当の思索と向き合い、その著作を読むのが、この授業である。一度手ほどきを受けた者は、その後自分で哲学書を読んでいくことができるだろう。

秋学期は基本的に春学期の続きと考えているが、ここではプラトンの主著『国家』を1学期かけて読み解く。この著作は、西洋哲学の核心をなす形而上学（「洞窟の比喩」など）が展開され、現代の政治思想・文芸論・教育論・心理学にも絶大な影響を与え、欧米の大学では「必読書」とされる西洋文明古典中の古典である。文庫本2冊と長大であるが、議論をフォローしながら読み進めると読み終わった感動は一しおである。秋学期のみの参加も認めるが、できれば春学期から聴講してもらいたい。

【教科書】

プラトン『国家』、藤沢令夫訳、全二巻（岩波文庫）

納富信留『プラトン』（NHK出版）

【参考書】

納富信留『哲学者の誕生』（ちくま新書）、『ソフィストとは誰か？』（人文書院）、『ソフィストと哲学者の間』（名古屋大学出版会）

哲学Ⅰ（春学期）／哲学Ⅱ（秋学期）

哲学（通年）

「哲学の諸問題」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 星野 嶽男

【授業科目の内容】

これまで哲学において議論されてきた問題の中から、特に「心」と「言語」に関するものを取り上げ、どのような解決を与えることができるかを考えます。この授業では出来るだけ多くの話題を紹介しますが、これはあくまで背景知識であり、自分で実際に考えてみるのが重要です。その作業を通して、哲学に特有の「ものの考え方」を理解することを目標とします。

【教科書】

特に指定しません。適宜プリントを配布します。

【参考書】

西脇与作、『現代哲学入門』、慶應義塾大学出版会、2002。

その他、適宜紹介します。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「神を哲学する：トマス・アクィナスからエックハルトへ」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 山崎 達也

【授業科目の内容】

この世界における最大の神秘、それは神と呼ばれます。この神秘がすべてのものの始原であるならば、宇宙の存在、私たち人間の生や認識の秘密はこの神秘のなかに含まれています。そしてこの神秘は私たちの好奇心を呼び起こします。その抑えがたい衝動はじつは哲学の女神の誘惑によるものであり、彼女に手を引かれながら館のなかへ私たちは入っていきます。やがて私たちは気づくでしょう、私たちの自己自身もまた神秘であり、そしてあの最大の神秘に連なるものであることを。

この授業を通じて神秘なるものに触れてみたいと思います。授業は、中世の哲学者トマス・アクィナスとエックハルトと語りながら、進められます。

【教科書】

講義資料を配布します。

【参考書】

授業中に指示します。

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「神を哲学する：トマス・アクィナスからエックハルトへ」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 山崎 達也

【授業科目の内容】

この世界における最大の神秘、それは神と呼ばれます。

この神秘がすべてのものの始原であるならば、宇宙の存在、私たち人間の生や認識の秘密はこの神秘のなかに包まれています。そしてこの神秘は私たちの好奇心を呼び起こします。その抑えがたい衝動はじつは哲学の女神の誘惑によるものであり、彼女に手を引かれながら館のなかへ私たちは入っていきます。やがて私たちは気づくでしょう、私たちの自己自身もまた神秘であり、そしてあの最大の神秘に連なるものであることを。

この授業を通じて神秘なるものに触れてみたいと思います。授業は、中世の哲学者トマス・アクィナスとエックハルトと語りながら、進められます。

〔教科書〕

講義資料を配布します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

哲学Ⅰ／哲学（春学期）

「物理学と数学の概念的基礎に関わる哲学」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

横尾 剛

〔授業科目の内容〕

現代において「哲学」という学問分野として研究され教育されている事柄は多岐にわたっている。この講義では、物理学および数学の基礎的な概念に関わる哲学的問題を解説する。

講義の序盤では、下記の教科書に沿って哲学の主題とその方法についての知識を共有することを目的とする。それを踏まえた上で、下記の参考書などから補足を加えながら、具体的な問題を検討していく。なおこの講義では、哲学、物理学、数学に関する知識を特に前提とはしていない。

春学期は、主に物理学の基礎的な概念に関わる問題が扱われる。

講義で使用するプリントなどは、すべて次のところから入手できる：

<http://phil.flet.keio.ac.jp/person/yokoo/index-j.html>

〔教科書〕

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002年

〔参考書〕

西脇与作『科学の哲学』慶應義塾大学出版会 2004年

哲学Ⅱ／哲学（秋学期）

「物理学と数学の概念的基礎に関わる哲学」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

横尾 剛

〔授業科目の内容〕

現代において「哲学」という学問分野として研究され教育されている事柄は多岐にわたっている。この講義では、物理学および数学の基礎的な概念に関わる哲学的問

題を解説する。

講義の序盤では、下記の教科書に沿って哲学の主題とその方法についての知識を共有することを目的とする。それを踏まえた上で、下記の参考書などから補足を加えながら、具体的な問題を検討していく。なおこの講義では、哲学、物理学、数学に関する知識を特に前提とはしていない。

秋学期は、主に数学の基礎的な概念に関わる問題が扱われる。

講義で使用するプリントなどは、すべて次のところから入手できる：

<http://phil.flet.keio.ac.jp/person/yokoo/index-j.html>

〔教科書〕

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002年

〔参考書〕

西脇与作『科学の哲学』慶應義塾大学出版会 2004年

天文学a（春学期）／天文学b（秋学期）

天文学（通年）

「宇宙の中の人間」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔文経商理〕

加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。私たちはなぜ地球に生まれたのか、宇宙の中で地球と人間のおかれた位置を明らかにすることがこの講義の目的である。まず、宇宙観が歴史的にどのような変遷をとげたかを見る。アリストテレスの宇宙から、現代のビッグバン宇宙にいたるまでのいろいろな発見と試行錯誤の歴史に注目したい。宇宙は高温高密度の大爆発で始まり、次第に冷えていく中で、銀河や星ができた。星はいまでも生まれている。星は核融合反応のエネルギーで光っており、最後には超新星爆発など劇的な現象を引き起こす。そのとき星の中にあつたいろいろな元素が宇宙にまき散らされる。太陽系には地球型惑星と木星型惑星がある。地球型惑星は岩石と金属からなる星で、わたしたち生物はそこで生まれて進化してきた。からだを作っている元素は、むかし星の中心部で核融合反応により作られたものである。太陽系で起こったことは、宇宙のどこかでもやはり起こった可能性がある。宇宙のどこかにいるかもしれない知的生命とめぐりあうことはあるのだろうか。グループ発表や絵本製作を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。過去の履修者が作成した絵本は<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/astro.html>にある。

〔教科書〕

加藤万里子著『新版 100億年を翔ける宇宙』恒星社

動物行動学

2単位 春学期

【文商薬】

福田 史夫

〔授業科目の内容〕

薬科の学生における教養として、動物に興味をもってもらうことを主目的としている。授業は性（繁殖、発情、交尾、生殖、交接、etc）行動を取り上げ、同一種の各個体は発情季（あるいは時間帯）が一致し、異性を誘引する行動様式が種に特有であり、近縁種間では交雑を妨げる性的隔離機構が存在し、一般的に自然界では雑種は非常に稀であることを知ってもらいたい。

〔参考書〕

クレブス・デイビス（山岸・巖佐訳）「進化からみた行動生態学」蒼樹書房（8500円）

榎本知郎「性・愛・結婚」丸善ブックス（1800円）

長谷川真理子「オスとメス＝性の不思議」講談社現代新書（650円）

福田史夫「箱根山のサル」晶文社（2300円）

21世紀の実学

2単位 秋学期

【文経商】

白旗 優
竹内 美佳子

〔授業科目の内容〕

社会に対する自主的関心と豊かな発想をもってつねに新しい課題に取り組み、大学で体得した科学的態度と教養を積極的に問題解決に適用できる人物を社会に送り出すことは、われわれ教員の目的とするところである。このような実学の精神を具現化し実社会で指導的役割を担っている先輩には枚挙にいとまがないが、この授業はこれらの人々の力を借り展開される。

各回の授業に、実社会で活躍している方々を講師として招き、オムニバス形式の講義を行う。そこでは、他人と協働するとはいかなることか、実社会で指導的役割を果たすとはどういうことか、社会に出て実学の精神を実践するためには学生時代いかに過ごすべきかなど、先輩の立場から話してもらい、大学における勉学の意味を積極的に考える機会を諸君に持ってもらおうと考えている。各回異なる講師による講義が行われるため、具体的な講義内容は多岐にわたることになるが、大学初年級の君達が有意義な大学生活を送れることを目標にして、実社会での成功あるいは失敗の経験から得られた講師の知恵に基づいて講義がなされることは共通する。

〔教科書〕

13回の講義を予定している。第1回はコーディネーターが授業の概要説明を行い、第2回から第13回までは各回一人ずつ講師を招き授業を展開する。講師陣については確定次第、掲示する。

日本の政治

「現代日本の政治過程」

2単位 春学期

【経商医理薬】

水戸 克典

〔授業科目の内容〕

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれています。しかしながら、実際に誰が政治の実験を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義では具体的事例を取り上げながら、日本政治についていわれている様々な特質を解説し、わが国における政治力学を多面的に検討していきます。

〔教科書〕

授業中に適宜指示します。

〔参考書〕

授業中に適宜指示します。

比較文化論 a（春学期）／比較文化論 b（秋学期）

比較文化論

「西洋」と「東洋」との出逢い」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商医】

山本 賀代（コーディネーター）
佐谷眞木人 田代 真
道上 知弘

〔授業科目の内容〕

国際交流の時代といわれる現代において、私たちはあたりまえのこととして異文化理解を求められる。しかし、そもそも異文化とは何か？ 他者を理解することは本当に可能なのだろうか？ ——この根源的な問いに対して、文学、民俗学、映画など、さまざまな領域から「西洋」と「東洋」との出逢いの歴史を取り上げ、異文化交流の実像に迫る。

「異文化をいかに表象するか」

長年のオリент研究をもとに『西東詩集』を世に出したドイツの詩人ゲーテは、異文化に触れ、互いの独自性を尊重し、その差異を認め合うことに支えられた世界平和の夢を「世界文学」構想に託した。しかし、ゲーテの表象したオリентはそもそも実在したのだろうか？ 「オリентを支配し再構成し威圧するための西洋のスタイル」としてのオリエンタリズムを批判したE・W・サイードによれば、オリентとはヨーロッパ人の頭のなかでつくり出された観念にすぎず、むしろ具体的な現実を隠蔽してしまう。本講義では、異文化理解・他者理解を論ずるさいの基本文献となったサイードの『オリエンタリズム』を紹介し、さらに、日本人女性の典型として西洋に定着した「蝶々夫人」像を例に、「西洋」と「東洋」の構図を見直してみたい。（担当者：山本賀代）

「柳田国男と国際連盟」

柳田国男は、日本民俗学の基礎を作った知の巨人であるが、一方、設立当初の国際連盟に委任統治委員として

日本からスイスのジュネーブに派遣され、外交の現場で働いた経験があることは意外と知られていない。柳田は、なぜ、どのようにして国際連盟にかかわることになったのだろうか？ 柳田はジュネーブでどのような経験をしたのだろうか？ そして、その経験は柳田の学問にどのような影響を与えているのだろうか？ この講義では、柳田の海外体験の内容と意味を考えるとともに、柳田と国際連盟の関わりを通して、当時の日本と西欧諸国との関係や、国際社会における日本の位置についても検討する。近代の日本が国際社会の中で歩んだ道筋を検証する作業を通して、今日の日本と世界について考える契機としたい。(担当者：佐谷眞木人)

「東アジア諸地域と映画との出会い」

19世紀末、「西洋」に触れることによって東アジア諸地域の文化は急激な変化を遂げるようになったが、19世紀末にフランスで発明された映画の到来は、さらに新たな文化のあり様を模索する大きなきっかけとなり、それぞれの地域の文学、思想、芸術、言語、あるいは政治経済などの状況と密接、かつ複雑に結びつき、さらには映画製作による各地域間の交流をも促進していった。本講義では、各地域の映画史の黎明期を順に俯瞰してゆきながら、それぞれの地域の文化がどのように映画を受容していったのか、そしてどのように他地域と結びついてゆき、相互に影響を与え合ったのかということをも多角的に検討し、その作業を土台として、グローバリズムによる文化のボーダレス化が喧伝される21世紀において、東アジア諸地域の映画が今後どのような方向に進むのか、その問題を考える際のいくつかのヒントを導いてみたい。(担当者：道上知弘)

「『文化』、『翻訳』、『比較』」

本講義の科目名には「文化」という言葉が含まれています。「文化」という言葉は現在英語で言うcultureの翻訳語に相当するものとして定着していますが、その意味範囲は曖昧で、同じくcultureの翻訳である「教養」、カタカナ語「カルチャー」さらには同義語である「文明」の意味範囲と重複したり、あるときには対比的に使われたりしているのが現状だと思います。「文化」という言葉がすでに漢語であり、cultureに「文化」という語を当てることはいわば外国語でもって外国語を翻訳しているということになり、「文化」という一語の中にさえ、複数の文化の相互干渉が見られるわけです。私の担当分では、「翻訳」を、単に異言語間の翻訳という字義的な意味にとどまらず、他の文化や他の文化ジャンルの移入や書き換え、混淆といった広義の文化現象を含むものにとらえ、その諸相を各回のトピックのうちに探ることによって、本講義の科目名には含まれるもうひとつの言葉「比較」について考えていきたいと思います。各トピックは現段階の暫定的なものなので取り上げる順番や内容の変更があるかもしれません。私の担当分の初回の授業でそうした変更を含め詳しい内容を説明する予定です。(担当者：田代真)

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

授業中に適宜指示・紹介する

美術Ⅰ／美術（春学期）

「西洋建築史概説（1）」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

金山 弘昌

〔授業科目の内容〕

古代から中世にいたるヨーロッパの建築の歴史を理解することを目的に、各時代各地域を代表する建築について、おもに様式の変遷（かたちの変化）という観点から概説します。また授業ではスライドを使用します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

熊倉洋介・末永航他『カラー版 西洋建築様式史』美術出版社、1995。

西田雅嗣編『ヨーロッパ建築史』昭和堂、1998。

日本建築学会編『西洋建築史図集』彰国社、1981。

美術Ⅱ／美術（秋学期）

「西洋建築史概説（2）」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

金山 弘昌

〔授業科目の内容〕

中世から近世にいたるヨーロッパの建築の歴史を理解することを目的に、各時代各地域を代表する建築について、おもに様式の変遷（かたちの変化）という観点から概説します。また授業ではスライドを使用します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

熊倉洋介・末永航他『カラー版 西洋建築様式史』美術出版社、1995。

西田雅嗣編『ヨーロッパ建築史』昭和堂、1998。

日本建築学会編『西洋建築史図集』彰国社、1981。

美術Ⅰ／美術（春学期）

「スペイン美術」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

木下 亮

〔授業科目の内容〕

16世紀から19世紀初頭までのスペイン美術を、エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤを中心に概観し、さらに彼らの作品を例に挙げながらキリスト教美術、宮廷肖像や宮廷装飾について具体的に講じる。またスペイン美術と他のヨーロッパ諸国との美術における影響関係についても適宜ふれていきたい。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

講義のなかで紹介する。

美術Ⅱ／美術（秋学期）

「スペイン近現代美術」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 木下 亮

〔授業科目の内容〕

19世紀半ばから現代までのスペイン美術を、ガウディ、ピカソ、ダリを中心に概観する。またスペイン美術に影響を与えた他のヨーロッパ諸国の前衛美術についても適宜ふれていきたい。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

講義のなかで紹介する。

美術Ⅰ／美術（春学期）

「20世紀の美術」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

20世紀美術史の講義です。知的なアプローチによって美術作品のなかに込められた作家の主張を正確に理解することを目的とします。

内容としては、20世紀初頭のパリにおいて美術にどのような革新がおこったかマティスを中心に考えます。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の習得を目的としますので、ある程度作品や語句を暗記することが求められます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『世界美術大全集』（小学館）
『カラー版20世紀の美術』（美術出版社）
など

美術Ⅱ／美術（秋学期）

「20世紀の美術－キュビズム以降」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

20世紀美術史の講義です。知的なアプローチによって美術作品のなかに込められた作家の主張を正確に理解することを目的とします。

内容としては、20世紀初頭のパリにおいて美術にどのような革新がおこったかピカソを中心に考えます。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の習得を目的としますので、ある程度作品や語句を暗記することが求められます。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

『カラー版20世紀の美術』（美術出版社）
『世界美術大全集』（小学館）
など

美術Ⅰ／美術（春学期）

「日本の仏教美術（飛鳥時代から平安時代前期）」
2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 塩澤 寛樹

〔授業科目の内容〕

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの造形芸術各ジャンルにわたって知ることが理想ですが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは困難です。

そこで本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連綿と流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心に、通史的に日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指しますが、ここではそのうちの飛鳥時代から平安時代前期までを扱います。

また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情なども密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指します。

講義では、なるべく多くの画像を写し、視覚的な理解に努める予定です。

なお、本講は「美術Ⅱ－平安時代後期から江戸時代」と併せて通史的に構成される内容の半期分に当たります。

〔教科書〕

特に指定しません。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布します。

〔参考書〕

倉田文作『仏像のみかた』（第一法規出版）、佐和隆研『仏像図典』（吉川弘文館）、中村元・久野健編『仏教美術事典』（東京書籍）

美術Ⅱ／美術（秋学期）

「日本の仏教美術（平安時代後期から江戸時代）」
2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 塩澤 寛樹

〔授業科目の内容〕

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの造形芸術各ジャンルにわたって知ることが理想ですが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは困難です。

そこで本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンル

である仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連続と流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心にして通史的に日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指しますが、ここではそのうちの平安時代後期から江戸時代までを扱います。

また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情なども密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指します。

講義では、なるべく多くの画像を写し、視覚的な理解に努める予定です。

なお、本講は「美術Ⅰ—日本の仏教美術（飛鳥時代から平安時代前期）」と併せて通史的に構成される内容の半期分に当たります。

〔教科書〕

特に指定しません。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布します。

〔参考書〕

倉田文作『仏像のみかた』（第一法規出版）、佐和隆研『仏像図典』（吉川弘文館）、中村元・久野健編『仏教美術事典』（東京書籍）

美術Ⅰ／美術（春学期）

「イギリスの風景画」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 杉村 浩哉

〔授業科目の内容〕

人間が自然とかかわる中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。春学期は中世の絵地図から18世紀までを概観します。個々の美術作品を歴史的な脈の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

〔教科書〕

特に指定しません。授業時に資料を配布します。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術Ⅱ／美術（秋学期）

「イギリスの風景画」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 杉村 浩哉

〔授業科目の内容〕

人間が自然とかかわる中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。秋学期は19世紀から現代までを概観します。個々の美術作品を歴史的な脈の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

〔教科書〕

特に指定しません。授業時に資料を配布します。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術Ⅰ／美術（春学期）

「19世紀西洋美術史概説（前期）」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 富田 章

〔授業科目の内容〕

西欧の19世紀は、社会構造が大きく変化した時代であった。美術の世界にもその影響は及んでいる。美術が広い階層に受け入れられるようになり、その結果として受容層の多様な趣味が制作側の意識にも反映されるようになった。このことは具体的には描かれる主題の変化という形であられた。これは歴史画を最も価値あるものとするアカデミーの中でさまざまな軋轢を生み出すこととなる。本講義では、以上のようなことを踏まえて、19世紀前半の西洋美術史を概観する。毎回、キイ・ワードと重要作品をひとつずつあげ、それをもとに美術史の展開をたどっていく。「美術Ⅱ／美術（秋学期）」とあわせて受講することが望ましい。

〔教科書〕

特に定めない

〔参考書〕

必要に応じて随時指示する

美術Ⅱ／美術（秋学期）

「19世紀西洋美術史概説（後期）」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 富田 章

〔授業科目の内容〕

19世紀に美術の受容層が変化したことは、美術の主題の変化だけではなく、アカデミーを含む美術の体制にも変革を迫ることとなった。一方で科学技術の発展は人々の生活を一編させ、美術の手法にも変化をもたらした。そして、個人と個性を尊重する傾向が強まっていったことが、こうした変化を促進することになった。本講義では、以上のようなことを踏まえて、19世紀後半の西洋美術史を概観する。毎回、キイ・ワードと重要作品をひとつずつあげ、それをもとに美術史の展開をたどっていく。「美術Ⅰ／美術（春学期）」とあわせて受講することが望ましい。

〔教科書〕

特に定めない

〔参考書〕

必要に応じて随時指示する

美術Ⅱ

「江戸期の浮世絵と、高貴なパトロンたち」 2単位 秋学期

〔文経法政商医理薬〕 内藤 正人

〔授業科目の内容〕

江戸時代に花開いた風俗画の一種である浮世絵。庶民

の芸術としてその名を知られる浮世絵だが、現実には封建社会の貴人である天皇や公家、あるいは将軍・大名といった、庶民にあらざる高貴な階層の人々も、ときにそれらを所有し、あるいは鑑賞を加えた事実がしだいに明らかとなっている。

この講義では、江戸時代の浮世絵の概説をおこなったうえで、現在一般には認知されていない浮世絵と貴人のつながりを、作品や史料から具体的に裏付けていく。一般常識レベルの歴史の勉強では学べない、江戸期浮世絵の多面性や魅力を、美術の歴史を考える立場から探っていきたい。

〔教科書〕

内藤正人『浮世絵再発見—大名たちが愛でた逸品・絶品』小学館 2005年

〔参考書〕

小林忠監修『浮世絵の歴史』美術出版社 1998年

美術 I

「日本美術の味わい方」 2単位 春学期
〔文経法政商医理薬〕 林 温

〔授業科目の内容〕

日本の古美術品の鑑賞法と美術史的な視点について講義します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

適宜、授業中に指示する

美術 I / 美術 (春学期)

「日本絵画史 (古代・中世)」 2単位 春学期
 4単位 通年
〔文経法政商医理薬〕 樋口 一貴

〔授業科目の内容〕

飛鳥時代より室町時代までの日本美術の歴史を概観します。日本美術史の入門として、毎回、各時代やジャンルを代表する作品をとりあげて、日本における美意識の変遷を考えようと思います。ただし、日本美術といっても多様な分野があるため、そのすべてを扱うことは限られた時間の中では困難です。そこで本講では絵画を中心に授業を行います。話題を絵画に限定するのではなく、これに関連する諸分野（彫刻・工芸・書など）についても適宜紹介するつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術 II / 美術 (秋学期)

「日本絵画史 (近世)」 2単位 秋学期
 4単位 通年
〔文経法政商医理薬〕 樋口 一貴

〔授業科目の内容〕

桃山・江戸時代の日本美術の歴史を概観します。日本美術史の入門として、毎回、一つの流派ないし一人の画家とその作品をとりあげて、近世絵画の変遷を考えようと思います。本講では絵画を中心に授業を行います。話題を絵画に限定するのではなく、これに関連する諸分野（工芸・書など）についても適宜紹介するつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で適宜指示します。

美術 I / 美術 (春学期)

「日本美術の「かたち」と「こころ」」 2単位 春学期
 4単位 通年
〔文経法政商医理薬〕 日野原 健司

〔授業科目の内容〕

何百年以上も前に生きていた人たちと全く同じものを見ているということ。長い歴史の隔たりを一瞬にして消し去り、身近なものへと感じさせてしまう圧倒的な力を、彫刻や絵画、工芸や建築などの「かたち」は持っている。

この講義では、日本の歴史の中で生み出されたさまざまな美術品や造形物の「かたち」に着目し、当時の歴史的背景も視野に入れながら、その「かたち」に込められた「こころ」、すなわち、日本人の美的感覚や作品の味わいについて紐解いていく。飛鳥時代から安土桃山時代まで、時代の流れに沿って、幅広いジャンルの作品を紹介する。

和の文化について関心はあるものの今まで接する機会がなかった学生たちに、日本美術を知るための入門としてもらいたい。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

辻惟雄『日本美術の歴史』東京大学出版会、2005年。
 『日本美術館』小学館、1997年。

美術 II / 美術 (秋学期)

「日本美術の「かたち」と「こころ」」 2単位 秋学期
 4単位 通年
〔文経法政商医理薬〕 日野原 健司

〔授業科目の内容〕

何百年以上も前に生きていた人たちと全く同じものを見ているということ。長い歴史の隔たりを一瞬にして消し去り、身近なものへと感じさせてしまう圧倒的な力を、彫刻や絵画、工芸や建築などの「かたち」は持っている。

この講義では、日本の歴史の中で生み出されたさまざまな美術品や造形物の「かたち」に着目し、当時の歴史的背景も視野に入れながら、その「かたち」に込められた「こころ」、すなわち、日本人の美的感覚や作品の味わいについて紐解いていく。江戸時代から現代まで、時代の流れに沿って、幅広いジャンルの作品を紹介する。

和の文化について関心はあるものの今まで接する機会がなかった学生たちに、日本美術を知るための入門としてもらいたい。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

辻惟雄『日本美術の歴史』東京大学出版会、2005年。
『日本美術館』小学館、1997年。

人の尊厳

「社会と人権」

2単位 秋学期

〔文経商医〕

渡辺 秀樹 関場 武
安藤 寿康

〔授業科目の内容〕

国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はない。国際情勢においては民族間の葛藤が、国内においては少年犯罪、同和問題、性差別、児童虐待、さまざまなハラスメントや、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまよう一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は単なる「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。それを受けて、学生諸君には、これらの諸問題を考え、さらには自らを振り返り自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんでほしい。それが、この講義の目的である。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業時に各講師が適宜紹介する。

表象文化論a（春学期）／表象文化論b（秋学期）

表象文化論（通年）

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔文経商医〕

小淵 昭夫（コーディネーター）
杉原 賢彦 林 栄美子
藤崎 康

〔授業科目の内容〕

「写真と映画の誕生」林栄美子

人間が初めて「映像」を手にしたのは19世紀です。写真は19世紀前半に、映画は19世紀末に誕生しましたので、

人間の長い歴史の中ではつい最近のことと言えます。それでも短い間に映像は我々の周りに氾濫し、いつのまにか人間を変え、今では映像の存在しない世界を想像することさえ難しくなっています。写真を初めとする映像は、人間に何をもたらしたのでしょうか。写真や映画の誕生の頃に戻って、それらがどのようにして生まれてきたのかを知り、黎明期の写真・映画を今改めて見てみると、それらの面白さに驚かされます。写真については誕生から1930年代ぐらいまでの、映画については19世紀末から20世紀半ばまでの、実際の映像資料に接して楽しみながら、写真とは映画とは何かを考えてみましょう。

「映画とアートのインタラクティビティ」

杉原賢彦

シュルレアリスム運動が映画を抜きにしては語れないように、映画の誕生そのものもまた、印象主義絵画を抜きにしては語れないことが近年の研究で明らかにされています。あるいはまた、ポップアートが映画に与え、映画がポップアートにもたらした関係性は、カフカと映画との関係のようであまりでありながら、なにか決定的な匂いをただよわせています。19世紀から20世紀にわたって、芸術の諸潮流と映画がどのような相互関係を持ち、そして発展したのかを、横断的に検証してみたいと考えています。

「映画史の名作を奪還せよ！」藤崎 康

ヒッチコックや小津安二郎さえ知らない若い人がふえてしまった。まあそれは、「時」の風化作用であるゆえ致し方なかるう（日本人の「知の崩壊」「思考停止」はあらゆる年齢層で進行し尽くしてしまっただが、それを憂いても仕方ない）。が、だからこそ今、ヒッチや小津を、あるいは山中貞雄を（きみはあの美しい『丹下作膳余話』を見たか！？）、ジョン・フォードを（きみはあの崇高な『捜索者』を見たか！？）、黒沢清を、マックス・オフルスを、ハワード・ホークスを、カール・ドライヤーを「発掘」せねばなるまい。授業では、古今東西の名作映画をビデオ、DVDなどで紹介し、あわせて映画史、撮影技法、演出などについて講義する。

「詩と映像と音楽のフュージョン」小淵昭夫

ギリシア時代から今日までの芸術表現において、言葉と音と絵画はどのように表現されてきたか、とりわけ音楽、絵画、そして映画の表象性について考察したい。

〔教科書〕

（林栄美子）なし

（杉原賢彦）とくに指定しません。

〔参考書〕

（林栄美子）授業中に紹介する。

（杉原賢彦）ハンス・ツイシュラー『カフカ、映画に行く』（みすず書房）

アド・キルー『映画のシュルレアリスム』（フィルムアート社）etc...

（藤崎康）教室で言及する。

**物理学 I (実験を含む) /
物理学 (実験を含む) (春学期)**

「ミクロの世界と量子力学」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 青木 健一郎

〔授業科目の内容〕

原子論はギリシア時代からありましたが、原子の存在を確かめ、その構造を解明したのは20世紀の物理学の大きな功績です。この講義では、ミクロの視点から物のふるまいを考えます。それに必要な量子力学的な考え方について説明し、原子の構造を理解します。量子力学は奥深いおもしろい分野で、量子コンピューターなどの分野で近年も発展し続けています。原子論のミクロを突き詰める考え方は現在は素粒子物理や超弦理論と受け継がれています。これらの分野の最先端の展開についても解説します。原子論的な視点は、ブラック・ショールズ理論におけるデリバティブの評価などの経済物理にも応用されており、それについても時間があれば扱います。

実験から結果をどのように導くかを体験し、自然科学における「事実」とは何かを実感できると思います。また、自分でい結果を得るのは楽しいと思います。実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

物理の本質は「なぜ」という問題に答えるところだと思います。理屈だけではなく、その理論の実証的根拠を実験も通じて理解することを重視しながら講義を進めます。

〔教科書〕

実験の教科書：「物理の実験 I」慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

〔参考書〕

テーマごとに紹介します。

**物理学 II (実験を含む) /
物理学 (実験を含む) (秋学期)**

「宇宙物理と相対性理論」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 青木 健一郎

〔授業科目の内容〕

人類の宇宙に対する強い興味は古代からのものですが、宇宙像は20世紀にもっとも大きく変わったものの一つです。19世紀には銀河の存在さえも確立されていませんでした。講義では、現在の宇宙像をその根拠となる観測の持つ意味とともに理解することを目的とします。宇宙はどのように変化してきたのか？星の構造、そしてブラックホールは何なのか？といったトピックを扱います。

相対性理論は20世紀初頭にアインシュタインの作った理論です。一方、相対性は自然な考え方であり数百年前にもありました。講義では相対性の考え方を中心にアイ

ンシュタインの相対性理論を解説します。相対性理論は重力レンズやブラックホールの理解には不可欠です。相対性理論が様々な現象や技術製品にどのように反映されているかも説明します。

実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

〔教科書〕

実験の教科書：「物理の実験 II」慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

〔参考書〕

テーマごとに紹介します。

**物理学 I (実験を含む) /
物理学 (実験を含む) (春学期)**

「時間と空間の構造—相対性理論—」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 表 實

〔授業科目の内容〕

物理学 I (実験を含む) は、隔週で講義と実験を交互に実施する3単位(通年履修者は春学期・秋学期で6単位)の科目です。相対性理論は、人類が獲得した物理学の最も美しい理論体系の一つであり、時間と空間に関する従来の考え方を根本的に変革し、人類の自然観に大きな影響を及ぼしました。講義では、現代物理学の柱の一つである相対性理論を中心にして、物理学の時間と空間に関する認識の在り方を話します。

実験では、自らの手で基本的な物理量の測定を経験することにより、観測と実験の意義を理解すると同時に、自然界の構造の魅力に触れることを目指しています。

なお、実験は二人で協力して行うものであり、実験の経験があることを前提としていません。

〔教科書〕

講義については特に指定しません。実験については、慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験 I」をテキストとして使用します。

〔参考書〕

特に指定しません。

**物理学 II (実験を含む) /
物理学 (実験を含む) (秋学期)**

「自然界のミクロとマクロの構造—素粒子と宇宙—」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 表 實

〔授業科目の内容〕

物理学 II (実験を含む) は、隔週で講義と実験を交互に実施する3単位(通年履修者は春学期・秋学期で6単位)の科目です。物質を構成する究極の要素は何か、ミクロ世界の不思議を支配する物理法則とは、また我々の宇宙の構造は如何なるものであり、それはどのようにして作られたものであろうか。これらの問題について、現代物

理学は何を明らかにし、また未解明の問題として何が残されているか。本講義では、素粒子物理学と宇宙物理学を中心に、自然界のミクロとマクロな構造について話します。実験では、自らの手で基本的な物理量の測定を経験することにより、観測と実験の意義を理解すると同時に、自然界の構造の魅力に触れることを目指しています。

なお、実験は二人で協力して行う基礎的なものであり、実験の経験があることを前提としていません。

〔教科書〕

講義については特に指定しません。実験については、慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験Ⅱ」をテキストとして使用します。

〔参考書〕

特に指定しません。

**物理学Ⅰ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（春学期）**

「身の回りの物理」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 小林 宏充

〔授業科目の内容〕

皆さんは身の回りで起こっている現象の裏に潜む物理法則に興味はないでしょうか？例えば、昼間の空は青いが、夕暮れには空が赤くなるのはなぜでしょう。これは、光の散乱に関する法則から説明されます。飛行機が飛ぶのはなぜか。これは、カーブボールが曲がるのと同じ物理法則で説明できる。電子レンジを使うと冷めた料理が温められるのはなぜか。これは、テレビやラジオさらには携帯電話などで使われている電磁波が関係している。このように講義では、身の回りの物理現象を取り上げ、その現象はどのような物理法則に支配されているかを理解してもらうことを目標とする。

本授業では、講義と実験を隔週で行う。実験は、「物理の実験Ⅰ」のテキストに従って、毎回異なるテーマについて二人一組で行う。

〔教科書〕

講義：講義ノート(webサイトからダウンロードできるようにします)。

実験：「物理の実験Ⅰ」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

〔参考書〕

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

**物理学Ⅱ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（秋学期）**

「オムニバス現代物理」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 小林 宏充

〔授業科目の内容〕

20世紀以降の物理学は、細分化され、それぞれの分野で大きな発見・進展があった。講義では、これらを毎回異なるテーマでオムニバスのように紹介する。自然現象に潜

む物理法則を見つけ出し、その法則を科学技術に応用してきた偉大な科学者たちの功績を理解してもらうことを目標とする。

本授業では、講義と実験を隔週で行う。実験は、「物理の実験Ⅱ」のテキストに従って、毎回異なるテーマについて二人一組で行う。

〔教科書〕

講義：講義ノート(webサイトからダウンロードできるようにします)。

実験：「物理の実験Ⅱ」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

〔参考書〕

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

**物理学Ⅰ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（春学期）**

「素朴な疑問に答える物理学」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 下村 裕

〔授業科目の内容〕

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものの見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験Ⅰ」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、誰もがいただく素朴な疑問に対して物理学がどのように答えるのかを解説します。

〔教科書〕

「物理の実験Ⅰ」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

〔参考書〕

下村裕、「ケンブリッジの卵―回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか」、慶應義塾大学出版会、2007。

**物理学Ⅱ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（秋学期）**

「相対性理論入門」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 下村 裕

〔授業科目の内容〕

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものの見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験Ⅱ」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、物理学でもっとも美しい理論だといわれる相対性理論を、できる限り数式や専門用語に頼らず解説します。アインシュタインによって作り上げられたこの理論は、単純な原理から時間と空間に対する我々の常識を覆します。たとえば「動くものは、長さが縮み、時間の進みかたが遅くなり、質量が増える」などは信じがたい事実です。ビデオ等も援用して、相対性理論の考え方を理解し、その描く不思議な世界(宇宙)を学びます。

〔教科書〕

「物理の実験Ⅱ」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

佐藤勝彦監修「『相対性理論』を楽しむ本」(PHP文庫、1998年、500円)

〔参考書〕

下村裕、「ケンブリッジの卵一回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか」、慶應義塾大学出版会、2007。

**物理学Ⅰ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（春学期）**

「地球環境物理学概論」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 杉本 憲彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、地球上でおこる様々な自然現象を、物理学的な視点で理解することが目標です。地球の現在の姿を総合的に理解するため、地球科学の最も基本的な事柄および、それを支配する物理法則について、概論的に学習します。地球は核・マントル・地核・大気・海洋からなる巨大なシステムであり、それらが引き起こすさまざまな変動によって、地球環境の変化が引き起こされます。我々にとって身近な、地震や火山活動、オーロラ、台風や竜巻、津波といった自然現象が、どのような物理法則によってもたらされるのか、正しく理解できる力を身につけましょう。また、地球温暖化等の地球環境問題に関する、最近の話題も盛り込みます。講義を通じて、今後の地球と人間活動のあり方についても一緒に考えましょう。

実験と講義を隔週で行います。高校の物理学、数学、地学の知識は必要としません。実験は「物理の実験Ⅰ」のテキストに従って、毎回異なるテーマを二人一組で行います。

〔教科書〕

講義：講義ノートがWEB上に掲示します。実験：「物理の実験Ⅰ」（慶應義塾大学日吉物理学教室編）

〔参考書〕

適宜、授業中に紹介します。

**物理学Ⅱ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（秋学期）**

「気象物理学概論」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 杉本 憲彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、地球上のさまざまな自然現象の中の、特に気象現象に着目します。気象現象の特徴は、(1) 日々の天気に関わる雲の発生、前線・低気圧の発達から、(2) 冷夏や暖冬などの長期変動に関わるモンスーンやエルニーニョ変動、また (3) 地球温暖化やオゾンホールなどの気候変動まで、その現象の時間・空間スケールが多様な点にあります。また、竜巻や集中豪雨・豪雪、台風など様々な自然災害をもたらします。本講義は、これらの身近で多様な気象現象を概論的に紹介し、これらの現象を支配する物理法則について説明します。現象を物理学的な視点で、正しく理解することが目標です。また、気象分野における地球環境問題にも着目し、現在の状況と

今後の対策についても議論したいと思います。

実験と講義を隔週で行います。高校の物理学、数学、地学の知識は必要としません。気象予報士試験における基礎的な知識の獲得にも役立ちます。実験は「物理の実験Ⅱ」のテキストに従って、毎回異なるテーマを二人一組で行います。

〔教科書〕

講義：講義ノートがWEB上に掲示します。実験：「物理の実験Ⅱ」（慶應義塾大学日吉物理学教室編）

〔参考書〕

適宜、授業中に紹介します。

**物理学Ⅰ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（春学期）**

「19世紀の物理学を中心に」 3単位 春学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 新田 宗土

〔授業科目の内容〕

講義と実験を隔週で行います。高校の物理学、数学の知識は仮定しません。人々は太古から日常の様々なレベルで様々な疑問を抱いてきました。熱い、冷たいとはどういうことか？温度とは何か？熱とは何か？光とは、色とは何か？音とは何か？このような日常の疑問に加えてもっと哲学的な疑問を持つ人もいますかも知れません。時間とは、空間とは何か？力とは何か？そもそも物とは何か？このような様々な疑問に答えるために生まれた学問が物理学です。物理学Ⅰでは、19世紀までに物理学の到達した世界観について学びます。

〔教科書〕

実験の教科書：「物理の実験Ⅰ」慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

〔参考書〕

和田 純夫（著）「一般教養としての物理学入門」岩波書店

**物理学Ⅱ（実験を含む）／
物理学（実験を含む）（秋学期）**

「20世紀、21世紀の物理学を中心に」 3単位 秋学期
6単位 通年

〔文経法政商〕 新田 宗土

〔授業科目の内容〕

講義と実験を隔週で行います。高校の物理学、数学の知識は仮定しません。物理学Ⅰに引き続き、現代物理学を解説します。

（Ⅰから連続して受けることを推奨します。）

19世紀とは異なり、20世紀の物理学はより哲学的な疑問にまで答えられるようになってきました。時間とは何か？空間とは何か？物質とは何か？そして人々の常識を覆すような概念の変革がありました。相対性理論と量子論です。アインシュタインや数々の天才達が世の中の謎を解いていく様子はドラマチックでもあります。森羅万

象に対して、現代の物理学がどこまで答えることができ、どこから答えることができないのかをわかってもらえるように工夫します。

〔教科書〕

実験の教科書：「物理の実験Ⅱ」慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

〔参考書〕

和田 純夫（著）「一般教養としての物理学入門」岩波書店

文学Ⅰ／文学（春学期）

「舞踊論」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 石井 達朗

〔授業科目の内容〕

シャーマニズム、儀礼、祭祀における舞踊から、伝統舞踊としての様式化が確立したものまでを含めて、アジアの舞踊を考察する。とくに、インド、インドネシア、韓国を対象とする。

〔教科書〕

石井達朗『身体の臨界点』

〔参考書〕

石井達朗『男装論』青弓社
石井達朗『異装のセクシュアリティ』新宿書房
元藤アキ子『土方巽とともに』筑摩書房
土方巽『病める舞姫』白水社
ロデリック・ランゲ『舞踊の世界を探る』音楽之友社
イサドラ・ダン＝カン『芸術と回想』富山房
海野弘『モダンダンスの歴史』新書館
市川雅『ダンスの20世紀』新書館
マーサ・グレーム『血の記憶』新書館
ダンスマガジン編『ダンス・ハンドブック』新書館

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「舞踊論」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 石井 達朗

〔授業科目の内容〕

現代の舞踊について考察する。バレエ、モダンダンス、ポスト・モダンダンス、コンテンポラリーダンスなどが対象になる。

〔教科書〕

石井達朗『身体の臨界点』

〔参考書〕

石井達朗『男装論』青弓社
石井達朗『異装のセクシュアリティ』新宿書房
元藤アキ子『土方巽とともに』筑摩書房
土方巽『病める舞姫』白水社
ロデリック・ランゲ『舞踊の世界を探る』音楽之友社
イサドラ・ダン＝カン『芸術と回想』富山房
海野弘『モダンダンスの歴史』新書館

市川雅『ダンスの20世紀』新書館
マーサ・グレーム『血の記憶』新書館

文学Ⅰ／文学（春学期）

「ドイツ文学十三講・狂気の文学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 石光 輝子

〔授業科目の内容〕

現代において文学はまことに旗色が悪い。ものの役に立つか立たないかということが全ての基準になっている今日、文学は役に立たない物の筆頭にあげられ、様々なところで切り捨てられかねない状況にあります。しかし、文学のない人間世界はありえません。「おはなし」を作ったり語ったり聞いたりすることは、歌や踊りと同様に、人間の原初的営みのひとつなのです。文学は出版された文学作品の書物のなかにあるだけでなく、様々なところに入り込んでいます。大衆社会を席卷している映画やテレビドラマにしても文学の後ろ盾なしにはやってゆけないのです。映画化された文学作品をできあがった映画と比べてみると、映画の持つ、文学とは異なった可能性がまことに華麗に提示されますが、同時にその不可能性も暴露されます。古典的メディアである文字によって書かれた言葉の集積としての作品が、テクノロジーの発達したこの時代においてなおいかなる優位性を有しているか、ということ（当然ビデオ・DVD・CD・図版などの異なるメディアはできるだけ比較参照しつつ）、ドイツ文学の作品を素材として、この講義のなかで明らかにしていきます。

春学期は「狂気」をテーマとして、いくつかの作品を取り上げます。

〔参考書〕

授業のなかでそのつど指示します。

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「ドイツ文学十三講・魔的なもの」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 石光 輝子

〔授業科目の内容〕

文学Ⅰ（春学期）の続きですが、秋学期だけでも受講は可。秋学期は「デモニッシュなもの（魔的なもの）」をテーマとして、作品を取り上げてゆきます。

〔参考書〕

授業のなかでそのつど指示します。

文学a（春学期）／文学b（秋学期）

文学（通年）
「発生期の文学」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 小淵 昭夫

〔授業科目の内容〕

文学とは文字、声あるいは身体で自己表現する様式で

ある。大昔は、声を使って詠ったきわめて聴覚的な要素が支配的だったが、文字の発明とともに視覚的な要素の優位性が強くなった。文学といえば、詩や小説の書物が浮かぶように、紙媒体の表現形式であるかのようである。この授業では、視覚的要素のみならず、聴覚的要素を取り入れて、古来人々が培ってきた文学を味わい、音読し、群読し、パフォーマンスをしてもらいます。

〔参考書〕

随時、参考の文学作品を挙げます。映画も時々見せませ

文学Ⅰ／文学（春学期）

「フランスの詩と芸術—19世紀後半を中心に」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

笠井 裕之

〔授業科目の内容〕

シャルル・ボードレー（1821-1867）、ポール・ヴェルレーヌ（1844-1896）、アルチュール・ランボー（1854-1891）、ジュール・ラフォルク（1860-1887）、ステファヌ・マラルメ（1842-1898）などの作品を題材に、これらの詩人たちがいかにして言語表現の可能性を拡張しようとしたかを考えます。また、同時代の音楽、美術、舞台芸術なども取りあげて、純粋な詩的言語を求め詩人たちの努力が、実は他の芸術ジャンルの動向と深く関連し、さらにはジャンルの境界を越えた作品創造への契機を含んでいたことにも触れるつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。資料はプリントで配布、もしくはWebに掲載します。

〔参考書〕

授業のなかで紹介しますが、まずは入手しやすい以下の一冊を奨めます。

安藤元雄・入沢康夫・渋沢孝輔編『フランス名詩選』（岩波文庫、1998年）

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「フランスの詩と芸術—20世紀前半を中心に」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

笠井 裕之

〔授業科目の内容〕

秋学期は時代を20世紀前半に移しますが、春学期と同様、詩を読みながら、他の芸術ジャンルとの関わりにも着目します。取りあげる詩人は、ギヨーム・アポリネール（1880-1918）、ジャン・コクトー（1889-1963）、そしてアンドレ・ブルトン（1896-1966）をはじめとするシュルレアリスムの詩人たち。これら20世紀の詩人たちにとっても言語が第一の表現手段であったことには変わりはありませんが、それと同時に、彼らは書物という形式や文字（活字）に依存しない芸術行為の実践にも身を投じています。その諸相を探ることで、現代の詩や芸術

がわたしたちに問うものについても、考察の糸口を得られればと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。資料はプリントで配布、もしくはWebに掲載します。

〔参考書〕

授業のなかで紹介しますが、まずは入手しやすい以下の一冊を奨めます。

安藤元雄・入沢康夫・渋沢孝輔編『フランス名詩選』（岩波文庫、1998年）

文学Ⅰ／文学（春学期）

『星の王子さま』をいまさら読む』

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

片木 智年

〔授業科目の内容〕

だれでも、タイトルぐらいは耳にしたことがあるフランスの短編小説。日本では「児童書」とされることの多いいわくつきの本です。2005年、岩波の翻訳の独占権が切れ、なんと十数種類に及ぶ新訳が出ました。時代や作者との関係を考えながら、精読してみましょう。『夜間飛行』や『人間の土地』といった他の作品との関連も探ります。特にフランス語の知識は問いませんが、大学でフランス語を第2外国語として選んだ方にはよりいっそう、意味深いものと思います。

〔教科書〕

拙著 『星の王子さま☆学』慶應義塾大学出版会2005 1,890円

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「おとぎ話と心の文化」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

片木 智年

〔授業科目の内容〕

「眠れる森の美女」、「サンドリヨン（シンデレラ）」、「赤頭巾」、「美女と野獣」といった皆さんもよくご存知の物語は、フランスの民間伝承をもとにシャルル・ペローやポーモン夫人が物語化しました。これが、世界中に広がり、絵本やアニメとなっていったのです。グリムの童話の多くも、フランスの伝承を直接参照したものだとわかっています。こういった小品の背後にある謎と現代社会での展開を探っていくマルチメディアな授業です。

〔教科書〕

シラバス執筆時では未定。おって1冊指定します。

文学Ⅰ／文学（春学期）

「シェイクスピア講義：文化の中の作品論」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

小菅 隼人

〔授業科目の内容〕

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

〔教科書〕

プリント

〔参考書〕

小菅隼人編著、『腐敗と再生』（慶應義塾大学出版会、2004）、4,200円

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「シェイクスピア講義：作品の中の思想」2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

小菅 隼人

〔授業科目の内容〕

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

〔教科書〕

プリント

〔参考書〕

小菅隼人編著、『腐敗と再生』（慶應義塾大学出版会、2004）、4,200円

文学Ⅰ／文学（春学期）

「昭和時代の文学、文化における「南方」の表象」2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

杉浦 晋

〔授業科目の内容〕

小説、映画など、昭和時代の文学、文化が「南方」を

どのように表象していたかを、おもに社会状況とのかかわりにおいて考察する。

〔教科書〕

プリントなどによる。

〔参考書〕

授業時に指示する。

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「昭和時代の文学、文化におけるハンセン病の表象」2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

杉浦 晋

〔授業科目の内容〕

小説、映画など、昭和時代の文学、文化がハンセン病をどのように表象していたかを、おもに社会状況とのかかわりにおいて考察する。

〔教科書〕

プリントなどによる。

〔参考書〕

授業時に指示する。

文学Ⅰ／文学（春学期）

「アフリカ系アメリカ人の歴史と文学」2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

竹内 美佳子

〔授業科目の内容〕

アメリカは、民主主義の理念を掲げながら奴隷制度という矛盾を抱えて建国し、歴史を乗り越え続けねばならなかった国である。授業では、移民国家の社会建設を担うべく移住を強いられたアフリカ系アメリカ人の歴史に焦点を当て、アメリカの作家や言論人が、その表現行為を通じていかに社会的・政治的現実と向き合ってきたかを考察する。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

本田創造著『アメリカ黒人の歴史』岩波新書

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「アメリカの詩を読む」2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

朝比奈 緑

〔授業科目の内容〕

アメリカの歴史や文化を、詩というジャンルから読み解いていきたい。

できるかぎり、対訳のかたちで紹介する。

また、CDやビデオを用いて、詩人の生の声を味わい、詩の言葉の魅力を伝えたい。

〔教科書〕

亀井俊介・川本皓嗣編『アメリカ名詩選』（岩波文庫）その他、プリントによる。

〔参考書〕

授業時にリストを配布する。

**文学a (春学期) / 文学b (秋学期)
文学 (通年)**

「シェイクスピアと音楽」 2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理〕 **高橋 宣也**

〔授業科目の内容〕

シェイクスピアの芝居は今も世界中で上演されています。彼の作品は、長年にわたって多くの観客を魅了すると同時に、様々な時代、ジャンルの芸術家に刺激を与えてきました。なかでも音楽の分野では、作曲家たちがこぞってシェイクスピアを素材に曲を書いています。そして数多くのオペラやオーケストラ作品、歌曲などが生まれてきました。しかし、当然ながら、音楽作品にする過程で原作は手を加えられ、変質します。

この授業では、そうした改変の行われ方を、シェイクスピアの代表作を通してたどっていきます。それは逆に、何がシェイクスピアにおいて本質的なのかを探ることもなるでしょう。

**文学a (春学期) / 文学b (秋学期) (火4)
文学 (通年)**

「弥次喜多の文学誌 - 『東海道中膝栗毛』の世界」 2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理〕 **津田 眞弓**

〔授業科目の内容〕

近時、映画『真夜中の弥次さん喜多さん』(2005)、『やじきた道中てれすこ』(2007)が制作されたように、今なお弥次喜多は人気者です。その原点となった十返舎一九作『東海道中膝栗毛』と享受について講じます。同時に、芭蕉の『奥の細道』・山東京山の『熱海温泉図彙』などの紀行文や温泉案内といった旅にまつわる文芸、歌川広重の『東海道五拾三次之内』などの東海道を題材にした浮世絵にも触れ、古典文芸を踏まえた共同性と当代を映す個性が共存する江戸時代の笑いと文化の諸相について学びます。

〔教科書〕

岩波文庫『東海道中膝栗毛 上』(岩波書店)

〔参考書〕

日本古典文学大系『東海道中膝栗毛』(岩波書店)
日本古典文学全集/新編日本古典文学全集『東海道中膝栗毛』(小学館)
棚橋正博 日本の作家『十返舎一九』(新典社)
中山尚夫『十返舎一九研究』(おうふう)
その他適宜授業内で指示します。

**文学a (春学期) / 文学b (秋学期) (金2)
文学 (通年)**

「草双紙の歴史と諸相」 2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理〕 **津田 眞弓**

〔授業科目の内容〕

近世期、江戸で大量に出版されていた草双紙について。絵と文が紙面に混在するこの特異な文芸は、徳川期の文芸・芸能を摂取して発展した読み物で、新刊の点数では他のジャンルを圧倒していました。市場経済の商品としての特性、流通や出版統制などの近世商業文芸固有の問題を論じつつ、紙面を自由にデザインする整版印刷の粋を極めた視覚メディアとしてのおもしろさを味わいます。

本講義では草双紙を通じて、絵巻物からマンガに至る絵と文字が相互に響き合う文芸に対する認識を深め、視覚的要素を重んじる日本文芸の特質を理解します。

〔教科書〕

講義プリントを用意します。

〔参考書〕

日本古典文学大系『黄表紙洒落本集』(岩波書店)
新日本古典文学大系『草双紙集』(岩波書店)
日本古典文学全集/新編日本古典文学全集『黄表紙・川柳・狂歌』(小学館)
『近世子どもの絵本集』(岩波書店)
『黄表紙総覧』(棚橋正博、青堂書局)
『草双紙事典』(叢の会、東京堂出版)
雑誌『江戸文学』35号(特集「草双紙」、ペリかん社)
その他適宜授業内で指示します。

文学 I / 文学 (春学期)

「古代和歌の表現技法」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 **鉄野 昌弘**

〔授業科目の内容〕

7世紀半ば頃、「日本」という国とともに立ち上げられた和歌という文芸は、心を表すさまざまな手段を模索することになります。この講義では、主に萬葉集の前期の歌に即して、枕詞・序詞・対句といった表現技法が、どのように開発され、展開してゆくのかを考えたいと思います。

〔教科書〕

木下・小島・佐竹編 『萬葉集』本文篇(塙書房、2,100円)

坂本・毛利編 『万葉事始』(和泉書院、735円)

〔参考書〕

木下・小島・東野編 新編日本古典文学全集『萬葉集』1~4

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「古代和歌における表現技法の展開」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 鉄野 昌弘

〔授業科目の内容〕

和歌という文芸は、8世紀に入ると、中国文学の刺激を受けながら、更に新たな表現方法を獲得することになります。この講義では、主に萬葉集の後期の歌に即して、枕詞・序詞・対句といった表現技法がいかに展開し、また比喩や連作の表現がどのように生まれてゆくのかを考えたいと思います。

〔教科書〕

木下・小島・佐竹編 『萬葉集』本文篇（塙書房、2,100円）

坂本・毛利編 『万葉事始』（和泉書院、735円）

〔参考書〕

木下・小島・東野編 新編日本古典文学全集『萬葉集』1～4

佐藤信夫『レトリック感覚』（講談社学術文庫）

文学a（春学期）／文学b（秋学期）（木3）

文学（通年）

「百人一首をよむ」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 寺澤 行忠

〔授業科目の内容〕

かつては、正月になると、どの家庭でも『百人一首』を楽しみ、多くの人が百首の歌をそらんじていたものである。長い年月にわたり、国民の間に広く愛され、日本人の教養の基盤を形成してきた。だから、『百人一首』は、日本人が必ず知っておかなければならない、最も重要な古典の一つなのである。

この『百人一首』は、藤原定家が、王朝和歌の精髓を集めたものである。これを一首ずつよみ解きながら、王朝歌人たちの詩と真実を考えていきたい。

講義資料プリントを毎回配布する。

〔教科書〕

『百人一首』（笠間書院）

『字典かな』（笠間書院）

文学a（春学期）／文学b（秋学期）（木4）

文学（通年）

「和歌文学の歴史－万葉集から良寛まで－」
2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 寺澤 行忠

〔授業科目の内容〕

和歌は、万葉の時代から今日に至るまで、長い年月にわたり、歌いつがれ、読みつがれてきた。その和歌文学の歴史を、主要な作品あるいは歌人に焦点を合わせなが

らたどる。近世までを範囲とし、歌謡や俳諧などにも言及する。できるだけ多くの歌をとりあげ、文学史の理解を深めたい。

講義資料プリントを毎回配布する。

〔教科書〕

『日本詩歌選』（新典社）

文学Ⅰ／文学（春学期）

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】 ナコルチェフスキー、アンドロイ

〔授業科目の内容〕

近代ロシア文学の草分けと評価されるニコライ・ゴーゴリの中説「タラス・ブリーバ」、小説「外套」、「鼻」の新訳を読むことを通じてウクライナ・ロシアの歴史・文化の基本的な知識を身につけることが本講義の目標です。

〔参考書〕

ニコライ・ゴーゴリ「隊長ブリーバ」（潮文学ライブラリー、翻訳：原 久一郎）

ニコライ・ゴーゴリ「鼻/外套/査察官」（光文社古典新訳文庫、翻訳：浦 雅春）

文学Ⅱ／文学（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】 ナコルチェフスキー、アンドロイ

〔授業科目の内容〕

近代ロシア文学の巨人である ドストエフスキーの「カラマーゾフの兄弟」という傑作を最近話題になった亀山郁夫の新訳で読みながら19世紀ロシアの思想、歴史、文化の基本的な知識を身につけることが本講義の目標です。

〔参考書〕

ドストエフスキー「カラマーゾフの兄弟」（光文社古典新訳文庫、翻訳：亀山郁夫）

文学a（春学期）／文学b（秋学期）

文学（通年）

「フランス文学、その発想と感覚」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

西尾 修

〔授業科目の内容〕

歴史と文学、文学と社会、というような観点から、いわゆる「文学」について語り、ある作品なり、文学現象なりの内容と周辺を探りながら、そのとき活用される歴史的想像力について考えることが中心となる。文学を自分なりに感得するには様々なやり方があるだろうが、さて、文学作品らしいと思われるものを読み、鑑賞し、これを楽しむという側に立つとき、ひとつのやり方として、そ

れがたとえ簡便なものであれ、歴史的想像力の活用という方策もあるのではないかと、と思われるからである。

対象は主にフランスを舞台とするもの、時代は大革命以後、とりわけ19世紀前半（ロマン主義の時代）のものが多くなる。担当者の専門が、19世紀前半に生きた小説家バルザックであるという事情からそうなるのだが、とはいっても時代を問わず日本のものについても語ります。

準備としては、十九世紀フランスの小説（翻訳）を何かひとつ（短くない作品）読んでおくと後が楽（スタンダール『赤と黒』、バルザック『ゴリオ爺さん』、フローベール『感情教育』等々）。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

参考書は特に指定しませんが、できれば文庫本程度の簡単な文学史（たとえば岩波文庫別冊「フランス文学案内」、高校教科書の「日本文学史」等々）で結構、時代区分などを少しは気にしながら一度でいいからざっと目を通しておけば申し分なし。フランス文学についてより高い関心のある諸君は慶應義塾大学出版会の「十九世紀のフランス文学Ⅰ」なども好適。

文学Ⅰ／文学（春学期）

「物語・自己・歴史Ⅰ」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

人は言葉を発するとそれは大抵物語を作り上げます。

「今日は雨が降っていやな日だった」も「今日は雨にぬれたけれどもかえって気持ちよかった」もすでに1つの物語です。人はそうして大量の物語を作り、又、大量の物語を外から受容しながら自己との関係、他者との関係を作り、物語の中に自己・社会・歴史を屈折させながら反映してゆきます。つまり、皆さんは知らず知らずの内にたくさんの物語の中で生きながら自己像や社会・歴史像を造っているのです。

そこで、皆さんが否応なくその中で生きている物語とは何か、みなさんが無意識の内にどのような物語を作ってその中で生きているのか、その中で生きることによってどのような自己、社会、歴史像が生まれるのか、物語ることによって混沌の中からどのような秩序が生まれ、又、どのような秩序が破壊されるのか、そして物語れないこととは何かなどについて、様々な芸術作品にふれながら考えてゆきたいと思います。

また、現代とはどういう時代か、そこに生きる僕たちとは何者？というのが隠れテーマです。

【教科書】

武藤浩史著『「ドラキュラ」からブンガク』、岡崎京子著『ヘルタースケルター』、ミヒャエル・エンデ著『モモ』、ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟2』（光文社文庫）D・H・ロレンス『チャタレー夫人の恋人』（武藤浩史訳、ちくま文庫）

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「物語・自己・歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

文学Ⅰの続きですが、戦後日本文化をテーマとして物語と歴史について考えてゆきます。『青い山脈』（石坂洋次郎）や「墮落論」（坂口安吾）から始めて、やくざ映画を経由し、現代にたどりつこうと思います。読みたい本の希望をつのります。

現代に生きる私たちの諸問題を小説とともに考えてゆきます。

【教科書】

石坂洋次郎『青い山脈』（新潮文庫）ほか。

文学Ⅰ／文学（春学期）

「季節の詩学」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

森 英樹

【授業科目の内容】

四季の風物とその表現を探ります。すなわち、和歌、俳句、漢詩、などを読むことを通して、日本に古くからある言葉、風物、情調、およびその表現や思考を学びます。時には近代詩や外国詩をも引用して、風土や情緒を比較することもあります。

講義に終始するのではなく、短歌や俳句、漢詩の実作を試みる演習的な時間を毎週設定しています。

【教科書】

森 南仙著 『南柯唱和抄』

【参考書】

森 南仙著 『南柯の四季』、俳句歳時記、短歌歳時記などの類

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「季節の詩学」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理薬】

森 英樹

【授業科目の内容】

四季の風物とその表現を探ります。すなわち、和歌、俳句、漢詩、などを読むことを通して、日本に古くからある言葉、風物、情調、およびその表現や思考を学びます。時には近代詩や外国詩をも引用して、風土や情緒を比較することもあります。

講義に終始するのではなく、短歌や俳句、漢詩の実作を試みる演習的な時間を毎週設定しています。

【教科書】

森 南仙著 『南柯唱和抄』

【参考書】

森 南仙著 『南柯の四季』、俳句歳時記、短歌歳時記などの類

文学Ⅰ／文学（春学期）

「昭和文学を読む～戦中の文学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 山下 真史

〔授業科目の内容〕

昭和12年の盧溝橋事件以後、日本は戦争の泥沼にはまって行きましたが、それにつれて文学も国粹主義的な方向に変化して行きました。この授業では、昭和12年頃から敗戦にかけての文学の全般的な動向を講義した後、この時期に書かれた作品を取り上げて精読していきます。具体的には、火野葦平の「麦と兵隊」、太宰治「お伽草紙」、中島敦「李陵」などについて講義します。

〔教科書〕

太宰治『お伽草紙』（新潮文庫、540円）
中島敦『李陵・山月記』（新潮文庫、380円）

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「昭和文学を読む～戦後文学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 山下 真史

〔授業科目の内容〕

昭和20年の敗戦以後、数年間の文学を「戦後文学」と呼んでいます。戦後にはそれまでの国策文学とは一変して、社会の混乱に対応して様々な文学が出現しました。この授業では、主として戦後直後（23年くらいまで）の文学の全般的な動向について講義した後、この時期に書かれた作品を取り上げて精読していきます。具体的には、太宰治「ヴィヨンの妻」、坂口安吾「墮落論」「白痴」などについて講義します。

〔教科書〕

太宰治著『ヴィヨンの妻』（新潮文庫、380円）
坂口安吾著『坂口安吾』（ちくま日本文学009、ちくま文庫、924円）

文学Ⅰ／文学（春学期）

「近・現代イギリス詩入門：朗読と解説」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 レイサイド・ジェームズ M.

〔授業科目の内容〕

詩あるいはイギリス文学に興味を持つ人のために、エリザベス朝時代（16世紀）から現代までの詩文を研究する。原文を味わうため、代表的な詩を朗読し、内容と形式について講義を行なう。日本語訳を与える予定なので、英語がそれ程得意でない学生も受講可。ただし、好きな詩を選び、朗読・解説することを成績評価の一部として課す。良い英語の発音を身につけ、詩句の韻律分析を理解してもらうことが目標である。

〔教科書〕

プリント

文学Ⅱ／文学（秋学期）

「近・現代イギリス詩入門：朗読と解説」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 レイサイド・ジェームズ M.

〔授業科目の内容〕

詩あるいはイギリス文学に興味を持つ人のために、エリザベス朝時代（16世紀）から現代までの詩文を研究する。原文を味わうため、代表的な詩を朗読し、内容と形式について講義を行なう。日本語訳を与える予定なので、英語がそれ程得意でない学生も受講可。ただし、好きな詩を選び、朗読・解説することを成績評価の一部として課す。良い英語の発音を身につけ、詩句の韻律分析を理解してもらうことが目標である。

〔教科書〕

プリント

文化人類学

「身近な不思議の探究」 2単位 春学期
【経商医理】 井上 京子

〔授業科目の内容〕

文化人類学という学問は、言語、心理、宗教、婚姻形態などを比較分析することにより、多角的視野に立って人間を全体像としてとらえるものです。ここでは特に、文化の一般論化に伴う危険性に焦点を当てながら、日本文化を他の文化と照らし合わせていきます。すると今まで知らない間にみなさんが身に付けていた先入観が、浮き彫りとなって来るはず。自分自身を世界の様々な人間社会における一つの枠組みの中での存在としてとらえ直せるような、客観的視野を養うことがこのコースの目的です。

特にコースの前半は言語と文化の関わりを中心に、後半は文化の多様性を採り上げて、身近な不思議を探究しその解明を目指します。

〔教科書〕

祖父江孝男著『文化人類学入門』増補改訂版、中央公論新社 2006年

〔参考書〕

斗鬼正一著 『目からウロコの文化人類学』 ミネルヴァ書房
綾部恒雄編 『文化人類学20の理論』 弘文堂
飯野公一他著 『新世代の言語学：社会・文化・人をつなぐもの』 くろしお出版
井上京子著 『もし「右」や「左」がなかったら』 大修館書店
佐藤郁哉 『フィールドワーク』 新曜社
米山俊直／谷泰編 『文化人類学を学ぶ人のために』 世界思想社

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 秋学期

【経商医理】

坂本 邦彦

〔授業科目の内容〕

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化がつくられてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるといわれる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにはほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

〔教科書〕

使用せず。

〔参考書〕

随時紹介する。

文化人類学Ⅰ／文化人類学（春学期）

「外なる他者と内なる他者」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経医薬】

法橋 量

〔授業科目の内容〕

文化人類学・民族学のはじまりは、西欧文明が異なる文化をもつ「他者」を発見したことに端を発しています。そして、発見した他者の存在を、「野蛮」「未開」「無文字社会」「非西欧」などさまざまな概念を使って言い表わそうとしてきました。そうした概念の違いは、とりもなおさず、自らの文化が他の文化とどのような点で異なり、またどのような点で共通しているか、という問いかけ、また認識の、歴史的プロセスから生まれてきています。

本講では、前半では、とくに「未開」あるいは「原初」という概念を軸に、西欧の文化人類学の学説史を見てゆくとともに、後半は、日本における文化人類学の歩みと、内側にある他者の発見でもあった日本民俗学との接点を探り、他者そして自己認識にとって有効な文化人類学的視点を学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

適宜指示します。

文化人類学Ⅱ／文化人類学（秋学期）

「伝承文化・日常文化・アイデンティティ」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経医薬】

法橋 量

〔授業科目の内容〕

西欧社会において、異文化に対する関心が文化人類学（民族学）の発生を促したのと同様に、その内部にある土俗的な民衆文化を対象化することによって民俗学が誕生します。民俗学はその発生期においては、自らの〈民族〉文化のルーツを探し求めましたが、それは自らの文化のアイデンティティを探し求めることでもありました。しかしながら、近代化・産業化があまねく浸透し、さらには情報のグローバル化が急速に進んだ現代において、伝統文化にもとづくアイデンティティがゆらぎはじめています。その一方で、国家や地域が伝統文化を使ってアイデンティティを再構成する動きも現われています。

本講座では、ヨーロッパと日本の、とくに言語文化と慣習文化に注目し、ヨーロッパ民族学・民俗学的視点によって、現代社会において、伝統と現代文化がどのように関わりあっているのか、また同時代の文化をどのように捉えていくか、その方法を学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

随時紹介します。

文明学説史Ⅰ

「祖来学からみた福澤学」

2単位 春学期

【経商薬】

松村 宏

〔授業科目の内容〕

福澤諭吉の名著「文明論之概略」は、なお今日の現代世界転回期に有効な真理を多く含んでいる。それは戦国末期と江戸中期の日本文明（上級武士道）の頂点となっている学説（祖来学）を土台としていたからでもある。テキスト批判から始めて、福澤学の内容を解説する作業を進めながら、学生諸君の学業練習を求めていく。（本講を発展させた「日本文明学説史」を土曜日三田に開講している。）

〔教科書〕

『文明論之概略』岩波文庫、『職業としての学問』岩波文庫、他はプリント配布。

〔参考書〕

『文明論之概略を読む』岩波新書、日本思想大系「荻生祖来」岩波書店

文明学説史Ⅱ

「由来学の近現代的意味」

2単位 秋学期

【経商薬】

松村 宏

〔授業科目の内容〕

戦国末期に日本文明の頂点として各独立職業人の業績が達成されている。その思想的省察の結晶として姿を現したのが、江戸中期の由来学であった。由来学のテキスト批判と直近の訓読復元から内容解読まで研究と論述をすすめるながら、学生諸君の学業練習を求めていく。

(本講を発展させた「日本文明学説史」は、土曜日三田に開講している。)

〔教科書〕

プリント配布。

〔参考書〕

日本思想大系『荻生徂来』岩波書店、吉川幸次郎著『論語』朝日新聞社

法学Ⅰ（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（春学期）

「法の主要な分野である憲法、民法（財産法、家族法）、刑法の基本的な問題の検討」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

石渡 哲

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（春学期には、憲法と民法の財産法）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

〔教科書〕

石渡哲＝渡井理佳子著『シュタットプラン法学』（成文堂）

六法（法令集）『ポケット六法』（有斐閣）か『デイリー六法』（三省堂）など。他の出版社のものでもよいが、最新版を用意すること。

〔参考書〕

金子宏ほか編『法律学小辞典』（有斐閣）。その他、教科書に参考文献のリストがある。授業中にも適宜紹介する。

法学Ⅱ（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（秋学期）

「法の主要な分野である憲法、民法（財産法、家族法）、刑法の基本的な問題の検討」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

石渡 哲

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（秋学期には、民法の家族法と刑法）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

〔教科書〕

石渡哲＝渡井理佳子著『シュタットプラン法学』（成文堂）

六法（法令集）『ポケット六法』（有斐閣）か『デイリー六法』（三省堂）など。他の出版社のものでもよいが、最新版を用意すること。

〔参考書〕

金子宏ほか編『法律学小辞典』（有斐閣）。その他、教科書に参考文献のリストがある。授業中にも適宜紹介する。

法学Ⅰ（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（春学期）

「法および法律についての基礎知識」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

河村 好彦

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学Ⅰは、このような視点から法についての基礎理論を説明したうえで、憲法を中心として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

〔教科書〕

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学Ⅱ（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（秋学期）

「法および法律についての基礎知識」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理薬】

河村 好彦

*法学部生は履修できません

〔授業科目の内容〕

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、

下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学Ⅱは、このような視点から民法を中心として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

【教科書】

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事およびDVD等の映像資料を利用することで、いかに法がみぢかな存在であるかを学んでいきたい。

【教科書】

石川明編『プライマリー法学憲法』信山社

【参考書】

講義資料プリントを配布します。

法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事およびDVD等の映像資料を利用することで、いかに法がみぢかな存在であるかを学んでいきたい。また、時間がとればその時にあった学外講師の話も予定している。

【教科書】

石川明編『プライマリー法学憲法』信山社

法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】

佐藤 拓磨

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、一般教養として必要な、法学についての基礎知識を修得することを目的とします。全13回のうち、前半部分を法に関する基礎理論の解説に割り、後半部分で我が国の憲法について概説し、基本的人権や統治機構について学習します。加えて、我が国の裁判制度、及び来年5月までに導入されることが予定されている裁判員制度等のテーマについても扱う予定です。

【教科書】

六法（小型のものでよい）

【参考書】

必要に応じて指示します。

法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】

佐藤 拓磨

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

春学期に引き続き、法学についての基礎知識を修得することを目的とします。秋学期は主に、民法及び刑法の概略について解説します。また、医療をめぐる法律問題等といった比較的我々に身近なトピックも織り交ぜる予定です。

【教科書】

六法（小型のものでよい）

【参考書】

必要に応じて指示します。

法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理薬】

藤田 祥子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『プレップ法と法学』弘文堂

**法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）**

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

藤田 祥子

〔授業科目の内容〕

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

〔参考書〕

倉沢康一郎『プレップ法と法学』弘文堂

**法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）**

「法学の基礎および日本国憲法」

2単位 春学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

本田 耕一

〔授業科目の内容〕

法学の基礎として、諸種の社会規範との関係における法の特徴、近代法の成立とその性格、成分法（憲法・法律・命令・規則・地方自治法規・条約）及び不文法（慣習法・判例法・条理）とその効力、法の実用的ないし理論的な分類、法の解釈等を取扱う。

〔教科書〕

特に特定しません。

**法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）**

「法学の基礎および日本国憲法」

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

本田 耕一

〔授業科目の内容〕

日本国憲法に関して、これにより保障される基本的人権や統治機構、地方自治、平和主義と国際関係等を取扱う。

〔教科書〕

特に特定しません。

**法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）**

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方Ⅰ」

2単位 春学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

山田 美枝子

〔授業科目の内容〕

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常生活を送るなかで、意識するとしなやかにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。学生生活、職業活動、家族関係等においても、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記の1)～6)において、法律を実践的に学び、法的なものの方を見方を身につけてほしいと思います。

〔教科書〕

池田真朗他著『法の世界へ〔最新版〕』有斐閣（2007年又は2008年）

〔参考書〕

小型の六法

**法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）**

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方Ⅱ」

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

山田 美枝子

〔授業科目の内容〕

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常生活を送るなかで、意識するとしなやかにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。誕生してから老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記の1)～5)において、法律を実践的に学び法的なものの方を見方を身につけるとともに、同6)において、法学の基礎に触れてほしいと思います。

〔教科書〕

池田真朗他著『法の世界へ〔最新版〕』有斐閣（2007年又は2008年）

〔参考書〕

小型の六法

**法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）**

2単位 春学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

尹 仁河

〔授業科目の内容〕

本講義では、法的思考のために不可欠な法学の基本概

念を正確に理解し、私たちの身近にある様々な問題を法的な観点から分析する力を養うことを目標にします。講義全体の基軸となるキーワードは「人権」です。私たち一人一人にはどのような人権がどのような法で保障されているか、その保障に至るまでにはどのような経緯があったか、もし人権が侵害された場合にはどのような方策をとりうるか、弱者を常に意識しつつ、国内さらには世界に目を向けて「人権」を考える時間にしたいと思います。

春学期は、法学を学ぶにあたっての基礎を理解した上で、国の最高法規である憲法を中心に、具体的事例を検討しながらともに学んでゆきます。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。小型の「六法」をなるべく持参してください。

〔参考書〕

開講時に一覧を示します。

**法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）**

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

尹 仁河

〔授業科目の内容〕

本講義では、法的思考のために不可欠な法学の基本概念を正確に理解し、私たちの身近にある様々な問題を法的な観点から分析する力を養うことを目標にします。講義全体の基軸となるキーワードは「人権」です。私たち一人一人にはどのような人権がどのような法で保障されているか、その保障に至るまでにはどのような経緯があったか、もし人権が侵害された場合にはどのような方策をとりうるか、弱者を常に意識しつつ、国内さらには世界に目を向けて「人権」を考える時間にしたいと思います。

秋学期は、春学期の続編として法学の基礎および憲法の復習を十分に行い、私たちの生活に密着している民法、国の刑罰権を枠づける刑法の基本的考え方について、具体的事例を検討しながらともに学びます。その上で、憲法および国際法（各人権条約）による人権保障について考えてゆきます。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。小型の「六法」をなるべく持参してください。

〔参考書〕

開講時に一覧を示します。

**法学Ⅰ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（春学期）**

2単位 春学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

頼松 瑞生

〔授業科目の内容〕

第一に、法とは何かという問題について考察します。
第二に、法にはどのような形式のものがあるのかということの説明をします。

第三に、憲法の基本的な考え方を学びます。

第四に、憲法がどのように人権を保障しているのかということの説明をします。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

**法学Ⅱ（憲法を含む）／
法学（憲法を含む）（秋学期）**

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経**法**商医理薬】

*法学部生は履修できません

頼松 瑞生

〔授業科目の内容〕

第一に、憲法と他の形式の法との違いを説明します。
第二に、国会によって制定される法の特徴について学びます。

第三に、国会によって制定される法の中でも、法律がどのようにして定められるのかを説明します。

第四に、行政機関によって制定される法の特徴について学びます。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

民族文化論

「民族と民族イメージ」

2単位 秋学期

【文経**法**政商薬】

羽田 功（コーディネーター）

臼杵 陽 工藤多香子

佐谷真木人 鈴木 透

種村 和史

〔授業科目の内容〕

「民族問題」は21世紀に入り、いよいよ混沌の度を深めている。ところが、残念ながら私たちは「民族問題」あるいは「民族」について必ずしも十分な理解を持っているわけではない。しかも、たとえば「民族」という用語を取り上げてみても、時代や地域によってその意味するところは多様であり、一義的に定義することはできな

い。その結果、ある「民族」の実際とこれにまつわる「民族イメージ」の間に大きな乖離が生じる場合も少なくない。

そこでこの授業では、「民族」と「民族イメージ」のさまざまな関係のあり様をできるだけ幅広い時間・空間の中で取り上げることで「民族問題」を考える一つの切り口を提示すると共に、この授業が自己を理解し、他者を理解するための土台作りの一助となることを目的としている。

〔教科書〕

・羽田功（編著）『民族の表象—歴史・メディア・国家』（慶應義塾大学出版会、2006年、ISBN4-7664-1310-5）

〔参考書〕

・担当者ごとに適宜指示する

ラテンアメリカ研究 a（春学期）／

ラテンアメリカ研究 b（秋学期）／

ラテンアメリカ研究（通年）

「世界の中のラテンアメリカ」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔経商医〕

工藤多香子（コーディネーター）
清水 透 敦賀 公子
伏見 岳志 八嶋由香利
安井 伸 山本 昭代
山本 純一 横山和加子

〔授業科目の内容〕

オムニバス形式で進めるこの授業では、学内外のラテンアメリカ、スペイン研究者が一堂に会して、それぞれがもっとも得意とする専門領域から「ラテンアメリカ」という地域にアプローチして講義します。今年度は、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、そしてアメリカ合衆国など、世界のどこか他の地域とラテンアメリカを結びつけながら、ラテンアメリカの過去・現在を立体的・複眼的にとらえていくことを目標とします。ラテンアメリカに精通したオタクになるのではなく、ラテンアメリカを通して世界を考える力を鍛えましょう。

倫理学 I／倫理学（春学期）

「倫理学の理論」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

柘植 尚則

〔授業科目の内容〕

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わることがらについて哲学的に考えるものです。この講義では、倫理学の代表的な理論を学び、現実の倫理問題を考えるための基礎を身につけることを目標とします。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内——理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

倫理学 II／倫理学（秋学期）

「倫理学の課題」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

柘植 尚則

〔授業科目の内容〕

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わることがらについて哲学的に考えるものです。この講義では、現実の倫理問題について考えながら、倫理のあり方を探ることを目標とします。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内——理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

倫理学 I／倫理学（春学期）

「倫理学するってどういうこと？1（倫理学の諸理論）」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

奈良 雅俊

〔授業科目の内容〕

倫理学の代表的な理論を概観します。倫理学は何を研究対象とし、どのように考えをすすめるか、また、どのような形で私たちの現実と関わっているのかについて、一定の知識を身につけることを目標とします。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内——理論と課題』 慶應義塾大学出版会 2006年

倫理学 II／倫理学（秋学期）

「倫理学するってどういうこと？2（応用倫理学）」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

奈良 雅俊

〔授業科目の内容〕

現代社会が直面しているさまざまな倫理的問題を取り上げ、これらに対して倫理学がどのような取り組みを行っているかについて、一定の知識を身につけることを目標とします。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内——理論と課題』 慶應義塾大学出版会 2006年

倫理学 I／倫理学（春学期）

「責任と自由」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

ある人の行った行為に関して「あの人はそれに関して

責任がある」と言えるためには、その人はその行為を自由に行ったのでなければならない。この授業では、「この自由（つまり責任に必要な自由）とは何なのか」という問題を、近代から現代までの西洋哲学の諸理論に触れながら考えます。それを通して「人とはどのような存在なのか」ということを少しでも明らかにできればよいと思います。

〔教科書〕

『責任と自由』成田和信著（勁草書房）

〔参考書〕

『自由：哲学的分析』：M. クランストン著（岩波新書）

『「責任」ってなに？』：大庭健（講談社現代新書）

倫理学Ⅱ／倫理学（秋学期）

「幸福論」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

この授業では、「幸福とは何か」あるいは「その人にとって良い生き方とは何か」という問題について、現代までのさまざまな哲学的理論を振り返りながら、検討します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業中に案内します。

倫理学Ⅰ／倫理学（春学期）

「倫理学入門Ⅰ」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学は、様々な価値（善、幸福、平和、福祉など）、それを実現するための能力としての徳、社会的ないし個人的模範としての義務などを扱う学問です。この講義では、倫理学の代表的な理論と基本的な概念を学び、現実の倫理的問題に対処するための基本を身につけることを目指します。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内——理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学Ⅱ／倫理学（秋学期）

「倫理学入門Ⅱ」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学は、様々な価値（善、幸福、平和、福祉など）、

それを実現するための能力としての徳、社会的ないし個人的模範としての義務などを扱う学問です。この講義では、倫理学の代表的な理論と基本的な概念を学び、現実の倫理的問題に対処するための基本を身につけることを目指します。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内——理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学Ⅰ／倫理学（春学期）

「倫理学の基礎」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

山本 剛史

〔授業科目の内容〕

「倫理学」とは「善く生きる」ことをその主題として研究する学問である。しかし私たち自身は毎日の生活の中で「善く生きよう」としているだろうか？なぜ、そもそも「善く」生きなければならないのか？また、「善い」生き方とはいかなる生き方なのか？つまるところ「善い」とは何か？本講義はこうした疑問に答えようとする様々な倫理学を、私たちが己の生を客観的に見つめるための道具として考える。その上で、受講者がこの倫理学という道具の種類を覚え、自力で使いこなすために最低限必要となる基礎的かつ体系的な知識を身につけてもらうことを目的とする。

春学期は、ソクラテスからヘレニズムにいたる古代倫理学に加え、応用倫理学を扱う際に前提となる、社会契約説、義務論、功利論、現代の正義論とそれに対する批判等について講義する予定である。ただし春学期の講義において応用倫理学自体は扱われない。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編、『倫理学案内——理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

〔参考書〕

教場でその都度指示する。

倫理学Ⅱ／倫理学（秋学期）

「倫理学の課題と発展」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

山本 剛史

〔授業科目の内容〕

倫理という目に見えない対象を学問的に扱うためには系統的な知識が絶対必要である。本講義は西洋倫理学の基礎を概説することを通して、受講者がこの分野の文献を自力で読み、自らの課題を考えてゆく際の一助を与えることを目的とする。

秋学期は春学期に触れられなかった重要な倫理学説について講義する。加えて、生命倫理、環境倫理、さらには技術倫理等が提起する今日の課題に対し学際的な取り組みが進む中で、倫理学が果たしうる固有の役割について

て、いくつかのキーワードを手がかりに考えてみたい。

〔教科書〕

小松光彦・樽井正義・谷寿美編、『倫理学案内—理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

〔参考書〕

教場でその都度指示する。

倫理学 I / 倫理学（春学期）

「倫理学案内・理論編」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

吉田 量彦

〔授業科目の内容〕

意識しようといまいと、皆さんは日常生活のさまざまな局面で、いつも既に倫理について考えてしまっています。肝心なのは、思考の筋道を通すことです。倫理的問題について筋の通った思考をするために必要な、最低限の基礎知識を学んでいただくのがこの授業の目標です。

春学期は倫理学のさまざまな学説を取り上げ、それぞれの強みと問題点を明らかにしたいと思います。

〔教科書〕

小松・谷・樽井（編）『倫理学案内—理論と課題』慶應義塾大学出版会、2005年

〔参考書〕

授業中に紹介します。

倫理学 II / 倫理学（秋学期）

「倫理学案内・課題編」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕

吉田 量彦

〔授業科目の内容〕

秋学期は、いわゆる「応用倫理」を取り上げます。21世紀の日本に生きるみなさんは、現代社会に特有の条件から生じた、さまざまな倫理的問題に取り巻かれています。中には、専門家たちの内輪の話し合いで解決するのが困難なものもたくさんあります。また、みなさん自身知らないうちに、たとえ望んでいなくても、そうした問題の当事者になっていることも少なくありません。そうした問題に直面したとき、筋の通った思考をするために必要な、最低限の基礎知識を学んでいただくのがこの授業の目標です。

〔教科書〕

小松・谷・樽井（編）『倫理学案内—理論と課題』慶應義塾大学出版会、2005年

〔参考書〕

授業中に紹介します。

歴史 I / 歴史（春学期）

「中東におけるイスラームの歴史的展開」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理〕

新井 和広

〔授業科目の内容〕

以前に比べてイスラームに関する情報は日本にもだいぶ入ってくるようになりました。皆さんが日々目にするニュースもイスラームに関連したものが結構あると思います。しかしイスラームを一枚岩にとらえている見方がいまだに多いことも確かです。

この講義では一年かけてイスラームの歴史的展開を二つの地域に注目して学びます。春学期はイスラームに関する基礎知識を学んだ後、中東、特にアラブ地域におけるイスラームの展開を見ていきます。秋学期にはインド洋海域と東南アジアに目を向けます。多様なイスラームのあり方を学んでください。

〔教科書〕

特にありません

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

歴史 II / 歴史（秋学期）

「インド洋と東南アジアにおけるイスラームの歴史的展開」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理〕

新井 和広

〔授業科目の内容〕

イスラームは中東の宗教というイメージが強いですが、実は世界で一番ムスリム（イスラーム教徒）人口が多いのはインドネシアです。イスラームはどのようにしてインド洋沿岸地域や東南アジアに広がっていったのでしょうか。そして東南アジア社会の中でイスラームはどのような役割を果たした（果たしている）のでしょうか。秋学期には中東から離れてインド洋と東南アジアに注目し、イスラームの歴史的展開を学びます。

〔教科書〕

特にありません

〔参考書〕

必要に応じて授業中に紹介します

歴史 I / 歴史（春学期）

「旧石器時代・縄文時代概説」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理〕

安藤 広道

〔授業科目の内容〕

日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、狩猟採集社会の時代である旧石器時代と縄文時代について、東アジア的な視点を含めて概観します。特に、人々の生活の変化とその背景について、社会経済史的観点からの解説に力点を置くつもりです。併せて考古学という学問の紹介

もしたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「弥生時代・古墳時代概説」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

安藤 広道

〔授業科目の内容〕

日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、弥生時代と古墳時代について、つまり農耕社会の成立から古代国家の成立までを、東アジア的な視点を含めて概観します。特に、人々の生活の変化とその背景について、社会経済史的観点からの解説に力点を置くつもりです。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「モンゴル襲来と鎌倉後期の社会」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

井上 聡

〔授業科目の内容〕

モンゴル襲来によって誘発された様々な社会情勢の変化を、権力構造・土地制度・イエ制度といった視点から検討する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

網野善彦『蒙古襲来』（小学館）、笈雅博『蒙古襲来と徳政令』（講談社）

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「南北朝内乱と荘園制の変質」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

井上 聡

〔授業科目の内容〕

南北朝の内乱とはどのような政治・社会状況を前提とし、何をもたらしたのか。

荘園制の展開を軸にすえて考察を進めてゆく。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

佐藤進一『南北朝の動乱』（中公文庫）、森茂暁『南北朝の動乱』（吉川弘文館）

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「中世ヨーロッパに生きる」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

岩波 敦子

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパ中世とはどんな世界だったのでしょうか。現代に生きる私たちと何が違い、何を共有できるのでしょうか。私たちの手元に残されている史料は、人々の感情、行動様式などその一部を伝えているにすぎません。春学期開講の歴史Ⅰでは、ヨーロッパ中世世界とはどんな世界だったのか、人びとの世界観・生き方を中心に紹介します。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

岩波敦子『誓いの精神史』（講談社選書メチエ391）2007年 1,500円

アシル・リュシェール『フランス中世の社会 フィリップ＝オーギュストの時代』東京書籍 1990年 3,000円

阿部謹也『中世を旅する人びと』平凡社1978年

アルフレッド・クロスビー『数量化革命』紀伊国屋書店2003年 3,200円

他は適宜授業で紹介いたします。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「声の中世ヨーロッパ」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経法政商医理〕

岩波 敦子

〔授業科目の内容〕

人間の心とは何か、それは太古から私たち人間がもつとも関心を持ち、その答えを追い求め続ける永遠のテーマです。この授業では、ヨーロッパ中世の世界観・人間観を紹介しながら、密接な関わりを持っている身体と心の関係を、中世ヨーロッパの人びとがどう理解していたのかを考えたいと思います。秋学期開講の歴史Ⅱでは、歴史の中で語られる人間の声に着目し、ヨーロッパ中世に生きた人びとが、身体とこころの関係をどんなふうにつまえていたのかについて学んでいきます。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

岩波敦子『誓いの精神史』（講談社選書メチエ391）2007年 1,500円

メアリー・カラザース『記憶術と書物』工作舎 1997年 8,000円

ジャン＝クロード＝シュミット『中世の身ぶり』みすず書房 1996年 6,500円

池上俊一『ロマネスク世界論』名古屋大学出版会 1999年 6,500円

他は適宜授業で紹介いたします。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「修道制の歴史Ⅰ」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

神崎 忠昭

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパを歩くと、どんな小さな都市であろうとも、あるいはどんな僻地であろうとも、必ずキリスト教の教会に出会い、かつてほどの力はないにしても、さまざまところにキリスト教の影響を感じます。キリスト教はヨーロッパ文明の根本的な構成要素をなしているのです。本講義は、そのようなキリスト教の一つの実践である修道制を概観することを目的とし、その起源から11世紀頃までのヨーロッパにおけるその展開を対象とします。

〔教科書〕

特に指定しません。講義の際に資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の際に適宜紹介します。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「修道制の歴史Ⅱ」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

神崎 忠昭

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパを歩くと、どんな小さな都市であろうとも、あるいはどんな僻地であろうとも、必ずキリスト教の教会に出会い、かつてほどの力はないにしても、さまざまところにキリスト教の影響を感じます。キリスト教はヨーロッパ文明の根本的な構成要素をなしているのです。本講義は、そのようなキリスト教の一つの実践である修道制を概観することを目的とし、11世紀頃から16・17世紀頃までのヨーロッパにおけるその展開を対象とします。

〔教科書〕

特に指定しません。講義の際に資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義の際に適宜紹介します。

歴史Ⅰ

「海とイスラーム史」

2単位 春学期

【文経法政商医理】

栗山 保之

〔授業科目の内容〕

西アジアにイスラームが誕生した7世紀から、西欧勢力がインド洋に出現する15世紀までの時期において、西アジアを中心としたイスラーム世界の歴史の展開を、海（インド洋、紅海、ペルシャ湾）との関係から考えてみたいと思います。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし（授業時にご紹介します）。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「古代・中世の女性の歴史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

小林 茂文

〔授業科目の内容〕

歴史学の意義は、過去（他者）に学んで現在の自分や社会を考えることにあるが、授業では固定した見方に陥ることなく、多元的な見方を身につけることを目指す。それを女性（他者）の歴史を通じて考えたい。

授業では、女性作家の作品などを取り上げるのではなく、古代を中心に、女性の生活や労働の形態や結婚制度などを取り上げ、存在としての特色を検討する。そのことにより、制度や思想の変化から、女と男で成立している歴史的社会的在り方を参考にし、現在の「私」を考える手懸りにしたい。

〔教科書〕

講義中に毎回プリントを配布する。

〔参考書〕

講義中に毎回紹介する。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「古代・中世の子どもの歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

小林 茂文

〔授業科目の内容〕

歴史学は暗記することではなく、史料を参考にしながら、社会や「私」を考えることに意義がある。社会の基本となるのは「いのち」であると考えますが、歴史学が直接取り上げることはあまりない。授業では子どもの歴史を通じて、「いのち」がどのように認識されていたかを考えていく。

授業では、古代を中心に子どもの成長過程や儀礼から、子どもが社会に存在する意義や重さを検討し、子どもがどのような存在であるかを考える。翻って自らはどのような存在なのかを考える。また「いのち」の観点から、病気などの歴史を踏まえて社会的在り方を考えたい。

子ども時代は全員が経験したことであるが、どのような存在で、これからどこへ行こうとしているのか、思いを馳せよう。

〔教科書〕

講義中に毎回プリントを配布する。

〔参考書〕

講義中に紹介する。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「幕藩体制の成立と展開—徳川将軍と諸大名—」
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 白根 孝胤

〔授業科目の内容〕

我が国では、戦国時代とよばれた動乱期のなかで、織田政権や豊臣政権のように、武家による平和な統一政権の樹立を目指す動きが見られました。なかでも徳川将軍家による武家政権は250年以上にもわたって平和な時代を存続させた、日本史上においても注目すべき政治体制と言えます。春学期の講義では、17世紀前半（慶長期から慶安期）における徳川政権の政治構造や幕藩体制の成立過程について、諸大名との関係を視野に入れながら、当時の書状や日記など、史料の解説を通して明らかにしていきます。

〔教科書〕

特にありません。毎回講義で使用する資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『日本の時代史』第14巻（吉川弘文館、2003年）、『日本史講座』第5・6巻（東京大学出版会、2004年、2005年）、『戦争の日本史』第17巻（吉川弘文館、2007年）。その他、授業のなかで適宜紹介します。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「江戸時代前期・中期の政治と文化」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 白根 孝胤

〔授業科目の内容〕

江戸時代は、徳川将軍家による武家政権が250年以上にもわたって存続した、日本史上においても注目すべき時代と言えます。そして、この時代に展開された政策や文化は、現代においても継承されているところが数多く見られます。

そこで、秋学期の講義では、春学期の続きとして、17世紀後半～18世紀（とくに慶安期から享保期）における徳川政権の構造について、諸大名の動向を視野に入れながら検討するとともに、長年にわたる平和な時代のなかで、江戸城や大名庭園で行われた将軍と諸大名、旗本、公家などとの儀礼や文化交流の実態を、古文書・絵図類などを提示しながら明らかにしていきます。

〔教科書〕

特にありません。毎回講義で使用する資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『日本の時代史』15・16巻（吉川弘文館、2003年）、『日本史講座』第5・6巻（東京大学出版会、2004年、2005年）。その他、授業のなかで適宜紹介します。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「医療の歴史 1500－1800」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパを中心に、医学と医療の歴史を講義する

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「医療の歴史 1800－2000」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕

19・20世紀の医学と医療の歴史を講義する

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「ペルシャ文化史論」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 中村 公則

〔授業科目の内容〕

現代のイラン人がどのように暮らしているかを、視覚教材も使用しつつ理解してもらいながら、併せてイスラム期イランの歴史を略述する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

本田実信著「イスラム世界の発展」講談社

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「ペルシャ文化史論」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 中村 公則

〔授業科目の内容〕

現代のイランについて知識を持って貰うだけでなく、古代からどんな文化遺産を引き継いできた民族か知って貰う。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

長澤和俊著「正倉院の至宝」青春出版社

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「学術の基礎としての歴史学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 馬場 章

〔授業科目の内容〕

政治・経済・文学・経営・音楽・美術・科学・医学など学術の各分野には、それぞれ政治史・経済史・文学史・経営史・音楽史・美術史・科学史・医学史など歴史に関連する領域が必ず存在します。学術の基礎には歴史学あるいは歴史学的思考があると言えます。しかし、歴史学自体の範囲はそれらにとどまらず、社会史や女性史といった歴史学も存在しています。すべてのものには歴史があり、歴史学が存在するのです。そのような歴史学の特徴を捉えて、各学術分野において歴史的に物事を思考することの重要性について授業を行います。この授業では、とくに人間科学としての歴史学の目的・構造・方法や理論について講義し、履修生の皆さんと一緒に考えていきます。

〔教科書〕

教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

〔参考書〕

参考書は授業中に随時指示します。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「歴史学とデジタルアーカイブ」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 馬場 章

〔授業科目の内容〕

歴史学に用いられる資料（史料）は、いわゆる古文書・古記録に限りません。例えば日本史の場合、古代の木簡、中世の城郭、近世の貨幣、近代の雑誌など、過去の痕跡を残しているものすべてが資料となります。この授業では歴史学の対象となる資料を文化資源のひとつとして捉え、その保存・修復・利用について授業を行います。なかでも、デジタル技術を用いた文化資源の復元やデータベース化など、近年注目されているいわゆるデジタルアーカイブを中心に取り上げ、文化経済学の見地から、博物館・美術館・文書館・図書館などの事例をもとに、デジタルアーカイブの意義や目的、技術、メタデータ、さらに地域活性化のためのビジネスモデルについて講義します。

〔教科書〕

教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

〔参考書〕

参考書は授業中に随時指示します。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）（火3・4）

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

〔授業科目の内容〕

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

〔教科書〕

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）（火3・4）

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

〔授業科目の内容〕

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

〔教科書〕

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史Ⅰ／歴史（春学期）（火5）

「バレエの歴史」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

〔授業科目の内容〕

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。春学期は十九世紀フランス・バレエまでを論じる。ヨーロッパ近代文化史・文明史として位置づけられる。

〔教科書〕

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）（火5）

「バレエの歴史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

〔授業科目の内容〕

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。秋学期はロシアにおけるバレエと現代バレエを論じる。ヨーロッパ近・現代文化史、文明史として位置づけられる。

〔教科書〕

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史Ⅰ／歴史（春学期）（水1・水2）

「ヨーロッパ商業の誕生」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

今日的な現象として「グローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。この長期的なプロセスでは、ものの生産だけではなく、市場経済という流通や交換に関わる仕組みの発達が大きな役割を持っている。この市場経済の発達と展開について、ヨーロッパ古代から近世までを例に検討するのが、この授業の目的である。この講義（春学期）では、とくに古代から中世ヨーロッパで市場交換が形成され、成長していく過程を辿りながら、今日のグローバル化について、長い歴史的な文脈で考えることを試みる。そのうえで、「グローバル化」を題材として、歴史的思考が現代の問題にどのように関与するのかについて考えてみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）（水1・水2）

「近世ヨーロッパの海外進出」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

今日的な現象として「グローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。この長期的なプロセスでは、ものの生産だけではなく、市場経済という流通や交換に関わる仕組みの発達が大きな役割を持っている。この市場経済の発達と展開について、ヨーロッパ古代から近世までを例に検討するのが、この授業の目的である。この講義（秋学期）では、とくに16-18世紀にヨーロッパ商業が外へと拡大していく過程を辿りながら、今日のグローバル化について、長い歴史的な文脈で考えることを試みる。そのうえで、「グローバル化」を題材として、歴史的思考が現代の問題にどのように関与するのかについて考えてみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史Ⅰ／歴史（春学期）（木1）

「環大西洋世界の歴史的展開：その形成」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。こうした考察をふまえながら、この講義（春学期）では、大西洋世界共通の歴史を素描していく。そのうえで、より一般的に「海」という視点をとることによって、新たに理解できることは何であり、理解できないことは何であるかについて、考察してみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）（木2）

「環大西洋世界の歴史的展開：その展開」 2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。この講義（秋学期）では、こうした研究者たちの思考をふまえて、大西洋世界が相互に依存していく様子を素描していく。そのうえで、より一般的に「海」という視点をとることによって、新たに理解できることは何であり、理解できないことは何であるかについて、考察してみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「近世日本の国際環境」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松方 冬子

〔授業科目の内容〕

近世すなわち江戸時代の日本、という「鎖国」という言葉が思い浮かぶと思います。講義では、近世の日本が、「鎖国」にもかかわらず、世界史の文脈のなかに位置づいていたことを理解できるようにします。高校時代までは、歴史は暗記科目だったかもしれませんが、この講義では日本史上のできごとを、世界のどこかで起きて

いたことと結び付けて「考える」ことを学びます。結びつけるためには、狭い意味の歴史学だけではなく、幅広い興味・関心と、柔軟な思考力が必要です。この講義では、そのための基本的な素養を身に付けることを目標にしたいと思います。

歴史学という素材を通して、「日本史は人類史の一部であること」「世界中のどこに住んでいる人も同じ人間であること」を実感して欲しいと思います。

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「近世日本の国際環境」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松方 冬子

〔授業科目の内容〕

近世すなわち江戸時代の日本、という「鎖国」という言葉が思い浮かぶと思います。講義では、近世の日本が、「鎖国」にもかかわらず、世界史の文脈のなかに位置づいていたことを理解できるようにします。高校時代までは、歴史は暗記科目だったかもしれませんが、この講義では日本史上のできごとを、世界のどこかで起きていたことと結び付けて「考える」ことを学びます。結びつけるためには、狭い意味の歴史学だけではなく、幅広い興味・関心と、柔軟な思考力が必要です。この講義では、そのための基本的な素養を身に付けることを目標にしたいと思います。

歴史学という素材を通して、「日本史は人類史の一部であること」「世界中のどこに住んでいる人も同じ人間であること」を実感して欲しいと思います。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「アメリカ合衆国史概論Ⅰ」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松本 典久

〔授業科目の内容〕

アメリカ合衆国史上の主要なテーマについて、時代を追ってお話します。特にそれらが今日のアメリカ、および世界（特に日本）に対して、どのような影響を及ぼしているかを考えます。

〔教科書〕

必要に応じてプリント配布。

〔参考書〕

拙著『日米比較文化論』（慶應義塾大学出版会）

有賀貞・大下尚一編著『概説アメリカ史』（有斐閣選書）

岡田泰男・永田啓恭編著『概説アメリカ経済史』（有斐閣選書）

斉藤真『アメリカ政治外交史』（東京大学出版会）

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「アメリカ合衆国史概論Ⅱ」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松本 典久

〔授業科目の内容〕

主として第二次世界大戦後のアメリカ合衆国史、およびアメリカを中心とする世界情勢（グローバリゼーション）についてお話します。

〔教科書〕

拙稿「グローバリズムと反グローバリズム」（『日吉紀要、英語英米文学』43、2003年）、同「歴史のおわり、もしくは新しい歴史のはじまり」（『同誌』44、2004年）、同「グローバリズムの研究、18世紀以降の英米経済を中心に」（『同誌』47、2005年）、同「グローバリズムの研究、アメリカにおける消費資本主義の発展を中心に」（『同誌』49、2006年）、同「グローバリズムの研究、『豊かな社会』を中心に」（『同誌』50、2007年）、同「グローバリズムの研究、戦後の世界体制を中心に」（『日吉紀要、人文科学』22、2007年）、同「グローバリズムの研究、戦後の世界経済を中心に」（『同誌』23、2008年）。

『日吉紀要』、Web上、もしくは担当者のサイト（<http://www.geocities.jp/proteus11jp>）で閲覧可能。

〔参考書〕

拙著『日米比較文化論』（慶應義塾大学出版会）

有賀貞・大下尚一編著『概説アメリカ史』（有斐閣選書）

岡田泰男・永田啓恭編著『概説アメリカ経済史』（有斐閣選書）

斉藤真『アメリカ政治外交史』（東京大学出版会）

歴史Ⅱ

「現代中東とクルド人問題」

2単位 秋学期

【文経法政商医理】

山口 昭彦

〔授業科目の内容〕

中東における民族問題の一つとしてクルド人問題を取り上げ、この問題の形成過程と現状を解説します。この作業を通じて、全近代から近代、さらに現代へと時代を経るなかで、中東地域の政治体制や社会統合のあり方がどのような変容を遂げたのか、そして今後どのような方向に向かうのかを展望することを目指します。主にトルコのクルド人問題を取り上げます。

〔教科書〕

特に指定しません。授業中に資料を配布します。

〔参考書〕

授業中に紹介します。

歴史Ⅰ／歴史（春学期）

「戦後日本の中国近代史研究」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 吉田 建一郎

〔授業科目の内容〕

戦後日本における中国近代史研究の歩みを振り返り、歴史学の特徴の一端を理解することを目指す。

〔教科書〕

プリントを使用

歴史Ⅱ／歴史（秋学期）

「19・20世紀の中国経済」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 吉田 建一郎

〔授業科目の内容〕

19世紀以降の中国経済の発展過程をふりかえり、長期的視野で中国を見る眼を養うことを目指す。

〔教科書〕

プリントを使用

論理学Ⅰ（月5）

「論理的推論の理解とその応用」 2単位 春学期
【文経法政商医理薬】 岡田 光弘

〔授業科目の内容〕

論理的思考や正しい論理推論の基準を明らかにする。命題論理及び述語論理の論証理論（証明論）及び意味論を中心に、現代論理学の基本的な考え方を学習していく。また、論理学の種々の応用についても具体例を用いながら解説を加えたい。

命題論理を中心とした入門的内容となる。特に現代的な立場から新しい教材も用いて、論理的思考や正しい推論の基準等の学習を進める。

〔教科書〕

指定しない。

〔教科書〕

プリントをダウンロードして頂きます。詳しいことは最初の授業で指示します。

〔参考書〕

必要に応じて授業中に指示します。

論理学Ⅱ（月5）

2単位 秋学期

【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

述語論理について、その意味論および構文論を学ぶ。また、ラムダ計算や直観主義論理についても考察する。授業では、命題論理についての知識は前提して話を進める。

論理学Ⅰを履修したもの、あるいは命題論理について

同程度の理解をもつものに受講してもらいたい。

**論理学Ⅰ（春学期）／論理学Ⅱ（秋学期）（火4）
論理学（通年）**

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びながら、真理及びその我々にとっての意味について考察する。

論理学Ⅱは論理学Ⅰの続きです。論理学Ⅰの内容を前提にして授業をすすめますので、論理学Ⅰをも合わせて履修して下さい。

〔教科書〕

特に用いない。

**論理学Ⅰ（春学期）／論理学Ⅱ（秋学期）（火5）
論理学（通年）**

「論理学入門」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びます。特に「数学の形式化」を主題とし、ゲーデルの不完全性定理の証明とその意義を理解することを最終的な目標とします。

論理学Ⅰ／論理学（春学期）

「形式論理学入門1」 真理関数理論」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 佐々木 昭則

〔授業科目の内容〕

演繹的推論について勉強する。特に、推論が正しいかどうか確かめる方法について様々なアプローチを紹介し、その技術を学生に習得してもらおう。論理学の形式的思考法の重要性を実感してもらいたい。

〔教科書〕

特に指定せずプリント配布。

〔参考書〕

教室で適宜指示。

論理学Ⅱ／論理学（秋学期）

「形式論理学入門2」 量化理論」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理薬】 佐々木 昭則

〔授業科目の内容〕

春学期に引き続いて授業を行う。したがって、春学期の内容を前提としている。

秋学期は量化理論を中心に扱う。ここでは、「すべて」や「ある」に関する推論を扱う。

〔教科書〕

特に指定せずプリント配布。

〔参考書〕

教室で適宜指示。

論理学Ⅰ／論理学（春学期）

「命題論理の入門」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 峯島 宏次

〔授業科目の内容〕

現代論理学の基本的な考え方を身につけることを目標とします。春学期は、現代論理学のもっとも基本的な部分である命題論理を学びます。現代論理学は、「正しい推論とは何か」を探究する分野であると同時に、その応用として、分析哲学や理論言語学の分野において、私たちがふだん使っている日本語や英語のような自然言語のふるまいを研究するための不可欠な道具にもなっています。授業では、自然言語の表現と論理的表現の対応関係を考えることを通して、こうした現代論理学の応用についても紹介したいと思います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の際に必要なに応じて指示します。

論理学Ⅱ／論理学（秋学期）

「述語論理の入門」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 峯島 宏次

〔授業科目の内容〕

現代論理学の基本的な考え方を身につけることを目標とします。秋学期は、述語論理を中心に学びます。現代論理学は、「正しい推論とは何か」を探究する分野であると同時に、その応用として、分析哲学や理論言語学の分野において、私たちがふだん使っている日本語や英語のような自然言語のふるまいを研究するための不可欠な道具にもなっています。授業では、自然言語の表現と論理的表現の対応関係を考えることを通して、こうした現代論理学の応用についても紹介したいと思います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の際に必要なに応じて指示します。

論理学Ⅰ／論理学（春学期）

「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準の研究」 2単位 春学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを

通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で最も基本的なものである命題論理の言語について解説する。

〔教科書〕

講義資料プリントを作成する。

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

論理学Ⅱ／論理学（秋学期）

「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準の研究」 2単位 秋学期
4単位 通年

〔文経法政商医理薬〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で基本的なものである述語論理の言語について解説する。

〔教科書〕

講義資料プリントを作成する。

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

論理学序論

「記号論理学の基礎」 2単位 春学期
〔経商医理〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の真理条件、推論の妥当性を厳密に定義できるような人工的な記号言語の体系を構築し、その言語を用いて知識を表現することによって論理を分析しようとする。この授業では、論理学の人工言語のうち最も単純なものである「命題論理の言語」を取り扱う。標準的な意味論（真理表を用いた分析など）の説明の後、形式的な証明のシステムの一つであるゲンツェンのLKについて解説する。証明図の作成の演習、完全性についての解説などを含める予定である。

〔教科書〕

教科書は使わない代わりに、重要事項をまとめたプリントを作成する。

〔参考書〕

内容に応じて、適宜参考書を指示する予定。

論理学本論

「記号論理学の基礎」 2単位 秋学期
〔経商医理〕 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

記号論理学の標準的な言語である「述語論理の言語」を取り扱う。具体的には、基本的な考え方、標準的な意味論の解説と、ゲンツェンのLK（連式計算）での形式的証明の演習、LKの完全性が含まれる。余裕があれば、

述語論理の中で数学がどのように形式化されるかということと、そうした形式化による分析によって明らかになったことなどについても解説したい。

〔教科書〕

一冊の教科書は使わず、要点をまとめたプリントを作成する予定。

〔参考書〕

授業内容に応じて、参考書を紹介する。

Ⅱ 少人数セミナー形式授業科目

ここからは、各学部で設置されている少人数セミナー形式の授業科目について紹介します。各学部で開講されている少人数の特色ある科目を、できるだけ多くの学生に共有してもらいたいという願いから、2003年度から、相互に、他学部の学生に授業を開放しています。他学部に開放された授業では、所属学部の学生の履修が優先された上で、履修人数に余裕のある限り、他学部の学生が履修することができます。

①他学部の「少人数セミナー形式授業科目」を履修した場合、下記科目の単位となります。

文学部 : 総合教育科目の系列外科目
経済学部 : 総合教育科目 (Ⅲ系)
法学部 : 自主選択科目
商学部 : 総合教育科目 (Ⅰ・Ⅱ類)
医学部 : 自由科目 ※ただし、法学部設置「人文科学特論Ⅰ」
「人文科学特論Ⅱ」を除く
理工学部 : 自由科目
薬学部 : 履修不可

②各学部の時間割に全学部分の「少人数セミナー形式授業科目」時間割を掲載しているので、曜日時限を確認してください。

③「少人数セミナー形式授業科目」は、他学部設置の科目を履修する場合でも、**科目認定用紙の提出の必要はありません。**

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナーⅠ・Ⅱ（各2単位）

主として、文学部1年生を対象に開講する少人数、セミナー型講義科目です。担当するのは、文学部の日吉所属教員で、三田所属教員が開講している「特論」とよく似た形態です。いわゆる教員が壇上で講義をしていく形態の総合教育科目とは違って、各教員が専門とする研究に沿って討論、対話、輪講などの形式で進められます。内容・講義形式等については、各担当教員が自由に設定しますので、必ず第1回目の授業に出席して、内容等を確認してください。

科目名は、ゴシック（太字）部分です。（ ）カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考（証明書などに記載されない科目名）です。

総合教育セミナーⅠ（グローバル化と言語の多様性） 「グローバル化と言語の多様性」 2単位 春学期 〔文〕 足立 健次

〔授業科目の内容〕

皆さんは世界中にどれくらいの数の言語が存在しているかご存知でしょうか。2002年にユネスコ（国連教育科学文化機関）は少数派言語消滅の危機を表明しました。英語圏を代表する文芸批評家ジョージ・スタイナーは、それより25年も前に英国のBBCテレビで一般向けに講演を行い、少数派の言語が消滅の危機に瀕していることに警鐘を鳴らしています。しかし、この問題が国際社会の中で重要視されるまでに実に四半世紀もの歳月が費やされました。なぜこの地球上に何千という数多くの言語が存在しているのか、という素朴な疑問から始まるスタイナーの英文を読み解きながら、最近になってようやく表面化してきた言語の多様性の問題をさまざまな側面から考えてみたいと思います。

〔教科書〕

The Tongues of Men（南雲堂）をプリントで使用します。

〔参考書〕

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナーⅠ（スペイン語圏の文化と社会） 「スペイン語圏の文化と社会」 2単位 春学期 〔文〕 井関 睦美

〔授業科目の内容〕

スペイン語は、スペインをはじめ中南米諸国など世界20カ国あまりで公用語となっている、英語、中国語に次いで3番目に使用人口の多い言語です。私たちの日常生活のなかでも、スポーツ、ファッション、料理、映画、美術、歴史などスペイン語圏諸国に関する情報は身近なものになっています。たとえば、スペインのサッカーの試合は日本でも視聴率が高く、メキシコ料理のタコスやスペイン料理のパエリアはポピュラーなメニューです。

し、マヤ文明やインカ文明など中南米の古代文化展も毎年のように開催されています。このセミナーでは、スペイン語圏諸国の文化や社会に関連するトピックを取り上げ、日本での受容・消費・経験のされ方を、ディスカッション形式で分析・考察していきたいと思います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

適宜指示します。

総合教育セミナーⅠ（20世紀の科学の発見） 「20世紀の科学の発見」 2単位 春学期 〔文〕 大場 茂

〔授業科目の内容〕

科学はどのようにして発展してきたのだろうか。世界の常識を覆すような発見や発明が、どのようになされたのであろうか。20世紀における科学の発展を振り返り、その時代背景や基礎的な科学の概念を学びます。例えば、今から6500万年前に巨大隕石が地球に衝突しなければ、恐竜が絶滅することもなく、現在の人類も誕生しなかったかもしれません。このセミナーで取り扱う内容は、医学、薬学、化学、物理学、心理学、生命科学、工学、地球科学、人類学と幅広い自然科学の分野に渡っていますが、それらが密接に関連していることがわかってきます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布します。

総合教育セミナーⅠ（人類学） 「動物園・水族館で進化を学ぶ」 2単位 春学期 〔文〕 高山 博

〔授業科目の内容〕

現在、生きている動物を観察することで、人類の進化について基礎知識を学ぶ機会としたい。今年度は、特に脊椎動物（魚類以降）の動物に注目して観察していく予定です。講義時間以外に、動物園・水族館等へでかけますので、休業日（日・祝）の観察会も講義の一環となります。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

総合教育セミナーⅡ（グローバル化と言語の多様性） 「グローバル化と言語の画一化」 2単位 秋学期 〔文〕 足立 健次

〔授業科目の内容〕

皆さんは世界中にどれくらいの数の言語が存在しているかご存知でしょうか。2002年にユネスコ（国連教育科学文化機関）は少数派言語消滅の危機を表明しました。英語圏を代表する文芸批評家ジョージ・スタイナーは、

それより25年も前に英国のBBCテレビで一般向けに講演を行い、少数派の言語が消滅の危機に瀕していることに警鐘を鳴らしています。しかし、この問題が国際社会の中で重要視されるまでに実に四半世紀もの歳月が費やされました。今や世界共通語が出現しつつあるのか。仮にそうであるとして、果たして私たちはそのような共通語を必要としているのか。こうした疑問を提示したスタイナーの英文を読み解きながら、言語の画一化の問題をさまざまな側面から考えてみたいと思います。

〔教科書〕

The Tongues of Men (南雲堂) をプリントで使用します。

〔参考書〕

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナーⅡ (生き物のかたち)

「生き物のかたち」

2単位 秋学期

〔文〕

倉石 立

〔授業科目の内容〕

淘汰の歴史を生き抜いて来た生き物のかたちは、非常に機能的であると同時に力学的に調和のとれた造形美を持っています。このコースでは生き物の形態観察を通して生き物のかたちの面白さに触れるとともに、客観的な目で物事を見るトレーニングを行います。さらに、気に入った生き物の魅力を紹介するプレゼンテーションにより、得られた情報を整理して他人に伝達する技術についても学びます。

総合教育セミナーⅡ (人類学)

「骨に聞く、骨を読む」

2単位 秋学期

〔文〕

高山 博

〔授業科目の内容〕

人体骨格についての基礎知識を習得しながら、人類学(化石人類学、骨格人類学)の基礎にふれる機会とした。人類進化の道筋を化石模型等に触れながら、形態進化を実体験していく予定。受講者のレベル等よりですが、他大学・研究所の見学にも出かけることもあります。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

〔経済学部設置の少人数セミナー形式科目〕

自由研究セミナー

「C++ での実用的なプログラミング」

2単位 春学期

〔経〕

青木 健一郎

〔授業科目の内容〕

C++ は現在 Java とともにもっとも実用で使われているプログラミング言語の一つです。C 言語が進化した C++ は C 言語よりもプログラムを書きやすい言語であるために多くの場面で使われています。C++ を学ぶ前に C を学ぶ必要があるということはありません。

C++ の主な特徴は実用性とオブジェクト指向性、そして様々なプラットフォームで使える汎用性です。プログラミングで重要な事は、楽に正しく作ることで、オブジェクト指向性はこれにおおいに役立ちます。

このセミナーでは、プログラムを書くことによってプログラミングについて理解する事を目的とします。複雑なプログラムよりも、自分で完璧に理解できる簡単なプログラムを書くようにします。プログラムを書けるようになるまでには壁があり、また、オブジェクト指向性を使いこなすにも壁があります。このセミナーではプログラムを書くことによってその壁を乗り越えることが目的です。

〔教科書〕

「これならわかる C++」 小林 健一郎 (講談社)

〔参考書〕

「新 C++ 言語入門-ビギナー編」 林 晴比古 (ソフトバンククリエイティブ)

自由研究セミナーa/自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「国際経済の計量分析」

2単位 春学期/秋学期

4単位 通年

〔経〕

秋山 裕

〔授業科目の内容〕

(1) 貿易、為替レート、海外直接など、国際経済における経済現象について、回帰分析を中心とした簡単な計量分析を履修者が行えるようになること、(2) 株式投資についてポートフォリオ理論の簡単な実践を履修者が行なえるようになること、(3) 『通商白書2008』の輪読を通じて、現在の国際経済分野の諸問題について見識を深めることがこのセミナーの目標です。授業は①担当者による講義と②履修者のグループ発表からなります。

セミナーを効率的かつ活発で楽しいものにするため、演習、発表ではグループによる共同作業も行ないます。(2007年度のクラスでは、日本経済新聞社主催の学生円ダービーや日経ストックリーグなどのコンテストにもチームを編成して参加しました。コンテスト参加にあたって、MS Excelの分析ツールを中心に実践的な分析手法を習得していきます。) そのため、授業時間以外で準備の時間、および、課題をこなすための時間がある程度必

要となります。

〔教科書〕

『通商白書2008』（春学期中に発行の予定）

計量分析手法の学習、ポートフォリオ理論の学習にあたっては、講義資料としてプリントを配布します。

〔参考書〕

随時、担当者から指示があります。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

自由研究セミナー

「変わりゆく都市の風景—近代化された都市のコンテキストを探る—」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

伊藤 行雄

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパの町を歩くと、旧市街の中心には必ず教会や市庁舎があり、その前の広場は朝市で買い物をする市民や観光客で賑わい、いつも活気のある光景を目にする。そこでは、教会や官庁、銀行、デパート、カフェ、遊歩道などが集まり、凝縮された都市景観が演出されている。「まさにこの同心円的な構造をもつ都市の中心へ行くこと、それは社会の『真理』に出会うことでもある」と述べたのはロラン・バルトだが、彼はキリスト教的な考え方に代表される、中心のある都市の有り様について言及している。日本の都市とは異なり、ヨーロッパの都市はこの構造を維持しつつ、古い景観を残しながらその周辺部分に新しい都市を発展させている。

東京では、このような都市の構造が捉えにくい。多中心化が進み、都市の各部分は年を追って高層化されていく。本来もっていた東京の風景は、増大する高層建築によって大きく変貌しつつある。由緒ある寺院の背後に巨大な茸のような高層建築が建ち、醜悪に近い光景をあちらこちらで目にするようになっていく。周囲の景観に配慮した都市づくりはもはや不可能なのか。しかし、江戸時代から続いている、その土地がもつコンテキストを探っていけば、より個性のある町づくりを実現させることができるはずである。

本研究会では、ヨーロッパと日本の都市（特に東京）を比較検討しながら、「西」と「東」の都市の形態の差異を考察していく予定である。時には文学作品などを含めた多方面のテキストを使用することによって、都市の分析を行いたいと考えている。

〔参考書〕（あらかじめ購入する必要はない。）

ロラン・バルト『表徴の帝国』（ちくま学芸文庫）

芦原義信『街並みの美学』（岩波現代文庫）

K.グルーバー『ドイツの都市造形史』（西村書店）

永井荷風『日和下駄』（岩波文庫）

楨文彦『見えがくれする都市』（鹿島出版会）

楨文彦『ヒルサイドテラス+ウエストの世界—都市、建築空間とその生活—』（鹿島出版会）

隈 研吾『負ける建築』（岩波書店）

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

自由研究セミナー

「Introduction to Film Studies」2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

エインジ, マイケル W

〔授業科目の内容〕

Movies “capture the imagination” —but what is meant by that? Movies “open up dream worlds” —but whose dreams, and toward what ends? Movies are also said to “tell it like it is” —but what do they in fact tell (or show), how do they do so, and what is the effect of their stories and images?

The purpose of this course is to introduce students to, and develop their use of, some of the analytic tools necessary for academic criticism, which the students will then use to refine and articulate their own critical method. Those selected (class size is limited) will be introduced to several major film theories, and apply those to analyses of selected films. Toward that end, in addition to the Wednesday-afternoon class sessions, regular film screenings will be held on Wednesday evenings. Attendance at the former is mandatory, though students unable to attend the latter may watch films on their own. Additional films for viewing will be recommended. Not surprisingly, a substantial amount of reading will be assigned, both of primary sources—i.e., film theorists’ writings, as well as commentary on those theories—and secondary sources, such as analyses of specific films and general material on Film History. In-class lectures, presentations and discussions will offer students a forum for testing the various analytic methods, while the final paper will allow them to demonstrate their analytic skills.

NOTE: THIS COURSE IS A PREREQUISITE FOR PROF. AINGE’S KENKYU PROJECT.

〔教科書〕

To be announced at the first meeting.

〔参考書〕

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

自由研究セミナー

「開発経済学入門」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

大平 哲

〔授業科目の内容〕

途上国経済、日本国内の地域開発の問題を取り上げる。履修者各自が関心をもつテーマを選び、レポーターになって発表する。その発表内容についての疑問、感想を自由に述べ合う形で授業をすすめる。詳しい情報を <http://www.econ.keio.ac.jp/staff/tets/kougi/lnote/>

に掲載する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業の進行につれて紹介する。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

自由研究セミナー

「詩と映像と音楽のフュージョン 都市・自然・人間における詩と映像と音楽の融合パート2」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

小淵 昭夫

〔授業科目の内容〕

昨年に引き続いて、東京、パリ、ニューヨーク、サンフランシスコ、日吉そして皆さんの出身地をテーマにして、詩・映像・音楽・映画を作成し、作品を日吉キャンパス空間で発表し、地域の人たちに観てもらい、交流を図る。

〔教科書〕

マクルーハン「メディア論」(みすず書房)

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

自由研究セミナー

「地方都市の振興」について考える」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

長田 進

〔授業科目の内容〕

新聞でよく見かける「中心市街地活性化」の問題など、現代社会の抱える問題として、地方都市の活性化が取り上げられる機会が多く見られる。この講座では、この問題に対する自分の見解を持つための各種活動を行うことを目標としている。また、少人数による講座ということ、普段の講義形式以外の授業を体験してもらうような工夫を行う予定である。

〔教科書〕

最初のセミナーの時間に指定する。

〔参考書〕

授業の中で適宜指定する。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b

自由研究セミナー

「経済分析の理論的方法」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

長名 寛明

〔授業科目の内容〕

経済現象は、自然現象や社会現象と同様に複雑であって、どのような要因がどのように作用し合っているか、理解するのが必ずしも容易ではない。

これを理解するためには、当面の問題に直接関係がな

いと思われる要因を思い切って捨象して考えることが有益である。不必要と思われる要因を捨象して残ったものが、経済分析に使われるモデルあるいは理論である。モデル(模型)が実物と異なることは当然であるが、経済学を学び始める者の中のある者は、理論が現実と乖離していることに驚き、経済学への興味を失う。これは学問を始めようとする者にとって極めて不幸なことであると思われるが、かなり多くの者に観察されるようである。これは一種のアレルギー反応といえるものであり、理論の理解と共に消失する。

また経済理論は、かなり本質的な部分において数学的分析を必要としており、したがって、この分析方法を習得しないと十分な理解に達することが難しい。

この自由研究セミナーでは、ミクロ経済学の主要項目について演習形式で理解を深めることを目指す。必要な数学的分析方法についても訓練する予定である。

〔教科書〕

H. R. Varian, Intermediate Microeconomics, Norton (7th Edition), 2005.

〔参考書〕

神谷和也・浦井憲著『経済学のための数学入門』(東京大学出版会)。

その他必要に応じて指示する。

自由研究セミナー

2単位 秋学期

〔経〕

金子 勝

〔授業科目の内容〕

その時々を中心にして、経済学的に分析する。ゼミナール形式なので、参加者の希望で、テーマと本を決める。

ちなみに、昨年度は、まず橋木俊詔の「日本の経済格差」を取り上げた。テキストについて、基本的にその内容を把握するグループとそれに批判的コメントを加えるグループに分けて議論する。つぎに、サブプライムローン問題に端を発した米国の住宅バブル崩壊について取り上げ、雑誌や新聞を自分で集め、報告をする形式をとった。この自主研究セミナーでは、物事を批判的に考察しながら、議論を組み立てる基礎的な手法を学ぶことを目的にしている。ただし、参加を希望する者は、財政政策・地方財政論、社会保障・社会福祉、あるいは格差問題など日本経済論の領域で何かテーマを選んでレポート(A4用紙で3~5枚)を必ず提出すること。

4月初旬の掲示を確認してください。

〔教科書〕

相談して決める。

〔参考書〕

議論の進行に合わせて、その時々教える。

**自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「日吉の自然・実践的入門」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔経〕 岸 由二

〔授業科目の内容〕

日吉の森の散策、雑木林再生作業への実践的な参与、資料を利用した討論、読書等を通して、危機と再生の中にある都市自然のモデルとして、日吉キャンパスとその周辺の生物多様性やランドスケープをまなびます。学習と体験の成果は毎回簡単なレポートとして提出し、同時にそれらを取りまとめて、年間を通して受講生それぞれが一冊のパーソナルなく日吉・ナチュラリストダイアリーとしてまとめることをめざします。

〔教科書〕

- ・岸 由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店
- ・伊藤隆広『日吉の森野鳥紀行』
- ・ほか資料

参加人数を配慮して適宜指定します。

〔参考書〕

- ・R. カーソン『センス・オブ・ワンダー』
- ・岸ほか『流域圏プランニングの時代』

**自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「フィールドワーク入門」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

〔経〕 工藤 多香子

〔授業科目の内容〕

身近なところに転がっている「ちょっと気になる何だろう」を、フィールドワークを通してとことん追求するゼミです。受講生にはふだんから気になること、関心のあることの中から研究テーマを設定してもらいます。各自のテーマにそって夏休み中にフィールドワークを実施。最終的には研究成果を20000字程度のモノグラフにまとめてもらいます。

毎回の授業は、受講者の研究計画・成果の発表を中心に進めます。日常的な場面から学術的なテーマをいかに見つけ出すか、フィールドワークを通していかに思考するかを学び、そして発表の仕方、学術論文の書き方の基礎を身につけてもらうのがこのゼミの目標です。

〔教科書〕

菅原和孝編『フィールドワークへの挑戦』世界思想社

**自由研究セミナー a／自由研究セミナー b
自由研究セミナー**

「『大学』を考える—私にとっての「高等教育」の意味を求めて—」 2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔経〕 境 一三

〔授業科目の内容〕

1年生の皆さん、入学おめでとう。厳しい受験勉強を終えて、さぞやほっとしていることでしょう。それとも、必ずしも自分の希望する結果にならず、悔しい思いをしているのでしょうか？

大学生活で、やりたいことが山のようにあってどうしよう、と考えている人もいれば、何をやったらいいかわからない、という人もあるでしょう。いずれにせよ、これからの4年間、あなたたちの活動の場となる「大学」というものを最初の1年で、自分なりにしっかりと捉えることは、何にもまして大切なことだと思います。

一緒に「大学」について考えてみましょう。

2年生の皆さん、あなたはこれまでの1年間、どんな経験をしましたか？希望がかなえられましたか？それとも、がっかりすることの連続でしたか？なんで大学にいるのかわからなくなった、という人もいることでしょう。高校と大学の違いがよくわからないというあなた、高校との違いが大きすぎて、どうやって振る舞ったらいいのかわからなかった、というあなた。

一緒に「大学」について考えてみましょう。

ちょっと大げさな言い方をすれば、「大学を哲学する」というのがこのセミナーの目的です。でも、いきなり抽象的な議論をするではありません。自分たちの考えていること、思いを言葉にすることから始めましょう。ブレインストーミングから始めて、徐々に自分なりの「大学」を掴み取っていきましょう。

考えたり議論するためには材料が必要です。日本の大学がその成立から今日にいたるまで、どのような歴史を経てきたのかを知ることも必須です。また、諸外国の大学生がどんなシステムのもとでどのように勉強しているかを知ることも重要でしょう。時には留学生にインタビューに行くかもしれません。

このセミナーではそれらについて本や新聞記事や論文を読んだりもします。自分の力で読み、自分で考える。それを私たち自身に課しましょう。

担当教員はまた外国語科目の担当でもありますから、大学でなぜ英語を学ぶのか、中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語etc.を学ぶのかについても考えていきたいと思います。

セミナーは出席者全員で作りに上げて行くものです。それには積極的な参加が必要です。また、議論の材料になるものを家で読み、要点をまとめて発表する、という作業も欠かせません。特に大事なことは、どんなことでも口にして、みんなと意見を交わしてみるということです。

**自由研究セミナーa/自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「医学と現代社会」 2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

〔経〕 鈴木 晃仁

〔授業科目の内容〕

20世紀の医学上の大きな事件を題材にしたルポルタージュ、ノンフィクション、フィクションを読み、現代社会における医学の位置を考える。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に指定します。

自由研究セミナー

「近・現代における経済と社会」 2単位 春学期
〔経〕 崔 在東

〔授業科目の内容〕

本セミナーは、近代に生きる人々が直面していた様々な問題を多面的に考察します。具体的に取り上げるテーマは、家族と経済、土地と経済、人口と経済、エネルギーと経済、宗教と経済などです。各問題について国家と人々はどのような戦略を取っていたか、その歴史的含意はどのようなものであるかを議論します。また、現代経済の諸問題と原理的にどのようにつながっているのかを模索します。

〔教科書〕

特に指定しません。資料プリントを配布します。

〔参考書〕

適時に提示します。

**自由研究セミナーa/自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「慶應義塾大学蔵、猫の絵本」 2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

〔経〕 津田 眞弓

〔授業科目の内容〕

慶應義塾大学は沢山の古典籍を所蔵しており、その中に草双紙（江戸で出版された商業的絵本）の一群があります。絵と文が同一紙面に混淆する表現法に、江戸文化固有の諸相や美意識、あるいは現代のドラマ・映画・マンガに通じる普遍性をくみとることができます。それらの蔵書に触れ、江戸時代の人々と同じ紙面を見る喜びを体験します。当面は天保末期（1841年頃）におこった歌川国芳の猫図ブームに際して作られた『朧月猫草紙』（山東京山作・歌川国芳画）を扱います。この本はかわいらしく楽しい擬人化した猫の絵本だと知られていますが、天保改革の影響を顕著に見る事ができる珍しい本でもあります。慶應義塾大学蔵本は保存状態のたいへんよい美本です。授業ではくずし字や草双紙特有の読み方、

あるいは書誌調査の方法の手ほどきをします。猫の絵本を起点に各自の自由な興味と発想で、テーマを深める報告をしてもらいます。

〔教科書〕

『仮名変体集』（新典社）

〔参考書〕

江戸戯作文庫『朧月猫草紙』（河出書房新社）

『書誌学の回廊』（林望、日本経済新聞社）

『江戸の板本』（中野三敏、岩波書店）

『鈴の音が聞こえる－猫の古典文学誌－』（田中貴子、淡交社）

* 論文 「歌川国芳画『朧月猫草紙』と猫図」（津田眞弓、『浮世絵芸術』152）

* 論文 「山東京山作『朧月猫草紙』にみる合巻の本分と戯作性」（津田眞弓、『江戸文学』35）

自由研究セミナー

「科学的社会主義」の思想とは？」 2単位 春学期
〔経〕 蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

春学期（全13回）の授業を通して「科学的社会主義」の三大古典著作といわれている「共産党宣言」、「空想から科学へ」そして「フォイエールバハ論」を自由研究セミナーの諸君と一緒に論読します。

これらの三著作を通して科学的社会主義の基本的理想を学ぶことを出来ることを今年度の自由研究セミナーの目的としています。

〔教科書〕

マルクス／エンゲルス著 服部文男訳 『共産党宣言／共産主義の原理』 新日本出版社 1998年

エンゲルス著 石田精一訳 『空想から科学へ』 新日本出版社 1999年

エンゲルス著 森 宏一訳 『フォイエールバハ論』 新日本出版社 1998年

〔参考書〕

水田 洋著 『新稿社会思想小史』 ミネルバ書房 2006年

**自由研究セミナーa/自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「グローバル化と倫理」 2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

〔経〕 蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

アダム・スミス『道徳感情論』を通して「グローバル化と倫理」を考察してみることで、これを本年度の自由研究セミナーの目的としています。

グローバル化していく国際社会の中でスミスが説く「共感と利己心」がどのように調和するか否かを考えてみたいと思います。

〔教科書〕

アダム・スミス著 水田 洋訳『道徳感情論』（上・

下) 岩波文庫 2003年

〔参考書〕

水田 洋著 『新稿社会思想小史』 ミネルバ書房
2006年

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
自由研究セミナー

「カウンセリングと精神療法を学ぶ」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

土屋 博政

〔授業科目の内容〕

この授業の目的は、人間の心理的メカニズムを学ぶことにより、精神的な病に悩み苦しむ人への理解と共感を深めることです。精神的な病というものは、その人の自己表現であり、それなりの理由があつてのものです。従つて、1年間この授業を受けることで、受講者は病に悩む人への理解を深め、また自分に対して少しばかり客観的に見ることができ、以前よりも肩の力を抜いて生きられるようになるでしょう。

講義は必要に応じて行いますが、この授業はセミナーですので、中心は受講者の皆さんの発表と議論です。主として春学期の授業では、皆さんが今疑問に思っている問題、例えば、アパシー（無感動）、引きこもり、リストカット、虐待、家庭内暴力、ストーカー、カルトなどの問題を扱った書物を1冊以上読み、そこから分かったこと、また依然として分からないこと、疑問となることなどをレポートにしてまとめ、それをクラスで発表してもらいます。毎回の授業での発表者は1人、ないし2人です。皆さんが感じた問題は、現代の若者全般に何らかの形で関わる問題です。それをみんなで考えることが大切です。皆の前で発表することは、自分を客観視するのに役立つだけでなく、他の人の意見を聞くことで多面的なものを見方を学ぶ良い機会ともなります。テーマは皆さんが自由に選んで下さい。

また秋学期は、夏休み前に受講者にそれぞれ関心がある精神療法を選んでもらい、その療法を夏休み中に調べ、そのレポートを発表してもらうことを中心にして授業を進めます。

〔教科書〕

春学期は特別に教科書を使いませんが、秋学期には教科書としてカウンセリングを批判した小沢牧子の著書『「心の専門家」はいらない』を用い、彼女の論の是非を議論します。

〔参考書〕

参考書は授業時に必要に応じて示します。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
自由研究セミナー

「日本とアジアの人口、家族、経済」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

津谷 典子

〔授業科目の内容〕

本科目は、人口増加と経済発展（population growth and economic development）、人口増加と環境・資源（population growth and the environment）、人口高齢化と高齢者介護（population aging and care of the elderly）、出生・家族形成（fertility and family formation）、結婚とその解消（marriage and marital disruption）、死亡・保健・衛生（mortality and health）、労働力と就業（labor force and employment）、家族・世帯（family and household）、ジェンダー（gender relations）など、人口学や経済学が取り扱う様々なトピックや問題についての英文文献を読み、それらに関するクラスでの発表と討論を通して、人口問題と経済に関する知識・理解を深めることを目的とする。人口変動と経済変動は密接に関連しており、人口変動はまた環境・資源の最も重要な決定変数の1つである。人口は重要な政策的課題でもあるため、本科目では各トピックの政策的含意についても検討する。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。なお、本科目で取り上げる論文は、比較的平易かつ具体的内容をもつものを、現在わが国および国際社会が置かれている状況を考慮して、適切であると思われるものを講師が予め選別する。

〔参考書〕

河野稠果『世界の人口』（第2版）、2000年、東京大学出版会。

自由研究セミナー a / 自由研究セミナー b
自由研究セミナー

「ジェンダーについて考える」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔経〕

長沖 暁子

〔授業科目の内容〕

セクシュアリティ、性と生殖、家族、教育、労働、環境問題、今、社会が抱えるさまざまな問題は、ジェンダーという視点を抜きに考えられない問題でもあります。しかし、1999年男女共同参画基本法が成立して10年近く経った現在、男女共同参画社会への批判とともに、「ジェンダー」に対する見直しを主張する流れも出てきました。このような現代的な課題も含め、ジェンダーにかかわる問題を考え、今後の展望を話し合いたいと思います。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

下記候補から受講生の関心に沿って選びます。

自由研究セミナーa／自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「体験を通して学ぶバリアフリー・ユニバーサルデザイン入門」

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【経】 中野 泰志

〔授業科目の内容〕

現在、我が国の少子化・高齢化は加速し、高齢化率は世界でも最高に近い水準に達しています。法的に認定された障害者だけでも600万人を超えており、65歳以上の高齢者も2500万人以上に達しています。このように、単純に人口比から考えただけでも、障害者・高齢者は、すでに全国民中の一部のマイノリティーグループとは呼べない規模に増大しています。さらに、疾病や事故・災害等での一時的な障害も含め、短期的に心身のコンディションにハンディを持つ人は多く、何よりも「すべての人が加齢とともにやがて確実に高齢者になる」という現実を考慮すれば、バリアフリー問題は、すなわち国民全体のテーマであるといえます。

若くて、健康な人にとって、特別な理由がない限り「高齢」や「障害」ということを意識することは少ないと思います。しかし、一生を考えてみると、不自由なく、移動したり、考えたり、覚えたりできる状態に身体を保つことができるのは、一時的なことです。例えば、誰も乳幼児のときには一人では上手に食事もできなかったわけですが、また、いつ病気や事故等に遭遇するかもわかりませんし、老化を避けることは誰にもできません。この意味で障害や加齢は身近な問題であり、障害や加齢の状態にある人にも住みよい社会を創っていくことは、すべての人にとって大切な課題だと言えるでしょう。

このセミナーでは、すべての人が快適に生活できる「バリアフリー（バリアのない）社会」を実現するために必要な事項について実践を行いながら、ディスカッションを行います。様々な障害のある状態を擬似的に体験するワークショップ、ノートテイク等の支援の実習、キャンパスや街のバリアチェック等の実践を通して、バリアフリー・ユニバーサルデザインについて学びます。実習は、講義時間以外にも実施することがありますので、意欲のある学生の参加を期待します。

〔教科書〕

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

〔参考書〕

中島隆信（2006）障害者の経済学. 東洋経済新報社
川内美彦（2007）ユニバーサル・デザインの仕組みをつくる——スパイラルアップを実現するために——学芸出版社
上田敏（2007）ICFの理解と活用——人が「生きるこ

と」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか——萌文社

自由研究セミナーa／自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「「独身者／独身者機械」について考える」

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【経】 新島 進

〔授業科目の内容〕

生身の彼氏、彼女とつき合う代わりに、たとえば「美少女フィギュア」を愛でる男性、「やおい漫画」に耽溺する女性がいる。当セミナーでは「異性との恋愛→結婚→出産」という道筋から外れた「独身者的な生きかた、ありかた」と、それにちなむ言説、事象、芸術作品について考える。

独身者とは結婚をしていない人というよりは「生身の人間であるパートナーを持たない人」。機械はその独身者たちが夢見る相手、ただし「生身の人間ではないヒトガタ、各種光学機器が生み出す幻影」と定義する。そんな独身者／独身者機械について、まずはその歴史的、社会的背景を学び、さらに各時代の芸術潮流やテクノロジーとの関連を探る。担当者がこれまで勉強してきたのはフランスを中心とする近代の独身者機械作家やSF文学だが、考察の対象が受講者の興味によって古今東西のありとあらゆる芸術作品、事象、言説に広がっていくことを期待する。

キーワード：オタク文化（美少女フィギュア、萌え、アキバ、エロゲー、やおい同人誌）、ファッション（ゴスロリ、コスプレ、メイド、ドラッグ・クイーン）、映像作品（『下妻物語』、『エコール』、『イノセンス』）、アニメ（エヴァンゲリオン、ローゼンメイデン、攻殻機動隊）、人形（ピグマリオン・コンプレックス、ハンス・ベルメール、恋月姫、球体関節人形）、漫画（銃夢、ちよびつつ）、音楽（「ホフマン物語」、Ali project）、社会風俗（同性愛文化、ロリコン、少子化、ネット社会）、西洋近代の独身者機械作家とその作品（ホフマン、デュシャン、カフカ、ヴィリエ・ド・リラダン、ヴェルヌ、ルーセル）、身体（サイバーパンクSF）、現代思想（ドゥルーズ／ガタリによる独身者機械論）、とにかくなんでも。

〔教科書〕

特に指定しません。資料プリントを配布します。

〔参考書〕

巽孝之、荻野アンナ編『人造美女は可能か？』慶應義塾大学出版会

**自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「ユダヤ人問題」—その歴史と特質—

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔経〕 羽田 功

〔授業科目の内容〕

「ユダヤ人問題」とは何か、すなわちホロコースト、パレスチナ問題、ユダヤ人の経済活動、ユダヤ系知識人・文化人・芸術家の活躍など、ユダヤ人についてはさまざまな角度からの関心が寄せられ、多くのことが語られてきているが、これらに通底する問題の特質は何であるのか、またそれらはどのような歴史的経緯を通じて形成されてきたのか、については意外と知られていません。

そこでこのセミナーでは、古代から現代にいたるユダヤ人問題の歴史を概観することで、多様な相貌を見せる「ユダヤ人問題」のあり方の基本を知り、この問題が持つ現代的な意味を探っていきます。

〔教科書〕

プリントを予定

〔参考書〕

第一回目にリストを配布する予定（以後、適宜指示をします）

**自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「写真への接近」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔経〕 林 栄美子

〔授業科目の内容〕

写真が発明されたのは1839年のことである。人間の長い歴史の中に置いてみれば、つい最近のこととさえ言えるだろう。しかし人間が手にした最初の「映像」である写真は、飛躍的な進歩をとげ、今や誰もが写真を撮り、撮られるという体験が日常的なこととなり、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。氾濫する写真は、我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。「写真」とはいったい何か？そのことを具体的に考えるために、写真を撮るという行為、それを見せるという行為と、写真のさまざまなありようの考察とを、意識的に並行して行ってみよう。写真史を概観することもその助けとなるだろうし、写真家たちの作品にふれることも必要になるだろう。ただし、写真についての知識や体験は問わない。ただし、これは写真をうまく撮れるようになるための講座ではない。あくまでも「写真について考える」こと、それを通じて「見ること」「感じること」「人やものと接すること」を考え直す場だと思ってもらえればいだろう。

後期には、写真に関するもののなかから自分でテーマを選び、自力で調べ、考察してまとめて、他のメンバーの前でプレゼンテーションをすることが中心的な作業と

なるだろうが、皆で一つの作品集を作ってみるなどの共同作業の試みも、メンバーの希望があれば行ってみたい。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に紹介する。

**自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「エミール・ゾラと作家たち」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔経〕 林田 愛

〔授業科目の内容〕

19世紀フランスの自然主義作家、エミール・ゾラ（1840-1902）の小説は今日もお多くの人々に読み継がれています。ドレフュス事件の真相究明における貢献もさることながら、ゾラの真実への愛は作品のいたるところに萌芽し、読む人の心の中で花開きます。このゾラの小説を比較文学（文化）的に読み解こうというのが本セミナーの趣旨ですが、あくまでも従来の枠組みを越えた自由なアプローチが基盤です。前期はゾラのものだけではなく他の作家の小説も読み（文献紹介や補足のハンドアウト配布あり）、それについて語り合います。後期はテーマに沿って、ゾラの小説と日本もしくはヨーロッパの文学作品との比較を試みた発表をしてもらいます。各々の作品が生み出された歴史的背景を考慮しながらも、国や時代を超えた共通点を見出し、みずみずしい感性をもって分析に取り組むことは、きっと新たな発見をもたらす知の領域を広げてくれることでしょう。

〔教科書〕

授業中に指示します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

**自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
自由研究セミナー**

「応用経済分析への招待」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔経〕 藤田 康範

〔授業科目の内容〕

この自由研究セミナーでは、知識を構造化し、経済理論の活用方法を身につけ、戦略や政策を策定できるようになることを目標とします。

自由研究セミナーという科目の性質上、プレゼンテーションやディスカッションを重視しますが、無理なく丁寧に進めることを基本とし、必要なことについては随時説明しますので、特別な予備知識は不要です。

春学期は主としてマクロ経済理論的視点から、秋学期は主としてミクロ経済理論的視点から経済を把握します。

〔教科書〕

特にありません。必要に応じて文献を紹介します。

〔参考書〕

藤田康範『よくわかる経済と経済理論』学陽書房
 藤田康範『よくわかる金融と金融理論』学陽書房
 中嶋寿康監修・有限会社アデッセ・藤田康範研究室共著『株式公開の基本と実務がよ〜くわかる本』秀和システム

自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
 自由研究セミナー

「アーサー王伝説概論—伝説から歴史、そして物語へ」
 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年

〔経〕 **不破 有理**

〔授業科目の内容〕

アーサー王と円卓の騎士を知っていますか？今なお映画や小説の題材として取り上げられるアーサー王は、イギリス史はもとより、西欧文化においてもっともよく知られた「王様」です。しかしながらその実像は謎に包まれ、果たして実在したかどうかさえ定かではありません。本セミナーでは、アーサー王伝説が社会的、政治的、文化的な脈絡の中でどのように変容し、人々を魅了してきたのか、年代記や中世騎士道物語、絵画や映画などを題材に分析します。アーサー王伝説を通観することによって、学生諸君とともに、なぜアーサー王伝説は歴史を生き抜いてきたのか、その魅力の謎を考察していきたいと思えます。各回短い講義（もしくは各担当者の発表）と学生諸君による文献の分析・討論のほか、DVD作品など映像資料の分析・討論も予定しています。

〔教科書〕

教科書は特に指定しませんが、どの作品でもかまわないので、「アーサー王物語」を読んでおくことをお勧めします。参考書は大学図書館にあります。いずれかを購入しておくとう便利です。資料プリントを随時授業内で配布します。

〔参考書〕

トマス・マロリー 井村君江訳 『アーサー王物語』（筑摩書房、全5巻）
 リチャード・バーバー『アーサー王 その歴史と伝説』（東京書籍）
 アンヌ・ベルトゥロ 『アーサー王伝説』（創元社）
 アンドレア・ホプキンズ『図説アーサー王物語』（原書房）
 ローズマリ・サトクリフ『アーサー王と円卓の騎士』（原書房）
 [サトクリフ・オリジナルシリーズ(1)から(3)まで]

自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
 自由研究セミナー

「地球環境と人間」 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年

〔経〕 **松原 彰子**

〔授業科目の内容〕

地球環境問題や自然災害について、各自の関心のある

テーマについて調べた結果を発表し、討論を行うことを主要な目的とする。春学期は文献紹介、秋学期は夏休み各自が行った現地調査の成果を発表して、その内容について全員でディスカッションを行う。

〔教科書〕

使用しません。

〔参考書〕

松原 彰子著『自然地理学—自然環境の過去・現在・未来』（第2版）（慶應義塾大学出版会、2008年）

自由研究セミナーa／自由研究セミナーb
 自由研究セミナー

「周縁からみた中国」 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年

〔経〕 **溝部 良恵**

〔授業科目の内容〕

中国が改革開放政策を実施し、めざましい経済成長を遂げるに従って、日中間の交流も増え、中国からもたらされる情報も多くなった。その一方で、日々めまぐるしく変化する中国の実情をとらえ、理解することは、益々困難になっている感もある。真正面から中国と取り組み、最も「中国的」であることを研究し、理解しようとすることも重要であるが、この授業では、いったんそこから離れ、日本や韓国などの周辺国家との関係、あるいは同じ中国語圏でも異なる文化を持つ台湾や香港との比較、あるいは欧米など他の文化圏と中国の関係を考察することを通して、中国を見る多様な視点を学んでみたい。そしてそのことを踏まえ、我々が現在の中国と向き合い、理解するにはどのような視点や方法が有効であるかを受講者とともに議論し、考えていきたい。

〔参考書〕

授業において適宜紹介する。

自由研究セミナー

「いま「福沢諭吉」を読む」 2単位 秋学期
 〔経〕 **柳沢 遊**

〔授業科目の内容〕

福沢諭吉の生き方、思想は、さまざまな誤解をうけてきたが、21世紀初頭に生きる私たちは、彼から何を継承すべきかを、第2次大戦後の歴史家の著作を通じて考えてみたい。福沢の「文明」論、「実学」論、「一身独立」論を、階層間の亀裂が拡大し、社会が不安定化した現代日本におきかえて再考するのである。

〔教科書〕

遠山茂樹『福沢諭吉』東京大学出版会、2007年新装版

〔参考書〕

丸山真男著、松沢弘陽編『福沢諭吉の哲学』岩波文庫
 福沢諭吉『新訂 福翁自伝』岩波文庫

自由研究セミナー

「日本の社会政策」

4単位 秋学期集中

〔経〕

山田 篤裕

〔授業科目の内容〕

社会政策（＝社会保障＋労働政策）とは人々の生活を保障する政策の総称です。具体的には、就労可能な者については就労することで生活が保障されるようにし（＝労働政策）、一時的あるいは永続的に就労できない者については、年金・医療・介護・雇用・労災保険、生活保護あるいは福祉サービスにより、生活が保障されるようにする（＝社会保障）政策です。

本セミナーでは、国際比較の視点から、日本の社会政策が、現在、直面している課題をどのように解決するのか一緒に考えていくことを目的とします。

〔教科書〕

以下の参考文献から、履修者の関心に応じて決めたいと思います。

〔参考書〕

OECD『世界の社会政策の動向』（井原辰雄訳）明石書店2005.6

中垣陽子『社会保障を問いなおす一年金・医療・少子化対策（新書）』筑摩書房2005.5

ゲスタ・エスピン・アンデルセン、マリーノ・レジーニ編『労働市場の規制緩和を検証する：欧州8カ国の現状と課題』（伍賀一道・北明美・白井邦彦・澤田幹・川口章訳）青木書店2004.2

ゲスタ・エスピン・アンデルセン『ポスト工業経済の社会的基礎：市場・福祉国家・家族の政治経済学』（渡辺雅男・渡辺景子訳）桜井書店2000.5

なお文献は日吉図書館の一角にある教科書コーナーで入手可能なようにしておきます。

自由研究セミナーa／自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「ドイツ映画の黄金時代」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

〔経〕

山本 賀代

〔授業科目の内容〕

19世紀末に産声を上げたドイツ映画は、第一次世界大戦中に市民の娯楽として発展し、ドイツ最大の映画会社「ウーファ」のもとで、ワイマール共和国の大衆文化を代表する存在になりました。本セミナーでは1910年代から30年代にかけての初期ドイツ映画を鑑賞し、当時の政治状況、文化事情と合わせて考察します。ドイツ映画黄金時代の諸作品だけでなく、ときには同時期の他国の重要作品も紹介しながら、ドイツ映画の特質を考察したいと思います。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

クルト・リース『ドイツ映画の偉大な時代』（平井

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】

自然科学研究会 I

「植物成分の効能」

2単位 春学期

【法政】

金谷 信宏

〔授業科目の内容〕

植物は成長のための代謝のほかに独自の代謝経路を持ち、その植物特有の様々な化学物質を合成します。それらは香辛料、薬剤、毒薬としてヒトに利用されています。この研究会ではおのおのが興味をもった植物成分の効能について調べ、他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより植物成分についてより深く知ることができると期待されます。

自然科学研究会 I

「ヒトと生物環境との共存を考える」

2単位 春学期

【法政】

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定し、発表・討議など進行も行います。自分で学習して積極的・主体的に学びたいという学生諸君に履修を勧めます。

私たちの生活環境には、温暖化や砂漠化、環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、森林や野生動物の減少など、過去の高度な産業開発と大量消費の結果、さまざまな問題が生じています。それらの問題の解決と持続できる地球を目指して、大量の廃棄物として処理していた多くの製品でリサイクルをし、無駄を省いてシンプルな生活へと向かうさまざまな動きも感じられます。スローライフの勧めや自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象もその一つといえます。また、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題なども現代人の関心事となっています。この授業では、現代社会における自然科学を背景とした問題を学生が主体的に考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題を考える第一歩となれば良いと考えています。今年は、校外活動、資料収集、観察、臨海実習などキャンパス外での活動も考えています。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

種田保穂・秋山豊子「生きているってどういうこと」
培風館 2006年刊行

自然科学研究会 I

「化学の言葉で自然の不思議をひも解け」

2単位 春学期

【法政】

小瀬村 誠治

〔授業科目の内容〕

改札をぬけると、そこには眩いばかりのイチョウ並木が広がる。小わきに分厚い履修案内を抱えていても、その新緑の美しさに心を奪われていないだろうか。やがて秋の訪れとともに、黄色く色づき風に舞うイチョウの葉。

さて、“なぜ”イチョウの葉は黄色く色づき、風に舞うのだろうか。これは一例であるが、自然現象に接して“なぜ”と考えた時、諸君はその答えを見つけることができるであろうか。講義では、水はなぜ水に浮くのか、リングはなぜ赤いのか、などの不思議をひも解き、また後半の授業では、諸君が自然に接して“なぜ”と感じたことを自ら調べ発表してもらう。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

自然科学研究会 I

「エネルギー問題について」

2単位 春学期

【法政】

小林 宏充

〔授業科目の内容〕

21世紀は、ますますエネルギー問題や環境問題が議論される時代になって行きます。地球温暖化を抑制するためには、二酸化炭素の排出量を減らす必要があります。そのためには火力発電を減らして、原子力発電主導にする必要がありますが、それでよいのでしょうか？今後、原子力発電を増やすのは住民の同意を得ることは難しく、他の代替エネルギーに頼る必要がでてきます。では、太陽電池はどうでしょうか？それだけで、今のエネルギーを賄うことができるでしょうか？また、循環型社会をめざしていますが、リサイクルは経済的にみあうものなのでしょうか？では、どのようにすればそれが達成されるのでしょうか？エネルギーや環境の問題には、法律の話が必ず関係してきますし、政治的な判断で決まる問題も多いのが現状です。地球規模の問題では、国際関係などの知識も必要となります。本研究会では、自然科学の目からそれらを総合的に判断することを目指します。

自然科学研究会Iでは、エネルギー問題について考えることにします。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

自然科学研究会Ⅱ

「植物と環境」

2単位 秋学期

〔法政〕

金谷 信宏

〔授業科目の内容〕

動物と植物の大きな違いは、動物は動けるけど植物は動けないことです。環境が悪くなったら動物はその場所から逃げることができますが、植物は動けないので体内の環境を変えることにより、その環境悪化に対応しようとしします。また、植物は光合成により大気中の炭酸ガスを有機物に変えます。これにより植物は地球温暖化を引き起こす炭酸ガスを減らすだけでなく、他の生物に有機物（食糧）を供給しているのです。このことから植物は環境中で重要な役割を担っているといえます。この研究会では、このような植物と環境の関わりについて、各自がテーマを見つけ、自分で調べて他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより、環境中で植物がいかに重要であるかを理解できるものと期待されます。

自然科学研究会Ⅱ

「自然科学で考える」

2単位 秋学期

〔法政〕

志村 正

〔授業科目の内容〕

情報があふれ、それに振り回されている感のある現代社会。その中に身をおいているとどんなことでも知っているかのような錯覚に陥ります。分かっているようで実は何も分かっていない。例えば、環境破壊が一向に収束する気配がないのも、その仕組みが周知されていないからなのです。それこそが最大の環境問題なのではないでしょうか。

この授業は、履修者ひとりひとりがテーマを持ち寄って研究発表し、全員で議論して、知識を深めることを目的としています。併せて、自然科学的な考察を行うことにより、その発想と思考を身につけていただきます。

自然科学研究会Ⅱ

「ヒトと生物環境との共存を考える」

2単位 秋学期

〔法政〕

秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定し、発表・討議など進行も行います。自分で学習して積極的・主体的に学びたいという学生諸君に履修を勧めます。

私たちの生活環境には、温暖化や砂漠化、環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、森林や野生動物の減少など、過去の高度な産業開発と大量消費の結果、さまざまな問題が生じています。それらの問題の解決と持続できる地球を目指して、大量の廃棄物として処理していた多くの製品でリサイクルをし、無駄を省いてシン

ブルな生活へと向かうさまざまな動きも感じられます。スローライフの勧めや自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象もその一つといえます。また、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題なども現代人の関心事となっています。この授業では、現代社会における自然科学を背景とした問題を学生が主体的に考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題を考える第一歩となれば良いと考えています。今年は、校外活動、資料収集、観察、臨海実習などキャンパス外での活動も考えています。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

種田保穂・秋山豊子「生きているってどういうこと」培風館 2006年刊行

自然科学研究会Ⅱ

「環境問題について」

2単位 秋学期

〔法政〕

小林 宏充

〔授業科目の内容〕

21世紀は、ますますエネルギー問題や環境問題が議論される時代になって行きます。地球温暖化を抑制するためには、二酸化炭素の排出量を減らす必要があります。そのためには火力発電を減らして、原子力発電主導にする必要がありますが、それでよいのでしょうか？今後、原子力発電を増やすのは住民の同意を得ることは難しく、他の代替エネルギーに頼る必要がでてきます。では、太陽電池はどうでしょうか？それだけで、今のエネルギーを賄うことができるでしょうか？また、循環型社会をめざしていますが、リサイクルは経済的にみあうものなのでしょうか？では、どのようにすればそれが達成されるのでしょうか？エネルギーや環境の問題には、法律の話が必ず関係してきますし、政治的な判断で決まる問題も多いのが現状です。地球規模の問題では、国際関係などの知識も必要となります。本研究会では、自然科学の目からそれらを総合的に判断することを目指します。

自然科学研究会Ⅱでは、環境問題について考えることにします。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

人文科学特論Ⅰ

「両大戦間のフランス社会」

2単位 春学期

〔法政医〕

アンリ・ナタリー

〔授業科目の内容〕

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の時代に焦点をあて、多様な局面からフランス社会を論じます。第一次大戦直後のフランスは、戦後の状況が深刻であったにも関わらず、軍事的にも精神的にも戦勝国としての意識を

もち、同盟国をはじめ諸外国からもフランスの「威信」は認められていました。こうしてフランスの文化は豊かな発展の時を迎えますが、1940年、フランスはドイツの侵略を受け、今までになかった苦しい敗北を経験することになります。その20年間にフランス社会はどのように変化したのかについて考えます。春学期は、政治的・経済的な状況を中心に取り上げ、それをヨーロッパの背景に据えることで、両大戦間のフランス社会の状況を浮き彫りにします。同時に、およそ大正・昭和初期の時代にあたる当時の日本社会との比較もおこないます。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

初回の授業で紹介します。図書館、ネットの活用も薦めます。

人文科学特論 I

「シェークスピアを演じる」 2単位 春学期
〔法政医〕 レイサイド・ジェイムス M

〔授業科目の内容〕

シェークスピアの戯曲の一つを中心に、実際に演じる事を通して、シェークスピアの作品に親しんで貰う。受講者の皆さんは毎回積極的に参加する必要があるため、人数は20人に限られる。

演じるためのテキストは原文の英語になるが、参考のため日本語を個人で用意する事を薦める。

〔教科書〕

Measure for Measure William Shakespeare 著

〔参考書〕

『尺には尺を』シェイクスピア全集〔26〕白水Uブックス

人文科学特論 I

「モーツァルトのオペラとその演出」 2単位 春学期
〔法政医〕 岩下 真好

〔授業科目の内容〕

モーツァルトのオペラ《にせの女庭師》と《ドン・ジョヴァンニ》を取り上げ、それぞれ、どんな作品であるのかを概観したうえで、従来の演出による上演の映像、続いて最新の演出による上演の映像を鑑賞して、演出によって作品がどう変わってしまうかを詳細に吟味する。これをとおして、オペラが娯楽イベントであることを脱して《芸術》となりうるための可能性と条件を考えてみたいと思う。つまり最終的には《芸術》とはなにかを考えてみようということだ。《芸術》というものは本物になればなるほど、一般に考えられているよりも、はるかに危険で、人々を「家出」へと誘惑する。どこから、どこへの「家出」なのか？

授業では、さらに、モーツァルトの他のオペラや他の作曲家のオペラを取り上げることもあるし、授業担当者の最新の研究と著作および音楽批評家としての仕事のな

かから、テーマに関連したホットな話題をいろいろと提供してゆくつもりだ。機会に恵まれれば、授業の一環として、実際のオペラ公演（学生券利用）やりハーサル見学に行くこともありうる。また、演出の意味することや演出家の意図を理解してもらうために、かなりいろいろな本を読んでもらうことになるだろう。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

必要に応じて、その都度指示する。授業担当者のオペラとその演出についての基本的見解をあらかじめ大筋で知りたい人は次の雑誌掲載論文を参照してほしい：岩下真好「戦争と現代のオペラ演出」（季刊『前夜』2005年秋号）、同『250年目のモーツァルト体験』（『グランド・オペラ』36号、2006年）。モーツァルトのオペラを概観するには、『グランド・オペラ』第32号（2004年）が、モーツァルトのオペラ全体を豊富な写真を含めて取り扱った入門的かつマニアックな大特集なので便利だ。

人文科学特論 I

「アメリカの文学史拾い読み（と拾い見）」 2単位 春学期
〔法政医〕 久我 俊二

〔授業科目の内容〕

アメリカ文学の中で任意の作品をいくつか取り上げ、背後にある社会的事象などを重視しながら、作品・社会への理解を目的とする。特に文学作品などに知識・興味はなくても、「こんなものか」「こういう考え方もある」といった斬新な視点を養いたいと思う学生の受講を歓迎する。昨年までに扱った作品は、たとえば *An American Tragedy*, *The Human Stain*, *The Great Gatsby*, *The Red Badge of Courage* などであるが、これらの作品を聞いたことのない人でも全く構わない。DVDなども大いに活用したい。

授業では個々の作品の背景を考えながら、アメリカの（文学）思潮などの概略的なものが少しでも分かるようにしたい。

〔教科書〕

授業の最初に指示する。

〔参考書〕

特になし。ネットの活用などを薦める。

人文科学特論 I

「妖しい文学」 2単位 春学期
〔法政医〕 許 光俊

〔授業科目の内容〕

三島由紀夫、江戸川乱歩、泉鏡花、夢野久作などの名作を読む。実は文学がエロティックで、暴力的で、自由で、危険なものであることが理解できるだろう。20人程度でそうした作品をじくじくと楽しみ、議論する。18歳未満禁止。良家の子女は親に黙って来ること。

〔教科書〕

『世界最高の日本文学』（光文社新書）

人文科学特論Ⅰ

「外から見た日本語」

2単位 春学期

〔法政医〕

小屋 逸樹

〔授業科目の内容〕

英語に関しては知識があるものの、日本語についてはあまり説明できないという学生が多いのではないだろうか。「日本語はどんな言語か」という質問にどう答えるか。英語のbe動詞に相当する日本語の動詞は何なのか。この授業では、ほとんどの学生の母語である日本語を題材に、音声、文字、文法から若者ことばや言語使用といった点を英語や他の言語と比較しながら、その特徴を明らかにして行きたい。授業では、一人一人が与えられたテーマに関して発表し、学生の個人的意見も積極的に取り上げながら全員で議論をしていくという形態をとる。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は選抜する。受講希望者は必ず初回の授業（オリエンテーション）に出席すること。

〔教科書〕

『英語の論理・日本語の論理』（安藤貞雄、大修館書店）

人文科学特論Ⅰ

「ことばの認知科学への招待（基礎編）」

2単位 春学期

〔法政医〕

辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

人間のことばと意味に関する諸問題について認知科学的観点から広く考察します。具体的には、言語学、心理学、人類学、哲学、脳神経科学、行動科学、生物学、社会科学、情報工学などの言語研究分野の鳥瞰図と共に、特に人間が営む意味の生成と復元に関する認知プロセスとの関係を考察します。

〔教科書〕

山鳥重、辻幸夫著、対談『心とことばの脳科学』大修館書店、2006年

〔参考書〕

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
 辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年
 辻幸夫編、『認知言語学への招待』大修館、2003年

人文科学特論Ⅱ

「両大戦間のフランス社会」

2単位 秋学期

〔法政医〕

アンリ・ナタリー

〔授業科目の内容〕

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の時代に焦点をあて、多様な局面からフランス社会を論じます。秋学期は、社会的・文化的な状況を中心に論じます。フランス文化が豊かに発展した両大戦間の20年は、文学・芸術の領域で新たな運動があいつぎ、世界中から芸術家がパリ

に集まった時代です。その反面、フランス社会が急激に変化し、たとえば出生率の低下によって国民の年齢構成のバランスが崩れ、社会の活力が徐々に失われていきます。これらの現象をヨーロッパの背景に据えることで、両大戦間のフランス社会の状況を浮き彫りにします。同時に、およそ大正・昭和初期の時代にあたる当時の日本社会との比較もおこないます。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

初回授業で紹介します。図書館、ネットの活用も薦めます。

人文科学特論Ⅱ

「シェークスピアを演じる」

2単位 秋学期

〔法政医〕

レイサイド・ジェイムス M

〔授業科目の内容〕

シェークスピアの戯曲の一つを中心に、実際に演じる事を通して、シェークスピアの作品に親しんで貰う。受講者の皆さんは毎回積極的に参加する必要があるため、人数は20人に限られる。

演じるためのテキストは原文の英語になるが、参考のため日本語を個人で用意する事を薦める。

〔教科書〕

Measure for Measure William Shakespeare著

〔参考書〕

『尺には尺を』シェイクスピア全集〔26〕白水Uブックス

人文科学特論Ⅱ

「モーツァルトのオペラとその演出」

2単位 秋学期

〔法政医〕

岩下 真好

〔授業科目の内容〕

モーツァルトのオペラ《にせの女庭師》と《ドン・ジョヴァンニ》を取り上げ、それぞれ、どんな作品であるのかを概観したうえで、従来の演出による上演の映像、続いて最新の演出による上演の映像を鑑賞して、演出によって作品がどう変わってしまうかを詳細に吟味する。これをとおして、オペラが娯楽イベントであることを脱して《芸術》となりうるための可能性と条件を考えてみたいと思う。つまり最終的には《芸術》とはなにかを考えてみようということだ。《芸術》というものは本物になればなるほど、一般に考えられているよりも、はるかに危険で、人々を「家出」へと誘惑する。どこから、どこへの「家出」なのか？

授業では、さらに、モーツァルトの他のオペラや他の作曲家のオペラを取り上げることもあるし、授業担当者の最新の研究と著作および音楽批評家としての仕事のかから、テーマに関連したホットな話題をいろいろと提供してゆくつもりだ。機会に恵まれれば、授業の一環として、実際のオペラ公演（学生券利用）やりハーサル見学に行くこともありうる。また、演出の意味することや

演出家の意図を理解してもらうために、かなりいろいろな本を読んでもらうことになるだろう。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

必要に応じて、その都度指示する。授業担当者のオペラとその演出についての基本的見解をあらかじめ大筋で知りたい人は次の雑誌掲載論文を参照してほしい：岩下眞好「戦争と現代のオペラ演出」（季刊『前夜』2005年秋号）、同『250年目のモーツァルト体験』（『グランド・オペラ』36号、2006年）。モーツァルトのオペラを概観するには、『グランド・オペラ』第32号（2004年）が、モーツァルトのオペラ全体を豊富な写真を含めて取り扱った入門的かつマニアックな大特集なので便利だ。

人文科学特論Ⅱ

「アメリカの文学史拾い読み（と拾い見）」

2単位 秋学期

〔法政医〕

久我 俊二

〔授業科目の内容〕

アメリカ文学の中で任意の作品をいくつか取り上げ、背後にある社会的事象などを重視しながら、作品・社会への理解を目的とする。特に文学作品などに知識・興味はなくても、「こんなものか」「こういう考え方もある」といった斬新な視点を養いたいと思う学生の受講を歓迎する。昨年までに扱った作品は、たとえば *An American Tragedy*, *The Human Stain*, *The Great Gatsby*, *The Red Badge of Courage* などであるが、これらの作品を聞いたことのない人でも全く構わない。DVDなども大いに活用したい。

授業では個々の作品の背景を考えながら、アメリカの（文学）思潮などの概略的なものが少しでも分かるようにしたい。

〔教科書〕

授業の最初に指示する。

〔参考書〕

特になし。ネットの活用などを薦める。

人文科学特論Ⅱ

「妖しい映画」

2単位 秋学期

〔法政医〕

許 光俊

〔授業科目の内容〕

妖美な映画（もっぱら日本映画）のじっとりした鑑賞とねっとりした研究。18歳未満禁止。良家の子女は親に黙って来ること。

人文科学特論Ⅱ

「外から見た日本語」

2単位 秋学期

〔法政医〕

小屋 逸樹

〔授業科目の内容〕

英語に関しては知識があるものの、日本語については

あまり説明できないという学生が多いのではないだろうか。「日本語はどんな言語か」という質問にどう答えるか。英語のbe動詞に相当する日本語の動詞は何なのか。この授業では、ほとんどの学生の母語である日本語を題材に、音声、文字、文法から若者ことばや言語使用といった点を英語や他の言語と比較しながら、その特徴を明らかにして行きたい。授業では、一人一人が与えられたテーマに関して発表し、学生の個人的意見も積極的に取り上げながら全員で議論をしていくという形態をとる。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は選抜する。受講希望者は必ず初回の授業（オリエンテーション）に出席すること。

〔教科書〕

『英語の論理・日本語の論理』（安藤貞雄、大修館書店）

人文科学特論Ⅱ

「ことばの認知科学の展開」

2単位 秋学期

〔法政医〕

辻 幸夫

〔授業科目の内容〕

同じ担当者の人文科学特論Ⅰ（春学期）で勉強したことを土台に、さらに人間のことばと意味に関する諸問題について認知科学的観点から敷衍して考察を深めます。

〔教科書〕

前期の人文科学特論Ⅰの最終日および後期本特論Ⅱの最初の授業時に詳細をお知らせします。

〔参考書〕

前期の人文特論Ⅰ（春）に同じ。

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしたくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気になりにくくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士との交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のこぼや文章で表現でき、さらに他人のこぼや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論を展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。

また仮登録が必要な科目でもありません。(エントリーシート提出不要)

以下の講義要綱は、「外国語科目・総合教育セミナー履修案内(2008年度)」に記載されている内容と同一です。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ずオリエンテーション期間中にある初回の授業に出席してください。出席できない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナーD (I類)

「天体観測と天文学」

4単位 通年

〔商〕

表 實

〔授業科目の内容〕

夜空を眺めれば無数の星が光り輝いています。これらの星の正体は…。宇宙には数々の謎があります。本セミナーでは、インターネット望遠鏡を利用して実際に天体

の観測をし、自分で取得したデータを使って天文学の魅力に触れてみます。なお、インターネット望遠鏡とは、慶應義塾大学と五藤光学研究所が共同で進めているプロジェクトによって、東京都府中市と慶應義塾ニューヨーク学院に設置した望遠鏡を、大学や自宅からインターネット経由でアクセスして操作できる装置を意味します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しません。

総合教育セミナーD (I類)

「体験！動物の行動研究」

4単位 通年

〔商〕

上村 佳孝

〔授業科目の内容〕

「ミツバチはどうやって仲間に蜜のありかを教えるのだろうか？」その秘密を明らかにしたカール・フォン・フリッシュは1973年にノーベル賞を受賞しました。ヒト以外の動物、しかもちっぽけな昆虫が言語を持つことを見事に証明して見せたからです。このセミナーでは、動物の行動研究の現場を体験します。前半は身近な動物(主に昆虫類)とその行動について、室内観察やキャンパスの自然を活用した野外観察で理解を深めます。また、行動につきものの個体差(個人差)への対処法を学びます。後半では個人(またはグループ)でテーマを決めて実験・観察、または文献調査をおこない、その成果を発表してもらいます。このような過程を通して、科学者の「ものの見方」を知り、問題発見・問題解決・プレゼンテーション・討論の能力を磨くことをセミナーの目的とします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で紹介します。

総合教育セミナーD (I類)

「生命科学と社会の接点を考える」

4単位 通年

〔商〕

長谷川 由利子

〔授業科目の内容〕

遺伝子診断、遺伝子組み換え農産物、臓器移植、エイズ、狂牛病、生殖工学、新型インフルエンザなどの例をあげるまでもなく、数多くの生命科学に関連する話題が、現代社会に対して倫理的・社会的・経済的な問題を投げかけています。このセミナーの目標の一つは、このような話題を取り上げて、どのような問題が生じているのかを調査し、解決策を模索することです。もう一つの目標は、資料収集の仕方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方などを身につけることです。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しません。

〔参考書〕

新聞・雑誌・学術書・インターネットなどから最新の

資料を収集することもセミナーの大事な一部なので、調査に必要な資料は自分で探すことを原則としますが、相談には応じます。また、こちらから紹介する場合もあります。

総合教育セミナーD (I類)

「バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る」

4単位 通年

〔商〕

福澤 利彦

〔授業科目の内容〕

今やバイオの時代である。バイオテクノロジーは飛躍的に発展し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスが出現している。このセミナーでは、バイオ関連の話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて文献調査・考察を行い、その結果をパワーポイントによって発表してもらおう。さらに、質疑応答・ディスカッションを通して、議論を深める。各自プレゼンテーションした内容は、レポートにもまとめてもらう。このセミナーの目的は、問題発見・解決能力や、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーション能力を鍛錬することである。バイオテクノロジーとバイオビジネスの現場を知ってもらうために、バイオ企業の研究所見学も予定している。

〔教科書〕

特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

〔参考書〕

授業時に紹介する。

総合教育セミナーD (I類)

「生活の中の確率」

4単位 通年

〔商〕

安田 公美

〔授業科目の内容〕

私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にはどのようなものがあるのでしょうか。ゲーム、くじやギャンブル、株価の変動や品質管理、或いは天候、遺伝学など、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その中の数学的法則を見つけてみましょう。前半ではパズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な問題にもチャレンジできるよう進んでいきます。後半には確率・統計に関連した自由課題について調査・研究をします。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD (I類)

「初めての数論」

4単位 通年

〔商〕

渡部 陸夫

〔授業科目の内容〕

数論は、数の性質を究めようということから始まった数学の一分野です。数の宇宙は、神秘的で美しい世界で

す。学問としての数論は、古代のギリシャ時代まで遡ります。本セミナーでは、ギリシャから現代までの初歩的な数論のトピックスを取り上げながら、数論の簡潔さ、美しさが、いかに数学者たちを魅了し続けているかを、シルヴァーマンの著書『初めての数論』を輪読しながら、実体験することを目的とします。

〔教科書〕

シルヴァーマン著『はじめての数論』（ピアソン・エデュケーション）

総合教育セミナーD (II類)

「イギリス文化研究」

4単位 通年

〔商〕

浅川 順子

〔授業科目の内容〕

イギリス文化について理解を深めること、研究・発表の方法を身につけることがこの授業のねらいです。演劇、音楽、美術、文学、スポーツなど各分野において世界に発信されるイギリス文化の魅力を探り、それを生み出した社会や歴史について考察します。最近では、『ハリー・ポッター』が話題になりましたが、その作品世界がもつ魅力の背景にはイギリス・ヨーロッパ文化の長い歴史があります。魔術、錬金術、占星術、占いはアラブ世界から中世ヨーロッパにもたらされた「学問」です。キリスト教ラテン文化は異文化をどのように受け入れたのでしょうか。作品の舞台となっている学校はパブリックスクールをモデルにしていると言われますが、イギリスの学校制度は今どうなっているのでしょうか。イギリスはまたサッカー、ラグビーの発祥地としてスポーツが盛んなことで知られています。それらはどのように始まり、発展してきたのでしょうか。これらは一例ですが、授業ではイギリス文化を概観し、履修者各自の興味関心に応じた問題設定の可能性を探ることから出発します。その後、テーマを絞って発表・討論し、小論文にまとめていきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業時に紹介します。

総合教育セミナーD (II類)

「アメリカ研究」——〈アメリカの歴史と文化〉

4単位 通年

〔商〕

朝比奈 緑

〔授業科目の内容〕

アメリカの歴史と文化を知るうえで、重要な文献を〈対訳〉のかたちで、原文にも十分な注意を払いながら読む。文献検索の方法、効果的な口頭発表の仕方、レポートの書き方など、基本的な学問のルールを学ぶことを目標とする。

〔教科書〕

『史料で読むアメリカ文化史』（東京大学出版会）2005年。その他、プリントを使用。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「隠されたメッセージ・イメージの層」 4単位 通年
〔商〕 足立 典子

〔授業科目の内容〕

映画・音楽・ゲームなどさまざまな表現、またプロモーションや広告などに使われるイメージ戦略の力について考えます。

人々を強く惹きつける作品は、かならず見た目以上の複雑さを備えています。意識的に捉えられるものとは別の要素、時には相矛盾するイメージやメッセージを含んでいるからこそ、強い力を放つのです。

自由、スピード、健康、かわいさ、あるいは暴力や不気味さ。私たちの日常を取り囲んでいるイメージの「魅力」はどのように作られているのか。参加者全員による発表と議論を中心に分析を試みます。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「海城世界から見るイスラーム」 4単位 通年
〔商〕 新井 和広

〔授業科目の内容〕

海は歴史上、異なる地域を隔てると同時に結び付ける役割を果たしてきました。イスラームの拡大も海城における人の活動と密接に結びついています。このセミナーでは陸ではなく海から見るとどのような歴史が浮かび上がってくるのかということ、特にイスラームに注目して学びます。受講生は海城世界とイスラームに関するテーマを選定し、それに沿った資料収集、発表、議論を行い、最終的にはレポートを提出します。その過程で大学での勉強に必要なスキルを身につけていきます。

〔教科書〕

使用しません

〔参考書〕

授業時に紹介します

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「日本の文化を考える」 4単位 通年
〔商〕 石光 輝子

〔授業科目の内容〕

日本の文化の諸現象を文化学から検討・分析します。「文化学」というのは文字通り文化を扱う学問ですが、人文科学において旧来の分野分け（たとえば哲学、歴史、文学など）に対抗する新しいパースペクティブの提示を試み、伝統的メソッドでは拾いきれない文化現象や文化行動を分析する新しいメソッドを探る、文化横断的な知のありかたです。いわゆるカルチュラル・スタディーズというのは主に英米で確立されてきた手法ですが、ここではカルチュラル・スタディーズも文化学の内に入れて考えます。文化学は非常に間口が広く、文化人類学からジェンダー論、メディア論なども含み、その対象は文化に属するものなら何でも成りうるわけですが、

今年度はその対象にたいいていの受講生にとっては自文化であるところの日本の文化の諸現象を選び、自文化であるからこそ認識しがたい日本の文化についてじっくりと考えてゆきます。

同時に、文献の調べ方、論文の書き方、口頭発表の仕方など、大学での勉強で知っておかなければならない基礎的スキルを学ぶこともセミナーの目標です。

〔教科書〕

プリントを使用

〔参考書〕

授業内でそのつど指示

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「国際関係論・入門」 4単位 通年
〔商〕 宇津木 愛子

〔授業科目の内容〕

グローバル化が進む中、健全な国際関係の原点に立ち返って考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

本ゼミはグローバル・リテラシーを習得することを目標と致します。個々のプレゼンテーションの後に、共通項を模索しグループを結成してグループ発表をしていたことが本ゼミの特徴のひとつです。昨年度は「人権・NGO グループ」「文化・宗教 グループ」「エコ・デザイン グループ」「環境とビジネス グループ」に分かれて発表していただきました。学年の壁を超えて学生の皆さんが連帯感をもつことを重要視いたし、皆で作っていくゼミです。

〔教科書〕

書籍及び新聞記事からのコピーを配布いたします。

〔参考書〕

『地球市民への入門講座』 宇田川晴義 監修、三修社、2001。

『グローバル化の行方』 山脇直司他、新世社、2004。

『グローバル・システムの社会学』 L. スクレアー、玉川大学出版部、1995。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「文学」を読む」 4単位 通年
〔商〕 大畑 純一

〔授業科目の内容〕

文学とは何かという問いに正解がある筈もありませんが、普段考えることもない「文学」という不思議なものについて考えをめぐらせてみたいと思います。「文学」とは感動を与える何かなのか、単なる娯楽なのか、「文学」を通して人生を学ぶことができるのか、「文学」に使用されている言語は日常の言語と同じか、違うものなのか。こういった問題を念頭に置きながら、様々な文学作品を読みます。あまり読む機会のない作品も取り上げ、精読することによって何が見えてくるか、参加者の積極的な「読み」を期待します。

〔参考書〕

テリー・イーグルトン「文学とは何か」(岩波書店)

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「ハリウッドのシェイクスピア：戯曲と映像表現」

4単位 通年

〔商〕

大矢 玲子

〔授業科目の内容〕

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説があります。確かに400年近く前にイギリスの田舎で生涯を終えたこの劇作家の作品は、サイレント時代にすでに600回以上映画化され、その後も、世界の著名な映画監督や人気俳優によってシェイクスピアの映像化されてきたことは、黒澤明の『乱』・『蜘蛛巣城』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ&ジュリエット』などにも明らかです。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映像化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつけられた時代背景の分析などをとおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的とします。シェイクスピアを手がかりに、受講者たちが総合芸術である映画の魅力にふれる機会となることをねがっています。またアメリカ型資本主義社会のなかの芸術のありかたを考える、よい手がかりにもなるでしょう。

〔教科書〕

シェイクスピアの作品（特にエディションは指定しません。原典を読むことは求めません。入手しやすいのは、白水Uブックスから出版されている、小田島雄志訳のシェイクスピア全集など。）

〔参考書〕

ラッセル・ジャクソン編；井上優 [ほか] 訳『シェイクスピア映画論』（東京：開文社出版、2004）

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「社会行政と社会事業—公私協働の歩み」

4単位 通年

〔商〕

小野 修三

〔授業科目の内容〕

私自身がこれまで翻刻してきた石井十次の岡山孤児院の大阪事業・東京事業に関する日誌（明治40年代末から大正初年）、また同じく私が新しく翻刻した宮崎県の茶臼原孤児院日誌（明治41～2年）などを読み、社会事業の実際の様子を把握したいと思う。福祉は国家の財政状況によって左右される側面があり、日露戦後の財政状況をも見ておく必要がある。

大学で歴史を勉強したいと思っている学生の参加を期待する。第一次資料を扱う経験を積むことが出来るはずである。

〔教科書〕

無

〔参考書〕

その都度指摘する。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「日本に於ける中国文化」

4単位 通年

〔商〕

許 曼麗

〔授業科目の内容〕

このセミナーは、日本に於ける中国の文化に関する書物を読む。分担を決め、毎回担当者がレジメを作成し、発表する。それをもとに質問・ディスカッションを行い、教員が補足する。

分担発表を通して、興味のあるテーマを見出し、それについて、複数の資料を使い、その起源、伝来、変遷、現状、中国との異同等を調査し、その結果をレポートにして提出する。

この授業を通して、自らの考えでテーマを決め、学問的な方法で調査し、結論をしかるべき形式の論文にまとめる能力を身につけてもらいたい。そして、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらいたい。

〔教科書〕

ガイダンスに指示する。

〔参考書〕

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「フランス音楽への誘い」

4単位 通年

〔商〕

コミネティ、フィリップ

〔授業科目の内容〕

文化の総合紹介というものはイメージから始まり、イメージに終わりがちです。このセミナーではフランスで生まれた音楽、作曲家の書簡、音楽理論、文学作品などを幅広くとりいれ、厳密な歴史的理解を志し、それから異なる物の比較の仕方を磨くことにします。また音楽について話すという問題を課題にして、フランス文化の土台となる言語観を接触できるようにします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

プリント/ 第一回に文献リストを配布します。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「2つの言語と思考／Two Languages and Thought」

4単位 通年

〔商〕

佐々木 美帆

〔授業科目の内容〕

人・もの・情報の国際化が進むなか、日常的に二つ以上の言語を使う人々や、第二・第三の言語を使う環境は珍しいことではなくなっている。本セミナーでは、このように多少でも二つの言語を「使う」人をバイリンガルと呼び、母語ではないもう一つの言語システムによって思考・認知・世界の見方がどう変化するのかに焦点を当てていく。言語が思考に影響するのか、二つの言語はどのような係わり合いを持つのか？二つ以上の言語を知って

いる人は一つの言語だけを知っている人とどう違うのか？日本語と英語を中心に、子どもの言語習得、方言、国際メディアで使われることばなど、学生自身の経験もふまえて、バイリンガルおよび第二言語・外国語話者の思考・認知・世界の見方について考える。またプロジェクトとして自分の興味のある視点から簡単な言語調査を行い、発表およびディスカッションを経て、小論文にまとめる力を身につける。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料を配布します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「音楽を読む」

4単位 通年

〔商〕

佐藤 望

〔授業科目の内容〕

この授業は、音楽を題材にして、調べて、読んで、書くという一連のアカデミックな技法について学ぶことを目的とします。さまざまな音楽（主に古今東西の「古典」といわれるもの）を取り上げて、その音楽が人間の精神、歴史、社会、科学技術のどのようなものを移しているのか、を読み取っていきます。音楽は聴いて楽しむものです。しかし、その背景には広大な知の世界が広がっています。音楽は「知って」楽しむものでもあります。音楽について知り、それについて考え、その考えは論理的に人に伝えることができる力を身につけることを目的としています。

〔教科書〕

佐藤望編著『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会（2006年）。

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「Seminar in English Presentation」

4単位 通年

〔商〕

シェイ, デイビッド P.

〔授業科目の内容〕

This course will give students practice making presentations in English in order to learn academic and professional ways of speaking in public. The theme will be *Business & Society*, and class will be based on issues related to this topic. The course will be conducted as an *interactive seminar*, with a lot of chances to make presentations and participate in discussion every week. Students will research topics, summarize issues, express opinions, and think on their feet. All students will do a mini-presentation every class, and 2-3 major presentations each semester. The goal of the class is to (1) increase your knowledge about issues related to business and society, and (2) improve your ability to express ideas and opinions in natural, professional English.

〔教科書〕

Readings will be (1) provided by the instructor and (2) collected by students from the internet. You do not have to buy a textbook, but you *do* need an email account.

〔参考書〕

We will sometimes use Power Point to make presentations. No experience is necessary, but you should be able to use a computer. An email account is needed, too.

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「日仏比較文化入門」

4単位 通年

〔商〕

神保 剛

〔授業科目の内容〕

多様なフランス社会と文化について理解を深め、さらに日仏比較文化の視点から、フランス的な物の見方について考察していくことがこのセミナーの目的です。

フランスに関するいくつかの基礎的文献を講読した後、各自が関心のあるテーマについて調査・発表を行い、それに基づき全員で討論し、レポートにまとめていきます。そしてこの一連の作業を通して、フランスの社会と文化に関する様々な知識を得るとともに、日本文化との比較において、「フランス的であるとはなにか？」ということのを皆で考えていく場にしたいと思います。

受講生諸君がフランスに対して抱いている漠然たるイメージに、多少とも修正が加えられれば幸いです。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

必要に応じて随時紹介します。

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「入門フランス学」

4単位 通年

〔商〕

鈴木 順二

〔授業科目の内容〕

フランスは、私たちの生活のなかで比較的身近に感じることのできる国の一つでしょう。フランス語を学んだり、映画や美術、あるいは料理やワインなどの食文化を通じてこの国に親しみを持っている人も多いと思います。

しかし改めて考えてみると、フランスの社会やフランス人について、私たちははたしてどれほどのことを知っているのでしょうか？例えば、フランス本土でも少なからぬフランス人が地域語と呼ばれるフランス語以外の少数言語を使って生活していることを。また、フランスの産業というと、観光、農業、流行のブランド品などを思い浮かべます。しかし先端科学技術を結集した航空・宇宙産業も盛んで、ミサイルや戦闘機も実は重要な輸出品なのです。

フランスに関する基本的知識を深め、フランスとフランス人の真の姿を探るのがこのセミナーの目的です。そのことはまた、日本と日本人自身について改めて考える

きっかけともなるでしょう。

〔教科書〕

『フランス』清水 徹・根本長兵衛ほか（新潮社）

〔参考書〕

授業で紹介します。

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「中国古典文学概説」

4単位 通年

〔商〕

高橋 幸吉

〔授業科目の内容〕

古代中国における「文学」とは、現在我々が言うところの文学（literature）と異なり、より幅広い概念です。人間の知的営為の産物を指し、学問とほぼ同義であると言えるでしょう。そしてこの「文学」は、古代中国のみならず、日本や朝鮮半島など東アジア地域における共通の教養として受け継がれてきました。さらには現代の日本においても様々なかたちで受容され、ビジネス書から漫画・ゲームまで、中国古典文学を題材にしたものが数多く見受けられます。

本セミナーではまず中国古典文学についての概略を学びます。その後、履修者がテーマを定めて調査し、発表し、最終レポートにまとめます。これらの作業を通して学問的に「調べ・読み・書き・話す」能力を身につけていきます。

〔教科書〕

授業で指示します。

〔参考書〕

授業で随時紹介します。

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「都市と表象」

4単位 通年

〔商〕

田上 竜也

〔授業科目の内容〕

こんにち社会活動の多くの部分が、都市の機能に寄り添い、その影響下に営まれていることは疑いを容れません。この授業では、文学、ジャーナリズム（都市伝説も含む）、絵画、映画、音楽、建築、広告、ファッションなど、都市をめぐるさまざまな言説・表象を取りあげつつ、都市の機能がハード面とソフト面の関係においてどのように形成され、ひとびとの意識にどのようなイメージを投影してきたか検証します。さしあたり近代都市の原型たるパリや、東京・横浜の変遷を辿ることから始めますが、学生の皆さんの関心に応じて、それ以外の都市も広く対象にします。

〔教科書〕

授業で適宜指定。

総合教育セミナーD（Ⅱ類）

「イベリアとイベロアメリカの歴史・文化」

4単位 通年

〔商〕

瀧本 佳容子

〔授業科目の内容〕

スペイン・ポルトガルのイベリア両国は、8世紀初頭から7世紀以上に及ぶイスラム支配を経験した結果、他のヨーロッパ諸国と共通の基盤を持ちつつもきわめてユニークな文化を築き上げました。レコンキスタが終結した15世紀末には近代国家としての原型を整えると同時に、アメリカとアジアに進出して大航海時代の立役者となり、世界史に決定的な方向転換をもたらしました。欧米諸国主導という現代世界の勢力図のもとができたのは、この大航海時代だといえます。日本にも、コロン（コロンブス）の航海から約半世紀後にポルトガル人が到来しますが、この最初の西洋文明との接触において日本は、世界史上でもまれな2世紀に及ぶ鎖国の道を選びました。

このセミナーでは、以上のような流れを念頭に入れつつ、イベリアとイベロアメリカの文化と歴史について、各自テーマを見つけてレポート（最低400字×25枚）を書いてもらいます。

*参考までに、過去3回のこの授業で提出されたレポートのテーマを挙げておきます。

「スペインにおけるイスラム文化とヨーロッパ文化の出会い—コルドバ・メスキータを通して—」

「イスラム教スペイン 後ウマイヤ朝その興亡」

「ブラジルのモノカルチャー経済の進展」

「スペイン無敵艦隊—フェリーペ2世とアルマダの海戦—」

「アントニオ・ガウディ」

「イサベルとコロンス—スペインによる新大陸発見とその背景—」

「フランシスコ・フランコ」

「イベリア半島での宗教の共存～レコンキスタの時代～」

「日本に伝わったキリスト教」

「ブラジル音楽の歴史～サンバを中心に～」

「WBCから見るキューバ」

「ジャガイモ」「スペイン・サッカー」

「ラテン・ポップ」「中世のトレド」

「マヤ文明」「スペインの栄光と衰退」

「スペイン・イスマノアメリカ間の物流」

*対象とする時代に制限は設けませんが、中世～近代が望ましい。

*対象とする地域はスペイン語圏・ポルトガル語圏であれば可。ただし、ラテンアメリカに関しては、時間割が許す限り、ラテンアメリカをテーマとして開講されている他の総合教育セミナーの履修をお勧めします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

〔参考書〕

開講時に指示します。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「外国との交流から見た日本」

4単位 通年

〔商〕

種村 和史

〔授業科目の内容〕

日本は、古代から現代に至るまで多くの国々と関わりその文化を受容しながら、独自の文化を創り上げてきた。

本セミナーでは、そのありさまを様々な側面から探り、日本について広い視野から考える能力を養うことを目的とする。

〔教科書〕

随時指定します。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「プラトンを読む」

4単位 通年

〔商〕

成田 和信

〔授業科目の内容〕

このセミナーでは、プラトンの「国家」(岩波文庫)を丁寧に読みながら、正義、幸福、良い人生、良い政治、愛、といった哲学的な問題を考えます。あわせて、抽象的な議論の論理的な展開をまとめ、その議論についての疑問や意見を述べる力を養うこともめざします。

プラトンの作品は対話で成り立っています。その対話は、さまざまな議論を形作っています。参加者には、それらの議論がどのようなものなのか、その骨子(アウトライン)を読み取ってそれを書いてきてもらい、それを比較検討し、そうすることで、それらの議論の内容がどのようなものであるかを考え、さらに、それらに対してどのような反論が可能かを検討してもらいます。

なお、このセミナーの履修を希望する者は、かならず第一回目の授業に出席してください。

〔教科書〕

プラトン著「国家」(岩波文庫)

〔参考書〕

授業中に案内します。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「イギリス研究2008」

4単位 通年

〔商〕

西川 正二

〔授業科目の内容〕

自分でイギリスに関する興味のあるテーマを見つけて、発表し、レポートにまとめることが、この授業の目的です。2008年度はイギリスの庭園に関して様々な文化的側面を考えていきたいと思っています。自発的な学習のための授業ですので、積極的に自ら調べ、問題を考察できるように努力することが求められます。他の人の発表に対し、質問し、ディスカッションをする力をつけることも重要です。自分の考えを積極的に述べ、他人との違いを理解し多面的な思考、理解力を得る訓練が大切です。

す。自分の頭でものを考えられる人間になることを目指しましょう。履修するには必ず最初のガイダンスウィーク中の授業に出席すること。

〔教科書〕

英語の資料などを読む場合はプリントなどを配布する

〔参考書〕

川崎寿彦『庭のイングランドー風景の記号学と英国近代史』名古屋大学出版会

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「現代社会を考える」

4単位 通年

〔商〕

西川 僚介

〔授業科目の内容〕

明治維新から第二次世界大戦を経て、現代日本社会の抱える政治経済、思想、心理等の諸問題について、日本の視点のみならず国際的な視座から考えてゆくセミナーとします。本セミナーにおいて受動的に知識を得るのではなく、主体的関心に基づき積極的にテーマを選択し、思考と論理を深め発表することを目的とします。

〔教科書〕

福沢諭吉『文明論之概略』、ハンナ・アレント『人間の条件』

Erich Fromm『Escape from Freedom』

〔参考書〕

クラスにて随時紹介

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「もう一つの言語としての映画」

4単位 通年

〔商〕

橋本 順一

〔授業科目の内容〕

19世紀末に誕生した映画の歴史を、創生期のサイレント時代から20世紀を経て21世紀の現代に至るまで通史的に大急ぎで回顧しながら、表現のツールとして「様式(スタイル)」や映画固有の「言語」をどのようにみずから鍛え上げてきたか、通常の言語とまた先行する芸術メディアとどう違うか、その限界と可能性…などを考察するセミナーです。

さまざまなジャンルにわたって作品を残した無数の映像作家たちが残した作品を分析し、それら(彼ら)に固有の文法と、またそれら(彼ら)に共通する普遍的な文法規範を(再)発見しつつ、自分が擁護したい作家を発見するのが諸君の作業になります。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

ヒッチコック『映画術』ほか適宜授業で指示。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「English Presentation Skills (Intermediate Level)」

4単位 通年

【商】

ハンリー, マシュー M.

〔授業科目の内容〕

The main aim of this course is to develop your presentation skills in English. With this aim in mind, I will show you some basic model presentations on suitable topics at first. These presentations will be followed by comprehension questions, discussion, and analysis. You will then be free to choose presentation topics that interest you, but I will have to approve them. I am particularly interested in interdisciplinary topics that connect the various subjects that you are studying at Hiyoshi with your own interests. Once you have chosen appropriate topics, you will have a chance to research them in the library and on the Internet. Your research, which I will supervise, will give you the vocabulary and expressions necessary to discuss your topics in English. It will also improve your ability to summarize and analyze written texts. Finally, you will have to present your results orally in PowerPoint presentations. Depending on the size of the seminar, your presentations may be given individually or in small groups.

Briefly, in addition to improving English presentation skills, this seminar should have the following outcomes:

Increased vocabulary and mastery of English expressions

Improved listening comprehension skills

An ability to summarize texts and arguments

Improved critical thinking skills

The ability to make connections in English among discreet academic subjects

A better knowledge of the Internet and PowerPoint

An additional benefit is that the skills you acquire should also be useful to you in Japanese (or whatever your own native language or second foreign language happens to be).

The seminar will be held in a classroom equipped with computers. Everyone will have Internet access, and much of our material will be Web based.

* Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

〔教科書〕

Internet-based materials, printed articles and books appropriate to your research topics, and occasionally part of a video-taped program. Model presentations from my files, Yale Global Online, BBC, and UC

Berkeley Websites. There is no set textbook.

* Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

〔参考書〕

During the course of the semester, we will develop individual reading lists tailored to each student's research interest. Since we will be using a computer-equipped classroom, we will have access to most of the best dictionaries on the Internet.

*(Again!) Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「ウィーンの旅」

4単位 通年

【商】

フォークル, ヴァルター

〔授業科目の内容〕

ドイツのガイドブックのなかでおそらく一番有名で由緒あるものと思われるベーデカーを使って、ウィーンをできるだけ多くの観点から知ることを本授業の眼目とする。ベーデカーの実用的な使用を通じて、学生はウィーンの歴史、地理、文化、そして政治に対する理解を得るだけでなく、さらに旅行に関連した語彙を学び、各自がウィーンへの「自分の旅」を計画し、また一般的に「旅」というテーマそのものや、旅の歴史、あるいはツーリズム（観光）についても考えをめぐらすことになる。

〔教科書〕

Wien (Baedeker Allianz Reiseführer) Verlag MAIRDUMONT, Ostfildern, ISBN-13: 978-3829710763

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「世界の言語の共通点・相違点と研究発表の方法」

4単位 通年

【商】

深澤 はるか

〔授業科目の内容〕

本セミナーの目的は2つある。

1つめは、世界の言語の共通点と相違点を探究することである。人間の言語は5000以上あると言われている。それぞれの言語の構造はもちろんのこと、それが話されている社会、文化、起源など大変異なっているように思われる。しかしながら人間はどこに生まれてもそこで接する言語を母語として自然に身につけることができる。また人間の発声、発音の器官、言語を司る脳のしくみはどの言語を話す人も同じようである。世界の言語は一見したように異なるものなのか、それとも何らかの共通点があるものなのか？なぜ母語は容易に自然に獲得できるのに外国語の習得は難しいのか？世界中の言語はさまざまな角度から分析・分類・探究することにより、言語の不思議を探る。

2つめは、そのテーマを基に、研究の仕方、研究の口頭発表およびポスター発表の仕方、レポートの書き方を学ぶことである。与えられたテーマに対し学生自らの視点を持ち、それを研究していく仕方、その研究の口頭発

表、ポスター発表の仕方を学ぶ。また討論・議論・レポートにまとめる仕方も学ぶ。

〔教科書〕

- (1) 「ことばの科学」(2007) 加藤重広著 ひつじ書房
- (2) 「アクセントの法則」(2006) 窪菌晴夫 岩波書店
- (3) その他 (担当教員よりの配布資料)

〔参考書〕

- (1) 「探検！ことばの世界」(2004) 大津由紀雄著 ひつじ書房
- (2) 随時指示する。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「歴史学のひろがりを知る」

4単位 通年

〔商〕

伏見 岳志

〔授業科目の内容〕

歴史は高校までの教育で重要な位置を占めていますが、実際に皆さんが学んだ歴史は、歴史学の研究成果のごくごく一部分です。とくに近年の歴史学は、価値観や文化、日常生活などといったテーマや、国を超えた地域や大陸、海などのテーマを重視するようになっており、事件=年号や各国史を中心にした教育には、そのような成果はなかなか反映されないのが実情です。そこで、このセミナーでは、近年の歴史学のひろがりについて知ってもらい、みなさんの歴史の見方を広げていくことを目的にしています。授業形式は討議中心の参加型です。参加者は、授業であつかったテーマに関わる文献を探し、調査や読書をして、自分なりの意見を持ち、他の人と議論することを学びます。そして、自分の調査結果を文章や口頭発表の形でまとめることを身につけます。

〔教科書〕

使用しません

〔参考書〕

適宜指示します

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「中国経済入門」

4単位 通年

〔商〕

孟 若燕

〔授業科目の内容〕

この授業の目的は、中国経済についての基本知識を学ぶことです。一国の経済を理解するには、まず人口や地理、資源、民族、政治制度、社会構造などから入る必要があります。政治経済学の視点からすれば、これらの要素がいずれも経済成長に大きな影響を与えるわけです。それから、1979年末から始まった経済改革・対外開放政策とその実践について勉強します。計画経済から市場経済への転換、自力更生から対外開放への転換、それらに伴った成果と問題点。例えば、よく聞かれる国有企業改革はどのようなことなのか、私有企業は現在どのような位置づけなのか、日本・東南アジア諸国との経済関係はおよび貿易・生産構造はどうなっているのかなど、一つ一つ理解してもらいたいと思います。

〔教科書〕

The State of China Atlas / Stephanie H. Donald and Robert Benewick (University of California Press) 2005.

〔参考書〕

次の参考書の関連章節はテキストとして使われる予定です。

- 1. 白井早由里著『人民元と中国経済』、日本経済新聞社、2002年。
- 2. 井出亜夫編著『アジアのエネルギー・環境と経済発展』、慶應義塾大学出版会、2004年。
- 3. 竹歳一紀『中国の環境政策－制度と実効性』、晃洋書房、2005年。
- 4. 向山英彦著『東アジア経済統合への途』、日本評論社、2005年。
- 5. 伊藤元重編『日中関係の経済分析【空洞化論・中国脅威論の誤解】』東洋経済新報社、2003年。
- 6. 渡辺利夫編『東アジア経済連携の時代』、東洋経済新報社、2004年。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「Psychology in Business」

4単位 通年

〔商〕

森吉 直子

〔授業科目の内容〕

The main objective of this course is to learn about human mechanisms that can influence activities that take place in business contexts. We human beings are born and grow up in society. Hence, we cannot be completely culture-free. When we negotiate, interact, and cooperate with people from the same or different cultures, we need to understand how others feel, think, and act differently.

The focus will be on psychology in business contexts. Therefore, students are expected to learn psychology related to marketing research, consumer behavior and other business-related areas. It is essential that students actively participate in both in-class and outside class activities. In order to enhance understanding and application of knowledge, students will be required to engage in academic library research (in English). An information literacy seminar will be provided for students who are not familiar with library research. All class activities will take place in English.

〔教科書〕

Will be announced.

〔参考書〕

Will be introduced in class.

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「ラテンアメリカから世界を見る」

4単位 通年

〔商〕

安井 伸

〔授業科目の内容〕

よく現代は「グローバルに考え、ローカルに行動する」ことが求められる時代だと言われる。では「グローバルに考える」とはどういうことだろうか。それには少なくとも「先進国」からの視点だけではなく、「周縁」あるいは「南」から世界を見る視点をも身に付けることが不可欠だろう。

もし仮に地球上のすべての人々が先進国並みの生活様式を送れば、地球環境はとても持ちこたえられないと言われる。だとすれば一般に「途上国」と呼ばれる国々は、一体どの程度までなら発展することが許されているのだろうか？そもそも「途上国」としての問題は本当に「発展の不足」にあるのだろうか？それとも「発展の方向」そのものが問題なのだろうか？それならば、代替的な発展は可能なのか？

本セミナーでは、常にこれらの問いかけを行いつつ、現代ラテンアメリカが抱える諸問題（民主化、人権侵害、経済統合、金融危機、環境問題、貧困・不平等、インフォーマルセクター、児童労働・麻薬・売春、テロ・内戦、日系移民etc.）を議論して行きたい。

授業の進め方としては、春学期には教科書の輪読を通じて、レジュメの作り方や発表・討論の基本を身につけると同時に、各自関心のあるテーマを選択する。選択したテーマに関し、夏季休暇中にレポートを作成、秋学期にはそれをたたき台に各自発表を行う（人数によっては、グループ発表も可。パワーポイントによる発表も可）。最後に学生および教員のコメントを参考にして改善されたレポートを提出し、論文集を作成する。一年間を通じ、適宜、基本的な論文作成法（テーマ設定、資料の検索・収集、文章構成、注の付け方等）の指導を行う。

〔教科書〕

二村久則他編著『地球時代の南北アメリカと日本』ミネルヴァ書房 2006年

〔参考書〕

松下洋他編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』新評論 2004年

西島章次他編『ラテンアメリカ経済論』ミネルヴァ書房 2004年

内橋克人・佐野誠編『ラテンアメリカは警告する—「構造改革」日本の未来—』新評論 2005年

その他、授業時に紹介する。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「スペイン語圏世界とその周辺：都市」 4単位 通年
〔商〕 横山 和加子

〔授業科目の内容〕

この総合教育セミナーは、商学部でスペイン語を履修する学生を対象とし、主として中南米の国々をとおしてスペイン語圏世界を知ること目的としている。スペイン語を話す国と地域はヨーロッパとアメリカ大陸双方にまたがっている。古代文明の時代から現在まで、中南米にはさまざまな人々が去来し、文化が盛衰して、多様な歴史が展開された。この広大なスペイン語圏諸国を理解するための切り口として、2008年度は再度「都市」とい

うテーマをあつかいたい。

中南米の古代文明は都市国家を中心に栄えていた。スペイン人による征服の後には、西欧風の植民都市が建設され、支配の拠点・文化の中心となった。20世紀後半からは都市が急速に拡大し、公害、貧困、暴力などの問題が深刻化した。都市問題は農村問題と表裏をなし、依然解決の兆しはない。いっぽう、中南米の都市の中には、植民地時代の旧市街の美しい街並みがユネスコの世界文化遺産に指定されているところが少なくない。そこには、植民地の富を背景にはぐくまれた、西欧とは一味違う文化や芸術の香りが残されている。

都市とは人が集まって住む場所である。つまり、都市という切り口からは人間社会全体を見渡すことができる。このセミナーへの参加者は、スペイン都市、イスラム都市など、中南米の文化に影響を与えた地域の都市へ関心を広げたり、多様な都市の類型（鉱山都市、港湾都市、観光都市など）や建築物、あるいは都市社会や都市文化など、都市をめぐるさまざまな題材にも目をむけるなど、好奇心をもってこのテーマに取り組んで欲しい。

〔教科書〕

オリエンテーションで指示する。

〔参考書〕

参考文献はセミナーの中で順次指示する。

総合教育セミナーD (Ⅱ類)

「異文化間トレーニング」 4単位 通年
〔商〕 吉田 友子

〔授業科目の内容〕

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。

〔教科書〕

プリントを授業で配る。

〔参考書〕

(ア)「異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる」
八代京子、町恵理子、小池浩子、磯貝友子（著）
1998年 参修社出版

(イ) Intercultural Communication Training: An Introduction By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida (1994). Sage Publications.

総合教育セミナーD (Ⅲ類)

「地域との対話」 4単位 通年
〔商〕 牛島 利明 柏崎 千佳子

〔授業科目の内容〕

この授業では、皆さんが学ぶキャンパスの後背地である日吉、および他の地域でフィールドワークを行いなが

ら、地域の抱えるさまざまな問題（商店街の活性化、子育て、高齢者、障害者や外国人居住者の支援、地域コミュニティのあり方など）について考察・提言を行います。

大学の立地する地域を、単に生活したり消費したりする場所と捉えるばかりではなく、地域の問題・課題を発見し、多様な人々が安心して暮らせる魅力ある「まち」を支える新しい制度や文化を創出しようと試みる意欲ある学生の参加を歓迎します。

〔教科書〕

特になし。必要な文献は適宜授業で指示します。

〔参考書〕

佐藤郁哉『フィールドワーク書を持って街へ出よう』新曜社、1992年。

総合教育セミナーD（Ⅲ類）

「留学生セミナー」（東アジアを考える） 4単位 通年
〔商〕 木島 伸彦

〔授業科目の内容〕

このセミナーは、留学生の皆さんの日本語能力を高めるとともに、皆さんの日本での生活をサポートすることを目的としています。また、日本人の学生も参加して相互の交流を進めることも意義のひとつです。

基本的には、大学で学ぶために必要な能力、すなわち学問的方法で調査し、自ら考え、評価し、表現する能力を総合的に身につけることを目的としています。すなわち、本の調べ方、読み方、情報収集、整理、文章の書き方、プレゼンテーションとディスカッションなどを、日本語でしっかりと行うことができるよう勉強していきます。商学部の留学生は必ずこのセミナーを受講しなければなりません。

留学生と交流をしながら、これらの能力を身につけた日本人の学生の参加も歓迎します。

なお、初回のガイダンスに出席しない者は履修出来ないこととし、さらに、もし希望者が多い場合、既に木島の心理学Ⅰ・Ⅱを履修した学生を優先します。

〔教科書〕

適宜、指示します。

〔参考書〕

適宜、指示します。

総合教育セミナーD（Ⅲ類）

「アジア近代における民族とことば」 4単位 通年
〔商〕 櫻庭 ゆみ子

〔授業科目の内容〕

このセミナーでは、日本語を第二、第三言語として学ぶ学生と、日本語を第一言語とする学生が、「今自分が使っている言葉とは何なのか」、「第一言語と第二、第三言語との関係をどう位置づけたらよいか」、「「〇〇語」を使う「〇〇人」であることの根拠はどこにあるのか」といったことを中心に、今自分が身を置く社会とそこで使われている言葉の関係について書かれた批評や文献を読みながら、討論し、考えていきます。読む資料は主に日

本語のものを使いますが、中国語または英語の文献を使う場合もあります。毎回担当者を決め、担当する資料に何が書かれているか、をまとめ、自分の意見や疑問点を述べてもらい、討論のたたき台とします。そして、どのように要点をつかんで整理するか、また他人に分かりやすく説得力ある意見を述べる事が出来るかを互いに学びながら、建設的な意見交換の場となるような「技」を訓練する場にしたいと思っています。参加者全員が事前に資料を読んでくる事が前提となります。

また、各学期末に、セミナーを通じて学んだことを元に自分の研究テーマについての短いレポートを提出してもらいます。

尚このセミナーに参加を希望する学生は、初回の授業に必ず出席してください。

〔教科書〕

適宜指示します。

〔参考書〕

適宜指示します。

総合教育セミナーD（Ⅲ類）

「航空・観光経営研究入門」 4単位 通年
〔商〕 中条 潮

〔授業科目の内容〕

本講義では、航空および航空とかかわりの深い観光産業について、現場担当者や経験者による講義も交えて、入門的知識を提供するとともに、学生にはレポート執筆とプレゼンテーションを課し、文章の書き方、PPTによるプレゼンテーション技術の基礎を学んでもらうことを目的とする。春学期は、水曜2時限および昼休みを利用して講義とプレゼンテーションを行なう。秋学期はレポートの添削を適宜行なう。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

適宜、指示する。

総合教育セミナーD（Ⅲ類）

「荘内藩致道館徂来学」 4単位 通年
〔商〕 松村 宏

〔授業科目の内容〕

日本中でめずらしく存続している上級武士文化人集団の伝統たる致道館徂来学と一緒に学習研究する。彼らの教養と強健と品格を求めて体得すれば今の世界市民ビジネス上層青年に文化的中軸を与える。その古典主義の新たな創造的体現への練習を積むことが、ここでの我々の目的であり方法でもある。初心者が対象なので素養は問わない。出席者に応じたレベルから出発する。題目は文字通りの無骨でも、内容は、狩野永徳の絵をどう見るか、京都派の雅楽はどう演奏されていたか、古流剣道の形（かた）は、どういう呼吸であるかという部類の問題である。（具体的方法は、授業内容に示す）

〔教科書〕

すべて原資料を複写して配布。

〔参考書〕

各回毎に指示。

総合教育セミナーS (I類)

「集合・関係・関数」

2単位 春学期

〔商〕

白旗 優

〔授業科目の内容〕

数学の基礎についてはいくつかの立場がありますが、実際的には、現代数学は集合論を基礎として展開されているとみなして、さしつかえありません。たとえば、個々の実数は有理数の集合として定義されますし、関数は数の組の集合である関係の特殊な事例とされます。また、実は関係という概念は、数に限定されずに、より一般的に定義され、それは、ミクロ経済学で選好の順序を表すために応用されてもいます。

この授業では、集合・関係・関数といった概念について、予備知識は前提としないで、初歩的なことからきちんと学んでいってもらえればと思います。特に重要視したいのは、集合に関する命題の論証がきちんとできるようになることです。そのため、補助教材として、論理学教育用のソフトウェアを使用するかもしれません。

〔教科書〕

授業時にテキストを配布する予定です。

〔参考書〕

『論理学の基礎と演習』（ジョン・パーワイズ、ジョン・エチメンディ著、大沢、白旗、中川、中戸川、橋本訳、慶應義塾大学出版会）を参考書とします。

総合教育セミナーS (I類)

「相対性理論の紡ぐ時間と空間」

2単位 春学期

〔商〕

新田 宗土

〔授業科目の内容〕

アインシュタインの発見した相対性理論は、時間・空間の概念を一新しました。そこでは、時間と空間は一体となった時空として理解できます。そして、宇宙旅行に関する双子のパラドックスなど様々なパラドックスが存在します。これらのパラドックスを一緒に解いて行きましょう。目標は、新しいパラドックスを見つけることです。果たして、時間旅行、タイムマシンは出来るのでしょうか？

〔教科書〕

「数式いらず! 見える相対性理論」竹内 建 (著)、岩波書店、ASIN: 4000055291

総合教育セミナーS (I類)

輪読セミナー「ガウスが切り開いた道」

2単位 春学期

〔商〕

深谷 太香子

〔授業科目の内容〕

「ガウスが切り開いた道」(シュプリングァー数学クラブ)

シモン・G. ギンディキン著、三浦 伸夫訳 の輪読セミナーです。この本の内容をセミナー参加者に読み込み、わからないところをあらかじめ調べてセミナー時に解説、発表して頂きます。そして参加者全員で内容について考察、議論します。解説、発表、議論を通して主体的に取り組み、内容をより深く理解し、更に「人にわかりやすく発表するとはどういうことか」も共に考えます。時間にゆとりがある場合はより発展的な内容も学んでいきます。

〔教科書〕

「ガウスが切り開いた道」(シュプリングァー数学クラブ) シモン・G. ギンディキン著、三浦 伸夫訳

〔参考書〕

必要に応じて適宜紹介します。

総合教育セミナーS (II類)

「原書講読セミナー (ドイツ語) : *An die Freude. Notizen zu Beethovens Neunter Sinfonie.*」

2単位 秋学期

〔商〕

石原 あえか

〔授業科目の内容〕

ドイツ語の原書を講読することを目的としたセミナーです。今や日本の風物詩となっている年末のベートーヴェンの『第九交響曲』。でもこれは日本特有の不思議な現象で、たとえばドイツの年末はJ. S. バッハの『クリスマス・オラトリウム』やJ. シュトラウスによる大晦日が舞台の陽気なオペレッタ『こうもり』が演じられるのが普通です。教科書は、歌詞となったシラーの『歓喜に寄せて』とベートーヴェンの交響曲成立および受容における様々な歴史やエピソードを平易なドイツ語で書き下したものです。なお学期末には、このテキストに関するレポートを提出してもらいます。

〔教科書〕

Günter Zobel: *An die Freude. Notizen zu Beethovens Neunter Sinfonie* 第三書房 定価1,223円

〔参考書〕

矢羽々崇著：『「歓喜に寄せて」の物語 シラーとベートーヴェンの『第九』』（現代書館、2007年、定価3,000円+税）

*その他、必要に応じて紹介します。

総合教育セミナーS (II類)

「アメリカと現代社会」

2単位 春学期

〔商〕

竹内 美佳子

〔授業科目の内容〕

2008年はアメリカ大統領選挙の年に当たります。9.11以降、自国に対する敵意を力で抑え込む単独行動主義への傾斜を強めてきたアメリカは、いかなる選択を行うのでしょうか。授業では、過去2世紀にわたる対外関係史の検証から現代的問題を浮き彫りにした、アメリカ論を輪読します。自由、民主主義、愛国主義の意味を問う政治批判の書を通して、現代社会を考察します。

〔教科書〕

高橋通浩著『歴代アメリカ大統領総覧』（中公新書ラクレ、2002年）

アーサー・シュレジンガー・Jr. 著『アメリカ大統領と戦争』（岩波書店、2005年）

〔参考書〕

授業で紹介します。

総合教育セミナーS（Ⅱ類）

「Research and Methods」

2単位 春学期

〔商〕

英 知明

〔授業科目の内容〕

選択したテーマに沿って自らリサーチ・収集した内容をわかりやすく説得力ある論にまとめ、「論文のマナー」に従って高度かつ良質な日本語で表現する技術的訓練を行う。また定められた字数の中で、自身の考えを過不足なく効果的に盛り込んだ「書評」や「論考」を書くことを通じ、豊かな語彙と正確な日本語を駆使する能力を養う。短期集中型科目（履修は半期のみ可：春学期・秋学期とも同じ内容）で密度の濃い授業を目指すため、履修者を少数に制限して行なう。

〔教科書〕

一部に英語のプリントを使用。授業中に配布します。

〔参考書〕

特になし

総合教育セミナーS（Ⅱ類）

「Research and Methods」

2単位 秋学期

〔商〕

英 知明

〔授業科目の内容〕

選択したテーマに沿って自らリサーチ・収集した内容をわかりやすく説得力ある論にまとめ、「論文のマナー」に従って高度かつ良質な日本語で表現する技術的訓練を行う。また定められた字数の中で、自身の考えを過不足なく効果的に盛り込んだ「書評」や「論考」を書くことを通じ、豊かな語彙と正確な日本語を駆使する能力を養う。短期集中型科目（履修は半期のみ可：春学期・秋学期とも同じ内容）で密度の濃い授業を目指すため、履修者を少数に制限して行なう。

〔教科書〕

一部に英語のプリントを使用。授業中に配布します。

〔参考書〕

特になし

〔授業の計画〕（内容と順序は変更になる場合があります）

履修者は、下記のテーマのいずれかに沿った個別の課題に取り組む。教員と履修者の間でメールを利用して批評及び批判を（必要に応じ）随時行いながら、論文完成のための研究を各自進める。授業では、並行して幾つかの「課題」をこなしながら「研究とその効果的表現方法」を学ぶこととなる（下記参照）。終盤には、各自の論文テーマについてハンドアウトを作成して全員の前で発表し、期限までに最終論文を完成させ、提出する。

〔論文テーマ（履修者は以下から1つ選択する）〕

- A. 英国書物の誕生と印刷・出版文化の研究（特にシェイクスピアの時代または中世）。
- B. 現代日本を象徴する「文化的/社会的な問題」について、その解決策を探る。
- C. 最新の政治問題、経済問題について、独自の視点から考察を加える。
- D. その他（担当教員と相談の上、許可をもらうこと）

【授業概要】

- i. <人に効果的に伝える：書くこと、話すこと>
 - ・日本語を書く（Ⅰ）…後輩のために慶大/商学部/所属サークルを紹介する記事を書く（字数は1200字）。
 - ・教室で「自己紹介」を行う。口頭発表を効果的に行なうためには、どのような工夫をすれば良いかを、履修者同士で一緒に考える。
- ii. <「リサーチ」とは何か、いかにリサーチするか>
 - ・「研究テーマ」を決める…何を調べ、何を学ぶか。リサーチ法について書かれた英語のプリントを読む。
 - ・図書館の使い方やリサーチの方法、参考文献のチェック、テーマへのアクセスの仕方を学ぶ。「論文執筆の作法とマナー」とは何かを知る。
- iii. <書評・論考を書く>
 - ・日本語を書く（Ⅱ）…全員で同一の本（新書）を読んで「書評」を書き（1200字）、互いの書評を批評しあう。
 - ・日本語を書く（Ⅲ）…全員で同一の「論文」を読み、その批評を「論考」として書く（1200字）。
- iv. <最終論文を書く>
 - ・日本語を書く（Ⅳ）…自分の論文の「概要」を書く（1200字）
 - ・授業で、論文の概要を口頭発表する。
 - ・日本語を書く（Ⅴ）…「最終論文」を完成させる（A4で20ページ前後）

【担当教員から履修者へのコメント】

知的好奇心と積極性があり、日本語でまとめた文章を書くことに興味があれば歓迎。ただ毎回課題が出るので忙しい。さらに次の要件は必須：パソコンを自宅に所有すること、（ケイタイではなく）PCによる電子メールを日常的に（ほぼ毎日）使用していること、Microsoft Office Wordが使えることが望ましい（ただし授業開始後にその使い方を短期間で覚えようとする意志があれば、履修申告の時点で使えなくとも良い）。

【成績評価方法】

出席はもちろん、授業でのパフォーマンス、複数ある提出課題のクオリティの高さ等で総合的に評価します。

【質問・相談】

随時受け付けます。またメールによる連絡や相談、課題の提出も行います。

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナーⅠ(春学期)・Ⅱ(秋学期)

総合教育セミナーⅠ

「理工学者のための脳科学入門」

2単位 春学期

【理】

岡 浩太郎

〔授業科目の内容〕

ヒトをヒトたらしめているのは脳という器官によるものである。脳を理解することは医学的な面からの重要性だけでなく、ヒトと同じように機能するロボットを作るというような工学的な面からも重要な課題と考えられる。取り扱うテキストでは「切断された手足がまだあるような感じがする」というような幻肢現象などを例にとりながら、脳機能について仮説を立て、それを実証ために高価な道具立てを用いない実験を提案している。脳科学の解説書として第一級のものであり、脳に関心を持つ理工学部の学生に勧めることができるものであると思われる（タイトルで誤解しないように、幽霊の本ではありません）。

授業では神経科学の簡単なレビューを行いながら、テキストで示されている幾つかの簡単な実験はその場で行い、脳に対する理解を深めたいと考えている。また「脳科学と倫理」など本テキストで扱われていない内容に関しても適宜取り扱う予定である。

〔教科書〕

V.S. ラマチャンドラン、サンドラ・ブレイクスリー『脳の中の幽霊』角川書店

〔参考書〕

関連するテキストは講義中に随時紹介するようにします。

総合教育セミナーⅠ

「写真について考える」

2単位 春学期

【理】

荒金 直人

〔授業科目の内容〕

写真——あるいは厳密には写真と呼べないような様々なタイプの静止画像——は我々の生活の場に満ち溢れており、もはや写真のない世界——そしてその世界で生きていた人々の感受性——を想像することさえも困難なほどです。かつてロラン・バルトは写真を、過去の存在を意味によって処理せずに提示するものとして考えようとなりました。「それはかつてあった」というリアリティを感じさせる強制力に、写真の本質を求めたわけです。しかしこのような視点は、デジタル画像が支配的になった現代において、なおも説得力を持っているのでしょうか。写真の本質——写真だけに固有の性質——とは何なのか？写真のリアリティとは何なのか？等々、このセミナーでは、写真についてどのような考え方があるのかを調べ、その上で我々なりに写真というものについて深く考えてみたいと思います。

〔教科書〕

飯沢耕太郎『写真について話そう』京都造形芸術大学編、角川書店、2004年。

〔参考書〕

気楽に読めるものとしては以下のものがあります（それ以外は授業中に紹介します）。

●京都造形芸術大学編『現代写真のリアリティ』角川書店、2003年。

●近藤耕人編『写真との対話』国書刊行会、2005年。

総合教育セミナーⅠ

「「カワイイ」デザインの分析・評価・創出」

2単位 春学期

【理】

井上 京子

〔授業科目の内容〕

「カワイイ」って何でしょう。何が「カワイイ」のでしょうか。

アニメや漫画から広がった、日本独自の「カワイイ」文化。日本製のキャラクター商品の普及とともに、世界中にその価値観が広がってきています。

本セミナーでは、「カワイイ」と人が感じる本質を探り、「カワイイ」デザインの定量化、定性化を試みます。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

四方田犬彦『「かわいい」論』筑摩書房、2006

木全 賢『デザインにひそむく美しさ>の法則』ソフトバンククリエイティブ、2006

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論新社、2004

その他、授業中適宜指示します。

総合教育セミナーⅠ

「語彙意味論入門：身近な言葉を分析しよう」

2単位 春学期

【理】

小原 京子

〔授業科目の内容〕

日頃私達は日本語を使いこなしてはいますが、日本語について気付いていない事柄もたくさんあります。たとえば、「言う」と「話す」の違いを外国人に説明できますか？「そわそわ」の意味は？「越す」と「越える」はどう使い分けられますか？

そんな時国語辞書を見ても、あまり参考にはなりません。それは、今の国語辞書の多くが、他の言葉での置き換えを主に載せていて、その言葉の使い方に関する知識やナマの生きた用例を充分載せていないからです。

このセミナーでは、普段何気なく使っている日本語の語句の意味や使い方に関する、日本語ネイティブスピーカーが持っている知識を分析します。特に、外国人が理解できるようにその言葉を説明するには、という観点から考えます。このような作業を通じて、私達が無意識に駆使している言葉をこれまでとは違った観点から捉え、言葉の意味に関する調査の仕方や調査の対象について学びます。また、調査結果の口答発表と質疑応答、調査結

果のレポートへのまとめ方とその推敲の仕方についても、実地に学んでいきます。

〔教科書〕

授業中に指示します。

〔参考書〕

<http://jfn.st.hc.keio.ac.jp/>

仁田義雄著『辞書には書かれていないことばの話』(岩波書店、2002年)

その他は授業中に指示します。

総合教育セミナー I

「ユング心理学の世界に遊ぶ」

2単位 春学期

〔理〕

小林 邦夫

〔授業科目の内容〕

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。

C.G.ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた諸分野を、堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。しかしユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

〔教科書〕

文・大住誠、イラスト・田島薫美『ユング』FOR BEGINNERSシリーズ65 現代書館；1236円

〔参考書〕

アンソニー・ストー編著 / 山中康裕監修『エッセンシャル・ユング』創元社；3914円

総合教育セミナー I

「人と自然とのつながりを考える—自然保護をめぐる」

2単位 春学期

〔理〕

小宮 繁

〔授業科目の内容〕

わたしたちは私たち自身の生産・消費活動に起因する未曾有の自然破壊の時代を生きています。この事実は、人間が一方的に自然を収奪の対象として見るような思想が世界に広く深く浸透したことを意味しています。そこで、こうした人間中心の自然観からの脱却ないし転換を果たし、人と自然とのあらたな持続可能な関係を構築していくことが、現在のわたしたちに課された重要な課題の1つとなるでしょう。

このセミナーでは、自然保護をめぐる、人と自然とのかかわりを考えてみたいと思います。現在当たり前のように叫ばれている自然保護ですが、自然保護を唱えることは、これまで人間による収奪の対象であった自然をにわかに人間による保護の対象としたということであっ

て、その意味ではあいかわらず人間中心主義に立脚した思想なのです。それでは人間中心主義を脱却した「自然保護」など可能なのでしょうか。こうした疑問からを出発し、みなさんとともに人と自然とのあらたなかかわりを見出すための議論を深めていきたいと考えています。

〔教科書〕

授業時に指示します。

〔参考書〕

今のところ以下の本を薦めておきます。

木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書)

内山 節他『ローカルな思想を創る』(農文協)

大熊孝『技術にも自治がある—治水技術の伝統と近代』(農文協)

熊谷達也『相克の森』(集英社文庫)

宮沢賢治「狼森と叢森、盗森」『注文の多い料理店』(ちくま文庫ほか)

————「なめとこ山の熊」(ちくま文庫ほか)

総合教育セミナー I

「20世紀の美術を考える」

2単位 春学期

〔理〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかということも学びます。

(クラスの人数が少ない場合はディスカッションのための時間を十分にとるようにします。)

〔教科書〕

ありません

〔参考書〕

授業で見学した展覧会のカタログなど

総合教育セミナー I

「推理小説・推理小説論を読む (1)」

2単位 春学期

〔理〕

高桑 和巳

〔授業科目の内容〕

「推理小説」とは何か？その実作品や、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐる、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

〔教科書〕

とくにありません。

〔参考書〕

教室で指示します。

総合教育セミナーⅠ

「化学でのぞく神秘の世界」

2単位 春学期

〔理〕

平林 義彰

〔授業科目の内容〕

私たちの身の回りをよく見ると、「化学」がいっぱいころがっています。

「衣」「食」「住」に「医」を加えた生活分野の多くの材料や道具は「化学」で作られています。また、自然現象の多くも「化学」で説明できます。このようみ見ると「化学」も楽しくなります。私たちの身の回りの「化学」を探して、文章にしたり、発表したりしませんか。

時間割の関係で春学期に履修できない時は、秋学期の総合教育セミナーⅡ〔水3 平林 義彰〕を履修してください。

〔教科書〕

必要に応じて講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

山崎信寿他『科学技術日本語案内一新訂版』慶應義塾大学出版会、2002

相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）、慶大理工学部、1998

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981

高木誠司『理科系の論文作法』丸善、1997

山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1988

総合教育セミナーⅠ

「20年後の未来技術を考える」

2単位 春学期

〔理〕

三木 則尚

〔授業科目の内容〕

インターネットや携帯電話など、20年前には夢だった技術が今現在では当たり前のように使われています。では今から20年後にはどんな技術が社会で使われているのでしょうか。医療、IT、環境、家電、ロボット、衣食住、交通・都市インフラなど、本セミナーでは、受講生たちが自らの想う未来技術を考案、調査し、その社会へのインパクト、実現するための具体的な技術イノベーション、さらにビジネスプランを議論します。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナーⅠ

「関係的価値のデザイン」

2単位 春学期

〔理〕

山崎 信寿

〔授業科目の内容〕

新製品企画、道具、家具、家電、住居、自動車など、人間生活のためのモノ作りに興味を持つ人向きです。関係的価値とは、各人の個性差や思いの違いを重視した、自分にとっての価値の事です。本当は他者の価値に気

づくことで、共感される新製品が生まれるのですが、まずは、自分にとっての関係的価値をデザインしてみましよう。それは、自分や生活を見つめ直すことから始まります。このような例題に取り組むことで多面的な見方と論理的思考力および表現力を身につけるのが、このセミナーの目標です。このため、書くことと話すことに慣れる様々な企画をしています。

〔教科書〕

特に指定しません。関連資料は配付します。

〔参考書〕

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書、1981

山崎信寿、富田 豊、平林義彰、羽田野洋子『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会、2002

総合教育セミナーⅡ

「哲学」

2単位 秋学期

〔理〕

荒金 直人

〔授業科目の内容〕

思考不可能なものとしてのみかろうじて思考可能な「超越論的領野」——あらゆる認識の究極の源泉——に、どれだけ厳密な思考によって、どこまで接近できるのだろうか？ 平易な言葉でつづられる明快な思索があつという間に読者を哲学的な深淵へと導く、その面白さを感じてもらいたいと思います。

この授業の目的は以下の二点です。第一に、哲学を体験し、これが哲学だという感触を得ること。第二に、哲学的な意味での厳密さを体験することで、考える力（①他人の思索を追跡する力、②他人の考えに対して自分の考えを持つ力、③自分の考えを明確に表現する力）を養うこと。

斎藤慶典著『思考の臨界』を教科書として使います。毎回数人の担当者にテキストの一部分のレジュメを作ってきてもらい、著者の考えとそれに対する自分の意見を口頭で発表してもらいます。そしてその発表をもとに、みんなで議論したいと思います。

〔教科書〕

斎藤慶典『思考の臨界——超越論的現象学の徹底』勁草書房、2000年。

〔参考書〕

『哲学・思想事典』広松渉その他編、岩波書店、1998年。

『現象学事典』木田元その他編、弘文堂、1994年。

その他は授業の中で適宜指示します。

総合教育セミナーⅡ

「エレクトロニクスデザイン」

2単位 秋学期

〔理〕

石黒 仁揮

〔授業科目の内容〕

本セミナーでは、電子工作を通して理工学の基本である作る喜びを感じて欲しいと思っています。

図面と部品から、実際にハンダ付けしながら、一からトレーサーロボットを製作します。前半は、PIC、FET、

センサー、初めは分からないことばかりですが、電子部品の動作を調べ、全体の回路の動作原理について学びます。後半はPICにプログラミングし、より安定にかつ高速にトレースできるアルゴリズムを開発します。電子製品は、ハードだけ、あるいはソフトだけではなく、両方を理解してこそ良い製品が作られることを理解して欲しいと思います。ハードとソフトの開発過程で、数回の発表を行い、自分の作ったトレーサーロボットにつて、その特徴や苦労したことを文章でまとめます。

教材費として3千円（予定）必要です。

総合教育セミナーⅡ

「数理学入門」

2単位 秋学期

〔理〕

太田 克弘

〔授業科目の内容〕

この講義は、本格的な数学、数理学に触れてもらうための講義として、今年度から開講します。1年生、2年生では線型代数や微積分のような基本的な数学の講義しかありません。大学の数学、専門の数学とはどういうものなのだろう、ということを知りたい学生のために理工学部数理学科の4人の教員が、それぞれの専門分野にかかわる内容の入門を（1、2年生でもわかる範囲の内容で）行います。

講義の形式は以下の通りです。4人の教員がそれぞれ1回の講義を行います。その中で課題や問題が出ます。その後、学生さんたちに本を読んできてもらったり、問題を解いてもらったりして、発表してもらいます。4回の講義、8回の発表を予定しています。

具体的には今年度は次のようなテーマを用意しています。

「幾何学入門」

授業では図形の色々な特徴を調べる方法を説明し、具体的な計算を通して理解を深めてもらいたいと思っています。

「整数論入門」

Fermat予想の証明にも使われた楕円曲線という曲線は、3次曲線ですが、この曲線上にの有理数解がどのようにあるか、などの問題を通じて、現代的な整数論の入門を行いたいと思っています。

「組合せ論入門」

組合せ論に現れるいくつかのパズル的な問題を扱い、その定理やエレガントな証明を味わってもらおうと思います。

「人間行動の数理」

人間は様々な場面でどのように行動するのでしょうか。簡単な数学モデルを通して、このような事柄も数理学の対象となることを学んでもらおうと思います。

〔教科書〕

授業中に指示します。

総合教育セミナーⅡ

「量子物理学入門」

2単位 秋学期

〔理〕

大橋 洋士

〔授業科目の内容〕

コンピュータに代表される現代のハイテクを支えるもの、これが量子物理学です。

この授業では、現代物理学、現代テクノロジーの基礎である量子物理学について基本的なテキストを皆で読み理解を深めます。

〔教科書〕

原島鮮『初等量子力学』（裳華房）

総合教育セミナーⅡ

「20世紀の美術を考える」

2単位 秋学期

〔理〕

近藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかといったことも学びます。

（クラスの人数が少ない場合はディスカッションの時間が多くなります）

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

見学した展覧会のカタログなどですが、適宜授業の中で指示します。

総合教育セミナーⅡ

「サイエンスライター入門」

2単位 秋学期

〔理〕

加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

科学の成果を一般むけにわかりやすく解説できる力は、研究者になる人やマスコミを目指す人にはもちろんのこと、いろいろな職業につく人にも求められている大切な能力です。科学の内容がわからなければ、解説できないし、内容がわかっても、文章にすることができなければ伝わりません。このセミナーでは、科学のいろいろな分野をとりあげて解説文を書く練習をします。文章添削の他、ショートスピーチを繰り返し、人前で話すことに慣れる訓練もします。

総合教育セミナーⅡ

「数理学入門」

2単位 秋学期

〔理〕

亀谷 幸生

〔授業科目の内容〕

この講義は、本格的な数学、数理科学に触れてもらうための講義として、今年度から開講します。1年生、2年生では線型代数や微積分のような基本的な数学の講義しかありません。大学の数学、専門の数学とはどういうものなのだろう、ということを知りたい学生のために理工学部数理科学科の4人の教員が、それぞれの専門分野にかかわる内容の入門を（1、2年生でもわかる範囲の内容で）行います。

講義の形式は以下の通りです。4人の教員がそれぞれ1回の講義を行います。その中で課題や問題が出ます。その後、学生さんたちに本を読んできてもらったり、問題を解いてもらったりして、発表してもらいます。4回の講義、8回の発表を予定しています。

具体的には今年度は次のようなテーマを用意しています。

「幾何学入門」

授業では図形の色々な特徴を調べる方法を説明し、具体的な計算を通して理解を深めてもらいたいと思っています。

「整数論入門」

Fermat予想の証明にも使われた楕円曲線という曲線は、3次曲線ですが、この曲線上にの有理数解がどのようにあるか、などの問題を通じて、現代的な整数論の入門を行いたいと思っています。

「組合せ論入門」

組合せ論に現れるいくつかのパズル的な問題を扱い、その定理やエレガントな証明を味わってもらおうと思います。

「人間行動の数理」

人間は様々な場面でどのように行動するのでしょうか。簡単な数学モデルを通して、このような事柄も数理科学の対象となることを学んでもらおうと思います。

【教科書】

授業中に指示します。

総合教育セミナーⅡ

「科学ジャーナリストになったつもりになる — 自分の興味のある研究分野・関心のある仕事についてのレポート」

2単位 秋学期

【理】

木下 京子

【授業科目の内容】

大学の学部を選んだ時点で、今後勉強する内容について少なからず考えたと思いますが、実のところ皆さんはご自分の興味のある研究分野や漠然でもいいので将来就きたい仕事についてどれだけ深く知っているでしょうか。その研究の歴史や現時点での成果や問題点、未来への展望など具体的内容を把握していますか。本セミナーでは、自分が科学専門のジャーナリストになった気分で、各自の興味のあることを様々な角度から調べます。そして専門的な内容であっても、老若男女問わずできるだけ多くの人に理解できるようわかりやすい発表を行うことを目指し、レポートにまとめます。本セミナーを契機

に、自分が何に興味があるのか、何をしたいのか、どのような研究に取り組みたいのか改めて考えてみましょう。

【教科書】

プリントを配布

総合教育セミナーⅡ

「数理科学入門」

2単位 秋学期

【理】

栗原 将人

【授業科目の内容】

この講義は、本格的な数学、数理科学に触れてもらうための講義として、今年度から開講します。1年生、2年生では線型代数や微積分のような基本的な数学の講義しかありません。大学の数学、専門の数学とはどういうものなのだろう、ということを知りたい学生のために理工学部数理科学科の4人の教員が、それぞれの専門分野にかかわる内容の入門を（1、2年生でもわかる範囲の内容で）行います。

講義の形式は以下の通りです。4人の教員がそれぞれ1回の講義を行います。その中で課題や問題が出ます。その後、学生さんたちに本を読んできてもらったり、問題を解いてもらったりして、発表してもらいます。4回の講義、8回の発表を予定しています。

具体的には今年度は次のようなテーマを用意しています。

「幾何学入門」

授業では図形の色々な特徴を調べる方法を説明し、具体的な計算を通して理解を深めてもらいたいと思っています。

「整数論入門」

Fermat予想の証明にも使われた楕円曲線という曲線は、3次曲線ですが、この曲線上にの有理数解がどのようにあるか、などの問題を通じて、現代的な整数論の入門を行いたいと思っています。

「組合せ論入門」

組合せ論に現れるいくつかのパズル的な問題を扱い、その定理やエレガントな証明を味わってもらおうと思います。

「人間行動の数理」

人間は様々な場面でどのように行動するのでしょうか。簡単な数学モデルを通して、このような事柄も数理科学の対象となることを学んでもらおうと思います。

【教科書】

授業中に指示します。

総合教育セミナーⅡ

「夢分析入門」

2単位 秋学期

【理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

我々は何故夢を見るのでしょうか？夢って一体何？この問題の解決に出来得る限り接近しようとするのが、このセミナーの目的です。一人の人間が一生のうちで夢を

見ている時間を全て合わせると、四年半にもなるそうですが、この不可解な、神秘に満ちた夢という現象を、様々な角度からアプローチします。以下の「授業計画」を参照。最先端の科学技術を駆使しても、恐らく、夢を見ることの出来るロボットを作り出すことはできないでしょう。このことは、コンピュータの世界と夢の世界の一番大きな違いを表わしている、と言えるでしょう。このセミナーでは、最終的に、自分の見た夢、他人の見た夢を何とか解釈してみる、即ち、夢分析ができるようになることを目標にします。

〔教科書〕

デーウィッド・コクスヘッド+スーザン・ヒラー著、河合隼雄+氏原寛訳（イメージの博物誌3）『夢——時空を超える旅路』；平凡社1850円

〔参考書〕

C.G.ユング著、氏原寛監訳（「ユングコレクション」8、9）『子供の夢Ⅰ、Ⅱ』人文書院；Ⅰ（6695円）、Ⅱ（6592円）

総合教育セミナーⅡ

「エンジニアリングへのいざない」 2単位 秋学期
〔理〕 澤田 達男

〔授業科目の内容〕

エンジニアリング（工学）には、数学のように数式を取り扱って理論整然と論理を進める学問とは少し異なった側面があります。理科系の学問だからといって、理論通り行くものばかりではありません。こういった、事象をなるべく題材に取り上げ、文章作成とプレゼンテーションの能力を高めるセミナーにしていこうと思います。

具体的な事は、学生諸君の配属希望で履修者が決まった段階で、みんなと相談しながら決めたいと思います。おおまかなことを以下に列挙します。

- レポートの提出
- 工場見学（学生諸君の希望も考慮して見学先を決めます）
- 研究・調べた事の発表
- 最終報告書の作成

〔参考書〕

- ・ 山崎・富田・平林・羽田野『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会、2002
- ・ 山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1998

総合教育セミナーⅡ

「推理小説・推理小説論を読む（2）」 2単位 秋学期
〔理〕 高桑 和巳

〔授業科目の内容〕

「推理小説」とは何か？ その実作品や、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

〔教科書〕

とくにありません。

〔参考書〕

教室で指示します。

総合教育セミナーⅡ

「数理科学入門」 2単位 秋学期
〔理〕 田村 明久

〔授業科目の内容〕

この講義は、本格的な数学、数理科学に触れてもらうための講義として、今年度から開講します。1年生、2年生では線型代数や微積分のような基本的な数学の講義しかありません。大学の数学、専門の数学とはどういふものなのだろう、ということを知りたい学生のために理工学部数理科学科の4人の教員が、それぞれの専門分野にかかわる内容の入門を（1、2年生でもわかる範囲の内容で）行います。

講義の形式は以下の通りです。4人の教員がそれぞれ1回の講義を行います。その中で課題や問題が出ます。その後、学生さんたちに本を読んできてもらったり、問題を解いてもらったりして、発表してもらいます。4回の講義、8回の発表を予定しています。

具体的には今年度は次のようなテーマを用意しています。

「幾何学入門」

授業では図形の色々な特徴を調べる方法を説明し、具体的な計算を通して理解を深めてもらいたいと思っています。

「整数論入門」

Fermat予想の証明にも使われた楕円曲線という曲線は、3次曲線ですが、この曲線上にの有理数解がどのようなか、などの問題を通じて、現代的な整数論の入門を行いたいと思っています。

「組合せ論入門」

組合せ論に現れるいくつかのパズル的な問題を扱い、その定理やエレガントな証明を味わってもらおうと思います。

「人間行動の数理」

人間は様々な場面でどのように行動するのでしょうか。簡単な数学モデルを通して、このような事柄も数理科学の対象となることを学んでもらおうと思います。

〔教科書〕

授業中に指示します。

総合教育セミナーⅡ

「光への招待—光の持つ可能性を探る」 2単位 秋学期
〔理〕 二瓶 栄輔

〔授業科目の内容〕

光は我々の周りに満ち溢れています。そして我々は無意識のうちに光をさまざまな情報源として巧みに利用しています。しかし、光って何？と質問されたときに、すぐに答えられるのでしょうか。

本セミナーでは、光が持っている性質を解き明かし、

さらに、現在の高度情報化社会を支える光技術や、先端医療を支える光技術など、様々な分野で利用されている光技術を理解し、また自分で調査すると共に、実際に光を制御する実験を体験しながら、光の持つ可能性について考えていきたいと思います。

〔教科書〕

プリント教材

〔参考書〕

授業中に紹介する。

総合教育セミナーⅡ

『ものけ姫』から日本の歴史を再考する」

2単位 秋学期

〔理〕

萩原 眞一

〔授業科目の内容〕

私たちは小学校から高校まで、さまざまな教科書を通じて日本史の教育を受けてきました。この教科書の歴史像は、できるかぎり実証的・科学的であろうとする立場に基づいて描き出されていますから、それなりに事実即したものといたえるでしょう。しかし、何ら疑問を差し挟む余地のない教科書上のいくつかの通説でも、意外なほど間違った思い込みによって支えられていることが多く、その結果、私たちは往々にして偏った先入観にとらわれているように思われます。

先入観の典型的な例は「日本単一民族・単一国家」説です。これは、日本国を古代から現在にいたるまで均質度の高い「単一民族」の上に成立した「単一国家」と見なす見解です。この「常識」からは、北海道・東北北部におけるアイヌの独自の社会の存在や沖縄諸島における琉球王国の存在などが、見事に抜け落ちていきます。このことを考え合わせれば、「常識」が虚像であることはいうまでもありません。

とはいうものの、担当者は日本史の専門家ではないので、大上段に構えて「常識」を問い直すことはできませんし、行うつもりもありません。では何をするかというと、日本中世史学者・網野善彦の『日本の歴史をよみなおす』を通読・理解しながら、網野史学に強い影響を受けて制作された宮崎駿のアニメ『ものけ姫』を解釈してみたいと考えています。

〔教科書〕

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』（ちくま学芸文庫、1260円）

総合教育セミナーⅡ

「人類の未来の扉を開く玉手箱「化学」」 2単位 秋学期

〔理〕

平林 義彰

〔授業科目の内容〕

工学における「化学」は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることができ、言ってみれば「玉手箱」です。ここでは「ものをつくる」という観点から「化学」をと

らえ、身近な「化学」を探して発表したり、文章にしたりしませんか。

時間割の関係で秋学期に履修できない時は、春学期の総合教育セミナーⅠ〔水3 平林 義彰〕を履修してください。

〔教科書〕

必要に応じて講義資料プリントを配布します

〔参考書〕

山崎信寿他『科学技術日本語案内－新訂版』慶應義塾大学出版会、2002

相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）、慶大理工学部、1998

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981

高木隆司『理科系の論文作法』丸善、1997

山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1988

Ⅲ 学部独自設置授業科目

1 文学部

科目名は、ゴシック(太字)部分です。() カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などには記載されない科目名)です。

科目名の後に〔セット履修科目〕と表記のある科目は、春・秋共履修してください。

基礎情報処理 (A) ~ (I)

2単位 春学期/秋学期
(A)、(B) **福田 浩章**
(C) **石井 拓**
(D) **丹野 貴行**
(E)、(I) **三根 慎二**
(F)、(H) **森山 剛**
(G) **岸田 和明**

〔授業科目の内容〕

コンピュータや各種アプリケーションの使い方を学びながら、情報を処理する際に必要な「考え方」やネットワークを介したコミュニケーションを行う際に必要な「倫理」について解説します。コンピュータそのもののしくみを学ぶことよりは、コンピュータを利用して情報を扱う基礎知識を身につけ、大学での活動や今後の社会生活に役立たせることを目的としています。

書物の世界 I

〔西洋書物史概観〕

2単位 春学期

高宮 利行

〔授業科目の内容〕

IT時代に突入して以来、アナログ情報として代表的な書物の世界を新たに見直す動きが国際的に出てきました。電車に乗れば、携帯や電子ブックを使う人の隣には、依然として文庫本を読む人が座っています。そこで、今回は西洋における書物の誕生から最近のデジタル書物学に至るまで、書物史の流れを、できるだけ多くの現物や画像を通じて具体的に解説します。具体的には、書写材料、音読と黙読、写本と印刷本、書物収集、書物流通、製本、蔵書と図書館などを多角的に紹介します。

〔教科書〕

特になし、必要に応じてプリントを配布します

〔参考書〕

高宮利行『西洋書物学事始め』(青土社、1992)、高宮利行・原田範行『図説本と人の歴史事典』(柏書房、1997)

書物の世界 II

2単位 秋学期

石川 透

〔授業科目の内容〕

さまざまな書物について、その専門家が講義し、考察する。

〔参考書〕

授業時に指示する。

人類学

〔自然界の中のヒト：進化と変異〕

4単位 通年

高山 博

〔授業科目の内容〕

ヒト(*Homo sapiens*)の定義を知っていますか? 人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト(地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位)が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

〔教科書〕

指定しません。

〔参考書〕

講義内容に近いものとしては、埴原和郎「人類の起源」(講談社)、ルーウィン,R.(保志訳)「ここまでわかった人類の起源と進化」(てらぺいあ)、馬場・高山編著「人類の起源」(集英社)

数学 I / 数学 (春学期)

2単位 春学期

4単位 通年

丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

実は数学がないという理由で文科系を選択した人も多いと聞く。パズルを解くのは楽しいのになぜ数学は面白く感じないのか?

もしかすると数学を無味乾燥なものと感じてしまった人たちに、数学の実用性ととも、数学的論理とそこに内在する美意識を伝えることがこの講義の主目的である。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料を配付する。

〔参考書〕

講義の内容に即して知らせるが、たとえば、小川洋子著『博士の愛した数式』(新潮社)など。

数学Ⅱ／数学（秋学期）

「線形性と確率論」

2単位 秋学期

4単位 通年

丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

数学は日常生活に深くかかわっている。その中でも特に守備範囲の広い概念として線形性と呼ばれる性質がある。行列を中心に線形性の初歩的事項からはじめ、応用としての確率を学習する。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料を配付する。

〔参考書〕

講義内で知らせる。

朝鮮文化・文学の歴史Ⅰ**朝鮮文化・文学の歴史（春学期）**

「想像力、そして交流と比較」

2単位 春学期

4単位 通年

李 泰文

〔授業科目の内容〕

朝鮮文学の歴史を理解する前に、文学とのかかわりのなかで文化の諸相を取り上げます。人類の想像力と文学、そして技術と発展と文学など様々な観点から文学を照明してみます。建国神話から朝鮮王朝の文学、そして近代文学まで文学の流れとその特徴についても概論していきます。西欧列強との葛藤、新興日本帝国による侵略といった難しい状況下、人びとの文化的な営みはどのようなものだったのか、知識人の模索した近代はどのような作品を生み出したのかを検討してみます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布

〔参考書〕

講義時にプリントで提示。

『朝鮮を知る事典』、平凡社

『知れば知るほど理解が深まる「日本人と韓国人」なるほど事典』、PHP研究所

朝鮮文化・文学の歴史Ⅱ**朝鮮文化・文学の歴史（秋学期）**

2単位 秋学期

4単位 通年

野村 伸一

〔授業科目の内容〕

朝鮮民族の文化と文学を歴史のなかで考える授業です。前期、後期は独立したものですが、ともに、問題の所在を知らせるための講義をやり、そのあと受講生との質疑をします。一方的な講義ではありません。

後期は朝鮮半島の伝統文化について幅広くみていきます。

今学期は韓国内だけでなく、国外でも話題となったド

ラマ『大長今（チャングムの誓い）』（2003-2004年、54回）、『朱蒙（ジュモン）』（2006-2007年、61回）、『海神（ヘシン）』（2004年-2005年、51回）を素材にします。受講生はこの順番にビデオなどでみておくと参考になります。

授業ではドラマを論じるのではなく、そこにみられる文化、時代状況を取り上げます。それによって、朝鮮半島やその周辺の島嶼に生きた人びとの日常生活や人生行事、宗教観に触れることができるでしょう。

ドラマのなかの文化要素は必ずしも史実とは一致しませんが、その点は授業で指摘します。

限られた時間なので、受講生の毎回の感想文に答えるかたちで、焦点をしばっていきたいとおもいます。

〔教科書〕

参考のプリントを配布します。

〔参考書〕

講義時にプリントで提示。そのほか、

ウェブサイト<http://web.hc.keio.ac.jp/~shnomura/> および <http://www.flet.keio.ac.jp/~shnomura/>（慶應義塾大学アジア基層文化研究会）に掲載されたものを参照してください（随時更新します）。

人文科学特論Ⅰ（哲学）／人文科学特論Ⅱ（哲学）

「西洋古代・中世哲学史」

2単位 春学期／秋学期

中川 純男

〔授業科目の内容〕

西洋古代・中世の哲学書のなかから、読み易いものを選んで皆で考えながら読む。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に指示する。

人文科学特論Ⅰ（哲学）／人文科学特論Ⅱ（哲学）

「池田晶子追悼」

2単位 春学期／秋学期

堀江 聡

〔授業科目の内容〕

「14歳からの哲学」で中高生に、「41歳からの哲学」で熟年にも読者層をもつ池田晶子は2007年急逝した。池田晶子は、慶應義塾の哲学専攻出身であり、私も彼女と同じ教室で講義を聴き、似たような山岳部に属していたこともあって、思い出に残る会話を交わした経験をもつ。その池田晶子への追悼の意をこめて、彼女の代表作をみなさんと味読したいと思います。

〔教科書〕

春学期と秋学期は別の著作を読みます。目下、未定ですが、学期初めまでに決定しておきますので、ガイダンスの後、正式履修が決まった段階で購入していただくこととなります。

〔参考書〕

池田晶子は数多くの著作を遺していますので、各自興味に合わせて読み進めるとよいでしょう。

人文科学特論Ⅰ（倫理学）

「古典を読む」

2単位 春学期

谷 寿美

〔授業科目の内容〕

東西の文化圏で読み継がれてきた古典の名著の講読を通して、様々な文化に根づく精神性、宗教性に触れます。

〔教科書〕

プリント、あるいは文庫本で。

人文科学特論Ⅱ（倫理学）

「古典を読む」

2単位 秋学期

谷 寿美

〔授業科目の内容〕

東西の文化圏で読み継がれてきた古典の名著の講読を通して、様々な文化に根づく精神性、宗教性に触れます。

〔教科書〕

プリント、あるいは文庫本で。

人文科学特論Ⅰ（倫理学古典読書会）

「倫理学の古典を読む」

2単位 春学期

山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学の古典中の古典である、アリストテレス『ニコマコス倫理学』を邦訳で購読します。

〔教科書〕

アリストテレス『ニコマコス倫理学』（上下、高田三郎訳）、岩波文庫

〔参考書〕

アームソン『アリストテレス倫理学入門』（雨宮健訳）、岩波現代文庫

人文科学特論Ⅱ（倫理学古典読書会）

「倫理学の古典を読む」

2単位 秋学期

山内 志朗

〔授業科目の内容〕

倫理学の古典中の古典である、アリストテレス『ニコマコス倫理学』を邦訳で購読・味読・堪能します。

〔教科書〕

アリストテレス『ニコマコス倫理学』（上下、高田三郎訳）、岩波文庫

〔参考書〕

アームソン『アリストテレス倫理学入門』（雨宮健訳）、岩波現代文庫

人文科学特論Ⅰ（音楽）

「作曲家研究入門」

2単位 春学期

西川 尚生

〔授業科目の内容〕

ある特定の作曲家について調査・研究しようとする際、どのようなアプローチの仕方があるのかを学ぶ。

今年度は古典派の代表的な作曲家W.A.モーツァルト（1756-91）を題材として、伝記研究と作品研究のさまざまな方法論、作曲家研究の抱える諸問題について講義する。また履修者には課題を与え、授業内に発表してもらう予定である。

〔参考書〕

西川尚生『（作曲家 人と作品）モーツァルト』音楽之友社、2005年。

その他については、授業中に指示する。

人文科学特論Ⅱ（音楽）

「西洋音楽史の名曲」

2単位 秋学期

西川 尚生

〔授業科目の内容〕

J. S. バッハ（1685-1750）以降の西洋音楽史の代表作を鑑賞し、作品の特徴、成立の背景等について考察する。履修者には課題を与え、授業内に発表してもらう予定である。

〔参考書〕

授業内で指示する。

人文科学特論Ⅰ（美術）

「日本美術の魅力を探る」

2単位 春学期

内藤 正人

〔授業科目の内容〕

日本の歴史を振り返ってみたとき、各時代にはその時代に生きた人々の手で、数多くの優れた美術品が作りだされている。

ときに文化圏の異なる遠い西欧諸国の人々をも魅了する、日本で生まれたかたちあるもの＝日本美術の魅力や特質とはなにか、この非常に大きな問題について考えていきたい。

本講義は、日本美術の歴史を学ぶ初学の方々のための、基礎講座である。

〔教科書〕

毎回授業時に配布、あるいは指示する。

〔参考書〕

毎回授業時に指示する。

人文科学特論Ⅱ（美術）

「西洋美術史入門」

2単位 秋学期

金山 弘昌

〔授業科目の内容〕

レオナルドの《モナリザ》をはじめ、西洋美術の傑作は、今日なお人々を魅了して止みません。しかしその作品がなぜ優れているのか、あるいはまたどのようなメッセージを伝えているのかということになると、詳しくは知らないという人が多いでしょう。本講座では、かたちの特徴から意味内容にいたるまで、西洋美術の作品をよ

り深く理解するために必要な基本を学んでいきます。

本講義は、西洋美術の歴史に興味のある初学者のための、基礎講座です。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業中に指示します。

人文科学特論（日本史学）

「外国人から見た明治初期日本」

4単位 通年
井奥 成彦

〔授業科目の内容〕

明治初期に来日して東大で考古学や動物学を教え、大森貝塚の発見者としても知られるエドワード・シルベスター・モースは、決して長くはなかった日本滞在期間中に、実に詳細な滞在記を記している。その中の一つ『日本その日その日』（原題 *Japan day by day*）は、西洋文化の波に洗われる直前の日本とそこで生活する人々の姿を、愛情の目を持ちつつも客観的に、正確に描いており、当時の日本人の生活を知り、欧米と比較し日本を相対化する上でも恰好の史料である。授業ではこの書（日本語訳）を、毎回発表者を決めて読んでいき、お互い意見・感想を述べ合う。また適宜原著（英文）との対比も行う。

また関連する施設や遺跡などへの見学も考えている。

〔教科書〕

E.S.モース著・石川欣一訳『日本その日その日』1～3（平凡社東洋文庫、2,300円×2+2,200円、ISBN4-582-80171-4）

〔参考書〕

適宜紹介します。

人文科学特論（東洋史）

「中東・イスラーム世界史入門」

4単位 通年
長谷部 史彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、中東・イスラーム世界を歴史的に理解するうえで必要な基礎的な知識の習得を目的とします。固定観念に囚われた断片的な情報が氾濫するなか、どうしても一面的で浅薄なイメージを抱きがちな「中東」や「イスラーム」ですが、その歴史や社会のもつ多様な側面に目を向けることによって柔軟な思考の構えを持つようになってもらいたい、とエジプトでの一年間の研究生活を終えたばかりの担当者は思っています。

春学期は、担当者による講義を中心に授業を進めます。参加する諸君にほとんど予備知識がないことを想定しながら、中東地域の政治、法、文化、社会において圧倒的な重要性を持つイスラームという一神教は如何なる宗教なのかというあたりから語り始め、各回重要なテーマを取り上げてわかりやすく説明します。毎回ではありませんが、参加者に講義を聴いて考えたこと、疑問に思ったことなどを短いレポートとして書いてもらい、それに応答するなどして、可能な限り対話的に進めて行きたいと

考えています。

秋学期には、春学期の講義内容を踏まえつつ研究テーマを設定し、グループでの発表も行ない、自由な意見交換を試みるつもりです。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを適宜配布します。

〔参考書〕

佐藤次高編『新版世界各国史8 西アジア史1(アラブ)』山川出版社、2002年

人文科学特論（西洋史）

「歴史の「作法」を学び、本を読みまくる」 4単位 通年
神崎 忠昭

〔授業科目の内容〕

「歴史」といえば、受験勉強を経験してきた皆さんにとっては、「暗記」、あるいは「高校教科書」という印象が強いかもしれません。しかし、歴史学とは必ずしも暗記ではなく、不動の答えが事前に決まっているわけでもありません。資料を探し、読み、文脈を把握し、評価し、自らの結論を下すという過程の上に成立するものです。この特論の目的は、歴史学を学ぶとはどのようなことか、「本を読む」とはどのようなことであるかについて考え、広い意味での「歴史」を考えるきっかけを与えてくれるような本を読みまくることです。ただ気楽に読んでください。「乱読」でかまいません。それが地平線を広げてくれると思うからです。

〔教科書〕

春学期にはE.H.カー『歴史とは何か』（岩波新書1962）、澤田昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫 1977）、ジョン・H・アーノルド『歴史』（岩波書店 2003）、秋学期には10冊前後の新書あるいは文庫を読みます。

人文科学特論（西洋史）

「大学で学ぶ歴史学」

4単位 通年
藤田 苑子

〔授業科目の内容〕

高校までに勉強した人名や事件を中心とした歴史とはちがう「大学で学ぶ歴史学」を、共通のテキストを読みながら考えてみましょう。また、本の読み方にもさまざまなスキルがあります。「細かくこだわって読む」ことも重要ですし、「段落や章ごとにまとめておおまかに読む」ことも必要です。参考文献の探し方、レジュメの書き方、発表の仕方など、大学生にとって必要な「知的技術」を身につけることも目標のひとつにしましょう。

〔教科書〕

二宮宏之『マルク・ブロックを読む』岩波書店

〔参考書〕

そのつど指示します。

人文科学特論 (民族学考古学)

4単位 通年

阿部 祥人	安藤 広道
佐藤 孝雄	杉本 智俊
山口 徹	

〔授業科目の内容〕

この科目は、考古学及び民族学がどのような関心を持ち、成果を上げてきたのかを簡潔に紹介することを目的としている。文学部史学科民族学考古学専攻の教員5名がそれぞれの専門領域について基礎的な講義を行うので、最終的にはこれらの研究の全体像が大づかみで理解できるようになると期待される。担当は、それぞれ阿部が日本考古学(旧石器時代)、安藤が日本考古学(日吉地域の遺跡)、佐藤が環境考古学、杉本がオリエント考古学、山口がオセアニア考古学・民族学である。また、各担当が各地で行なう、各種のフィールドワークにも参加できる。

〔教科書〕

特に使用しない。

〔参考書〕

講義中に随時指示する。

人文科学特論 (国文学)

「日本語・日本文芸の諸相」

4単位 通年

岩松研吉郎	石川 透
川村 晃生	佐藤 道生
藤原 茂樹	松村 友視
屋名池 誠	

〔授業科目の内容〕

国文学専攻の専任教員によるオムニバス形式の講義。日本の上代(古代前期)から近・現代にいたる諸ジャンルの、言語・文学・芸能等の諸テキストについて、図像・映像をあわせつつ言語表現を軸として紹介・考察する。国語学・日本語学的、また文献学・書物学的な面からのアプローチがある一方、柳田国男・折口信夫の学統の民俗学的研究法による芸能史・古代学、平安朝漢文を中心とする日中比較文学、中世社会と言語文化の論、メディア論・大衆文化論ともかかわる明治～現代の作家・作品研究、文学と環境・人権・平和の問題——と、その切口・間口は多様かつひろい。

〔教科書〕

なし。担当者ごとに、写本・板本・活字本の影印・複写等の資料を配布。原資料・映像資料等も適宜提示する。

〔参考書〕

担当者ごとに、それぞれの初回および講義内に紹介。

人文科学特論 I (国文学)

「古代日本に於ける漢籍受容」

2単位 春学期

佐藤 道生**〔授業科目の内容〕**

日本は古来中国文化の影響を強く受けながら自国の文化を形成した。しかし、中国から将来された文物を全て無批判に受け入れたわけではなく、そこには自ずと取捨選択の意志が働いた。本授業では、平安・鎌倉時代にもたらされた漢籍をいくつか取り上げ、上記の視点からその受容の諸相を考察する。

人文科学特論 II (国文学)

「絵入り御伽草子を読む」

2単位 秋学期

石川 透**〔授業科目の内容〕**

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立した短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を鑑賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

人文科学特論 I (中国文学) /**人文科学特論 II** (中国文学)

「オムニバス「中国学への誘い」…慶應のチャイニーズ・スタディーズ」

2単位 春学期/秋学期

(春) 山下 輝彦	杉野 元子
(秋) 関根 謙	渋谷誉一郎 吉永 壮介

〔授業科目の内容〕

文学部中文専攻の専任スタッフがそれぞれの専門分野から、「中国学=チャイニーズ・スタディーズ」の入門的な紹介を行います。春学期の担当者は6回の授業で、また秋学期の担当者は4回の授業で完結する内容を用意し、古典文学、現代文学、中国語学など多彩なジャンルから、現在もっとも興味深い話をわかりやすく語ります。教材は担当者ごとに準備しますが、テキストのコピーのほかに、映画なども紹介する予定です。

〔教科書〕

テキストなどは各担当者が用意します。

〔参考書〕

授業時に紹介します。

人文科学特論 I (英米文学) /**人文科学特論 II** (英米文学)

「英語英米文学と『旅』」

2単位 春学期/秋学期

河内 恵子	松田 隆美
高橋 勇	

〔授業科目の内容〕

みなさんはイギリスやアメリカの文学・文化にどのようなイメージをお持ちでしょうか。映像化されたものだけでも、イギリス文学なら『プライドと偏見』『オリバー・ツイスト』『眺めのいい部屋』、アメリカ文学なら『風と共に去りぬ』『華麗なるギャツビー』『スカーレット・レター』など、さまざまな作品が思い浮かぶことでしょう。文学や映画のほか、音楽や芸術などの文化的側面でも、イギリスやアメリカは常に視野に入ってくる国

ですし、また「英語」という言葉は、わたしたちがもっとも親しんできた外国語の一つでもあります。

この講座では、英語学・英米文学に関連した様々な話題について、オムニバス形式で授業をすすめます。今年度は「英語英米文学と『旅』」を全体のテーマとして、「旅」という単語によって示される様々な概念が、文学やことばとどのような関係を取り結ぶのかをさぐる予定です。空間内あるいは時間上の単なる移動から、目的のある探索や行き当たりばったりの放浪など、いろいろなものを意味する「旅」はまた、空想から記録にいたるあらゆる分野で取り扱われる現象です。旅が人にどういった影響を与え、また反対にどのような意味を与えられてきたか、英語英米文学を中心として多角的に検討していきます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

各講義で指示され、期末試験の対象となります。

人文学特論Ⅰ（独文学）

「ファンタジー文学とドイツの精神Ⅰ」 2単位 春学期
香田 芳樹

〔授業科目の内容〕

読書の最大の楽しみは空想の世界に遊ぶことです。殺伐とした世界を緑の大地に変えたり、悪人を善人に変えたりするのは文学にだけできる離れ技です。これとは別に読書にはもう一つの楽しみがあります。自分とは誰か、人生とは何かを知ることです。ドイツの文学はこうしたファンタジー的側面と哲学的側面の両方を兼ね備えています。この授業では19世紀から現代にかけて書かれたドイツの文学作品取り上げて、それらが描く幻想的世界を楽しみながら、同時にそこにどのような哲学的、心理学的な問題提起と回答があるのかを明らかにしていきます。取り上げる作品はファンタジーにあふれた夢のあるものばかりですが、同時に人間性への深い洞察を有しています。あなたはそれにどれだけ答えられるでしょうか？授業ではたくさんの文学作品を読み、映画を見ながら、みなさんと議論していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

トドロフ『幻想文学論序説』、ホフマン『砂男』、シャミッソー『影をなくした男』、ゲーテ『ファウスト』、グリム『グリム童話』、エンデ『モモ』、ノヴァーリス『青い花』、カフカ『アメリカ』、ティーク『ルーネンベルク』、プロイスラー『クラバート』、アイヒェンドルフ『大理石像』、マイリンク『ゴーレム』、シュトルム『みずうみ』、ヘッセ『デーミアン』

人文学特論Ⅱ（独文学）

「ファンタジー文学とドイツの精神Ⅱ」 2単位 秋学期
香田 芳樹

〔授業科目の内容〕

読書の最大の楽しみは空想の世界に遊ぶことです。殺伐とした世界を緑の大地に変えたり、悪人を善人に変えたりするのは文学にだけできる離れ技です。これとは別に読書にはもう一つの楽しみがあります。自分とは誰か、人生とは何かを知ることです。ドイツの文学はこうしたファンタジー的側面と哲学的側面の両方を兼ね備えています。この授業では19世紀から現代にかけて書かれたドイツの文学作品取り上げて、それらが描く幻想的世界を楽しみながら、同時にそこにどのような哲学的、心理学的な問題提起と回答があるのかを明らかにしていきます。取り上げる作品はファンタジーにあふれた夢のあるものばかりですが、同時に人間性への深い洞察を有しています。あなたはそれにどれだけ答えられるでしょうか？授業ではたくさんの文学作品を読み、映画を見ながら、みなさんと議論していきます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

トドロフ『幻想文学論序説』、ホフマン『砂男』、シャミッソー『影をなくした男』、ゲーテ『ファウスト』、グリム『グリム童話』、エンデ『モモ』、ノヴァーリス『青い花』、カフカ『失踪者』、ティーク『ルーネンベルク』、プロイスラー『クラバート』、アイヒェンドルフ『大理石像』、マイリンク『ゴーレム』、シュトルム『みずうみ』、ヘッセ『デーミアン』

人文学特論Ⅰ（仏文学）

「フランスの記憶」 2単位 春学期
峯村 傑

〔授業科目の内容〕

フランスというと何が思い浮かぶでしょう。ジャンヌ・ダルク、マリー・アントワネット、ナポレオンといったその歴史を彩った人物でしょうか。エッフェル塔、オペラ座、ノートルダム大聖堂といった今では観光名所の建造物でしょうか。あるいはシャネルや『アメリー』やフォアグラといったさまざまな文化の産物でしょうか。しかし、その人や場や物について、わたしたちは一体何を知っているのでしょうか。実際、それらの表層的なイメージの下には、二十一世紀の日本に生きるわたしたちには容易に感得しえない、フランス人、フランス国の記憶が厚く堆積しているのです。パリが花の都であり、フランスが花の国だとするならば、その花を開花させているのは、滋養豊かな、けれどそれなりに臭気も放つ、何世紀にもわたる記憶の腐植土にほかなりません。本講義では、フランスを象徴するイメージのなかに眠る重層的な記憶を呼び起こし、わたしたちが従来抱えているその月並みなイメージを更新することを目指します。

講義では、文献資料のみではなく、視覚資料（絵画、映画）も活用していきます。

また、受講者にも、自分で選択したフランスのイメージや象徴について調査、発表してもらいます。

〔教科書〕

プリント（すべて和文）を配布します。

〔参考書〕

田村毅・塩川徹也編『フランス文学史』（東京大学出版会、1995年）

ピエール・ノラ編『記憶の場』全3巻（谷川稔監訳、岩波書店、2002-2003年）

東京都立大学フランス文学研究室編『フランスを知る新〈フランス〉学入門』（法政大学出版局、2003年）

人文科学特論Ⅱ（仏文学）

「フランス文学の記憶」

2単位 秋学期

岑村 傑

〔授業科目の内容〕

人文科学特論Ⅰ（仏文学）で扱うようなフランスの記憶が刻み込まれている文物を考えると、文学を無視することはできないでしょう。文学こそ、フランスの記憶の精髓です。本講義では、古典といってよい文学作品を取り上げて、そのなかの細部に潜む風俗、社会、思想、歴史にかかわる問題を明らかにし、さらにそのようにして得た新たな視座から再び作品の全体像を捕捉していきます。そのようにして学ぶのは、作品をすらすらと読むことではなく、何かにつまずき、引っかかり、それを契機に調べ、考えていくという、いわば迂遠な読みの方法です。

講義内容を踏まえたうえで、受講者には、独自の視点による作品読解を発表してもらいます。

また、フランス文学専攻の専任教員に何回か講義をしていただくことも予定しています。

〔教科書〕

プリント（すべて和文）を配布します。

〔参考書〕

田村毅・塩川徹也編『フランス文学史』（東京大学出版会、1995年）

ピエール・ノラ編『記憶の場』全3巻（谷川稔監訳、岩波書店、2002-2003年）

東京都立大学フランス文学研究室編『フランスを知る新〈フランス〉学入門』（法政大学出版局、2003年）

社会科学特論Ⅰ（図書館・情報学）

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」

2単位 春学期

原田 隆史

〔授業科目の内容〕

図書館・情報学では、紙だけではなく最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには情報メディアの収集・提供・保存のための社会的な制度である図書館をはじめ

とした情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことならについて、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

春学期に設置されている社会科学特論Ⅰ（図書館・情報学）では、図書館のしくみやはたらきを中心にいくつかのトピックを選んで授業を行います。現代の図書館が、図書を保存し貸し出しを行うというだけではない多くの役割を果たしている状況や、映画に見られる図書館の取り扱われ方などを取り上げる予定です。

〔教科書〕

特に指定はしません。必要に応じて資料プリントを配布します。

社会科学特論Ⅱ（図書館・情報学）

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」

2単位 秋学期

原田 隆史

〔授業科目の内容〕

図書館・情報学では、紙だけではなく最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには情報メディアの収集・提供・保存のための社会的な制度である図書館をはじめとした情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことならについて、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

秋学期に設置されている社会科学特論Ⅱ（図書館・情報学）では、インターネット上のサーチエンジンやデータベースの利用などを題材に情報へのアクセスについて考えます。また、効果的な検索を可能にするためには、どのような仕組みが使われているのかについても検討して行く予定です。その際に、PCを使って実際に検索も行う予定です。

〔教科書〕

特に指定はしません。必要に応じて資料プリントを配布します。

社会科学特論（社会学）

「現代社会を読み解く」

4単位 通年

浜 日出夫

〔授業科目の内容〕

「格差」「教育」「犯罪」「愛国心」「ナショナリズム」「グローバル化」などをキーワードとして現代社会を多角的に読み解く。

〔教科書〕

新書を中心に20冊程度。

〔参考書〕

社会学全般に関しては、長谷川公一・浜日出夫他『社会学』有斐閣

社会科学特論Ⅰ（教育学）

「大学とは何か」

2単位 春学期

松浦 良充

〔授業科目の内容〕

教育研究（教育学）の方法と対象は多様です。この授業では、そのなかから特に焦点を絞って、大学＝高等教育の問題をテーマに据えます。みなさんが相当の努力と犠牲（？）とコストを要したうえで入学し、現在毎日あたりまえのように、学び、遊び（？）、生きている大学とは、いったい何をするとおろかなのでしょうか。社会制度として、大学はどのような役割を果しているのでしょうか、また担うべきなのでしょうか。現在、日本の大学＝高等教育は歴史的な改革期にあると言われてます。大学＝高等教育改革はまた、世界的な規模でも進行しています。こうしたことから、いま、あらためて「大学」とは何か、を問い直してみましよう。

具体的な進め方としては、最初、共通文献をもとにした発表およびディスカッションを行います。現在の日本の大学とその改革についての基礎的な知識と認識を共有することが目的です。その後、小グループに分かれて、各自大学研究のテーマを設定して、プロジェクト研究を企画・実施する予定です。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業時に適宜紹介します。

社会科学特論Ⅱ（教育学）

2単位 秋学期

山梨 あや

〔授業科目の内容〕

本講義ではこれまで当たり前を受けてきた「教育」について客観的に捉え直し、自分自身の教育に対する「常識」について揺さぶりをかけることを目的とします。文献講読／ディスカッション／発表などを通して教育について考えてゆきたいと思えます。

〔教科書〕

特に指定しません。（文献リストは講義の過程で履修者に作成してもらうため）

社会科学特論Ⅰ（人間科学）

「人間科学への理解を深める」

2単位 春学期

三井 宏隆

〔授業科目の内容〕

「科学・科学方法論・科学者」、「宗教・スピリチュアリティ」、「スポーツ」、「メディア」、「イデオロギー」などをキーワードにして、現代社会にまつわるさまざまな問題を読み解く学問的センスを磨く。

〔教科書〕

新書を中心に10冊程度を予定。ガイダンスのときにリ

ストを提示。

社会科学特論Ⅱ（人間科学）

2単位 秋学期

織田 輝哉

〔授業科目の内容〕

この授業では、社会学の基本的な考え方を学ぶことを大きな目標としますが、特に、「仮説」や「モデル」を作って社会現象を説明する、という視点を中心において進めていきます。また、教科書で取り上げられている社会学のさまざまな理論や興味深い社会現象を概観することで、社会学全般についての見通しを得ることもめざします。

〔教科書〕

小林淳一・木村邦博 『考える社会学』 ミネルヴァ書房 1991年 2,940円

自然科学特論Ⅰ（心理学）

「選択行動を分析する」

2単位 春学期

坂上 貴之

〔授業科目の内容〕

ヒトの選択行動の論文を中心に学習し、実際に実験をおこなって、その行動を分析してみる。

〔教科書〕

授業中に指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

自然科学特論Ⅱ（心理学）

「裁判・捜査に関する心理学的問題の実験的検討」

2単位 秋学期

伊東 裕司

〔授業科目の内容〕

裁判や事件捜査などの手続きにおいては、自白や目撃証言の信頼性をどのように評価するか、目撃者から信頼性の高い情報をできるだけ多く聞き出すにはどうすればよいか、裁判員が判断をする際にどのようにすれば適切な判断が可能になるのか、など、心理学的な問題が数多く存在する。本講義では、目撃者の記憶、裁判員の判断、嘘の検出、などの問題を取り上げ、問題の指摘、実験心理学的研究の成果を紹介するとともに、このような問題に対する科学的なアプローチの方法についての理解を深めることを目的とする。受講者の人数に応じて、グループワークなどの演習形式も取り入れる予定である。

〔参考書〕

伊東裕司・仲真紀子（編） 特集「司法における心理学的問題」, 心理学評論, 48(3), 2005.

その他、授業時間、webページを通して紹介します。

2 経済学部

●基礎教育科目

線形代数

2単位 春学期

池田 薫	笹平 裕史
立谷 洋平	田中 孝明
名古屋 創	西岡久美子
山口 祥司	

〔授業科目の内容〕

ベクトルや行列の演算、行列式、その応用として連立1次方程式の解法について学ぶ。これらの知識は多変数関数の解析においても使われるので確実に理解しておく必要がある。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修しようとしているタイプⅡの学生は必ず履修しておくこと。

〔教科書〕

「線形代数」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分

2単位 秋学期

相原 義弘	厚地 淳
池田 薫	小木曾啓示
鈴木 達夫	戸瀬 信之
名古屋 創	夏井 利恵
光 道隆	宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

2変数関数の偏微分、1, 2変数関数の積分について学ぶ。偏微分は経済学を理解するために必須であり、また積分は統計学で必要となる。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

再履修する学生で1変数の微分法をしっかりと修得していない場合には春学期の微分積分入門も履修してください。

〔教科書〕

「微分積分」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分入門

「微分積分への導入としての1変数微分学の基礎」

2単位 春学期

相原 義弘	厚地 淳
池田 薫	小木曾啓示
鈴木 達夫	戸瀬 信之
名古屋 創	夏井 利恵
光 道隆	宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

春学期の「微分積分入門」ではイプシロン-デルタ論法に基づく極限概念を導入し、そこから Rolle の定理や Taylor の定理など説明し、さらに、その応用にまで話が及ぶ。演習も織り交ぜながら講義をする予定であるが、講義時間以外にも各学生が自主的な演習を行うことが望ましい。

秋学期の「微分積分」では春学期の「微分積分入門」の知識を前提とし講義を行う。従って、春学期に基礎教育選択科目の「微分積分入門」を未履修のものは秋学期必修科目の「微分積分」の合格がきわめて難しくなる(実質的に不可能となる)ので、必ず春学期に「微分積分入門」を履修すること(クラス指定有)。

〔教科書〕

「微分積分」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

線形代数続論

2単位 秋学期

池田 薫	笹平 裕史
立谷 洋平	田中 孝明
名古屋 創	西岡久美子
山口 祥司	

〔授業科目の内容〕

線形代数に引き続きベクトルや行列について学ぶ。2年次の経済数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲはこの講義の内容を前提とする。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修しようとしている学生は必ず履修しておくこと。

〔教科書〕

「線形代数」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学概論Ⅰ

2単位 春学期

西岡久美子	光 道隆
-------	------

〔授業科目の内容〕

経済の成長や市場メカニズムなどの、経済の基本的な

事項を記述するのに、数学が用いられている。そのため、経済学を理解するのに、数学、特に微分積分の考え方が必要になってくる。数学概論Ⅰでは高校ではあまり数学を勉強してこなかった学生諸君を対象にして、マクロ、ミクロ経済学で必要になる数学を準備する。

数学概論Ⅰでは高校の復習をしながら1変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

各教員が指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学概論Ⅱ

2単位 秋学期

西岡久美子 光 道隆

〔授業科目の内容〕

数学概論Ⅰで扱った1変数の関数 $f(x)$ は変数 x の値が決まると1つの値 $f(x)$ が決まるような関数であった。

しかし、実際の現象では1つの要因によって決まるといことは珍しく、2つ以上の要因によって値が決まるといことが多い。そこで、数学概論Ⅱではマクロ、ミクロ経済学で必要になる多変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

各教員が指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

〔授業の計画〕(内容と順序は変更になる場合があります)

1. 2変数関数とそのグラフ
2. 偏導関数
3. 合成関数の微分、曲線の接線
4. 接平面、全微分、同次関数
5. 高次偏導関数、ヘッシアン
6. 極大、極小
7. 条件つき極値問題
8. ロルの定理、平均値の定理
9. テイラーの定理
10. テイラー展開

〔担当教員から履修者へのコメント〕

毎回、授業の後半の時間で、その日の授業内容を理解するための、演習を行います。演習をしてみて分からない所は遠慮なく質問をして、理解するようにしてください。

〔成績評価方法〕

学期末試験(定期試験期間内の試験)の結果による評価。

〔質問・相談〕

質問・相談は歓迎します。

世界経済の現状と問題

「やさしい世界経済論入門」

2単位 春学期

馬田 啓一

〔授業科目の内容〕

本講義では、最新かつ重要な世界経済の諸問題を平易に解説します。講義を通じて、世界経済の現実の展開に対する学生諸君の関心と理解を大いに高めたいと思います。このため、単なる基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる世界経済のトピックス、例えば、貿易摩擦、企業の海外投資、円レート、通貨危機、WTO交渉、地域統合、各国経済事情などをできるだけ講義のテーマに取り上げて、わかり易く解説していく方針です。

〔教科書〕

田中素香／馬田啓一編著『国際経済関係論』文眞堂、2007年、2,800円

なお、毎回、簡単なレジュメを一枚配布します。

〔参考書〕

青木健／馬田啓一編著『日米経済関係論』勁草書房、2006年、3,300円

馬田啓一／浦田秀次郎／木村福成編著『日本の新通商戦略』文眞堂、2005年、2,600円

馬田啓一／大木博巳編著『BRICs・ASEAN新興国のFTAと日本企業』ジェトロ、2005年、2,200円

青木健／馬田啓一編著『政策提言／日本の対アジア経済政策』日本評論社、2004年、2,800円

青木健／馬田啓一編著『日本の通商政策入門』東洋経済新報社、2002年、2,800円

青木健／馬田啓一編著『経済検証／グローバリゼーション』文眞堂、2001年、3,300円

世界経済の現状と問題

2単位 秋学期

竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

日本経済の現状と問題

2単位 春学期／秋学期

大村 達弥 藤田 康範

〔授業科目の内容〕

先進国と経済新興国との間にあって、日本経済は今日どのような状況に置かれているのであろうか。そのような問題意識に立ってみると、日本の経済成長や雇用事情に明るい未来はあるのか、少子高齢化時代において、財政や社会保証など長期的課題にどう取り組んでゆくのかなど、日本経済をみる視点は様々ある。このコースは、初めて経済学を学ぶ諸君に対し、必要な経済学的知識の裏付けを与えつつ、日本経済に関する幅広い問題意識と

アップトゥーデートな視点から、重要なトピックスを取上げて講義をしてゆく。

〔教科書〕

各担当者が最初の授業で指示する

〔参考書〕

各担当者が授業の進行に合わせて指示する。

〔授業の計画〕 (内容と順序は変更になる場合があります)

- 1 イントロダクション
 - ①日本経済の現状
 - ②戦後経済から今日までの歩み
 - ③日本の経済システム
- 2 経済の長期低迷から景気回復への過程
 - ①失われた10年はどのように来たか
 - ②経済再生への道
 - ③戦後最長の景気拡大
- 3 経済安定・経済成長と経済政策
- 4 金融
 - ①金融システム危機と金融改革
 - ②経済変動と金融政策
- 5 財政
 - ①小さな政府と財政構造改革
 - ②社会保障、地方財政、民営化・規制緩和

〔成績評価方法〕

概ね期末試験の成績をベースに、出席状況とレポートを加味して行うが、具体的には各担当者が最初の授業で説明する。

〔質問・相談〕

各担当者の方針による。

情報処理履修上の注意事項

履修にあたっての学則上の制約などについて

1. 卒業するためには「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」のいずれか1科目2単位を履修し、合格しなければなりません。
2. ただ、これは一科目のみしか履修できないことを意味するわけではなく、複数の情報処理科目を履修することができます。
3. また違うサブタイトルのものであれば同一名称の科目であっても履修することが可能です。たとえば同じ「情報処理Ⅱ」であってもサブタイトルの違う「C言語プログラミングⅠ」と「WWWによる情報発信とサービス提供Ⅰ」の両方を履修できます。(もちろん履修単位上限の範囲を超えて履修はできません。)
4. ただし同一名称の情報処理科目を複数履修する場合、2科目めからは自由科目として履修します。進級や卒業要件として算入される単位数には制約がありますので、注意してください。

進級単位

第2・3学年に設定されている**基礎教育科目の進級条件**には、「情報処理Ⅰ」2単位、「情報処理Ⅱ」2単位の合計4単位までが含まれます。

卒業要件

- a. 違うサブタイトルの同一科目（「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」「情報処理Ⅲ」）を複数履修した場合は、2科目めからは自由科目としての履修となり、卒業要件には含まれません。
- b. 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」の片方だけを履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目として卒業要件に認定されます。
- c. 「情報処理Ⅰ」「情報処理Ⅱ」の両方を履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目に、残りの2単位分は卒業単位認定科目として認定されます。
- d. 「情報処理Ⅲ」は履修し合格すると1科目2単位分が基礎教育科目の選択科目として卒業単位認定科目に認定されます。

どのような科目を履修すればよいか

経済学部において「情報処理」は基礎教育科目として位置づけられています。今後、諸君が経済学部で必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的としています。もちろん必要最低限の知識を修得するだけでなく、さらに高度な知識を得られるような科目も用意されています。

諸君は、自らの興味と必要を満たすためにどの科目を受講すべきかを考えて、履修科目を決めましょう。

ただし、科目によっては、ある程度の知識を前提として必要とするものがあります。何もない状態で教室に来てすべてがわかるほど学問というものは甘いものではありません。それは段階を追って必要な科目を履修することによって（もしくは自分で知識を得ることによって）得られるものです。たとえばある科目を履修したいと思ったならば、その科目を履修するために必要な知識は何かを見極め、それを得るために必要な科目を履修したのちに自分がターゲットとする科目を履修する、という**履修プラン**をたてましょう。

各科目を履修するために必要な知識については、各科目の講義要綱に記載されています。また科目によっては、はっきりとある科目の履修を前提としている場合もあります。これらについても講義要綱に記載されています。まず、講義要綱を熟読することが大事です。

過去、時間割の「選択必修科目」という項目だけを見て、わけもわからず高度な内容の講義の教室に学生が多数殺到するという情けない状況が見られました。**自分のレベルはどの程度なのか、そして、自分がどういった知識を身につけたいのか、を把握し、各科目でどのようなことをやっているのかを講義要綱で確認してから、科目を選択しましょう。**

次に前提とする知識ですが、どの科目をあらかじめ履修すべきかは各科目の講義要綱に記されています。また、必ずしも前提条件というわけではありませんが、関連する知識を提供する科目であるため、履修しておく、別の科目の理解が容易になる、という科目もあります。これらをまとめておきます。

科目名	前提となる科目	関連する知識を提供する科目
情報処理Ⅱ (WWWによる情報発信とサービス提供Ⅰ)		情報処理Ⅰ (UNIX入門)
情報処理Ⅲ (WWWによる情報発信とサービス提供Ⅱ)	情報処理Ⅱ (WWWによる情報発信とサービス提供Ⅰ)	情報処理Ⅰ (UNIX入門) 情報処理Ⅱ (C言語プログラミングⅠ) 情報処理Ⅱ (fortran言語による統計データ処理Ⅰ)
情報処理Ⅱ (C言語プログラミングⅠ)		情報処理Ⅰ (UNIX入門)
情報処理Ⅲ (C言語プログラミングⅡ)	情報処理Ⅱ (C言語プログラミングⅠ)	
情報処理Ⅱ (fortran言語による統計データ処理Ⅰ)	統計学Ⅰ (並行して履修すること)	
情報処理Ⅲ (fortran言語による統計データ処理Ⅱ)	情報処理Ⅱ (fortran言語による統計データ処理Ⅰ) 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ (並行して履修すること)	
情報処理Ⅱ (Excelによる統計データ処理)	情報処理Ⅰ (Windows入門) (もしくはそれ相当の知識) 統計学Ⅰ／Ⅱ (並行して履修すること)	

以上の表と各講義の講義要綱をよく読んで、情報処理科目の履修プランをたてた上で、今年度の履修科目を決めましょう。

履修制限について

情報処理の各科目は講義とともにPCを使った演習を伴うため、配当された教室の定員が履修者数の上限となります。したがって、履修希望者が教室の定員を超えた場合、履修制限を実施することになります。

クラス指定のある「情報処理Ⅰ (Windows入門)」

1. 情報処理Ⅰ (Windows入門) は、春学期・火曜3時限の講義を除き、クラス指定が設けられています。諸君は指定されたクラスのコマを履修してください。クラス指定のない春学期・火曜3時限の「情報処理Ⅰ (Windows入門)」を履修することもできます。この場合は以下を参考にしてください。

クラス指定のない「情報処理Ⅰ (Windows入門)」、「情報処理Ⅰ (UNIX入門)」、情報処理Ⅱ、情報処理Ⅲ

1. クラス指定のない科目 (春学期・火曜3時限の情報処理Ⅰ (Windows入門)、情報処理Ⅰ (UNIX入門)、情報処理Ⅱ、情報処理Ⅲ) で履修希望者が定員を超えた場合には**事前登録に基づいた履修制限**を行います。
2. 事前登録は、各科目の第1回目の講義 (科目ガイダンス週間中) の際に行いますので、履修希望者は必ず出席するようにしてください。
3. 履修制限を行う場合、この事前登録を行ったものを優先的に扱うことになります。(ただし事前登録者数が教室定員を超えてしまった場合には、事前登録者の中から抽籤を行うことになりますので、事前登録者が必ず履修できるわけではないことをご承知おきください。)

情報処理 I (Windows入門)

2単位 春学期／秋学期

石川浩一郎	岡 誠
加藤 良信	神林 靖
久野 禎子	中西はるみ
山地 秀美	他

*クラス指定あり

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して（極端に言えば）全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならないことは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理 I」は、windows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理（作成・編集・加工など）・データ処理（計算・グラフの作成など）・情報の受発信（Eメール・WWWなど）の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

〔教科書〕

最初の講義で指示する。

〔参考書〕

最初の講義で指示する。

情報処理 I (Windows入門) (火3) 2単位 春学期

赤林 由雄

*クラス指定なし

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して（極端に言えば）全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならないことは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理 I」は、高校で「情報」科目を履修した程度の知識がある者を対象として、コンピュータを使った情報処理の第一歩、すなわちWindows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理（作成・編集・加工など）・データ処理（計算・グラフの作成など）・情報の受発信（Eメール・WWWなど）の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

と、ここまで読んだ範囲では、この講義が他の情報処理 I (Windows入門) とほとんど変わらないように思えるだろう。しかし、この講義では、他の「情報処理 I (Windows入門)」とは若干教え方が違うのである。

私の授業の目標、それは、「短期間でバリバリ使えるようになる」ことである。もちろん他の授業でも「使える」ようになることを目指すことは言うまでもない。しかし本当に使えるようになるのは実はそう容易なことではない。この講義が行われるのはあくまで大学である。街のいわゆる「パソコンスクール」のようにインストラクターがマンツーマンについて手取り足取り教えたりは

しない。半期のたった12~13回しかない講義で諸君はさまざまなことを修得しなければならないのである。もちろんソフトのすべての機能について講義の時間内に触れるわけにはいかないのだ。

そのような制約の下で「使える」ようになるために、この授業ではどうするのか。もちろん授業中には概略を説明するだけである。あとは各自で参考書を読みながら自分で考え、悩み、苦しみながら大量の演習を授業時間外にこなしてもらうことになる。また、そういうプロセスを経なければまともに使えるようにはならないというのが永年にわたる経験の示すところである。くどいようだが、ここは大学であり、諸君は大学生である。教えてもらわなければわからないとか、習った範囲以外の演習はこなせない、というのではあまりにも情けない。示唆をうけたら自分で調べてやってみる。いろいろ自分なりに工夫してみる。これが使えるようになる唯一無二の道である（と私は信じている）。

過去数年にわたって私の授業は学生からはきびしいという評価を受けてきている。それは簡単にはできない課題が毎回のように出される（と学生は感じるらしい。実は3回に2回の割合なのだが）からである。しかし簡単に答えがでるようなものやってみたとところで「使える」ようにはならないし、つまらないだけである。

自分の頭で考えぬき、試行錯誤を繰り返したうえでクリアできてこそおもしろいのではないかと私は信じている。そしてそれらの課題はあとあと必ず直面するような問題に役立つものを厳選してある。諸君を虐めるために無駄にきびしくしているわけではない。

しかしながらこのやり方になじむ学生はそう多くない。だが受講してみても本当に使えるようになったという学生も少なからずいることも確かである。一応この講義の位置づけとしては、パーソナル・コンピュータを使用した経験のある学生が主な対象ということになっているが、私の心づもりとしては、初心者でもわかるような、しかしかなりハードな授業という位置づけである（初心者が受講するにはかなりの覚悟が必要であるが）。もちろん経験者にとってもよい復習となるだけでなく、新たな技巧や知識の修得の機会となるだろう。

とはいうものの、やることはWordやExcelを使ったものに限られるわけであるし、初心者の少し上をターゲットとした講義であるから、WordとExcelについてある程度の知識がある学生にとっては既知のことばかり教えられることになる可能性がある。それがいやな学生は別の情報処理科目を履修すべきだろう。

〔教科書〕

最初の講義で指示する。

〔参考書〕

最初の講義で指示する。

情報処理 I (UNIX入門) 2単位 春学期/秋学期 丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

この授業では、一般的なパソコン（Windowsまたは

Macintosh）しか扱ったことのない学生を対象にして、大規模なコンピュータにも使われているオペレーティングシステム（OS）の1つであるUNIX（あるいはPOSIX、LINUX）を通し、主にコマンドラインからコンピュータを操作する方法を学習します。

いわゆるパソコンは、いまや構成や仕組みをあまり知らなくてもひととおりで「道具」として使えるようになっています。そのため多くの人は仕組みについて考えることなく、単に便利な道具として使っています。

しかし中身を知らないことにより、ときにはコンピュータを便利に使っているつもりが、コンピュータに振り回されるという皮肉な状況を産むことにもなります。たとえば、自分で新しいことを始めようと思ったり、トラブルに自分で対処しなければならなくなったり、トラブル防止の保守作業を自分でしたりするためには、コンピュータの仕組みと動作原理についての基本的な知識が必要になります。

WindowsでもMacintoshでも、OSやアプリケーションは、UNIX等の、コマンドラインから命令を与えて処理をする、という環境がもとになっています。UNIXの考え方を理解することで、コンピュータそのものの理解はもとより、たとえばコンピュータ業界の現状に関してもより理解しやすくなるはずで

またネットワークの理解に必要なUNIXの標準的なアプリケーションの紹介もします。日吉ではUNIXを通して個人ホームページが持てるようになっていますので、その方法も学習します。必要に応じ、さらに深いところまで説明することもあるかもしれません。

コンピュータの基本を、UNIXを通してひととおりで体験、学習することで、コンピュータの理解、さらにコンピュータを使った将来の作業への助けとしてください。

〔教科書〕

特に指定しません。授業ではプリント等を配布するなどして、その回に必要な情報を提供します。

〔参考書〕

特に指定しません。授業ではプリント等を配布するなどして、その回に必要な情報を提供します。

情報処理 II (Excelによる統計データ処理)

2単位 秋学期

赤林 由雄

〔授業科目の内容〕

諸君には「統計学」が必修科目として課せられている。経済を分析するためには統計学の知識は不可欠だと考えられているからである。（経済現象だけではなく、さまざまな現象を計量的に分析しようとするための作法として統計学は必須の知識である。）

ところが統計学では、時間数に比して学ぶことが多く、実際のデータを用いた演習が不足しがちである。（もちろん担当者による差異はある。）また、演習の際には大量の計算が必要であるが、そのために用いられているのは電卓であることが多いようである。（これには学生全員がパーソナルコンピュータを教室に持ち込める環境で

はない、という事情もある。)

しかしながら、諸君が三田に来て直面するのは、実際に大量のデータを使った分析であり、その際には電卓での計算などはほとんど考えられず、多くの場合はコンピュータを駆使して計算せざるをえなくなるはずである。

この授業では、統計学の知識に基づいて（…といても現実には忘れてしまっている学生が多いので、復習をかねた話を混ぜながら）、統計学で学んだことをコンピュータで処理する方法、さらには、その前後で必要となるさまざまな処理法（たとえば、経済データを日経NEEDSなどの各種データベースから収集する方法など）について身につけてもらうことを目的としている。この授業を通じて、統計学の知識をより確実なものにし、実際のデータ分析にも強くなってもらおう、というのが、担当者のねらいである。

情報処理Ⅱ (C言語プログラミングⅠ)

情報処理Ⅲ (C言語プログラミングⅡ)

2単位 春学期/秋学期

北川 尚 丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

コンピュータとは、あらかじめ与えた手順に従って、終了の指示まで自動的に処理を行う機械です。

C言語がそなえるポインタを通して、このはたらきを理解してもらうことがこの授業の目的の一つです。

春学期の情報処理Ⅱ (C言語プログラミングⅠ) では、これまでC言語を学んだことのない学生を対象にして、C言語の基礎的な内容を紹介します。

秋学期の情報処理Ⅲ (C言語プログラミングⅡ) では、春学期の情報処理Ⅱの内容を前提としてさらに高度な内容を紹介します。

プログラミングを通してコンピュータの処理を理解すれば、自前のアプリケーションの作成や開発もできるようになるでしょう。また、Windows等のアプリケーションでの高度な操作を容易に行えるようになるでしょう。

〔教科書〕

授業で毎回プリントを配布します。

〔参考書〕

最初の講義で指示します。

〔授業の計画〕 (内容と順序は変更になる場合があります)

授業で扱う項目は以下のとおりです。

- ・ 入出力
- ・ 基本的な演算
- ・ 選択
- ・ 繰り返し
- ・ 関数
- ・ 配列
- ・ ポインタ
- ・ ファイル処理
- ・ エラー処理
- ・ 構造体
- ・ ビット処理

・ その他 (javaの紹介など)

担当者により順序は前後します。それぞれのウェブページで詳細な講義内容を明示しますので、選択に際しては、そちらを参照してください。

・ 北川 尚: <http://web.hc.keio.ac.jp/~kitagawa>

・ 丸山文綱: <http://web.hc.keio.ac.jp/~fma>

なお担当者により講義の進め方に若干差異がありますので、情報処理Ⅱ、Ⅲの両方を履修する場合には、できるだけ、春学期と秋学期の同一曜日時限・同一担当者のものを通して履修してください。

また、情報処理Ⅱだけ、情報処理Ⅲだけの履修も可能ですが、情報処理Ⅲだけを履修する場合は、各自で情報処理Ⅱの内容を勉強してから授業にのぞんでください。

情報処理Ⅱ (Fortran言語による統計データ処理Ⅰ)

情報処理Ⅲ (Fortran言語による統計データ処理Ⅱ)

2単位 春学期/秋学期

赤林 由雄

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたって、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。その際、強力なツールになるのはコンピュータであり、その処理の多くはワードプロセッサや表計算ソフト、統計処理パッケージなどのアプリケーションソフトで対処できるものである。しかしながらそこでできるのはあくまでお仕着せの処理であり、必ずしもかゆいところに手が届くような仕様になっているとは限らない。自分が本当にやりたいことをコンピュータにやらせるためには自分でプログラムを組む必要がある。そのためには何か一言語を習得しておくことが必須の条件である。

また自分でプログラムを組むことにより、コンピュータがさまざまな処理をどのようにおこなっているかの一端が理解できるようになる。これはけっして無駄なことではない。この経験はアプリケーション・ソフトを使用している際に発生するさまざまなトラブルに遭遇したときに生きてくる。計算機での一般的な処理がわかればある程度の対処の仕方がわかってくるのである。

私が担当する情報処理Ⅱ・Ⅲでは、fortran言語を使ったプログラミングを扱う。

このfortranはコンピュータが実用化した当初からあるプログラミング言語であり、主に科学技術計算に使われている。計算機科学の専門家にはいつも時代遅れというレッテルを貼られ、まもなく廃れるであろうと言われ続けながらもしぶとく生き残ってきている言語である。それは大型コンピュータでもパーソナル・コンピュータでもそれほど使い勝手が変わらず、**初心者にとっては理解が容易な言語だから**というのがその理由の一つである。おそらく実際の処理に使える段階に到達する速度は他の言語よりもかなり早いのではなかろうか。

諸君はこの言語によるプログラミングを通じて、コンピュータで情報を処理するためにはどのような手順をふむべきかを修得してほしい。ここで一つの言語と処理の手順をものにできれば、他の言語での処理の修得はかな

り楽なものになるだろう。

また経済学部の学生がよく使う計量分析用のパッケージTSPはもともとfortran言語で開発されたという経緯があり、fortran言語に近いコマンド体系をとっている。したがってfortranを学ぶことにより、TSPを違和感なく高いレベルで使えるようになるだろう。

春学期の情報処理Ⅱではプログラミング言語fortranの基本的な文法と基本的なアルゴリズム（処理の手順）の修得を目的とする。これはあくまで基本である。この基本を前提として、秋学期の情報処理Ⅲでは諸君が経済学の研究を行っていくうえで実際に遭遇するであろうさまざまな事例を解決していくためのプログラミング技法の修得を目的とする。実際のデータを扱う場合、さまざまなデータの性質をふまえて処理をする必要がある。数値計算をするとき、統計処理をするとき、また大量のデータを効率的に処理しようとするとき、その場面に応じて必要となる技法がある。それらを具体例に即して覚えていき、この講義が終わったときには使えるプログラムを組めるようになることがこの講義の目標なのである。

[教科書]

浦 昭二編『FORTRAN77入門』（培風館）

[参考書]

- ・William H. Press, et al. NUMERICAL RECIPES —The Art of Scientific Computing—, Cambridge
- ・茨城俊秀・福島雅夫『岩波コンピュータサイエンス FORTRAN77最適化プログラミング』岩波書店

情報処理Ⅱ(wwwによる情報発信とサービス提供Ⅰ)

「—HTMLによる情報発信 (HTMLとスタイルシート)—」

2単位 春学期

細川 達己

[授業科目の内容]

当科目では、Webページを作成できるHTML関連の知識を習得することを目的とする。ただし、いわゆる個人の趣味的なページの作成に必要な能力ではなく、企業や各種団体のページなど、より公的な意味を持つページを作っていく技術の習得に目標を置き、Web関連の技術と方法論について学んでいく。

このようなWebページでは、単に画面のデザインや内容だけではなく、サイトのトータルデザインや、さまざまな環境における使いやすさ、そして視覚障害者への対応など、個人のWebページをつくる以上に考慮すべき事項が多くあり、またそれらは必ずしも「技術的」なものではない。

当科目では、日吉ITCの使用権（アカウント）とkeio.jp教育支援システムの利用権を持っていることを前提としている。また、パソコンやWebブラウザに関しても、基本的な操作の知識を持っていることが望まれる。テキストエディタ（Windowsなら「メモ帳」でもよい）を使ってテキストファイルを作成することが必要である。

当科目の対象は、例えば次のような人である。

- ・Webページを作ったことはあるが、より実地的な

Webページの作り方に興味がある

- ・はじめてWebページを作ってみたいと思っており、HTMLの書き方に興味がある
- ・CGIなどを将来的に作ってみたいと思っている

なお、当科目では、各種プラグイン等のHTMLにあまり関係のない話題はあえてテーマから外し、HTMLとスタイルシートに話題を絞る。また、いわゆるHTMLエディタは使用せず、HTMLを直接テキストエディタで記述することで、HTMLの持つ意味を理解しながら学習していく。そして最終的にはHTMLエディタのようなツールをよりよく使えるようになることや、CGIを作成する基礎となるHTMLの知識を得ることを目的とする。

まずは「Webのコンテンツを書き、インターネット経由で公開する」ということが、従来の印刷による出版やワープロによる文章作成とどのように異なる性質を持つかという、もっとも根本的な問題からはじめ、その性質を踏まえてHTML（とスタイルシート）の使用法、活用法を学習していく。

[参考書]

- ・エ・ビスコム・テック・ラボ「XHTML+CSSスタンダード・デザインガイド」（毎日コミュニケーションズ、2005）
- ・神崎 正英「ユニバーサルHTML/XHTML」（毎日コミュニケーションズ、2000）

情報処理Ⅲ(wwwによる情報発信とサービス提供Ⅱ)

「—CGIによるサービス提供—」

2単位 秋学期

細川 達己

[授業科目の内容]

HTMLによる静的なWeb情報提供サービスに動的な要素を加えたのはCGIであり、他にもさまざまな動的コンテンツに関する技術が出て来た現在でも、もっとも重要な技術のひとつである。

CGIはインターネットに対して、計算機資源を用いたサービスを公開する技術であり、従来であればネットワークプログラミングの経験豊かなプログラマーが行なうことが多かったものである。このため、CGIを製作するには、ネットワークのセキュリティに対する一般的な知識も重要である。

また、情報処理Ⅱ（WWWによる情報発信とサービス提供Ⅰ）で取り上げたさまざまなHTMLに関する知識を前提として、より公的なサービスに適用できるCGIの作り方を取り上げていく。

CGIのプログラミング言語としては、基本的にPerlを使用する。WebサーバとしてApache httpdをインストールしたUnixサーバを利用し、その上で演習を行なう。

当科目は、情報処理Ⅱ（WWWによる情報発信とサービス提供Ⅰ）を前提とする。

対象となるのは、例えば以下のような人である。

- ・CGIの作り方に興味がある、プログラミングに興味がある
- ・Webサーバの管理をしたいと思っている、あるいは

はする予定がある

- ・ネットワークの管理者となる可能性がある

〔参考書〕

秋本 祥一、古川 剛「CGIプログラミング入門 第二版」
(翔泳社, 2002)

統計学 I

〔データの記述・統計的推測・仮説検定〕

2単位 春学期

赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希
宮内 環/稲葉 由之

〔授業科目の内容〕

- (1) 統計的記述（実際のデータをどのように捉えるか）
- (2) 統計的推測（標本から母集団の特徴をどのように推定するか）
- (3) 統計的検定（理論的主張をどのように検定するか）を学ぶことにより統計的分析の基礎を身につける。講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いたの統計処理の解説も行う。

〔教科書〕

第1回の講義において担当教員から指示がある。

〔参考書〕

第1回の講義において担当教員から指示がある。

統計学 II

〔回帰分析・社会科学分野における応用・統計学の数理的基礎〕

2単位 秋学期

赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希
宮内 環/稲葉 由之

〔授業科目の内容〕

- (1) 回帰分析（複数の変数の間の因果関係についての分析）を学ぶことにより、経済理論の実証の基礎を身につける。
- (2) 応用分析（様々な経済・社会現象を統計的に分析）を学ぶことにより、統計学を現実社会で幅広く応用する力を身につける。
- (3) 統計学の数理的基礎を学ぶことにより、より高度な統計的分析に備える。講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いたの統計処理の解説も行う。

〔教科書〕

第1回の講義において担当教員から指示がある。

〔参考書〕

第1回の講義において担当教員から指示がある。

●専門教育科目

経済史 I

2単位 春学期

飯田 恭 崔 在東
長谷川淳一 安元 稔
矢野 久

〔授業科目の内容〕

経済史の入門的講義を行う。三田で欧米経済史、日本経済史、アジア経済史等を学ぼうとしている学生に対して基礎的知識を与え、また、理論、政策を中心に、学ぼうとしている者に対しては、その視野を広めることを目的とする。地域的には欧米を主に扱うことになる。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が適時に提示する。

経済史 II

2単位 秋学期

神田さやこ 小室 正紀
杉山 伸也 古田 和子
柳沢 遊

〔授業科目の内容〕

15世紀-20世紀の中国・日本を中心とするアジアの経済史について入門的講義を行う。この講義の目的は、経済学を学習するために必要な歴史的視野の拡大と、日本経済史およびアジア経済史についての基礎的な知識を習得してもらうことにある。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

長岡新吉・太田和宏・宮本謙介編『世界経済史入門：欧米とアジア』ミネルヴァ書房、1992年

マクロ経済学初級 I

2単位 春学期

伊藤 幹夫 酒井 良清
塩澤 修平 瀬古 美喜

〔授業科目の内容〕

国民所得あるいは国民総生産の大きさは、国民の経済活動の水準を示す指標である。その高さや変動の有様が、雇用と物価を定め、国民の暮らし向きに影響を与える。国民総生産、失業率、物価などの指標を見ながらそれらの統御を目指す政策をマクロ経済政策という。「マクロ経済学初級 I、II」では、まず経済学の基本的な考え方を説明した上で初歩のマクロ経済学を説き、経済変動とマクロ経済政策の問題を考えるための基礎を与える。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『ステイグリッツ 入門経済学』第3版 東洋経済新報社

(2005年)

ジョセフ・E・スティグリッツ著(藪下他訳)『スティグリッツ マクロ経済学』第3版 東洋経済新報社(2007年)

N. グレゴリー・マンキュー著(足立他訳)『マンキュー マクロ経済学(1) 入門篇・(2) 応用篇』東洋経済新報社(1995年、1996年)

オリヴィエ・ブランシャール著『マクロ経済学』(上・下)第2版 東洋経済新報社(2003-2004年)

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』(第3版) 日本経済新聞社(2000年)

瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』(3版用) 日本経済新聞社(2000年)

マクロ経済学初級Ⅱ

2単位 秋学期

大平 哲 尾崎 裕之
白井 義昌 山田 太門

〔授業科目の内容〕

「マクロ経済学初級Ⅰ」で習得する知識を前提として、引き続きマクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「マクロ経済学初級Ⅰ」を参照のこと。

ミクロ経済学初級Ⅰ

2単位 春学期

石橋 孝次 グレーヴァ香子
津曲 正俊 中村 慎助

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級Ⅰ、Ⅱ」では、ミクロ経済学の入門的内容を講義する。消費者と生産者の選択が成立させる需要法則と供給法則を分析すると同時に、希少資源の配分問題を解く一つの経済メカニズムである「市場機構」の分析手法を学ぶ。これらの分析を通じて「市場機構」の機能に関する理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

- (1) 入門書(経済学部以外の学生をも対象としたもの)
 ジョセフ・E・スティグリッツ著(藪下他訳)『スティグリッツ ミクロ経済学』(第3版) 東洋経済新報社(2006年)
 伊藤元重著『ミクロ経済学』日本評論社(2003年)
 矢野誠著『ミクロ経済学の基礎』(第2版) 岩波書店(2001年)
 矢野誠著『ミクロ経済学の応用』岩波書店(2001年)
 奥野正寛著『ミクロ経済学入門』(2版) 日本経済新聞社(1990年)
 石井安憲・西條辰義・塩澤修平著『入門・ミクロ経済学』有斐閣(1995年)
 塩澤修平著『経済学・入門』有斐閣(1996年)

(2) 中級(経済学部教養過程)

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』(第3版) 日本経済新聞社(2000年)

瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』(3版用) 日本経済新聞社(2000年)

西村和雄著『ミクロ経済学入門』(第2版) 岩波書店(1995年)

武隈慎一著『ミクロ経済学』新世社(1989年)

ハル・R. ヴァリアン著(佐藤隆三監訳)『入門ミクロ経済学』勁草書房(2000年)

(3) 中級以上(経済学部教養過程あるいはそれ以上)

奥野正寛・鈴木興太郎著『ミクロ経済学Ⅰ、Ⅱ』岩波書店(1985年、1988年)

根岸隆『ミクロ経済学講義』東京大学出版会(1989年)

Hal R. Varian, 『Microeconomic Analysis』(3rd ed.) (Norton, 1992.)

ミクロ経済学初級Ⅱ

2単位 秋学期

石橋 孝次 須田 伸一
玉田 康成 丸山 徹

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級Ⅰ」で習得する知識を前提として、引き続きミクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「ミクロ経済学初級Ⅰ」を参照のこと。

経済思想の歴史Ⅰ

「経済思想史研究入門」

2単位 春学期

池田 幸弘

〔授業科目の内容〕

経済思想史研究についての入門的の講義。主として、イギリス古典派からカール・マルクスまでの経済思想を扱う。経済学全体についての見通しを失ってしまった学生諸君も少なくないかもしれないが、本講義では経済思想史を主題として扱うかわら、経済学全体についての鳥瞰図、そして経済学の各分野の連関などについて一定の理解を与えることも意図している。できるだけ平易な講義を志したい。制度上の強制ではもちろんないが、後期に開講される経済思想の歴史Ⅱもあわせて履修されることを勧める。さらに理解が深まるであろう。なお、経済学会編の『スタディ・ガイド』を使用するので、履修希望者は持参されたい。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業時に指示する。

経済思想の歴史 I

「スミスの理想と現実」

2単位 春学期

伊藤誠一郎

〔授業科目の内容〕

アダム・スミスが経済学を作ったということ、彼の描いた自由主義経済の理想は今日なお理想として追い求められていることは、21世紀になった今になってさら実感できることである。しかし、実際の経済・社会の歴史のプロセスは直線的なその理想の追求とはほど遠いこと、そしてなによりもスミス自身がどのような「現実」のなかで彼の理想を語っていたのかにはあまり注意が払われないのも事実である。アダム・スミスがいた社会はすでに今日と同じように、貨幣・金融、貿易、貧困などの経済問題や政治についての諸問題が激しく議論されていた社会であり、スミスの『国富論』はそれに対するひとつの解答でもあった。本講では、スミスが出した答えのスミス自身の意図がなんだったのか、そしてそれがその後のいわゆる古典派経済学、そしてマルクスのなかでどのように変容していったのかをみていきたい。

〔教科書〕

使用しない。必要な資料はその都度配布する。

〔参考書〕

小峯敦編『福祉の経済思想家たち』ナカニシヤ出版、2007年。

経済思想の歴史 I

「経済学の成立から古典派およびマルクスまで」

2単位 春学期

神代 光朗

〔授業科目の内容〕

1890年にマーシャルの『経済学原理』が登場するまでは、経済学はすぐれて政治経済学 (political economy) と言われ、理論・歴史・政策を統一した体系的な且つ政治的な学問としての特質と名称をもっていた。そして、この体系的統一の導きの糸こそが経済思想または歴史的ヴィジョンなのである。しかるに近年、とりわけこの10数年来、経済学の著しい専門・細分化の下で、現実世界の不安定に対応しきれない経済学の危機といわれる現状がある。本講義では、重商主義からはじまり、古典学派をへて、マルクスに到る経済思想の概略を講じ、経済学のそのその成り立ちを考え、それによって経済学という学問の特質とあり方を考察したい。

〔教科書〕

特にスタンダードな教科書はない。履修者は必ず出席をし、ノートを自らとることを心掛けてほしい。

〔参考書〕

- ・内田義彦著『経済学史講義』（著作集第2巻）岩波書店 または未来社（復刻版あり）
- ・内田義彦著『社会認識の歩み』岩波新書
- ・馬渡尚憲著『経済学史』有斐閣

経済思想の歴史 II

「日本の経済思想」

2単位 秋学期

小室 正紀 蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本における経済思想史を扱う。学期の前半は、小室が担当し、江戸時代から明治初期までを扱い、後半は、蔦木が担当し明治時代から大正時代頃までを対象とする。

広く経済現象や経済問題についての考え方は、時代とともに変化するとともに、もちろん、国・地域・文化圏によっても相互に異なる。現代のように情報や知識が瞬時に世界を駆け回る時代においてさえも、国により経済についての考え方の違いはあるが、時代をさかのぼればさかのぼるほど、その違いは一層大きい。それは、それぞれの国や地域により社会形態が異なり、また特定の知性・学問・宗教などの伝統もあり、経済思想もその影響を受けざるを得なかったからである。そして、このような歴史的な相違は、単に過去の問題にとどまらず、現代の思想にも深く影響し、現実世界における経済思想の違いを形づくっていると考える。

そのような中で、日本の経済思想の特質を歴史的に把握することは、日本に特別な関心を抱く者の単なる興味を越えて、世界的に極めて大きな意義をもっている。従来、経済思想の歴史は、欧米における展開を中心に論じられてきた。それは、近代資本主義が世界に先駆けて成長したのが欧米であったからである。しかし、現代世界は、欧米のみでなく、多くの文明圏に資本主義経済が存在し、またそれを目指している国々が至る所にある。そして、日本は、非欧米世界の中で、最も早く、近代資本主義へと進んだ国であった。日本が歴史的に経験した、固有の経済思想の展開と、欧米から導入された思想や経済システムとの軋轢・融合の経過は、単に日本のみの問題ではなく、多くの非欧米圏の経済思想の問題でもある。そして、このような非欧米の事例を考えることなしに、現代世界の経済をグローバルな視点で理解することもまた出来ないのである。

なお、講義を江戸時代から始めるのは、その時期に、日本独自の経済社会の始動とともに、中国の思想の影響をうけつつも、日本独自の経済思想が形成されてくるからであり、それが、明治以降の経済思想の隠れた原型をなしていると考えられるからである。また明治初期については、小室が主に江戸時代から見る視点で扱い、蔦木が、明治以降の出発点としての視角から扱い、両者が取り上げることになる。講義の最後は、大正期ないし昭和恐慌の開始前に置かれる。これは、その時期をもって、「日本の近代化」に一応の区切りがつけられると考えるからである。

〔教科書〕

使用せず。

〔参考書〕

逆井孝仁・藤原昭夫他編『日本の経済思想四百年』日本経済評論社（2000年）

テッサ・モリス・スズキ『日本の経済思想』岩波書店(1991年)

杉原四郎・長幸男編『日本経済思想史読本』東洋経済(1979年)

経済思想の歴史Ⅱ

「経済思想と社会のヴィジョン」

2単位 秋学期

佐藤 方宣

〔授業科目の内容〕

この科目では限界革命以降の経済思想の展開について講義します。新古典派や制度学派の興隆、厚生経済学の展開、ケインズ『一般理論』の登場からその批判へ…といった現代に至るプロセスを、いくつかのテーマごとに論じていきます。その際、経済思想の歴史を単線的な理論の発展史として捉えるのではなく、経済社会をめぐる多様な理念・思想の展開の歴史として論じてみたいと思います。経済理論や政策論の背後にある望ましい社会や経済についてのヴィジョンの相違に注目し、それぞれの時代において人々がどのような問題に直面していたのか、そして個々の経済学説・経済思想はそれに対しいかなるかたちで解答しようとする試みであったのか、という点に注意を払って学んでいただければと思います。また必要な範囲で、倫理学や政治哲学など関連諸領域の論議についても紹介していきます。

〔教科書〕

小峯敦編『福祉の経済思想家たち』ナカニシヤ出版(2007年)

〔参考書〕

トピックごとに適宜指示します。

経済思想の歴史Ⅱ

「江戸時代の経済思想」

2単位 秋学期

三島 憲之

〔授業科目の内容〕

本講義では、江戸時代の「経世論」を中心とした経済思想を取り扱います。その際、経済思想の前提となる江戸時代の様々な思想状況についても、基礎から解説する予定です。

〔教科書〕

杉原四郎ほか編著『日本の経済思想四百年』（日本経済評論社）

経済数学Ⅰ [05学則] / 経済数学ⅠA [99学則]

2単位 春学期

厚地 淳 小木曾啓示

戸瀬 信之 西岡久美子

〔授業科目の内容〕

1年生の「微分積分」(履修タイプⅠ)と「数学概論Ⅱ」(履修タイプⅡ)に続いて多変数関数の微分とその応用について学ぶ。

ミクロ経済学やマクロ経済学などで使われる数学の定

理について証明をつけて解説するのでこれらの分野をきちんと理解したい人は是非履修して下さい。また3, 4年次に数学を使う分野を学びたい場合にも「経済数学Ⅰ」は履修しておいた方がよいでしょう。

線形代数、線形代数統論の知識を前提とするので、これらの科目を履修しなかった学生が講義を理解することは不可能です。

必要となる線形代数の知識は、行列の演算、行列式、余因子展開、ベクトルの1次従属、1次独立、固有値、2次形式、実対称行列の符号判定などです。

〔教科書〕

各担当教員が指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学Ⅱ [05学則] / 経済数学ⅠB [99学則]

2単位 秋学期

厚地 淳 小木曾啓示

戸瀬 信之 西岡久美子

〔授業科目の内容〕

経済数学Ⅰ(99学則は経済数学ⅠA)に続き多変数関数の極値問題について学ぶ。

経済数学Ⅰに比べて証明が長くなり難度も上がるので、レベルアップを目指し意欲的に取り組む学生向けである。

この科目を履修するためには経済数学Ⅰの内容を十分に理解しておく必要がある。

〔教科書〕

各担当教員が指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学Ⅲ [05学則] / 経済数学Ⅱ [99学則]

「最適化とゲームの数理」

2単位 秋学期

中山 幹夫

〔授業科目の内容〕

この講義では、最適化理論とゲーム理論の初歩について学び、経済学に必要な数理的思考と分析力を身につけます。

〔教科書〕

特に指定せず、適宜、講義資料を配布します。Webサイト

<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakayama/gakubu.html>

からダウンロードできるものもあります。

〔参考書〕

より詳細な数学的基礎の勉強には、たとえば

岡田章 著『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社(2001年、3,200円)などが薦められます。

西村清彦 著『経済学のための最適化理論入門』東京大学出版会(1990年)は経済学への応用に重点を置く参考書です。

経済数学Ⅲ [05学則] / 経済数学Ⅱ [99学則]

2単位 秋学期

平井 俊行

〔授業科目の内容〕

(理論) 経済学を学ぶ上では、数理的な思考法で理解し、推論をおこなうことを身につける必要があります。この講義では、その一環として、凸解析と線形計画法、およびそのゲーム理論への応用を学びます。

〔教科書〕

特になし、必要があれば資料を配布します。

〔参考書〕

岡田章「経済学・経営学のための数学」東洋経済新報社(2001年、3,200円)、
他にもあれば、講義中に紹介します。

経済と環境

「自然の人間のかかわり」

2単位 春学期

青木健一郎 大沼あゆみ

〔授業科目の内容〕

本講義は、環境問題を自然科学および社会科学(経済学)の目で眺め、問題が一体どこにあるのか、問題解決のために現象をどのように理解したらよいかを提示することを目的とする。経済と環境との関わりを確実に理解し、その上で、環境保全と両立する経済のイメージを考えてもらう。さらに、環境保全を目的とする政策を、いくつかの環境問題を手がかりに紹介する。直観的に当然だと思われる政策が保全に失敗したり、意外な仕組みの政策がうまくいく例をみることで、環境を守る手段の有用性を自ら考えていただきたい。

〔参考書〕

授業中に提示する。

経済と環境

「経済活動を取りまく諸環境」

2単位 春学期

武山 政直 松原 彰子

〔授業科目の内容〕

今日の経済活動を取りまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、そこに見られる最近の話題や問題の理解を通じて、経済活動をそれらの「環境」から多様にとらえる視座と視点を獲得する。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料を配布します。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

経済と環境

2単位 秋学期

大沼あゆみ 清水 健一

〔授業科目の内容〕

今日の環境問題を、経済学と自然科学の立場から概観

する。

〔教科書〕

[大沼担当分] ヒール著『はじめての環境経済学』(細田・大沼・赤尾訳 東洋経済新報社)

〔参考書〕

授業中に適宜指示する。

経済と環境

「経済活動を取りまく諸環境」

2単位 秋学期

片田 真一 武山 政直

〔授業科目の内容〕

今日の経済活動を取りまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、そこに見られる最近の話題や問題の理解を通じて、経済活動をそれらの「環境」から多様にとらえる視座と視点を獲得する。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料を配布します。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2単位 秋学期

秋山 裕

〔授業科目の内容〕

コンピュータの発達および普及に伴い、経済現象を統計的に分析することは実社会でもごく当たり前の時代になってきました。計量経済学は、経済現象を統計的に分析するにあたって生じる様々な問題を解決していく研究分野であり、計量経済学概論は、統計学Ⅰを履修した学生諸君を対象とした計量経済学の入門コースです。この秋山クラスは、経済現象として国際経済分野の例を中心として取り上げます。

講義を受けるだけで統計的分析を身に付けるのは難しいため、実際の経済データを用いての演習を行うことが不可欠となっています。そのため、講義においてはコンピュータを用いた分析の解説も行います。コンピュータでは、MS Excel(表計算ソフト)およびR(統計ソフト)を利用します。

本講義は入門コースなので、複雑な数式の展開は避け、図を用いての直感的理解を重視し、大変な計算はコンピュータに任せて進めていきます。

〔教科書〕

講義資料をプリントで配布します。

〔参考書〕

第1回の講義において担当教員から指示します。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2単位 秋学期

河井 啓希

〔授業科目の内容〕

計量経済学(Econometrics)とは、観察可能な経済

データからその資料の発生メカニズムを経済理論にもとづいて推測する方法を示すものである。一般に経済分析に登場するデータは自然科学のように条件をよくコントロールされた実験データではないため、経済分析固有の統計的問題がこりうる。この授業では、統計学で学んだ知識を確認しながら、経済分析固有の問題を実例を交えて紹介していく。

〔教科書〕

浅野哲・中村二郎『計量経済学』有斐閣

〔参考書〕

山本拓『計量経済学』新世社

蓑谷千鳳彦『計量経済学（第3版）』東洋経済

計量経済学概論

2単位 秋学期

田中 辰雄

〔授業科目の内容〕

計量経済学の基礎を講義する。2年生の段階では知識を広げるより、基礎的分析手法を確実に身につけた方がよいので、話題を絞ってトレーニングを行う。2回に1回はパソコンを使って演習を行い、受講生はデータを打ち込み、回帰分析を走らせるという作業を自ら行うことになる。統計解析のためのソフトは、エクセルを使う予定である。したがって、エクセルの操作に慣れておいてもらおうと講義の理解がスムーズだろう。

前提とする知識は、学部の統計学の知識だけである。講義の中で数式で説明した事は、そのあとグラフで補完して直感的な理解が得られるように工夫するので、数式の苦手な諸君も意欲さえあれば理解できるであろう。ただし、自分でパソコンを操ることを厭わないという決意だけはしておいていただきたい。成績は2回課すレポートを中心につける。計量分析は経済理論の実証という意味もあるが、それ以外に実世界に出てから使う場面が多い手法なので、この機会に是非覚えておく事をおすすめする。景気予測、支店の売上予測、マーケティング、コンサルティングなどの分野で計量分析が使われることは多い。将来留学を考えている人、国際機関に出て働きたい人も学んでおいて損はないだろう。「数字に強い」というのは将来の諸君の大きなセールスポイントになる。

なお、教室で同時に使えるパソコン台数に限りがあるため、受講人数に制限（100名強）がかかる。これを越える希望者が出た場合は、春学期冒頭に簡単なレポートを課して受講者を選ぶ予定である。掲示に注意されたい。

社会問題Ⅱ

「近現代日本社会にみる社会問題」

2単位 春学期

柳沢 遊

*社会問題Ⅱを春学期、社会問題Ⅰを秋学期に開講します。

〔授業科目の内容〕

1880年代から、1960年代に至る近代日本の歴史において、いつ、どのような、社会問題が生じ、それは、どのように解決されていったのか。本講義では、上の問いを念頭において、いくつかの社会的事件を手がかりに、社

会におこったさまざまな出来事が、いかなる形で、「社会問題」として認識されていくのかに光をあてたい。

〔参考書〕

『スタディガイド』61～62頁の文献のなかから、1冊でよいから、参考書にして下さい。

社会問題Ⅰ

2単位 秋学期

倉沢 愛子

*社会問題Ⅱを春学期、社会問題Ⅰを秋学期に開講します。

〔授業科目の内容〕

東南アジアの開発途上国が抱えている様々な社会問題を、ミクロな観点からとりあげ、個別な事例を紹介しつつ考察する。開発途上国の中でも特に、倉沢が専門とするインドネシアの具体的な例をとりあげ、「開発」がもたらした影響や社会変容を考察しながら論じていく。そこには日本などの先進国がかけているのとはまったく異なる社会問題が存在する。理解をたやすくするために毎回、写真やビデオを見せながら授業をする。

〔教科書〕

倉沢愛子『ジャカルタ路地裏フィールドノート』中央公論新社 2002

マルクス経済学Ⅰ

2単位 春学期

北村 洋基 神代 光朗
延近 充

〔授業科目の内容〕

カール・マルクスの主著『資本論』は、資本主義社会の経済的運動法則を解明することを目的として、資本主義経済の特質を総体的に明らかにした著書である。同書が出版されて1世紀以上過ぎたが、資本主義のメカニズムを構造的・体系的に明らかにした著書として、今日においてもなお有効性をもっている。

もちろん今日の資本主義はマルクスの時代とはかなり変化したところもある。「マルクス経済学」は資本主義の変化をも踏まえながら、現代資本主義を総体として把握するとともに、現代経済の諸問題を批判的に解明する理論的基礎を提供することを目的としている。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が個別に指定する。

マルクス経済学Ⅱ

2単位 秋学期

北村 洋基 駒形 哲哉
延近 充

〔授業科目の内容〕

「マルクス経済学Ⅰ」における叙述を参照されたい。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が個別に指定する。

〔授業の計画〕(内容と順序は変更になる場合があります)

マルクス経済学Ⅱは、マルクス経済学Ⅰの履修を前提として、より具体的・現象的なレベルにおける資本主義経済の理論的解明をおこなう。授業の具体的計画は担当者によって異なる。

〔担当教員から履修者へのコメント〕

「マルクス経済学Ⅱ」は「マルクス経済学Ⅰ」の履修を前提として授業を行うので、「マルクス経済学Ⅱ」のみの履修は避けること。

〔成績評価方法〕

学期末試験による。担当者によっては、授業中の小テスト等を加味する場合がある。

解析学入門Ⅰ

〔距離空間と位相構造〕

2単位 春学期

宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

解析学入門Ⅰ・Ⅱにおいては、確率論、ファイナンス数学などの解析学的色彩の強い分野を学習する際に必要と考えられる、位相や多変数解析学に関して基本的なことを学習する。また、解析学Ⅰa、Ⅰb、Ⅱ(三田)のための基礎科目でもある。

解析学入門Ⅰにおいて解説される、距離空間や位相といった概念は解析学を学ぶ際の言葉であり、早い時期にこれを習得することで、以後の解析学の学習を確実なものにすることができる。数学における証明に慣れる良い機会でもある。

「入門」という名が付いているが易しい講義という訳ではなく本格的な数学の講義である。

〔教科書〕

「解析学入門」(慶應義塾大学経済学部)

解析学入門Ⅱ

〔多変数関数の微分、リーマン積分〕

2単位 秋学期

宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

「解析学入門Ⅱ」において、多変数関数の微分積分について、様々な分野で使われる基本的な結果を学ぶ。いずれも、理論的側面を強調していく。この講義を履修するには「解析学入門Ⅰ」を履修していることが必要である。

〔教科書〕

「解析学入門」(慶應義塾大学経済学部)

確率論入門Ⅰ

2単位 春学期

厚地 淳

〔授業科目の内容〕

近年、金融業務のリスク管理のために確率論を用いる手法が盛んに用いられている。「金融工学」という言葉を諸君は聞いたことがあるだろうが、金融工学を学ぶためには、それなりに数学の「修行」が必要である。そのために、経済学部2年生に対して開講するのが「確率論

入門Ⅰ、Ⅱ」および「解析学入門Ⅰ、Ⅱ」である。東京工業大学、一橋大学などでは、すでに金融工学の大学院が開設されているが、この科目はその進学をサポートすることをその目的の一つとしている。もちろん、金融工学に興味を持たないものも、確率的な発想は知的に生きるための一つの知恵であるので、履修する価値は十二分にある。確率に関しては、「統計学Ⅰ、Ⅱ」でも、初歩的なことを学ぶことができるが、それでは将来、金融工学を学ぶために不十分であろう。また、「統計学Ⅰ、Ⅱ」では、数学的に厳密な構成がなされていない部分が多いが、この講義では完全とは言わないが、それなりに数学的な論理性を重視して教えるつもりである。その意味で、「統計学Ⅰ、Ⅱ」の別の意味での理解を促す役割も果たしたいと考えている。多くの計算実例を与えるので、「統計学Ⅰ、Ⅱ」の演習ともなるであろう。

講義の内容は常に具体的なモデルや実例を多く用いて理解を促すつもりである。そのために、多くの計算練習をしてもらう予定である。

確率論入門Ⅰでは初等確率論の問題から始め、主に離散的な値をとる確率変数や、離散集合上の分布を扱う。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

森 真(著)、藤田 岳彦(著)『確率・統計入門—数理ファイナンスへの適用』講談社

藤田 岳彦(著)、高岡 浩一郎(著)『穴埋め式確率・統計らくらくワークブック』講談社

ピエールブレモー(著)『モデルで学ぶ確率入門』シュプリンガーフェアラーク東京

その他いろいろあるので、講義時に適宜紹介する。

確率論入門Ⅱ

2単位 秋学期

厚地 淳

〔授業科目の内容〕

この科目では、前期の「確率論入門Ⅰ」に引き続き、確率論の初歩を学ぶ。前期では離散的なモデルを多く扱うが、後期では連続的なモデルを多く扱うこととする。

後期だけの履修は望ましくない。数学は積み上げていくものであり、一夜にして理解することは不可能だからである。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

森 真(著)、藤田 岳彦(著)『確率・統計入門—数理ファイナンスへの適用』講談社

藤田 岳彦(著)、高岡 浩一郎(著)『穴埋め式確率・統計らくらくワークブック』講談社

ピエールブレモー(著)『モデルで学ぶ確率入門』シュプリンガーフェアラーク東京

その他いろいろあるので、講義時に適宜紹介する。

簿記a [05学則] / 簿記b [05学則] 簿記 [99学則]

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年
高久 隆太

〔授業科目の内容〕

簿記は、「帳簿記入」の略称と言われ、企業の日々の経済活動を勘定科目と貸借記入原則によって記録・計算・整理し、その結果として財産計算と損益計算とを同時に行う記録システムである。

本講義では、日商簿記3級取得を目標に、複式簿記の基礎から決算手続きに至るまでを学習する。簿記には、固有の専門用語やルールがあり、初学者には困難があるが、練習問題を通じて計算に慣れることで理解を図る。

〔教科書〕

加古宣士／渡部裕亘編著「平成20年新検定簿記講義 3級商業簿記」中央経済社

簿記a [05学則] / 簿記b [05学則] 簿記 [99学則]

〔財務諸表の技術的基礎〕 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

李 精

〔授業科目の内容〕

複式簿記とは、企業の行う経済活動を帳簿に複式記録することによって、企業の財政状態と経営成績を明らかにするものである。財政状態は貸借対照表（バランスシート）、経営成績は損益計算書によって示されるが、これらは複式簿記の手続きを経て誘導的に作成される。貸借対照表や損益計算書は企業の決算書類であるが、財務諸表と呼ばれる。

本講義は、複式簿記の基礎知識を提供するものであり、決算に至るまでの一巡の簿記手続きの理解を図ることを目的としている。

〔教科書〕

新田忠誓編著『エッセンス簿記会計』森山書店

※なお、演習用に問題集を使うことも予定している。

●総合教育科目

経済数学入門Ⅰ

2単位 春学期
戸瀬 信之

〔授業科目の内容〕

この科目では経済学を学ぶために必要な数学、特に微分積分と線形代数を学びます。経済学部の1年生の数学の科目と異なり、経済学で用いるということを念頭において講義内容を構成します。

〔教科書〕

コアテキスト「経済数学」（戸瀬 信之著、新世社）
〔参考書〕

『経済数学早わかり』（西村和雄著、日本評論社）

経済数学入門Ⅱ

2単位 秋学期
戸瀬 信之

〔授業科目の内容〕

この科目では、前期の「経済数学入門Ⅱ」に続き、経済学を学ぶために必要な数学、特に微分積分と線形代数を学びます。後期は確率・統計の内容も少し触れます。前期と同様に、経済学部の1年生の数学の科目と異なり、経済学で用いるということを念頭において講義内容を構成します。特に、後期ではミクロ経済学と計量経済学を念頭に講義します。

〔教科書〕

コアテキスト「経済数学」（戸瀬 信之著、新世社）

〔参考書〕

早わかり経済数学（西村和雄著、日本評論社）

データ解析Ⅰ

〔線形モデルとデータ〕 2単位 春学期
今泉 忠

〔授業科目の内容〕

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、説明変数と被説明変数が想定される場合のデータ解析について講義する。受講者が、

(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

(2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

〔教科書〕

講義プリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析Ⅱ

〔特徴の抽出〕 2単位 秋学期
今泉 忠

〔授業科目の内容〕

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、多変量データが得られた場合に、それを要約する場合のデータ解析について講義する。受講者が、

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

〔教科書〕

講義中に指定する。講義資料などのプリントはウェブサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

分析用ソフトウェアとしては、Rを用いる。

データ解析入門Ⅰ

「データを探る」 2単位 春学期
今泉 忠

〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する機会が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、1変数の場合のデータ解析について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) データから基礎的な統計推論が可能となる
- (2) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

〔教科書〕

講義プリントはウェブサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門Ⅱ

「データによるモデル構成を行うには」 2単位 秋学期
今泉 忠

〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する機会が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、2変数の場合について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 2変数間の関係について、仮説構築、検討、評価を行うことができる

〔教科書〕

講義プリントはウェブサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

ファイナンス数学Ⅰ

「線形代数と微分・積分で理解するファイナンス理論の基礎」 2単位 春学期

伊藤 幹夫

〔授業科目の内容〕

この授業では、ファイナンスに関する基礎理論を題材にして、学習者が必要となる解析学と線形代数、確率論を学ぶことを目的とする。特に、微分積分を使っての、金利（収益率）の計算に親しむこと。不確実性の取り扱いに不可欠な確率論を、既習の微分・積分の知識を通じて、履修者が理解することを目標とする。

〔教科書〕

指定しません

〔参考書〕

木島正明、岩城秀樹『経済と金融工学の基礎数学』（朝倉書店）
池田昌幸『金融経済学の基礎』（朝倉書店）

ファイナンス数学Ⅱ

「線形代数と微分・積分で理解するデリバティブの理論」 2単位 秋学期

伊藤 幹夫

〔授業科目の内容〕

この授業では、ファイナンスに関する基礎理論を題材にして、学習者が必要となる解析学と線形代数を学ぶことを主目的とする。特に、証券価格決定理論の一般理論・デリバティブ価格の決定に関する理論などの、基礎であるリスク中立確率とマルチンゲールを、微分・積分の学習を通じて、履修者が理解することを目標とする。

〔教科書〕

指定しません

〔参考書〕

木島正明、岩城秀樹『経済と金融工学の基礎数学』（朝倉書店）
池田昌幸『金融経済学の基礎』（朝倉書店）

3 法学部

●数学・統計・情報処理科目

基礎数学Ⅰ

「初等整数論（ユークリッドの互除法と連分数）」

2単位 春学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

2以上のすべての正の整数は有限個の素数の積に分解され、その分解に現れる素数は積の順序を除いて一意的に定まるというのが、初等整数論の基本定理と呼ばれるものである。この講義の目標の1つは、この定理の成り立つ根拠を明らかにすることである。いままではこの定理は至極当然のこととして扱ってきたが、2次体の整数に関してはこの定理は成り立たない。このような例についても述べることにする。

ユークリッドの互除法、1次不定方程式、連分数の3つの事項は密接に関連している。これらの関係を述べるのが、この講義の目標の2つ目である。一般に無理数の小数展開は複雑、不規則（循環小数でないという意味）である。しかしながら無理数の連分数展開は単純な形をしている。これらについても述べる。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

以下に挙げるのは参考書であって授業のためにわざわざ購入する必要はありません。

「初等整数論」H.スターク 著 芹沢正三・安藤四郎 共訳 現代数学社

「整数論周遊」片山孝次 著 現代数学社

基礎数学Ⅱ

「初等整数論（整数の合同と平方剰余の相互法則）」

2単位 秋学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

初等整数論では合同という概念はきわめて基本的である。2つの整数 a, b を正の整数 n で割ったとき余りが同じであれば a と b は n を法として合同であるという。この考えは数学の世界だけでなく日常的にも使われている。たとえば、1週間を7日とし、4と18を7で割れば余りが4であるから、4と18は7を法として合同である。それで4日と18日には同じ曜日を当てるのである。この合同という考えをきちんと理解してもらおうのが本講義の目標の1つである。

p を奇素数（3以上の整数）とする。 x を変数とし、整数 a に対し、 x の平方と a が p を法として合同であるという2次合同式が整数解を持つとき、 a は法 p の平方剰余で

あるという。整数解を持たないとき、平方非剰余という。この場合平方剰余に関して重要ないくつかの定理がある。その1つが平方剰余の相互法則である。これらの定理の応用として、いくつかの初等整数論の定理が証明される。講義の後半でこのことについて説明をする。平方剰余の相互法則をきちんと理解してもらおうのが、本講義の2つ目の目標である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

以下に挙げるのは参考書であって授業のためにわざわざ購入する必要はありません。

「初等整数論」H.スターク 著 芹沢正三・安藤四郎 共訳 現代数学社

「整数論周遊」片山孝次 著 現代数学社

基礎統計学Ⅰ

2単位 春学期

中野 文平

〔授業科目の内容〕

コインを何回か振ったとき表が出る回数は、およそ $1/2$ と予想されるが、実際、10回程度振ったとき、いつも振った回数の $1/2$ だけ表が出るとは限らない。しかし、多数回振れば、表が出る回数は、 $1/2$ にだんだん近くなるであろう。このような現象は、私たちの身の回りにいろいろあり、たくさんのデータがあって初めてその様子が分かる現象である。ここでは、多数あるデータの取り扱いの基礎を解説する。

1章 順列・組み合わせ

- (1) 順列
- (2) 組み合わせ
- (3) 二項定理と組み合わせ

2章 確率

- (1) 専門用語と記号
- (2) 和の法則
- (3) 乗法定理
- (4) 余事象の定理
- (5) ベルヌイ試行
- (6) メレの臨界値

3章 確率変数と確率分布

- (1) 離散型確率変数
- (2) 連続型確率変数
- (3) 確率の平均
- (4) 分散・標準偏差
- (5) 確率変数の変換

4章 代表的な確率分布

- (1) 二項分布
- (2) 二項分布の平均・分散・標準偏差
- (3) 大数の法則
- (4) 正規分布

- (5) 標準化正規分布
- (6) 標準化正規分布とその応用

5章 データの整理

- (1) 頻度分布
- (2) 頻度分布表
- (3) 累積分布関数
- (4) 資料の代表値

〔教科書〕

勝野恵子著『確率・統計学入門』八千代出版

〔参考書〕

福井幸男著『知の統計学』共立出版

基礎統計学Ⅱ

2単位 秋学期
中野 文平

〔授業科目の内容〕

基礎統計学Ⅰでは確率の基礎とデータ整理まで学んだので、後期では体重と身長の関係などの扱い方、シミュレーション実験の基礎としての乱数の発生と使い方、標本調査の話などを解説する。基礎統計学Ⅰを学んでいることを前提として進める。

6章 相関関係

- (1) 共分散
- (2) 相関関係
- (3) 相関係数
- (4) 回帰直線

7章 確率現象のコンピュータシミュレーション

- (1) 乱数とは
- (2) 一様乱数
- (3) 正規乱数
- (4) 二項乱数
- (5) Excelを用いた様々な乱数の発生と分布の作成

8章 母集団と標本

- (1) 母集団
- (2) 標本調査
- (3) 確率変数の一次結合の平均と分散
- (4) 中心極限定理

9章 推定

- (1) 点推定
- (2) 不偏推定量
- (3) 母平均の区間推定
- (4) t分布
- (5) 母比率の区間推定
- (6) カイ自乗分布
- (7) 母分散の区間推定

10章 仮説検定

- (1) 帰無仮説
- (2) 片側検定と両側検定
- (3) 平均値の検定

〔教科書〕

勝野恵子著『確率・統計学入門』八千代出版

数学Ⅰ

〔微分法と積分法〕

2単位 春学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

連続型の変数により記述される量があるとき、それが変化していく状態を調べるのに微分法は欠くことの出来ない道具である。微分法は曲線に接線を引くという問題から生じたが、力学における速度や加速度の表現に用いられて以来その重要性が認められた。

長さ、面積、体積などを求めるいわゆる求積法は、ずいぶん昔からいろいろと考えられている。17世紀にニュートンとライプニッツにより微分法が発見される以前の求積法では、個々の場合に工夫が必要であった。ところが、微分法の逆算法を用いれば求積問題が統一的に解けることがわかり、それによって求積法が長足の進歩を遂げた。微分法の逆算法が積分法であり、積分法は求積問題だけでなく多くの問題を解決するのに利用される。(この文章は下記の教科書第3章からの引用です。)

微分法と積分法について基本的な力を身につけることが本講義の目標です。

〔教科書〕

〔文科系の数学〕(第4版) 渡部隆一 / 深見哲造 共著
森北出版

〔参考書〕

〔解析入門〕(岩波全書) 田島一郎 著 岩波書店

数学Ⅱ

〔線形代数学 (ベクトル、行列式と行列)〕

2単位 秋学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

社会科学における数学的モデルでは、1つの数値でなく、いくつかの数値の組によって表現される量がしばしば登場する。そのような量はベクトルで表し、日常接している平面や空間に当てはめて考えると直観的でわかりやすい。ベクトルの項では、まず平面ベクトルと空間ベクトルについて学び、それを用いて基本的な図形の方程式やその性質を調べることにする。

ベクトルにつづいて、連立1次方程式、行列式、行列についての基礎的な知識を順を追って学んでいく。直線や平面の方程式は変数についての1次式で表される。多くの変数の間の1次式で表されるような関係は、それらの変数の間の関係を考える際に基礎的で重要なものである。線形代数を英語ではlinear algebraというが、linearには1次式の1次という意味もある。線形代数の知識が数学のいろんな場面で使われるのも当然といえる。(この文章は下記の教科書第4章、第5章からの引用です。)線形代数について基本的な力を身につけることが本講義の目標です。

〔教科書〕

〔文科系の数学〕(第4版) 渡部隆一 / 深見哲造 共著

森北出版

〔参考書〕

「初学者のための線形代数入門」光 道隆 著 培風館

数学Ⅲ

「行動科学における数学（集合論）」 2単位 春学期
松岡 勝男

〔授業科目の内容〕

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

〔教科書〕

特に指定しません。

数学Ⅳ

「行動科学における数学（エントロピーとマルコフ連鎖）」 2単位 秋学期
松岡 勝男

〔授業科目の内容〕

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

〔教科書〕

特に指定しません。

統計学Ⅰ

「データの視覚的呈示法と読み取り方」 2単位 春学期
広田 すみれ

〔授業科目の内容〕

IT社会において、数量的なデータの理解やコンピュータによるその計量的分析は必須の教養となりつつあ

る。統計学はその基礎となるものだが、文系にとっては数学の一分野としての印象が強く、敬遠しがちな傾向がある。そこで、本科目は「文系のための」社会科学の実証的研究の基礎としての立場で講義を行う。内容は法学部の学生が調査・分析を行う際の入門的知識として、データ収集とデータの基本的なまとめ方を中心とする。また、雇用や犯罪などの社会統計、マス・メディアの記事などを例に、データの読み取りや嘘、図表による効果的呈示法など、データの解説・記述の基礎を視覚的に示しながら講義する。

〔教科書〕

広田すみれ「読む統計学 使う統計学」慶應義塾大学出版会. (2005)

〔参考書〕

Tufte, E R. 「Visual explanation」 Graphic Express. (1997)

Tufte, E R. 「The visual display of quantitative information」 Graphic Express. (2001)

ハンス・ザイゼル「数字で語る —社会統計学入門—」, 新曜社. (2005)

統計学Ⅱ

「データの記述と予測、推測の基礎」 2単位 秋学期
広田 すみれ

〔授業科目の内容〕

インターネットの普及により、数値で表現された定量情報を直接入手できる機会が大幅に増大し、この莫大なデータをコンピュータにより適切に処理・理解し、有効利用する能力の重要性も飛躍的に高まっている。本講義では、人口・雇用・環境などの社会統計や国際統計を利用しながら、調査や実験において収集されるデータを記述・理解する方法について、統計学Ⅰよりやや踏み込んで、具体的な手法を説明する。またコンピュータでこれらの手法を実行する方法についても紹介する。受講生諸君には「データを解説する楽しみ」を知ってほしい。

〔教科書〕

広田すみれ 読む統計学 使う統計学. 慶應義塾大学出版会. (2005)

〔参考書〕

鳥居泰彦 はじめての統計学. 日本経済新聞社. (1994)

鷺尾泰俊 日常のなかの統計学. 岩波書店. (1983)

Mendenhall, W. & Beaver, B J. Introduction to probability and statistics (9th ed.). Duxbury Press. (1994)

統計学Ⅲ

「推測統計学の基礎」 2単位 春学期
大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計学の基礎知識（記述統計・確率分布）を持つ学生を対象に、推測統計の論理と基本的な統計検定の手法を

解説します。ばらつきを持ったデータを用いてどのようにして事象の白黒を判断できるのかという検定の論理を理解し、実際の個々の検定手法の使い方を実習を通じて身につけてもらうことを目指します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

P.G.ホーエル著、「初等統計学」(培風館、1981、1,650円)
白旗慎吾著「統計解析入門」(共立出版、1992、2,400円)
その他、講義内で適宜紹介します。

統計学IV

〔多変量解析の基礎〕

2単位 秋学期

大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計検定の基礎知識を持つ学生を対象に、より複雑で多数のデータに対しておこなう多変量解析の主な手法について、その論理を解説し、Excelを用いて計算の実習をおこないます。また、SPSSによる実習を通して、どのようなデータがあるときに、どの分析法を選び、どうやって分析をおこない、どのように結果を解釈するのかについても学んでもらいます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

田中豊・脇本和昌著、「多変量統計解析法」(現代数学社、1983、2,900円)
その他、講義内で適宜紹介します。

情報処理 I / 情報処理 II

〔学部で必要な情報処理およびエクセルを使った統計処理の基礎〕

各2単位 春学期 / 秋学期

恩田 憲一

〔授業科目の内容〕

これからの大学生活や社会に出てからも役に立つ実践的なコンピュータリテラシーの習得を目標として、インターネットとプレゼンテーション、そしてデータ処理に重点を置いた情報処理の講義と実習を行います。この科目では、日吉ITCのPCを使用して、電子メール、Web制作、ワードプロセッサ、プレゼンテーション、表計算など、様々な応用プログラムの使い方を学習します。また表計算の授業では、相関や回帰分析など統計学の基礎的な事項や、調査結果の分析に用いられる多変量解析など、法学部の学生としてやがて必要となるデータ処理について、表計算ソフトのExcelを用いた実習を行います。

この科目では、理論と実践の両面から学ぶ事により、「WordとExcelの深い使い方」と「統計処理に関する基礎知識」、そして「ネットとプレゼンテーションに関する正しい知識」の習得を目指しています。

〔教科書〕

講義のはじめに指示します。

〔参考書〕

講義の進行に従い、適宜紹介します。

情報処理 I / 情報処理 II 各2単位 春学期 / 秋学期
木元 宏次

〔授業科目の内容〕

大学のコンピュータを利用して、アプリケーションプログラムの使い方を学びつつ、コンピュータの仕組みや社会との関わり、倫理的注意等についても理解する。各アプリケーションプログラムの使い方自体を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用した情報の獲得、整理、加工、さらには伝達、発信するための基礎知識を理解することが主目的である。また、インターネット時代の今日、ネットワーク上でのトラブルや被害にあわないために、情報セキュリティの基礎知識についても学んでゆく。

〔教科書〕

講義のはじめに指示する。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 I

2単位 春学期

島田 由美子

〔授業科目の内容〕

日吉ITCのPCを利用して、法学部において必要となる情報処理技術について、講義と演習を通して身につけてもらうことが本講義の目的である。授業では、コンピュータの使い方について、実際にコンピュータを操作しながら身につけていってもらうが、それにとどまらず、「情報」とは何か、「情報」の見方、収集、分析の仕方などにも言及することにする。

〔教科書〕

特に教科書としては指定しない。講義中に講義内容に関するプリントを配布する。

〔参考書〕

山本 喜一著 「入門 情報処理」 JB企画

そのほか、コンピュータの操作に関する参考書、講義内容の理解を深めるために必読書を講義中に必要に応じて指示する。

情報処理 II

2単位 秋学期

島田 由美子

〔授業科目の内容〕

春学期の情報処理 I の内容を受けて、法学部において必要となる情報処理技術のうち、発展的な内容について、講義と演習を通して身につけてもらうことが本講義の目的である。授業では、「情報」の分析の仕方から、プレゼンテーションの方法について学び、実際に経験してもらう。さらに、ホームページの作成を通して、情報の発信についての経験を積んでもらう。

〔教科書〕

特に教科書としては指定しない。講義中に講義内容に

関するプリントを配布する。

〔参考書〕

山本 喜一著 「入門 情報処理」 JB企画

そのほか、コンピュータの操作に関する参考書、講義内容の理解を深めるために必読書を講義中に必要に応じて指示する。

情報処理Ⅰ／情報処理Ⅱ 各2単位 春学期／秋学期
遠山 朋子

〔授業科目の内容〕

パソコンで使用するワープロなどのソフトウェアの使い方を学びながら、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを理解する。それぞれのソフトウェアの使い方を学ぶこと自体が目的ではなく、コンピュータとインターネットを駆使して情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達する能力を身につけ、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方以外にも、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、の仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションスキルについても理解することが大切である。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理Ⅰ／情報処理Ⅱ 各2単位 春学期／秋学期
鼠屋 将志

〔授業科目の内容〕

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのみではなく、コンピュータの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。基本的に毎回、ITに関する時事問題の紹介・解説も行うので、新技術や世の中でのITの流れなどについて知識を得てもらうことも狙いとしている。

〔教科書〕

基本的には指定なし。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理Ⅰ／情報処理Ⅱ 各2単位 春学期／秋学期
松永 賢次

(情報処理Ⅰ)

〔授業科目の内容〕

コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための情報処理の基礎知識を学ぶ。実践的な実習を通して、それをこれからの大学生活や社会に出てからも役立てられるようにすることを目的とする。コンピュータやネットワークの仕組み、利用する上での様々な注意(情報倫理、著作権、セキュリティ、なりすまし、など)についてもあわせて学習していく。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

(情報処理Ⅱ)

〔授業科目の内容〕

情報処理Ⅰで身につけた情報処理能力を活用して、より実践的な情報処理活動ができるようにする。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理Ⅲ 2単位 春学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

この授業では、表計算ソフト(Excel)の基本的な使用方法に関して学ぶ。表計算ソフトは、簡単な計算から、統計分析まで多くの用途に用いることができる。この授業では、初歩的な計算と関数の使い方、各種グラフの作成の仕方について習得する。また、授業期間内の後半では、受講生各自に簡単なプレゼンテーションをしてもらうことを予定している。

〔成績評価方法〕

出欠とレポート。

情報処理Ⅳ 2単位 秋学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

この授業では、表計算ソフト(Excel)の基礎を踏まえて高度な使用方法に関して学ぶ。内容はより高度な関数を用いたデータ加工や、より複雑なグラフ作成である。Excelは、簡単な計算から、統計分析まで多くの用途に用いることができる。しかし現在では、難解な科学計算は専門的なソフトウェアを用いることが多い。しかし、データ作成に関しては、Excelを用いることは頻繁に行われる。このように、Excelは表計算ソフトとしての役割の他に、他の演算処理・統計分析ソフトウェアに対するデータ加工の役割を持っている。この授業では、より専門的なソフトウェアへの橋渡しとしてのExcelの機能にも注目していきたい。

●自然科学科目

自然科学特論 I

「21世紀を生きるために知っていたい化学」2単位 春学期
志村 正

〔授業科目の内容〕

宇宙が誕生したはるか昔から現在まで、そしてこれから先も永遠に、自然科学はきわめて重要な役割を担い続けています。時間の長さから考えれば、最も大切な学問分野であるといっても過言ではありません。しかし、その内容は残念ながら科学者の中だけで取り扱われていて、なかなか一般の人々にまで伝わっていないのが実情です。

この授業では、数ある自然科学分野の中から化学を中心に将来それを専門としない法学部の学生諸君に対して、21世紀を生きるために是非知っておいていただきたい知識をできるだけ分かりやすく講義します。併せて、自然科学的な発想力と思考法を学習していただくと考えています。

〔教科書〕

講義資料はwebサイト(URLは授業でお知らせします)にアップロードする予定です。

自然科学特論 I

「生物多様性の意味—亜熱帯圏の生物達を中心に—」
2単位 春学期
秋山 豊子

〔授業科目の内容〕

この地球上には300万種から数千万種といわれる動植物が生存しています。それらは多様な環境に適応して、食べ物を得、分解消化して、成長し、次世代を作っていきます。また、お互いに食物連鎖でつながり、生態系を作っています。この授業では、原始生命が生まれて38億年といわれる現在の地球にこの豊かな生物多様性が見られるまでの生き物の歴史を概説し、生物多様性の意味とその維持の重要性について考えていきます。特に、亜熱帯圏の生物達に焦点を当てて、個々の生物学的特徴から全体の生態系を構成するかかわりなどを解説します。「生物の多様性」の意義の理解や、「持続可能な地球」のために何をすべきかを学ぶことが最終目的です。マングローブ林や亜熱帯圏特有の生物達について特別招聘講師にも講義を担当してもらう予定です。希望者には、夏休みに西表島への課外授業（マングローブ林の中でのフィールドワーク、サンゴ礁の海でのシュノーケリング、亜熱帯林の中での観察など）も計画しています。これまでの生物学の知識は問いませんが、亜熱帯圏の生物学や生物多様性に関心がある学生に履修を勧めます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

一般的な生物学的知識には「“生きている”ってどう

いうこと—生命の仕組みを探る生物学—」種田保穂・秋山豊子 培風館 2006年刊行

自然科学特論 II

「自然界の資源から有用な材料へ」 2単位 秋学期
小野 雅之

〔授業科目の内容〕

高校化学でもなじみのある「金属のイオン化傾向」を念頭に置きながら、金属の製法や性質について、実操業の体験などを交えて解説します。併せて金属の歴史、最近注目の金属についても解説します。

〔教科書〕

特に使用しません。資料は適宜配付します。

〔参考書〕

富永博夫・櫻井宏・白田利勝著『資源の化学』、新化学ライブラリー：大日本図書

その他

法律学科

2008・2007年度入学者参照

※2008・2007年度入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2008・2007年度入学者の春学期科目名	2008・2007年度入学者の秋学期科目名
法学I(憲法を含む)	法学II(憲法を含む)
憲法(総論・人権)I	憲法(総論・人権)II
民法(総論)I	民法(総論)II
刑法(総論)I	刑法(総論)II
法制史概論I	法制史概論II
法学演習(民法)(春)	法学演習(民法)(秋)
	法学演習(憲法)(秋)
法学演習(刑法)(春)	法学演習(刑法)(秋)
法学演習(刑事法)(春)	法学演習(刑事法)(秋)
憲法(統治)I	憲法(統治)II
刑法(各論)I	刑法(各論)II
民法(物権法)I	民法(物権法)II
民法(債権各論)I	民法(債権各論)II

2006・2005年度入学者参照

※2006・2005年度入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2006・2005年度入学者の春学期科目名	2006・2005年度入学者の秋学期科目名
法学I(憲法を含む)	法学II(憲法を含む)
憲法IA	憲法IB
民法IA	民法IB
刑法IA	刑法IB
法制史I(基礎)	法制史II(基礎)
民法演習IA	民法演習IB
憲法IIA	憲法IIB
刑法IIA	刑法IIB
民法IIA	民法IIB
民法IIIA	民法IIIB
民法演習IIA	民法演習IIB

※2004年度以前入学者は、半期科目の履修はできません。

法学I(憲法を含む) *2005年度以降入学者

法学(憲法を含む)(春学期) *2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

池田 真朗

〔授業科目の内容〕

いわゆる法学一般に属する講義も行うが、第1学年の前期ということで、学生生活に密着した形での民事系科目の導入を講義し、秋学期分の太田教授の講義とあわせてトータルな法学講義となることをめざす。

〔教科書〕

池田真朗他著『法の世界へ』(第4版)有斐閣

〔参考書〕

池田真朗著『スタートライン民法総論』日本評論社

法学II(憲法を含む) *2005年度以降入学者

法学(憲法を含む)(秋学期) *2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

太田 達也

〔授業科目の内容〕

大別して、法源論、司法制度論、立法論、比較法論について、順次、講義をする。

〔教科書〕

教科書は指定せず、講義の内容毎に下記の参考書などを利用する。

〔参考書〕

森征一＝岩谷十朗『法と正義のイコノロジー』慶應義塾大学出版会。

団藤重光『法学の基礎』有斐閣。

市川正人＝酒巻匡＝山本和彦『現代の裁判』有斐閣アルマ。

中島誠『立法学一序論・立法過程論』法律文化社。

法学I(憲法を含む) *2005年度以降入学者 2単位

法学(憲法を含む) *2004年度以前入学者 4単位

秋学期集中

霞 信彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。本講義では、まずわが国において「法」を学習するために必要な諸種の基本情報を提供したいと思う。すなわち、法典近代化の経緯、法律関係基本文献、「六法」の利用方法、法と言葉の諸問題等の内容を講じるつもりである。

〔教科書〕

霞信彦「法学講義ノート第三版」(慶應義塾大学出版会)

授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること(ただし最初の授業において「六法」についてのガイダンスをするので、それを聞いてから選択をすることをすすめる)

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する。

法学II(憲法を含む) *2005年度以降入学者 2単位

法学(憲法を含む) *2004年度以前入学者 4単位

秋学期集中

霞 信彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、「法学I」に連続し、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスター

トにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。ここでは、法の存在形式、法の種類、法の効力、法の解釈と適用等について、逐次述べていきたいと思う。併せて、現行司法制度の概要や今回の司法制度改革の内容（裁判員制および法曹養成を中心に）についても言及するつもりである。受講を通じて、学生諸君の「法」への、より強い興味が喚起できればと望んでいる。

〔教科書〕

霞信彦「法学講義ノート第三版」（慶應義塾大学出版会）

授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること。

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する。

憲法（総論・人権）Ⅰ／憲法（総論・人権）Ⅱ

*2008・2007年度入学者

憲法ⅠA／憲法ⅠB*2006・2005年度入学者

憲法Ⅰ*2004年度以前入学者

「憲法原理と基本的人権」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

小林 節

〔授業科目の内容〕

国家生活の基本法たる憲法の基本原則とその憲法が私達に保障している基本的人権について、標準的な見解を体系的に語る。

〔教科書〕

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

〔参考書〕

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤！』KKベストセラーズ

憲法（統治）Ⅰ*2007年度入学者

憲法ⅡA*2006・2005年度入学者

憲法Ⅱ（春学期）*2004年度以前入学者

「国家権力を管理する法」 2単位 春学期
4単位 通年

小林 節

〔授業科目の内容〕

立法権と立法過程、政党
行政権と行政機構
財政

〔教科書〕

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

憲法（統治）Ⅱ*2007年度入学者

憲法ⅡB*2006・2005年度入学者

憲法Ⅱ（秋学期）*2004年度以前入学者

「国家権力を管理する法」 2単位 秋学期
4単位 通年
小林 節

〔授業科目の内容〕

司法権と司法過程
憲法訴訟
地方自治

〔教科書〕

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

民法（総論）Ⅰ*2008・2007年度入学者

民法ⅠA*2006・2005年度入学者

民法Ⅰ（春学期）*2004年度以前入学者

「民法総則（前半）」 2単位 春学期
4単位 通年
鹿野 菜穂子

〔授業科目の内容〕

民法1は、民法の最初の授業であるから、民法とりわけ財産法全般に関する重要かつ基本的な事項を取り扱う。より具体的には、まず、民法の意義と基本原理を明らかにし、その上で、民法第1編「総則」（第1条から第174条の2まで）についての講義を進める。取り扱う主な内容は、権利の主体、権利の客体、錯誤・詐欺・強迫などによる契約の効力、無効と取消しなどである。法人については、別に「団体法」の講義が設置されているので、民法1では詳しくは取り扱わない。代理や時効については、民法2で取り扱うことを予定している。

民法総則では、抽象度の高い概念が多く出てくるが、1年生を対象としているので、講義はできるだけ多くの事例を取り上げながら理解を促すよう努めたい。

〔教科書〕

安井・後藤・中田・鹿野著『プリメール民法1[第3版]』（法律文化社・2008年）

〔参考書〕

- ①川井健ほか編『新判例マニュアル民法Ⅰ 総則』（三省堂）
- ②内田貴『民法Ⅰ』（東京大学出版会）

民法（総論）Ⅱ*2008・2007年度入学者

民法ⅠB*2006・2005年度入学者

民法Ⅰ（秋学期）*2004年度以前入学者

「民法総則（後半）」 2単位 秋学期
4単位 通年
鹿野 菜穂子

〔授業科目の内容〕

民法1Bでは、民法ⅠAにおける授業を踏まえ、民法第1編「総則」の後半部分について講義する。取り扱う主

な内容は、代理・時効・信義則と権利濫用である。

代理や時効をめぐるのは解釈上の問題点が多いが、それらを、事例問題などを通してできるだけ分かりやすく説明していきたい。

〔教科書〕

安井・後藤・中田・鹿野著『プリメール民法1〔第3版〕』（法律文化社・2008年）

〔参考書〕

- ①川井健ほか編『新判例マニュアル民法Ⅰ 総則』（三省堂）
- ②内田貴『民法Ⅰ』（東京大学出版会）

民法（総論）Ⅰ *2008・2007年度入学者

民法ⅠA *2006・2005年度入学者

民法Ⅰ（春学期） *2004年度以前入学者

「民法総則」 2単位 春学期
4単位 通年

平野 裕之

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分（1条から174の2条まで）の部分を講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に努めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『民法総則（第2版）』（日本評論社）を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選Ⅰ』（百選と俗称されるシリーズ。有斐閣）、『新判例マニュアル民法1総則』（三省堂）、『判例講義民法Ⅰ総則・物権』（悠々社）は解説つきであるが、『民法判例集（総則・物権）』（有斐閣）は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法（総論）Ⅱ *2008・2007年度入学者

民法ⅠB *2006・2005年度入学者

民法Ⅰ（秋学期） *2004年度以前入学者

「民法総則」 2単位 秋学期
4単位 通年
平野 裕之

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分（1条から174の2条まで）の部分を講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に努めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『民法総則（第2版）』（日本評論社）を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選Ⅰ』（百選と俗称されるシリーズ。有斐閣）、『新判例マニュアル民法1総則』（三省堂）、『判例講義民法Ⅰ総則・物権』（悠々社）は解説つきであるが、『民法判例集（総則・物権）』（有斐閣）は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法（物権法）Ⅰ *2007年度入学者

民法ⅡA *2006・2005年度入学者

民法Ⅱ（春学期） *2004年度以前入学者

「物権法」 2単位 春学期
4単位 通年
花房 博文

〔授業科目の内容〕

本講義は、前・後期を通じて民法典第二編「物権」を対象とした講義です。春学期は、第一章「総則」から第六章「地役権」までを範囲とし、物権の分類、物権変動、登記の機能や、所有権（共有も含む）・占有権・用益物権等に関する効力等を説明します。

前半（春学期）の講義では、特に、①排他的な支配権を確立させるための前提となる制度、②物権変動における静的安全と動的安全の調和、③共同所有・共同利用関

係の法理、④多数の権利者間における権利の優先関係を決定する基準、等への理解を深めていただき、秋学期以降の講義へと繋げたいと考えています。

〔教科書〕

初回の講義で指示します。また、理解状況をみながらレジュメを配布したり、適宜指示したいと考えています。

〔参考書〕

淡路・鎌田他編『民法Ⅱ—物権法（3版）』有斐閣Sシリーズ（有斐閣、2005年、1,900円）

その他、適宜指示します。

民法（物権法）Ⅱ *2007年度入学者

民法ⅡB *2006・2005年度入学者

民法Ⅱ（秋学期） *2004年度以前入学者

「—担保法の基本構造を理解する—」 2単位 秋学期
4単位 通年

齋藤 和夫

〔授業科目の内容〕

①民法典中の担保物権、②民事執行法による実行手続、が二つの柱となります。

〔教科書〕

齋藤和夫「レアブーフ民法Ⅲ（担保物権法）」中央経済社・06年

〔参考書〕

随時、指示します。

浦野編「基本法コンメンタール・民事執行法（第5版）」（担保権の実行：齋藤）・日本評論社・2004年

民法（物権法）Ⅰ *2007年度入学者

民法ⅡA *2006・2005年度入学者

民法Ⅱ（春学期） *2004年度以前入学者

「物権法の基礎と諸問題」 2単位 春学期
4単位 通年

武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

民法の物権法に関する講義を行う。当該科目では、物権法入門および総論から、物権変動、占有の意義と機能、所有権、用益物権までを主要な講義対象とする。物権法に関する基本的理解の確立と問題思考力の養成に資する授業を目指している。なお、講義は、担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

〔教科書〕

上記の通り、講義は担当者作成によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、森泉章＝武川幸嗣『民法入門 物権法』第3版（日本評論社）を挙げておく。

〔参考書〕

同上

民法（物権法）Ⅱ *2007年度入学者

民法ⅡB *2006・2005年度入学者

民法Ⅱ（秋学期） *2004年度以前入学者

「担保物権法の基礎と諸問題」 2単位 秋学期
4単位 通年
武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

民法典第二編・物権編のうち、担保物権にあたる部分を講義対象とする。民法典に規定されている担保物権のみならず、実務上重要な担保手段についても取り上げる予定である。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

〔教科書〕

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、森泉章＝武川幸嗣『民法入門 担保物権法』第3版（日本評論社）を挙げておく。

〔参考書〕

同上

民法（債権各論）Ⅰ *2007年度入学者

民法ⅢA *2006・2005年度入学者

民法Ⅲ（春学期） *2004年度以前入学者

「契約および不法行為の基礎理論（第1部）」 2単位 春学期
4単位 通年
片山 直也

〔授業科目の内容〕

いわゆる「債権各論」中、「契約総論」および「財産権移転型契約（贈与・売買・交換）」の講義を行う。

〔教科書〕

笠井修＝片山直也『弘文堂NOMIKA4-1・債権各論Ⅰ』（2008年刊行予定）。同テキストが刊行されるまでは担当教員が作成したレジュメで補う。

〔参考書〕

初回の講義に際し、解説・紹介する。

民法（債権各論）Ⅱ *2007年度入学者

民法ⅢB *2006・2005年度入学者

民法Ⅲ（秋学期） *2004年度以前入学者

「契約および不法行為の基礎理論（第2部）」 2単位 秋学期
4単位 通年
片山 直也

〔授業科目の内容〕

いわゆる「債権各論」中、「契約各論（財産権移転型契約を除く）」、「事務管理」、「不当利得」および「不法行為」の講義を行う。

〔教科書〕

笠井修＝片山直也『弘文堂NOMIKA4-1・債権各論Ⅰ』

(2008年刊行予定)。前田陽一『弘文堂NOMIKA4-2・債権各論Ⅱ』(2007年刊行済)。両テキストの刊行が完結するまでは、担当教員が作成したレジュメで補う。

〔参考書〕

初回の講義に際し、解説・紹介する。

民法（債権各論）Ⅰ * 2007年度入学者

民法ⅢA * 2006・2005年度入学者

民法Ⅲ（春学期） * 2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

北居 功

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の前半部分を扱う。主として、契約法の基本的なモデルを習得することとなる。具体的には、契約総論と不当利得とを扱う予定でいる。

〔教科書〕

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定でいる。なお、各自六法を持参すること。

〔参考書〕

参考書は、授業の最初に説明する。

民法（債権各論）Ⅱ * 2007年度入学者

民法ⅢB * 2006・2005年度入学者

民法Ⅲ（秋学期） * 2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

北居 功

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の後半部分を扱う。契約法の各論と不法行為法の基本的なモデルを習得することとなる。

〔教科書〕

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定でいる。なお、各自六法を持参すること。

〔参考書〕

参考書は、授業の最初に説明する。

刑法（総論）Ⅰ * 2008・2007年度入学者

刑法ⅠA * 2006・2005年度入学者

刑法Ⅰ（春学期） * 2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と犯罪論」

2単位 春学期

4単位 通年

伊東 研祐

〔授業科目の内容〕

本講義は、刑法（総論）Ⅱないし刑法Ⅰ（秋学期分）／刑法ⅠBと実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関して詳細に検討し、

確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、現代社会における刑法犯罪論の基礎知識を学習し、自分なりの体系論の根幹を固めることを第2の目的とする。今後、刑法（各論）Ⅰ&Ⅱ・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

〔教科書〕

高橋則夫・伊東研祐・井田良・杉田宗久『テキスト刑法総論 [第2版]』、(法科大学院テキスト) 日本評論社、2007年 別冊ジュリスト刑法判例百選Ⅰ総論 [第6版]、有斐閣、2008年春近刊予定

〔参考書〕

伊東研祐『刑法総論』、新世社、2008年2月（発行予定）

刑法（総論）Ⅱ * 2008・2007年度入学者

刑法ⅠB * 2006・2005年度入学者

刑法Ⅰ（秋学期） * 2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と犯罪論」

2単位 秋学期

4単位 通年

伊東 研祐

〔授業科目の内容〕

本講義は、刑法（総論）Ⅰないし刑法Ⅰ（春学期分）／刑法ⅠAと実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関して詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、現代社会における刑法犯罪論の基礎知識を学習し、自分なりの体系論の根幹を固めることを第2の目的とする。今後、刑法（各論）Ⅰ&Ⅱ・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

〔教科書〕

高橋則夫・伊東研祐・井田良・杉田宗久『テキスト刑法総論 [第2版]』、(法科大学院テキスト) 日本評論社、2007年 別冊ジュリスト刑法判例百選Ⅰ総論 [第6版]、有斐閣、2008年__月（発行予定）

〔参考書〕

伊東研祐『刑法総論』、新世社、2008年2月（発行予定）

刑法（総論）Ⅰ／刑法（総論）Ⅱ * 2008・2007年度入学者

刑法ⅠA／刑法ⅠB * 2006・2005年度入学者

刑法Ⅰ * 2004年度以前入学者

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

井田 良

〔授業科目の内容〕

刑法総論の概要とその基本的な考え方を、正確かつ確実に理解してもらえるような講義をしたい。講義の内容

は、「犯罪論」が中心となるが、重要な論点については、可能な限り、掘り下げた検討を加えたい。判例と学説に見られる問題解決の論理を、確実に習得してもらえ内容とすることに力を注ぎたい。

〔教科書〕

井田良『講義刑法学総論』（有斐閣，2008年6月刊行予定）。当面の間は、毎回、授業内容の概要を記したプリント（レジュメ）を配布する予定である。

〔参考書〕

入門書としては、井田良『基礎から学ぶ刑事法〔第3版〕』（有斐閣，2005年）を薦める。

刑法（各論）Ⅰ * 2007年度入学者

刑法ⅡA * 2006・2005年度入学者

刑法Ⅱ（春学期） * 2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

鈴木 左斗志

〔授業科目の内容〕

「刑法典第2編罪」に規定されている個別の犯罪の検討

〔教科書〕

西田典之・山口厚・佐伯仁志編『判例刑法各論』（有斐閣）

〔参考書〕

最初の講義で説明する。

刑法（各論）Ⅱ * 2007年度入学者

刑法ⅡB * 2006・2005年度入学者

刑法Ⅱ（秋学期） * 2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

鈴木 左斗志

〔授業科目の内容〕

「刑法典第2編罪」に規定されている個別の犯罪の検討

〔教科書〕

西田典之・山口厚・佐伯仁志編『判例刑法各論』（有斐閣）

〔参考書〕

最初の講義で説明する。

刑法（各論）Ⅰ／刑法（各論）Ⅱ * 2007年度入学者

刑法ⅡA／刑法ⅡB * 2006・2005年度入学者

刑法Ⅱ * 2004年度以前入学者

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

和田 俊憲

〔授業科目の内容〕

刑法各論に関する判例・学説について解説します。

〔教科書〕

山口厚『刑法各論〔補訂版〕』（有斐閣）

西田典之=山口厚=佐伯仁志『判例刑法各論〔第4版〕』

（有斐閣）

法学演習（民法）（春） * 2008・2007年度入学者

民法演習ⅠA * 2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（春学期） * 2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

三谷 淳

〔授業科目の内容〕

重要判例を題材とした演習を通し、民法の理解と判例の読解力を深めます。

〔教科書〕

特に指定しません。

法学演習（民法）（秋） * 2008・2007年度入学者

民法演習ⅠB * 2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（秋学期） * 2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

三谷 淳

〔授業科目の内容〕

重要判例を題材とした演習を通し、民法の理解と判例の読解力を深めます。

〔教科書〕

特に指定しません。

法学演習（民法）（春） * 2008・2007年度入学者

民法演習ⅠA * 2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（春学期） * 2004年度以前入学者

「民法総則—実践のための基礎的理解」 2単位 春学期

4単位 通年

井上 能裕

〔授業科目の内容〕

弁護士として企業の総務・法務担当者と日常的に接する中で、法学部出身者の強みは民法の全般的な知識と、民法的なものの考え方を持っていることであるとの感を深くしています。また、民法総則はその後の物権法や債権法の理解の土台となるだけでなく、実務においてそれ単独で使うことも多い分野です。

このような考えのもと、実社会での適用場面、使われ方を常に意識しながら、民法総則分野（前半部分）における重要概念、論点の解説を行うとともに、重要判例・事例問題の分析・検討を通じて知識の定着と法的思考法の習得を目指します。実務家が担当する以上、当然のことながら、実務の話題にも極力触れていきたいと思えます。

履修者は初学者を想定していますが、毎回教科書のあらかじめ指定する範囲を通読の上、講義に臨むことが望ましいと考えます。

〔教科書〕

内田貴「民法Ⅰ（第3版）総則・物権総論」東京大学

出版会

「民法判例百選Ⅰ 総則・物権（第5版新法対応補正版）」有斐閣

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

法学演習（民法）（秋）＊2008・2007年度入学者

民法演習ⅠB＊2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（秋学期）＊2004年度以前入学者

「民法総則—実践のための基礎的理解」 2単位 秋学期
4単位 通年

井上 能裕

〔授業科目の内容〕

民法演習ⅠAに引き続き、民法総則分野（後半部分）における重要概念、論点の解説を行うとともに、重要判例・事例問題の分析・検討を通じて知識の定着と法的思考法の習得を目指します。

実務家が担当する以上、当然のことながら、実務の話題にも極力触れていきたいと思えます。

履修者は初学者を想定していますが、毎回教科書のあらかじめ指定する範囲を通読の上、講義に臨むことが望ましいと考えます。

〔教科書〕

内田貴「民法Ⅰ（第3版）総則・物権総論」東京大学出版会

「民法判例百選Ⅰ 総則・物権（第5版新法対応補正版）」有斐閣

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介します。

法学演習（民法）（春）＊2008・2007年度入学者

民法演習ⅠA＊2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（春学期）＊2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

河合 秀樹

〔授業科目の内容〕

判例を題材とした演習

〔教科書〕

最初の授業で説明します。

〔参考書〕

判例百選

法学演習（民法）（秋）＊2008・2007年度入学者

民法演習ⅠB＊2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（秋学期）＊2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

河合 秀樹

〔授業科目の内容〕

判例を題材とした演習

〔参考書〕

判例百選

法学演習（民法）（春）＊2007年度入学者

民法演習ⅠA＊2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（春学期）＊2004年度以前入学者

「物権」

2単位 春学期

4単位 通年

小坏 淳子

*第2学年対象

〔授業科目の内容〕

物権（担保物権を除く）を扱います。

一方通行の講義ではなく、具体的な事例や裁判例を用いて皆さんに考えていただき、理解を深めていただくことを目指します。

〔教科書〕

特に指定しませんが、各自何か1冊教科書を用意して、授業に合わせて読み進めてください。

なお、六法は必ず持参してください。

法学演習（民法）（春）＊2007年度入学者

民法演習ⅠA＊2006・2005年度入学者

民法演習Ⅰ（春学期）＊2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

菅野 智巳

*第2学年対象

〔授業科目の内容〕

主として物権法及び債権法の分野にかかわる事例を題材に、講義・議論・判例研究等を行うことにより、法律的なものの考え方、民法的な思考法を身につけることを目的とします。

あわせて物権法・債権法分野の基本的知識の習得を目指します。

更に、2年次では、民事訴訟実務の視点からの事例分析や民法の基本構造の検討もしていきたいと考えています。

金融法・担保法についても法律実務に関する話を適宜提供していきます。

現に機能している法現象の一端に触れてもらえればと考えています。

できるだけ受講生による議論の場を設けたいと考えています。

〔教科書〕

「民法判例百選Ⅰ」

「民法判例百選Ⅱ」他

詳細はガイダンスにて紹介します。

〔参考書〕

ガイダンスにて紹介いたします。

法学演習（民法）（春）＊2007年度入学者
 民法演習ⅡA＊2006・2005年度入学者
 民法演習Ⅱ（春学期）＊2004年度以前入学者
 「民法物権法を理解する。」 2単位 春学期
 4単位 通年
 菅原 万里子

＊第2学年対象

〔授業科目の内容〕

民法物権法について、授業時間前半では学部での講義を念頭においてその補習的な意味合いを含めた形で講義を行う。適宜リーディングケースとなる判例を中心に説明を加えていきたい。授業時間後半では、事例解決のための演習問題、実社会での役立つ法律問題についての演習をしていきたい。（春学期では物権法を予定し、秋学期では担保物権法を予定している。）

〔教科書〕

適宜指定する。

〔参考書〕

「民法判例百選Ⅰ」

「民法（2）物権」遠藤浩・川井健他編集 有斐閣

「民法講義Ⅱ 物権」近江幸治著 成文堂

法学演習（民法）（秋）＊2007年度入学者
 民法演習ⅡB＊2006・2005年度入学者
 民法演習Ⅱ（秋学期）＊2004年度以前入学者
 「担保物権」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 小唄 淳子

＊第2学年対象

〔授業科目の内容〕

担保物権（その理解に必要な範囲で債権を含む）を扱います。

一方通行の講義ではなく、具体的な事例や裁判例を用いて皆さんに考えていただき、理解を深めていただくことを目指します。

〔教科書〕

特に指定しませんが、各自何か1冊教科書を用意して、授業に合わせて読み進めてください。

なお、六法は必ず持参してください。

法学演習（民法）（秋）＊2007年度入学者
 民法演習ⅡB＊2006・2005年度入学者
 民法演習Ⅱ（秋学期）＊2004年度以前入学者
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 菅野 智巳

＊第2学年対象

〔授業科目の内容〕

事例演習を主に行う。

債権総論・担保物権法の分野についても扱う。

講師作成の事例問題を素材に受講生による議論を通じて検討することも行う。

〔教科書〕

民法判例百選Ⅰ

民法判例百選Ⅱ

〔参考書〕

ガイダンスにて紹介いたします。

法学演習（民法）（秋）＊2007年度入学者
 民法演習ⅡB＊2006・2005年度入学者
 民法演習Ⅱ（秋学期）＊2004年度以前入学者
 「担保物権法を理解する。」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 菅原 万里子

＊第2学年対象

〔授業科目の内容〕

民法担保物権法を学ぶ。

授業時間前半で補習的講義、授業時間後半は演習。演習は実務的なものから判例研究までバラエティをもって行いたい。

〔教科書〕

適宜指定する。

〔参考書〕

「民法判例百選Ⅰ」

「民法（3）担保物権」遠藤浩・川井健他編集 有斐閣

「担保物権法」高木多喜男著 有斐閣

「民法講義Ⅲ 担保物権」近江幸治著 成文堂

法学演習（憲法）（秋）＊2008・2007年度入学者
 2単位 秋学期
 小山 剛

＊第1学年を対象とします。

＊2007年度取得済の学生は履修不可。

＊2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

基本的人権を中心に、事例演習を行う。

毎回課題を設定し、全員で検討を加える。レポーター形式を採用するかどうかは、受講生と相談の上決めたい。

〔教科書〕

小山ほか編『憲法のレシピ』尚学社、2007年

〔参考書〕

適宜指示するが、以下の2冊をとりあえず挙げておく。

井上典之＝小山＝山本一（編）『憲法学説に聞く——ロースクール憲法』日本評論社、2004年

高橋ほか編『憲法判例百選Ⅰ（第5版）』有斐閣、2007年

法学演習（刑法）（春）*2008・2007年度入学者2単位 春学期
鈴木 左斗志

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

2年生を対象にして、刑法総論の主要問題を検討する。

〔教科書〕

初回の授業で説明する。

〔参考書〕

初回の授業で説明する。

法学演習（刑法）（秋）*2008・2007年度入学者2単位 秋学期
鈴木 左斗志

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

1年生を対象にして、刑法総論の主要問題を検討する。

〔教科書〕

初回の授業で説明する。

〔参考書〕

初回の授業で説明する。

法学演習（刑事法）（春）*2008・2007年度入学者**法学演習（刑事法）（秋）*2008・2007年度入学者**各2単位 春学期／秋学期
小池 信太郎

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本授業科目は、刑事法、とくに刑法総論に関する理解を深化させ、応用力を磨くことを目標としています。刑法総論の必修授業を履修中の1年生を主たる受講者として想定しますが、1年時の必修授業が消化不良に終わってしまったため「やり直したい」という2年生の履修も歓迎します（2007年度に本科目を履修済みの学生はご遠慮下さい）。

授業のスタイルは、受講生のニーズや習熟度等に応じて考えていこうと思っています。2007年度の例を挙げれば、指定教科書の一定範囲（および各回のテーマに関する学生向けの論文等）を予習してきてもらい、時には事例問題についてレポートを作成、提出してもらい（各学期2、3回）、それを踏まえて、学生との問答、学生同士のディスカッションをも交えた授業を行いました。さらに、自習を促して知識の定着を図り、法律家として必要な、制限された時間内における問題解決能力を身につけてもらうために、大小の試験（秋学期に2、3回）も実施しました。

各回で扱うテーマは、主に刑法総論の基本的な問題点から選んでいく予定です。2007年度は、春学期は、刑罰理論、罪刑法定主義、因果関係、不真正不作為犯、具体的事実の錯誤、違法性の基礎理論、同意傷害、秋学期は、

抽象的事実の錯誤、正当防衛と誤想防衛、共犯論入門、共謀共同正犯論などのテーマを取り上げました。また、進行度に応じて可能であれば、3年次に本格的に学習する刑事訴訟法（刑事手続法）の入門編を兼ねていきたいと思えます。2007年度は、秋学期の2回分を、刑事訴訟法入門に割り当てました。

なお、本授業科目は、「法学演習」（春学期）と「法学演習」（秋学期）に分かれています。事実上1つの科目として、受講生は春・秋両学期にわたって履修しているという前提で進めるつもりです。また、双方向の授業を機能させるべく、受講生の人数を制限することがありますので（上限20名程度）、履修希望者は、ガイダンス期間の授業に必ず出席するようにして下さい。

〔教科書〕

西田典之『刑法総論』（2006、弘文堂）および六法は、必ず購入のうえ、毎回の授業に携行して下さい。

〔参考書〕

課題ごとに指示します。

法学演習（民法）（秋）*2008・2007年度入学者

「民法重点事例演習（総則・物権・債権各論）」

2単位 秋学期

武川 幸嗣

*第2学年を対象とします。

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

1・2年次において履修されている民法総則・物権・債権各論を対象として、事例演習を通して主要な制度ないし問題点に関する理解を深めることを目的とする。講義内容の理解を確認するだけでなく、もう一步踏み込んで思考力の養成に努めたい。演習事例は予め配布し、授業に先立って各自で検討してくることを前提として演習を進める。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

同上。

法学演習（民法）（秋）*2008・2007年度入学者

「民法の考え方」

2単位 秋学期

北居 功

*第1学年を対象とします。

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本授業は、法学部法律学科1年生を対象に、春学期で学習した法律行為論を中心にして、民法の基本的な見方や考え方を具体的な判例やそれをめぐる議論を通じて習得できるようにすることに努める。具体的には、「人」が近代的な意味での人、市民や商人という階層の意味での人、消費者や事業者という現代的な意味での人と多様な観点で眺められるという意味、契約が人を拘束することの意味、反面でいえば、どのような契約が人を拘束できるのか、望まない契約が締結される場合にはどのよう

な救済が想定できるのか、さらに、法律行為を通じて財産が移転することの意味とそのメカニズムといったことを取り上げるテーマとして想定している。これらの問題を、判例を読むことを前提にして具体的な生活場面に引きつけて、具体的な問題点をより抽象的な問題へと昇華しつつ、民法が想定する規範内容に照らし合わせてみるという思考訓練を行う予定である。

〔教科書〕

とくに、教科書は指定しない。六法は必携である。

〔参考書〕

参考書や資料は、授業の中で具体的に指示することとする。

法律外国語演習（独）（秋）

*2007年度入学者で第2学年対象

2単位 秋学期
小山 剛

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本演習は、次の二つの部分から構成される。一つは、ドイツ憲法の概要を簡潔に紹介した独語論文の輪読である。もう一つは、日本語のドイツ判例集を通じて、リュート判決（人権の私人間効力論の通説である間接適用説が確立した判例）や薬局判決（日本の薬事法違憲判決に多大な影響を与えた）などの主要判例について学ぶことである。

第二外国語でドイツ語を選択していることが望ましいが、それ以外の者の履修も歓迎する。

〔教科書〕

プリントを配布する

〔参考書〕

適宜指示する。

法律外国語演習（仏）（春）

*2007年度入学者で第2学年対象

2単位 春学期
北澤 安紀

「フランス法文献の読み方」

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本演習では、フランス法に関する文献（法令・判例・論文）を読みながら、フランス法についての理解を深めることを目標とします。フランス法を理解するのに必要な基礎的知識および法律用語等を確認しながら、フランス語の比較的読み易い文献を熟読することで、フランス法の基礎的な文章を読解できるようになることを目指します。

〔教科書〕

受講者と相談の上、フランス語文献については、コピーして配布します。

〔参考書〕

参考書については、演習の中で必要に応じ紹介します。

法律外国語演習（英）（秋）

*2007年度入学者で第2学年対象

2単位 秋学期
尹 仁河

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本演習では、英語の法律用語を正確に理解し、法に関連する英文資料を正確に読む力を養うことを目標にします。

法学部法律学科において学ぶ憲法、民法、刑法などの基本概念・用語には、法律学独自の意味が付与されています。法律学は言葉を基礎としており、様々な法律用語の意味の正確な理解が基本となります。そのため、まず国内法をしっかりと丁寧に学ぶことが重要であり、法律外国語の学習はこの前提の上に成り立つと考えます。

外国の法律用語にも独自の意味が付与されています。辞書で直訳した語や日本の法律用語があてはまらない例が多々あり、意味の把握のためにはその国の法構造の理解も不可欠です。本演習では英文資料を丹念に読み日本語に訳して意味を正確に理解していく地道な訓練を行います。

〔教科書〕

特に指定せず、演習資料プリントを配布します。開講時に参考文献一覧を示します。

法学情報処理

2単位 秋学期
池田 真朗 原田 隆史 他

〔授業科目の内容〕

この講義においては、法学研究および生涯学習に必要な各種の学術情報源、情報処理方法、図書館利用法について説明するとともに、法学関係資料・文献の利用法、法学論文の書き方などについて解説する。各テーマにつき、本塾大学文学部の原田隆史（図書館・情報学専攻）、法学部法律学科の池田真朗、青木淳一ら（担当者には追加・変更があり得る）がそれぞれ講義を担当し、メディアセンター職員が基本的な文献検索ツールとリサーチの方法について説明を行う。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。なお、担当教員によっては授業で使用する資料等を以下のサイトにアップすることがあるので必要におうじて参照すること。

<http://www.slis.keio.ac.jp/~ushi/infolaw.html>

〔参考書〕

いしかわまりこ＝村井のり子＝藤井康子『リーガル・リサーチ〔第2版〕』（日本評論社、2005年）

団体法

「自然人以外の権利主体である法人その他の団体に関する法制度について」

2単位 春学期

阿久沢利明

〔授業科目の内容〕

人の人たるゆえんは、団体に結合することにあると言われるように、個人の限界を意識して、人と人とが重合して大きな力を発揮する団体の存在が歴史を支えてきたことも事実である。われわれは、自然人個人に対してもう一方の権利主体である法人を中心とした団体について、その存在の意義と内容および使命・課題を十分理解しておく必要があるであろう。

なお、民法が改正され、遅くとも平成20年から、非営利法人ないし公益法人は、主として特別法（「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」など）の定めによることになったので、これを中心にして講述したい。

〔教科書〕

開講時に明らかにしたい。

法制史概論Ⅰ＊2008・2007年度入学者**法制史Ⅰ（基礎）＊2006・2005年度入学者****法制史（基礎）（春学期）＊2004年度以前入学者**

「法と文化の歴史的展開」

2単位 春学期

4単位 通年

岩谷 十郎

〔授業科目の内容〕

日本の現行法システムの大部分は、明治時代以降の我が国の近代化過程において形成されたものである。しかもその制度的・思想的基幹部分は、その殆どが西欧諸国から導入されたものである。本講義では、特に日本における西法継受過程を中心に、法を歴史的・文化論的観点から語る枠組みを受講者に提示し、解釈学とは異なった方法の下に法を考える視点を学んでゆきたい。

具体的には、古来西洋や東洋では、法がどのようにイメージされてきたのか、様々な図像—絵画・彫刻・建築・他—を取り上げ、「書かれた法」のみならず「描かれた法」に着眼して、法を読み解く方法を提示する。特に西法の影響下で形成された近代の日本法との比較から、シンボルや諸表象を通して、法観念・法文化の異同に受講者の関心を啓いてゆきたい。

さらに本講義では、明治期の日本においてお雇い法律顧問の果たした役割にも注目して、これを紹介してゆく。歴史的・文化的に異なる日本において、西洋法の導入を試みた明治政府に雇用された「異文化の法律家」たちとは、どのような背景から来日し、どのような思想を有し、またどのような働きを実際におこなった者たちなのか。人物的なエピソードなども踏まえながら、歴史・人・法に関わる様々なトピックをお話したい。

そして最後に、本講義では、慶應義塾を場とした法学教育の歴史についても言及する。啓蒙家・教育者として名高い福澤諭吉ではあるが、彼の法思想についても解説

することにしたい。

〔教科書〕

森征一・岩谷十郎他編『法と正義のイコノロジー』慶應義塾大学出版会

安西敏三・岩谷十郎・森征一編『福澤諭吉の法思想』慶應義塾大学出版会

〔参考書〕

授業内で指示する。授業内ではプリントを配布する。

法制史概論Ⅱ＊2008・2007年度入学者**法制史Ⅱ（基礎）＊2006・2005年度入学者****法制史（基礎）＊2004年度以前入学者**

2単位 秋学期

4単位 通年

霞 信彦

〔授業科目の内容〕

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたり法との関わりを持つであろう学生諸君にとって、古代以来のわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考えられる。そこで本講義では、古代から近世に至る日本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。つまり学生諸君は、通史的に、わが国の法の流れを俯瞰することとなる。

さて、具体的な内容であるが、古代については、まず聖徳太子の手になるといわれる「憲法十七条」、大化改新後に示された、古代律令制発祥の原点ともいえるべき「改新詔」、さらには、中国法継受の結果わが国にもたらされた「律令」をとりあげ、その編纂過程や具体的な内容を概観する。次いで中世における武家社会の法として著名な鎌倉時代の「貞永式目」、室町時代開幕期に定められた「建武式目」、さらに、戦国大名が領国経営のために制定した戦国家法について、それらの特徴に言及するつもりである。近世では、江戸時代の「法」の代表的な存在として、幕府と大名との支配関係を詳らかにする「武家諸法度」および、幕府が自ら直接支配する地域におこなった「公事方御定書」の具体的な内容を明らかにしたい。

〔教科書〕

霞・漆原・浜野「日本法制史史料集」（慶應義塾大学出版会）

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する

法の基礎

2単位 春学期

小林 節	齋藤 和夫
坂原 正夫	鈴木千佳子
井田 良	安富 潔
藤原淳一郎	田村 次朗
内藤 恵	君嶋 祐子
六車 明	明石 欽司
〔学習指導〕太田 達也	武川 幸嗣

担当者は変更になることがある

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

本講は、法学部及び大学院法務研究科の専任教員によるオムニバス形式の講義である。

担当教員が、各法分野の概要や関連分野との関係、学習方法、将来の進路との関わりなどについて講義する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

各教員から講義において指示する。

国際化と法*2007年度入学者で第2学年対象

2単位 秋学期

明石 欽司 (コーディネーター)	
尹 仁河	小山 剛
犬伏 由子	フィリップ・オステン
太田 達也	君嶋 祐子
山手 正史	吉村 典久
大森 正仁	出岡 直也
本谷 裕子	

*2006年度以前入学者は履修できません。

〔授業科目の内容〕

様々な分野において所謂「国際化」が進展する中で、実際に発生した（している）問題と、それに対する法制度の対応について各分野の専門家が論じます。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

政治学科**●社会科学科目****社会学**

「社会学の基本的な考え方／現代社会と人生の諸相」

4単位 春学期集中

澤井 敦

〔授業科目の内容〕

本講義の目標は、受講生諸君が「社会学」という「道具」をもちいて現代社会を考え理解することができるようになるための、イントロダクションとなることである。

全体の内容を大きく2部（1時限と2時限）にわけて授業をすすめていく。第1部「社会理論の基礎」（1時限）では、社会学的な思考法の本質をつかむために、いくつかの社会学理論を具体的な分析事例とともに紹介していく。第2部「社会分析の基礎」（2時限）では、現代社会（とりわけ日本社会）の状況に関する基礎知識を、誕生、結婚、仕事と家事、老いと死といった人生の場面に即して学んでいく。

〔教科書〕

特に使用しない。

〔参考書〕

授業中に授業内容におうじて指示する。

社会学

4単位 春学期集中

塩原 良和

〔授業科目の内容〕

人間と世の中の関わりについて考えるのが「社会学」です。そして現代社会はますます複雑になり、わたしたちの身近な日常が世界全体の変化と密接に結びつくようになっていきます。そこで本講義では、日常生活のさまざまな事柄を社会学的視点から考えることで、自分と世の中がどのようにつながっているのかをイメージする「社会学的想像力」を、学生のみなさんが身につけることをお手伝いします。

講義では、わたしたちをとりまく社会（構造）と個人の関係、国民国家と現代日本社会の変容、グローバル化といったテーマに関連するさまざまな事例を取り上げながら、「人と世界をつなげる学問」としての社会学の魅力をお伝えしていけたらと思います。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

講義中に随時提示します

法学（憲法を含む）

4単位 春学期集中

明石 欽司

〔授業科目の内容〕

本講義では法学に関する基礎的な知識及び理論と、現在の実定法（日本の国内法と国際法）についての説明を行う。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

特に指定しないが、小型六法の最新版を用意すること。

法学（憲法を含む）

4単位 春学期集中
水津 太郎

〔授業科目の内容〕

法および法学の内容と特質につき、具体的・個別的な法および法学領域の分析・検討から出発し、しだいに抽象的・全体的なそれに視野を広げていくことをもって、基本的な知識を習得するとともに、みずから法的に思考する力を涵養することを目的とします。

講義においては、細部を捨象して、もっとも基本的な事柄を、具体例を用いながらも、なるべく体系的に整理したかたちで解説することとします。

〔教科書〕

講義は担当者作成・配布のレジュメに基づき行いますが、補助教材として、佐藤幸治＝鈴木茂嗣＝田中成明＝前田達明『法律学入門〔第3版〕』（有斐閣、2006年）を挙げておきます。

〔参考書〕

開講時に指示します。

憲法

「日本国憲法と立憲主義」 4単位 秋学期集中
大沢 秀介

〔授業科目の内容〕

この講義では、法学部政治学科の学生として理解しておくことが望ましい日本区憲法についての基本的な知識について学びます。

〔教科書〕

教科書については講義の際に指示する。なお、判例集として大沢秀介編著『判例ライン憲法』（成文堂、2007年、1,800円）を使用する。六法（小型のもの）も持参すること。

〔参考書〕

芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第四版）』（岩波書店 2007年、3,150円）

憲法

4単位 秋学期集中
向井 久了

〔授業科目の内容〕

近代憲法は国民の権利義務（基本的人権）の部分と統治（政治）機構の二つの部分から成り立っている。日本国憲法を学ぶということは主としてこの構成部分を学ぶことを意味するが、日本国憲法が現実においてどのように運用されているか、一言でいえば日本国憲法に書かれ

ている文字だけではなく、いわゆる「生きた憲法」の姿をとらえていきたい。

〔教科書〕

向井久了著『やさしい憲法（第3版）』（法学書院、2005年）

〔参考書〕

大沢秀介著『憲法入門（第3版）』成文堂

民法Ⅰ

「民法総論および総則・物権法の基礎」4単位 春学期集中
武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

民法は、財産上の権利義務関係を規律する最も基本的な法律であり、取引・経済活動に関する基本法でもある。この科目では、民法総論および、民法典の第一編総則、第二編物権までを講義対象とする。主要な諸制度の概要および重要な問題点につき、できるだけ明快に説くよう、心がけつつ、法的思考力の養成に努めたい。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

〔教科書〕

上記の通り、講義内容は担当者によるレジュメにしたがうが、自習用の補助教材として、山野目章夫『民法総則・物権』有斐閣アルマシリーズを挙げておく。

〔参考書〕

同上

民法Ⅱ

4単位 秋学期集中
水津 太郎

〔授業科目の内容〕

本講義では、債権法、民法典でいうと第3編 債権の諸規定につき、基本的知識を確認するとともに、法的思考力を涵養することを目的とします。債権法は、法典上、債権総論（債権一般に共通のルール：第1章）と債権各論（特定債権に固有のルール：第2章～第5章）に体系化されていますが、本講義では、契約と不法行為を中核とした機能的体系に再編して解説を行います。

〔教科書〕

講義は担当者作成・配布のレジュメに基づき行いますが、補助教材として、池田真朗『スタートライン債権法〔第4版〕』（日本評論社、2007年）を挙げておきます。

〔参考書〕

開講時に指示します。

行政法

4単位 秋学期集中
竹之内 一幸

〔授業科目の内容〕

行政法分野の基本となる原則（総論）と違法な行政活動に対する救済システム（救済法）について講義を行う。行政法は法典を持たないので、概念・理論の理解が不可欠である。

〔教科書〕

石川敏行他『はじめての行政法』有斐閣、2007

〔参考書〕

桜井敬子『行政法のエッセンス』学陽書房、2007

芝池義一編『判例行政法入門』（第4版）有斐閣、2005

刑法

4単位 春学期集中
佐藤 拓磨

〔授業科目の内容〕

あらゆる犯罪に共通する成立要件をめぐる議論を扱う刑法総論と、刑法77条以下に列挙されている個別の犯罪固有の成立要件に関する議論を扱う刑法各論につき、概説します。

〔教科書〕

井田良ほか『よくわかる刑法』（ミネルヴァ書房、2006）

六法（小型のものでよい）

〔参考書〕

井田良『基礎から学ぶ刑事法 [第3版]』（有斐閣、2005）

より発展的な学習を志す履修者のための参考文献については、開講後に指示します。

国際法

4単位 秋学期集中
尹 仁河

〔授業科目の内容〕

本講義では、国際社会において適用される法としての国際法とは何か、その基本構造・用語・概念について学び、現実に行き起きている国際問題を国際法の観点から理解してゆきます。国際社会を見る眼として、政治・経済・文化等様々な観点がありますが、法的観点から分析する力を養うことを目標にします。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。教科書については開講時までに示します。

〔参考書〕

・栗林忠男『現代国際法』（慶應義塾大学出版会、1999年）

・大沼保昭編『国際条約集2008年版』（有斐閣、2008年）
他、開講時に一覧を示します。

経済原論Ⅰ

〔マクロ経済学入門〕 4単位 秋学期集中
麻生 良文

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学は、GDPや物価水準、経済成長率などのマクロ経済変数がどのように決まるかを分析する学問である（経済学のもう一方の柱はミクロ経済学は経済原論Ⅱで扱う）。現代のマクロ経済学は、ケインズ経済学と古典派マクロ経済学の二つの対立がある。こうした対立があることを踏まえてマクロ経済学の入門的講義を行なう。主な講義の内容は以下の通り。

1. マクロ経済学とは何か
2. 長期均衡（古典派モデル）
3. 短期均衡（乗数理論、IS-LMモデル、フィリップス曲線とAD-ASモデル）
4. 開放経済モデル
5. 消費関数・投資関数の理論
6. 経済成長モデル

〔教科書〕

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/~aso/>

〔参考書〕

マンキュー『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』東洋経済新報社

マンキュー『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編』東洋経済新報社（こちらはかなり易しい入門用テキスト）

経済原論Ⅱ

〔ミクロ経済学入門〕 4単位 春学期集中
麻生 良文

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学の入門的講義を行う。租税政策、国際貿易政策、競争政策、環境政策など、さまざまな公共政策の目的や効果を理解するために、ミクロ経済学の習得は不可欠である。マクロ経済学が経済全体の変数（GDPやインフレ・失業率など）に注意を集中するのに対し、ミクロ経済学では消費者や生産者が価格や政策にどのように反応するかという個別の意思決定の問題を明示的に扱う。ミクロ経済学を学ぶことによって、市場メカニズムがどのように機能し、その限界がどこにあるのかを理解できるようになる。講義内容は以下の通り。

- 1) 経済学入門
- 2) 市場メカニズムの機能と限界
- 3) 消費者行動の理論
- 4) 生産者行動の理論
- 5) 独占・寡占

〔教科書〕

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/~aso/>

〔参考書〕

スティグリッツ・ウォルシュ『スティグリッツ ミクロ経済学』東洋経済新報社

クルーグマン・ウェルス『クルーグマン ミクロ経済学』東洋経済新報社

ヴァリアン『入門ミクロ経済学』勁草書房

奥野正寛『新版 ミクロ経済学入門』日経文庫

経済原論Ⅰ

〔マクロ経済学入門〕 4単位 秋学期集中
吉岡 祐次

〔授業科目の内容〕

本講義では、マクロ経済学の基本的な内容を簡潔に解

説する。まず、国民経済計算の仕組みや三面等価の原則を説明し、国民全体の経済活動の価値が国民生産や国民支出および国民所得などにより測定されることを示す。そして、その国民所得が理論的にどのように決定されるのかについて、45度線分析やIS-LM分析およびAD-AS分析などにより説明する。同時に、その背景にある消費関数の理論、投資関数の理論、貨幣市場の理論、および労働市場の理論などについても説明する。なお、簡単な計算やグラフを使う予定である。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

中谷巖『入門マクロ経済学（第5版）』日本評論社

経済原論Ⅱ

「ミクロ経済学入門」

4単位 春学期集中

塚原 康博

〔授業科目の内容〕

現代の日本において、われわれ消費者は誰からも強制されずに自分の判断で買いたい商品を買ひ、生産者は誰からも強制されずに自分の判断で売りたい商品をつくって売っている。社会の構成員は自発的行動しているが、欲しい商品は市場を通じて過不足なく供給され、物質的に豊かな社会が実現している。これを実現しているのが「市場メカニズム」である。この講義では、市場メカニズムによって、なぜ豊かな社会が実現できるのかを解明する。ただし、市場メカニズムは万能ではなく、限界もあるので、それについても言及する。

〔教科書〕

授業中に指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

文化人類学Ⅰ

「文化人類学に親しむ」

2単位 春学期

田中 正隆

〔授業科目の内容〕

私達は今日依然として異なるものや他なるものの存在に気づくときがあります。それは地域、言葉、宗教や常識が、思わぬ機会にその違いを思い知らされるときです。文化人類学は具体的、経験的な事柄から、人類のあらゆる文化・社会現象を理解しようします。本年は、アフリカの社会・文化にこだわります。私が専門とするアフリカ地域の事例から、人間の思考・行動様式の多様性を知り、みなさんにも通じる普遍的な事柄を見出すことが目標です。講義では、多くの視聴覚資料や具体的事例とともに理解をすすめます。下記のトピックに関して興味を抱く方の受講を、広く歓迎します。ただし、詳細について初回講義で必ず確認してください。

〔教科書〕

初回講義で指示します。

〔参考書〕

講義で指示します。

文化人類学Ⅱ

「文化人類学の理解を深める」

2単位 秋学期

田中 正隆

〔授業科目の内容〕

私達は今日依然として異なるものや他なるものの存在に気づくときがあります。それは地域、言葉、宗教や常識が、思わぬ機会にその違いを思い知らされるときです。文化人類学は具体的、経験的な事柄から、人類のあらゆる文化・社会現象を理解しようします。本年は、アフリカの社会・文化にこだわります。私が専門とするアフリカ地域の事例から、人間の思考・行動様式の多様性を知り、みなさんにも通じる普遍的な事柄を見出すことが目標です。講義では、多くの視聴覚資料や具体的事例とともに理解をすすめます。下記のトピックに関して興味を抱く方の受講を、広く歓迎します。ただし、詳細について初回講義で必ず確認してください。

〔教科書〕

初回講義で指示します。

〔参考書〕

講義で指示します。

●政治学科目－基礎科目（必修）

政治学基礎Ⅰ

「政治学の基礎概念・理論・アプローチ」2単位 春学期
萩原 能久

〔授業科目の内容〕

この講義では政治学の基礎概念、理論、アプローチについて、以下のような順序でできるだけわかりやすく説明していくつもりです。

- 1) 権力、権威、自由、正統性、イデオロギー
これらの諸概念について、特に相互の関連に留意して説明し、いくつかの理論を紹介します。
- 2) 国家
ネーション・ステートおよびナショナリズムの成立・展開と現在におけるその問題点を示し、未来の世界への展望を考えます。
- 3) 民主主義
近代民主主義の成立と現代における様々な民主主義・民主化理論を検討します。
- 4) 戦争と平和
平和の構築という課題の重要性と、政治学における戦争と平和の関係について様々な角度から考えます。

〔教科書〕

特に用いませんが、Web上に置いた、関連する様々な私の文章をあらかじめ読んで受講すれば理解が高まるでしょう。

〔参考書〕

逐一、講義・レジュメのなかで示していきます。多いです。

政治学基礎Ⅱ

「現代政治学～政治理論と政治過程の解明」2単位 春学期
小林 良彰

〔授業科目の内容〕

公務員試験などの公的試験で重視されている「第二次世界大戦以降の現代政治学」を中心に、政治学における中心的テーマである「公共政策が形成される過程」、つまり政治過程の実態について、できるだけわかりやすく説明を行くことにします。

本授業では、まず「政治とは何か？」について説明した上で、政治学における重要なテーマである「決定」と「配分」の問題について、これまでの政治学で何が明らかになり、何が課題として残されているのかを説明します。また、政治に関する利益集団論や地域権力構造論、権力エリート論、政治多元論、ポリアーキー論、ネオ・コーポラティズム論、ニュー・ポリティカル・カルチャー論など様々な理論についても紹介して行くことにします。

本授業を通して、履修者は公共政策における必要な知識を得ると共に、これからの社会や政治を見ていく上で、

新しい視点を持ってもらうことができると考えています。

〔教科書〕

小林良彰著『制度改革以降の日本型民主主義』木鐸社

〔参考書〕

小林良彰編『地方分権時代の市民社会』慶應義塾大学出版会

政治思想基礎

「ヨーロッパ近現代政治思想史」 2単位 春学期
蔭山 宏

〔授業科目の内容〕

ヨーロッパ政治思想史の入門講義。政治思想上の基本的用語について詳しく説明し、政治現象の思想的基礎を理解できるようにしたい。

〔教科書〕

特に用いない。

〔参考書〕

その都度指示する。

政治思想基礎

2単位 春学期
堤林 剣

〔授業科目の内容〕

次のテーマにそって、政治思想史全般についての入門講義を行います。

- I 政治思想史とは？ — 主題と方法について
認識・判断・行為の規定要因としての思想——哲学と歴史（時間）と宗教の作用
理性・合理的解釈・科学の領域と限界——基礎・価値基準をめぐって
ロゴスの地位——普遍性と個別性、必然性（確実性）と偶然性の狭間において
歴史の意味と無意味——時間概念と進歩と「歴史のアンビヴァレンス」
- II 古代政治思想
ホメロス（神話）的世界観の衰退——思考様式の転換：ミュトスからロゴスへ？
ポリスにおける民主政治の展開と政治学の誕生
ソクラテス、プラトン、アリストテレスの政治思想
現代における古代思想の政治的意義と政治的利用—
プラトンの呪縛～自由の政治
ポリスからコスモポリスへ——ストア派的自然法の展開
ギリシア世界からローマ世界へ——哲学から法へ
ローマ共和政における自由と法の観念
ローマ帝政期における法と権力の観念
キリスト教の影響と古代政治思想の変容
- III 中世政治思想
普遍世界（キリスト教共同体）の理念と現実
叙任権闘争とゲラシウス理論——二つの中心を有する楕円の統一体としての中世
「12世紀ルネサンス」の政治的・思想的意義

教会法の体系化と自然法の新たな展開
中世における立憲思想・人民主権論の展開

IV 近代政治思想

ルネサンスと宗教改革のインパクト——普遍世界の解体？

新たな人間像と国家観の出現——近代精神と近代国家

マキアヴェッリの政治思想

近代的主権論の生成と展開——ボダン～ホッブズ

王権神授説の生成と展開——ボシユエ

自然権理論に基礎づけられた人民主権論と社会契約論の生成と展開

ロックのプロパティ論——人権思想の原型？

フランス啓蒙思想とスコットランド啓蒙思想——合理主義と功利主義

モンテスキューの政治思想——反主権論の系譜

ルソーの政治思想

19世紀自由主義思想：コンスタン、ギゾー、トクヴィル、J・S・ミル

合理主義・啓蒙思想への反発とドイツ・ロマン主義の展開

近代国家とナショナリズム

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

授業の際に適宜紹介します

日本政治基礎

「日本の統治構造と政策形成」

2単位 秋学期

笠原 英彦

〔授業科目の内容〕

1. 日本政治研究—歴史的・理論的アプローチ
2. 日本の政治と行政
3. 日本における政策決定プロセス
4. 日本の公共政策
5. 日本の政治文化

〔教科書〕

笠原英彦他編『日本行政の歴史と理論』（芦書房）

日本政治基礎

2単位 秋学期

増山 幹高

〔授業科目の内容〕

この講義では、なぜ政治が必要なのかという根源的な問いからはじめ、日本政治の実際を把握することを試みます。具体的には、政治を理解するアプローチの一つとして合理的選択論を採用し、①有権者、②政治家、③組織の三つの視点から、戦後日本の政治状況を多角的に捉え、政治の作用・力学を理解することを目指します。

〔教科書〕

平野浩・河野勝『アクセス日本政治論』日本経済評論社（2003年、2,800円）

〔参考書〕

村松岐夫ほか『日本の政治〔第二版〕』（有斐閣、2,000円）

真淵勝ほか『はじめて出会う政治学：フリー・ライダーを超えて』（有斐閣、1,800円）

伊藤光利『ポリティカル・サイエンス事始め・新版』（有斐閣、1,900円）

地域研究基礎

2単位 秋学期

井上 一明

〔授業科目の内容〕

世界の諸地域について2年次以降より専門的な研究をおこなう際に必要な基本的な概念、理論そして方法論について概説する。

取り上げる項目は以下の通りである。

- 1 地域研究とは何か
- 2 伝統と近代（近代化論、政治発展論、民主化論）
- 3 ナショナリズム（近代ヨーロッパナショナリズム、第三世界のナショナリズム）
- 4 国家の諸類型（国家の概念、国民国家論、中央集権国家と連邦国家）
- 5 政治体制論（全体主義体制、権威主義体制、民主主義体制）
- 6 官僚制と政党制（官僚制の説明、政党制の諸類型）
- 7 政治と宗教
- 8 地域研究の現状と課題

参考文献は、講義のなかで紹介する。なおレポートの提出を求める予定である。

地域研究基礎

「政治学から地域の問題にアプローチする」

2単位 秋学期

富田 広士

〔授業科目の内容〕

地域研究は、「各国別、各地域別の研究で、特定の国あるいは地域の総合的理解と、他の国・地域との比較を重視する」学際的学問といわれる。ここでいう「総合」とは、ある地域の近現代または現在が抱える問題に対し、複数の専門領域からアプローチし、その成果を総合して理解するという意味である。

地域研究者は第一にその地域の文化に惹かれ、言語を習得し、現地での生活を体験し、近現代史を概観した上で、地域特性を研究対象にする。その意味では実証的な学問である。しかしそれだけでは不十分で、上述のような社会科学の学問分野を少なくとも一つマスターし、そこで練り上げられた問題の見方や分析手法を地域の研究にできるだけ使う必要がある。

政治学科学学生が地域研究に取り組む場合、政治学の立場から地域の問題にアプローチすることが必要になる。政治学的アプローチのいくつかの問題領域を取り上げ、入門的な講義を行う。

〔教科書〕

毎回、講義の骨子、参考文献等を記したプリント教材を配布する。

〔参考書〕

学期中、図書館リザーブ・ブックとして閲覧可。

国際政治基礎

「国際政治学への入門」

2単位 秋学期

田所 昌幸

〔授業科目の内容〕

国際政治学の基礎的な概念と枠組みを伝え、三田でのより専門的な講義への導入を提供する。

〔教科書〕

教科書は指定しない。

〔参考書〕

高坂正堯『国際政治』（中央公論新書）

国際政治基礎

2単位 秋学期

西野 純也

〔授業科目の内容〕

本講義は、国際政治学で用いられる基礎的な概念、分析枠組みを紹介しつつ、現代国際政治の諸問題に関する理解を深めることを目的とします。講義を通じて、現代国際政治の諸問題を表層的にではなく構造的に分析する力を養うことを目指します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

高坂正堯『国際政治』中公新書、1966年。

ブルース・ラセット他『世界政治の分析手法』論創社、2002年。

中西寛『国際政治とは何か』中公新書、2003年。

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』有斐閣、2004年。

原彬久編『国際関係学講義（第3版）』有斐閣、2006年。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年。

吉川直人・野口和彦編『国際関係理論』勁草書房、2006年。

ジョセフ・S・ナイ・ジュニア『国際紛争（原書第6版）』有斐閣、2007年。

藤原帰一『国際政治』放送大学教育振興会、2007年。
『シリーズ国際関係論』全5巻、東京大学出版会、2007年。

●政治学科目－系列科目**アフリカ現代史 I**

「植民地支配期におけるアフリカ」

2単位 春学期

井上 一明

〔授業科目の内容〕

19世紀末のヨーロッパ列強による植民地化から、1960年代初頭の時期における植民地の独立までのアフリカにおける「植民地時代」を中心にして講義をおこなう。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

講義のなかで紹介する。

行政学 I

「『ガバナンスの行政学』は可能か」

2単位 春学期

大山 耕輔

〔授業科目の内容〕

行政学（public administration）の前半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学Ⅱとセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「ガバナンスの行政学」の可能性と限界を考察します。

〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書（第2版）』有斐閣（2001年）

〔参考書〕

西尾勝『行政学（新版）』有斐閣（2001年）、拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶大出版会（2002年）、拙著『行政学入門—CDブック』慶大通信教育部（2000年）、拙著『行政指導の政治経済学』有斐閣（1996年）等

行政学Ⅱ

「『ガバナンスの行政学』は可能か」

2単位 秋学期

大山 耕輔

〔授業科目の内容〕

行政学（public administration）の後半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学Ⅰとセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「ガバナンスの行政学」の可能性と限界を考察します。

〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書（第2版）』有斐閣（2001年）

〔参考書〕

西尾勝『行政学（新版）』有斐閣（2001年）、拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶大出版会（2002年）、拙著『行政学入門—CDブック』慶大通信教育部（2000年）、拙著『行政指導の政治経済学』有斐閣（1996年）等

国際政治論Ⅱ

「International Relations of Southeast Asia」

2単位 春学期

山本 信人

〔授業科目の内容〕

The aim of this course is to provide an overview of international relations of Southeast Asia. Southeast Asia has a unique history being “crossroad of the world” since pre-modern age. During the colonial period in particular, Southeast Asia was exposed to the world-economy system and formed embryonic modern states. During the Cold War, the region witnessed intense rivalry, conflicts, and negotiations between the superpowers and among its states. In the aftermath of the Cold War, it served as an engine of the global economy while undergoing major shifts in the configuration of power, whose trajectory and outcome remain uncertain.

This course will examine the sources of conflict and cooperation in “modern” period, assessing competing explanations for key events in Southeast Asia's international relations. The lectures will expound the international relations of the region against the backdrop of the global systemic rivalry, the legacy of colonialism, the significance of nationalism, as well as the interlinkages in the global, regional and local level. They will also touch upon the implications of the Asian financial crisis in 1997 and the event of 9/11 for Southeast Asian international relations.

〔参考書〕

Recommended Readings:

Donald E. Weatherbee and Ralf Emmers, *International Relations in Southeast Asia: The Struggle for Autonomy* (Totowa, NJ: Rowman & Littlefield Pub Inc, 2005)

David Joel Steinberg (ed.), *In Search of Southeast Asia: A Modern History* (Revised Edition) (Hawaii: University of Hawaii Press, 1987)

Nicholas Tarling (ed.), *The Cambridge History of Southeast Asia (Volume 3: From C. 1800 to the 1930s; Volume 4: From World War II to the Present)* (Cambridge: Cambridge University Press, 1999)

Readings in Japanese will be shown in the class if necessary.

社会変動論Ⅰ

「現代世界における多文化主義（多文化共生）の行方」

2単位 春学期

塩原 良和

〔授業科目の内容〕

現代世界においては国境を越えた人や文化の移動がま

すます増大し、国民国家の多民族・多文化化が進展しています。他方、全世界をひとつに結んで展開する市場経済も国民国家統合や国境管理のあり方に影響を与えています。本講義では、こうした経済・社会のグローバリゼーションの様相を「多民族・多文化化」という視点から考察します。具体的には、国境を越えた人や文化の移動とグローバル化する市場経済がもたらす社会関係や国民統合のあり方、政府の政策の変化などを論じ、そうした変化のなかで要請されてきた、異なる他者と共存していく理念・手法としての「多文化主義（多文化共生）」の可能性と限界について考えていきます。

〔教科書〕

授業中に適宜提示します

〔参考書〕

同上

政治文化論

「ドイツと日本とアメリカの比較政治文化論」

2単位 春学期

片山 素秀

〔授業科目の内容〕

たとえば、同じ議会制民主主義の国でも、ある国は二大政党制をよしとし、ある国は多党の合従連衡で落ち着くということがあります。なぜ、そういう違いが起きてくるのでしょうか。そこには、やはりそれぞれの国の政治の背景をなす、何らかの文化という価値観のちがいが絡んでいたのでしょうか。そこを掘り下げてみるのが、「政治現象や政治制度を根底で規定する文化（価値観）についての論」としての政治文化論ということになります。

本講座では、そういう観点から、近代の、特に戦間期の、ドイツと日本、それからアメリカのことを考えてみたいと思っています。

ドイツと日本はいちおう共にファシズムへと向かっていったのですが、その中身となると、ドイツの場合は指導者原理や独裁の理念を標榜し、一方、日本は、強力なリーダー・シップの不在をかえってよしとするような雰囲気の特徴づけられていたわけで、ずいぶん異なっているようです。そこにはどんな政治文化の相違が反映しているのでしょうか。また、同じ時代にアメリカもそれなりの危機を迎えていたはずですが、政治の展開はドイツや日本のようにはなりません。その背景はどうなっているのでしょうか。そこらへんを突っ込むことで、今日の世界とも重なる、いろいろな論点が見えてくるはずです。

〔教科書〕

特にありません。それにある程度まで代わるものとして適宜プリントを配布します。

〔参考書〕

片山杜秀『近代日本の右翼思想』（講談社）

西洋外交史 I

「近代ヨーロッパの国際政治史」

2単位 春学期

細谷 雄一

〔授業科目の内容〕

本講義では、17世紀の近代国際社会の成立から第二次世界大戦勃発までの、近代ヨーロッパ外交史を検討することになる。主要なテーマは、以下の通り。

〔教科書〕

渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』（有斐閣）

〔参考書〕

キッシンジャー『外交（上）』岡崎久彦監訳（日本経済新聞社）

ルネ・ジロー『国際関係史』（未来社）

クレイグ＝ジョージ『軍事力と現代外交』木村修三他訳（有斐閣）

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳（有斐閣）

佐々木雄太・木畑洋一編『イギリス外交史』（有斐閣）

田所昌幸編『ロイヤル・ネイヴィーとパクス・ブリタニカ』（有斐閣）

細谷雄一・矢澤達宏編『国際学入門』（創文社）

細谷雄一『大英帝国の外交官たち』（筑摩書房）

細谷雄一『外交による平和』（有斐閣）

細谷雄一『外交』（有斐閣）

中国政治史 II

「中国革命史—1921年～1949年を中心として—」

2単位 春学期

高橋 伸夫

〔授業科目の内容〕

中国革命の研究者たちは、これまで革命家の夢、期待、計画、政策、戦略については十分に語ってきた。だが、奇妙なことに、革命の現実についてはあまり多くを語っては来なかった。そして、彼らの研究は次のような暗黙の前提に基づいていた。(1) 党組織は、指導者が交替するたびごとに新しい色に染め上げられ、一枚岩となって新指導部のイニシアティブに従った。(2) 革命の主力となった労働者と農民は、共産党による労働条件の改善と土地改革を歓迎し、共産党の政策を積極的に受容した。こうして固く組み上げられた党組織が、労働者・農民の圧倒的支持のもとで革命運動を勝利に導き、中国を封建主義と帝国主義のくびきから解放するというストーリーが語られてきた。本当だろうか。革命家の言説と革命の現実が混同されていないだろうか。

この講義では、これまでの見解を整理しつつ、近年公表された新しい資料に基づき、中国革命史に関する従来の言説のいくつかの重要な部分に、挑戦を試みようと思う。

〔教科書〕

高橋伸夫『党と農民—中国農民革命の再検討』研文出版、2006年、3,800円、ISBN4-87636-267-X-C-3022

日本外交史 I

「戦前日本の外交と安全保障」

2単位 春学期

戸部 良一

〔授業科目の内容〕

幕末から敗戦まで、日本が安全保障環境をどのように認識し、その変化に対してどのような外交的対応を試みたかを考察する。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

入江昭『日本の外交』（中公新書）

加藤陽子『戦争の日本近現代史』（講談社現代新書）

戸部良一『逆説の軍隊（日本の近代9）』（中央公論社）

その他テーマごとに授業で紹介する。

マス・コミュニケーション論 I

「マス・コミュニケーションと近現代社会」

2単位 春学期

津田 正太郎

〔授業科目の内容〕

本講義の目的は、マス・コミュニケーションの誕生および発展の過程を論じるとともに、それがいかなる役割を果たしてきたのかを解説することにある。近代社会の生成過程においてマス・コミュニケーションは極めて重要な役割を果たしてきたのであり、現代の社会や政治に関する理解を深めるにあたっては新聞やテレビ等の影響を無視することはできない。

本講義ではまず、マス・コミュニケーションに関する理解を促進するための諸概念を論じ、次にマス・コミュニケーションが社会に与える影響に関する理論モデルを紹介する。そして、具体的な社会問題を取り上げながら近現代社会におけるマス・コミュニケーションの役割について検討を行うことにしたい。

〔教科書〕

大石裕『コミュニケーション研究（第2版）』慶應義塾大学出版会、2006年

〔参考書〕

授業時に適宜紹介する。

民主主義思想論 I

「反民主主義の思想史」

2単位 秋学期

田上 雅徳

〔授業科目の内容〕

私たちの政治考察にとって公理になっているともいえるデモクラシーですが、それがかかる積極的な評価を獲得した歴史は決して長くありません。そこで、古来よりデモクラシーに向けられてきた批判を検討しつつ、あらためて、民主主義と私たちの「付き合い方」といったものを考えてみたいと思います。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

授業時に随時紹介していきます。

立法過程論 I

2単位 秋学期
増山 幹高

〔授業科目の内容〕

この講義では、立法過程における「制度と行動の相互性」について論じます。民主的な代議政体において、どのような権力の集中・分散が達成されるかは、現政権の実績と将来の政権構想の二者択一がどの程度有権者に意識されているのかということに依存する問題です。この講義では、どのように権力の集中・分散が立法過程や政策形成において促進されているのかということについて、これまでの政治学的な理論・実証分析を解説していきます。

〔教科書〕

増山著『議会制度と日本政治』（木鐸社、2003年）

河野・平野編著『アクセス日本政治論』（日本経済評論社、2003年）

〔参考書〕

クラスで随時案内します。

●政治学科目－集中学習科目

演習 I

「現代日本と社会」

2単位 春学期
オイ ションゴウ

〔授業科目の内容〕

基本的な社会学的概念・理論と研究方法に基づいて、現代日本社会の諸問題を理解するのが本演習の目標である。主なトピックは、社会学とは、社会文化、社会化とライフコース、社会階層と不均衡、グローバリゼーション、ジェンダー、エスニシティ、社会ネットワーク、政治と社会運動、家族、少子・高齢化、環境問題などを取り上げる予定。事前に配布した資料プリントを輪読して、要旨を簡単にまとめて授業で議論する予定。詳細の授業の進め方とテキストの内容については、最初の授業で打ち合わせしたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

演習 I

「丸山眞男を読む」

2単位 春学期
蔭山 宏

〔授業科目の内容〕

戦後日本の政治学、政治思想は勿論、戦後日本社会科学の代表者と言ってよい丸山眞男の著作をていねいに精確に読む訓練をすることによって、政治現象をその思想的基礎まで掘りさげる方法を学びたい。

〔教科書〕

〔授業の計画〕を参照

〔参考書〕

『丸山眞男集』（岩波書店）、丸山眞男『現代政治の思想と行動』

演習 I

「幕末・維新时期における政権交代と明治国家の形成」

2単位 春学期
門松 秀樹

〔授業科目の内容〕

この授業では、下記に教科書として示す分権の講読を通じて、幕末・維新时期における政権交代について政治史的な観点から考察を行うことを目的とする。明治維新は、日本における近代国家の建設において重要な意義を有しているが、これは、同時に江戸幕府を打倒し、明治政府への政権交代を実現した側面もまた持つ。従来、薩摩藩や長州藩を中心とする明治国家建設の過程を中心として語られることが多いこの時期を、江戸幕府側の観点からも展望することによって、幕末・維新时期の政治史的意義を考察し、近世・近代における連続・不連続論など、近代日本政治史における様々な論点について、より理解を深めていきたいと考えている。

なお、授業については演習形式で行う。毎回、範囲を決めて報告者より文献の内容について報告してもらい、全員から論点・疑問点の提示を行った上で、それらについての議論を進めることにより、考察や理解を深めていきたいと考えている。

〔教科書〕

家近良樹『孝明天皇と「一会桑」 一幕末・維新の新視点一』（文春新書、2002年）

坂本多加雄『日本の近代2 明治国家の建設 1871～1890』（中央公論社、1999年）

〔参考書〕

必要に応じて適宜指定する。

演習 I

「ドイツ・ナショナリズムの戦後史」 2単位 春学期
金子 新

〔授業科目の内容〕

ナショナリズム。平たくいえば、国民としてのアイデンティティを強化しようとする思想・運動のことだろう。しかし、この言葉に不気味な響きと暗愚な野蛮さを植えつけてしまったのは、ほかでもない。ドイツだ。プロイセン主導のドイツ統一、遅れてきた近代国家、急激な産業化と瞬く間に強化された軍事力。侵略、支配、そしてナチス……。それだけではない。戦後ドイツもまた、東西分断を経験し、再軍備や欧州統合など重大な政治決断をするごとに、ナショナリズムの問題を直面せざるを得なかった。本演習は、特に戦後に焦点を当て、戦後ドイツがどのように自らのナショナリズムに直面し、過去と向き合い、いかにして政治外交を展開したのか。それをドイツ社会はどう受け止めていったのか。これらを考察するに当たり、例えばアドルフ・ヒトラーやハーバーマス、あるいはノルテやスローターダイクといった政治・社会思想の展開、「歴史家論争」なども参照しながら、戦後ドイツのナショナリズムの変容を読み解いていく。

〔教科書〕

特に教科書は指定しません。講読する文献・論文を初回授業時に選択し、各部をコピー配布します。

〔参考書〕

平島健司『ドイツ現代政治』（東京大学出版会、1994年）、
W・イエーガー、C・カイツ編著『ドイツの歴史【現代史】』（明石書店、2006年）、

仲正昌樹『日本とドイツ 二つの戦後思想』（光文社新書、2005年）

オットー・ダン『ドイツ国民とナショナリズム 1770-1990』（名古屋大学出版会、1999年）

その他、授業初回に参考書リストを配布します。

演習 I

「現代アメリカ政治とメディア」 2単位 秋学期
清原 聖子

〔授業科目の内容〕

アメリカ政治については、日本に居ながらに得られる

情報も多く、「もう十分知っている」という感覚を持つ人も少なくないだろう。しかし社会人となり、様々な分野で活躍するようになると、アメリカ政治の正確な基本的知識を必要とする機会は想像以上に多いものである。そこで、本授業の目的は、アメリカ政治の基礎知識や特徴をしっかりと学び、自分なりのアメリカ政治に対する見解を身につけてもらうことにある。本授業では、現代アメリカ政治を動かすメディア、という視点から、毎回教科書の指定箇所を輪読することを基本に、大統領選挙、内政のしくみ、外交政策について議論を行う。2008年は大統領選挙の年だが、今回の選挙は現職の大統領・副大統領候補が出馬しない選挙であり、選挙戦を報道するメディアの関心は例年よりも早くから高まっている。また、今回の選挙では選挙運動におけるMyspaceやFacebookなどSNSやYouTubeの利用も注目されている。そこで本授業でも、これまでの選挙とメディアに関する文献を輪読した上で、2008年の大統領選挙の展望についても議論してみたい。

なお本授業は、少人数授業の特徴を生かして、現代アメリカ政治とメディアに関する専門的知識の習得に加えて、問題発見・論理的思考・議論の展開の仕方など、プレゼンテーションに関する能力・スキルの向上も目標にしたい。

〔教科書〕

久保文明・砂田一郎・松岡泰・森脇俊雅、『アメリカ政治』有斐閣、2006年

久保文明編、『アメリカの政治』弘文堂、2005年

久保文明編、『米国民主党—2008年政権奪回への課題—』財団法人に本国際問題研究所、2005年

浅川公紀、『アメリカ外交の政治過程』頸草書房、2007年

渡辺将人、『アメリカ政治の現場から』文藝春秋、2003年

〔参考書〕

高瀬淳一、『情報政治学講義』新評論、2005年

太田俊太郎、『アメリカ合衆国大統領選挙の研究』慶應義塾大学出版会、1996年

他、授業中に紹介します。宛にメールを送ってください。

演習 I

「政治現象の経済学的分析」 2単位 秋学期
河野 武司

〔授業科目の内容〕

1950年代初頭からの経済学者による分析を出発点とし、政治学においても1970年代以降パラダイムの一つとなったと言われている「公共選択論」（政治学においては「合理的選択の政治学」と呼ばれています）について、その対象領域や思想背景などを概説し、政治家、有権者、官僚、利益団体などの行動を合理的選択といった観点から平易に解説した下記の教科書の講読を通して、公共選択論の基本的視点を理解します。

〔教科書〕

加藤寛編『入門 公共選択—政治の経済学—』東洋経済新報社、1999年。

〔参考書〕

特に指定しません。

演習 I

「グローバル社会学」入門

2単位 春学期

塩原 良和

〔授業科目の内容〕

この演習では、「グローバル社会学（国際社会学）」と呼ばれている研究領域に関連する文献を参加者全員で選び、輪読し、議論していきます。「グローバル社会学」の研究テーマとしては、たとえば次のようなものが考えられます：移民・難民・外国人、人種・民族・エスニック問題、ネイションとナショナリズム、多文化主義（多文化共生）、福祉国家と新自由主義、グローバル企業、世界都市と地域社会のグローバル化、地域統合（EUなど）、国境を越える文化・アイデンティティとハイブリッド化、グローバル・メディア・・・。

このようなテーマに関心のある方の参加を希望しています。

〔教科書〕

授業中に決定します

〔参考書〕

随時提示します

演習 I

「初学者のための政治理論案内」

2単位 秋学期

鈴木 正彦

〔授業科目の内容〕

この講義は、政治理論をはじめて学ぶ人たちを対象としております。以下のような素朴な問題に漠然と関心をもっている学生であれば、本講義の十分な参加資格をもちます。自由や平等とは何か、国家はどうして正当化されるのか、最善の統治とは何か、自由の限界はどこなのか、財産の不平等はなぜ正当化されるのか、男女平等の社会的、法的条件とは何か、なぜ戦争で人を殺すことは正義なのか、などなど。つまり、「望ましい社会とは何なのか」、という規範的問題をあれこれ考える（または考えるのが好きなの）が政治哲学というものです。こうした問題に正解はありませんが、たたき台として、ジョナサン・ウルフのスリリングな『政治哲学入門』を取り上げ、参加者全員と問題を論じ合い、興味と関心を広げていきたいと思ひます。

〔教科書〕

ジョナサン・ウルフ『政治哲学入門』坂本知宏訳、晃洋書房、2000年

〔参考書〕

その都度提示します。

演習 I

「ラインホルド＝ニーバー（Reinhold Niebuhr;1892-1971）を読む。」

2単位 秋学期

田上 雅徳

〔授業科目の内容〕

20世紀を代表するプロテスタント神学者であり、アメリカの現実的な政策決定にも指針を与えた（また戦後日本では、丸山眞男らの政治観確立にも寄与した）ニーバーの著作を講読します。

キリスト教神学という、一見社会科学とは無縁なディシプリンに立脚していたからこそ、彼が見抜くことができ・また語ることのできた、政治の特質というものを学び直したいと思ひます。加えて、ニーバーの発言の背景にある、アメリカの政治文化に思いを巡らすことも、授業のひとつの目標とします。

〔教科書〕

開講時点で入手可能なニーバーの著作を、優先的に教科書として用いる予定です。

現時点では、『道徳的人間と非道徳的社会』（大木英夫訳、白水社）、『光の子と闇の子—デモクラシーの批判と擁護』（武田清子訳、聖学院大学出版会）、『アメリカ史のアイロニー』（大木・深井訳、聖学院大学出版会）などを講読文献として考えています。

〔参考書〕

授業時間内に随時紹介していきます。

演習 I

「アメリカ政治史演習：政治史を見る目と我々」

2単位 秋学期

西川 賢

〔授業科目の内容〕

アメリカの政治を、特に歴史的に理解するために文献を順次読み、討論を重ねていく。

日本人は日本のことだけを理解していれば、それで十分なのであろうか。外国のことを学ぶことに意味はないのであろうか。あるいは過ぎ去った過去の出来事、いわゆる「歴史」を（とりわけ政治学を部に専攻する皆さんが）学ぶことの意義はどこにあるのか？ある意味、これは当たり前とも言える疑問である。

この授業の目的は以上の疑問に答えることにある。アメリカ政治史に関する重要かつ論争的文献を購読することで、①「日本人が外国の政治を学ぶことの意味は何か？」、②「歴史から現代に生きる我々が学ぶことは何か」、の二点に重点を置いたうえで演習を展開していきたいと考える。

具体的には課題を読んだ上で、決められた担当者が授業内で本の内容に関する要約（15分）を述べた後、15分～20分でさらに自らの意見をのべる（発表方法に関して、詳しくは初講時にのべる）。その後、発表者の報告をたたき台にして、課題文献の内容に関する各自の考えを熱心に討論する。

最終的には、自分の発表した回の報告を元に、レポートを作成して作成して提出する。こうしたことを通じて、発表の仕方、議論の仕方、また学術的な調べものの仕方も学んでいって欲しい。

〔教科書〕

教科書は指定しない。

〔参考書〕

開講日に詳細なリストを配布し、それをもとに各人の割り当てや希望などに関して話し合いたい。

演習 I

「現代韓国政治を見る眼」

2単位 春学期

西野 純也

〔授業科目の内容〕

現代韓国の政治・経済に関する文献を講読し、韓国政治に関する専門的知識を習得すると共に学問的な問題意識を深めることが本演習の目的です。2008年は、南北朝鮮ともに建国60周年を迎えるとともに、韓国では5年に1度の新政権発足と4年ぶりの国会議員総選挙があります。したがって、歴史的経緯を踏まえながら、現代的関心に沿うような形で演習を進めていきます。できるだけ、秋学期の演習2とあわせて履修してください。

〔教科書〕

木宮正史『韓国—民主化と経済発展のダイナミズム』ちくま新書、2003年。

その他の文献は、初回の授業で指示します。

〔参考書〕

グレゴリー・ヘンダーソン『朝鮮の政治社会』サイマル出版会、1973年。

服部民夫編『韓国の工業化—発展の構図』アジア経済研究所、1987年。

渡辺利夫『韓国経済入門』ちくま学芸文庫、1996年。

小此木政夫編『ポスト冷戦の朝鮮半島』日本国際問題研究所、1994年。

高崎宗司『検証 日韓会談』岩波新書、1996年。

森山茂徳『韓国現代政治』東京大学出版会、1998年。

玄武岩『韓国のデジタル・デモクラシー』集英社新書、2005年。

大西裕『韓国経済の政治分析—大統領の政策選択』有斐閣、2005年。

鐸木昌之他編『朝鮮半島と国際政治』慶應義塾大学出版会、2005年。

小此木政夫・西野純也編『韓国における市民意識の動態 II』慶應義塾大学出版会、2008年。

演習 I

「中国をめぐる東アジアの国際関係」

2単位 春学期

星野 昌裕

〔授業科目の内容〕

現代中国の政治外交に関する文献を講読し、現代中国・台湾問題および東アジアの国際関係について討議する。

〔教科書〕

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会、2002年）

国分良成『中華人民共和国』ちくま新書（1999年）

若林正文『台湾 変容し躊躇するアイデンティティ』ちくま新書（2001年）

その他の教科書については授業で指示する。

〔参考書〕

授業で指示する。

演習 I

「英米圏の現代政治理論」

2単位 春学期

松元 雅和

〔授業科目の内容〕

本講義は、ウィル・キムリッカの『現代政治理論』と各テーマに関連する文献を輪読しながら、主として1970年代以降における英米圏の現代政治理論について理解を深めることを目的としています。毎回の授業では、以下の授業計画に従い、担当者によるレジュメ報告と全員によるディスカッションを行う方式を取ります。

〔教科書〕

W・キムリッカ（千葉真・岡崎晴輝他訳）『新版 現代政治理論』日本経済評論社、2005年

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

演習 I

「古代ローマに学ぶ政治の光と影」

2単位 秋学期

和田 寛伸

〔授業科目の内容〕

現在の国名で言うと、イタリア、フランス、スイス、スペイン、ポルトガル、ルクセンブルグ、ベルギー、オランダ、リヒテンシュタイン、オーストリア、イングランド、ウエールズ、アルバニア、ブルガリア、マケドニア、スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ユーゴスラビア、ギリシア、ルーマニア、モロッコ、チュニジア、リビア、エジプト、トルコ、シリア、イスラエル、レバノン、ヨルダン等々（これに地中海の島嶼やドイツやハンガリーやイラクやイランの一部が加わる）。これは日本が弥生時代の真っ只中にいた頃の、古代ローマ最盛期の版図です。

過去の政治に成功例と失敗例があるならば、古代ローマ（特に共和制後期から帝政前期にかけて）の政治は特筆に価します。いかにしてこれほど異なる人種、習俗、言語、宗教を一つの「国家」に纏め上げることができたのか。さらに数百年の長きにわたり、安定と繁栄を謳歌した理由は何か。本演習では、塩野七生『ローマ人の物語』を契機に火がついた古代ローマ人の卓越性を政治学的に掘り下げ、古代ローマの政治的光を（そのローマがなぜ滅びたのかの「影」にも踏み込んで）分析してみたいと思います。

〔教科書〕

塩野七生『ローマ人の物語』「パクス・ロマーナ14、15、16」(上400円・中400円・下362円)新潮文庫、2004年、ISBN978-4-10-118164-6C0122(上) 118165-3C0122(中) 118166-0C0122(下)

〔参考書〕

授業の場で指示・紹介します。

演習Ⅱ

「現代日本社会と国際化」

2単位 秋学期

オイ ションゴウ

〔授業科目の内容〕

21世紀には、大都市のグローバル化の発展に伴い、ヒト、モノ、カネ等の国境を超えた、新たな国際社会が形成されてきている。その中、移住・移民、ジェンダー、エスニシティ、外国人労働者、人権、多文化共生など、様々な問題を視野に入れて、日本社会に与える影響と日本の国際化を中心に課題にしたい。後半では、アジア諸国の社会変動、特にそれぞれの地域の移住者をめぐる問題を取り上げ、それを通して、現代日本の国際化と比較したい。授業の進め方とテキストについては、最初の授業で打ち合わせ、検討したいが、英語文献の輪読とディスカッションをおこなう予定。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

演習Ⅱ

2単位 春学期

井上 一明

〔授業科目の内容〕

Current History、およびEconomistなどの雑誌から、アジア、アフリカ、ラテンアメリカそして中東などのいわゆる発展途上国における政治、経済、社会そして開発の問題に関するできるだけ新しい論文ないしは特集記事を取り上げて輪読する。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業のなかで紹介する。

演習Ⅱ

「ヨーロッパ国際政治における「ドイツ問題」

2単位 秋学期

金子 新

〔授業科目の内容〕

19世紀後半以降、後発産業国として「上からの近代化」に邁進し、大国化の道をひた走ったドイツ。一方、諸外国は、強まるドイツの軍事主義／覇権志向にどう対峙し、ドイツをいかに管理するのか、そして中央ヨーロッパにどのような政治秩序を構築するのか、といった難題に直面させられることになる。これがヨーロッパ近現代の最大の難問、「ドイツ問題」である。しかも、この「ドイツ問題」は、両大戦期のみならず、冷戦期においても、

さらには冷戦後の現在においても、ヨーロッパ国際政治に陰に陽に影響を与え続けるテーマでもある。ドイツが発言力を高め、影響力を発揮し、パワーを行使することは、国際政治においていかなる意味をもつのか、国際社会はそれをどう受け止めているのか。こうした問題意識を踏まえて厳選したテーマに関する英語論文を講読しながら、「ドイツ問題」の歴史的特質を浮き彫りにしていきたい。

〔教科書〕

特に教科書は指定しません。講読する英語文献・論文を初回授業時に選択し、各部をコピー配布します。

〔参考書〕

P. O' Dochartaigh, *Germany since 1945* (London: Palgrave, 2004),

Helga Haftendorn, *Coming of Age: German Foreign Policy since 1945* (Lanham: Rowman & Littlefield, 2006),

Thomas Banchoff, *The German Problem Transformed* (Michigan: The University of Michigan Press, 1999),

Paul Kennedy & William I. Hitchcock, *From War to Peace* (New Haven: Yale University Press, 2000),

Marc Trachtenberg, *A Constructed Peace* (New Jersey: Princeton University Press, 1999),

独語文献を読みたい学生は、Wilfried Loth, *Die Teilung der Welt* (Munchen: Deutscher Taschenbuch Verlag, 2000)などを参考に。

演習Ⅱ

「米国の2008年大統領選挙を英字新聞で読む」

2単位 春学期

清原 聖子

〔授業科目の内容〕

本授業の目的は、アメリカの2008年大統領選挙について、英字新聞・専門誌の輪読により、情報収集力・理解力を高めることである。具体的には、毎回資料を配布し(英文5ページ程度)、少しずつ担当者を決めて和訳してもらう。授業では、担当者の訳について担当教員がコメントをつけ、履修生と2008年大統領選挙の展望や今後のアメリカ内政・外交に及ぼす選挙の影響について議論していきたい。将来アメリカ政治研究を志す人、ジャーナリストや外交官を目指す人はもちろん、社会人となれば、日常的に英字新聞をかなりの速度で読み、情報収集をできる能力が必要とされる。本授業では、初めて英字新聞を読む人、アメリカに少しでも興味を持つ人などを対象に、大統領選挙関連報道をトピックとして、英字新聞の読み方、訳し方、アメリカ政治研究に役立つリサーチ方法を習得することを目標にする。

〔教科書〕

毎回資料を配布します。

〔参考書〕

授業で紹介します。

演習Ⅱ

「アメリカの民主主義のあり方を選挙の実態を通して学ぶ」
2単位 春学期
河野 武司

〔授業科目の内容〕

下記の教科書の輪読を通して、アメリカの実態から代議制民主主義を駆動させるエンジンの一つである選挙の諸問題を理解します。

〔教科書〕

Stephen J. Wayne, *Is this any Way to Run a Democratic Election?*, Boston: Houghton Mifflin Company, 2003. 本書は全9章230ページからなる比較的短くて読みやすい英書です。

〔参考書〕

特に指定しません。

演習Ⅱ

「憲法学の思考」
2単位 春学期
鈴木 正彦

〔授業科目の内容〕

この講義は、アメリカの憲法学者カス・サンステインの著作『なぜ社会は異論表明を必要としているのか』を輪読します。その目的は、憲法学の専門的な英語読解のスキルを高めること、および、リベラルな憲法学の基本を身に着けることにあります。なおサンステインは現在アメリカの公法学者、憲法学者です。社会的行動科学や心理学、哲学にも通暁し、公法学に新しい風を吹き込んでいる指導的な法学者であり、我が国でも非常に有名です。本書も期待を裏切らず、リベラルな社会における異論表明の重要性を、非常に豊富な具体的事例を挙げ、やさしく解きほぐしている大変面白い本です。法学英語に馴染むには格好の教材であるといえるでしょう。

〔教科書〕

Cass R. Sustein, *Why Societies Need Dissent*, Harvard University Press, 2003.

〔参考書〕

その都度提示します。

演習Ⅱ

「英文献による国際政治論」
2単位 秋学期
田所 昌幸

〔授業科目の内容〕

この授業は、国際問題全般について、英語文献を利用しながら、学問的な議論のサワリに触れるとともに、学問的な討議のしかたを身につけることがねらいである。原則として毎週一点ずつ英語の文献を報告者およびコメントーターを事前に定めて輪読し、それに関する討議をする形で授業を進める。

〔教科書〕

教材はコピーの形で当方が用意する。

演習Ⅱ

2単位 春学期
津田 正太郎

〔授業科目の内容〕

本演習では、マス・コミュニケーションに関する英語文献の輪読を行う。演習の参加者には、担当部分の訳文を作成してもらい、その訳文をもとに内容についての理解を深める。英語文献であることから、日本語文献の輪読と比較するとどうしてもペースは遅くなるが、そのぶん著者の主張をより詳細に検討できるというメリットもある。単なる英語の勉強に留まらず、受講者諸君がマス・コミュニケーションをより深く理解するきっかけとなる演習にしたいと考えている。

〔教科書〕

目下のところ、John Street, *Mass Media, Politics and Democracy* (2nd edition), Palgrave Macmillanか、あるいはBrian McNair, *An Introduction to Political Communication* (4th edition) を読むことを考えているが変更する可能性もある。

演習Ⅱ

「現代中東論に関する英語文献の講読」
2単位 秋学期
富田 広士

〔授業科目の内容〕

現代中東論に関する英語文献を次の記事を手始めに、講読する。

Egypt

Financial Times Special Report Monday December 10 2007

'Wealth disparities cloud progress'

'Loosening the hold of the public sector'

'Facing a tricky imbalance'

'Meeting the housing shortfall'

'Growth highlights educational shortfall'

'Succession dominates - and unsettles'

'Trade deal with the US and Israel boosts textiles'

'Once off limits, and now seen on YouTube'

'Desert blooms but deficit creeps up'

'Cairenes seek breathing room in the desert'

'Peace process gives Cairo central role'

etc

〔教科書〕

テキスト：文献のコピーの求め方は初回授業時間に指示する。

演習Ⅱ

「北東アジアにおける機会と挑戦」
2単位 秋学期
西野 純也

〔授業科目の内容〕

朝鮮半島の安全保障に関する英語文献を講読し、日本

が直面する安全保障問題に対する専門的知識を習得すると共に学問的な問題意識を深めることが本演習の目的です。*Foreign Affairs, Asian Survey, Korea and World Affairs*等の英文学術誌から北朝鮮核問題、米韓同盟関係、日韓・日朝関係などのトピックを扱った論文をとりあげます。できるだけ、春学期の演習1とあわせて履修してください。

〔教科書〕

最初の授業で、使用論文リストを提示します。

〔参考書〕

日本語文献で参考になるものをいくつかあげておきます。

李庭植『戦後日韓関係史』中央公論社、1989年。

小此木政夫編『ポスト冷戦の朝鮮半島』日本国際問題研究所、1994年。

ヴィクター・D・チャ『米日韓 反目を超えた提携』有斐閣、2003年。

大島英樹・文正仁編『日韓国際政治学の新天地』慶應義塾大学出版会、2005年。

鐸木昌之他編『朝鮮半島と国際政治』慶應義塾大学出版会、2005年。

船橋洋一『ザ・ペニンシュラ・クエスチョン』朝日新聞社、2006年。

演習Ⅱ

「中国をめぐる東アジアの国際関係」 2単位 秋学期
星野 昌裕

〔授業科目の内容〕

中国政治、中国社会、日中関係などに関わる英文雑誌・英文記事を用いながら、中国をめぐる東アジアの国際関係に関する議論を行う。

〔教科書〕

ガイダンスで指示する。

〔参考書〕

授業で指示する。

演習Ⅱ

「国際関係思想」 2単位 秋学期
松元 雅和

〔授業科目の内容〕

本講義は、英国学派の代表的理論家であるクリス・ブラウンのテキストを輪読しながら、英語による専門的文献の読解力を高めること、国際関係思想の見取り図について理解を深めることを目的としています。毎回の授業では、以下の授業計画に従い、担当者によるレジュメ報告と全員による読解の確認、ディスカッションを行う方式を取ります。

〔教科書〕

Chris Brown, *Sovereignty, Rights and Justice: International Political Theory Today*, Cambridge: Polity Press, 2002

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

演習Ⅱ

「単数定冠詞付き抽象名詞としてのThe Democracyは存在するか？」

2単位 春学期

和田 寛伸

〔授業科目の内容〕

今日、デモクラシー (democracy) といえば「民主主義」と訳されるのが普通ですが、デモクラシーははたして自由主義 (liberalism) や社会主義 (socialism)、資本主義 (capitalism) や共産主義 (communism) などと同じく“主義”で括ることが可能な「思想・イデオロギー」でしょうか。それならば「民主主義」はdemocratismと英訳されなければなりません。かつてイギリスでいくつかの閣僚職にも就いた経験のあるブライス卿は制度としての“-cracy”とイデオロギーとしての“-(-)ism”との漫然混用を戒めました。この演習では、ブライス卿の原著『Modern Democracies』(原題名が複数形になっていることに注意)に触れて、デモクラシーの「実相」に迫ってみたいと思います。

〔教科書〕

Viscount James Bryce. “Modern Democracies” 1921.

原典は大部の上、すでに絶版ですので、必要部分を私がコピーして、初回の講義時に配付します。

〔参考書〕

授業の場で指示・紹介します。

4 商学部

商学部では2005年4月一年次入学者より新カリキュラムが導入されました。それにより設置科目や設置形態が学則により異なりますので、シラバスを読む際に気をつけてください。参照ページは以下のとおりです。

2005年4月以降一年次入学者 →201ページ～

2004年以前入学者(2005年度二年編入含) →212ページ～

●基礎科目 I 類 (基礎必修科目)

経済学基礎 I / 経済学 (春学期)

「ミクロ経済学の基礎」

2単位 春学期

牧 厚志 桜本 光
松浦 寿幸

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する

〔教科書〕

井原、牧、桜本、辻村『経済学入門 (第二版)』、日本評論社、2003年

〔参考書〕

なし

経済学基礎 II / 経済学 (秋学期)

「マクロ経済学の基礎」

2単位 秋学期

牧 厚志 桜本 光
松浦 寿幸

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する

〔教科書〕

井原、牧、桜本、辻村『経済学入門 (第二版)』日本評論社、2003年

微積分 I / 微分法

「微分積分の基礎 (前)」

2単位 春学期 / 秋学期

白旗 優 菅原 昭博
安田 公美 深谷太香子
渡部 睦夫

*注意事項：この科目を履修し不合格だった場合は「微積分 II」を履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

社会科学の様々な学問において、数学的な考え方や数学的手法が必要とされています。専攻科目の基礎となる経済学、経営学などを数学を用いて理解、研究する時に必要となる、微分、積分の基礎について学ぶのがこの「微積分 I」です。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

微積分 II / 微分法

「微分積分の基礎 (後)」

2単位 春学期 / 秋学期

白旗 優 深谷太香子
安田 公美 渡部 睦夫
眞中 裕子

*注意事項：この科目は「微積分 I」が不合格だった場合は履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

「微積分 I」にひき続き、微分、積分の基礎について学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

統計学 I

2単位 春学期

早見 均 吉岡 完治
新保 一成

〔授業科目の内容〕

統計学 I および統計学 II を通じて、統計学の基本的知識を身につけるとともに、データの分析手法を習得する。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』第2版、東洋経済新報社

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎 巖・松野一彦・宮内 環『統計学』NTT出版

担当教員によっては別に教材等を配布することがある

統計学 II

2単位 秋学期

早見 均 吉岡 完治
渡部 和孝

〔授業科目の内容〕

統計学の基本的知識を身につけるとともに、データの分析手法を習得する。統計学 I の知識 (履修) を前提とする。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』第2版、東洋経済新報社

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎 巖・松野一彦・宮内 環『統計学』NTT出版

担当教員によっては別に教材等を配布することがある

●基礎科目Ⅱ類（基礎基盤科目）

経済史Ⅰ（春学期） 2単位 春学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。春学期の授業では、第二次大戦後の復興期から高度成長期までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業をケースとしてとりあげ、「日本的」と称されるシステムがどのようなプロセスで生成してきたのかを講義する予定です。

〔教科書〕

浜野潔ほか『日本経済史』慶應義塾大学出版会（近刊）を適宜使用する。

〔参考書〕

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』有斐閣、1998年。

経済史Ⅱ（秋学期） 2単位 秋学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、将来、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。秋学期の授業では、「日本型」経済・企業システムの変化を意識しつつ、1970年代の石油危機以降から90年代までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業・企業の事例に注目して講義する予定です。

〔教科書〕

浜野潔ほか『日本経済史』慶應義塾大学出版会（近刊）を適宜使用する。

〔参考書〕

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』有斐閣、1998年。

経済史Ⅰ（春学期） 「近代日本経済史入門」 2単位 春学期
平野 隆

〔授業科目の内容〕

開港・明治維新期から1920年代（昭和恐慌）までの時期を対象として、日本の経済・社会の歴史的展開を概観することによって、現代の様々な経済・社会問題の背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧』東京大学

出版会

三和良一『概説日本経済史・近現代』（第2版）東京大学出版会

中村隆英『日本経済』（第3版）東京大学出版会

梅村又次他編『日本経済史』（1～6巻）岩波書店

尾高煌之助・斎藤修（編）『日本経済の200年』日本評論社

大野健一『途上国ニッポンの歩み』有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

経済史Ⅱ（秋学期） 「現代日本経済史入門」 2単位 秋学期
平野 隆

〔授業科目の内容〕

経済史Ⅰを受けて、1930年代（高橋財政）から21世紀初頭までの時期を対象として、現代日本の経済・社会の歴史的背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧』東京大学出版会

三和良一『概説日本経済史・近現代』（第2版）東京大学出版会

中村隆英『日本経済』（第3版）東京大学出版会

梅村又次他編『日本経済史』（6～8巻）岩波書店

中村隆英『昭和経済史』岩波書店

橋本寿朗『戦後の日本経済』岩波新書

伊藤修『日本の経済—歴史・現状・論点』中公新書

大野健一『途上国ニッポンの歩み』有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

社会経済学Ⅰ 2単位 春学期
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

社会経済学Ⅱ 2単位 秋学期
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史的・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

私法基礎Ⅰ（春学期）

「民事法の基礎」 2単位 春学期
本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎Ⅱ（秋学期）

「民事法の基礎」 2単位 秋学期
本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎Ⅰ（春学期）

「市民法の基本概念と基礎理論（1）」 2単位 春学期
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、家族・財産・契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利（人格権、所有権・その他の物権、債権、家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権）が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体・権利の客体・権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれてい

る。私法基礎Ⅰ（春学期）では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の主体および客体を中心にして解説を行う。

〔教科書〕

松尾弘『民法の体系——市民法の基礎——（第5版）』（慶應義塾大学出版会、2008刊行予定）。

〔参考書〕

講義の中で随時紹介する。

私法基礎Ⅱ（秋学期）

「市民法の基本概念と基礎理論（2）」 2単位 秋学期
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、家族・財産・契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法・商法・その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利（人格権、所有権・その他の物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権）が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体・権利の客体・権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎Ⅱ（秋学期）では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の変動を中心にして解説を行う。

〔教科書〕

松尾弘『民法の体系——市民法の基礎——（第5版）』（慶應義塾大学出版会、2008刊行予定）。

〔参考書〕

講義の中で随時紹介する。

●専攻科目Ⅰ類（専攻核科目）

経営学（環境と戦略） 2単位 春学期
梅津 光弘 谷口 和弘
前田 淳

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

経営学（組織と管理）

2単位 秋学期

梅津 光弘 谷口 和弘
今口 忠政

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

基本簿記と財務諸表の見方

2単位 春学期

坂口 博

〔授業科目の内容〕

簿記はビジネスの言葉といわれて、現実の経済社会を正しく理解するうえで非常に重要な科目です。講義では、企業の簿記である複式簿記の基本的な考え方と、企業の活動とその業績を知るために不可欠になる財務諸表の作り方とその見方について学修します。半期科目で授業の回数が少ないので、進み方が早いですから授業を休まないように心がけてください。

〔教科書〕

坂口博著『新簿記会計提要』泉文堂刊

〔参考書〕

日本商工会議所編『商業簿記問題集・3級』一ツ橋出版・税務経理協会等

基本簿記と財務諸表の見方

「複式簿記論と財務諸表分析」

2単位 春学期

佐藤 康廣

〔授業科目の内容〕

複式簿記の処理手続を体系的知識として修得すること。更に、記録に基づき財務諸表の作成・分析の技法を修得することを目的とする。このため、講義資料により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために練習を行う。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『新検定簿記講義3級』中央経済社、『新検定ワークブック3級』中央経済社

基本簿記と財務諸表の見方

2単位 春学期

高田 京子

〔授業科目の内容〕

複式簿記とは、企業の経済活動を翻訳し、記録し、報告するためのシステムである。このシステムによって作成された情報（財務諸表）は、企業の財政状態や経営成績を表す基本情報として種々の利害関係者に利用されることとなる。

本講義で学習する複式簿記の基礎、および、財務諸表の基本的な読み方は、企業や企業をとりまく経済環境を理解するための基盤となるだろう。

〔教科書〕

加古宜士・渡部裕亘・片山覚（編著）、『新検定簿記講義3級商業簿記』、中央経済社

〔参考書〕

加古宜士・渡部裕亘・片山覚（編著）、『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』、中央経済社

基本簿記と財務諸表の見方

2単位 春学期

鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

〔教科書〕

友岡賛、福島千幸著『アカウンティング・エッセンシャルズ』有斐閣

基本簿記と財務諸表の見方

2単位 春学期

永見 尊

〔授業科目の内容〕

企業の成績を評価するためには、会計数値を理解することが不可欠です。どの企業がより優れているのか、あるいは一企業の3年間の成績はどのように推移しているのか、といった側面を知るためには、たとえば売上高、経常利益、流動資産あるいは自己資本といった会計用語や数値の意味が理解できなければなりません。この授業は、簿記の仕組み、貸借対照表および損益計算書の意味、そして財務諸表の分析といった幅広い領域を対象として、簿記および会計の基本的な考え方を学びます。

〔教科書〕

中村忠『新訂 現代簿記』白桃書房。

講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

商業学Ⅱ（春学期）

「マイクロ・マーケティング論の基礎」 2単位 春学期
齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はマイクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究のマイクロ・マーケティング論部分の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。また、秋学期に開講される商業学Ⅰを同時に受講することが望ましい。講義内容は以下の通りである。

Ⅰ. 商業学とマーケティング論

1. 商業学とはなにか
2. 商業学研究の領域—マイクロおよびマクロ・マーケティング

Ⅱ. ミクロ・マーケティング論

1. マーケティングの生成と発展
2. マーケティング戦略意思決定とそのプロセス
3. マーケティング・ミックスの構成要素
4. サービス・マーケティング
5. 生産財（B to B）マーケティング
6. ブランド戦略
7. 競争の戦略
8. 消費者行動研究とマーケティング

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学Ⅰ（秋学期）

「マクロ・マーケティング論の基礎」 2単位 秋学期
齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はマイクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中でマクロ・マーケティング論の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。講義内容は以下の通りである。

Ⅰ. 商業学とマーケティング論

1. 商業学とはなにか
2. 商業学研究の領域—マイクロおよびマクロ・マーケティング

Ⅱ. マクロ・マーケティング論

1. 社会における流通・商業の役割と機能
2. 日本の流通システムおよび商業の特質
3. 小売業の発展と諸理論
4. 小売流通の特質と課題
5. 卸売業の特質と課題
6. マーケティングと環境

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学Ⅱ（春学期）

「マイクロ・マーケティング基礎論」 2単位 春学期
鄭 潤澈

〔授業科目の内容〕

本授業は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。講義の内容は、商業学（経営、経済全般）における様々な既存文献から多様な分野の基礎を幅広く取り扱いますので、各自興味のある個別内容は三田設置の各専門科目にて深層的に勉強してください。また、定性的アプローチと定量的アプローチを平行しますが、定量的概念は数理分析を具体的に学ぶよりは、分析から出た結果の意味を理解することを目指します。商業学Ⅱ（春学期：マイクロ）では、「企業レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

嶋口充輝・石井淳蔵、『現代マーケティング』（有斐閣）1995年

矢作敏行、『現代流通』（有斐閣）1996年

石原武政・池尾恭一・佐藤善信、『商業学』（有斐閣）2000年

田村正紀、『流通原理』（千倉書房）2001年

丸山雅祥、『経営の経済学：Business Economics』（有斐閣）2005年

商業学Ⅰ（秋学期）

「マクロ・マーケティング基礎論」 2単位 秋学期
鄭 潤澈

〔授業科目の内容〕

本授業は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。講義の内容は、商業学（経営、経済全般）における様々な既存文献から多様な分野の基礎を幅広く取り扱いますので、各自興味のある個別内容は三田設置の各専門科目にて深層的に勉強してください。また、定性的アプローチと定量的アプローチを平行しますが、定量的概念は数理分析を具体的に学ぶよりは、分析から出た結果の意味を理解することを目指します。商業学Ⅰ（秋学期：マクロ）では、「社会レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

嶋口充輝・石井淳蔵、『現代マーケティング』(有斐閣) 1995年

矢作敏行、『現代流通』(有斐閣) 1996年

石原武政・池尾恭一・佐藤善信、『商業学』(有斐閣)

2000年

田村正紀、『流通原理』(千倉書房) 2001年

丸山雅祥、『経営の経済学：Business Economics』(有斐閣) 2005年

商業学Ⅰ (春学期)

2単位 春学期
堀越 比呂志

〔授業科目の内容〕

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学Ⅰでは、商業学全体にかかわる総論的イントロダクションに続いて、マクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業史、流通論、流通政策といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

〔教科書〕

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

〔参考書〕

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣

佐藤肇著『日本の流通機構』有斐閣

渡辺達朗著『現代流通政策』中央経済社

商業学Ⅱ (秋学期)

2単位 秋学期
堀越 比呂志

〔授業科目の内容〕

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学Ⅱでは、上記のような商業学の構造の説明をした上で、ミクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業経営論、マーケティング管理論、消費者行動論といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

〔教科書〕

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

〔参考書〕

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣

P. コトラ著『マーケティング・マネジメント』(邦訳の4版、7版(プレジデント社)、ミレニアム版(ピアソン・エデュケーション)のどれでもよし)

村田昭治・田内幸一編著『現代マーケティングの基礎理論』同文館

産業経済論a (春学期) / 産業経済論b (秋学期)

2単位 春学期 / 秋学期
コーディネーター 跡田 直澄
井手 秀樹

〔授業科目の内容〕

本講義は、商学部の4大専攻分野のひとつである「経済・産業」に属する諸分野の総合的な入門講義である。他の3分野(経営、会計、商業)については、それぞれ入門的な講義が用意されているので、日吉の学生諸君にも比較的なじみがあるものと思われる。しかし、「経済・産業」を構成する様々な分野、すなわち、財政、金融、保険、公共経済、産業組織、社会保障、労働経済、労務管理、国際経済、国際金融、産業史・経営史については、必ずしも十分には知られていないのが実情である。いずれも経済学(ミクロ経済学およびマクロ経済学)を基礎とする学問であるという点は共通性を持つが、取り上げる題材は異なり、アプローチの仕方も一様ではない。そこで、各分野の担当者による入門講義を集中的に組み合わせることで、これらの学問に対する認識を深めてもらい、あわせて三田でそれらを学ぶのに必要な基礎知識を身につけてもらうというのがこの講義のねらいである。

〔教科書〕

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

〔参考書〕

上に同じ。

●専攻科目Ⅱ類 (専攻基本科目)

応用経営学

「企業をめぐる諸課題」

2単位 秋学期
コーディネーター 渡部 直樹

〔授業科目の内容〕

本講義は日吉キャンパスに設置されている経営学(環境と戦略)・経営学(組織と管理)と三田キャンパスに設置されている現代企業経営各論・経営管理各論・経営学説史各論などの講義との橋渡しの役割を持っている。前者では経営学の初学者を対象に入門的な経営学概論が講義され、後者ではより専門的な各論が扱われるが、本講義では、三田の各論担当者による各専門分野・各論の紹介が毎週オムニバス方式で行なわれ、経営学という学問分野全体に対する位置づけを考察する。

〔教科書〕

なし
〔参考書〕
なし

応用簿記 4単位 秋学期集中
佐藤 康廣

〔授業科目の内容〕

「基本簿記と財務諸表の見方」の科目で修得した基本原則・知識を基礎にして、個人企業及び株式会社を対象にした複式簿記を学習する。このため講義資料・教科書により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために記帳練習を行う。

〔教科書〕

講義資料プリント『新検定簿記講義商業簿記2級』中央経済社、『新検定簿記ワークブック商業簿記2級』中央経済社

〔参考書〕

『日商簿記検定試験問題集3級、2級』日本商工出版

応用簿記 4単位 秋学期集中
高田 京子

〔授業科目の内容〕

本講義は、「基本簿記と財務諸表の見方」をふまえ、日商簿記2級程度の商業簿記を修得することを目標とする。特殊商品売買や株式会社固有の取引、帳簿組織などを学習することにより、企業の経済活動や株式会社の特性を理解する一助となるだろう。

〔教科書〕

開講時に指示する。

〔参考書〕

開講時に指示する。

応用簿記 4単位 秋学期集中
鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

本講義は、春学期科目「基本簿記と財務諸表の見方」を履修済みの学生を対象に、株式会社で行われる簿記の諸手続を中心に展開される。概ね日商簿記検定2級商業簿記の学習範囲を対象とする。

〔教科書〕

開講時に指示する。

応用簿記 4単位 秋学期集中
前川 千春

〔授業科目の内容〕

本科目は「基本簿記と財務諸表の見方」を履修後の学生を対象としており、複式簿記の基本構造についての理解を深めるとともに、特殊商品売買・本支店会計の学習に重点を置いて日商簿記2級程度の商業簿記を習得することを目的としている。

〔教科書〕

『新検定 簿記講義2級商業簿記』中央経済社

〔参考書〕

第1回の授業の際に紹介する。また、必要に応じてプリントを配付する。

財務会計論 4単位 春学期集中
黒川 行治

〔授業科目の内容〕

財務会計の基本的枠組み、会計基準の設定過程の問題、会計代替案選択に関する企業の会計意思決定の問題、会計認識および測定に関する基本的論理、会計測定の拡大・変容をふまえた近年の会計諸基準の具体的内容について、理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

加古宜士『財務会計概論』（最新版）（中央経済社）

〔参考書〕

黒川行治『合併会計選択論』（中央経済社）

管理会計論 4単位 秋学期集中
園田 智昭

〔授業科目の内容〕

管理会計は、企業を経営するために必要な会計情報を、経営者・管理者・現場の作業員に提供します。そのときに用いられる情報の多くは原価計算の手法を用いて作成されますので、本講義では、管理会計だけではなく原価計算の基礎的な部分についても合わせて解説します。

〔教科書〕

秋学期に出版予定のテキストを使用します。出版が遅延した場合には別のテキストを使用しますが、そのときは1回目の授業で指示します。

監査論 2単位 春学期
永見 尊

〔授業科目の内容〕

本講義では、監査論に初めて触れる人を対象に、監査とは何か、なぜ監査が必要とされるのか、監査の対象は何か、監査はどのように行われ、どのような形で報告されるのか、といてテーマについて学んでいきます。具体的には、「監査の主題」「監査生成論」、さらに財務諸表監査における「監査主体論」「監査証拠論」「監査報告論」に取り組んでいきます。また、毎回の授業で新聞記事の切り抜きを配布し、現在の監査の問題、現状、規定の動向、事件などに触れていきたいと思っています。

〔教科書〕

山浦久司『監査論テキスト [第2版]』中央経済社

また、講義資料プリントおよび新聞記事を適宜配布します。

企業法4単位 秋学期集中
来住野 究**〔授業科目の内容〕**

企業法とは商法の意義を実質的に捉えた場合の別名であり、商法総則・商行為法、会社法、手形法・小切手法などを含む。本講義では、商法総則・商行為法を中心として講義するが、会社法、手形法・小切手法、経済法・消費者保護法についても序論的に講義することにより、商法の主要な制度の体系的な理解と考え方の養成を目指すとともに、三田での関連科目の足がかりとしたい。

〔教科書〕

特に指定しない。レジュメを配布する。

〔参考書〕

近藤光男編『現代商法入門〔第7版〕』（有斐閣アルマ・2006年・1,995円）

落合誠一・大塚龍児・山下友信『商法Ⅰ—総則・商行為〔第3版補訂版〕』（有斐閣Sシリーズ・2007年・2,100円）

マーケティング・マネジメント論2単位 春学期
小野 晃典**〔授業科目の内容〕**

「マーケティング・マネジメント」は、マーケティングの基礎理念である企業と顧客との交換関係の構築を企業のマネジメントの基礎をなす重要戦略と見なす考え方である。本科目は、マーケティング・マネジメントに含まれる様々な戦略的アイデアを体系的に学習することを通じて、日吉設置の核科目である「商業学Ⅰ」「商業学Ⅱ」、および、三田設置の応用科目である「広告論」「流通論」「消費者行動論」「製品開発論」「マーケティング・リサーチ」等々を架橋することを目的とする。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に適時紹介する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング戦略立案のための理論と実際」

2単位 秋学期
高橋 郁夫**〔授業科目の内容〕**

マーケティング戦略を立案する上で必要となる理論や考え方を具体的事例も踏まえながら講義する。商業学Ⅱでは取り上げ切れなかった応用的領域や先端的事例も適宜取り上げることによって、マーケティングへのより深い関心と理解を受講生に与えることを目的とする。

〔教科書〕

特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

〔参考書〕

高橋郁夫『増補 消費者購買行動—小売マーケティングへの画像』千倉書房（2004）。その他については、講

義の際に紹介する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング意思決定入門」

2単位 春学期
濱岡 豊**〔授業科目の内容〕**

この授業では、マーケティングにおける意思決定の諸局面および、そこで利用される主要な概念、モデルを紹介する。これを通じて、マーケティングにおける諸概念、なかでも情報、モデル、論理の一貫性の重要性を理解してもらいたい。あわせてマーケティングの最新の動向についても紹介し、日吉での商業学Ⅱ（マイクロ・マーケティング）から三田での専門科目（マイクロ・マーケティング各論）への橋渡しとしたい。

〔教科書〕

（指定なし）

講義資料は濱岡のホームページからダウンロード可能とする予定である。

<http://news.fbc.keio.ac.jp/~hamaoka/>

〔参考書〕

上記の資料およびホームページを参照

経済学Ⅰ

「現実社会や政策を理解するためのマクロ経済学」

2単位 春学期
樋口 美雄**〔授業科目の内容〕**

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、マクロ経済学の視点から考察する。景気変動やインフレ、デフレはなぜ起こるか。これに対する政府や中央銀行の対策はいかにあるべきか。経済発展はどのような要因によって決まってくるか。少子高齢化とどのように関連しているかなどについて講義する。

〔教科書〕

樋口美雄『労働経済学』東洋経済新報社

〔参考書〕

中馬宏之・樋口美雄『労働経済学』岩波書店

経済学Ⅱ

「現実社会や政策を理解するためのミクロ経済学」

2単位 秋学期
樋口 美雄**〔授業科目の内容〕**

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、ミクロ経済学の視点から考察する。資源配分やイノベーションが企業行動や家計行動、市場を通じてどのように変化していくかについて考察する。

〔教科書〕

樋口美雄『労働経済学』東洋経済新報社

〔参考書〕

中馬宏之・樋口美雄『労働経済学』岩波書店

経済学Ⅰ

「金融経済を理解するためのマクロ経済学」

2単位 春学期

山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのマクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、景気変動や経済成長のメカニズム、インフレ・デフレ、失業、金融・財政政策などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

福田慎一・照山博司、『マクロ経済学・入門（第3版）』、有斐閣、2005年

〔参考書〕

授業において適宜指定。

経済学Ⅱ

「金融経済を理解するためのミクロ経済学」

2単位 秋学期

山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのミクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、家計や企業の行動、価格、市場や政府・中央銀行の役割などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

伊藤元重、『ミクロ経済学（第2版）』、日本評論社、2005年

〔参考書〕

授業において適宜指定。

●総合教育科目（Ⅰ類）**宇宙の科学**

「宇宙の過去・現在・未来」

2単位 春学期

表 實

〔授業科目の内容〕

古来、人類は夜空の美しさに魅せられて、そこを舞台に多くの物語を創作し、星々の動きを指針にして日常生活の営みを決めてきた。また、これらの星の継続的な観測が、最初の自然科学とも言うべき天文学の誕生を促した。

本講義では、現代宇宙の科学が明らかにした宇宙の姿について、最近の成果を交えながら紹介します。さらに宇宙について何が解明されたか、また何が謎として残されているかを考えます。宇宙の過去・現在・未来の姿とはいかなるものであろうか、これが本講義全体を通して考えるテーマです。

講義を履修するに当たって、高校物理の知識は必要としません。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しません。

●総合教育科目（Ⅲ類）**社会との対話S／社会との対話D**

「短期インターンシップ科目」

2単位 秋学期

4単位 通年

石光 輝子	佐藤 和
伏見 岳志	孟 若燕
横田 絵理	吉田 栄介

〔授業科目の内容〕

この授業は商学部2年生を対象に、平成11年度に設置されました。他の授業との最大の違いは、夏休み中の2週間ないし3週間に企業・機関で実地研修を受けるという点にあります。

〈開講の趣旨〉

商学部では、学外での実地研修を通じて大学における教育内容と現実問題との関連を自覚的に把握できる機会を提供する目的で、短期インターンシップ科目「社会との対話」を平成11年度から開講しました。当学部が設置する「社会との対話」は、以下の特色があります。

- (1) 学業へのフィードバックを目的とするものであり、その後の研究・勉学、学生生活の改善、目的意識の明確化などに役立てることが期待されています。学業へのフィードバックを目的とすることから、対象を2年生としています。
- (2) 学生は与えられたテーマを年間をとおして研究・検討することを要求されます。事前教育、実地研修、事後教育をきっかけにしてテーマに対する理解を段階的に深め、粘り強く自主的に研究を進める事により、総合的な問題解決能力を高めていく授業であることを理解しておいてください。
- (3) 人気の高い大企業だけではなく、中小の特徴ある優良企業、成長著しい新興のベンチャー企業、非営利組織など、多様な企業・機関に研修先を求めています。

〈授業の概要〉

- ・設置学年
商学部2年生
- ・単位数
「社会との対話D」（通年・4単位）

「社会との対話S」(秋学期・2単位)

(注意) 同一研修先に希望者が集中した場合には、選考(マッチング)を行います。選考に合格した学生は「社会との対話D」を履修し、実地研修に派遣されることとなります。選考に漏れた学生は実地研修には派遣されません——「社会との対話S」を履修することはできません。詳細については第一回目の授業で説明します。

・学生への報酬

無給

・講義概要

事前・事後教育および研修先での実地研修からなります。

・研修時期と期間

8月8日(月)～9月5日(金)を中心とする2週間ないし3週間研修先によって研修期間が若干異なる場合があります。

・実施規模

履修学生30名～40名程度

研修先として30～40社・機関を予定しています。

・開設曜日・時限

火曜日4限。ただし、授業は4・5限を使って行います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定ませんが、各自が年間を通じて取り組むテーマに応じて、多くの参考図書を自分で見つけて内容を良く理解する必要があります。

情報リテラシー基礎

4単位 春学期／秋学期

飯箸 泰宏 恩田 憲一
河内谷幸子 瀬川 清
五月女仁子

〔授業科目の内容〕

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについて理解することが大切である。授業計画については講義担当者によって細部に違いがあるが、全般的な内容を次に示す。なお、春学期は5月、秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。

部分的ではあるがWebに自習用教材がアップしてある。講義時間内に理解できなかった部分をこのWebを使って自分で補うことができる。

〔教科書〕

山本喜一著『入門情報処理 Office XP版』J.B.企画、2100円

〔参考書〕

慶應義塾大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会、1200円

日本の産業と経営

2単位 秋学期

コーディネーター 吉田 栄介

〔授業科目の内容〕

この科目では、日本の産業と経営をめぐる様々な研究課題にかんして、それぞれを専門に研究している商学部教授陣がオムニバス形式で講義をおこなう。各講義の担当教授は、初学者にとって興味深い課題を選択し、1回で講義が完結するように工夫している。本学部の研究対象がいかに幅広いものであり興味深い研究課題を抱えているかを知ってもらい、幅広く奥深い学究姿勢と問題意識をもつ手掛りを提供することが、科目のねらいである。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

●総合教育科目(Ⅳ類)

確率論基礎

2単位 秋学期

安田 公美

〔授業科目の内容〕

ランダムに起こる現象を数学的に取り扱う、確率論の基礎を学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

ゲーム理論基礎／数理計画法

2単位 秋学期

木戸 一夫

〔授業科目の内容〕

ゲーム理論とは、互いに無視し得ない力を持つ、複数の主体に係る最適化問題である。いろいろなタイプのゲームがあるが、この授業では、戦略形ゲームと協力ゲームを学ぶ。ゲーム理論の前提条件・基本概念・定理および含意を、身近にあるわかりやすいゲームや仕組みと対比させながら学ぶことにより、「使えるゲーム理論」を身に付けることを目指す。すなわち、問題に直面した時、現状を鋭く分析し、現実的な解決策を提案する能力を養成する。

〔教科書〕

ミラー著『仕事に使えるゲーム理論』阪急コミュニケーションズ

〔参考書〕

中山幹夫著『はじめてのゲーム理論』有斐閣ブックス

線形代数演習2単位 春学期
白旗 優**〔授業科目の内容〕**

同時に開講される『中級線形代数』の授業内容に即して、練習問題の演習を行います。宿題として解いてきた練習問題の解答を、授業時に発表してもらい、その発表の出来具合と回数で評価を付けます。

〔教科書〕

『中級線形代数』と同一のものを使用します。

〔参考書〕

『中級線形代数』と同一のものを使用します。

微積分演習2単位 秋学期
白旗 優**〔授業科目の内容〕**

同時に開講される『中級微積分』の授業内容に即して、練習問題の演習を行います。宿題として解いてきた練習問題の解答を、授業時に発表してもらい、その発表の出来具合と回数で評価を付けます。

〔教科書〕

『中級微積分』と同一のものを使用します。

〔参考書〕

『中級微積分』と同一のものを使用します。

線形代数2単位 春学期／秋学期
菅原 昭博 深谷太香子
安田 公美**〔授業科目の内容〕**

社会科学のかなりの分野で、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法により問題解決が図られたりして、数学の知識の必要性が増してきている。この講義では、線形代数の中でも、特に、行列の理論を中心に講義する。行列は経済学、経営学においても用いられているので、この講義を通して、行列を自由に使いこなせるようになることを期待したい。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

中級線形代数「線形代数の完結に向けて」 2単位 春学期
渡部 睦夫**〔授業科目の内容〕**

この科目では、「線形代数」で学んだ内容を前提として、引き続き、線形代数のいろいろな概念と理論を、応用を視野に入れて講義します。

〔教科書〕

渡部睦夫著『線形代数とその応用』培風館

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

中級微積分「経済学への応用のための微積分学」 2単位 秋学期
渡部 睦夫**〔授業科目の内容〕**

経済学を学ぶには、数学の知識とその運用能力が求められます。この科目の内容は、『微積分Ⅰ』、『微積分Ⅱ』の内容をさらに発展させた内容から構成されています。経済学への応用を念頭に講義をします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

データとの対話D「表計算応用」 4単位 春学期集中
木戸 一夫**〔授業科目の内容〕**

EXCELの機能はあまりに豊富で、全てを予め覚えることは不合理である。こういうことをしたいという問題が生じた時に、最後までくじけずに試行錯誤し、「自分の力で」解決法を探すことを身につけたい。このような状況は予め解答が用意されていない世の中では必ず発生するものであり、この授業を通じて、一生を通じて役に立つ問題解決能力養成を目指す。最後までがんばれば、立派なEXCEL使いになっていることも必然である。

〔教科書〕

清水誠著『データ分析 はじめの一步』講談社ブルーバックス

データとの対話D (Delphi)「オブジェクト指向プログラミングとは」 4単位 通年
田村 高幸**〔授業科目の内容〕**

DELPHIはWINDOWS形式で、WINDOWSプログラミングを簡単に行うことができる言語です。

そして、この言語はオブジェクトPASCALを基にしています。JAVAなどに代表されるオブジェクト指向のプログラミングの概念を実際のWINDOWSプログラミングを通して、理解してもらうことを目的としています。

オブジェクト指向プログラミングの考え方はこのネットワーク社会において重要な役割を果たしているとともに、問題解決手法としても大変重要な方法であり、この点もあわせて、明らかにしていきます。

〔教科書〕

山崎秀記著『Delphiによるプログラミング入門』／培風館／ISBN 4-5630-1413-3

〔参考書〕

塚越一雄著『Delphiオブジェクト指向プログラミング』

技術評論社 / ISBN4-7741-0427-2

データとの対話D (ネットワーク活用)

「コンピュータネットワークセキュリティ入門」

4単位 通年
田村 高幸

〔授業科目の内容〕

コンピュータネットワークセキュリティの基礎となるTCP/IPプロトコルを中心にコンピュータネットワークにおける重要なプロトコルについて学び、それらが、コンピュータネットワークセキュリティに果たしている役割について、学びます。

〔教科書〕

ゼロからはじめるネットワーク
増補・新装版
ASC II

〔参考書〕

久米原栄『TCP/IPセキュリティ』ソフトバンクパブリッシング

2004年度以前入学者用 (旧学則)**●基礎科目 I 類****商学概論**2単位 春学期／秋学期
(なし)

「商学概論」は以下の科目を読み替え科目としますので、単位未修得者は5科目の中から選択してください。

- ・基本簿記と財務諸表の見方 (シラバスP.204参照)
- ・経営学 (環境と戦略) (シラバスP.203参照)
- ・経営学 (組織と管理) (シラバスP.204参照)
- ・商業学 I (シラバスP.205～参照)
- ・商業学 II (シラバスP.205～参照)

なお以下の表のとおり履修出来ないケースもありますので注意してください。

	経営学既習者もしくは 今年度履修希望者	商業学既習者もしくは 今年度履修希望者
基本簿記と財務諸表の見方	○	○
経営学 (環境と戦略)	×	○
経営学 (組織と管理)	×	○
商業学 I	○	×
商業学 II	○	×

経済学4単位 通年
桜本 光 松浦 寿幸
牧 厚志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学基礎 I」「経済学基礎 II」(P.201)を参照してください。ただし、成績は1科目通

年4単位として取り扱われます。

●基礎科目 II 類 (A群)**簿記論**4単位 通年
高久 隆太 李 精

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、経済学部設置の講義要綱「簿記a/b」(P.166)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会科学の考え方4単位 通年
小野 修三

「社会科学の考え方」は以下の科目を読み替え科目としますので、履修希望者は2科目の中から選択してください。

- ・社会科学概論 I・II (小野修三) (P.21参照)
- ・近代思想史 I・II (小野修三) (P.12参照)

ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

情報処理 I4単位 春学期集中／秋学期集中
飯箸 泰宏 恩田 憲一
河内谷幸子 瀬川 清
五月女仁子

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「情報リテラシー基礎」(P.210)を参照してください。

情報処理 II「表計算応用」 4単位 春学期集中
木戸 一夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.211)を参照してください。

情報処理 II (Delphi)4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.211)を参照してください。

情報処理 II (ネットワーク活用)4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.212)を参照してください。

●基礎科目Ⅱ類 (B群)

線形代数 2単位 春学期／秋学期
菅原 昭博 深谷太香子
安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数」(P.211)を参照してください。

微分法 2単位 春学期／秋学期
白旗 優 菅原 昭博
安田 公美 深谷太香子
渡部 睦夫 眞中 裕子

「微分法」は「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」(P.201)を参照してください。

解析Ⅰ 2単位 春学期
渡部 睦夫

「解析Ⅰ」は「中級線形代数」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.211)を参照してください。

解析Ⅱ 2単位 秋学期
渡部 睦夫

「解析Ⅱ」は「中級微積分」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.211)を参照してください。

数理計画法 2単位 秋学期
木戸 一夫

「数理計画法」は「ゲーム理論基礎」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「ゲーム理論基礎」(P.210)を参照してください。

●基礎科目Ⅱ類 (C群)

統計学Ⅰ 2単位 春学期
早見 均 吉岡 完治
新保 一成

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学Ⅰ」(P.201)を参照してください。

統計学Ⅱ 2単位 秋学期
早見 均 吉岡 完治
渡部 和孝

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学Ⅱ」(P.201)を参照してください。

●専攻科目Ⅰ類

経済史 4単位 通年
牛島 利明 平野 隆

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済史Ⅰ」「経済史Ⅱ」(P.202)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会経済学 4単位 通年
赤川 元章

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会経済学Ⅰ」「社会経済学Ⅱ」(P.202)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

私法基礎 4単位 通年
本田 耕一 松尾 弘

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「私法基礎Ⅰ」「私法基礎Ⅱ」(P.203)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

商業学 4単位 通年
齊藤 通貴 鄭 潤澈
堀越比呂志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「商業学Ⅰ」「商業学Ⅱ」(P.205～)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

経営学 4単位 通年
梅津 光弘 谷口 和弘
今口 忠正 前田 淳

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経営学(環境と戦略)」「経営学(組織と管理)」(P.203～)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

●専攻科目Ⅱ類

会計学 4単位 春学期集中
黒川 行治

「会計学」は「財務会計論」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「財務会計論」(P.207)を参照してください。

理論経済学Ⅰ 4単位 通年
樋口 美雄 山本 勲

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学Ⅰ」「経済学Ⅱ」(P.208～)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

産業経済論 4単位 通年
コーディネーター 跡田 直澄
井手 秀樹

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「産業経済論a/b」(P.206)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

●総合教育科目（Ⅲ類）

社会との対話S・D 2単位・4単位/秋学期・通年
石光 輝子 佐藤 和
伏見 岳志 孟 若燕
横田 絵理 吉田 栄介

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会との対話S・D」(P.209)を参照してください。

日本の産業と経営 2単位 秋学期
コーディネーター 吉田 栄介

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「日本の産業と経営」(P.210)を参照してください。

●自主選択科目

確率論基礎 2単位 秋学期
安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「確率論基礎」(P.210)を参照して

ください。

線形代数演習 2単位 春学期
白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数演習」(P.211)を参照してください。

微積分演習 2単位 秋学期
白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分演習」(P.211)を参照してください。

中級線形代数 2単位 春学期
渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.211)を参照してください。

中級微積分 2単位 秋学期
渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.211)を参照してください。

5 医学部

【第1学年】

●基礎科学必修科目

数学Ⅰ

「線形代数学」

2単位 春学期

南 就将 鈴木 由紀

〔授業科目の内容〕

線形代数学の基礎理論を学ぶ。特に、線形空間、行列、行列式、線形写像、固有値問題の理解を目標にする。

〔教科書〕

青木利夫・大野勝寛・川口俊一共著『改訂 線形代数要論』（培風館）

数学Ⅱ

「微分学」

2単位 春学期

南 就将 鈴木 由紀

〔授業科目の内容〕

一変数関数の微分積分学、および多変数関数の偏微分について学ぶ。統計学、物理・化学への微分積分学の応用を常に念頭に置きながらも、数学的論理の流れの理解に努める。

〔教科書〕

三宅敏恒著『入門微分積分』（培風館）

数学Ⅲ

「積分学」

2単位 秋学期

南 就将 鈴木 由紀

〔授業科目の内容〕

多変数関数の重積分と無限級数の理論を学ぶ。授業の後半では微分積分学を用いて統計解析の基礎理論を学ぶ。

〔教科書〕

三宅敏恒著『入門微分積分』（培風館）

物理学Ⅰ（既習）

2単位 春学期

古野 泰二

〔授業科目の内容〕

物理学では、原理や法則に基づいて多くの自然現象を理解し、結果を予測する。考え方ひとつで答えが簡単に見つかることもあるし、物理量の間の関係を方程式に表現しそれを解けばよいという場合も多い。数学の解がなぜ現実を表現できるのか、考えると不思議であるが、振り子の振動や電場中の荷電粒子の運動など、方程式の解が実際の現象を正しく表現していることが分かる。

春学期は運動方程式による質点の運動の解析、回転座標系で見た運動、物体の回転運動、振動・波動の数学的理解、静電気学（ガウスの法則）について学ぶ。微積分を積極的に用いた物理現象の理解を試みる。

〔教科書〕

・講義資料（プリント）を配布する。

〔参考書〕

・特に指定しないが、相談に応じる。

物理学Ⅱ（既習）

2単位 秋学期

古野 泰二

〔授業科目の内容〕

物理学Ⅱの2/3は、諸君が医学部の学生であることを意識した講義内容となっている。生体の物理学的研究法やナノテクノロジーのほか、光電効果、放射線の物理学、さらには、眼球やレンズによる光の屈折と結像について学ぶ。これらは諸君が信濃町に進級したときに実際に役立つであろう。できるだけ具体的な解説と考察を試みる。

〔教科書〕

・講義資料（プリント）を配布する。

〔参考書〕

・特に指定しないが、相談に応じる。

物理学Ⅰ（未習）

「力学を中心とした自然界の表現と数式による自然現象の取り扱い」

2単位 春学期

三井 隆久

〔授業科目の内容〕

生命を含む自然現象は複雑で理解しがたいように思えるが、自然現象の中で物体の運動と力に関する部分は物理法則として既に解明されており、厳密な記述が容易に可能である。容易に記述できることについて無意味な苦勞や誤解をしないため、物理学の基本法則を理解している必要がある。

第1,2回の講義では、表現について述べる。ガリレオが述べたように、「自然という書物は数学の言葉で書かれている」。ここでは、自然現象を数学の言葉で表現するとはどのようなことなのかについて述べる。写生と同じような感覚で、自然現象を数式で表現できるようになって頂きたい。

力と運動との関係を理解し、ニュートンの運動方程式を使いこなして運動の解析ができるようになって頂きたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

- (1) ファインマン物理学I, II, III, IV ファインマン、レイトン、サンズ著 岩波書店
- (2) 力学（物理入門コース）戸田盛和著 岩波書店

物理学Ⅱ (未習)

「電磁気現象の理解と医用画像診断装置への応用」

2単位 秋学期

三井 隆久

〔授業科目の内容〕

ニュートン力学では、力と運動の関係について学ぶが、世の中に存在する力について具体的に学ばない。ここでは、最も重要な力である電磁気力について述べる。電磁気力は、電荷と呼ばれる世の中の物体の持つ性質としての電荷に働く力であるが、電磁気現象は物体の持つ性質であるだけでなく、空間の持つ性質でもある。このような空間の働きについて数式を用いて定量的に述べる。また、電磁気現象の応用として、交流回路、光学、レーザー、医用画像診断装置について述べる。

x線CT、磁気共鳴イメージング装置などの医用画像診断装置は、現代の医療に欠かすことができない機器であるが、いずれも電磁気現象の応用である。この講義を通じて、動作原理を理解して頂きたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、教科書を購入する必要はない。以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1) ファインマン物理学I, II, III, IV ファインマン、レイトン、サンズ著 岩波書店
- (2) 電磁気学I, II (物理入門コース) 長岡洋介著

化学Ⅰ

「現代物理化学の基礎」

2単位 春学期

久保田 真理

〔授業科目の内容〕

一般に物理化学とよばれる化学の理論的分野を学ぶ。物理化学の理論は、微視的観点からのものと巨視的観点からのものに大別できる。微視的観点からの理論としては量子力学が代表格であるが、その量子力学に立脚して原子の電子構造や化学結合のメカニズムについて考える。また、巨視的観点からの理論である化学反応速度論と化学熱力学の基本的考え方についても学ぶ。

〔教科書〕

小林常利「基礎化学結合論」(培風館)

〔参考書〕

- (1) 玉虫伶太他編「エッセンシャル化学辞典」(東京化学同人)
- (2) 吉岡甲子郎「化学通論」(裳華房)
- (3) 児島邦夫他「基礎物理化学(上, 下)」(朝倉書店)
- (4) P. W. アトキンス「アトキンス物理化学(上, 下)」(東京化学同人)
- (5) 原田義也「化学熱力学」(裳華房)

化学Ⅱ

「現代有機化学・放射化学の基礎」

2単位 秋学期

井上 浩義

〔授業科目の内容〕

- ①有機化学の基礎：本講義では化学Ⅰで学んだ定性的量子論の考え方を活かして、有機化学反応のメカニズムを量子論的に考えてゆく。また、有機化学の構造決定における分子分光学的手法についてその原理を解説する。
- ②放射化学の基礎：本講義では医療、工業、農業など多領域で利用されている放射線および放射性同位元素の性質を原子活動として学ぶ。また、放射線の生体への影響および医療分野での利用などについて概説する。

〔教科書〕

小林常利「基礎化学結合論」(培風館)

J. マクマリー「有機化学概説」第6版(東京化学同人)

*必要に応じて、プリントを配布する。

〔参考書〕

玉虫伶太他編「エッセンシャル化学辞典」(東京化学同人)

井上浩義他編「知りたい!医療放射線」(慧文社)

補助教材：HGS分子構造模型B型セット(丸善)

生物学

4単位 春学期

長井 孝紀 鈴木 忠

〔授業科目の内容〕

この講義の生物学の対象は生物個体ばかりでなく、細胞の次元、もっと小さな分子の世界へと、あるいは逆に地球全域へと広がる。その広がりゆえ、また科学としての進歩の急速さゆえ、現代の生物学はそのほかの自然科学の学問領域からの知識を統合したものとなっている。したがって学ぶべき項目は非常に多い。しかし、よく整理して学べば恐れることはない。整理された生物学の知識は医学での基礎専門分野である解剖学、生理学などを学ぶために不可欠である。学習内容の量、詳細さ、常に最新の知見に基づき更新されている現状などを考え、海外で出版されている英文の教科書をそのまま使用する。

〔教科書〕

Biology N. A. Campbellほか著 Benjamin/Cummings (春学期開始までに大学生協書籍部に入荷するので、購入すること)

物理学実験

1単位 通年隔週

古野 泰二 三井 隆久

寺沢 和洋

〔授業科目の内容〕

多くの諸君は、将来、信濃町あるいはそれ以後において、短期あるいは長期に亘って実験研究を経験する筈である。発見・発明・理論の検証など、創造的な研究はとても楽しいものであるが、すぐにこのレベルに達するの

は困難である。そのための導入・練習として、日吉での実験科目が用意されている。

物理学実験では、長さの測定から始まり、オシロスコープによる電圧変化、パソコンを使った計測からプロテイングラフィックスまで、1年間に12課題を設定している。高校や大学の物理学講義で習った現象も出てくるし、物理法則や演繹法の有用性が実感できるので面白い。長さ・質量・温度・時間など、必要な物理量を測定で求め、電卓を使ってそれらを数式に代入し、得られた結果をグラフ用紙にプロットし曲線でつないでみる。場合によっては、まったく的はずれな値や奇妙なグラフになってしまい、大いに悩むこともある。「まずは自分で手を動かしてやってみる」、これが実験の基本でありとても大切である。

【教科書】

慶應義塾大学医学部物理学教室編「物理学実験」を実験初日に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、必要に応じて図書館備え付けの物理教科書および物理学実験書などを利用。

化学実験

1単位 通年隔週

井上 浩義 久保田真理
大石 毅

【授業科目の内容】

春学期には、無機陽イオンの定性分析を題材として、化学実験の基本操作と実験のマナーを身に付けるとともに、無機化学の各論的分野を主体的・体験的に学ぶ。

秋学期は、有機化学実験を行う。有機化合物を合成・抽出し、定性分析やスペクトルによる構造決定などを行う。基礎的な有機化学実験を通して有機化学の理解を深めるとともに、有機化合物の取扱法、安全に実験を行うために注意すべき事項などを学ぶ。

【教科書】

J. マクマリー「有機化学概説」第6版（東京化学同人）

【参考書】

【通 年】

- (1) 阿部光雄編「分析化学実験」(裳華房)
- (2) 木下是雄「理科系の作文技術」(中央公論新社)
- (3) 泉美治他監修「化学のレポートと論文の書き方」(化学同人)
- (4) 玉虫伶太他編「エッセンシャル化学辞典」(東京化学同人)
- (5) 長倉三郎他編「岩波理化学辞典」(岩波書店)

【春学期】

- (1) 松浦二郎他「無機半微量分析」(東京化学同人)
- (2) 高木誠司「定性分析化学(上、中、下)」(南江堂)
- (3) F. A. コットン、G. ウィルキンソン「基礎無機化学」(培風館)
- (4) F. B. ヘスロップ、K. ジョーンズ「無機化学(上、下)」(東京化学同人)
- (5) F. A. コットン、G. ウィルキンソン「無機化学(上、下)」(培風館)

【秋学期】

- (1) 畑一夫、渡辺健一「基礎有機化学実験」(丸善)
- (2) L. F. フィーザー、K. L. ウィリアムソン「有機化学実験」(丸善)
- (3) R. M. シルバースタイン、F. X. ウェブスター「有機化合物のスペクトルによる同定法」(東京化学同人)
- (4) J. R. ダイヤー「有機化合物への吸収スペクトルの応用」(東京化学同人)
- (5) 泉美治他監修「機器分析のてびき」(化学同人)
- (6) 日本化学会編「実験化学講座」(丸善) シリーズ

生物学実験

2単位 通年

長井 孝紀 鈴木 忠
中澤 英夫

【授業科目の内容】

生物学実験ではアメーバ、ゾウリムシなど単細胞生物から始まって、マウスなどの哺乳動物までが観察対象として用意される。顕微鏡観察のために標準化された試料を観察する場合もあるが、その他に多くの生きた材料が提供される。動き回る精子、そして卵細胞が細胞分裂する瞬間を観て欲しい。そして観たものには、それを同定する和名、英名、ラテン名を与えてやって欲しい。3つの表記を用いなければならないのは、我が国の自然科学者の宿命である。自らの手を動かすことで、記憶の脳細胞は活性化される。

【教科書】

生物学実験教本 医学部生物学教室編(春学期に配布する)

●医学基礎教育科目

基礎分子細胞生物学 I

「基礎医学科目への準備と入門」

4単位 秋学期

末松 誠(医化学)他

【授業科目の内容】

基礎分子細胞生物学 I は、高校で十分な生物学教育を受けなかった学生にも第2学年から信濃町キャンパスで基礎医学科目の専門的且つ広範な領域での勉学についていけるよう、ごく基本的な生命現象の物質論的理解と統合的把握を目指すために設けられた科目である。教科書は最新の生物学分野を幅広く網羅しているMolecular Cell Biologyを用いるが、単に全章の網羅的読破を目的とするのではなく、各章内の重要な概念や生命活動の「しくみ」をピンポイントに理解してもらい、第2学年以降の専門教育の礎としていただきたい。

【教科書】

“Molecular Cell Biology 5th Edition” W.H. Freeman and Company

医療科学 I4単位 通年
樽井 正義 他**〔授業科目の内容〕**

医療はもとより自然科学としての医学研究も、それに関わるのは人です。人を自然科学とは異なる視点から考察する人文科学系の文献を講読し、報告と討議を行い、レポートを作成することを通じて、人と社会についての理解を深めることが、この授業の課題です。(1) 人を理解する多様な視点を得ること、(2) 医療や科学が生活のなかで占める位置、担っている課題を検討する基礎を得ること、(3) 医師や研究者として診療や研究の場で人とどう関わればよいのかを考える基礎を得ることを目標とします。

〔教科書〕

春学期のテキストは、掲示にて通知する。

EEP

「本格的医学教育前の早期医療現場体験実習」

	1単位	特定期間集中
天野 隆弘	佐藤 徹	
星野 晴彦	広瀬 信義	
山岸 敬幸	鹿島 晴雄	
村松 太郎	長谷 公隆	
長井 孝紀	木村 彰男	
川城 丈夫	木村 満	

〔授業科目の内容〕

EEP (Early Exposure Program) は、文字通り医学教育の早期に医療現場に赴き体験実習する課目である。

医学教育の早い段階で医療現場に医学生が足を運び参加して、患者さん、御家族、そして看護師、PT、OT、福祉関係者など医師以外の多く医療関係者からお話を伺い、医療チームの一員の体験もして、医療の実際と現実を自ら体験、医師の役割を考えることを目的としている。

6 理工学部

●基礎教育科目

数学A1 (学門1、3、4、5)

「微分法の基礎と応用」

2単位 春学期

石川 史郎	勝良 健史
亀谷 幸生	下村 俊
田村 要造	仲田 均
坂内 健一	宮崎 琢也
森吉 仁志	

〔授業科目の内容〕

1変数関数および多変数関数の微分法に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を身につけるのが本講義の目的です。

〔教科書〕

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編『数学 A1・B1』
(生協で購入可能)

数学A2 (学門1、3、4、5)

「線形代数」の入門としての行列(特に2次行列)の理論とその応用」

2単位 春学期

太田 克弘	小田 芳彰
石川 史郎	下村 俊
田村 明久	前田 吉昭

〔授業科目の内容〕

線形代数の基礎を2次行列の計算を通して習得、線形微分方程式の解法を通して「線形性」の重要性を理解することを目的とします。その過程で行列の対角化と線形微分方程式の解を求める計算の基礎を身に付けて下さい。

〔教科書〕

指定のテキスト(生協で販売)

〔参考書〕

斉藤正彦『線形代数入門』(東京大学出版会)
中岡稔・服部晶夫『線形代数入門』(紀伊國屋書店)

数学A3 (学門2)

「解析学の基礎(その1)」

2単位 春学期

井口 達雄 前島 信

〔授業科目の内容〕

理工学のような分野において使用される解析学の基礎を学ぶ。具体的には、今まで皆さんが習ってきた実数、数列の極限、連続関数などの定義を見直し、それらの厳密な定義を与え、高校では直観で済まされていた様々な定理の証明を与える。また、1変数関数および2変数関数の微分法とその応用について解説する。

〔教科書〕

この講義用に作成したプリントを使用する。(1回目の授業開始時に履修者に配布する。)

数学A4 (学門2)

「線形代数」

2単位 春学期

石井 一平 栗原 将人

〔授業科目の内容〕

線形代数とは、ベクトルや行列を扱う数学の分野であり、理工学の数学の基礎の大きな部分を占めるものである。この講義では線形代数の基礎概念である「ベクトル」「ベクトル空間」「行列」「行列式」「線形変換」などを学び、また実際の計算方法を習得する。

〔教科書〕

中岡稔、服部晶夫 著『線形代数入門』、紀伊國屋書店

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学B1 (学門1、3、4、5)

「重積分の基礎と応用」

2単位 秋学期

石川 史郎	勝良 健史
亀谷 幸生	下村 俊
田村 要造	仲田 均
坂内 健一	宮崎 琢也
森吉 仁志	

〔授業科目の内容〕

1変数および多変数関数の積分に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を習得することが本講義の目標です。

〔教科書〕

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編『数学 A1・B1』
(生協で購入可能)

数学B2 (1、4、5)

「線形代数の基礎を学んだ学生がさらに深くその内容を理解するためのコース」

2単位 秋学期

石井 一平	太田 克弘
小田 芳彰	田村 明久
前田 吉昭	

〔授業科目の内容〕

数学A2で2次行列で学んだ線形代数の基本計算を3、4次行列で習得し多元連立1次方程式を解け、さらに多変数関数の極値問題を固有値問題と共に理解し、具体的計算法を身につけることを目的とします。

〔教科書〕

指定のテキスト(生協で販売)

〔参考書〕

斉藤正彦『線形代数入門』(東京大学出版会)

中岡稔・服部晶夫『線形代数入門』（紀伊國屋書店）

数学B3（学門2）

「解析学の基礎（その2）」

2単位 秋学期

井口 達雄 前島 信

〔授業科目の内容〕

春学期の数学A3に引き続き、解析学の基礎を学ぶ。面積や体積を求める求積法は紀元前から存在するが、その求積法としての定積分の基礎理論と計算法を解説する。また、級数の収束判定法、関数列の収束についても取り上げる。

〔教科書〕

この講義用に作成したプリントを使用する。（1回目の授業開始時に履修者に配布する。）

数学B4（学門2）

「線形代数」

2単位 秋学期

石井 一平 栗原 将人

〔授業科目の内容〕

春学期の数学A4に引き続き、線形代数の基礎を学ぶ。この講義の主な内容は、「固有値」「固有ベクトル」および「行列の対角化」である。

〔教科書〕

中岡稔、服部晶夫 著『線形代数入門』、紀伊国屋書店

〔参考書〕

授業中に指示する。

物理学A（全学門）

2単位 春学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
福田礼次郎 泰岡 顕治

〔授業科目の内容〕

高校時代の力学とは異なり、ニュートン方程式を微分方程式と捉えて、すべての力学の法則はここから出てくるといふ、力学はまさに近代的な物理の理論の始まりといわれるゆえんを味わっていただく。

微分、積分、ベクトルなどの基本的な知識を仮定する。

〔教科書〕

教科書として『物理学A—一粒子系の力学—』を使用します。生協で購入してください。

この中には、演習で使う問題、さらに過去の試験問題とその解答が載っています。

大いに活用して大学の力学問題が解ける実力を身につけてください。

〔参考書〕

特に指定しません。

物理学B（全学門）

「真空中の静電磁気学」

2単位 春学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

〔授業科目の内容〕

電界、電位、磁束密度、電流、など電磁気学の基本概念を学びながら、例えば対称性のよい電荷分布による電界の計算法などを身につける。さらに、流体力学、弾性体力学などの背景にある「場」というものの概念も身につける。

〔教科書〕

『物理学B&D』

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

〔参考書〕

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

物理学C（全学門）

2単位 秋学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
福田礼次郎 藪野 浩司

〔授業科目の内容〕

物理学Aに続いて、力学の後半を学ぶ。主に、中心力の場の中の運動、多粒子系の運動、剛体の運動である。

〔教科書〕

教科書として『物理学C—中心力、多体系、剛体—』を使用します。生協で購入してください。この中には、『物理学A—一粒子系の力学—』と同様、演習に時間に使う問題、過去の試験問題、その解答が収められています。積極的に活用して各自のレベルアップにつなげてください。

〔参考書〕

特に指定しません。

物理学D（全学門）

「時間的に変動する電磁場および物質中の電磁場そしてマックスウェル方程式」

2単位 秋学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

〔授業科目の内容〕

時間的に変動する電磁場を考える。電磁誘導や変位電流を導入し、真空中のマックスウェルの方程式を導出し、真空中の電磁波について論じる。つぎに電磁場中の物質の性質を扱う。誘電体にはどういう電界ができるか、磁性体中にはどういう磁界ができるか、ということを理解する。同時にベクトル解析の基礎を身につける。

〔教科書〕

『物理学B&D』

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

〔参考書〕

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

化学A (全学科)

「原子や分子の電子構造論と化学結合論入門」

2単位 春学期

伊藤 正時 中嶋 敦
 藪下 聡 山元 公寿
 吉岡 直樹

〔授業科目の内容〕

化学物質の単位である原子の構造を、量子力学の考え方を使得って解説します。高校で習ったK殻、L殻、M殻、という考え方を、1s,2s,2pなどの原子軌道という考え方に深めることにより、原子の電子配置と周期律の関係を理解します。さらに、化学物質を形づくっている化学結合を、電子の振る舞いの点から解説して、分子軌道の考え方を理解します。ここで学んだ分子の化学結合の理解は、1年生秋学期の化学B、あるいは化学C、Dの基礎となります。

理解を助けるために、講義の中で、数回程度の簡単な演習をクイズ形式で行います。なお、この演習での解答は、平常点として考慮します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

教科書として特に指定はしませんが、以下の参考書の中から自分に合ったものを買っておくと便利です。

伊藤正時ら、『物理化学演習』裳華房

茅幸二、中嶋敦著 岩波講座『化学の考え方』(岩波書店)

ヘイワード著、立花明知識、『入門量子化学』(化学同人)

ウィンター著、西本吉助訳、『フレッシュマンのための化学結合論』(化学同人)

小林常利著、『基礎化学結合論』(培風館)

平尾公彦・加藤重樹著、『化学の基礎』(講談社サイエンスフィク)

化学B (学門1、2、4、5)

「無機化学、物理化学、有機化学の基礎 (化学全般におけるものづくりの基礎)」

2単位 秋学期

磯部 徹彦 伊藤 正時
 栄長 泰明 垣内 史敏
 千田 憲孝 中田 雅也
 平島 碩 山田 徹

〔授業科目の内容〕

理工学部1年生においては、数学、物理、化学を基礎科目として全員履修します。化学は「もの」づくりの基本となる分野であり、私達の身の回りにたくさんある「もの」を、サイエンスの立場から理解するためには、化学全般に渡る知識が必要です。講義の前半では無機化合物を、後半には有機化合物をとりあげ、サイエンスの

化学的基礎知識、ものづくりの基礎知識を修得することを目標としています。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

茅幸二著『物理化学演習』裳華房

太田博道著『コンパクト基本有機化学』三共出版

化学C (学門3)

「初等物理化学」

2単位 秋学期

美浦 隆

〔授業科目の内容〕

- 分子科学の基礎
 - 結合エネルギー
 - 結合のイオン性と原子の電気陰性度
 - 分子の極性と誘電分極
 - 分子間相互作用
 - 実在気体の状態方程式
- イオン結晶
 - イオン配列の規則性
 - クーロンポテンシャルとイオン間平衡距離
 - イオン半径
 - イオン半径比と配位数
 - イオン結晶の溶解(溶媒和)とイオン伝導
- 金属・半導体
 - 等大球の充填と最密充填; 金属結晶
 - 異種原子の混在; 合金
 - 自由電子と束縛された電子
 - 価電子帯・禁止帯・伝導帯
 - 不純物半導体
 - 電子伝導率の温度変化
- 錯体・錯イオン
 - 配位共有結合と配位子
 - 配位子場中のd軌道電子
 - d軌道を含む混成
 - 不対電子と常磁性
 - 吸光スペクトルと分光化学系列
- 化学熱力学の基礎
 - 系と外界
 - 系の内部エネルギー
 - 系の状態変化とエネルギー保存則
 - 熱が状態量となる条件; エンタルピー
 - 可逆過程での熱とエントロピー変化
 - 自発変化の判定条件
 - 純化学変化の自発性判定条件; 自由エネルギー
 - ΔH 、 ΔS 、 ΔG の温度変化
 - 体積仕事以外の仕事も関わる化学変化
- 化学反応速度論の基礎
 - 応速度式; 微分形と積分形
 - 気体分子間の衝突反応
 - 活性錯体
 - 反応速度定数の温度変化

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

一般に「物理化学」に分類される書籍。

特定のものは推奨しないが、アトキンス、パーローなどが著名。

どうせ購入するなら英語リプリント版の方が安価で、後々の役に立つ。

化学D (学門3)

「有機化学の基礎。有機化合物と反応。」 2単位 秋学期
西山 繁

〔授業科目の内容〕

炭素原子を中心に構成される有機化合物に特有の電子配置と立体化学を解説します。さらに、有機化合物の変化(反応)にともなう電子の動きを理解できるようにします。以上のような基本事項は、生命現象に関わる生体反応の仕組みを理解する上で非常に重要な手がかりとなります。

〔教科書〕

なし。必要に応じて、PDFファイルとして配布します。

〔参考書〕

ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』(上・下) 化学同人

ストライトウィーザー著『有機化学解説』(1、2) 廣川書店

自然科学実験 (全学門)

「科学の基礎に関する物理および化学実験」
2単位 春学期/秋学期
西山 繁 他

〔授業科目の内容〕

自然科学実験は、物理学編と化学編から構成されています。物理学編は、重要な物理現象と基本的な測定技術習得を目的として各テーマを置いています。また、化学編は化学の基礎を理解する上で役立つ「ものを作る実験」と「物の性質を調べる実験」を中心にテーマを組み立てています。この実験を受講することで、あらゆる分野に関連する科学の基礎知識を習得します。

〔教科書〕

自然科学実験 物理学編および化学編の2冊があり生協で購入して下さい。

〔参考書〕

特にありません。

情報処理同実習 (全学門)

「パソコンを使いこなす」 2単位 春学期
今井 倫太 大宮 正毅
佐藤 春樹 篠沢 佳久
高橋 正樹 中西はるみ
萩原 将文 宮田 昌悟
山本 喜一 柚木 克之
横森 剛

〔授業科目の内容〕

これからの科学者、技術者にとってコンピュータを使いこなせることはもっとも基礎的な技術です。この科目では、ITCのパソコンを利用して、コンピュータに馴れ、その特徴を知ることを目的としています。このため、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基本的な使い方)を短期間に密度濃く実習します。

〔教科書〕

教科書は講義のはじめに指示します。また、Webに講義資料を載せておきます。

生物学序論 (全学門)

「ヒトの理解を目指して」 2単位 春学期/秋学期
井本 正哉 小野 裕剛
金子 洋之 鈴木 忠
長井 孝紀 松本 緑

〔授業科目の内容〕

科学や技術を通じて次の時代を担う人材となることが期待されている理工学部の学生にとって、基礎的な生物学の知識(敢えていえば、生命のしなやかさとしたたかさをもたらす複雑なシステムの理解)は欠くことの出来ない素養であり、それ無しには人類が解決すべき諸問題に立ち向かうことはおぼつかないといっても過言ではない。生物は、歴史的に獲得した情報を内包している遺伝プログラムの枠組みのうちで、環境からの刺激に応答しながら、複雑な系を安定な状態に維持することのできる統合システムとしてとらえることができる。このような柔軟な統合システムの考え方・見方を学ぶことは、理工学部の学生にとっては特に意義深いものと考えられる。また、すべてのテクノロジーはヒトによって担われ、最終的にヒトを対象としたものであり、生物としてのヒトという観点を抜きにしたテクノロジーは本来ありえない。

生物学序論はこのような認識に基づいて昨年度より新たに開講されたもので、細胞と個体を中心にすえて生命現象の多様性と共通性を見るときに、それぞれのシステムの成り立ちとその活動の基本的な機構を学ぶことによって、生物の“しなやかさ”と“したたかさ”、およびそれらの裏返しでもある“もろさ”を理解し、その延長としてヒトHomo sapiensのより深い理解を目指す。それぞれのテーマにつき、典型的なあるいは理解しやすい具体例を用いて説明するが、さらに深く学ぶために、関連する書籍等を随時紹介する。

〔教科書〕

指定せず

〔参考書〕

『生命科学のための基礎シリーズ 生物』実教出版

理工学概論（全学門）2単位 春学期／秋学期
小山内 州一 黒田 忠広

〔授業科目の内容〕

新聞や雑誌でしか知らなかった、最新の学問分野あるいは社会の大きな潮流とその背景を把握するとともに、自身が目指す勉強あるいは働く分野の中身を十分に理解し、同時に自分自身が持つ可能性を再認識することを目的としている。広い教養が専門知識を一味、より深いものに味付けします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

木下是雄著『理科系の作文技術』中公新書 ￥700
慶應義塾大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会 ￥1,200

●専門基礎科目**アルゴリズム**2単位 秋学期
大野 義夫

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて解きたい問題には、いくつかの典型的なパターンがあります。また代表的なパターンの問題に対しては、解法の定跡が確立しています。

この科目では、定跡となっているアルゴリズムやデータ構造を学ぶとともに、アルゴリズム同士の定量的な比較の仕方についても考えます。

〔教科書〕

石畑清『アルゴリズムとデータ構造』（岩波書店）

アルゴリズムと情報処理2単位 秋学期
神原 康文

〔授業科目の内容〕

プログラミング言語を勉強しただけでは、データ解析などの実際の仕事を行うためのプログラムを書くことはできない。問題を解決するための手順を正確に記述して、それをプログラムに書き下す必要がある。この問題を解決するための手順には、いくつかの定石があり、その定石を組み合わせるにより、上質なプログラムを完成させることができる。計算機科学において、この定石はアルゴリズムと呼ばれている。

本講義では、データ構造の設計からはじめて、いくつかの代表的なアルゴリズム、ソーティング、グラフ探索、などを紹介し、さらにいくつかのアルゴリズムスキーマについても勉強する。

さらに、生命科学においてもっとも重要なデータ構造である「配列」を扱うための基礎理論である形式言語とオートマトン理論についても勉強する。

〔教科書〕

横森貴著『アルゴリズム データ構造 計算論』サイエンス社

〔参考書〕

富田、横森著『オートマトン・言語理論』森北出版

アルゴリズム同演習2単位 秋学期
眞田 幸俊

〔授業科目の内容〕

C言語の既習者を対象に、処理対象をフローチャートにまとめ、C言語によってプログラミングする方法を学ぶ。オセロゲームを対象とし、機能を追加しながらプログラミングすることを学習する。学期末にトーナメントを開く。OSはLinux、コンパイラはgccを用いる。

〔教科書〕

講義資料を配布する。

〔参考書〕

森田和郎、国枝交子、津田伸秀『思考ゲームプログラミング—オセロゲームのアルゴリズムと作成法—』アスキー出版

アルゴリズム論

2単位 秋学期

山口 高平

〔授業科目の内容〕

基本的なアルゴリズムをフローチャートレベルで理解し、書けるようになることを目標とする。

また、これらアルゴリズムの応用についても学ぶ。

〔教科書〕

資料配布。あるいは指定したWebページ各自ダウンロードして持参すること。

〔参考書〕

講義中に示す

位相数学

「位相空間入門」

2単位 秋学期

坂内 健一

〔授業科目の内容〕

実数空間内の点列の「収束性」や、実数空間上定義された関数の「連続性」は、数学においてとても大切な概念です。これら重要な考え方を、実数空間以外の空間でも扱うために導入されたのが、「位相空間」の概念です。この講義では、位相空間の定義を始めとして、位相空間の例や新しい位相空間を構成する方法、点列の収束性、写像の連続性、位相空間の連結性・分離性・完備性・コンパクト性、距離空間など、位相空間論の初歩を学びます。特に最も基本的な例である実数空間の場合とも対比させながら、収束性や連続性などの諸概念が、現代の抽象数学においてどう扱われているか、解説します。

必ずしも直感が働かない抽象数学の世界では、様々な概念を論理的にかつ正確に記述することが大切です。位相空間を学ぶことを通して、数学的な記述能力を身につけることも、合わせてこの講義の目的です。

〔教科書〕

松坂和夫「集合・位相入門」岩波書店

インダストリアル・エンジニアリング

「作業システムの分析と改善」

2単位 春学期

金沢 孝

〔授業科目の内容〕

経営工学で中心的役割を果たすインダストリアル・エンジニアリング (IE) の諸手法を、歴史的な観点や哲学的な観点を加えながら説明します。企業活動におけるIEの役割、「改善のための発想」に重点をおいた仕事の方法の分析、仕事の時間の把握、工程設計の基礎知識に関して講義します。

〔参考書〕

藤田彰久著『IEの基礎』建帛社

川瀬武志著『IE問題の解決』日刊工業新聞社

エレクトロニクス・デバイス

「半導体デバイスの基礎」

2単位 秋学期

松本 智

〔授業科目の内容〕

エレクトロニクス・デバイスは、現在の情報通信化社会の基盤技術として大きな役割を担っている。パソコン、ディスプレイ、携帯電話を始め、様々なエレクトロニクス機器には、半導体材料で作製された多種のデバイスが用いられている。この中で、本講義では、もっとも基本的なデバイスであるpn接合ダイオードとLSIを構成しているMOSトランジスタおよび基本的MOS論理ゲートに関して、その動作原理、動作特性について学習する。バイポーラ・トランジスタ、化合物半導体高速トランジスタ、太陽電池、半導体レーザー等の多種のエレクトロニクス・デバイスについては、3年秋学期「半導体物理」で講義を行う。

〔教科書〕

松本 智著『半導体デバイスの基礎』（培風館）

〔参考書〕

S.M.Sze著『半導体デバイス』（産業図書）

エレクトロニクス基礎

「シリコンの中の電子を理解する」

2単位 春学期

斎木 敏治

〔授業科目の内容〕

電子工学科で回路、デバイスを学ぶ上で必須となる半導体（特にシリコン）の基本事項を習得することを目指します。半導体中の電気伝導を理解するために必要なエネルギー帯構造、有効質量、正孔、状態密度、エネルギー分布、不純物準位など、独習が難しい概念に重点を置いて講義をおこないます。不純物半導体の理解まで到達することを目標とし、秋学期の「エレクトロニクス・デバイス」へスムーズに移行できるように配慮します。

〔教科書〕

講義資料を配布し、それに沿って授業を進めます。

〔参考書〕

初回の講義で紹介します。

エレクトロニクス創造演習

2単位 秋学期

岡田 英史 高橋 信一

〔授業科目の内容〕

エレクトロニクス創造演習は、自らのアイデアを生かしてエレクトロニクス・システムを製作する“実験的な実習”を行う科目です。個々の学生が主体的に取り組めるよう、与えられるのは基本的にはテーマのみで、あとは決められた予算の範囲内でより高性能になるよ

う、各グループが自由に工夫を行ってシステムを構築します。システム構築の過程において、調査、討論、プレゼンテーションなどを実施して、研究・開発に必要なとされる基本的なスキルについて学びます。学期末には、各グループが作成したシステムを用いてコンペティションを実施するとともに、各自の成果に関するプレゼンテーションを行います。

なお、2~4名程度の少人数でグループを組む演習科目ですので、履修制限を行うことがあります。

〔教科書〕

適宜プリントを配布する。

応用解析第1 (化学、応化)

2単位 春学期

朝倉 浩一

〔授業科目の内容〕

化学及び物理現象の解明に必要な種々の微分方程式に対する解析法の基礎を学びます。単に数学としての講義ではなく、化学及び物理現象と関連させて説明します。

〔教科書〕

志水・鈴木著『常微分・偏微分方程式ノート』コロナ社、1995年

応用解析第1 (電子、SD)

2単位 春学期

佐野 昭

〔授業科目の内容〕

微分方程式は、理工学分野に現れる現象を記述し解析するための重要なツールの一つである。常微分方程式、偏微分方程式の基礎を理解し、実際に微分方程式を導出したたり解いたりできる应用能力を修得することが目的である。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

志水・鈴木『常微分・偏微分方程式ノート』コロナ社

応用解析第1 (機械)

「微分方程式の理解とその解法／ベクトル微分演算の基礎」

2単位 春学期

澤田 達男 堀田 篤

〔授業科目の内容〕

本講義は大きく2つに分けられる。

- (a) 微分方程式の解法
- (b) ベクトルの微分演算

おのおの6回の講義が行われる。演習・宿題を数多く取り入れ理解が深まるようにする。担当教員も (a) 堀田、(b) 澤田、が行う。(a) 微分方程式の解法では、常微分方程式の性質を理解し、その解法をマスターすることが目標である。(b) ベクトルの微分演算では、添字表示に基づくベクトルの微分演算法をマスターし、微

分演算の物理的性質を理解することが目標である。

〔教科書〕

- (a) 微分方程式の解法
 渋谷仙吉・内田伏一、物理数学コース『常微分方程式』裳華房 (1998)
- (b) ベクトルの微分演算
 無し。プリントを用意します。

〔参考書〕

無し

応用解析第1 (数理、物理)

「常微分・偏微分方程式の入門」

2単位 春学期

谷 温之

〔授業科目の内容〕

常微分及び偏微分方程式の初期値問題及び境界値問題、Fourierの方法

〔教科書〕

担当教員による講義用プリントを配布

〔参考書〕

- 望月清、I.トルシン『数理物理の微分方程式』培風館
- D. Grennspan, Introduction to Partial Differential Equations
- S.L. Sobolev, Partial Differential Equations of Mathematical Physics, Dover
- I.G. ペトロフスキー『偏微分方程式論』東京図書

応用解析第2

「線形システム解析の基礎理論」

2単位 秋学期

池原 雅章

〔授業科目の内容〕

線形常微分方程式で記述される対象(現象)すなわち、線形動的システムの基礎的理解を深めることを目的とし、線形システム理論、回路網理論、制御理論等への準備と位置付けられる。線形代数の基礎、ラプラス変換、Z変換を履習したあと、常微分方程式、差分方程式の解法、解析へ向かう。したがって、応用解析第一の履修を前提としない。

〔教科書〕

高橋進一、高橋徹 共著『線形システム解析入門』(培風館)

応用化学計算基礎

「化学系におけるコンピュータ操作のリテラシーおよびスキルアップ」

2単位 秋学期

寺坂 宏一 吉岡 直樹

〔授業科目の内容〕

化学分野においてもコンピュータは必要不可欠な道具となり、実験結果の整理および論文作成、実験操作の支援、反応装置の開発や設計を目的とした数値計算あるいは分子構造のシミュレーションなどを行う機会が多くなってきました。

そこで、化学分野においてコンピュータ計算を必要とする例題を、Windows上の表計算ソフトやプログラミング言語を用いた実習の中で解きながら、コンピュータの操作方法や応用方法について理解を深めます。

表計算ソフトの実習ではExcelを用い、主としてデータの整理法および公的論文や報告書のグラフ様式として不都合のない作図法について学び、さらにマクロやVBAを使ったプログラミング入門へ導きます。

プログラミング言語の実習ではVisual Basic for Applicationsを用い、主としてコンピュータ処理の流れおよびコンピュータ言語に共通のプログラミング技術の基礎に関して学習します。

履修学生は基礎的な化学の知識を身につけたうえで、パソコンの利用によりどのような効果が期待できるかを体験してください。

〔教科書〕

寺坂宏一著『化学系学生のためのExcel/VBA入門』CD-ROM付、コロナ社（2006）、3,150円

応用確率論（情報）

2単位 春学期
大槻 知明

〔授業科目の内容〕

確率は、情報理論、通信理論、信号処理、ネットワーク工学などの様々な工学分野から、経済などの分野まで広く利用されている。本講義では、確率の基礎から確率過程まで、工学分野で見られる様々な現象を例にして解説する。

〔教科書〕

中川正雄、真壁利明著『確率過程』培風館

応用確率論（電子）

「理工学における現象を確率過程としてとらえるための基礎を学ぶ」

2単位 春学期
真壁 利明

〔授業科目の内容〕

駅改札口の込み具合、携帯電話の呼び、PCの故障など事故予測などは、確定現象と異なり、「その事象がある確率で起こることを予言する」立場の確率現象である。本講義では理工学の諸課題を確率過程の立場で明らかにするためのスキルを身につける入門編である。これまでに学んだ確率の諸概念を簡単に復習した後、確率現象を確率過程としてとらえる基礎をやさしく学ぶ。確率現象あるいは確率過程として自然を解き明かす喜びを伝えたい。

〔教科書〕

中川・真壁著『確率過程』（培風館）

応用確率論（機械、物情）

「確率論・統計学を基礎にした乱数を用いたシミュレーション法」

2単位 秋学期
横井 康平

〔授業科目の内容〕

質点の運動はおなじみの運動方程式で表され、初期条件さえ決めれば完全に決定できます。しかし、我々が現実に出会う現象には、とても解けないほど数の多い気体分子の運動や、複雑な要因がからんで解が決定できない射的的的当てやサイコロ投げなどの確率的に扱わなければならないものがあります。ミクロの世界では、量子効果のため現象の記述に本質的に確率が使われます。ここでは、このような確率現象をどのように取り扱うかということと、このような現象を理工学の問題に应用する方法について解説します。

まず、確率の基礎を説明し種々の確率分布になじんでもらい、統計手法への応用を扱います。ついで、乱数を用いた確率論的なモンテカルロ・シミュレーションでいくつかの自然科学現象を調べます。そこでは確率を自由にコントロールしてその現象と同じ確率をもつ「粒子」を発生させ、その振る舞いを観察します。

〔教科書〕

なし

講義原稿は教育支援システム <http://www.edu.keio.jp/> からローカルユーザーログインしてダウンロードできます。

〔参考書〕

I. ガットマン、S.S. ウィルクス 共著（石井恵一、堀素夫 共訳）『工科系のための統計概論』培風館

応用数学（機械、電子、物理）

「フーリエ解析」と「線形代数」

2単位 秋学期
岡田 英史

〔授業科目の内容〕

理工学における現象の解明や工学機器の設計などへの応用を目的とした数学が応用数学です。この講義では、データ解析において必要とされるフーリエ解析と線形代数を中心に解説を行います。

応用数学（情報）

「情報処理のためのフーリエ変換・ラプラス変換・Z変換」

2単位 春学期
斎藤 英雄

〔授業科目の内容〕

情報処理の基本的な数学的道具として最も重要である、フーリエ変換・ラプラス変換・Z変換について講義する。

〔教科書〕

特に指定しない。講義に際して配布するプリントを利用する。

応用電気電子回路

「実践的な電気回路・電子回路演習」 1単位 秋学期
松本 佳宣

〔授業科目の内容〕**概要**

電気回路と電子回路に関して、身の回りや研究で良く用いられている回路を中心に概説して、演習問題等を通して各種回路理論を理解する。また、回路の設計論と実際の回路の関係に関して解説する。

学習の目標

電気回路と電子回路の基礎知識をもとにして、様々な用途の回路の具体例を理解しながら、実際に道具として使いこなせるように回路理論を修得する。また、身近にある電気機器の仕組みがある程度わかるようにする。

〔教科書〕

須田健二・土田英一著『電子回路』コロナ社 及び配布プリント

〔参考書〕

授業中に適宜紹介する。

応用電磁気学同演習

2単位 秋学期
畑山 明聖 齊藤 英治

〔授業科目の内容〕

1) マクスウェル方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、2) 電磁気学の応用問題を自分自身でモデル化し、解くことができる、3) そのための数学的な力を身につける

〔教科書〕

プリント配布

オペレーションズ・リサーチ第1

「見積りと意思決定の科学的基礎」 2単位 秋学期
栗田 治 武田 朗子

〔授業科目の内容〕

オペレーションズ・リサーチ (OR) とは、数学的なアプローチにより、経営を始めとする諸問題の解決を支援する知的枠組みであり、別名、意思決定の科学あるいは見積りの科学とも呼ばれています。企業活動を例にとっても解決すべき問題はたくさんあります。設備投資の意思決定、納期が厳しいプロジェクトの作業計画、在庫管理、競争環境における撤退・縮小・拡大等の意思決定、など。また、都市・地域計画や交通計画といった公共的な分野においてもORに依拠した科学的な意思決定の重要性が認識されつつあります。こういった様々な問題を解決するための道具として、多くのOR手法が提案されています。OR第1では、ORの考え方や手法についての基礎を習得してもらうことを目的としています。例を織り交ぜながら、オペレーションズ・リサーチの代表的な手法である、線形計画法、凸二次計画法、動的計画法、

微分方程式モデルを取り上げます。

〔参考書〕

- [1] 今野浩『線形計画法』、日科技連 (1987)
[2] 福島雅夫『非線形最適化の基礎』、朝倉書店 (2001)
[3] D. バージェス、M. ポリー著、垣田高夫、大町比佐栄訳『微分方程式で数学モデルを作ろう』、日本評論社 (1990)

解析力学

2単位 春学期
福田 礼次郎

〔授業科目の内容〕

「物理学A」、「物理学C」で学んだニュートン力学は、変分原理に基づいて解析力学と呼ばれる新しい形式に体系化されます。それは現代物理学の理論体系の基礎となるものです。本講義では、解析力学のうち、「ラグランジュの運動方程式」と「ハミルトンの正準方程式」について解説をします。

解析力学を使うと力学の演習問題を見通しよく、容易に解くことができますが、その力を身につけることを目指します。量子力学への橋渡しに注目します。

〔教科書〕

特にありません。問題を集めたものを(解答も一緒に)何回かに分けて配ります。

〔参考書〕

原島鮮著『力学Ⅱ—解析力学—』(裳華房)

回路とシステム第1

「電気回路の表現と解析」 2単位 春学期
大森 浩充 浜田 望

〔授業科目の内容〕

電気工学の中心的な理論である回路論の体系化された表現法・解析法・設計法は、電磁気現象がその他の物理現象と類似していることから、力学、化学、生物学など他の工学分野へ広く導入され、それぞれの分野で独自の理論へと発展している。このように、電気回路理論の概念は、多くの工学理論の根底を支える重要な考え方となっている。講義では、電気回路を用いてシステムを表現するセンスを養うことをひとつの目的とし、その基礎として、回路素子の性質と回路に関する諸定理を述べ、回路方程式による表現法を習得した後、回路解析法として過渡応答解析法と交流回路解析法を習得する。授業は理論的内容を具体的に直ちに理解・確認できるように、演習・例題を含めた構成とする。

〔教科書〕

システムデザイン工学科配布のテキストを使用する。

〔参考書〕

- 浜田望著『電気回路』森北出版(株)
森真作著『電気回路ノート』(コロナ社)
森真作、南谷晴之著『電気回路演習ノート』(コロナ

社) など

回路とシステム第2

「[回路とシステム第1]」のアドバンスドな内容」

2単位 秋学期

浜田 望

[授業科目の内容]

回路解析手法のオーバービュー
 回路の電力・エネルギーと受動性
 3相交流回路と電力伝送
 2端子対回路—回路の特性表示—
 演算増幅器 (オペアンプ) 便利な機能素子
 分布線路—回路における波動現象—
 周期信号に対する回路の解析
 信号処理機能としての回路
 各項目に関する演習を実施

[教科書]

浜田望著『回路とシステム』共立出版

化学統計熱力学

2単位 春学期

中嶋 敦

[授業科目の内容]

Introduction 熱、温度、仕事 (熱力学第0法則)
 Part1 エネルギー (気体分子運動論と熱力学第1法則)
 §1 気体の状態方程式
 §2 気体分子運動論
 分子の運動と温度
 §3 エネルギーと熱力学第1法則
 仕事と熱、エネルギー
 内部エネルギー、エンタルピー、比熱、熱化学
 Part2 エントロピー (統計熱力学と熱力学第2法則)
 §4 気体分子の量子力学
 §5 分子のエネルギー分布—統計熱力学入門
 §6 量子統計 (Bose-Einstein分布、Fermi-Dirac分布) とMaxwell-Boltzmann分布
 §7 エントロピーと第2法則
 統計熱力学的エントロピー、第2法則、第3法則
 Part3 自由エネルギー (平衡)
 §8 自由エネルギーと化学ポテンシャル
 §9 化学平衡
 化学反応と自由エネルギー、平衡定数、平衡定数の温度変化
 §10 相平衡

[教科書]

特に、教科書は指定しません。教科書がなくても、毎回聞く講義のノートで、十分な理解が得られるように進めます。

[参考書]

茅幸二、他『物理化学演習』裳華房
 茅幸二、中嶋 敦著 岩波講座『化学の考え方』(岩波書店)

バーロー『物理化学』(第6版)上・下 東京化学同人、
 アトキンス『物理化学』(第6版)上・下 東京化学同人、
 ライフ『統計熱力学の基礎』吉岡書店、
 その他、講義の進行に合わせて紹介します。

化学統計熱力学演習

「化学統計熱力学の理解を確実にするために」

1単位 春学期

中嶋 敦 長岡 修平

[授業科目の内容]

「化学統計熱力学」の講義に対応して、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーといった重要な新しい考え方を中心として、これらの理解を具体的な問題を解くことを通じて深めるために演習を行なう。講義「化学統計熱力学」と進度をあわせて補足・先取りしながら進めるので、効果的な学習が期待できる。

[教科書]

特に指定しません。

[参考書]

茅幸二、他『物理化学演習』(裳華房)
 茅幸二、中嶋 敦著 岩波講座『化学の考え方』(岩波書店)
 アトキンス『物理化学』第6版 (東京化学同人)

学外実習第1

2単位 秋学期

松本 緑

[授業科目の内容]

定められたカリキュラム以外に理工学部外、塾外の大学等での授業の履修、あるテーマに関する講習会等の受講、企業・研究機関等での一定期間以上の実習等の内容が専門基礎科目の単位として相応しい内容を有するものであると認定されたとき、本学科目の単位として認定する。すなわち、内容 (場所・時間等を含む) については学生自身が企画することになる。

実習についての詳細は学習指導副主任に相談すること。

確率 (機械、応化、数理、物理、科学)

「統計解析の基礎」

2単位 春学期

鈴木 秀男

[授業科目の内容]

不確実の現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学びます。確率論の基本事項を例題を通して説明し、学確率モデルの工学・社会現象への応用についても解説します。

[教科書]

清水良一著『確率と統計』新曜社、1980

講義資料プリントを配布します。講義は、おおむね講義資料プリントに基づき行います。

[参考書]

田口玄一、真壁肇、古林隆、森雅夫著『確率・統計』
日本規格協会、1981
国沢清典編『確率統計演習1』培風館、1966
真壁肇著『信頼性データの解析』岩波図書、1987

確率（管理）

2単位 春学期
増田 靖

〔授業科目の内容〕

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学びます。工学的・社会的現象への応用についても例示します。

〔教科書〕

清水良一著『確率と統計』新曜社、1980
講義資料プリントはwebサイト
<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masudahp/lectures.htm>
よりダウンロードできます。

〔参考書〕

伏見正則著『確率と確率過程』講談社、1987

確率・統計

〔不確実性を含むデータにおける解析方法〕

2単位 春学期
大森 浩充 小檜山 雅之

〔授業科目の内容〕

実世界で生じる現象は、ほとんどが不確実性を含んでおり、現代の科学・技術の研究において、確率・統計は欠くことのできない重要な道具である。この講義では、確率・統計の初学者を対象として、確率・統計を講義する。本講義は、3年春の確率システムの基礎となる。

〔教科書〕

テキストを配布する予定である。

〔参考書〕

授業中に指定する場合がある。

環境化学概論

〔地球環境の化学〕

2単位 秋学期
鹿園 直建

〔授業科目の内容〕

- ・地球環境問題（温暖化学）
- ・廃棄物問題
- ・資源問題
- ・地球環境倫理

〔教科書〕

鹿園直建著『地球システム科学入門』東大出版、1992
鹿園直建著『廃棄物とのつきあい方』コロナ社、2001

〔参考書〕

鹿園直建著『地球システムの化学』東大出版、1997

関数論第1同演習

〔複素変数関数についての微積分学〕 3単位 秋学期
下村 俊 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

関数論の基本事項について解説する。これらが自由自在に应用できるようになることを目標にする。

1. 複素平面、複素関数、数列、級数
2. 正則関数、べき級数の正則性
3. コーシーの積分定理、コーシーの積分公式とその応用
4. テーラー展開、一致の定理
5. 有理型関数、留数
6. ローラン展開、孤立特異点

〔教科書〕

田村二郎『解析関数』裳華房

管理工学概論

2単位 春学期
休講

管理工学基礎演習Ⅰ

1単位 春学期
篠崎 信雄 他

〔授業科目の内容〕

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なう（班分けは事前に掲示する）。また、最終回に演習内容全般についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

〔教科書〕

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

〔参考書〕

それぞれのテーマの参考書等については、担当者に尋ねること。

管理工学基礎演習Ⅱ

1単位 秋学期
篠崎 信雄 他

〔授業科目の内容〕

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なうが、そうでないものもあるので注意すること。班分けについては事前に掲示する。また、最終回に演習内容全体についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

〔教科書〕

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること（管理工学基礎演習Ⅰで購入するテキストの後半部分）。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

〔参考書〕

それぞれのテーマの参考書等については、担当者に尋ねること。

管理工学用数学第1

「管理工学のための線形数学」

2単位 春学期

小澤 正典

〔授業科目の内容〕

1年生のときに線形代数の基本的なことは勉強していると思いますが、これから管理工学を学ぶ上で、線形数学が大事な用具・方法となります。この授業では、線形代数の幾何学的なイメージを養い、アルゴリズムを学ぶことを主眼とし、その工学や統計への応用、最適化の考え方などについて紹介し、講義+演習の形でしっかりと修得してもらうことを狙っています。

〔教科書〕

適宜、講義内容のプリントを配布する

〔参考書〕

授業のときに紹介する

機械工学創造演習

「自主的行動力と表現力の向上」

2単位 秋学期

泰岡 顕治 他

〔授業科目の内容〕

機械工学創造演習は、各人の興味や才能に基づき、自らの発想でテーマを決め、自分で考えた実験や物作りを実際に行うことで、学びつつあることの具体的な意味や相互の関連を理解し、主体的な勉学の習慣を身につけることを目的とした実技科目です。演習の進行はおおよそ以下ようになります。テーマの検討などは6クラス×2曜日（12人程度）に分かれて行いますが、実験・加工などの相談についてはすべての科目担当者が対応します。このような自主的活動を通して、専門学力のみならず、これからの科学技術者に求められる行動力と表現力も向上することを期待しています。

〔教科書〕

テキストを配布する

〔参考書〕

特に指定しない

機械力学の基礎

「機械を動かすための仕組みと運動の力学」

2単位 春学期

竹村 研治郎 三木 則尚
森田 寿郎

〔授業科目の内容〕

目的とする動きを実現するための機構要素と、そのた

めに必要な力やモーメントの計算方法を学びます。これにより、ある機能を達成するにはどのような仕掛けにすればよいのか、それが動くときにはどのような力が加わるのか、あるいはどのような運動が起こるのかがわかるようになることを目指します。講義前半は、機構の模型も回覧します。また、機構の発想力や運動の解析力を養うために、毎回演習を行い、かつ毎回宿題も出します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

（講義の前半）森田均『機構学』サイエンス社

（講義の後半）S. ティモシェンコ・D. H. ヤング、渡辺茂・三浦宏文訳『応用力学（動力学編）』好学社

基礎化学実験

2単位 秋学期

鈴木 孝治 他

〔授業科目の内容〕

化学実験の基礎となる操作、考え方並びに専門知識を修得するため、以下の内容について、少人数単位の実験実習を行う。

- 実験ガイダンス
- 過マンガン酸カリウムによる酸化還元滴定
- アルカリ金属の原子発光分析
- 遷移金属錯体の可視スペクトル
- 電解質溶液の電導度
- 臭化アルキルの生成反応速度
- D-グルコースの変換光速度
- アズラクトンの合成と同定
- ポリマー粒子の作製と粒度分布

〔教科書〕

指定の実験テキストを生協で販売する。

〔参考書〕

理工学部のメディアセンターなどを利用のこと。

基礎生物学

2単位 春学期

星 元紀

〔授業科目の内容〕

生物の世界は、地球のごく表面を占めるに過ぎず、物理量としても微々たるものであるが、数千万種あるいは数億種からなる多彩な世界である。しかし、そのような多様性を示すにもかかわらず、生命体の基本構造やその営みの素過程は、驚くほどに共通性が認められる。この講義では、現代生物学の基礎知識として、生命活動の基本単位である細胞の構造と機能、生命活動を支える物質およびエネルギーの流れ、個体としての統一性を支える情報の処理と統合、個性の認識、生命の連続性を支える生命情報の流れ、につき学習する。

〔教科書〕

Campbell and Reece “Biology” (7th ed.)

〔参考書〕

Molecular Biology of the Cell (細胞の分子生物学) 等を随時紹介する

基礎生命実験

2単位 秋学期
井本 正哉 他

〔授業科目の内容〕

生命現象を理解するには、化学、生物、物理・情報の総合的な理解が必要である。

本講義では、実験を通してそれらの基礎を習得することを目的とする。

空間設計製図A

3単位 秋学期
岸本 達也 他

〔授業科目の内容〕

設計製図の基礎と空間構成手法を習得する。平面図、立面図、断面図、立面図の描き方、パース（透視図）の描き方、模型製作など建築の各種設計・表現手法を学ぶ。さらに用途を限定した小建築、小住宅の設計を通して空間構成手法の基礎を体得し、製図の基礎から小規模建築の空間構成手法までを習得することを目標とする。

経営管理論

「経営管理の全体像とコーポレートファイナンス」

2単位 春学期
今井 潤一

〔授業科目の内容〕

経営管理というのは、広くは経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）の転換効率や環境適応の能力と創造性を高めて、企業の目的を実現しようとする活動のことを指します。授業では、まず経営管理の全体像の理解、個々の構成要素となる学問との関連について説明を行います。続いて、経営資源の中でもおカネの視点から焦点を絞り、コーポレートファイナンスについて他の関連科目との関係にも触れながら、詳しく説明していきます。

〔教科書〕

古川浩一ほか、『基礎からのコーポレート・ファイナンス』、第3版、中央経済社

〔参考書〕

必要に応じて、授業中に紹介します。

計算機科学同実習

「コンピュータ言語（C-言語）入門」 3単位 秋学期
野寺 隆

〔授業科目の内容〕

マルチメディアやバーチャルリアリティなど、インターネットを使ったサイバースペースの世界が次々に出現している。このような現代社会で、新たに人とコンピュ

ータのコミュニケーションを考えることは重要な事柄である。本講義は、最初に数式を含む文書処理の入門として、LaTeXの基本概念について実習を通して学習する。次に、コンピュータのプログラミングの入門として、C言語を利用し、その実習を通してアルゴリズムの構成法やコンピュータの役割などについて学習する。C言語は、ワークステーション用のオペレーティングシステムUNIXの記述に利用され、高水準プログラミング言語の持つ「構造化」と呼ばれる機能を持ち、コンピュータの金物（ハードウェア）としての機能を充分発揮できるように考えられた高級言語である。この講義では、C言語の学習を通してコンピュータの持つ力を各自の情報処理の仕事に充分発揮できるための基礎的な素養を育成することにある。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

野寺隆志著『楽々LaTeX（第2版）』共立出版

野寺隆志著『これだけは知っておきたい数学ツール』共立出版

浦昭二、原田賢一共著『C入門』培風館

B.W.カーニハン、D.M.リッチー著、石田晴久訳『プログラミング言語C』共立出版

計算機基礎（化学、情報）

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」

2単位 春学期
山崎 信行

〔授業科目の内容〕

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

〔教科書〕

特に指定しません。

以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布します。

<http://www.ny.ics.keio.ac.jp/>

〔参考書〕

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編『電子計算機 I 基礎編』コロナ社

計算機基礎（機械、管理、数理、物理）

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」

2単位 春学期
山中 直明

〔授業科目の内容〕

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するため

の基礎知識を演習を行いながら学習する。

本授業は、本来はコンピュータを主たるトピックスとはしない学科の学生のために情報系と分けて平行授業を行なっている、基礎からの理解を図るものである。

〔教科書〕

特に指定しません。

以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布する予定です。

<http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/>

ただし、ダウンロードは授業と平行して行なわれ、テスト前等に一括しては不可能です。

〔参考書〕

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編『電子計算機 I 基礎編』コロナ社

計算機構成同演習

2単位 秋学期

天野 英晴

〔授業科目の内容〕

マイクロコンピュータのCPUをHDL (Hardware Description Language) を用いて設計しながら、その内部構造を理解する。16bit RISC型CPU (パイプライン化されていないもの) の設計までを半期で行なう。1コマの授業の後に1コマの設計演習を行なう。具体的には、(1) 加算、減算回路、パレルシフトを含むALUの設計ができる。(2) アキュムレータマシンの設計ができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。(3) 16bit RISCに独自の命令を付け加えることができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。を目標とする。

〔教科書〕

天野、西村『作りながら学ぶコンピュータアーキテクチャ』培風館

計算力学の基礎 I

「コンピュータによる数値計算の基礎と実習」

2単位 春学期

小尾 晋之介

〔授業科目の内容〕

本科目では主に以下の内容を扱う：

- A コンピュータを使用する際に必要な基礎知識
- B ワークステーションの利用
- C 簡単な数値計算のプログラムの作成・実行

計算機の内部で処理される数値はアナログではない。このことによって、単純な四則演算を実行しても予想外の結果が得られることがある。この授業では計算機に特有の問題について理解するとともに、プログラムを作成し、使いこなすための基礎を習得することを目的とする。

プログラミングアプリケーションとしてMATLABを用い、数値計算のプログラムを作成・実行する。また、MAPLEなどのユーティリティの使用方法を学ぶ。秋学期の「計算力学の基礎2」では、微分方程式の数値解析を取り扱うため、2つの科目を履修することにより機械

工学で扱うさまざまな方程式について自力で数値解析を行う力が身につくことが期待される。コンピュータ (LINUX) に関する知識は前提としない。

〔教科書〕

テキストを配布予定

〔参考書〕

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社
『矢上キャンパスIT利用バイブル』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

森下信編著『(機械工学基礎コース) コンピュータの基礎と数値計算』丸善株式会社

計算力学の基礎 II

「微分方程式の数値解析」

2単位 秋学期

泰岡 顕治

〔授業科目の内容〕

この科目では微分方程式の数値解析について学ぶ。物理学の基礎となる常微分方程式、流体力学や伝熱工学で用いる偏微分方程式などの解の性質を調べることで物理現象の理解を促進する。単なる知識の習得にとどまらず、方程式を自分で解ける、解いた結果の精度を評価できる、結果が正しく解釈できる、といった力を身につけることを目指す。「計算力学の基礎 I」の履修が必須。

〔教科書〕

配布資料を使用

〔参考書〕

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社
『矢上キャンパスIT利用バイブル』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

森下信編著『(機械工学基礎コース) コンピュータの基礎と数値計算』丸善株式会社

Numerical Methods for Engineering Application, J.H. Ferziger, John Wiley & Sons, Inc. など

計算論理学

「論理と計算のつながり」

2単位 秋学期

岡田 光弘

〔授業科目の内容〕

計算機科学や情報工学の理解のために必要な論理的基礎を与えることを目的とする。論理的言語及び論理的知識表現論、論理的意味論、ルールベースの推論システム、証明論等の基礎理論を与える。又、それらと計算モデル理論 (チューリングマシンやラムダ計算等) の関係を示す。また、プログラム言語理論、フォーマルメソッド、AI分野等で提案されてきた推論エンジンモデル等との関係についても授業内で触れたい。計算機や計算理論の基礎は1930年代に論理学分野で確立された。論理学分野において誕生したコンピュータ概念に対する歴史的

経過についても解説する。

〔教科書〕

教材については秋学期開始時に授業及び掲示で指示する。

〔参考書〕

授業の中で紹介する。

形状情報の表現

「三次元物体を二次元の図面に表現する方法、技術内容の指示方法等の習得」

2単位 秋学期

徳岡 直静 他

〔授業科目の内容〕

図面は、設計技術者の世界共通言語である。将来、機械技術者として自ら設計を行う場合は、自分が意図した機械等の構造や形状、精度、特性等を図面上に自由に表現するとともに、他の技術者の意図を自由に読み取ることができなければならない。また、直接設計に携わらない場合でも、製品の良否を判断する上で、図面内容を適確に把握できる能力が必要である。特に、グローバル化された現在、世界的に活躍するためには国際基準の図面を作成する能力が必要である。本講義では、グローバルに活躍できる技術者になるために、図面に記入すべき項目や国際基準に準拠した指示方法等を、CADを使った実習を通して教授する。

〔教科書〕

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

〔参考書〕

日本機械学会編『機械実用便覧』（常に持参してください）

計測工学（応化、物理）

「電気計測を中心とする「はかる」ことの方と技術」

2単位 秋学期

本多 敏 内山 孝憲

〔授業科目の内容〕

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まずはかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠かすことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

〔教科書〕

なし。

講義に関する図・資料は、配布します。

〔参考書〕

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社

南茂夫・木村一郎・荒木勉著『はじめての計測工学』談社サイエンティフィク

前田良昭・木村一郎・押田至啓著『計測工学』コロナ社

計測工学（物情）

「電気計測を中心とする「はかる」ことの方と技術」

2単位 秋学期

松本 佳宣

〔授業科目の内容〕

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まずはかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠かすことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

〔教科書〕

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』（オーム社）

および他の参考文献から引用した講義に関する図・資料を配布します。

〔参考書〕

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社

南茂夫・木村一郎・荒木勉著『はじめての計測工学』談社サイエンティフィク

前田良昭・木村一郎・押田至啓著『計測工学』コロナ社

光学基礎

2単位 秋学期

木下 岳司

〔授業科目の内容〕

光技術は現在最も急速に発展している技術の一分野です。レーザを応用した多くのハイテク機器が身近に使われています。光の波としての性質と代表的な応用例について講義します。今の電機、精密メーカーで必要な内容です。

〔教科書〕

プリントを配布します。未完成にしますので、講義で補充して完成させてください。

〔参考書〕

Eugene Hecht 著『Optics』Addison-Wesley（丸善から和訳3冊組があります）

左貝潤一著『光学の基礎』コロナ社

大頭仁、高木康博著『基礎光学』コロナ社

大坪順次著『光入門』コロナ社

羽根一博著『光工学』コロナ社

光学システム

「Optics System」

2単位 秋学期

内山 太郎

〔教科書〕

『光学の基礎』

工学数学

2単位 春学期

桂 誠一郎 柿沼 康弘

〔授業科目の内容〕

工学をシステム論から解析し、設計しようとするならば、必ず数学の助けが必要になる。本講では、級数、微積分、複素解析、ベクトル解析等を横断的に取り上げ、総合的な見方が出来るよう講義を行う。

〔教科書〕

資料プリント配布

高分子化学基礎

「分子レベルから材料レベルまでの“高分子”」

2単位 秋学期

川口 春馬

〔授業科目の内容〕

‘高分子とは’から始め、「構造」「構造をつくり出す方法」「構造がもたらす物性」「物性に由来する機能」を学び、‘高分子を理解しながら使いこなす’能力をつける。同時に、高分子を題材として、科学する力を培う。

1 序論

- 1.1 高分子とは
- 1.2 高分子化学の歴史と未来

2 高分子の化学構造

- 2.1 一次構造
- 2.2 モノマーの結合様式
- 2.3 分子量

3 高分子鎖の特性と溶液の性質

- 3.1 高分子鎖の形と大きさ
- 3.2 溶液の熱力学
- 3.3 浸透圧
- 3.4 光散乱
- 3.5 粘度

4 高分子の構造と物性

- 4.1 高分子の構造解析
- 4.2 ガラス転移と融解
- 4.3 高分子結晶
- 4.4 粘弾性

5 高分子の合成

- 5.1 高分子生成の様式
- 5.2 連鎖重合
- 5.3 逐次重合
- 5.4 共重合

6 高分子の反応

6.1 高分子改質

6.2 分解・劣化

7 生体高分子

〔教科書〕

高分子学会編集『基礎高分子科学』（東京化学同人）

〔参考書〕

蒲池幹治著『改訂 高分子化学入門』NTS

コンピュータ実習

「UNIXの基礎」

2単位 春学期

斎藤 博昭 重野 寛

〔授業科目の内容〕

現在のコンピュータには様々な種類がある。その中にUNIXに基づいて動くものがあるが、UNIXはコマンドラインを中心としたものであり、Windowsと異なる部分が多々ある。本講義では、UNIXを利用する際の基本的なコマンドや基本的なソフトウェアを実習することにより、UNIXに関する基礎の習得を目指す。

〔教科書〕

講義の初めに指示する。

〔参考書〕

講義の初めに指示する。

細胞生物学第1

2単位 秋学期

井本 正哉

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルで研究する上で必要な分子細胞生物学の基礎知識を教科書に沿って学ぶ。

〔教科書〕

『分子細胞生物学』第5版 上巻 東京化学同人

材料力学の解法

「はりと軸の強度・変形に関する実例と解法」

2単位 春学期

大宮 正毅 小茂鳥 潤
高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目ですが是非履修するよう勧めます。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としています。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する理解を演習を通じて深めることになります。

個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説します。実際の計算の例題を豊富に提示することになりますから、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されています。

内容は「材料力学の基礎」と同様で、下に示す項目です。教科書、参考書は特に定めません。必修科目である

「材料力学の基礎」の講義の5日後に、本科目で例題を解くこととなりますので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して臨んで下さい。

〔教科書〕

特に指定しませんが、「材料力学」という名称の書籍が多数あるのでそれらを参考にして下さい。

材料力学の基礎

「はり軸の強度と変形」

2単位 春学期

大宮 正毅 小茂鳥 潤
高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げます。はりや軸のような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析を行います。材料力学の基本的考え方、基本原理を解説し、3年次以降の材料力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを目的としています。

基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を注ぎます。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなります。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えますから、併せて履修することにより深い理解が得られるよう配慮されています。

教科書、参考書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多いので個人的に参照することが可能です。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

〔教科書〕

特に指定しませんが、「材料力学」という名称の書籍が多数あるのでそれらを参考にして下さい。

酸塩基及び酸化還元

「あらゆる化学現象を理解するための基礎的概念」

2単位 春学期

大坂 武男

〔授業科目の内容〕

化学全般の基礎である「酸・塩基反応」および「酸化・還元反応」を理解できるようにします。

〔教科書〕

特に用いない。毎回、講義内容のプリント（A4用紙10枚程度）を配布し、同じ内容のOHPを用いて講義する。

〔教科書〕

「物理化学」関連の参考書

藤永太郎訳『酸塩基の理論』化学同人

曾根興三著『酸化と還元』培風館

システム制御論

2単位 秋学期

富田 豊 柚木 克之

〔授業科目の内容〕

下記の内容のほか、制御理論が生命科学に応用されて成果を挙げた例を取り上げます。

- ・線形2階微分方程式と振動
- ・固有値と安定性
- ・Laplace変換
- ・伝達関数
- ・インパルス応答
- ・ブロック線図とその変換法
- ・周波数応答
- ・Bode線図
- ・Routh-Hurwitzの方法による安定性判別
- ・制御系の設計
- ・非線形制御と分岐

〔教科書〕

Joseph J. Distefano, et al., Schaum's Outlines Feedback and Control Systems Second Edition, McGraw Hill, Paperback

吉田勝俊『振動論と制御理論』日本評論社

〔教科書〕

森泰親『演習で学ぶ基礎制御工学』森北出版

Steven H. Strogatz, Nonlinear dynamics and chaos, Westview

平井和正『非線形制御』コロナ社

システムデザイン工学概論

2単位 春学期

伊香賀 俊治 佐藤 洋平

〔授業科目の内容〕

「システムデザインとは何か」について、特別講義、課外講義を通して学ぶ。

システムデザイン工学が目指すものは何か、何をどのように学ぶべきか？ システムデザイン工学に関して、学内の講義のみではない課外講義を含む活力ある形式により、その理念とその視点からの先端技術の状況を講義する。

この講義では、人類（社会・経済・文化）と自然との調和を考えた工学の必要性、情報化社会に適したシステムづくり、複雑そして総合的なシステムを扱える工学の確立など、社会で本学科が果たす役割を理解して、既成の分野に拘らない広い学識を持ち、新しい発想から新分野を開拓できる、横断的な思考と学際的な発想からシステムデザイン目指して学ぶその動機づけを与えることを目的としている。

機能を追求するだけでなく、現象の本質をグローバルな視点で解析するとともに取り巻く環境との調和にも十分配慮してシステムデザインすることを学びひとりひとりが積極的にシステムデザイン工学そのものを創造することを目指してほしい。

システムデザイン工学基礎演習

1単位 秋学期
佐藤 春樹 他

〔授業科目の内容〕

本科目は、システムデザイン工学科2年生春学期に開講した「熱流体システム第1」「力学的モデリング」「電磁気工学」「回路とシステム第1」なる4つの基礎必修科目に関する理解を深めさせ、学生に十分にその内容を身に付かせることを目的として設置した演習科目であり、基礎的な問題に対処できるようになることと、これら基礎科目に関する分野横断的な側面もカバーしている。春学期に履修した授業内容の演習を秋学期に行うことで、さらなる習熟度向上が期待され、同時に、秋学期に履修しているアドバンスな関連科目に関する理解向上に貢献することもねらいである。本演習科目は、上記基礎必修科目の担当教員8名による2クラス制のオムニバス形式で開講される。

〔教科書〕

『熱流体システム第1』『力学的モデリング』『電磁気工学』『回路とシステム第1』のテキスト

社会・経済と工学

2単位 秋学期
青山 藤詞郎 三田 彰

〔授業科目の内容〕

科学技術を道具として出発したコンピューターを例にとれば、単なる計算道具でなく、経済活動や社会システムまでも変えてしまう、予期しなかった大きな影響を生み出している。あるいはエネルギーの例に見れば、生活を豊かにしただけでなく、地球温暖化や資源競争など、国際・法律・社会心理へも及ぶ広い影響がある。科学技術者には、一方では技術の波及効果について社会的責任を求められる機会が増えており、また、他方では経済や社会の広い知識と問題意識を持つ人が社会で求められている。この講義では、一部は外部専門家の話を依頼して、現在の具体的な事例を挙げることにより、科学技術の影響の広がりを知り、将来の対応の糸口を考える

〔授業の計画〕(内容と順序は変更になる場合があります)

周期表の化学基礎

2単位 春学期
山元 公寿

〔授業科目の内容〕

宇宙と地球における元素の誕生と分布の過程を知る。また、周期表にしたがって各元素の特性を把握し、それが化学物質の構造や性質にどのように反映されているかを理解する。特に、類似の性質を持つ元素群(族)に分類して、具体的な特徴を解説する。

- 1 元素の誕生
- 2 周期律

3 元素各論

〔参考書〕

コットン、ウイルキンソン、ガウス著、中原訳 『基礎無機化学』 培風館
田中政志、佐野充著 『原子、分子の現代化学』 学術図書、井口洋夫 『元素と周期律』 裳華房

周期表の化学第1

「無機化学、錯体化学、配位子場理論、群論入門、群論の化学への応用」

2単位 秋学期

近藤 寛

〔授業科目の内容〕

無機化学の基礎となる配位子場の考え方、配位結合について述べます。無機化合物を学ぶ上で最も大切な基礎を扱います。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

F. Basolo, R. C. Johnson (山田祥一郎訳) 『配位化学』 化学同人

集合論

「数学の基礎的手法」

2単位 春学期

亀谷 幸生

〔授業科目の内容〕

現代数学の基本的言語である集合の概念とその基本的演算について解説する。具体的にはまず実数について説明した後で

集合の概念、和と共通部分、写像、積集合、巾集合、無限集合と濃度の概念、選択公理、同値関係と商集合などについて述べる。

話題の性質上、抽象的な議論は不可避だが、具体例なるべく多く交えながら理解を回りたい。

数学における標準的な記号法と議論の前提となる論理規則も合わせて導入していくので慣れてもらいたい。通常数学で行われる論理展開の方法に習熟し、頭で理解するだけでなく実際に自分で手を動かして自力で数学的な推論が実行できるようになることが目標である。

〔参考書〕

内田伏一『集合と位相』裳華房、
松阪和夫『集合・位相入門』岩波書店、
齋藤正彦『数学の基礎 集合・数・位相(基礎数学14)』
東京大学出版会、
志賀浩二『集合への30講』朝倉書店、
志賀浩二『位相への30講』朝倉書店、
赤堀也『集合論入門』培風館、
井関清志『集合と論理』新曜社。

情報経済学

2単位 秋学期
増田 靖

〔授業科目の内容〕

この科目では、管理工学の経済学的側面からのアプローチを考え、企業間・企業内活動を主な分析対象とします。具体的には、二つのテーマを取り扱います。第一のテーマは価格設定です。企業の行動に焦点をあて、市場と企業組織内部の両方に対する価格の役割を調べます。第二のテーマは不確実性と情報です。意思決定者が不確実性にどのように取り組むかという問題を、モデル分析を通じて検討します。そのために不可欠な道具である期待効用理論を学び、危険回避行動を議論します。典型的な例として保険契約や独占的差別価格の問題を議論します。

〔教科書〕

教科書は特に指定しません。講義資料はwebサイト
<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masudahp/lectures.htm>

よりダウンロードできます。

〔参考書〕

奥野正寛・鈴木興太郎著『ミクロ経済学Ⅰ、Ⅱ』岩波書店、1985、1988

H.R.ヴァリアン著、佐藤隆三・三野和雄訳『ミクロ経済分析』勁草書店、1986

P.ミルグローム・J.ロバーツ著『組織の経済学』NTT出版、1997

情報処理システム

「論理的思考、手続き的思考、構造化、オブジェクト指向」
2単位 春学期

矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

実験を計画したりレポートを執筆したりする場合など、我々理工学に携わる者には初期状態から目標に向かって理路整然と物事を進行・展開していく能力が求められる。また、そのような問題設定と解決方法を理論的にデザインすることで、情報処理システムによる解決の道が開かれる。本講義では、物事を論理的に思考したり、解法などの処理手続きを構成する手法を講義する。また、構造的な構成手法や、オブジェクト指向の構成手法により、手続きの可読性や再利用性が高まることを理解するであろう。簡単な論理だけを幾重にも組み合わせることで大規模な問題の解法を与えることができる面白さと利便性に興味を持ってもらえるように、また簡単な演習を通じて実体験を通して体得していただけるよう配慮しながら講義する。

〔教科書〕

配布資料、およびウェブへの掲載資料による。

〔参考書〕

矢向高弘、村上俊之、大西公平共著 数理工学基礎シ

リーズ5『コンピュータの数理』朝倉書店

情報数学概論

「計算機科学に使われる数学」

2単位 春学期
田村 明久

〔授業科目の内容〕

計算機科学でよく使われる数学概念を概説します。特に、論理的推論、集合、写像、同値関係、半順序関係、グラフ、簡単なアルゴリズムなどに重点をおき、講義を行います。広い範囲の話題を扱うので、それぞれの話題についてはあまり深入りせずに、具体的な例を通じて概念や記法を理解してもらうことに主眼をおきます。

〔教科書〕

使用せず。毎回資料を配布します。配布方法については、受講人数にも依存するため初回に説明します。

情報通信工学基礎

2単位 春学期
小沢 慎治

〔授業科目の内容〕

情報・通信分野の基礎を統括する科目として、以下の項目の概要が把握でき、重要な術語が理解できることを目的とする。また3年で設置される、情報・通信関連科目の関連、系統が理解できるように配慮する。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業で用いるスライドのコピーを配布する。

情報理論

「情報を把握するための第一歩」

2単位 秋学期
中川 正雄

〔授業科目の内容〕

情報とは何か、情報の量とは何か、情報をどう伝えるのか等、情報の本質に迫ります。情報理論は確率の基礎がわかれば、きわめて簡単な法則ですので理解の容易な分野です。以下に目次を示します。

1 情報理論の背景

軍用暗号の解析から始まったといわれる情報理論は、通信、計算機、メディア、経済など広い応用分野があります。コンパクトディスクに傷をつけても音に変化がないのも情報理論の成果の一つです。

2 確率過程のモデル

文章や音符などは、一定の法則で構成されますが、それを表すのにマルコフモデルを使い、情報の流れを解析します。そこで見つけた遷移確率は逆に文章の自動作文や音楽の自動作曲に利用できるはずですが、はたしてどうでしょうか？モーツァルト風自動作曲はできますか？

3 平均情報量 (エントロピー)

めったに起こらないメッセージが伝わると大きな

情報量になります。砂漠の国の雨のようなものです。しかし、殆ど晴れなので、平均情報量（エントロピー）は低いのです。日本では雨がよく降るので、雨の情報量は少ないのですが、晴れも、曇りもよくありますので、平均情報量（エントロピー）は砂漠の国よりも多いのです。エントロピーはの場合天気予測のしにくさをあらわすことになります。

マルコフ過程のエントロピー、誤りのある場合のエントロピーなども紹介されます。

4 通信路

情報源は複数のメッセージ（晴れ、曇り、雨など）とその確率で表し、通信路はそれらのメッセージの時間長で表します。短い時間長は高速な伝送を可能にします。この通信路でどれだけの最大の通信速度がでるかが通信路容量Cです。

5 シャノンの符号化定理：第一符号化定理（情報源符号化）と第二符号化定理（通信路符号化）

情報源から通信路に1、0の符号にて送りだすには種々の問題があります。まず、10進数字やアルファベット、音声、画像などの情報源は、固有の性格があり、そのままでは、必ずしも1、0の2進数と整合がよいものではありません。整合をうまく取り損失を少なくしようというのが、情報源符号化です。また、1、0は通信路で誤ります。これを検出したり、訂正するのが、通信路符号化の役目です。

情報源符号化としてシャノンの符号化、通信路符号化としてパリティ検査符号や、その拡張のプロック符号を紹介します。

6 連続的情報源の情報量

どんな分布をもつ連続な情報源がエントロピー最大になるのでしょうか？これを追求していくと、雑音をもつ連続通信路の通信路容量を求める問題になります。雑音にもっとも強い情報源はガウス分布をもちますが、この関係から最大の通信速度、すなわち通信路容量と信号対雑音電力比（SN）の関係が示されます。SN比が大きいかほど通信路容量は大きいのです。よく澄み切った（SN比が高い）空間では遠くの山の細部まで見える（通信路容量が大きい）のです。

7 標本化定理

連続的情報源をデジタル化するには、サンプリング（標本化）が必要です。ではどれだけ細かく標本化するのでしょうか？細かすぎると冗長ですし、粗いと、元のアナログ波形に戻りません。連続波形の最高周波数の2倍のサンプリングが答えですが、それを証明します。

標本化定理と、6の通信路容量を利用すると、通信路容量は周波数帯域とSN比によって決まるのです。周波数帯域を広くすれば、通信路容量を大きくできるでしょう。たとえば光ファイバーの周波数帯域はすごく広いので、通信路容量は大きいのです。

〔教科書〕

藤田広一著『基礎情報理論』昭晃堂

振動と波動

2単位 春学期

下村 晋

〔授業科目の内容〕

振動と波動は、力学以外にも様々な物理系においてあらわれる現象です。本講義では、振動・波動現象を共通する性質としてとらえ、その考え方を理解することを目的とします。また、フーリエ級数・フーリエ変換の基礎およびその応用についても学びます。

〔教科書〕

特に指定しません（参考書の欄を参照してください）。

〔参考書〕

講義中にも紹介しますが、以下にいくつか参考書をあげます。

小形正男『振動・波動』裳華房テキストシリーズ

長岡洋介『振動と波』裳華房

フーリエ級数・変換については、物理数学の教科書を含め数多く出ていますので、自分にあった参考書で良いと思います。例えば、大石進一『フーリエ解析』岩波書店

数学解析第1（管理、数理）

2単位 春学期

井口 達雄

〔授業科目の内容〕

数学A3、B3に引き続き、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、積分変数の変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等を学ぶ。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

特に指定はしない。

数学解析第1（機械、応化、物理、化学）

2単位 春学期

石川 史郎

〔授業科目の内容〕

数学A1、B1及び数学A3、B3にひきつづき解析学の基礎を学ぶ。

数学A1、B1を履修したクラスでは解析の基本的な概念を学ぶ。予定している主な内容は、数列の収束性と極限、関数の連続性及びその基本的性質、関数列の収束性と極限、級数、ベキ級数等である。

数学A3、B3を履修したクラスでは陰関数定理と積分論を主に学ぶ。予定している内容は、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、変数変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等である。

演習はレポート提出の形で行なう。

数学解析第2 (数理)2単位 秋学期
石川 史郎**〔授業科目の内容〕**

微分方程式（常微分方程式）についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電気的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

- 1 微分方程式の基礎概念（定義、解、解の延長など）
- 2 解の存在と一意性
- 3 線形常微分方程式（独立解、一般解、解空間の構造）
- 4 定数係数同次線形常微分方程式の解法
- 5 定数係数非同次線形常微分方程式の解法（定数変化法）
- 6 線形常微分方程式の級数解

数学解析第2 (機械、物理)2単位 秋学期
下村 俊**〔授業科目の内容〕**

微分方程式（常微分方程式）についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電気的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

- 1 微分方程式の基礎概念（定義、解、解の延長など）
- 2 解の存在と一意性
- 3 線形常微分方程式（独立解、一般解、解空間の構造）
- 4 定数係数同次線形常微分方程式の解法
- 5 定数係数非同次線形常微分方程式の解法（定数変化法）
- 6 線形常微分方程式の級数解

〔教科書〕

原岡喜重 著『微分方程式』（数学書房）

数理科学基礎第12単位 春学期
太田 克弘**〔授業科目の内容〕**

1年生で学んだ数学の内容の復習を中心に、解析学、線形代数の基礎事項に関し演習を中心にして学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

数学A3、B3、A4、B4の教科書

数理科学基礎第2

「数理科学の論理基礎」

2単位 秋学期
田村 明久**〔授業科目の内容〕**

数理科学の基礎となる下記の内容について、演習を中心に学びます。

- (1) 命題・論理
- (2) 集合・順序・同値
- (3) 位相構造
- (4) 代数構造

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

特に指定せず。

数理形画法

「Mathematical Programming」

2単位 秋学期
佐野 昭**〔授業科目の内容〕**

与えられた目的関数の最小値または最大値を求めるために必要となる数理的最適化の手法の基礎を身につけ、さらにそれを応用できる能力を修得することが目的である。講義内容は、最適化問題を取り扱うために必要な基礎的な数学、線形計画法の原理とその応用、拘束条件のない非線形計画法およびその繰り返し計算法、拘束条件のある非線形最適化問題へのアプローチ、さらに時間を含む工学システムや物理システムに関連した多くの最適化問題を、変分法やダイナミックプログラミングからアプローチする。また最近の話題にも触れる。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

各内容の理解のための参考書をそのつど紹介する。

図形情報処理2単位 春学期
森田 寿郎 他**〔授業科目の内容〕**

設計を行う際に必要となる図形情報の表現・伝達に関して、講義および演習を行う。具体的には、まず、CAD/CAM/CAEの製品開発における位置づけ、ならびにその現状と動向に関して、基礎知識の解説を交えて講義する。つぎに、図形情報の表現・伝達に関する基本スキルの修得を図るべく、CADおよび簡単なCGの演習を行う。さらに、その基本スキル習得のために不可欠な立体的表現能力の養成に関しても、スケッチや概案図などの演習を通じて試みる。

〔教科書〕

CADの利用法に関してはマニュアルを配布する。

〔参考書〕

とくに指定しない

生化学

「生命現象を分子のレベルで理解する」 2単位 春学期
松本 緑

〔授業科目の内容〕

複雑な生命現象を分子レベルで理解するために必要な基礎を習得する。生命活動の基本である細胞を作っている分子とそこで働いている分子の構造と機能およびそれらの代謝過程を理解する。

〔教科書〕

『分子細胞生物学 第5版』東京化学同人

〔参考書〕

『細胞の分子生物学 第4版』トッパン

生体計測論

「電気・電子回路を用いた生体計測方法の理解」
2単位 秋学期
水谷 賢史

〔授業科目の内容〕

本講義では生命現象を解析する計測方法のうち、特に電気回路を利用した計測方法を理解するための基礎的な知識について講義する。まず電気回路を構成する基本的な受動素子（RCL）について理解を深め、回路網を記述する方法と電気回路の諸定理について説明する。また生命現象との関係として、生体膜等価回路としての電気回路についても述べる。次に能動素子の例としてトランジスタとオペアンプに着目し、加算減算、微分・積分回路を取り扱う。また生体信号の取得はノイズとの戦いでもあるので、フィルタ回路についても詳述する。本講義を履修することにより、基礎生命情報実験で扱う電子回路の動作についての理解が深まるものと考えている。

〔教科書〕

堀川宗之『医・生物系のための電気・電子回路』コロナ社

〔参考書〕

森真作・南谷晴之『電気回路演習ノート』コロナ社

吉田徹『初等電子回路』コロナ社

最上善広『よくわかる生物基礎物理学—生命科学のよりよい理解のために—』サイエンス社

生体反応論第1

「有機化学、反応機構」 2単位 秋学期
宮本 憲二

〔授業科目の内容〕

有機化合物の反応がどのように進行するかを予測すること、反応の結果をきちんと解釈し理論的な説明を付けることは非常に重要である。新しい化学反応を見出すという有機化学的な意味だけではなく、生体内の様々な生

合成反応、代謝反応も有機化学の反応理論によって説明できる。したがって生命機能、生命システムを理解する上で必須の素養である。有機化合物の反応はおよそ以下の要素に支配されていることを様々な場面で応用できるよう理解を深めていきたい。

- (1) 電子の片寄りの度合い
- (2) 立体化学的高高さ
- (3) 立体化学的な形
- (4) HOMOおよびLUMOのエネルギーレベル、ローブの大きさと方向

この講義を理解した後に生体反応をその観点から見たとき、それがいかに巧みにデザインされているか実感できるようになることを到達目標としたい。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

右田俊彦、西山幸三郎 共著『有機反応の考え方—有機電子論—』裳華房

加納航治 著『有機反応論』三共出版

生体物質の化学

「現代生物学と最新のトピック」 2単位 秋学期
梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

— 生化学の基礎と最近のトピック —

以前の生物学が主に事実の集積であったのに比べ、現代の生物学は、有機化学、物理化学で多くの部分が説明される、系統的に整理された科学になった。本講では生体分子の構造と機能を中心に、生物学の骨子を解説する。生命科学における最近のトピックも合わせて紹介する。

1. 蛋白質の構造と機能
2. 酸素の構造と作用機構
3. 脂質の構造と機能
4. 糖質の構造と機能
5. 生体エネルギーの生成
6. 核酸の生化学

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

あまり厚くない生化学の参考者は役に立つ場合があります。

生体分子構造論

「生命を支える有機化合物の構造化学」 2単位 秋学期
佐藤 智典

〔授業科目の内容〕

生命現象を支える有機化合物分子の構造と構造に密接に関わる化学的性質について概説する。

〔教科書〕

マクマリー『生物有機化学』II 生化学編 丸善株式会社

生物量子化学

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動、生物量子化学基礎」

2単位 秋学期
藪下 聡

〔授業科目の内容〕

現在、量子化学を代表とする分子科学における理論的手法は非常に高度に発展し、そのターゲットはより複雑な化学現象に向かっている。生命現象に関わりをもつ分子の構造や機能を解明する手段としても、近い将来大いに威力を発揮するものと予想出来る。この授業では、化学的な視点から量子論の基本的な考え方を論じ、分子中の電子の運動（分布）および分子の振動回転運動を概説し、化学現象との関わりを述べる。取り扱う内容は、

- (1) 古典力学の復習。ハミルトンの運動方程式。
- (2) シュレディンガーの波動方程式と、簡単な系への応用。不確定性原理。波動関数の直交性、対称性など。
- (3) 軌道角運動量、水素原子、および多電子原子。
- (4) 二原子分子の電子状態。LCAO 近似。
- (5) 多原子分子とヒュッケル分子軌道法。
HOMO-LUMO 相互作用と反応性。
- (6) 分子の振動回転運動と分子分光法入門。
- (7) 生物量子化学。分子軌道法の応用。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業時にお知らせします。

〔参考書〕

田中政志、佐野充『原子・分子の現代化学』学術図書
茅幸二編著『物理化学演習』裳華房
朽津耕三・濱田嘉昭『量子化学』放送大学教育振興会
小林常利『基礎化学結合論』培風館
藤永茂『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィック
平尾公彦・加藤重樹『化学の基礎』講談社サイエンティフィック

生命科学のための確率論

「生命科学の鍵となる確率論」

2単位 秋学期
柴田 里程

〔授業科目の内容〕

生命科学で必要となる確率論を、それがどのように役立っているかという視点で、基礎から講義します。駆使できるようになることが目標です。必要に応じて演習やレポートを課します。

〔教科書〕

特に指定しません。プリントを配布するとともに、Web で入手できるようにします。

〔参考書〕

講義中に随時紹介します。

生命系の数学

2単位 秋学期
富田 豊 岡 浩太郎

〔授業科目の内容〕

生命現象を記述するのに必要な数学、すなわち線形代数および微分方程式を学ぶ。主要な項目は、

- 1 線形システムの数学（線形システムとは何か、行列、1次独立と1次従属、逆行列、基底と基底変換、フーリエ級数展開と正規直交系、固有値、部分ベクトル空間、行列の対角化とその応用、Jordan標準形、連立方程式の解法）
- 2 連続システムの数学（常微分方程式、定常解と周期解、解の安定性、偏微分方程式、熱伝導・拡散・波動・膜振動の方程式）

毎週演習（宿題）できるように、プリントを配布する。

〔教科書〕

伊理他、『応用システム数学』共立出版社

生命系の有機化学

「分子レベルの生命科学」を指向した有機化合物の合成と反応入門」

2単位 春学期
佐藤 智典

〔授業科目の内容〕

1年生の化学B、Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだ。これを基礎に、生命科学を理解する上で重要な官能基について個々に性質や反応性を解説する。

有機化学の基本的知識は生命機能を語る際には不可欠です。また、生命機能を理解したり、物質変換に応用するときには有機化学の知識が必要になってきます。そこで、生命科学において用いられる分子の性質や化学反応の理解に最低限必要なことを丁寧に論述します。

〔参考書〕

『第2版マクマリー生物有機化学 有機化学編』丸善株式会社

ボルハルト・ショアー『現代有機化学』化学同人

生命物理化学第1

「熱力学から酵素反応速度論まで」

2単位 春学期
岡 浩太郎

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルから理解し、また定量的な議論を行うためには物理化学的な知識は必須である。本講義では「生命系研究に役立つ物理化学」の観点から、熱力学の法則、化学平衡、電気化学、反応速度論についての定量的な議論の方法について、演習を含めて詳述する。

〔教科書〕

Physical Chemistry for the Life Sciences

Peter Atkins, Julio de Paula, Oxford University Press (2006)

（生命物理化学第1と第2では同じテキストを使います）

〔参考書〕

講義中に随時紹介する。

生命物理化学第2

「ミクロをマクロを結ぶ物理化学的なアプローチ」

2単位 春学期
岡 浩太郎

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルから理解し、また定量的な議論を行うためには物理化学的な知識は必須である。本講義では「生命系研究に役立つ物理化学」の観点から、統計力学と量子力学の初歩を、演習も行いながら解説する。

〔教科書〕

Physical Chemistry for the Life Sciences
Peter Atkins, Julio de Paula, Oxford University Press (2006)

(生命物理化学第1と第2では同じテキストを使います)

〔参考書〕

講義中に随時紹介する。

線形代数 (管理、数理)

「線形空間の理論と行列の標準化 (対角化とジョルダン標準形)」

2単位 春学期
小田 芳彰

〔授業科目の内容〕

線形空間の基礎的な概念と計算をマスターすることを目標とします。具体的には、線形代数が単にベクトルと行列の話にとどまらずに幅広い応用があることを理解することと、対称行列の対角化やジョルダン標準形の計算ができるようになることが目標となります。

〔教科書〕

講義内で指示します。

線形代数 (機械、物理)

「行列の対角化問題」

2単位 春学期
栗原 将人

〔授業科目の内容〕

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

- 1 ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。
- 2 内積と直交行列の性質を調べる。
- 3 線形空間の基本的性質について。
- 4 行列の固有値・固有ベクトル。

- 5 対称行列の対角化。
- 6 2次形式の標準形と応用問題。
- 7 ジョルダン標準形。

〔教科書〕

裕野 敏博、加藤 芳文著『理工系の基礎線形代数学』
学術図書出版社

〔参考書〕

斉藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会
斉藤正彦著『線型代数演習』東京大学出版会
佐竹一郎著『行列と行列式』裳華房

線形代数 (応化、化学)

「対称行列の対角化問題」

2単位 春学期
前田 吉昭

〔授業科目の内容〕

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

- 1 ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。
- 2 内積と直交行列の性質を調べる。
- 3 線形空間の基本的性質について。
- 4 行列の固有値・固有ベクトル。
- 5 対称行列の対角化。
- 6 2次形式の標準形と応用問題。
- 7 ジョルダン標準形。

【学生への要望】

目的の項で述べた様にこの科目は君達がどの学科に進んでも必ず大事となるものです。私達も理解を深めてもらう様工夫しますが、講義を聞く君達もぜひ努力して下さい。特に、計算がしっかり出来る様要望します。講義の中で演習も出来るだけ多く取り入れますが、講義90分についてそれと同等の予習復習をしてください。単位は上記の目的に到着した者に対して与えるつもりです。なお学期内に一度中間試験を行う予定です。

〔教科書〕

中岡稔・服部昌夫著『線型代数入門』紀伊国屋書店

〔参考書〕

斉藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会
斉藤正彦著『線型代数演習』東京大学出版会
佐竹一郎著『行列と行列式』裳華房

ソフトウェア工学

2単位 秋学期
飯島 正

〔授業科目の内容〕

オブジェクト指向の概念と、オブジェクト指向プログラミングの基礎の習得を目的とします。授業中に、PCをつかったJavaプログラミングの実習も行います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

必要に応じて、授業中に紹介します。

代数学基礎同演習

「基礎的な群の理論」

3単位 秋学期

宮崎 琢也 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

正多角形や正多面体をみたとき、回転させたり折り返したりという操作、つまり「対称性」があるということは経験的に理解できるでしょう。またある種のパズルで見られる並べ換えの操作や、もうすこし高級な感じでは代数方程式の解の間に考えられる置き換え操作（互いに共役という感じ）もある種の「対称性」だと理解することもできます。このような「対称性」を代数的にとらえるものとして、「群」の概念はわれわれの前に姿を現します。今では幾何学や物理学でも群の作用という基本的な考え方は深く浸透していると考えられます。理論にまとめられたのは19世紀半ばくらいからで、それからおおよそ本講義で扱うような内容が定式化されてきました。なかなか根源的であるゆえに結構高級な概念なので最初難しいですが、慣れてくれば不思議といろいろ調和のとれていることに気付くでしょう。ゲームみたいで面白いです。演習もがらがんやして下さい。

〔参考書〕

M.A. アームストロング『対称性からの群論入門』シュプリンガー東京

永尾汎『代数学』朝倉書店

原田耕一郎『群の発見（数学、この大きな流れ）』岩波書店

ダイナミカルシステム（機械）

「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」

2単位 秋学期

江上 正

〔授業科目の内容〕

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム（動的システム）であり、メカニカルシステムの多くはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

〔教科書〕

土谷武士・江上正『新版現代制御工学』（産業図書、

第5刷、3,700円）

〔参考書〕

土谷武士・江上正『基礎システム制御工学』森北出版
溝田喬・中溝高好『自動制御の講義と演習』日新出版

ダイナミカルシステム（SD）

「Dynamical Systems」

2単位 秋学期

佐野 昭

〔授業科目の内容〕

工学システムを構成する力学系、電気系、熱系、化学系などのアナロジー（相似性）を通して線形システムのダイナミクスの表現とその性質や構造の共通点や相違点など関連性を理解し、ダイナミクスを表現し解析する手法として、ラプラス変換、システムの入出力表現、微分方程式や状態変数表現、安定性の解析、状態空間の構造などの基礎知識を修得することを目標とする。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

関連する参考書については授業で紹介する。

通信システム

2単位 秋学期

重野 寛

〔授業科目の内容〕

通信ネットワークの基礎的な概念や技術とともに、電話網、ISDN、ATMネットワーク、移動体通信網などの構成や仕組みについて学びます。

〔教科書〕

講義資料はwebサイトで提供します。

〔参考書〕

松下温著『図解 通信ネットワークの基礎』昭晃堂
その他については、講義の中で適宜紹介します。

デジタル回路

2単位 秋学期

天野 英晴

〔授業科目の内容〕

現在のIT産業で不可欠なデジタル回路のデバイスレベル、回路レベルの設計技術を習得する。ブール代数等の論理回路の基礎は「計算機基礎」で、ハードウェア記述言語によるRTL（Register Transfer Level）設計は「計算機構成」でそれぞれ習得するため、この授業では、それらの技術により設計されたデジタル回路が動作するデバイスの特性、利用法に関してが中心となる。今後、情報工学科で行なうLSI設計関連の基礎科目である。具体的には、(1) CMOS回路の動作を判別でき、簡単なゲートのレイアウトを行なうことができる (2) 規格表を見て、動作レベル、消費電力を見積もることができる (3) 規格表から簡単な順序回路のSTA（Static Timing Analysis）ができる (4) バス構成用の素子の記号と意

味を判別する (5) SRAM回路を設計できる (6) FPGA、GPLDの分類を知り、簡単な回路の設計ができる。を目標とする。

〔教科書〕

天野『デジタル設計者のための電子回路』コロナ社

デザインリテラシー演習

2単位 春学期

青山 藤詞郎 他

〔授業科目の内容〕

工業図面を正確に読みとりかつ作成できることは、物づくりの基本能力の一つである。この講義では、工業図面情報の理解とその記述を行うための基礎知識を教授する。すなわち、工業図面の機能と規格、投影法、公差、はめあい、部品の簡略図法などについて具体的な解説を行い、実際の機能部品を図面上に記述する能力を養う。また、演習においては、CAD（コンピュータ援用設計）システムを利用して、機能部品の設計を行い、部品の形状・寸法を、2次元図面情報あるいは3次元図面情報として記述するトレーニングを行う。

〔教科書〕

独自の資料を使用する。

デジタル・アナログ回路

「アナログ回路とデジタル回路の基礎」 2単位 秋学期
石黒 仁揮

〔授業科目の内容〕

本講義では、現代のエレクトロニクス社会を支える電子回路技術について、その概観を得ると同時に回路の基本動作原理を学ぶ。アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析方法を講義する。デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路を取り扱う。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

〔教科書〕

高橋進一・岡田英史共著『電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3電子回路』培風館

デジタル基礎

「計算機を構成するデジタル回路の基礎」2単位 春学期
内山 孝憲

〔授業科目の内容〕

計算機の内部では、どのように数が扱われているのか、またそれらはどのように計算されているのかについて学びます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

Digital Fundamentals, Floyd, Prentice Hall International

電気回路基礎（電子）

「電気回路理論と回路解析の基礎を学ぶ」2単位 春学期
津田 裕之

〔授業科目の内容〕

この科目では電気、電子、情報、通信などの諸分野に共通した基礎である電気回路についてその基本的な部分を中心に解説します。また、理解を深めるために演習を行います。回路解析に必要な微分方程式の解法についても理解できるようにします。

- 1 キルヒホッフの法則
- 2 回路素子の性質
- 3 基本回路の性質
- 4 ラプラス変換
- 5 正弦波定常状態の解析
- 6 回路方程式
- 7 回路における諸定理

〔教科書〕

森真著作『電気回路ノート』コロナ社

森真著作『電気回路基礎ノート』コロナ社 に変更の可能性有り。

〔参考書〕

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』（コロナ社）

森真著作『電気回路基礎ノート』コロナ社

電気回路基礎（情報）

「電気回路の基本的性質」 2単位 春学期
南谷 晴之

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方向的に聴くだけのものとならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

〔教科書〕

南谷晴之、松本佳宣共著『詳しく学ぶ 電気回路—基礎と演習—』コロナ社

〔参考書〕

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社

森真著作『電気回路ノート』コロナ社

電気回路同演習

「電気回路の基本的性質」

2単位 春学期

南谷 晴之

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用してください。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方的に聴くだけのものとならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果上がるようにしています。

〔教科書〕

南谷晴之、松本佳宣共著『詳しく学ぶ 電気回路—基礎と演習—』コロナ社

〔参考書〕

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社

電気回路理論

2単位 秋学期

池原 雅章

〔授業科目の内容〕

春学期の電気回路基礎に続く科目であり、電気・電子系に必要とされる回路に関するより高度な内容について講義する。

- 1 複雑な回路の初期値
- 2 2端子対回路
- 3 三相交流回路
- 4 分布定数回路
- 5 波形解析

〔教科書〕

高橋進一著『定常回路解析』オーム社

〔参考書〕

末崎輝雄、森真作、高橋進一著『回路理論例題演習』コロナ社

電気電子工学セミナー I

「エレクトロニクスの基礎と実際」

1単位 春学期

津田 裕之

〔授業科目の内容〕

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2

年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうゆう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。

5名程度の班に分かれて複数の教員から直接指導を受ける。

セミナーIとIIの運用について、セミナーIのガイダンスで説明する。セミナーIIのみの学生もセミナーIのガイダンスに出席すること。

電気電子工学セミナー II

「エレクトロニクスの展望」

1単位 秋学期

津田 裕之

〔授業科目の内容〕

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうゆう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。

5名程度の班に分かれて複数の教員から直接指導を受ける。

セミナーIとIIの運用について、セミナーIのガイダンスで説明する。セミナーIIのみの学生もセミナーIのガイダンスに出席すること。

電気電子材料

「電気・電子材料」

2単位 秋学期

山下 久直

〔授業科目の内容〕

電子デバイスには多くの種類が用いられています。これらの材料は最先端の科学技術を支える重要な基盤となるものです。この講義では、電子工学科の基盤分野の基礎として、材料の種類、特性、応用などについて、解りやすく概説します。

〔教科書〕

内容が多岐にわたっているために、教科書はありません。

電子回路基礎（機械、応化、物理、化学）

「アナログ回路とデジタル回路の基礎」

2単位 秋学期

石黒 仁揮

〔授業科目の内容〕

本講義では、現代のエレクトロニクス社会を支える電子回路技術について、その概観を得ると同時に回路の基

本動作原理を学ぶ。アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析方法を講義する。デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路を取り扱う。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

〔教科書〕

高橋進一・岡田英史共著『電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3 電子回路』培風館

電子回路基礎（情報）

「アナログ電子回路の基礎と応用」

2単位 春学期

斎藤 英雄

〔授業科目の内容〕

電子回路の基礎として、アナログ電子回路とその応用について講義する。まず、アナログ電子回路を構成する素子である半導体素子（ダイオード、トランジスタ）の基本動作原理について説明する。そして、半導体素子のトランジスタによる増幅の原理について解説し、それに基づいて構成される増幅回路について講義する。また、この増幅回路の解析に、小信号等価回路表現を利用する考え方について説明する。さらに、半導体素子により構成されるアナログICとして現在広く利用されているオペアンプ（演算増幅器）の動作について講義する。最後に、トランジスタをデジタルデバイスとして利用するときの基本的な回路構成について触れる。

〔教科書〕

電子回路 高橋進一、岡田英史共著『電気・電子・情報工学系テキストシリーズ』培風館

電子回路同演習

「トランジスタと演算増幅器を用いた能動回路」

2単位 秋学期

宮下 照夫

〔授業科目の内容〕

増幅機能を持つ素子をふくんだ基本的な電子回路を取り上げて、能動回路の解析方法や実用回路の設計方法を易しく解説します。また、講義の中でしめされる演習問題を各自が解くことによって回路の動作を理解し、解析方法を身に付けるとともに応用力を養います。講義は、「電子回路基礎」の講義内容に含まれる受動回路の知識を踏まえて、トランジスタ素子や演算増幅器の回路要素としての特性を解説し、更にこれらを用いた実用的な能動回路網の特性解析や設計方法を、例題を用いて説明します。

〔教科書〕

プリントを配布します。

電磁エネルギー変換工学

「モータ、アクチュエータの原理と解析法」

2単位 秋学期

村上 俊之

〔授業科目の内容〕

物理現象の中には、圧電効果、Seebeck効果などエネルギー変換に関する様々な現象が存在する。特に、電磁エネルギーから機械エネルギーへの変換は産業の発展に関わる重要な工学分野であり、現在の科学文明を支える分野といっても過言ではない。こうした観点から、電気—機械エネルギー変換の基本原則からはじめ電気—機械系システムの統一的解析手法までを概説し、電気—機械エネルギー変換システムの基本を知る。

〔教科書〕

村上 他著『電磁気工学』培風館 と配布プリント

〔参考書〕

宮入庄太『大学講義最新電気機器学』丸善

難波江章『電気学会大学講座 基礎電気機器学』電気学会

電磁気学

2単位 春学期

木下 岳司

〔授業科目の内容〕

物理B、Dで学んだ電気学を発展させて一般的な理論展開を理解することによってより問題解決力を向上させ、応用範囲を広げます。

1. 静電界

Gaussの法則、立体角、微分形のガウスの法則、球座標のdiv、電位、球座標のgrad、ポアソンの方程式、デルタ関数、電気双極子、電気二重層、鏡像法、誘電体、誘電体の境界条件、静電容量、帯電エネルギー、仮想変位の原理、起電力

2. 静磁界

ビオ・サバールの法則、ベクトルポテンシャル、円筒座標のrot、アンペールの法則、Stokesの定理、微分形のアンペールの法則、磁束、インダクタンス、磁気モーメント、磁界、磁位、磁気二重層、磁性体における境界条件

3. 電磁誘導と変位電流

ローレンツ力、電磁誘導の法則、磁界のエネルギー、変位電流

4. 電磁波

ゲージ変換、波動方程式、遅延ポテンシャル、ポインティングベクトル、電気双極子からの放射

〔教科書〕

木下岳司『電磁気学』昭晃堂（3月新刊予定）

〔参考書〕

砂川重信『電磁気学』岩波書店

電磁気学第1

「Maxwell方程式に立脚し真空・物質中の電磁場を解析する」

2単位 秋学期

宮島 英紀

〔授業科目の内容〕

電磁気学は1年生の物理学B・Dで、現象や分野別に勉強してきた。これらの電磁気学の諸現象は、物理学の中で最も美しい方程式、Maxwell方程式として集約される。物理学B・Dとは逆に電磁気学第1では、Maxwell方程式を出発点として、主として時間に依存しない静的な電磁気現象、回路素子の特性、および物質の電磁気的性質などについて解説する。なお、時間を陽に含んだ動的な電磁気学は、3年次に電磁気学第2で講義する。

〔教科書〕

毎回プリントを配布し、これをもとに講義を行う。

〔参考書〕

1年生のときの教科書『物理学B、D』

後藤憲一、山崎修一郎共編『詳解電磁気学演習』（共立出版）

両者とも生協の書籍部で入手できる。

電磁気学同演習

2単位 春学期

石樽 崇明 畑山 明聖

〔授業科目の内容〕

授業のターゲット/ゴール：

1) 真空中のマクスウェル方程式を書き下すことができる、2) 各方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、3) 電磁気学の基本的問題を自分自身でモデル化し、解ける、4) そのための数学的な基礎力を身につける

〔教科書〕

プリント配布

電磁気工学

「Electromagnetic Engineering」

2単位 春学期

内山 太郎 村上 俊之

〔授業科目の内容〕

現代の産業機器システムの動力メカニズムは力学と電磁気学にその基礎を置いているといっても過言ではない。本科目はそのうち電磁気現象について電磁気力、電磁エネルギーに重点を置き、さらに電磁波までを理解することを目的とする。電磁気学は、とかく物理現象の解釈に偏りがちであるが、ここではとくに工学的視野に立って、具体例をあげてわかりやすい身近な学問としてシステムの設計に役立つ電磁気学を身につける。

1. 電荷と力
2. 電界中のエネルギーと力
3. 電流と力
4. 磁界中のエネルギーと力

5. 電磁界

〔教科書〕

『電磁気工学』培風館

統計解析

「データ解析のための基礎としての統計的推測」

2単位 秋学期

篠崎 信雄

〔授業科目の内容〕

標本データを記述するための基礎的概念・道具としての平均や分散の議論から始め、分割表、散布図、相関係数といった2次元データの記述について、まず学びます。その上で、標本分布、推定・検定の統計的推測の議論に進みます。現実の問題に適用し情報を引き出すためには、統計学のもの見方・考え方を正しく理解することが必要であり、その修得に努めます。基本的な信頼区間や仮説検定などの手法を使いこなせるようになり、その意味を正しく理解できるようになることをめざします。

〔教科書〕

篠崎信雄著『統計解析入門』サイエンス社

〔参考書〕

鷺尾泰俊著『日常のなかの統計学』岩波書店

東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』東京大学出版会

熱物理

「巨視的な現象の理解の基礎をかためよう」

2単位 秋学期

藤谷 洋平 的場 正憲

〔授業科目の内容〕

見通しよく一新された最近の熱力学理論の枠組みで解説する。旧来の多くの熱力学の教科書では、なにが仮定で、どういう前提条件でなにが結論されるのかが、全く不明確であった。本講義ではこの点が明確になる。2クラスに分けて講義を行うが、どちらのクラスも秋学期前半に週2回の講義がある。

〔参考書〕

田崎晴明『熱力学』（培風館）

熱力学

「巨視的な物質の有限温度での振る舞い」2単位 秋学期
齋藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

熱力学は、巨視的物体の関係する現象を経験的にまとめた三法則から、多くの物理量を定義し、多岐に渡る現象を統一的に理解できる美しい学問である。熱平衡に関係する部分は、将来力学や量子力学を用いた統計力学で基礎付けされる。非平衡での熱、電気などの輸送現象についても知っておきたい。

〔教科書〕

テキストをkeio.jpからダウンロードできるように準備

する予定である。

〔参考書〕

久保亮五編『大学演習 熱学・統計力学』（裳華房）で各自演習問題を解き、理解を深めてほしい。

熱力学の基礎

2単位 秋学期

植田 利久 大村 亮
森 康彦

〔授業科目の内容〕

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱である。熱力学によって「熱を仕事に変換する熱効率」や「自然界で起こる変化の方向」を決めることができる。この講義では、熱力学の基本概念、熱力学の第1、第2法則とその応用を学ぶ。以下に講義の内容を示す。

第1章 概要

- 1.1 熱力学の意義
- 1.2 熱の授受と熱力学
- 1.3 熱力学の歴史的背景

第2章 基本概念と熱力学第0法則

- 2.1 系・物質・エネルギー
- 2.2 熱力学の微視的理解
- 2.3 温度と熱平衡
- 2.4 熱量と比熱
- 2.5 状態量
- 2.6 単位系

第3章 熱力学第1法則

- 3.1 熱と仕事（動力発生装置）
- 3.2 閉じた系の熱力学第1法則
- 3.3 熱力学的平衡と準静的過程
熱力学的平衡、準静的過程、可逆過程と不可逆過程
- 3.4 準静的過程における閉じた系の熱力学第1法則
サイクルの正味の仕事、定積比熱と定圧比熱
- 3.5 開いた系の熱力学第1法則
定常流動系と質量保存、流動仕事とエンタルピー、定常流動系のエネルギー保存則、各種機械における定常流動系
- 3.6 理想気体における熱力学の第1法則
理想気体と内部エネルギー、比熱、準静的過程、混合

第4章 熱力学の第2法則

- 4.1 熱を仕事に変換する効率
熱効率の限界、カルノーの考え
- 4.2 熱機関のモデル化
サイクル、可逆過程と不可逆過程、内部可逆過程
- 4.3 カルノーサイクルの性質
- 4.4 閉じた系の第2法則
一つの熱源と作業するサイクル、二つの熱源と作用するサイクル、n個の熱源の場合

4.5 エントロピー

状態量としてのエントロピーの定義、閉じた系のエントロピバラン、開いた系のエントロピバラン、エントロピー生成

4.6 エントロピーの利用

エントロピー変化の式、理想気体、液体、固体のエントロピー変化、蒸気表でのエントロピー変化、エントロピー生成、線図

第5章 エネルギー有効利用とエクセルギー

- 5.1 エクセルギー解析の必要性
- 5.2 仕事を発生する潜在能力
- 5.4 自由エネルギー

さらに、実在気体、蒸気の性質、エントロピー生成の具体例、サイクルなどの事例紹介を行う。

〔教科書〕

JSMEテキストシリーズ『熱力学』丸善

〔参考書〕

Yunus A. Çengel and Michael A. Boles, Thermodynamics — An engineering approach (4th edition) 2002, McGraw-Hill

熱流体システム第1

「モデリングと熱力学」

2単位 春学期

佐藤 春樹 長坂 雄次

〔授業科目の内容〕

熱および流体の関わる問題を、総合的に理解するための基礎的な科目である。従来の熱力学、流体力学を部分的に講義するのではなく、非平衡開放系からスタートし、熱流体システムにおける基礎方程式とモデル化の基本を教える。身近なテーマの演習問題やアニメーション等を利用して、本講義内容がデザインにどのように役立つかを強調する。熱流体システム第2とは内容が連続している。

〔教科書〕

学科で作成し配布するテキスト。

〔参考書〕

JSMEテキストシリーズ、『熱力学』、(日本機械学会、2002年、1,886円)

熱流体システム第2

「流れのメカニズムを理解するための基本」

2単位 秋学期

佐藤 洋平 谷下 一夫

〔授業科目の内容〕

システムデザインに即座に適用できる、流体工学及び流体工学に関して授業を行う。

〔教科書〕

システムデザイン工学科用章

バイオプログラミング第1

2単位 春学期

神原 康文 牛場 潤一
 柚木 克之

〔授業科目の内容〕

C言語の学習と実践を通して、プログラミングの基本的な考え方や、技術を習得することを目標とする。C言語は、現在もっとも広く使われている実際的なプログラミング言語である。まずはじめに、プログラムの制御構造と基本的なデータ型、及び関数の使い方を学習する。次に、より実際的なプログラミング技術を習得することを目指し、関数の再起処理やポインタ、ファイル処理などを学習する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行う。成績評価は、4回くらいを予定しているレポートと期末試験により行う。プログラミングの勉強は、とにかく自分でプログラムを作成して、何度も間違いを起こすことを通じて、プログラミング技法を覚えていくことが重要である。

〔教科書〕

石田晴久他著『入門ANSI-C』実教出版

〔参考書〕

カーニハン・リッチー著 石田訳『プログラム言語C(第2版)』共立出版

バイオプログラミング第2

2単位 秋学期

神原 康文 舟橋 啓

〔授業科目の内容〕

バイオプログラミング第1でのC言語習得を踏まえて、第2ではより実際的な問題の解法のために必要となるプログラミング手法とアルゴリズムについて学ぶ。プログラミング言語の文法を学んだだけでは問題の解を計算するためのプログラムを書くことは出来ない。効率的なプログラムを書くためには、アルゴリズムと呼ばれる基本的ないくつかのプログラム手法を習得して、それらを組み合わせることにより目的の問題のためのプログラムを作成できる。本講義では、生命科学における具体的な問題として配列のアライメントを計算するプログラムの作成と、行列計算等の数値演算プログラムの作成を中心に勉強する。

毎回、講義中にプログラミングの演習を行なう。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

反応有機化学

「有機化学反応をいかに理解し合成化学に利用するか」

2単位 秋学期

山田 徹

〔授業科目の内容〕

複雑で膨大な数の有機化学反応を反応形式で分類し、電子密度の片寄り、立体規制などの基本原理にもとづく理解を目指す。有機反応の基礎・酸と塩素・求核置換反応・脱離反応・求核付加反応・求核付加-脱離反応・求電子付加反応・芳香族求電子置換反応・芳香族求核置換反応、これらの機構を「曲がった矢印」で電子の流れを記述できることを学び、反応を原理から理解する。

〔参考書〕

参考書；

ボルハルト・ショアー、古賀・野依・村橋監訳『現代有機化学』化学同人

ストライトウィーザー、湯川泰秀監訳『有機化学解説』廣川書店

畑一夫著『有機化合物の命名—解説と演習—』培風館、ISBN4-563-04222-6

演習書；

吉原・神川・上方・藤原・鍋島共著『有機化学演習』三共出版

光デバイス工学

2単位 秋学期

高橋 信一

〔授業科目の内容〕

光ディスク、レーザープリンタ、デジタルカメラといった製品や光通信には種々の光デバイスが高度情報化(IT)社会を維持していくのに不可欠なものとして多数使われている。

この講義ではそうした光デバイスの動作原理を固体中の光の吸収と放出の基本から理解して、光デバイスをよりよく利用出来るようにする。前半では光の持つ性質と固体中の電子のエネルギー構造を理解して吸収・発光の理論及びそれらと密接に関連する光学定数について学ぶ。後半では光デバイスの例として光伝導素子、太陽電池、フォトダイオード、アバランシェフォトダイオード、CCD、発光ダイオード、半導体レーザーを取り上げ、その動作原理や応用について述べる。

最後に人工超格子や低次元の量子井戸などの量子サイズ効果を利用した各種光デバイスを紹介する。

〔教科書〕

板書しながら講義を進めます。OHP(パワーポイント)の図表等はプリントで配布します。

〔参考書〕

青木昌治編著『オプトエレクトロニックデバイス』(昭華堂)

針生 尚著『光エレクトロニクスデバイス』(培風館)

沼居貴陽著『半導体レーザー工学の基礎』(丸善)

その他個々のデバイスについて適宜講義の中で紹介します。

ヒューマン・ファクターズ

「人間の諸特性に関する管理工学的基礎」2単位 秋学期
岡田 有策

〔授業科目の内容〕

作業者と機械・製品だけでなく、作業者をとりまくシステム、組織・社会までを対象とし、そこにおける人間に関わる諸要因を総合的に評価する学問であるヒューマンファクターズの基本概念とアプローチの仕方について概説する。

〔教科書〕

岡田 有策 著『ヒューマンファクターズ概論』
慶應義塾大学出版会 ISBN 4-7664-1173-0

複素解析（電子、化学、物理）

「複素関数の微分積分」2単位 春学期
本田 郁二

〔授業科目の内容〕

複素関数の微分積分計算が行えるようになることを当面の目標とします。

そのために原則として毎回講義の後に演習を行います。

〔教科書〕

用いません。補充プリントを配布します。

〔参考書〕

補充プリント内で提示します。

複素解析（機械、応化）

「複素関数が舞う世界」2単位 春学期
宮崎 琢也

〔授業科目の内容〕

これまでの微分積分学では実数を変数とする関数をあつかってきました。しかしたとえばよく勉強してきた多項式関数、三角関数などでも実は複素変数の世界で考えることができ、さらにそうやって広い視野に立ってみると、ずっと優雅で統制のとれた風景が開けてきます。こういう豊かな舞台のうえで複素変数関数をのびのびと解析してみましょう。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

神保道夫『複素関数入門』岩波書店
K.マイベルク、P.ファヘンアウア『工科系の数学6関数論』サイエンス社
R.V.チャーチル、J.W.ブラウン『複素関数論入門』サイエンティスト社

物質の精製分析

「相平衡の物理化学」2単位 秋学期
山元 公寿

〔授業科目の内容〕

物質の機能や物性を正確にしかも効率よく引き出し利用するために、分離・精製して高純度の物質を得ることは極めて大切である。物質の分離・精製の過程は相平衡を基盤にしているものが多く、これを中心に物理化学の立場から平易に解説する。次の項目について演習も含めて講義する。

- 1) 相平衡
- 2) 分配平衡（溶媒抽出）
- 3) 沈殿平衡（沈殿、再結晶）
- 4) クロマトグラフィー
- 5) 蒸留による分離（気液平衡）
- 6) 結晶化による分離（固液平衡）
- 7) 膜分離

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

プリント配布

物理化学1

「変化の方向と速度」2単位 秋学期
木村 敏夫

〔授業科目の内容〕

「物質の性質」は、原子やイオンの配置などの「物質の構造」により決まります。そこで、所望の性質を持つ物質（製品）を合成するには、まず製品の構造を設計し、次に、その製品を合成する原料を選択し、反応経路を設計します。この講義は、主に反応経路の設計に関係し、原料から製品ができる反応（変化）が進行するか？変化が生じるとすれば、どの程度の速さで進行するか？といった問題を取り扱います。これらのことは、変化の速度＝駆動力×移動度という関係で表されます。この講義の目標は、駆動力と移動度を定める原理を理解することです。この講義を受講した結果、物理変化や化学反応の速度についての洞察力が養われ、所望の性質を持つ物質を合成する方法を設計する基礎が身につきます。

〔教科書〕

『アトキンス物理化学（上）（下）』第6版（東京化学同人、2001年）

講義資料（プリント）を配布します。

〔参考書〕

多くの「物理化学」という名前の教科書が出版されていますが、教科書を含め、どれか一冊を読むと良いでしょう。

物理化学演習

「物理化学1」の演習

1単位 秋学期

木村 敏夫 藤原 忍
片山 靖**〔授業科目の内容〕**

専門基礎科目の「物理化学1」の理解を深めるために、講義内容についての演習を行う。

〔教科書〕

『アトキンス物理化学（上）（下）』第6版（東京化学同人、2001年）

演習問題のプリントを配布します。

物理化学基礎

2単位 春学期

朝倉 浩一

〔授業科目の内容〕

有機、無機に関わらず、化学の基礎として必須の学問である熱力学の初歩を学ぶ。

1. 気体の圧力、温度、体積は、それぞれどのような関係になっているのか？
2. 系に熱を流すと、どのように温度が変化し、またどのように仕事をするのか？
3. 化学反応が進行すると、どのように発熱や吸熱がおこるのか？
4. 熱は高温領域から低温領域へ、物質は高濃度領域から低濃度領域へと流れるのはなぜか？また、その流れはどのような速度で起こるのか？
5. 化学反応が進行する方向は、どのようにして決まるのか？
6. 1つの相を形成する個々の分子の挙動と相全体の挙動とは、どのような関係になっているのか？

といった物質の挙動に関する法則を理解し、化学の基礎となる知識を習得する。

〔教科書〕

Atkins著、千原・中村訳、『物理化学』、東京化学同人（2001）

物理学演習第1

1単位 秋学期

江藤 幹雄

〔授業科目の内容〕

「量子力学第1」の演習をおこなう。したがって本科目の受講者は上記の講義を受講しているものと仮定して授業をおこなう。量子力学の具体的な問題や、その解法に必要な数学の問題を解くことで、講義の理解を深めることを目的とする。

〔成績評価方法〕

成績評価にあたっては、出席点と試験の両者を考慮する。

物理学演習第2

1単位 秋学期

江藤 幹雄 光武 亜代理

〔授業科目の内容〕

「電磁気学第1」の講義、物理数学（複素解析、フーリエ変換、ラプラス変換、特殊関数など）に関する演習を行う。従って、本科目の受講者は「電磁気学第1」、「複素解析」の講義を受講しているものと仮定して、授業を行う。また、「振動波動論」、「応用数学」、「応用解析第1」を受講していることが望ましい。

〔参考書〕

電磁気学（学部生の時に、下記の参考書または自分が気に入った本を読むことを望みます。）

後藤憲一、山崎修一郎著『詳細電磁気学演習』（共立出版）

砂川重信著『理論電磁気学』（紀伊国屋書店）

後藤尚久『なっとくする電磁気学』（講談社）

砂川重信著 物理テキストシリーズ『電磁気学』（岩波書店）

砂川重信著 物理テキストシリーズ『電磁気学演習』（岩波書店）

ファインマン著ファインマン物理学Ⅲ『電磁気学』（岩波書店）

ランダウ＝リフシッツ『電磁気学』（東京図書株式会社）

ジャクソン著『ジャクソン 電磁気学（上）』（吉岡書店）

物理数学（下記の参考書から問題を出す場合が多い）

弥永守著『理工学部のための応用数学Ⅰ、Ⅱ』（朝倉書店）

後藤健一、山本郁夫、神吉健著『詳細 応用物理数学演習』共立出版）

神部勉、有馬朗人『物理のための数学入門 複素関数論』（共立出版）

物理情報数学A

2単位 春学期

足立 修一 本多 敏

〔授業科目の内容〕

様々な物理現象の理解とその工学への応用に際して重要となる複素解析およびフーリエ解析の基礎を学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

第1部、第2部ともに同様のタイトルの参考書が多数出版されています。適宜選んで下さい。

第1部 については例えば「複素関数入門（原書第4版）、R.V.チャーチル/J.W.ブラウン著、中野實訳、サイエンティスト社」が詳細な内容で練習問題も豊富です。

物理情報数学B

「数理から物理まで横断的に「線形性」を学ぶ」

2単位 秋学期

相吉 英太郎 齊藤 英治

〔授業科目の内容〕

大学での「線形代数」という科目で初めて「線形」という用語に接しますが、小学校で習う「1次関数」から、高校で習う「ベクトルや行列」や「微分・積分」まで、そして高校の物理で習う「運動方程式」から「電気回路」に至るまで、これらすべてに「線形」という共通した性質があります。つまり、これまで習得してきた数学や物理の多くの事柄が、場合によっては経済現象や社会現象までも「線形現象」として、統一的に把握できます。そして、これらの性質が工学的に利用され、様々な技術を生み出してきました。この科目では、小学生以来大学1年生までに習得したことを、「線形」という概念の「横系を通す」ことによって、統一的に把握してその知識を工学の分野に応用できるようにし、1冊の教科書には書けない、きわめて横断的な数理的知識を学習します。

〔教科書〕

数回に1回の割合で、パワーポイントの内容を縮刷したプリントを配布します。欠席した人には、原則として渡しません。この授業およびプリントの内容は非公開としますので、プリントのコピー・転用・他人への譲渡を厳禁とします。

〔参考書〕

授業全体の参考になるような1冊を紹介することは不可能ですので、授業中に適宜紹介します。

プログラミング演習

「システムデザインのためのプログラミング技法」

2単位 秋学期

中澤 和夫 西 宏章
高橋 正樹 田中 真人
矢向 高弘**〔授業科目の内容〕****【講義目的】**

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェイスの基礎を理解し、C言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習得

する。

〔教科書〕

配布資料

プログラミング基礎同演習

「C言語によるプログラミング入門」

2単位 秋学期

田中 敏幸

〔授業科目の内容〕

C言語を用いて、コンピュータシミュレーションに必要なプログラミング技法の基礎を習得することを目的とする。各講義時間の後半に、その日に習ったC言語文法を用いたプログラミング実習を行い授業内容の理解を深める。また、実習は短時間でできる簡単な題材を扱うため、3週に一度程度の割合でプログラミングに時間のかかる課題を宿題とし、結果を提出してもらう。課題の作成によってそれまでに習ったC言語文法を体系的に理解し、いろいろな問題を解決できるようになる。授業の内容は次のようになっている。

〔教科書〕

田中敏幸著『C言語によるプログラミングの基礎』コロナ社

プログラミング言語

「コンピュータのプログラムを作ってみよう」

2単位 春学期

櫻井 彰人 篠沢 佳久

〔授業科目の内容〕

自分でコンピュータのプログラムが書けるようになるためのプログラムの基礎を学ぶ。プログラミング言語はRuby言語（またはJava言語）を使用する。授業時間中にできるだけプログラミングの実習を行う。授業時間外にパソコンでプログラムを作成し、レポートとして提出する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

RubyもJavaも入門書がたくさん書かれています。自分の気に入ったものを選べばよい。また、WWW上にも多くあります。

プログラミング実習

2単位 春学期

高野 宏 古池 達彦

〔授業科目の内容〕

計算機の進歩（高速化、低価格化、ネットワーク化）にともない、物理学において計算機を使う機会が非常に多くなってきている。数値計算、数式処理、実験データの処理、実験装置の制御、データの可視化等、従来の理論物理学、実験物理学の分野においても、計算機の利用は非常に重要である。さらに、これまで解析的理論や実験で扱うことのできなかった現象を、計算機を使うこと

によって初めて扱うことができるようになり、新しい物理学の分野として、計算物理学という分野も発展している。このような現状において、物理学における計算機利用の基礎として、自ら計算機を用いて問題解決を行うためのプログラミングの基本を習得することが、この授業の目標である。

プログラミングについての解説の後、物理学の基本的問題を中心に関連する課題が与えられ、各自が具体的にプログラムを作成し計算を行うという形式で授業を行う。プログラミング言語はFORTRANを使用する。

〔教科書〕

特に指定しない。資料としてプリントを配布する。

〔参考書〕

富田博之著『FORTRAN 90 プログラミング』（培風館）

プログラミング第1同演習

〔C言語およびプログラミング技法の基礎〕

2単位 春学期

寺岡 文男 大野 将樹

〔授業科目の内容〕

プログラミングの初心者を対象とし、C言語の基礎およびプログラミングの基礎を学習する。授業ではLinuxオペレーティングシステムを使用し、コンピュータを操作しながら学習する。毎回演習を行い、レポートを提出する。

〔教科書〕

浦 昭二、原田賢一『C入門 電子計算機のプログラミング (11)』（培風館）

〔参考書〕

なし。必要な情報は適宜Webにて公開。

プログラミング第3同演習

〔C言語中級コース〕

2単位 秋学期

山崎 信行 大村 廉

〔授業科目の内容〕

C言語を正確により深く理解するとともに、C言語を用いたプログラミング能力を磨く。

〔教科書〕

山崎信行著『プログラミング言語C 入門から中級へ』（コロナ社、2,625円）

〔参考書〕

カーニハン&リッチー著（石田晴久訳）『プログラミング言語C』（共立出版）がお奨めです。

プログラム実習

〔プログラミング言語Cとその応用〕

2単位 春学期

中野 誠彦 岡田 英史

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて問題を解決するためのアルゴリズムとそのプログラミング言語での記述について講義お

よび実習を行う。プログラミング言語にはC言語を用いる。初回の講義は全体で行うが、実習はプログラミング言語の素養に応じたグループに分けて行うこととする。

〔参考書〕

『プログラミング言語C』

分子生物学第1

2単位 秋学期

柳川 弘志

〔授業科目の内容〕

2003年4月、ヒトゲノムの全塩基配列解読完了が宣言され、これまで166個のゲノム（145個の原核生物ゲノム、21個の真核生物ゲノム）が解読されている。さらに現在、775のゲノム解読プロジェクト（415個の原核生物ゲノム、360個の真核生物ゲノム）が進行中である。2003年には、アメリカでENCODE（ENCyclopedia Of DNA Elements）計画が発表され、いよいよポストゲノム時代が始まった。日本でも、文科省のゲノムネットワークプロジェクトが2004年10月にスタートした。ゲノムネットワーク解析は、ポストゲノム時代の最も重要な課題であり、その成果は生命現象の統合的理解と共に、ゲノム産業やゲノム創薬といった具体的実用化が期待されている。

また2002年1月には、チンパンジーのゲノムが解読され、ヒトのゲノム配列との差はわずか1.23%しかないとわかった。ヒトとチンパンジーの差はゲノム配列からだけではとても説明できないものであった。ここからわかることは、我々はまだ、「進化」を記録したゲノム地図の読み方、ゲノム配列が意味することを知らないということである。ポストゲノム研究とは、このゲノム地図の読み方を知ることにあるだろう。すなわち、ヒトとチンパンジーの差は、ゲノム配列から翻訳されるタンパク質とそのタンパク質間相互作用に支えられた遺伝子ネットワークのパターンの違いによる可能性がある。ポストゲノム研究に求められるものは、従来の一遺伝子を深く掘り下げる研究だけではなく、網羅的な遺伝子群の機能解析研究である。

このような日進月歩の生命科学の進展を背景に、21世紀のゲノムサイエンス時代を切り拓いて行く若い人達に、その基礎となるこれまでにわかった分子生物学の知識を、広くかつ深く理解してもらい、問題解決能力を養ってもらうのが本科目の主旨である。

〔教科書〕

H. Lodishら著、石浦章一訳『分子細胞生物学』（上）第5版、東京化学同人の第4章、第10章、第11章、第12章を担当します。

〔参考書〕

配布プリント

分析化学1

「Analytical Chemistry1」

2単位 秋学期

鈴木 孝治

〔授業科目の内容〕

前提科目である「分析化学基礎」の授業で、“化学物質”に関する十分な知識を身につけた。また、物質を分離する手法や理論的考え方を学んだ。この授業では、“物質”を検出する手法を学ぶことを中心に、分離分析の実際と使う機会の多い汎用の機器分析の基礎を講義とビデオで学ぶ。

- 1 化学分析と機器分析の基礎
- 2 分離分析
- 3 光関連分析
- 4 磁気関連分析
- 5 電子関連分析
- 6 分析化学トピックス

具体的には、

1. ガスクロマトグラフィーと元素分析
 - 1-1. 大気分析
 - 1-2. ガスクロマトグラフィーとは
 - 1-3. 分離カラムの構造と種類
 - 1-4. 検出器の構造と種類
 - 1-5. 有機元素分析
2. 質量分析
 - 2-1. 質量分析とは
 - 2-2. 質量選別部の種類と原理
 - 2-3. イオン化の種類と原理
3. 光化学分析
 - 3-1. 物質と光・色
 - 3-2. 光分析の装置構成
4. 吸光・蛍光分光光度法
 - 4-1. 光の吸収と放射
 - 4-2. 吸光分光光度法
 - 4-3. 蛍光分光光度法
 - 4-4. 化学発光・生物発光分析法
5. 原子吸光・原子発光分析
 - 5-1. 原子吸光・発光分析とは
 - 5-2. 原子吸光分析法
 - 5-3. 原子発光分析法
6. 核磁気共鳴分光法 (NMR)
 - 6-1. 核磁気共鳴分光法 (NMR) とは
 - 6-2. NMRから何がわかるか
 - 6-3. NMR測定の種類

〔教科書〕

生協から販売。

分析化学基礎

「Basic Analytical Chemistry」

2単位 春学期

鈴木 孝治

〔授業科目の内容〕

物質を分離し、同定し、定量する。この操作を確実に

行うためには、先ず様々な物質そのものの性質や特性を十分理解していなければならない。このことを念頭に置き、本科目では物質化学に立脚した分析化学および機器分析の基礎について学ぶ。

- ・分析化学体系
- ・化学物質の性質と見方
- ・化学物質の平衡
- ・物質の分離と検出

具体的には、

1. 分析化学とは
 - 1-1. 分析化学とは
 - 1-2. 分析に用いられる単位 (SI単位、非SI単位)
2. 分析値の取り扱い
 - 2-1. 誤差の考え方
 - 2-2. 分析データの処理演算
 - 2-3. 分析値の信頼
 - 2-4. 検量線
 - 2-5. 検定
3. 分析の実際
 - 3-1. 分析の実際
 - 3-2. 分析用器具
 - 3-3. 試薬・水の取り扱い
 - 3-4. 脱水剤、寒剤
 - 3-5. 固体試料の扱い
4. 物質の形態と特性
 - 4-1. 分析対象の選定と性質
 - 4-2. 原子と分子の性質
 - 4-3. 物質の状態と平衡
 - 4-4. 極性
5. 酸・塩基
 - 5-1. 酸・塩基の概念
 - 5-2. Brønsted-Lowry説 (ブレンステッド酸・塩基)
 - 5-3. Lewis説 (ルイス酸・塩基)
 - 5-4. イオンと活量
6. 物質の分離
 - 6-1. 物質の分離
 - 6-2. 難溶塩と溶解度積
 - 6-3. 沈殿生成現象
 - 6-4. 溶解度の抑制
7. 分配と抽出
 - 7-1. 分配と抽出
 - 7-2. 溶媒抽出
 - 7-3. キレート抽出
 - 7-4. HSAB則
 - 7-5. イオン会合抽出
8. クロマトグラフィー
 - 8-1. クロマトグラフィーとは
 - 8-2. クロマトグラフィーの理論
 - 8-3. クロマトグラフィーの種類
 - 8-4. 高速液体クロマトグラフィー

〔教科書〕

生協から販売。

〔参考書〕

基礎化学コース『分析化学Ⅰ』、『分析化学Ⅱ』および『分析化学Ⅲ』丸善

分布系の数理

2単位 秋学期
本多 敏

〔授業科目の内容〕

【概要】

物理現象を情報として扱うということはシンボル／記号化するということから始まります。物理的变化を担う媒質が空間的に連続に分布しているような、物理学工学のいろいろな分野で現れる連続体の問題を、線形分布定数系という共通性に着目して理解できるようにします。数学的には応用偏微分方程式論に相当する内容ですが、物理的工学的意味を物理情報として理解できるようにします。

【学習の目標】

講義計画に示した毎回の演習を通じて

- ・放物型・楕円型・双曲型偏微分方程式が表現する拡散、熱移動、対流、振動、波動、ポテンシャル等の物理現象が理解できる。
 - ・現実のそれらの問題を境界条件も含めて定式化できる。
 - ・あたえられた問題を、変数分離法、積分変換法等を用いて解くことができる。
- ようになることをめざします。

【参考書】

スタンリー・ファーロウ（伊理訳）『偏微分方程式』啓学出版

マテリアルデザイン概論1

2単位 春学期
今井 宏明

〔授業科目の内容〕

マテリアルとは、私たちの役に立つ機能を持つ「モノ」のことです。私たちの快適で豊かな生活はマテリアルの機能に支えられていることとなります。ケータイでもクルマでも、便利になる一方ですが、それらの便利はマテリアルの研究と製造によって支えられています。でも、エネルギーや環境、国際価格競争など、たくさんの制約に囲まれながらマテリアルを作っていくためには、ものすごく幅広い知恵が必要です。マテリアルデザイン概論（Ⅰ）では、みなさんがこうした大問題に挑戦するための基礎体力をつけることを目的に、なぜ、どうして、どのように、マテリアルが使われるのかを学んでいきます。多様なマテリアルの世界から皆さんの未来が見出せるかも知れません。授業計画に示したテーマに沿って、わかりやすい話をしていこうと思っています。

【教科書】

資料として、プリントを毎回配布します。

マテリアルデザイン概論2

2単位 秋学期
磯部 徹彦

〔授業科目の内容〕

機能材料の作り方（調製方法）、その性質を調べる方法（キャラクターゼーション）、その応用例について解説します。

【教科書】

プリントを配布する予定です。

無機化学1

2単位 春学期
磯部 徹彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、無機化学の基礎を身につけることを目標としています。シュライバー「無機化学」の第Ⅰ部の基礎を重点的に勉強します。

【教科書】

シュライバー『無機化学』

無機化学2

「無機化学や分子モデリングを理解するための量子論・分子分光入門」
2単位 秋学期
井上 秀成

〔授業科目の内容〕

量子論が誕生してシュレーディンガー方程式が提案され約1世紀が経過し、機能材料を指向した「無機化学」の本質を理解するためにも、ますます量子化学の基礎が必要になって来ている。当初、シュレーディンガー方程式の水素原子への適用は成功をおさめたが、今日、多電子原子や分子の電子構造への応用ではまだ多くの未解決問題を残している。しかし、ここ数十年のコンピュータの発展は、これら量子化学における未解決問題の比較的簡単な系に対する近似計算を可能にした。ここでは、コンピュータによる近似計算（例えば、分子モデリング）の際に、ともするとブラックボックスになりがちな部分の理解を深める。そのため、量子論と原子の電子構造、分子の電子構造と対称性、原子および分子の分光学、分子の磁気的性質などについて分かりやすく解説する。

【教科書】

P. W. Atkins（千原秀昭・中村亘男 訳）、『物理化学（上、下）』東京化学同人（2001）。

【参考書】

P. Atkins and J. de Paula, ATKINS' PHYSICAL CHEMISTRY, 8th Edition, Oxford Univ. Press (2006).
www.oxfordtextbooks.co.uk/orc/pchem8e/

有機化学基礎

「有機化合物の合成と反応入門」

2単位 春学期

山田 徹

〔授業科目の内容〕

1年生の化学Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について、個々に合成法、反応性を解説する。各化合物間の相互の関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さをも忘れないようにしたい。内容を簡条書きにすると以下のようなものである。

〔参考書〕

ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』（第4版上・下）化学同人

畑一夫著『有機化合物の命名—解説と演習—』培風館、ISBN 4-563-04222-6

有機立体化学

「三次元でみた有機化合物の構造と反応性」

2単位 秋学期

只野 金一

〔授業科目の内容〕

天然に見出される多種多様な有機化合物も、実験室で化学合成される新規な有機化合物も、それらの大半は三次元立体構造をもつ。sp³混成した炭素原子が、正四面体構造（テトラヘドロン構造）をとる事に由来した結果である。酵素などの生体触媒により司られる生体内化学反応の本質を理解するためには、また機能性分子を創製する際にも、研究対象とする有機分子を三次元構造で捉えることが重要になる。2001年度のノーベル化学賞が我が国の野依良治博士に授与されたが、「有用な有機化合物を望む三次元構造をもつものとして効率良く化学合成する」という野依博士の研究業績が評価された結果である。本講義ではまず有機化合物を立体構造の視点から解説し、ついで有機化合物が行う化学反応を立体化学的な見地から考察し、さらには三次元構造をもつ有機化合物を実際に合成合成する手段について順次講述していく。その結果受講者には、有機化合物を三次元構造で捉えることに慣れ、また有機化学反応を立体的に考えるようになってもらうことを目的・目標としている。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

カガン著、小田順一訳『有機立体化学』（化学同人）

バクストン、ロバーツ著、小倉克之他訳『基礎立体化学』（化学同人）等

力学的アナリシス

2単位 秋学期

野口 裕久 吉田 和夫

〔授業科目の内容〕

静力学と動力学に関するモデリングの基礎を力学的モデリングで学んだ後、その特性と応答解析の基礎を学ぶために設けられた科目である。機械工学、建築工学、土木工学の基礎としての静力学、動力学、機械力学、材料力学などの基礎知識を習得でき、基礎的で重要な科目である。近年制御工学、ロボット工学などの学際的な分野においても、対象は力学系であることが多く、エンジニアリングの広範な分野の基礎を学ぶことができる。

〔教科書〕

自作テキスト

〔参考書〕

坂田勝著『工学力学』共立出版 下郷、田島著『振動学』コロナ社 日本機械学会『機械システムのダイナミックス入門』丸善

力学的モデリング

2単位 春学期

野口 裕久 吉田 和夫

〔授業科目の内容〕

システムデザイン工学科のカリキュラムの一つの重要な柱として、静力学および動力学がある。これらの基礎知識はエンジニアにとって必須の基礎学力である。本科目は、静力学と動力学の学問的な基礎を学び、それらの知識を基にして物理現象のモデリングの方法を学ぶために設けられた基礎科目である。なお、力学を横断的に学ぶことができるように縦割りの内容を講義するのではなく、静力学と動力学を融合した教育を行う。以下の項目について講義する。

〔教科書〕

自作テキスト

〔参考書〕

坂田勝著『工学力学』共立出版 L.Meirovitch “Introduction to Dynamics and Control” Wiley

理工学基礎実験

2単位 春学期／秋学期

富田 豊 他

〔授業科目の内容〕

春学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からA B Cを、また、秋学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABDの組合せによって全12課題について実験、レポートの提出、討論を完結する。

A 実験

1. 演算増幅器
2. 熱の移動
3. 機械加工
4. 応力およびひずみの測定
5. 流体の流動

B 実験

1. 音波の干渉
2. 偏光
3. 分光測定

4. 回路の共振
5. マイケルソンの干渉計
6. 核磁気共鳴

C 実験

1. 吸光光度法による銅の定量
2. ガスクロマトグラフ法
3. pHと電離平衡
4. 可逆電池の超電力と平衡定数

D 実験

1. 表示系のヒューマンインターフェース
2. コンピューションコンプレキシティ
3. 経営意思決定問題
4. グラフィカルデータ解析
5. 幾何学的確率の実験

〔教科書〕

『理工学基礎実験』（慶應義塾大学理工学部編）

流体力学の基礎

2単位 秋学期

小尾 晋之介 深淵 康二
松尾 亜紀子

〔授業科目の内容〕

流体力学は、水や空気など、気体や液体を問わず、流れと物体の運動やそれらの相互作用に関する問題を扱う学問分野です。人間の体内やエンジンなどの機械の内部では様々な流体が熱や物質の輸送に重要な役割を果たし、風車やタービンでは流体のもつ運動エネルギーの有効利用が重要であり、大気や海洋の流れは地球環境に決定的な影響を及ぼす、というように、我々の周りの問題は流体運動なしでは考えられないもので満たされていることから、その重要性は容易に想像できるでしょう。

授業では、非常に多岐にわたる問題のなかから、流体運動を考えるための基礎理論とその応用力を身につけることを目指します。3年次の設置科目である「流体力学」、「高速空気力学」、「環境流体力学」は、「流体力学の基礎」から発展した内容を扱いますが、すべて共通の教科書を使いますので、一貫した内容となっています。

〔教科書〕

F.M.White “Fluid Mechanics” 5th Edition, McGraw-Hill International Editions

〔参考書〕

とくに定めない

量子化学基礎

〔化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動〕

2単位 秋学期

數下 聡

〔授業科目の内容〕

化学的な視点から量子論の基本を学び、分子中の電子状態および分子の振動回転運動を題材に、様々な化学現象にとって量子論の考え方がなぜ必要なのかを理解する。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業にお知らせします。

〔参考書〕

田中政志、佐野充『原子・分子の現代化学』学術図書
茅幸二編著『物理化学演習』裳華房

朽津耕三・濱田嘉昭『量子化学』放送大学教育振興会
小林常利『基礎化学結合論』培風館

藤永茂『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィク

平尾公彦・加藤重樹『化学の基礎』講談社サイエンティフィク

量子力学基礎

〔『エレクトロニクス』を学ぶための基礎物理の1つ〕

2単位 春学期

梅垣 真祐

〔授業科目の内容〕

本科目は、電磁気学、統計力学と共に、20世紀後半の技術社会の根幹を成した「エレクトロニクス」を理解する上で不可欠な基礎物理の1つである。21世紀は、さらに発展させた「電子技術」と、20世紀後半になって現れたレーザーを基とする「光技術」とを融合した「フォトニクス」の時代と言われる。レーザーもまた基礎物理に立脚した電子技術の産物である一方、将来の電子デバイス、光デバイスにおいては量子効果を十分に発揮させたデバイスが多用されるものと予想される。授業は教科書を中心に進めるが、上述の応用を念頭におき、固体物理、レーザー物理さらには量子化学との関連を理解するため、随時、参考書の内容についても触れる。教科書の範囲外の内容についてはプリントを配布する予定であるが、教科書の範囲内の内容についても教科書だけに頼らない自習を勧める。

本科目は上記の応用を念頭においた「量子力学の基礎」であり、(1) 量子論が成立していく背景をなす物理現象を述べることから始め、(2) プランクの見出したエネルギー量子の考え方、(3) ボーアの前期量子力学、(4) ハイゼンベルグの行列力学、(5) ド・ブロイによる物質の波動論を経て、(6) シュレーディンガー方程式に至る量子力学を講義する。

〔教科書〕

砂川重信著 『量子力学の考え方』岩波書店（物理の考え方シリーズ4）

〔参考書〕

1. 朝永振一郎
『量子力学Ⅰ、Ⅱ』（みすず書房）
2. R.H.Pantell and H.E.Puthoff (John Wiley&Sons Inc.) “Fundamentals of Quantum Electronics”（絶版になっているが、当方に有り。興味のある学生は申出てください。）
3. 山下次郎他訳
『キッテル固体物理学入門（上・下）』（丸善）

4. 原田義也
『量子化学』（裳華房）

量子力学第1

2単位 秋学期
福田 礼次郎

〔授業科目の内容〕

本格的な量子力学の履修の始まりと考える。

量子力学の基本原則、数学的な構造、観測量と観測値、シュレーディンガー表示とハイゼンベルグ表示、対称性と保存則、（できれば群論との関係）、時間発展と定常問題、角運動量、など

〔教科書〕

特に指定はしない。プリントを前もって配り、それに従って講義する。

〔参考書〕

特に指定しない。

量子力学入門（応化、数理、化学）

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

2単位 春学期
植田 毅

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔教科書〕

川村清『量子力学 I』（産業図書）

〔参考書〕

阿部龍蔵著

物理テキストシリーズ6

『量子力学入門』

岩波書店

自習の演習書：（値段が安く、英語も平易なので試してみてください）

David McMahon著

Quantum Mechanics

DeMYSTiFieD

A SELF-TEACHING GUIDE

McGraw Hill

量子力学入門（物情）

2単位 秋学期
椎木 一夫

〔授業科目の内容〕

原子、分子などのマイクロな世界を支配する物理法則は

日常世界における常識とは必ずしも相いれない。マイクロ世界の法則を理解して、ここから情報を得て制御する、つまり新しい機能性材料を開発したり電子波デバイスなどの先端素子を研究する、その準備段階として、量子力学の基礎を学ぶ。演習を行い、勉強した内容が使えるようになることを目標にする。

〔教科書〕

椎木一夫著『工科系 量子力学』裳華房

〔参考書〕

小出昭一郎著『量子力学（I）』裳華房

量子力学入門（機械、物理）

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

2単位 春学期
高野 宏

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔教科書〕

川村清『量子力学 I』（産業図書）

●総合教育科目

遺伝子の科学

「現代生物学の骨子と遺伝子にまつわる最新のトピック」
2単位 春学期

梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

1950年代にWatson-Crickのモデルが提唱され、分子レベルの生物学が盛んになった。1970年代にはDNAの操作技術が飛躍的に進歩して、現在では生物学のほとんどすべての分野で、DNAがかかわって研究が行われるようになった。本講ではDNA操作の実際（ビデオ使用）、最近の生物学と医療をDNAの役割を中心に説明してゆきたい。生物が初めてでもほかの生物系の講義をすでに経験していても、遺伝子に関わる生体物質の構造と昨日を重視して、1で10を知る新鮮な生物学を紹介する。

1. 生体物質入門
2. 生命の情報の流れ
3. 遺伝子の構成
4. 遺伝子操作
5. ノックアウトマウス
6. その他のトピック

初学者用に「生体物質入門」を入れ、遺伝子は実際にどんな風に扱われているかをビデオで説明。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

宇宙科学

「宇宙人はいるだろうか」

2単位 春学期

加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

この講義では、現代天文学が明らかにした宇宙の姿を解説する。宇宙はビッグバンで始まり、大規模構造や銀河、最初の星が形成された。星は今でも生まれたり死んだりしている。星の中では核融合反応により重い原子核ができ、超新星爆発などにより宇宙にまきちらされる。太陽系は宇宙誕生後100億年たってから誕生した。惑星の形成についてもかなりわかってきている。それらの知識をふまえて、宇宙人はいるのかについても考えたい。

〔教科書〕

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

〔参考書〕

プリントを配布します。

現代物理学概論

「原子核・素粒子物理学の過去・現在・未来」

2単位 秋学期

平田 光司

〔授業科目の内容〕

原子核・素粒子物理学は、物質の根源的な存在形態を研究する分野である。物質の根源形態を探求して、人類は原子、原子核、核子（陽子や中性子、中間子）、そして核子を構成する基本粒子クォークにいきついた。現在では、クォークとレプトン（電子やニュートリノ）、そしてそれらの相互作用を媒介するゲージ粒子によって、（重力の量子化が問題となる宇宙初期を除く）すべての現象が理解されている、と信じられている（素粒子の標準理論）。

物質の根源を求める知的好奇心に導かれて、20世紀前半には、原子核変換が発見され、核兵器および原子力へとつながっていった。20世紀後半には以下のようなことが起きた。(1) 核兵器は国際政治を大きく変えた、(2) 夢のエネルギー源と思われた原子力の様々な問題も明らかになった (3) 巨大加速器の進歩によって、高エネルギー物理学が発達し、標準理論へとつながったが、巨額の資金を要し、産業に貢献しない「知識のための科学」は、今後も続けられるのか不明である。

このような、輝かしい、しかし、問題を含んだ原子核・素粒子物理学について、物理学としての発展だけでなく社会への影響と社会からの影響を知ることは、理工系の学生にとって必須の課題であろう。

講義は (1) 原子核・素粒子物理学の発展 (2) 原爆の開発と国際政治 (3) 原子力の利用と問題点 (4) 巨大科学となった素粒子物理学、についてそれぞれ解説する。歴史的には、これらすべてが半ば独立に、なかばもつれあって進んできたので、これら4つのテーマを別個にあつかうことはできないが、最低限、それぞれについての基本的な知識を持つように、授業を進めたい。

〔予備知識〕

高校までの数学。物理学の知識は必要に応じて復習するようにします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

レーダーマン・シュラム『クォークから宇宙へ』東京化学同人

平田光司『加速器とビームの物理』（岩波講座・物理の世界）岩波書店

総研大ジャーナル2号特集『世界最強の加速器KEKBの挑戦』

(<http://www-kekb.kek.jp/Publication/Sokendai/sokendai.pdf>)

その他、インターネットからダウンロードできる資料を授業中に指示する。

人体の生理

「人体調節の分子機構とその破綻」 2単位 春学期
河上 裕

〔授業科目の内容〕

担当教員：河上裕・桜井敏晴・藤田知信・住本秀敏・工藤千恵・塚本信夫・松下麻衣子

医学部先端医学研究所では生体防御機構の一つである免疫システムの研究を行っている。免疫系はリンパ球などの様々な血液細胞がネットワークを形成して、細菌やウイルスなどの微生物から体を守っている。AIDSでは、HIVによりリンパ球が破壊されるために、通常ではかからない微生物や癌におかされてしまうことは、免疫機構の重要性を示している。また、免疫ネットワークは神経・内分泌・免疫と呼ばれるように、神経系による情報伝達や内分泌系の各種ホルモンとも相互作用を行っている。このように、人体は、外界からの影響に対して、様々な制御システムにより、その恒常性が維持されているが、それが破綻したときに病気となる。例えば、免疫機構の異常により、免疫系が自己の体を障害してしまう自己免疫疾患や、外来分子に異常に反応してしまうアレルギーなども起こる。本講義では、人体の恒常性維持機構に関して、マクロな生理学から、細胞生物学としての細胞間相互作用、細胞内での遺伝子、蛋白質などの分子調節機構まで、その概要を解説する。正常調節機構の破綻による病気の一つとして、癌や自己免疫疾患などの病態も紹介する。現在、多くの生命現象が分子レベルで説明できるようになってきたが、まだ、不明なことだらけである。そのために、多くの病気の発症機構は明らかでなく、よい治療法も存在しない。これらを解決していくためには、今後の分子レベルでの、さらなる研究が必要である。そこで、最近、話題のヒトゲノム計画も含めて、現代の医学研究の手法についても紹介したい。理工学部の学生にとっても、このような生物の巧妙なシステムとその破綻による異常、またその研究方法を知っておくことは、役立つのではないかと思う。知的好奇心旺盛な熱意のある方の受講を希望します。

〔教科書〕

特定の教科書は指定しませんが、生理学、細胞生物学の薄い本を読むことを勧めます。

〔参考書〕

必要であれば講義で紹介します。(オックスフォード生理学、丸善など)

心理学Ⅰ

「生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを科学する」
2単位 春学期
高山 緑

〔授業科目の内容〕

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期、青年期を経て高齢期までを視野に入れて、しなやかに生涯発達する人間のチカラを学んでいきます。最新

の実証研究から得られた知見をもとに、具体的には、愛着、自己、情動、性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、ライフスタイル、サクセスフル・エイジング等のテーマを取り上げます。さまざまなテーマを通じて、生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを学びましょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

心理学Ⅱ

「認知と学習」 2単位 秋学期
高山 緑

〔授業科目の内容〕

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がどのように発達していくのか学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します。

生物科学入門

「ヒトの生物学：疾患を分子で捉える」 2単位 春学期
中村 真理子

〔授業科目の内容〕

生体を1つの宇宙と見なすと、その中で起こっていることは無数のランダムなイベントの結果であることがわかります。近年問題になっている抗生物質に対する耐性菌の問題、免疫系の多様性を説明するclonal selection theoryなどは、まさに生物がランダムな事象から成り立っていることを示しています。

21世紀の医学では、病気について考える際に、生体反応を分子や細胞のレベルで考えることが必須であります。病気とは、前述の様なランダムな偶然が重なり、遺伝子が先天的あるいは後天的に極端に振れる結果として生じるわけですから、逆に病気は正常を知るための良いモデルとなるわけです。

社会のグローバル化、生態系の変化と共に、AIDS、結核などの新興・再興感染症の出現がめまぐるしく、人類に脅威を与えています。感染症の古典的な理解は同じ病気に2度かからないという免疫の基本を教えてください。自己免疫疾患、アレルギー、糖尿病など体質依存性といわれている疾患や悪性腫瘍などのいわゆる難病には、生体防御系としての免疫反応が強く関与しています。さらに、幹細胞の分化誘導と再生医療への応用可能性の模索、gene chipやRNA干渉など最近の生物学に関する手法の進歩は著しく、以前には未知の世界と思われてい

た事象も次々に明らかにされてきました。今後の10年を考えるならばその進歩はさらに加速されるに違いなく、現時点では想像もできないような世界が拓かれている可能性が大きいと言わざるを得ません。こうした内なる宇宙への探索の旅に携えるべき知恵と知識を求めての講義を進行させたいと考えています。

オリエンテーションとして分子生物学の基本言語について説明しながら、AIDS、癌を中心に、病態と治療法についての最新の知見も加えながら生物学について学びます。その際に微生物（特にウイルス）という観点から病気の理解をしてゆきたいと考えています。なぜならば、今日の分子生物学の発展はウイルスに端を発しているからであり、生物の内包する原理を理解するための最もシンプルな実験系として当時の科学者がウイルスを選択したその視点も、今後の私たちの真理追究へのヒントを与えてくれると感じるからであります。

〔教科書〕

特に指定しませんが、分子生物学の簡単なテキストを用意することをお勧めします。

〔参考書〕

田村隆明、村松正實 著『基礎分子生物学』第3版（東京化学同人）など、必要に応じて随時紹介します。

生物学実験

「生物のかたち、機能、メカニズムの理解—細胞を中心として—」

2単位 春学期
倉石 立

〔授業科目の内容〕

動物は個体の生存と種の保存の為に、様々な生命活動を行う。単細胞動物の場合それらはすべてひとつの細胞によって行われるが、多細胞生物では独自の機能を持った諸器官によって分業されている。各器官を構成する細胞は、基本的には皆同じ構成要素からなっているが、それぞれ独特の性質を持つことによって器官の機能の違いを生み出している。本実習では特に細胞の形や行動に注目して観察を行い、それらと機能との関係について考える。また、受精卵というひとつの細胞から生じた胚の中で、様々な細胞が分化する様子を実際に観察する。さらに、細胞を構成する重要な分子であるタンパク質や核酸の精製、同定操作も行う。これらを通して基本的な実験観察操作を学ぶとともに、観察結果の中に規則性を見いだして客観的データとしてまとめるトレーニングを行う。この科目は教職科目の「生物実験（コンピューター活用を含む）」との併設である。

〔教科書〕

指定しない。教材は教員が準備する。

〔参考書〕

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

生物学実験集中

「臨海実習」

2単位 春集中
松本 緑 佐藤 寅夫

〔授業科目の内容〕

生物世界の多様性と豊饒性を実体験するとともに、分類体系の基本を理解することを目標にして、三浦半島西海岸のほぼ先端に位置する東京大学三崎臨海実験所において、夏休み期間中に実施する。各種採集法により自ら集めた磯の生物、プランクトン、ベントス等を材料にして観察と同定、ならびに初期発生の観察を行う。4月中旬に行うガイダンスに参加すること、上記の全期間参加することが条件。収容人員は20名以内。ガイダンス日程は別途掲示参照のこと。

〔教科書〕

指定せず。

〔参考書〕

随時紹介する。

世界の経済

2単位 秋学期
竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

天文学

「重力の不思議」

2単位 秋学期
加藤 万里子

〔授業科目の内容〕

重力は宇宙の現象の中で重要な位置をしめている。星の形や進化、宇宙膨張や宇宙空間の曲がり、ブラックホールなど重要な現象にかかわっている。ここでは重力という観点から宇宙をみていく。「宇宙科学」ではいろいろな天文現象を広く浅くとりあつかうが、この「天文学」では、テーマをしぼって、やや深く考えることを目的とする。

〔教科書〕

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

〔参考書〕

プリントを配布します。

日本の経済

「いいもの作り国家をめざして」

2単位 春学期

相沢 幸悦

〔授業科目の内容〕

日本経済は、ようやく長期不況から抜け出したといわれていますが、平成大不況というのはどういうものであったか、日本経済の現状をどうみたらいいか、これからの日本経済はどうあるべきかということを、理論的かつ実証的に講義します。

とくに、長期不況克服の為に経済の自由化や経済構造改革が進められましたが、その結果、マネー経済の膨張や規制緩和などによる「いいもの作り」軽視の傾向が出てきたように思います。耐震強度偽装、食肉偽装、不正表示など、経済倫理や職業倫理の欠如も目立ってきています。そこで、本講義では、アメリカやドイツ経済などと比較検討しながら、どのようにして「いいもの作り国家」を再生したらいいか考えます。

〔教科書〕

相沢幸悦『現代経済と資本主義の精神』（時潮社、2007年、2,800円）

〔参考書〕

相沢幸悦『平成大不況』（ミネルヴァ書房、2001年、3,200円）

比較文化論

「中国文化とフランス文化」

2単位 春学期／秋学期

森 英樹

〔授業科目の内容〕

中国とフランスの風土、気質、文化的伝統、および東西文化の交渉などの話をします。『論語』『老子』を欧文訳で読む時間、漢詩制作の時間も設定しています。

〔教科書〕

森 英樹（南仙）著『中国とフランス 比較文化論講義・新版』

〔参考書〕

森 南仙 著『南柯の四季』

物性科学

「物性工学入門—身のまわりで用いられている材料の性質の理解—」

2単位 春学期

佐藤 徹哉

〔授業科目の内容〕

我々の身のまわりの電子機器の基になる様々な素子は、金属、半導体、磁性体や誘電体といった材料を用いて作られています。物性科学では、我々の生活を豊かにしてくれる電子機器等に用いられる素子などが、材料のどのような性質を利用しているのだろうか、という点を理解してもらうことを目的に勉強を進めていきます。高校の物理と化学の知識のみを前提として、実演やビデオなどの視覚教材を積極的に取り入れて分かりやすく講義

します。物性科学の考え方が、将来ものを考える時の基礎として使えるように授業内容を工夫する予定です。

〔教科書〕

プリントを毎時間配布します。

〔参考書〕

参考書は最初の時間に紹介します。

7 薬学部

必修科目

●薬学準備教育

※語学科目については、「平成20年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

※「F (7) スポーツ科学」は芝共立キャンパスで開講されます。

F (6) 基礎微分積分学

1単位 春学期
兵藤 充利

〔授業科目の内容〕

薬学部で学ぶ化学、物理学系科目の修得に必要な不可欠な数学、すなわち三角関数、対数関数、指数関数など重要な関数理解の確認と微分積分学の修得が目標です。主に多変数関数の微分（偏微分）、積分（重積分）の基本を理解し計算できること、そして平易な微分方程式（1階、2階線型微分方程式）を解けることが到達目標となります。また、2年生で学ぶ統計のための基礎知識を得ることも、目標にしています。

〔教科書〕

小田原宏行著『微分積分学』（北樹出版）

〔参考書〕

特に必要ないと思いますが、必要と思う人には相談の上、紹介します。

F (6) 基礎微分積分学

1単位 秋学期
兵藤 充利

〔授業科目の内容〕

薬学部で学ぶ化学、物理学系科目の修得に必要な不可欠な数学、すなわち三角関数、対数関数、指数関数など重要な関数理解の確認と微分積分学の修得が目標です。主に多変数関数の微分（偏微分）、積分（重積分）の基本を理解し計算できること、そして平易な微分方程式（1階、2階線型微分方程式）を解けることが到達目標となります。また、2年生で学ぶ統計のための基礎知識を得ることも、目標にしています。

〔教科書〕

小田原宏行著『微分積分学』（北樹出版）

〔参考書〕

特に必要ないと思いますが、必要と思う人には相談の上、紹介します。

●生命の大切さを知るために

【薬学科】

※「F (7) 薬学生のための情報科学」、「F (8) プレゼンテーション」、「A (1) 命の大切さを知るために-1 (コミュニケーション/ヒューマニズム)」は芝共立キャンパスで開講されます。

●イントロダクション

【薬学科・薬科学科共通】

B (1) 薬学への招待

1単位 春学期
増野 匡彦 中島 恵美
笠原 忠 諏訪 俊男
三澤日出巳 木津 純子
福島 紀子 平野 公晟

〔授業科目の内容〕

薬の専門家、医療人として必要な基本姿勢を身につけるために、幅広い薬学の領域を理解するとともに、医療、社会における薬学出身者の役割や仕事、薬剤師あるいは医薬品開発に関わる者の使命を学ぶ。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

授業中に適宜紹介してゆきます。

【薬学科】

※「B (2) 薬学的保健体験学習」「B (2) 早期体験学習 (病院・薬局)」は芝共立キャンパスで開講されます。

【薬科学科】

※「薬科学概論 (秋学期)」「B (2) 薬学的保健体験学習」「B (2) 早期体験学習 (企業・研究所)」「B (2) 早期体験学習 (大学内研究室)」は芝共立キャンパスで開講されます。

薬科学概論

1単位 春学期
増野 匡彦 笠原 忠
中島 恵美 金澤 秀子
鈴木 岳之 崔 吉道
石川さと子

〔授業科目の内容〕

薬学研究の歴史から、現在大学内で行われている研究、社会で話題となった研究などを学ぶことで、薬科学科学生としてのモチベーションを向上させる。さらに、これから習得する講義内容が将来的にどのように生かされる

かを学ぶ。

〔教科書〕

特にもうけない

●C1物質の物理的性質

C1 (1) 物質の構造

1単位 秋学期

阿部 芳廣 森田 裕子
伊藤 佳子

〔授業科目の内容〕

物質を構成する基本単位である原子および分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造および化学結合に関する基本的知識と技能を修得する。

〔教科書〕

小野行雄編『薬学物理化学』（廣川書店）（伊藤）

日本薬学会編『物理系薬学Ⅰ．物質の物理的性質』4版（東京化学同人、2004）（阿部・伊藤・森田）

〔参考書〕

小野行雄編『薬学物理化学演習』2版（廣川書店、2006）

佐治英郎・前田稔・小島周二編『新放射化学・放射性医薬品学』（南江堂）

C1 (2) 物質の状態Ⅰ

1単位 秋学期

金澤 秀子 伊藤 佳子

〔授業科目の内容〕

物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために、熱力学の基本知識と技能を修得する。

〔教科書〕

小野行雄編『薬学物理化学』（廣川書店）

〔参考書〕

小野行雄編『薬学物理化学演習』（廣川書店）

日本薬学会編『物理系薬学Ⅰ．物質の物理的性質』（東京化学同人）

●C2化学物質の分析

※「C2 (1) 化学平衡」「C2 (2) 化学物質の性質と定量」

は日吉キャンパスと芝共立キャンパスで交互に開講されます。

C2 (1) 化学平衡

1単位 秋学期

森 久和

〔授業科目の内容〕

医薬品を含む化学物質をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本的知識と技能を修得する。ここでは特に、物質の性質を理解するために、各種の化学平衡に関する基本的知識

と測定的基本的スキルを修得する。

〔教科書〕

中村 洋 編集『基礎薬学 分析化学Ⅰ』（改訂版3版、2007）（廣川書店）

〔参考書〕

日本薬局方

C2 (2) 化学物質の検出と定量

1単位 秋学期

阿部 芳廣 森 久和

〔授業科目の内容〕

試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。

〔教科書〕

中村洋 編集『基礎薬学 分析化学Ⅰ』（改訂版）（廣川書店）（森）

中村洋 編集『基礎薬学 分析化学Ⅱ』（改訂版）（廣川書店）（阿部）

〔参考書〕

日本薬学会編『物理系薬学Ⅱ 化学物質の分析』（東京化学同人）

●C4化学物質の性質と反応

※「C4 (1) 化学物質の基本的性質」は芝共立キャンパスで開講されます。

C4 (2) 有機化合物の骨格

1単位 秋学期

須貝 威 稲見 圭子
東 利則

〔授業科目の内容〕

医薬品および生体物質の基本となる有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、高校で学んだ有機化学を発展させた基本的な知識を習得する。さらに、基礎専門科目である有機化学へつなげ、基本構造、物理的性質、反応性に関する知識を習得する。

〔教科書〕

講義でプリントを配布する

〔参考書〕

日本薬学会編『化学系薬学Ⅰ．化学物質の性質と反応』

●C8生命体の成り立ち

C8 (2) 生命体の基本単位としての細胞

1単位 秋学期

竹鼻 眞 岡 美佳子

〔授業科目の内容〕

近年の分子生物学関連の学問の進歩には目覚ましいも

のがあり、それらを理解するためにも本講義は重要である。細胞の構造、構成成分について学ぶ。

〔教科書〕

石川 春律編集『標準細胞生物学』(医学書院)

〔参考書〕

中村桂子・松原謙一監訳『細胞の分子生物学』(ニュートンプレス)

●C9生命をミクロで理解する

C9 (1) 細胞を構成する分子

1単位 秋学期

園田よし子 横田恵理子

〔授業科目の内容〕

生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を習得する。

〔教科書〕

「スタンダード薬学シリーズ4『生物系薬学Ⅱ. 生命をミクロに理解する』」(東京化学同人)

〔参考書〕

『ヴォート基礎生化学』第2版(東京化学同人、2007)
富田基郎他編『ニュー生化学』(廣川書店、2000)
マシュエズ他、清水孝雄ら訳『カラー生化学』(西村書店、2003)

選択必修科目

●基礎科目

F (3) 基礎物理

1単位 春学期

菅田 節朗

〔授業科目の内容〕

第一の目標は、薬学の専門科目を学ぶために必要な物理学の基礎知識を身につけることである。第二の目標は、物理学の学習を通して、数理的な考え方を身につけることである。すなわち、物理学および数理系の薬学専門科目(物理化学、物理薬剤学、薬物動態学など)には共通した考え方が繰り返し出てくるので、その基礎的考え方を、物理学の学習を通して習得することである。

〔教科書〕

基礎物理教育研究会編『やさしく学べる基礎物理』(森北出版)

F (4) 基礎化学

1単位 春学期

森 久和 伊藤 佳子
森田 裕子 石川さと子

〔授業科目の内容〕

薬学を学ぶ上で必要となる物理化学・物理薬剤学・有機化学の基本的知識について、専門科目との関連性を含めて習得する。

〔教科書〕

- ①新井孝夫ら『バイオサイエンス化学』(東京化学同人)、
- ②小野行雄編『薬学物理化学』(廣川書店)、
- ③小野行雄編『薬学物理化学演習』(廣川書店)、
- ④中村洋編『基礎薬学 分析化学Ⅰ』改訂版(廣川書店)
(授業計画中に使用する教科書の番号を記入してある)

〔参考書〕

日本薬学会編「薬学教科書シリーズ『物理系薬学Ⅰ. 物質の物理的性質』」(東京化学同人)(伊藤)

菅原二三男監訳『マクマリー生物有機化学 基礎化学編』第2版(丸善)(石川)

F (5) 基礎生物

1単位 春学期

下遠野久美子 横田恵理子

〔授業科目の内容〕

主に高校で生物を履修してこなかった学生向けに開講するもので、生物に興味を持ち、生命とは何かを理解することを目指します。1年後期以降に開講する専門科目を理解するために重要です。

〔教科書〕

都筑幹夫編『現代生命科学の基礎—遺伝子・細胞から進化・生態まで—』(教育出版)

●第2外国語

※語学科目については、「平成20年度シラバス 履修の手引き」を参照してください。

選択科目

●F (1) 人と文化

※履修できる科目は、「薬学部履修案内」P.33(薬学科) P.36(薬科学科)の共通科目です。本書P.1からの〔I日吉設置共通授業科目〕を参照してください。

自由科目

●演習科目

F (9) 有機化学演習Ⅰ

1単位 春学期

須貝 威 稲見 圭子
東 利則

〔授業科目の内容〕

薬学のもっとも重要な基礎学問の一つである有機化学

を理解し、苦手意識を持たないように、反復演習によって理解力を積み上げる。

〔教科書〕

プリント使用

〔参考書〕

「電子と楽しむ有機化学」(プリント)、日本薬学会編『知っておきたい有機反応100』

F (9) 有機化学演習 I

1単位 秋学期

須貝 威 稲見 圭子
東 利則

〔授業科目の内容〕

薬学のもっとも重要な基礎学問の一つである有機化学を理解し、苦手意識を持たないように、反復演習によって理解力を積み上げる。

〔教科書〕

プリント使用

〔参考書〕

「電子と楽しむ有機化学」(プリント)、日本薬学会編『知っておきたい有機反応100』

F (10) 化学演習

1単位 秋学期

金澤 秀子 伊藤 佳子

〔授業科目の内容〕

薬学物理化学系の科目を学ぶ過程で、化学の知識が不十分と思われる学生が対象となり、化学の基礎知識の向上を目的とする。C1 (2) の講義に沿った問題演習を中心に、視聴覚教材を用いて理解を深める。

〔教科書〕

「薬学物理化学演習」(小野行雄編、廣川書店)

〔参考書〕

小野行雄編『薬学物理化学』(廣川書店)、日本薬学会編『物理系薬学 I. 物質の物理的性質』(東京化学同人)、石庄重次郎編『薬学のための物理化学』(化学同人)

F (11) 生物学演習 I

1単位 秋学期

竹鼻 眞 岡 美佳子

〔授業科目の内容〕

薬学を学ぶ上で、生命現象を理解することは重要であり、本演習では生物系の専門科目の理解を深めるために生物を基本から復習し直すことを目的とします。

F (12) 物理学演習

1単位 秋学期

菅田 節朗

〔授業科目の内容〕

一つの目標は微分積分学(特に微分方程式)を使って

物理学を学ぶことである。これに習熟することは数理系薬学専門科目のよりよい理解にも役立つ。もう一つの目標は放射線物理学を学ぶことである。放射線物理学は物理学のさまざまな基礎知識を必要とし、物理学の応用力向上にも役立つ。

〔教科書〕

この科目のために新たに購入する必要はない(春学期の「基礎物理」および秋学期の「C1 (1)」で使用する教科書を用いる)。

基礎物理演習

1単位 春学期

菅田 節朗

〔授業科目の内容〕

選択必修科目である「F (3) 基礎物理」の補習科目である。教科書の問題を解くのを主とするが、簡単な復習、補足説明も行う。

〔教科書〕

基礎物理教育研究会編『やさしく学べる基礎物理』(森北出版)

●他の自由科目

【薬学科】

※「薬学生のための体験学習プログラム」、「B (2) 早期体験学習(企業・研究所)」は芝共立キャンパスで開講されます。

【薬科学科】

※「薬学基礎研究のための情報リテラシー」「B (2) 早期体験学習(病院・薬局)」は芝共立キャンパスで開講されます。

IV 研究所設置講座、履修案内

1 メディア・コミュニケーション研究所

【メディア・コミュニケーション研究所について】 所長（法学部教授） 大石 裕

メディア・コミュニケーション研究所は、1946年に産声を上げた新聞研究室を母体とする歴史の長い研究所です。新聞研究室は、後に新聞研究所と名称を改め、1996年に創立50周年を迎えました。それを機に、名称もメディア・コミュニケーション研究所となりました。その背景には、放送が急速に発展し、新聞とともにマス・メディアの中心に位置するようになったこと、そしてインターネット時代を迎えるようになったことがあげられます。

新聞研究所は、第二次世界大戦前と戦争中、新聞報道を中心とする日本のマス・メディアが軍国主義に迎合した報道姿勢をとったことを憂いた連合国占領軍が、戦後の民主化に新聞を中心とする言論報道機関の果たす役割の大きさを考慮して、その遂行に貢献しうる人材の育成とともに、マス・メディア研究を行いうる研究機関の設置を幾つかの日本の大学に求めました。選ばれた大学の一つが慶應義塾であり、後に法学部の学部長になった米山桂三教授に研究所の運営が任されることになったというのがその発端であると伝えられております。

この目的は現在も継承されており、メディア・コミュニケーション研究所は、新聞、放送、通信社、出版、広告などのマス・メディア業界に就職を希望する学生のための教育機関として大きな役割を果たしてきました。また、メディアやコミュニケーションについて、教員と学生（この研究所では研究生と呼ばれています）が研究を進める機関でもあります。

実は、私も1979年にこの研究所（新聞研究所）を修了しました。私の研究生時代、研究所の規模は小さく、専任や非常勤の先生方に公私にわたって大変お世話になりました。文章作法では自分の作文力のなさを、研究会では基礎概念の理解不足を実感させられました。でも、そうした経験は、今貴重な財産になっています。現在の研究生も、私と同じような経験をしていることでしょう。

この研究所は、名前をあげれば誰でも知っているような著名なジャーナリストやメディア業界で活躍する人材を数多く輩出してきました。また、それほど目立たなくても個性的で優れた仕事をしているジャーナリスト、そしてマス・メディア企業の経営者になった修了生も多数います。こうした伝統は脈々と受け継がれています。もちろん、すべての修了生が、マス・メディアやその関連業界に進むわけではありません。しかし、この研究所で学んだこと、そして人とのつながりは、必ずやマス・メディア業界以外でも様々な形で生かされていくはずで

す。研究生たちは今、従来型のマス・メディアだけでなく、様々なメディアを通じて情報を入手し、それを処理・加工し、情報発信をしています。でもその基本はやはり、入手した情報をもとに「考え」、そして「表現する」ことだと思います。特に、批判的に「考える」ことの重要性は、高度情報社会の今でも変わらないのは当然です。

その力をぜひ、この研究所で磨くようにしてください。そして、その成果を社会に還元するようにして下さい。それが私の心からの期待であり、希望です。

平成20年度慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所基礎科目（オープン科目）一覧

*基礎科目（オープン科目）研究生以外も履修可能

設置場所	科目名	単位数	講師
三田設置科目	マス・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ（法学部併設）	春2/秋2	大石 裕
三田設置科目	マス・コミュニケーション発達史Ⅰ・Ⅱ（法学部併設）	春2/秋2	大井 眞二
三田設置科目	国際コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ（法学部併設）	春2/秋2	奥野 昌宏
三田設置科目	メディア社会論Ⅰ（法学部併設）	春2	遠藤 薫
三田設置科目	メディア法制Ⅰ	春2	宿南達志郎
三田設置科目	メディア法制Ⅱ	秋2	大石 泰彦
三田設置科目	ジャーナリズム論Ⅰ	春2	烏谷 昌幸
三田設置科目	ジャーナリズム論Ⅱ	秋2	伊藤 高史
三田設置科目	世論Ⅰ	春2	小川 恒夫
三田設置科目	情報行動論Ⅰ	春2	小城 英子
三田設置科目	異文化間コミュニケーションⅠ	春2	白水 繁彦
三田設置科目	異文化間コミュニケーションⅡ	秋2	藤田 結子
三田設置科目	メディア文化論Ⅰ・Ⅱ	春2/秋2	小川 葉子
三田設置科目	メディア産業と政策Ⅰ	春2	菅谷 実
三田設置科目	メディア産業と政策Ⅱ	秋2	豊嶋 基暢
三田設置科目	情報産業論Ⅰ・Ⅱ	春2/秋2	宿南達志郎
三田設置科目	ジャーナリズム総合講座Ⅰ・Ⅱ（朝日新聞寄附講座）	春2/秋2	大石 伊藤高 和泉
三田設置科目	コミュニケーション調査法Ⅰ・Ⅱ	春2/秋2	伊藤 陽一
三田設置科目	フジテレビ寄附講座 テレビメディア論Ⅰ・Ⅱ	春2/秋2	石丸 菅谷 豊嶋
三田設置科目	毎日コミュニケーションズ寄附講座Ⅰ・Ⅱ メディアの再編	春2/秋2	河内 孝
日吉設置科目	マス・コミュニケーション論Ⅰ（法学部併設）	春2	津田正太郎
日吉設置科目	社会心理学Ⅰ・Ⅱ（法学部併設）	春2/秋2	萩原 滋

日吉キャンパスに設置されている「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

時事英語Ⅰ

「英文メディアの視点で見る世界」 2単位 春
【日吉設置科目】 原 学

〔授業科目の内容〕

直近の主要海外メディアの記事を材料に、英文ニュースへの理解力を高め、国際問題に対する関心を深める。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

時事英語Ⅱ

「英文メディアの視点で見る世界」 2単位 秋
【日吉設置科目】 原 学

〔授業科目の内容〕

直近の主要海外メディアの記事を材料に、英文ニュースへの理解力を高め、国際問題に対する関心を深める。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

特に指定しない。

文章作法Ⅰ

「一般的な文章」 2単位 春
【日吉設置科目】 内山 眞

〔授業科目の内容〕

さまざまな種類の文章を実際に書き、添削を受けることによって技量の上達をめざします。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

文章作法Ⅱ

「ジャーナリズムの文章」 2単位 秋
【日吉設置科目】 内山 眞

〔授業科目の内容〕

文章作法Ⅰの内容を踏まえ、ジャーナリズムの各側面に現れる文章の実践的な練習をします。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

2 体育科目（体育研究所）

体育科目は授業形式と評価方法により以下の4つに分類されます。

履修にあたっては学部ごとに取り扱いが異なりますので、確認の上、申告してください。

①**体育学講義** 半期2単位 「身体」「運動」「健康」等に関する講義 →P272～273へ

②**体育学演習** 半期1単位 講義+実習による演習形式の授業 →P274へ

③**体育実技A** 半期1単位 身体運動を中心にした実技 A～Dの4段階で評価する

1) ウィークリースポーツ： 週1回実施の授業

2) シーズンスポーツ： 夏季・春季休業中の集中授業

体育実技Aの成績評価方法は100点満点のうち、出席点が60点。欠席は1回につき5点減点、遅刻は1回につき3点減点します。評価対象者は全授業回数の2/3以上出席した者です。残りの40点を各授業担当者が技術・態度・理解の観点で配分します。

④**体育実技B** 半期1単位 身体運動を中心にした実技 合否 (pass/fail) の2段階で評価する

3) ウィークリースポーツ： 週1回実施の授業

4) シーズンスポーツ： 夏季・春季休業中の集中授業

ウィークリースポーツの種目には以下のものがあります。

区分		種目別	掲載頁	区分		種目別	掲載頁
球技	1	サッカー (A)	P275	武道・格技	15	フェンシング (A)	P280
	2	フットサル (A)	P275		16	ボクシング (A)	P281
	3	ソフトテニス (A)	P275	個人種目	17	体力アップコース (A)	P281
	4	テニス (A)	P275		18	ボディメイクエクササイズ (A)	P281
	5	卓球 (A)	P277		19	エアロビクス (A)	P281
	6	バドミントン (A)	P277		20	ダンス (A)	P282
	7	バスケットボール (A)	P277		21	ウォーキングエクササイズ (A)	P282
	8	バレーボール (A/B)	P278		22	ジョギング (A)	P282
	9	ハンドボール (A)	P279		23	ゴルフ (A)	P282
	10	野球 (A)	P279		24	自動車 (A)	P283
	11	軟式野球 (A)	P279		25	陸上競技 (A)	P283
武道・格技	12	合気道 (A)	P280		26	アーチェリー (A)	P283
	13	柔道 (A)	P280		27	トランポリン (A)	P283
	14	剣道 (A)	P280	28	ニュースポーツ (A/B)	P283	
				29	フライングディスク (A/B)	P283	

シーズンスポーツの種目には以下のものがあります。日数・費用の有無などがそれぞれ異なります。

実施日 (学期)	科目	定員	実施期間	実施場所	初日 集合場所	備考	掲載頁
7・8月 (春)	体育実技A (空手)	40	7/29(火)～8/5(火) 日曜を除く	空手道場 (虻谷)	同左 10:00集合		P284
	体育実技A (弓術)	40	7/29(火)～8/5(火) 日曜を除く	志正弓道場 (虻谷)	同左 9:00集合	¥500 (教本) 初日徴収	P284
	体育実技A (水泳(オープンウ ォータースイミング))(合宿)	25	7/31(木)～8/3(日)	体育会館山合宿所 (千葉県館山市)	同左	※¥30,000 交通費除く	P284
	体育実技B (山岳) (合宿)	20	7/31(木)～8/3(日)	北アルプス北部 (富山県)	同左	※¥37,000 交通費除く	P285
	体育実技B (馬術) (合宿)	32	8/1(金)～4(月)	朝霧乗馬牧場 (静岡県)	日吉キャンパス 8:00 集合	※¥52,000 交通費含む	P285
	体育実技B (ヨット) (合宿)	40	7/30(水)～8/2(土)	ヨット部合宿所 (神奈川県三浦市)	同左 14:00	※¥37,000 交通費除く	P286
9月 (秋)	体育実技A (器械体操) (女子は器械体操または新体操)	30	9/16(火)～9/24(水) 日曜・祝日を除く	日吉記念館	同左 15:00		P286
	体育実技B (ビーチバレー)	30	9/16(火)～20(土)	日吉記念館および 湘南サーフビレッジ	日吉記念館 9:30 集合		P287
	体育実技B (アウトドア レクリエーション) (合宿)	50	9月上旬の4泊5日	立科山荘 (長野県)	同左	※¥27,000 交通費除く	P287
2月 (秋)	体育実技B (スキー) (合宿)	120	2/8(日)～11(水)	志賀高原発哺 (長野県)	同左	※¥45,000 交通費除く	P287
	体育実技B (スケート) (合宿)	40	2月上旬の3泊4日	軽井沢スケート センター (長野県)	スケートセン ターホテル	※¥28,000 交通費除く	P288

※合宿種目費用納入

納入日時 4月22日(火)～5月9日(金) 8:45～16:45

納入場所 日吉学事センター総合窓口

(費用が納入期間に間に合わない場合は、窓口で相談してください。)

体育学講義

体育学講義 火曜2限 春
「スポーツと身体 (からだ) の基礎理論」

吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

健康の大切さを実感するのは、その肝心な健康を損なってしまったときでしょう。現代社会において、私達は様々なストレスに曝されながら生活をしています。そこで、本講義では身体のメカニズムやスポーツ・トレーニングの基礎知識を学習することにより、「心身の状態を常に良好に保つ」方法を身につけることを目的とします。日々の生活をいかに送っていくのか、どのように生活をプログラムしていくのか、一緒に考えて行きましょう。

体育学講義 火曜3限 春
「スポーツの効用を科学的にみる (スポーツ総論)」

村山 光義 佐々木玲子
近藤 明彦 吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

スポーツは社会の中で文化として多様な姿を持ちますが、その中心は我々が身体活動をすることです。体育・スポーツ活動は、ヒトの身体 (こころとからだ) に多くの影響を与えます。本講義はこうした体育・スポーツ活動が我々に与える効用についてオムニバス形式で解説します。身体に関する知識を得るとともに、人文・社会・自然の科学的視点から身体活動実践の現代的意義を考えます。スポーツ実施・指導および教育場面に幅広く役立つ内容 (教職や体育会・スポーツサークルのリーダーを目指す人に適切な内容) となるでしょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で随時紹介します。

体育学講義 火曜3限 秋
「アウトドアを考える」

村山 光義 野口 和行

〔授業科目の内容〕

1999年8月、神奈川県玄倉川の河原でキャンプをしていた人々が大雨による増水に流され、13名もの犠牲者を出す大事故が起きてしまった。また、2004年は台風や地震による自然災害が日本列島を震撼させた。被災地では大自然の中で厳しい避難生活が続いた。こうした事故や災害から我々は何を学ぶべきなのだろう。休日ともなると、思い思いのキャンプ道具や遊び道具を車に積んで、海や山に出かける人々で道路は渋滞している。町に出ればパタゴニアやノースフェイスといったアウトドア・ブランドに身を包んだ人々が闊歩している。こうした現代

の「アウトドア文化」は、レジャーであり、スポーツであり、ファッションである。しかし、そこには本来自然の中に生まれ育って来た我々人間が失いかけている何かの映し出されているのではないだろうか。ある調査では、都会の人間の7割以上が自然に対して「中にとほっとする」「出かけるのが好き」「安らぎの場である」と感じている。アウトドアでの活動が我々に魅力的で有益なものであることも事実である。本講義では「アウトドア」をQuality of Life (生活の質) を高めるライフスタイルのひとつとして享受していく上で、今何をしていくべきかを一緒に考えていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の中で随時紹介します。

体育学講義 火曜3限 秋
「アスリートのためのスポーツ科学」

近藤 明彦 村松 憲
加藤 幸司

〔授業科目の内容〕

競技者にとって効果的・合理的なトレーニング計画を立てることは重要な課題です。そしてこの目的を達成するためにはスポーツトレーニングに関する様々な基礎的知識が必要です。この講座では「心・技・体」の三つの観点から効果的なトレーニングを考える上で必要な基本的知識の習得を目指します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

適宜紹介します。

体育学講義 火曜3限 秋
「健康と運動の科学」

近藤 明彦 齊藤 郁夫
辻岡三南子 和井内由充子
森 正明

〔授業科目の内容〕

高度な文明化が達成された現代を生きる我々が健康な生活をおくるために必要な知識を体系的に学んでいく。本講座では、人体の主要な臓器の機能、健康と生活習慣 (運動、食事、喫煙、飲酒など) との関連を学び、健康な生活習慣が健康の保持増進に必要なことを理解する。疾病に関しては、青年期に正確な知識を身につけておくことが特に重要なものを取りあげる。さらには運動が健康とどのように係わるかについて理解する。

〔教科書〕

指定しない。

体育学講義

木曜4限 春

「スポーツ心理学の世界」

近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

20世紀はスポーツが大きく飛躍した世紀でした。そのスポーツの発展とともにスポーツ心理学が誕生し最近急速にその広がりが増えています。運動心理学・体育心理学・スポーツ心理学といった分野から現在ではスポーツの実施と健康の関連が着目され健康運動心理学という新しい領域も広がっています。この授業では、スポーツに関連する様々な心理学の分野からのアプローチを概観し、スポーツ実施に伴う心理的側面で現在どのような知見があるかを学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。

体育学講義

金曜3限 秋

「現代社会とスポーツ」

加藤 大仁

〔授業科目の内容〕

本来スポーツ活動は、私的な領域に属するものであり、公的な機関が介入すべきではないと論じられることが多い。しかし現実には、スポーツは社会の中に制度化されており、政治と全く無関係には存在しえない。

そこで、本講義では、主としてスポーツと政治の関係や、スポーツを通じて垣間見られる現代社会の問題点について、具体例を示しながら解説する。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜講義資料プリントを配布する。

体育学演習

体育学演習 火曜3限 春
「自然体験活動演習（体験から学ぶ）」

野口 和行

〔授業科目の内容〕

近年、夏休み等を利用した自然体験を中心としたキャンプ等の活動が各所で行われるようになり、ボランティアとして子供のキャンプ等に参加する学生も増えている。そこで、さまざまな自然体験活動にボランティアとして参加したいと考えている学生を対象に、自然体験活動に関する知識、技術、対人関係トレーニング等を学び、夏休みに行われるキャンプにボランティアとして参加し、OJT（on the job training）を行う。

〔参考書〕

授業時に適宜紹介する。

体育学演習 水曜4限 春
「アスレチックトレーニング演習」

山内 賢 西村 忍

〔授業科目の内容〕

「アスレチックトレーニング演習」では、多くの学生がこれから経験する可能性のある学校教育現場やレクリエーションスポーツ現場などで発生する損傷や疾病に対する予防法や心肺蘇生法を含む応急処置法に関する基礎知識を身に付けることを目標として授業を展開していきます。また体を鍛えるために必要なスポーツ栄養学やトレーニング方法論に関する内容についても指導を行う予定である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習 水曜4限 秋
「BLS（ベーシックライフサポート）～救急法の基礎～」

山内 賢 西村 忍

〔授業科目の内容〕

事故に出あったり、怪我をしてしまった場合、その直後の処置がとても大切です。この授業の目的は、第一に「事故防止」の考え方を身につけてもらうこと。第二に緊急時に備え、各種の処置を実際に身につけることにあります。いつ、どこで、どのような事故にあったとしても、医師に患者を手渡すまでに落ち着いて適切な処置ができるような理論と対処の方法について、実技を伴い学んでもらいます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習 木曜4限 春
「からだの動きをはかる（バイオメカニクス）」
佐々木 玲子 村山 光義

〔授業科目の内容〕

人間の日常的な動きやスポーツの動作などについて、バイオメカニクスの手法を用いて測定・分析することによって、客観的、定量的に動きを分析し、理解していきます。本年度は画像による動作分析を中心にを行います。対象とする人の動きをビデオ撮影し、それを分析することによってその運動の特徴を探ります。自分たちが興味ある動きをとりあげ、実際に自分たちを対象として測り、分析してみます。

私たちはどのように身体を使って動いているのか、巧い人の動きはどのようにになっているのか、動きのコツとは何か、といったことにデータの分析から迫っていきます。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

授業内で適宜紹介します。

体育学演習 木曜4限 秋
「スポーツメンタルトレーニング」

近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

スポーツにおけるメンタルトレーニングの重要性が指摘されている。この講義では体力のトレーニングや技術の練習との係わりを基本に現在行われているメンタルトレーニング技法の理論と実際について学ぶことを目的とする。

〔教科書〕

指定しない。

体育学演習 木曜4限 秋
「テニスを更に楽しもう」

村松 憲

〔授業科目の内容〕

テニスを更に楽しむために、戦術面、技術面、心理面、体力面などを幅広く学ぶ。また、テニスについて自主的に考える力を身につける。

〔服装・携帯品・その他〕

原則として更衣は必要ありません

体育実技A/B(ウィークリー・スポーツ)

●ウィークリー・スポーツ【球技】

体育実技A（サッカー） 月曜2限・3限、火曜2限・3限
(初心者、経験者を問わず) **岩崎 陸**

〔授業の目的〕

チームスポーツであるサッカーを通して、自律した個人が、チームメートと連携して、目的を達成することの楽しさを学ぶ。「ゴールを守る」そして「ゴールを奪う」という目的のために、必要な情報を集め、状況判断し、チームメートと連携してプレーを実行するまでの過程を理解し、そのプレーを実現するための基本技術・戦術を習得する。

〔実施場所〕

下田グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装とシューズ

体育実技A（サッカー） 木曜2限・3限
(初心者・経験者を問わず) **野々村 芳和**

〔授業の目的〕

サッカーをプレーする事の楽しさとともに、新たなサッカーの魅力を発見する。

〔実施場所〕

下田グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装とシューズ

体育実技A（サッカー） 水曜2限・3限、金曜1限・2限
李 宇諤

〔授業の目的〕

チームスポーツであるサッカーを通してコミュニケーションを理解する。

生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。

〔実施場所〕

下田グラウンド

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装とサッカー用のシューズ

体育実技A（フットサル） 月曜1限
(初級者) **大嶽 真人**

〔授業の目的〕

フットサルに必要とされる基本技術の習得、コミュニケーションを通じてのチームワークの獲得を目指し、フットサルを生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

フットサルのできる服装。シューズは室内用でゴム底が黒くないもの。

体育実技A（フットサル） 月曜2限・3限
大嶽 真人

〔授業の目的〕

フットサルの必要とされる基本技術と基本戦術の習得、コミュニケーションを通じてチームワークの獲得を目指し、フットサルの特性を理解すること、生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

フットサルのできる服装。シューズは室内用でゴム底が黒くないもの。

体育実技A（ソフトテニス） 木曜2限
濱名 邦雄

〔授業の目的〕

日本で生まれ、現在国際化が進展し、アジア大会の正式種目ともなっている、ソフトテニスの楽しさを、授業で体験し、生涯スポーツとして実践して行く動機（きっかけ）作りを行う。

〔実施場所〕

日吉下田地区 体育会ソフトテニス部コート

〔服装・携行品・その他〕

運動可能な服装・テニスシューズ・ラケット（貸出有り）

体育実技A（テニス） 月曜1限（初級）・2限（中級）
加藤 大雄

〔授業の目的〕

生涯スポーツとしてのテニスの基本的技術と、ルールの習得。

〔実施場所〕

蛸谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。）

〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット、テニスシューズ、運動ができるウェア

体育実技A（テニス） 月曜3限、金曜2限・3限
(中級) **手島 智佳子**

〔授業の目的〕

テニス技術の向上並びに試合での戦術。

〔実施場所〕

蛸谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷

物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装 (出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ (ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

体育実技A (テニス)

(初級)

月曜4限

手島 智佳子

〔授業の目的〕

テニス技術の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート (更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装 (出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ (ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

体育実技A (テニス)

(初級)

火曜3限

竹村 りょうこ

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート (更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ (ハードまたはオールコート用)

体育実技A (テニス)

(中級)

火曜1限

竹村 りょうこ

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート (更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ (ハードまたはオールコート用)

体育実技A (テニス)

(上級)

火曜2限

竹村 りょうこ

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート (更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ (ハードまたはオールコート用)

体育実技A (テニス)

(中級)

水曜1限

松本 健太郎

〔授業の目的〕

テニスの基礎的な技能を習得する。打球技術を向上し、ゲームで実践できるレベルを目指す。また、生涯スポーツの一つとしてテニスを楽しめるようにルール、マナーや歴史を理解し、定期的に運動を行う習慣を身につける。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート (更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

ラケット、シューズは各自で準備する。(テニスシューズはオールコート用またはハードコート用)

体育実技A (テニス)

(初級)

水曜2限・3限

松本 健太郎

〔授業の目的〕

テニスの基礎的な技能を習得する。打球技術を身につけて、楽しくゲームを行えるレベルを目指す。また、生涯スポーツの一つとしてテニスをプレーできるように、ルール、マナーや歴史を理解し、定期的に運動を行う習慣を身につける。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート (更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

ラケット、シューズは各自で準備する。(テニスシューズはオールコート用またはハードコート用)

体育実技A (テニス)

(初級)

木曜1限・2限

村松 憲

〔授業の目的〕

テニスを楽しむために必要な技術・エチケット・ルールを身につけます

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート (主としてインドアコート2面を使用しますが、アウトドアコートを使用することもあります)。更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ (ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット・運動に適した服装 (シューズ、ラケットの貸し出しはありません)

体育実技A (テニス)

(中級)

木曜3限

村松 憲

〔授業の目的〕

試合を楽しむために役立つ技術・戦術を身につけます。エチケット、ルールを再確認します。

〔実施場所〕

霞谷テニスコート。インドアコートとアウトドアコート
の両方を使用する予定です。更衣を日吉記念館で行い、
荷物を全て持ってコートに来て下さい。

〔服装・携帯品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用またはオールコート
用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、
ラケットの貸し出しはありません）

体育実技A（テニス）

金曜1限

(初級)

坂井 利彰

〔授業の目的〕

テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身
に付けて最終的には実戦も交えた練習を行います。

日本トッププロの練習も見学して、よりテニスを好き
になって欲しいと思います。また、明るく楽しくテニス
と接して参加者同士のコミュニケーションも深めて欲しい
と思います。

〔実施場所〕

霞谷インドアテニスコート(更衣を日吉記念館で行い、
荷物を全て持ってコートへ来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用又はオールコート
用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、
ラケットの貸し出しはありません）

体育実技A（卓球）

月曜2限・3限

松田 雅之

〔授業の目的〕

手軽に楽しめる卓球の特性を活かし、それぞれのレベ
ルにあった技術の向上とゲームの展開を目的とする。

〔実施場所〕

卓球場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・室内シューズ・ラケット（持
っている人は持参）

体育実技A（卓球）

火曜2限・3限、木曜2限・3限

吉田 武

〔授業の目的〕

1. 卓球の楽しさの体験、基礎知識と技術の習得。
2. 卓球を通しての健康づくり。
3. 授業の中での級友とのコミュニケーション。

〔実施場所〕

卓球場

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる軽装、室内用運動靴、タオル

体育実技A（バドミントン）

月曜1限、金曜1限・3限

加藤 幸司

〔授業の目的〕

バドミントンの基礎技術を身につけ、ゲームを楽しむ。
また審判法も学ぶ。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを
必ず用意すること。

裸足での授業参加は認めない。

体育実技A（バドミントン）

月曜2限、金曜2限

(中・上級者：競技としてのバドミントン経験者)

加藤 幸司

〔授業の目的〕

バドミントンの技術を再確認しながら、技能を向上さ
せ、より高いレベルでゲームを楽しめるようにする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを
必ず用意し、自分のラケットを使うこと。

体育実技A（バドミントン）

木曜1限・2限・3限

(初心者)

平井 克英

〔授業の目的〕

【気軽に楽しめるバドミントン】

バドミントンの基礎知識と基本ストロークの技術を習
得し、審判方法とルールを理解する。又、試合を通して、
生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしての
バドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

屋内シューズとスポーツ出来る服装

体育実技A（バスケットボール）

月曜1限・2限・3限

木村 和宏

〔授業の目的〕

バスケットボールは、「走・跳・投」と運動の三原則
がバランスよく使われるスポーツである。

このスポーツを通じて基礎体力の向上を図ると同時
に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。あ
らゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として初心者
の学生をターゲットとした授業内容となっている。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

服装は原則としてスポーツのできる服装であること。シューズは上履き必携のこと。できればバスケットシューズやテニスシューズなどのシューズ底が厚いものが望ましい。

体育実技A（バスケットボール） 火曜1限、金曜3限
(経験者コース) **山内 賢**

〔授業の目的〕

バスケットボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、バスケットボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、止まる、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、バスケットボールの楽しさを学んでもらう。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ(土足厳禁)、水分・栄養補給用のドリンク類、(ただし、記念館フロア内での飲食厳禁、スタンド内は可。)

体育実技A（バスケットボール）
火曜2限・3限、水曜1限・2限、金曜1限・2限
加藤 大仁

〔授業の目的〕

バスケットボールを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。初級者から経験者まで、あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として体育の授業以外ではバスケットボールに取り組んだことのない学生を念頭においた授業内容となっている。

〔実施場所〕

記念館

体育実技A（バスケットボール） 水曜3限
(経験者コース) **加藤 大仁**

〔授業の目的〕

基礎体力の向上を図ると同時に、基本的なMan Offense/Man Defenseの考え方やプレーの習得を目指す。対象は小・中・高の何れかの時期にクラブ活動や愛好会活動を通じてバスケットボールに取り組んだことのある学生とする。

〔実施場所〕

記念館

体育実技A（バスケットボール） 木曜1限・2限
(全レベル対象) **木塚 孝幸**

〔授業の目的〕

この授業は、初心者から経験者までの全レベルの学生

を対象とする。体力の向上とバスケットボールの技術の習得を図りながら、ゲームを通してバスケットボールを楽しむことを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、室内シューズを準備すること。

体育実技A（バスケットボール） 木曜3限
(中上級者対象) **木塚 孝幸**

〔授業の目的〕

この授業は、中・高いいずれかでクラブ活動を通じてバスケットボールを経験した学生を対象とする。5人で協力して攻守することを目標に、体力、技術の向上を図り、毎時限実施されるゲームの内容(レベル)を上げていく。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、バスケットシューズを準備すること。

体育実技B（バレーボール）
月曜3限・4限、火曜2限・3限、金曜2限
石手 靖

〔授業の目的〕

バレーボールの技術向上

〔実施場所〕

日吉記念館(火2・3)及び第3校舎下バレーボールコート(月3・4、金2)

〔服装・携帯品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

体育実技A（バレーボール） 水曜1限
野口 和行

〔授業の目的〕

チームスポーツであるバレーボールの実践を通して、個々の技術レベルに応じた役割分担をしながら、相互のコミュニケーションを促進する。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装・屋内シューズ

体育実技A（バレーボール） 水曜3限、金曜3限
村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボール実践における技能向上と戦術の理解を通じてバレーボール競技を理解するとともに、リーダーシップとメンバーシップを発揮したコミュニケーション能力を養う。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（必須）

体育実技B（バレーボール）

水曜2限
村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを用いてメンバー相互のコミュニケーションを深め、その過程における自己表現・リーダー／メンバーシップ等を発揮し合うグループワークを実践する。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（必須）

体育実技A（バレーボール）

木曜2限・3限・4限
山田 美絵子

〔授業の目的〕

ボールを落とさなければ相手に得点を与えないですむという「バレーボール」の種目特性を活かしコミュニケーションをとりながら、ボールを落とさぬようカバーリングし、個人の技術の向上と集団での知識と技能の習得をねらいとする。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

「バレーボール」を行うのに相応しい服装（ジャージ、Tシャツ、短パン等）、シューズ（紐のついたものがよい）、タオル等（サングラス、帽子も可）

体育実技A（ハンドボール）

水曜2限・3限
(経験を問わない) 山内 賢

〔授業の目的〕

ハンドボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、ハンドボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、ハンドボールの楽しさを学んでもらう。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）、水分・栄養補給用のドリンク類、（ただし、記念館フロア内での飲食厳禁、スタンド内は可。）

体育実技A（野球）

(初心者)

月曜2限
綿田 博人

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・グラブ・アップシューズ

体育実技A（野球）

(経験者)

月曜3限
綿田 博人

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム、又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

体育実技A（野球）

(初心者)

火曜2限
菊地 啓太

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携帯品・その他〕

ユニフォームまたはトレーニングウェア、帽子、グラブ、アップシューズ

体育実技A（野球）

(経験者)

火曜3限
菊地 啓太

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携帯品・その他〕

ユニフォームまたはトレーニングウェア、帽子、グラブ、アップシューズ

体育実技A（軟式野球）

木曜3限
小松 恭三

〔授業の目的〕

野球の基本技術及びチームプレイの習得を通じて、チ

ームにおける個人の役割を認識し、野球の技術的向上を実践し、共同作業における人との関係を学ぶこと。また、生涯を通じて軟式野球にかかわり楽しんで貰うことを目的とする。

〔実施場所〕

日吉台野球場（蝋谷）

〔服装・携帯品・その他〕

野球用ユニフォームが望ましいがトレーナー等の運動着でも可。野球用スパイクが望ましいが、運動靴でも可。グローブ、帽子、タオル、夏季のスポーツドリンクは持参のこと。

●ウィークリー・スポーツ【武道・格技】

体育実技A（合気道）

木曜4限

藤平 信一

〔授業の目的〕

合気道の実技を通して、心と身体からだの正しい使い方しんとういっしん（心身統一）を習得する。

心身統一を日常生活で活用できるように習得する。

大切な場面での心の落ち着きを習得する。危険に対する察知と対応を習得する。

〔実施場所〕

蝋谷合気道場

〔服装・携帯品・その他〕

道着は貸与・Tシャツ（女子のみ）・タオル（汗をふくため）・道着を持ち運ぶバッグ、等。

体育実技A（柔道）

水曜3限、金曜2限・3限

（初心者、経験者を問わない：男女共習） 安藤 勝英

〔授業の目的〕

柔道を通して技術、体力の向上を図り、これから生涯スポーツとして取り組むことの出来るよう行う。中でも礼法、受身、正しい技の掛け方等をより深く解説する。また、見る柔道の立場から、国際、国内ルールを説明する。更に、昇段希望者にはこの授業の中で実施指導する。

〔実施場所〕

体育館柔道場

〔服装・携行品・その他〕

柔道着（希望者には貸与する）・タオル・Tシャツ（女子のみ）

体育実技A（剣道）

火曜2限・3限 秋、木曜2限・3限

（初心者から有段者まで） 吉田 泰将

〔授業の目的〕

剣道をはじめて行うものから、有段者まですべてのレベルを対象に、初心者は一級に、有段者はさらにひとつ上の段に挑戦するために、基本的な技術、知識、日本剣道形を学習します。それぞれのレベルの人が協力して、クラス全体の实力アップを図りましょう。そして、生涯

を通じて実践できる剣道をしっかりと身につけましょう。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴（運動に相応しい服装も可）・手ぬぐい
※剣道着（防具）・竹刀は準備しています。

体育実技A（剣道）

水曜2限・3限、金曜3限

（経験は問わない） 植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え（心構え、身構え）から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、このクラスにおいては上級者、初級者に分け技術レベルに応じて正しい剣道を学習する。上級者は初級者への指導法も含め技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A（剣道 日本剣道形クラス）

金曜2限

（経験は問わない） 植田 史生

〔授業の目的〕

日本剣道形は、大正元年（1912年）10月に制定、大正6年（1917年）9月に加注を行い、昭和8年（1933年）5月に加注を増補した。現在は全てこれを定本として実施している。打太刀（うちだち）、仕太刀（しだち）の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、

1. 正しい打突の筋を知る。
2. 正しい打撃の間合いを知る。
3. 正しい身体のさばきを知る。
4. 気位が養われる。

これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、木刀、形用模擬刀は貸与する。

体育実技A（フェンシング）

木曜2限

（初級から上級まで） 田中 由美子

〔授業の目的〕

ヨーロッパに起源をもち、発達してきたフェンシングの基本技術を習得し、試合形式の練習でさらに興味を深めていく。

〔実施場所〕

蛸谷フェンシング場

〔服装・携帯品・その他〕

トレーニングウェア（下は必ず長ズボン）、ハイソックス、シューズ（滑りにくいもの）

体育実技A（ボクシング）

金曜3限・4限

（初心者～上級）

島田桂太郎

〔授業の目的〕

ボクシング基本実技の習得・体験

〔実施場所〕

蛸谷ボクシング道場

〔服装・携行品・その他〕

運動着・室内用シューズ・バンテージ又は軍手

●ウィークリー・スポーツ【個人種目】

体育実技A（体力UPコース）

月曜2限・3限、木曜2限

牛山 潤一

〔授業の目的〕

基礎的なトレーニングを通じて、人間の身体の構造・機能を理解するとともに、個々の目的に即した正しいトレーニングプランを考案・実践すること。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装ならびに靴を持参すること

体育実技A（体力UPコース）

火曜2限・3限、金曜2限

山内 賢

〔授業の目的〕

この授業は、トレーニングの理論を基に、人間の体力を構成する筋力、パワー、柔軟性、持久力等をバランスよく鍛え、同時にトレーニングによる効果や体組成（体内脂肪量）の変化を自己観察するための授業である。この授業の目的は、自己の健康関連体力を観察し、その体力の向上と改善を個々のペースで管理するボディビルディングとコンディショニングのすすめにある。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）、水分・栄養補給用のドリンク類、サプリメント（ただし、ルーム内での飲食厳禁）

体育実技A（体力UPコース）

水曜2限、木曜3限

西村 忍

〔授業の目的〕

体を鍛える為のトレーニングの授業ではなく、一生涯を通じて健康維持・増進する方法論として体と知を育む授業を目的とする。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動着、インシューズ（土足厳禁）、タオル、ドリンク（ルーム内での飲食は禁止）

体育実技A（体力UPコース）

水曜3限

近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、この講座ではレジスタンストレーニングマシンを用いた筋力のトレーニング、エアロバイクを用いた持久力のトレーニングそして、いつでもどこでも出来る自分の体重を負荷としたトレーニングを行うことにより、運動を継続的に行うことの重要性を理解するとともに、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、室内用運動靴、タオル

体育実技A（ボディメイクエクササイズ）

水曜4限

（初級～中級）

板垣 悦子

〔授業の目的〕

学生生活をより充実させるために、エクササイズ実践を通して身体機能の理解を深め、身体を動かすことの楽しさや運動習慣の重要性を身をもって経験し、基礎体力の向上はもちろん体質改善や体重コントロール等、総合的な身体づくりの基礎を習得し自己の身体をコントロールできるようにする。目標を定め、効果を実感しながら実践していく。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装（ジーパンは不可）室内用運動シューズ、タオルと水分補給用飲料水は適宜。

体育実技A（エアロビクス）

月曜2限・3限、火曜2限、金曜4限

奥山 静代

〔授業の目的〕

エアロビクスについての基礎知識や基本的なステップを習得しながら、エアロビクス（有酸素運動）の特性を

理解し、総合的な体力・健康づくりのための基礎を学びます。身体を動かすことの楽しさを実感し、また心身をリフレッシュする方法を身につけることを目的とします。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動着に着替えて、室内シューズを持参して授業に出席してください。また、水分補給は各自で行えるように用意してください。必要に応じて、プリント等を配布します。

体育実技A（エアロビクス）

水曜2限・3限、金曜2限・3限
佐々木 玲子

〔授業の目的〕

日常生活を円滑に行うための体力向上を目指すとともに、シェイプアップも含めた総合的な身体づくりのための基礎を学び実践します。エアロビックダンスエクササイズを中心に行いますが、ストレッチング、リラクゼーション、筋コンディショニングエクササイズも取り入れ、広く身体についての理解を深めながら、身体を動かすことの楽しさを実感することを目指します。スポーツ・運動を通じて健康な生活をエンジョイしましょう。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動着、室内用シューズは必須。水分補給のための飲料は適宜用意してください。

体育実技A（ダンス）

木曜2限・3限
篠原 しげ子

〔授業の目的〕

姿勢を正しく保ち、種目ごとの特徴を理解し、動けるようになる。

相手の動きも理解して、協力して動けるようになる。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

動きやすい服装・ソックス（ダンスシューズは用意しなくてよい）

定員 男性10名・女性10名

体育実技A（ウォーキング・エクササイズ） 火曜2限、水曜2限、木曜2限

近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、その予防・改善を目的とした有酸素運動としてのウォーキングの実践を通し、継続的な運動の実施および様々な生活習慣が健康にどのような影響を与えるかについて理解

を深める。この授業では単に「歩けば健康になる」ということを強調するのみではなく、歩くことから派生する様々な文化的事象をも取り上げウォーキングへの興味を高めることを意図する。体力レベルが低い、あるいは技術系のスポーツ種目が不得意な者でも取り組みやすい種目である。誰でも出来るウォーキングの楽しみ方を理解し、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

体育実技A（ジョギング）

木曜3限春、金曜3限
松田 雅之

〔授業の目的〕

歩行・ジョギング・ランニングへと基本的な正しい走り方を学び、有酸素能力の向上を図る。野外走などを通じ、ジョギングの効用や楽しさを体験する。

〔実施場所〕

春：体育研究所 秋：陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ジョギングシューズ

体育実技A（ゴルフ）

火曜2限・3限、木曜2限・3限
綿田 博人

〔授業の目的〕

ゴルフの基本動作、打ち方を習得し、またゴルフのマナーを知ることが目的とする。

〔実施場所〕

梅里カントリークラブ

〔服装・携行品・その他〕

ゴルフスラックス、ポロシャツ又はトレーニングウェア・アップシューズ

体育実技A（ゴルフ）

金曜2限・3限
(初級、上級いずれも可)

勝又 正浩

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ体力の向上、技術、マナーを習得する。
- ・ゴルフ初心者の方々をコースラウンドが出来るレベルに向上させる。
- ・既にゴルフに取り組んでいる中・上級者を更にもう一段上のレベルに引き上げる。
- ・ゴルフ本来の楽しさを学ぶことにより、幅広い人間関係が構築できるように図る。

〔実施場所〕

体育会ゴルフ部練習場（矢上下）

〔服装・携帯品・その他〕

動きやすい服装、運動靴（ゴルフスパイクは不可）、練習用クラブ数本、ゴルフグローブ

体育実技A（自動車）

水曜1限春、水曜2限春・秋、水曜3限秋
初級（普通自動車運転免許のない方）、各時限とも同じ

松山 保幸

〔授業の目的〕

自動車運転の基本操作に不可欠な知識と操作技術の習得。

普通運転免許取得希望者が、正確な操作手順を身に付け、安全性への高い配慮ができるようになることを到達点とします。

〔実施場所〕

日吉宮崎台 自動車部専用練習場（塾高等学校グラウンド裏）

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（かかとの高い靴、サンダルは運転安全性の面で問題があるため避けて下さい）

体育実技A（陸上競技）

木曜3限 秋

松田 雅之

〔授業の目的〕

陸上競技に限らず、様々なスポーツに役立つ正しいランニングフォームを身に付ける。走・跳・投の各種目を通じて、陸上競技の楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ランニングシューズ・スパイク（ある者のみ）

体育実技A（アーチェリー）

月曜2限・3限

川西 大介

〔授業の目的〕

- ・スポーツ経験の少ない者も基礎練習から技術向上のための工夫を通じてスポーツの面白さを体験する。
- ・個人の身体能力に関わらず、学習し努力すれば達成できる体験を得る。
- ・的中の向上という目に見える結果に向かって集中力を養う。
- ・生涯スポーツへの取り組みのきっかけとする。

〔実施場所〕

日吉台洋弓場（蝮谷東側の丘の上にある高校野球場隣＝慶應義塾Webの日吉台野球場西側）

〔服装・携帯品・その他〕

上衣：運動に適したもので、特に腕、胸や首の周囲がだぶつかないもの。

下衣：スカートでの参加は認めません。

靴：ゴム底の運動靴・トレッキングシューズ等のランニングも可能なスポーツシューズ以外での参加は認めません。

服装や態度が不適で、安全の確保ができないと講師が

判断した場合は受講を認めません。

着替えが必要な者は、予め記念館内の更衣室を利用して下さい。

体育実技A（トランポリン）

月曜3限・4限

（初心者向け）

菊池 秀悦

〔授業の目的〕

トランポリン器具を用いた跳躍運動を安全に楽しく行い、基本的な技術を習得する。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装。靴下着用。（詳細はガイダンスで説明します）

体育実技A（ニュースポーツ）

火曜2限 秋

野口 和行

〔授業の目的〕

1. 一般的に「ニュースポーツ」と呼ばれるレクリエーション的なスポーツを取り上げ、幅広いスポーツ文化を体験する。
2. スポーツの実践を通して、仲間とのコミュニケーションを図り、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を養う。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技B（ニュースポーツ）

木曜2限 秋

村山 光義

〔授業の目的〕

世界の様々なスポーツ文化・人間の遊びの文化を体験し理解する。スポーツ文化の歴史から、遊ぶ人間「ホモ・ルーデンス」を理解するとともに、スポーツ（遊び）の将来を考える。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（必須）

体育実技B（フライングディスク）

水曜3限 秋

野口 和行

〔授業の目的〕

フライングディスクは通称「frisbee」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称です。ディスクは大きなカーブも長い滞空時間もスローイング次第で自由自在、人間が自力で最も遠くに投げられる物体のひとつです。この授業ではそのような特性を持ったディスクを使用した競技を紹介しながら、公園や海岸でも気軽に楽しむこと

のできるフライングディスクの楽しさを体感してもらいたいと思っています。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技A (フライングディスク)

金曜2限 秋
村山 光義

〔授業の目的〕

FLYING DISCとは通称「フリスビー」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称で、数多くの専門競技があります。本授業は、こうしたFLYING DISCの専門競技の紹介と実践をし「空中を浮遊するDISCを本能的に追いかける人間の営み」を通じて新たなスポーツ文化を吸収することをねらいとしています。DISCの最大の特徴は世界記録で200mを越す飛距離と円盤特性による曲進性・滞空性です。DISCを遠くへ、思う所へ投げことはとても難しく、投げ方も一通りではありません。このスポーツを楽しむ重要な要素が、投げる技術の獲得です。従って、技能向上も重要な目的として授業を展開します。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴 (必須)

体育実技A/B (シーズン・スポーツ)**体育実技A (空手)**

久保田 正美

〔実施期間〕

7月29日 (火) ~8月5日 (火) 日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前10時

〔実施場所〕

蝮谷道場

〔定員〕

40名 (男女共習)

〔目的〕

空手の基本 (立ち方、突き、蹴り) を実につける。また、希望選択によって組手あるいは形を実施。

〔授業内容〕

1日目 (基本) 立ち方、突き、蹴り
2日目 1日目と同じ。形希望と組み手希望に分ける。
3日目~6日目
基本練習後、グループに分かれ各々の種目の練習。
形…平安初段 (初心者用) の順番・意味・技の実践を通じてマスターする
組み手…突き、蹴りの攻撃技を実践し、徐々にバツ

グなどを突き、蹴りし、相手をつけて1対1でその技を試してみる。(寸止め)

7日目 基本練習後、各自順番に披露。

形…平安初段演武

形…1対1の試合

〔服装携帯品等〕

原則的には空手着を貸し出しするが、不足の場合は運動しやすい服装 (Tシャツ、長ズボン) を用意すること。空手着着用の場合、女子は空手着の下にTシャツ。

体育実技A (弓術)

齋藤 隆男

〔実施期間〕

7月29日 (火) ~8月5日 (火) 日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前9時 (正午終了)

〔実施場所〕

蝮谷 志正弓道場

〔定員〕

40名 (男女共習)

〔費用〕

500円

〔費用内訳〕

教本代として 7月29日 (火) に徴収します。

〔目的〕

正射必中の射の技術を習得すると共に、道場内での礼儀作法、射場における体配 (立居振舞い) を学び、慶應弓術を理解してもらう。

〔授業内容〕

(未経験者)

初日 射法説明、イメージトレーニング

2日目~4日目 イメージトレーニング、ゴム弓、索引、巻藁

5日目~6日目 索引、巻藁、的前射 (経験者)

初日 射法説明、各人の技術レベルチェック

2日目~6日目 各人の習得希望技術指導

最終日 班を編成し、対抗戦を行う。そして試合の雰囲気を経験してもらう。

〔服装携帯品等〕

前にボタンのないTシャツのようなもの。(ピアス、アクセサリ類は外す。) 熱中症対策としての飲料。

体育実技A (水泳)**(海洋体験 - Open Water Swimming)**

鷺見 全弘

〔実施期間〕

7月31日 (木) ~8月3日 (日) (合宿)

〔実施場所〕

体育会館山合宿所 (千葉県館山市)

〔定員〕

25名 (男女共習、ただし種目を問わず50m以上泳げる

こと)

〔費用〕

30,000円（交通費を除く）

〔費用内訳〕

宿泊費（民泊）、食費、保険料、教本代、スイムキ
ャップ代、その他

〔目的〕

海、川、湖などの自然環境での水泳をオープンウォー
タースイミングという。四方を海で囲まれた日本の自然
環境を理解するとともに、大自然に親しみながら、海洋
体験の楽しさを知り、レベルに応じた泳力を身につける
ことを目的とする。

〔授業内容〕

レベルⅠ（初級者）

- ・海で安全に活動するために必要な、基本的な最低限
の泳力を身につける
- ・合宿所前海岸での練習中心

レベルⅡ（中・上級者）

- ・効率の良い泳ぎ方や進路のとり方など、海での活動
に欠かせない泳力・技術を身につける
- ・合宿所前海岸での練習から入り、海に慣れたら合宿
所前の海岸と隣の海岸の間の岸沿いで練習

レベルⅠ・Ⅱ共通

- ・シーカヤックおよびシュノーケリングの体験
- ・状況が常に変化する海という環境における自己保全
能力（適応能力）の習得

*レベルを問わず、海での練習では3人でパディを組み
常に安全確認を行う

*最終日にレベルに応じた距離でオープンウォーター
スイミングを行う

*海岸間での練習やオープンウォータースイミングには
手漕ぎボートまたはレスキュー艇が伴走する

1日目午後 開講式（ガイダンス）、レベル分けテスト
および試泳

2日目 水泳およびシーカヤック体験

3日目午後 遠征およびシュノーケリング体験

4日目 レベルに応じた距離でオープンウォーター
スイミング体験

〔服装携帯品等〕

日常衣類、水着、水泳用ゴーグル、水中メガネ、シュ
ノーケルほか、詳しくはオリエンテーションで説明する。

体育実技B（山岳）

丸 誠一郎

〔実施期間〕

トレーニング、気象・医療・地形勉強会：7月中旬
最終準備会：7月29日（火）

山行：7月31日（木）～8月3日（日）（但し、31日朝
JR富山駅集合の為、遠隔の場合は前日発）

〔実施場所〕

北アルプス北部（黒部五郎岳・薬師岳周辺）

〔定員〕

20名（男女共習）

〔費用〕

37,000円（交通費の一部：東京から富山往復JR（航空）
運賃等を除く）

〔費用内訳〕

宿泊・食費：30,000円、輸送費：5,500円、保険料：
1,100円、雑費：400円

〔目的〕

1915年来受け継がれた、塾山岳部の「重装主義」、「リ
ーダーシップ&メンバーシップ」という、実社会で役立
つ登山哲学を基本に、北アルプスの大自然に親しみ、チ
ームワークの中で山の楽しみを体験できます。親切なベ
テラン指導員の元でベースキャンプを基点に周辺の主峰
をアタック登山し、登山の基礎技術も学ぶことが出来る
楽しい授業です。

〔授業内容〕

【指導戦略】：4名の登山現役の山岳部OB・OG、1名の
医学部山岳部OBが帯同し、登山経験が全くない塾生で
も、楽しい山の思い出が作れるよう、登高会（山岳部
OB会）全体で緻密な計画に基づいて丁寧に指導します。
急病人・怪我人の救出対応に関しても、万全の対応を図
れるよう塾体育研究所とも協議を重ねております。

【日程】7月中旬 健康ストレッチ会・気象・医療・地形
準備会（勉強会）

7月20日前後 登山用具買い物アドバイス（予定）

7月27日（日） 最終準備会・装備貸し出し（予定）

（東京から参加の場合は、7月30日（水）夜上野発の寝
台特急北陸23：03発等で前日出発の必要があります）

7月31日（木） 5時45分にJR北陸線富山駅集合、富山駅
⇒（バス）⇒折立⇒（歩行開始）⇒太郎
平小屋（泊・2330m）

8月1日（金） 太郎平小屋⇒薬師岳（2926m）⇒太郎平小
屋

8月2日 太郎平小屋⇒アラスカ庭園（2470m）往復

8月3日 太郎兵衛平⇒折立下山後、富山駅前解散

8月6日 17時までに、エッセイ提出、貸与した登山用品
をメンテナンスした後返却をお願いします。

〔服装携帯品等〕

夏山登山用具一式をご用意いただき、ザック、雨具、
ヘッドランプなど一部の用具は貸与します。但し、夏山
とは言え、北アルプスの主脈で行動をするので、歩きや
すい登山靴をご用意ください。

体育実技B（馬術）

細田 壮一

〔実施期間〕

8月1日（金）～8月4日（月）（合宿）

〔開始時間〕

集合8月1日（金） 午前8時日吉キャンパス構内

〔実施場所〕

朝霧乗馬牧場（〒418-0190 静岡県富士宮市麓585
TEL0544-52-0890）

〔宿泊場所〕

西の家 (〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1774
TEL0544-54-0277)

〔定員〕

32名 (男女共習)

〔費用〕

52,000円 (交通費を含む)

〔費用内訳〕

宿泊代 交通費 食費 テキスト代 借馬料 施設利用料等込み

〔目的〕

馬術というスポーツを通じて、活発な身体活動を図り、体育会活動の経験をさせる。

馬上での技術向上と共に、馬の世話や厩舎作業など総合的な馬の管理を体得する。

合宿課目であるため起床から就寝まで規則正しい生活をして、ルール・マナーの徹底を図る。

〔授業内容〕 (内容と順序は変更になる場合があります)

騎乗練習: 乗馬、下馬、常歩・速歩での発進、停止、左右への回転

作業実習: 厩舎作業、馬の手入れなどの体験

講義: 馬の扱い方、馬術の基本、馬具・飼料についてなど

〔服装・携行品・その他〕

ポロシャツ (白) トレーニングウェア上下 運動靴
靴下 軍手 着替え 洗面用具 筆記用具 防寒具 帽子
虫除け 持薬 保険証のコピー 学生証 領収書

体育実技B (ヨット)

金子 隆司

〔実施期間〕

7月30日 (水) ~ 8月2日 (土)

〔開始時間〕

第一日目 集合時間 7月30日 (水) 14:00 (京浜急行三崎口駅)

〔実施場所〕

神奈川県三浦市

〔定員〕

40名 (男女共習)

〔費用〕

37,000円 (自宅から集合・解散場所までの交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、食費、用具費、教材費、他

〔目的〕

小泉信三元塾長は、ヨットについて「自然に順 (したが) い、自然を制す」と表現し、スポーツとしてのヨットの意義について記されています。本クラスの目的は、人を相手とする他のスポーツと異なり、一切の妥協を許さぬ海上で、セーリング技術の習得を通じて、自然の素晴らしさと厳しさを体験し、理解することにあります。

〔授業の内容〕 (内容と順序は変更になる場合があります)

短い期間中にできるだけヨットに乗り、セーリングの基本技術と安全知識を習得することを目的とした実習プ

ログラムを編成します。

第1日目 ガイダンス、座学: 「ヨットに関する基本知識 (セーリングの原理、ヨットの構造)」、ロープワーク実習

第2日目 小型艇 (ディンギー)、大型艇 (クルーザー) を使用したセーリング実習

第3日目 セーリング実習 (小型艇、大型艇)

第4日目 セーリング実習 (小型艇、大型艇)、実技合宿成果のまとめ

- ・小型艇は大学選手権に使われる2人乗りのレース艇です。インストラクター1名と履修生1~2名が乗艇します。大型艇は外洋帆走可能な10人以上乗れるヨットです。インストラクター2~4名と履修生6~8名が乗艇します。
- ・小型艇と大型艇のどちらにも乗艇できるように配慮しますが、荒天・強風の場合にはセーリング実習が出来ないことがあることを了解したうえで履修してください。
- ・初めてヨットに乗る人を対象とした実習となりますが、再受講者、ヨット/ウィンドサーフィン経験者の履修も歓迎します。
- ・実習中は全員ライフベスト (救命胴衣) を着用し、常にインストラクターと乗艇します。安全面には十分配慮していますので、泳げない人でも十分セーリングを楽しむことができます。船酔いする人もこの機会に乗り物酔いを克服しましょう。
- ・合宿、実習を通じた体育会ヨット部員やヨット部OBとの交流も高い評価を得ていますが、授業というルールのもとでの合宿なので、団体生活が苦手な人にはお勧めできません。

〔服装・携行品・その他〕

ヨットに乗ると必ず濡れますので、着替えは多めに持ってきてください。水着のままでの乗艇はできませんが、その上にTシャツなどを着て乗るのは構いません。直射日光の下での実習になりますので、肌を守るための準備 (長袖シャツ/長ズボンや日焼け止めクリーム等) を心がけてください。帽子は必携です。ただし、つばの大きいもの (麦わら帽子等) は風で飛ばされてしまいます。裸足、(踵の無い) ビーチ・サンダルでの乗艇はできません。濡れても良いスニーカーが乗艇用シューズとして最適です。雨天・曇天の海上は寒いときもありますので、ウィンドブレーカーがあると役立ちます。

体育実技A (器械体操) (女子は器械体操または新体操)
首藤 聡史

〔実施期間〕

9月16日 (火) ~ 9月24日 (水)
日曜・祝日を除く。

〔開始時間〕

15時 (17時終了)

〔実施場所〕

記念館

〔定員〕

30名

〔目的〕

タンブリングフロア、トランポリン等様々な器具を使用して、身体バランス、巧緻性を養い安全で楽しく器械体操・新体操の基礎を学ぶ

〔授業内容〕

〈器械体操〉

- 1日目 ガイダンス及び器具のセッティングの方法、各種目のポイント説明 基礎運動
2日目 床運動、トランポリンの基礎練習①（前方系の技）選択種目の説明
3日目 床運動、トランポリンの基礎練習②（後方系の技）選択種目の説明
4日目 床運動、トランポリン練習及び選択種目の練習
5日目 床運動、トランポリン練習及び選択種目の練習
6日目 床運動、トランポリン練習 演技発表に向けての練習
7日目 演技発表会

〔服装携帯品等〕

安全に授業をおこなうために、ネックレス、ブレスレット、時計等ははずして授業をうけること。

体育実技B（ビーチバレー）

石手 靖

〔実施期間〕

9月16日（火）～9月20日（土） 5日間

〔開始時間〕

初日9：30 日吉記念館集合

〔実施場所〕

日吉記念館及び県立湘南海岸公園内サーフビリッジ（神奈川県藤沢市鶴沼海岸）

〔定員〕

30名（男女共習）

〔目的〕

バレーボール技術の向上とビーチバレー体験

〔授業内容〕（内容と順序は変更になる場合があります）

- 1～3日目 基礎練習（パス・トス・レシーブ・サーブ・スパイク・ブロック） @インドア（日吉記念館及び第3校舎下コート）
4～5日目 ビーチバレー体験 @サーフビリッジ
※実施時間は日吉記念館の場合9：30～12：30、ビーチの場合10：30～16：30
※ビーチバレー体験は天候により日程変更あり
〔服装携帯品等〕
スポーツウェア及びシューズ

体育実技B（アウトドアレクリエーション）

野口 和行

〔実施期間〕

9月上旬の4泊5日（詳細は4月のオリエンテーション時に発表する）

〔実施場所〕

長野県立科町 慶應義塾立科山荘

〔定員〕

50名（男女共習）

〔費用〕

27,000円（交通費を除く）

〔費用内訳〕

宿泊費、食費、プログラム費、傷害保険料、雑費

〔目的〕

- ・自然の中でのレクリエーションな活動を通しての自然環境の理解
- ・各活動に関する技術とそれに伴うさまざまな知識の習得
- ・集団生活を通しての人間関係の理解

〔授業内容〕（内容と順序は変更になる場合があります）

この授業は長野県立科町にある慶應義塾の山荘に宿泊しながら、周辺の豊かな自然環境を利用したさまざまなプログラムを行います。いくつかのプログラムから自分の希望するものをチョイスする選択プログラム制で、経験豊かなスタッフがそれぞれのプログラムのガイド役を務めます。立科での5日間を通して、自然、ひと、自分とうまく付き合っていく方法を学んでみませんか？

1日目：設営、夕食作り

2日目：選択プログラム1

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

3日目：選択プログラム2

登山、カヌー、ロッククライミング、ビバークなどのプログラムから1つを選択し、体験する

4日目：森の時間、アウトドアパーティー

山荘周辺でクラフト、料理等の静的なプログラムの体験、会食形式のパーティー

5日目：撤収、ふりかえり

〔服装携帯品等〕

要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

体育実技B（スキー）

吉田 久男

〔実施期間〕

2月8日（日）～11日（水）（合宿）（3泊4日）

〔実施場所〕

志賀高原発哺温泉スキー場周辺（長野県）

〔定員〕

120名（男女共習）

〔費用〕

45,000円（交通費を除く）

〔費用内訳〕

リフト代含む。

〔目的〕

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する（自然・人間の理解）。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする（自己へ

の挑戦)。

達成目標の具体例

初心者：山頂からのツアーの達成

初級班：プルークボーゲンの完成

中・上級班：緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

〔授業内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する(自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする(自己への挑戦)。

達成目標の具体例

初心者：山頂からのツアーの達成

初級班：プルークボーゲンの完成

中・上級班：緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

〔服装携帯品等〕

詳細は別途実施要項を参照のこと。

体育実技B(スケート)

小山 正

〔実施期間〕

2月上旬の3泊4日(詳細は4月のオリエンテーション時に発表する)

〔実施場所〕

軽井沢スケートセンター

〔定員〕

40名(男女共習)

〔費用〕

28,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、リンク貸切料、滑走料、障害保険料、雑費

〔目的〕

- ・スケートに関する知識及び技術の習得
- ・合宿生活の経験及び他学部の仲間との懇親

〔授業の内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

スケートの基礎知識を習得し、スケートの各種目(フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート)の体験をします(選択可能)。レベル別に班分けをし指導しますので初心者、経験者共に十分に楽しむことの出来る内容になっています。この機会にスケートの楽しさを体感しましょう!

一日目：開講式、基本技術の習得(フォア、バック、ストップ等)

二日目：基本技術の習得(ターン、クロス、ジャンプ、スピン)

三日目：フィギュア、アイスホッケー、スピードスケート、各種目の体験

四日目：氷上運動会、閉講式

〔服装・携行品・その他〕

防寒着、手袋、帽子など。要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

3 福澤研究センター

慶應義塾福澤研究センターは、1983年に義塾創立125年を記念して、三田キャンパス内にある旧図書館内に設立された研究所です。この研究所の目的は、一つは福澤諭吉および慶應義塾に関する資料の収集・整理・保管ですが、単にそこにとどまるものではありません。同時に、福澤諭吉と慶應義塾を視野においた近代日本の研究も本研究所の重要な役割です。このような研究を目的としているのは、一面では、福澤諭吉や各界で活躍した慶應義塾出身者について研究することが、そのまま日本の近代化について考える大きな鍵となるからです。また他面では近代日本に広く目を配ることなしには、福澤諭吉と慶應義塾の歴史的意義も本当には理解できないからでもあります。

しかも、福澤諭吉に関する研究は、狭く日本の内部にとどまるものではありません。福澤が投げかけた近代化の課題は、19世紀以降の日本を含む世界中の後発国が直面した問題でした。このため、福澤諭吉に取り組むことは、例えばアジアの近代化を考えることに直接的にも間接的にもつながってゆきます。このように、各国にまたがる広い関連性を持った研究に本センターは関わっており、文字通り世界における福澤研究の中心として機能しています。

このような目的をかねて、これまで福澤研究センターは、学術誌『近代日本研究』、資料集、叢書の刊行や、講演会、セミナー、展覧会などを開催してきました。また、これらの資料整理・研究活動は、25名の所員（専任2名、兼任23名）、10名の顧問、29名の客員所員、6名の事務スタッフ等により支えられています。

本設置講座は、このような活動を続けている福澤研究センターが提供する大学講座です。講座の目的は、第1には、福澤研究センターを中心として、塾内外の研究者により行われてきた研究の学術的な成果を、講義・演習を通して学生諸君に受け止めてもらうことです。また、第2には、福澤諭吉や慶應義塾を視野においた近代日本史への関心を喚起することです。さらに、第3には、将来福澤諭吉研究者や大学・学校史の研究者に育ちうる人材を教育することがあります。そして、第4には、この講座を通して、21世紀の世界にとって、福澤諭吉の思想と慶應義塾の歴史が、いかなる意味を持っているかを考える機会を作ることを目指しています。

近年、慶應義塾で学びながら、義塾がいかなる歴史を持っていたのかを知らず、また福澤諭吉の著作を読むこともなく卒業する塾生が増えています。多くの学ぶべきことが他にもある現在、それはそれで一つの学生時代の過ごし方であることは確かです。しかし、福澤の著作は、その主張に賛成するものにとっても反対するものにとっても、等しく面白くかつ刺激的です。そのような福澤の著作に触れる機会もなく卒業することは、我々福澤研究センターのスタッフは惜しいことだと考えています。しかも、本設置講座は、文系の多くの学部では卒業単位や進級単位として認められています。

本年度は日吉で1コマの講義、三田で6コマの講義・演習を開講しますので、諸君の活発な履修を期待しております。

(慶應義塾福澤研究センターのホーム・ページ)

<http://www.fmc.keio.ac.jp/>

近代日本と福澤諭吉

秋学期

〔専攻科目Ⅲ類（旧：Ⅳ類）は不要〕

コーディネーター 岩谷 十郎
表 實 小室 正紀
樽井 正義 西澤 直子
平野 隆 米山 光儀

〔授業科目の内容〕

本講義では、慶應義塾の創設者にして、近代日本を代表する啓蒙思想家の一人である福澤諭吉について、学際的な視点からの授業を提供する。所属する学部にとらわれずに、広く慶應義塾に学ぶ諸君に知っておいて欲しい福澤や慶應義塾の近代期日本において果たした役割などについて平明に解説する。また三田に於いて開設される福澤研究センターの他の講義との関係も視野に入れ、継続して学びたい学生についての入門的内容ともなっている。

〔参考書〕

福澤諭吉『福澤諭吉著作集』全12巻、慶應義塾大学出

版会

慶應義塾編『福沢諭吉の手紙』岩波書店（岩波文庫）2004.4

（その他、開講時一時間目の授業にて指示します。）

4 保健管理センター

1. 保険管理センター設置講座開講にあたり

めまぐるしい医学の前進と社会情勢の変化に対応でき、健康で健康志向の強い人になるための独自の講座を設置しています。

2. 設置科目履修上の取扱いについて

日吉キャンパスでは、「現代社会と医学Ⅰ」を秋学期月曜日4時限に、「現代社会と医学Ⅱ」を春学期の水曜日4時限にそれぞれ開講します。単位はともに2単位です。受講を希望する場合は履修の取り扱いについて、各学部、研究科で確認の上、履修申告をしてください。

現代社会と医学Ⅰ

Medicine in Modern Society I

「渡航医学 Travel Medicine」

秋学期、月曜日・4時限

南里清一郎	河邊 博史
徳村 光昭	横山 裕一
広瀬 寛	西村 由貴

〔授業科目の内容〕

渡航医学とは、海外の移動（旅行、長期滞在）に伴って発生する病気や怪我の予防や治療を扱う医学のことです。

2005年外務省統計では、1,600万人以上の人が海外旅行をし、仕事や留学などの長期滞在者は、約96万人です。

途上国は医療事情が悪く、いざという時の緊急医療でさえ不安があります。先進国では医療費が高く医療機関受診方法に不安があります。感染症の予防に関しては、予防接種が重要な意味を持ちますが、途上国においては、個人防衛のために必要であり、先進国、特にアメリカでは集団生活（留学など）を行う際に義務となります。生活習慣病に関しては、環境の変化による持出し病の悪化や、発症を早める可能性もあります。またカルチャーショックによる精神的な問題も生じます。以上のような事に関し、保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。

〔教科書〕

南里清一郎編・著『海外生活における健康管理—渡航に当たって心身の健康を守るために—』（ライフマナー・ジメント社、2005年、2,500円）

〔参考書〕

慶應義塾大学保健管理センター編「新・保健衛」（慶應義塾大学出版会、2007年）

現代社会と医学Ⅱ

Medicine in Modern Society II

「現代社会とcommon disease」

春学期、水曜日・4時限

コーディネーター 保健管理センター所長 齊藤郁夫
教授 大野 裕 ほか
(辻岡三南子、和井内由充子、森正明、森木隆典)

〔授業科目の内容〕

高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、動脈硬化など日本人の代表的な病気は、運動不足、食べ過ぎ、喫煙などの生活習慣との関連が強いことから、現在では生活習慣病と呼ばれています。さらにこれらが同時に存在するメタボリックシンドロームは中高年の30～40%にみられ、問題になっています。

また、ストレスの多い現代には精神保健もきわめて重要な課題です。さらに、急速な国際化に伴う感染症も大きな問題です。

大学生に代表される若者が現代社会の医学の重要問題を理解し、健康的な生活習慣を実行維持するための保健教育の意義はますます大きくなっています。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。日吉では春学期のみ行います。

〔参考書〕

保健衛生

5 外国語教育研究センター

外国語教育研究センター（以下、「センター」と略す）では、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、中国語、インドネシア語、アラビア語の9言語について「センター特設科目」を設置しています。これらの科目群は各学部の外国語教育を補完することをコンセプトとしながら、「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能がバランスよく身につくよう、工夫を凝らした授業を展開しています。また、特定のスキル強化（リスニング、ライティングなど）のための科目、超上級科目や基礎固めのための科目も用意しています。

これらの「特設科目」のほか、センターが提供する科目に「オープン科目」があります。これは、各学部設置の語学科目のうち、他学部生に開放されているものを、センターに併設することにより、学生が履修しやすくなったものです。（「特設科目」「オープン科目」とも、卒業単位認定の仕方は学部により異なるため、それぞれ自分が所属する学部の履修案内を参照してください。）

センターでは、各種講演会やワークショップ、春休み期間中の海外語学研修、高校生から大学院生までを対象とする「アカデミック・ライティング・コンテスト」等、外国語学習に関連するさまざまなプログラムを実施しています。それぞれの詳細は、センターのウェブサイトや構内掲示板で随時案内していますので、チェックしてください。

以下に本年度開講の「センター特設科目」の一覧を掲載します。各特設科目の詳しい授業内容、ガイダンスや履修手続きに関する情報、ならびに「オープン科目」一覧については、別冊の『外国語教育研究センター履修案内・講義要綱』（センター事務室でも配布します）、またはセンターウェブサイトを参照してください。

外国語教育研究センター <<http://flang.keio.ac.jp/>>

ガイダンス日程：4月4日(金)16:30~18:00 613番教室

外国語教育研究センター特設科目一覧（日吉）

*履修希望者が定員を超えた場合は抽選あるいは選考となります。

*科目名に (a) (b) と表記されている科目は春 (a)・秋 (b) をセットで履修することが義務付けられている科目です。

*科目名に (I) (II) と表記されている科目は春 (I) と秋 (II) どちらかひとつの履修あるいは両方の履修が可能です。

*英語テスト対策TOEFL (Writing) は春学期のみの「半期終了科目」です。

語種	科目名	担当講師名	設置学期	曜日・時限	定員	形態	単位数
英語	英語最上級 アドバンスト英語 (a) (Utilizing English in Quest for the New Perspectives)	和田 朋子	春	火・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (b) (Utilizing English in Quest for the New Perspectives)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (a) (Academic English: Language and Society)	シェイ, デビッド	春	木・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (b) (Academic English: Language and Society)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (a) (Modern Love)	ノッター, デビッド	春	火・5	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (b) (Modern Love)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (a) (Ultra Advanced English)	スネル, ウィリアム	春	金・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語 (b) (Ultra Advanced English)		秋			半期	1
	英語異文化トレーニング (a)	吉田 友子	春	水・3	25	半期	1
	英語異文化トレーニング (b)		秋			半期	1
	英語ドラマ (a) (身体をツールに言葉を学ぼう)	横山 千晶	春	火・2	15	半期	1
	英語ドラマ (b) (身体をツールに言葉を学ぼう)		秋			半期	1
	英語翻訳 (a)	武藤 浩史	春	木・2	20	半期	1
	英語翻訳 (b)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL (I) (Practice for the TOEFL Test)	パトラー, アン	春	水・3	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL (II) (More Practice for the TOEFL Test)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL (Writing) (Writing for the TOEFL Test)	水野 邦太郎	春	土・3	25	半期	1

英語	英語テスト対策 TOEIC (I) (Listening Strategies for TOEIC)	ブルーカ, デイビッド	春	水・4	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (II) (Reading Strategies for TOEIC)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (I) (Listening Strategies for TOEIC)	ブルーカ, デイビッド	春	水・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (II) (Reading Strategies for TOEIC)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (I) (Basic TOEIC Strategies (Listening))	バロウス, リチャード	春	月・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (II) (Basic TOEIC Strategies (Reading))		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (I) (上級) (Advanced TOEIC Strategies (Listening))	バロウス, リチャード	春	金・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC (II) (上級) (Advanced TOEIC Strategies (Reading))		秋			半期	1
	英語アカデミック・ライティング (I) (Writing an Academic Paper in English)	和田 朋子	春	火・4	25	半期	1
	英語アカデミック・ライティング (II) (Writing an Academic Paper in English)		秋			半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション (I) (初級)	ファロン, ルース	春	金・2	20	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション (II) (初級)		秋			半期	1
	英語初級 (a) (リスニングと発音練習)	横山 千晶	春	木・2	30	半期	1
	英語初級 (b) (リスニングとリーディングの体力をつける)		秋			半期	1
ドイツ語	ドイツ語表現技法1 (a)	境 一三	春	水・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法1 (b)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法2 (a)	斎藤 太郎	春	木・1	25	半期	1
	ドイツ語表現技法2 (b)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法3 (a)	ゲラート, アンネ	春	水・4	25	半期	1
ドイツ語表現技法3 (b)	秋		半期			1	
フランス語	フランス語表現技法1 (a)	植橋=アンリ, ナタリー	春	水・3	20	半期	1
	フランス語表現技法1 (b)		秋			半期	1
	フランス語表現技法1 (a)	ガボリオ, マリ	春	火・2	20	半期	1
	フランス語表現技法1 (b)		秋			半期	1
	フランス語表現技法2 (I)	前島, アンヌ=マリー	春	木・1	20	半期	1
	フランス語表現技法2 (II)		秋			半期	1
	フランス語表現技法2 (I)	倉館 健一	春	水・3	20	半期	1
フランス語表現技法2 (II)	秋		半期			1	
ロシア語	ロシア語聴解 (a)	山田 恒	春	火・4	25	半期	1
	ロシア語聴解 (b)		秋			半期	1
中国語	中国語聴解1 (I) (上級)	劉 穎	春	火・5	25	半期	1
	中国語聴解1 (II) (上級)		秋			半期	1
	中国語表現技法1 (I) (上級)	呉 敏	春	金・3	25	半期	1
	中国語表現技法1 (II) (上級)		秋			半期	1
	中国語表現技法1 (I) (上級)	関根 謙	春	木・3	25	半期	1
	中国語表現技法1 (II) (上級)		秋			半期	1
	中国語表現技法2 (I) (最上級)	許 曼麗	春	水・1	25	半期	1
中国語表現技法2 (II) (最上級)	秋		半期			1	
スペイン語	スペイン語表現技法1 (a) (初級)	モジャーノ, ファン=カルロス	春	水・2	25	半期	1
	スペイン語表現技法1 (b) (初級)		秋			半期	1
	スペイン語表現技法2 (a) (中級)	松田 健児	春	木・4	25	半期	1
	スペイン語表現技法2 (b) (中級)		秋			半期	1
イタリア語	イタリア語表現技法 (I)	ベンナッキア, ダニエーレ 未定	春	火・3	25	半期	1
	イタリア語表現技法 (II)		秋			半期	1
アラビア語	アラビア語 (a)	高田 康一	春	水・3	30	半期	1
	アラビア語 (b)		秋			半期	1
	アラビア語 (a)	高田 康一	春	水・4	30	半期	1
	アラビア語 (b)		秋			半期	1

<海外研修科目>

*海外研修科目は、前年度の研修（下記一覧）が今年度の単位申請・認定の対象となります。

*2008年度海外研修については、詳細が決まり次第、外国語教育研究センターのWebサイト上に掲載します。

語種	科目名	担当講師名	実施期間	定員	形態	単位数
英語	米国 カリフォルニア大学サンタクルーズ校海外研修	スネル, ウィリアム	2008年2月~3月	20	半期集中	2
	オーストラリア シドニー大学海外研修	スネル, ウィリアム	2008年2月~3月	10	半期集中	2
	ニュージーランド オークランド大学海外研修	スネル, ウィリアム	2008年2月~3月	15	半期集中	2

2008年度 外国語教育研究センター特設科目（日吉）春学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月									英語テスト対策 TOEIC (I)	パロウス
火			英語ドラマ(a) フランス語 表現技法1(a)	横山 ガボリオ	英語最上級 アドバンスト英語(a) イタリア語 表現技法(I)	和田 ベナキア	英語アカデミック・ ライティング(I) ロシア語聴解(a)	和田 山田	英語最上級 アドバンスト英語(a) 中国語聴解1(I) (上級)	ノッター 劉
水	中国語 表現技法2(I) (最上級)	許	スペイン語 表現技法1(a) (初級)	モジャーノ	英語異文化 トレーニング(a) 英語テスト対策 TOEFL(I) フランス語 表現技法1(a) フランス語 表現技法2(I) アラビア語(a)	吉田 ハトラ 榎橋 =アンリ 倉館 高田	英語テスト対策 TOEIC(I) ドイツ語 表現技法1(a) ドイツ語 表現技法3(a) アラビア語(a)	ブルーカ 境 ゲラート 高田	英語テスト対策 TOEIC(I)	ブルーカ
木	ドイツ語 表現技法2(a) フランス語 表現技法2(I)	斎藤 前島	英語翻訳(a) 英語初級(a)	武藤 横山	英語最上級 アドバンスト英語(a) 中国文翻訳(I) (最上級)	シェイ 関根	スペイン語 表現技法2(a) (中級)	松田		
金			英語オーラル・ プレゼンテーション (I)(初級)	ファロン	英語最上級 アドバンスト英語(a) 中国語表現技法1 (I)(上級)	スネル 呉			英語テスト対策 TOEIC(I) (上級)	パロウス
土					英語テスト対策 TOEFL(Writing)	水野				

2008年度 外国語教育研究センター特設科目（日吉）秋学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月									英語テスト対策 TOEIC(II)	パロウス
火			英語ドラマ(b) フランス語 表現技法1(b)	横山 ガボリオ	英語最上級 アドバンスト英語(b) イタリア語 表現技法(II)	和田 未定	英語アカデミック・ ライティング(II) ロシア語聴解(b)	和田 山田	英語最上級 アドバンスト英語(b) 中国語聴解1(II) (上級)	ノッター 劉
水	中国語 表現技法2(II) (最上級)	許	スペイン語 表現技法1(b) (初級)	モジャーノ	英語異文化 トレーニング(b) 英語テスト対策 TOEFL(II) フランス語 表現技法1(b) フランス語 表現技法2(II) アラビア語(b)	吉田 ハトラ 榎橋 =アンリ 倉館 高田	英語テスト対策 TOEIC(II) ドイツ語 表現技法1(b) ドイツ語 表現技法3(b) アラビア語(b)	ブルーカ 境 ゲラート 高田	英語テスト対策 TOEIC(II)	ブルーカ
木	ドイツ語 表現技法2(b) フランス語 表現技法2(II)	斎藤 前島	英語翻訳(b) 英語初級(b)	武藤 横山	英語最上級 アドバンスト英語(b) 中国文翻訳(II) (最上級)	シェイ 関根	スペイン語 表現技法2(b) (中級)	松田		
金			英語オーラル・ プレゼンテーション (II)(初級)	ファロン	英語最上級 アドバンスト英語(b) 中国語表現技法1 (II)(上級)	スネル 呉			英語テスト対策 TOEIC(II) (上級)	パロウス
土										

6 情報処理教育室

情報処理教育室では、情報処理に関する講座を開講しています。

情報処理に関する知識・技術を持つことは、学生諸君にとって今や必須のこととなっています。将来、各学部専門課程に進学してからの学習・研究活動に役立つだけでなく、1年生からの学習・学内の諸活動に大変有効です。なるべく早い機会に履修しておくことを勧めます。

1 ガイダンス

次の2回のうち、都合の良い時間に参加してください。

4月5日（土）13：00～13：40 J21番教室
13：50～14：30 J21番教室

2 受講申し込み手続き

受講する科目が決まったら、証紙券売機で受講料分の証紙を購入し、申し込み用紙に貼付して窓口へ提出してください。各講座とも定員になり次第締め切ります。

その際、学生証を提示してください。

日時：4月8日（火）9：00～16：45
4月9日（水）9：00～16：45
4月10日（木）9：00～16：45

場所：日吉学事センター 情報処理教育室窓口

3 履修上の注意

情報処理教育室に申し込みを行った科目については、必ず各学部の履修案内にしたがって各自で履修申告をしてください。履修申告を行わないと単位は与えられませんので特に注意してください。また、受講申し込み用紙を提出しないで履修申告をしても単位は認められません。

履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

4 問合せ先

情報処理教育室（日吉学事センター内）

5 平成20年度開講科目及び受講料

設置講座は受講料が必要です。

平成20年度 情報処理教育室設置講座（日吉）

講座名		クラス	担当者	時期	定員	受講料	単位
情報処理概論Ⅰ	C言語によるプログラミング入門	11A	恩田 憲一	通年	100	12,000円	4
		11B	斎藤 博昭		50		
情報処理概論Ⅱ (JavaⅠ)	Java	12D	藤村 光	春学期	50	6,000円	2
情報処理概論Ⅱ (JavaⅡ)	Java	12E	藤村 光	秋学期	50	6,000円	2
情報処理応用Ⅰ	コンピュータグラフィックス	31A	大野 義夫	春学期	50	5,000円	2

開講曜日・時限は学部の時間割の巻末に記載されます。授業は、学部授業と同様、4月8日（火）から開始されます。

情報処理概論 I

「プログラム制作の基礎から応用まで」 4単位 通年
恩田 憲一

〔授業科目の内容〕

当科目はコンピュータプログラミングの初心者でも実用レベルのプログラミング能力が身に付く事を目標として開講します。具体的な内容としては、代表的なプログラミング言語であるC言語を例としてプログラミングの考え方や作り方を学ぶと共に、式、変数、入出力、条件分岐、ループ、配列、ポインタ、関数、記憶クラス、スコープ、構造体、ファイル入出力などの具体的な項目について、通年で実習を交えた講義を行います。C言語はコンピュータを操作する上での自由度が非常に高い言語なので、コンピュータプログラミングの本質を学ぶのに適した言語であり、C言語を習得すれば他の言語の学習も容易に行う事ができます。当科目は初心者が正しい理解を得られるようにプログラミングの基礎的な事項から講義を行いますが、重要な部分は実践的な内容にも言及するので、既にプログラムが書ける学生が履修した場合にも、より高度な知識の習得と体系化に役立つよう配慮した内容となっています。C言語の基本的な知識の習得が終わる秋学期の後半からは、一般的に広く普及しているWindows上で動作する、Windowsプログラミングの書き方を学習する予定です。教室内での実習はITCのパーソナルコンピュータにインストールされたMicrosoft VisualStudio.netを使用しますが、各自のノートPCや自宅PCでのプログラミング演習を希望する人を対象として、フリーソフトウェアのみで構成されたプログラミング環境の構築も指導します。

〔教科書〕

河西朝雄著『入門ソフトウェアシリーズ① C言語』(ナツメ社、2002年、1,750円)

〔参考書〕

B.W.Kernighan,D.M.Ritchie著／石田晴久訳『プログラミング言語C』(共立出版、2001年、2,800円)

Charles Petzold著／長尾高弘訳『プログラミングWindows 第5版(上・下)』(MicrosoftPress、2002年、各5,200円)

情報処理概論 I

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
齋藤 博昭

〔授業科目の内容〕

C言語を使ってプログラミングの基礎を習得します。C言語は広く世の中で使われているコンピュータ言語です。難しい数学は使わず、“きちんとした考え方”をするだけで、プログラミングの楽しさを味わえます。プログラミングをすることで、コンピュータの内部でどのようなことが起こっているのかがわかり、IT社会で生きていく上で必ずや役に立つでしょう。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しません。Web上に資料を載せるので、必要に応じて印刷して授業に臨んでください。

〔参考書〕

授業時に指示します。

情報処理概論 II (Java I)

「Java言語によるプログラミング入門」 2単位 春学期
藤村 光

〔授業科目の内容〕

プログラミング経験のない学生に対し、Java言語を用いてコンピュータを動かす方法、およびプログラミングの基礎を紹介します。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順で、いくつかの代表的な問題を取り上げます。

プログラムを作成する際に必要となる一般的な知識を習得するのが目的です。

〔教科書〕

Webサイト<http://web.hc.keio.ac.jp/~fujimura/> で公開。

〔参考書〕

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理概論 II (Java II)

「Javaらしいプログラミングとは」 2単位 秋学期
藤村 光

〔授業科目の内容〕

Java言語を用いて、構造をもつデータの処理、描画、ファイルの読み書き、通信といったテーマを取り上げます。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順を繰り返し、オブジェクト指向プログラミングを習得します。

情報処理概論 II (Java I) を受講したレベルを前提にしていますが、他のプログラミング言語の知識があれば十分です。

〔教科書〕

Webサイト<http://web.hc.keio.ac.jp/~fujimura/> で公開。

〔参考書〕

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理応用 I

「コンピュータグラフィックス」 2単位 春学期
大野 義夫

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて画像やアニメーションを作る技術を、実習中心として学ぶ。実習には、大学のパソコンを使用し、フリーソフトであるPOV-Rayを用いる。フリーソフトなので、自宅のパソコンで続きを行うことも可能である。

〔教科書〕

特定の教科書は使いません。必要な教材PowerPoint
ファイルなどとしてWebに掲示します。

〔参考書〕

鈴木広隆、倉田和夫、佐藤尚『POV-Rayによる3次元CG制作』CG-ARTS協会（2008年3月発行予定）

7 教養研究センター

大学教養研究センター設置科目(極東証券寄附講座)

人類の知的営為の成果を継承・発展させることは大学の重要な役割のひとつです。また、大学には実際に広大な「知」の世界が広がっています。この世界に触れることで多様な価値観を知り、そこから自分の関心を進むべき方向を定めることは有意義な大学生活を送るための不可欠な作業です。と同時に、大学では「自ら考え、選び、学ぶこと」も求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を支える「教養」という知的体力を身につけるための基盤でもあります。

そのために、教養研究センターでは極東証券寄附講座として「生命の教養学」と「アカデミック・スキルズ」を設置しています。「生命をどう捉えるか」をキーワードとする「生命の教養学」は広大な「知」の世界に触れるためのきっかけとなる授業です。「アカデミック・スキルズ」の目的は、「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを、グループ作業と個人研究を通じて身につけることにあります。またそのようなスキルを、大学の中で出会うさまざまな講義に参加する際や、私たちの生きている社会の現状や問題を考える際に生かしていくことも「アカデミック・スキルズ」の目標です。

1. 平成 20 年度開講科目

- ①春学期「アカデミック・スキルズⅠ 知の基礎を築く」
(2単位) 月曜日5時限 定員20名
水曜日5時限 定員20名
木曜日5時限 定員20名
- ②秋学期「アカデミック・スキルズⅡ 知の基礎を築く」
(2単位) 月曜日5時限 定員20名
水曜日5時限 定員20名
木曜日5時限 定員20名
- ③春学期「アカデミック・スキルズⅢ 人文科学的知を究める―知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導」
(2単位) 水曜日2時限 定員15名
- ④秋学期「アカデミック・スキルズⅣ 人文科学的知を究める―知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導」
(2単位) 水曜日2時限 定員15名
- ⑤春学期「生命の教養学」
(2単位) 金曜日3時限 定員100名

2. ガイダンス

履修希望者は下記のガイダンスに必ず出席してください。

※ガイダンスおよび授業はすべて日吉キャンパスで行い

ますので注意してください。

①教養研究センター設置科目全体ガイダンス

4月4日(金) 14:30~15:50

会場: 日吉J11番教室

②科目・クラス別ガイダンス

1) 「生命の教養学」

4月11日(金) 13:00~

会場: 日吉来往舎1F シンポジウム・スペース

2) 「アカデミック・スキルズ(Ⅰ・Ⅱ)」

月曜日クラス

4月14日(月) 16:30~

会場: 日吉来往舎1F シンポジウム・スペース

水曜日クラス

4月9日(水) 16:30~

会場: 日吉来往舎1F シンポジウム・スペース

木曜日クラス

4月10日(木) 16:30~

会場: 日吉来往舎1F シンポジウム・スペース

3) 「アカデミック・スキルズ(Ⅲ・Ⅳ)」

4月9日(水) 10:45~

会場: 日吉来往舎1F シンポジウム・スペース

3. 受講申し込み手続き

①上記のガイダンス(初回の授業)に出席し、その際に氏名登録した学生のみ「受講申し込み」の権利を与えます。ただし、定員オーバーの場合には抽選を行います。

②「授業申し込み」の権利を得た学生は、所属学部の履修案内にしたがって「履修申告」をしてください。

4. 履修上の注意

教養研究センターの科目については、単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないように履修してください。成績評価は各科目につきますが、履修上、次のことに注意してください。

* 「アカデミック・スキルズⅠ・Ⅱ」の履修者は、より広い視点から学習テーマを見据えるという意味で、春学期・教養研究センター設置「生命の教養学」(金曜日3時限)を履修することが望ましい。

* 「生命の教養学」だけを単独科目として履修することは可能です。

* 「アカデミック・スキルズⅢ・Ⅳ」の履修者は、すでに「アカデミック・スキルズⅠ・Ⅱ」を履修し、単位を取得していることが望ましい。

* 上記以外、各曜日の「アカデミック・スキルズⅠ・Ⅱ」および「アカデミック・スキルズⅢ・Ⅳ」では、学部設置の関連講義科目との組み合わせ履修が原則とされる場合があります。関連講義科目の詳細については各クラスの初回授業(ガイダンス)にて説明いたします

ので、履修希望者は必ず参加してください。

5. 問合せ先

教養研究センター事務室（日吉来往舎1階事務室）
教養研究センター極東証券寄附講座担当
(TEL 045-566-1151 平日8:30～17:00)

「アカデミック・スキルズⅠ」〔春学期〕

「—知の基礎を築く・Ⅰ—」

【月曜日クラス担当】	佐藤元状	吉田恭子 津田眞弓
【水曜日クラス担当】	磯崎敦仁	篠原俊吾 横山千晶
【木曜日クラス担当】	佐藤 望	徳永聡子 新井和広

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行われる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、本年度は基礎編「アカデミック・スキルズⅠ」〔春学期〕と応用編にあたる「アカデミック・スキルズⅡ」〔秋学期〕が開講されます。

「アカデミック・スキルズⅠ」の履修者は、原則として秋学期に「アカデミック・スキルズⅡ」を履修することになります。

各「アカデミック・スキルズⅠ」の定員は20名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。履修希望者は、ガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ（Ⅰ・Ⅱ）」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

〔教科書〕

佐藤望編著『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）

その他、適宜プリントを使用します。

〔参考書〕

授業を通じて適宜指示します。

「アカデミック・スキルズⅡ」〔秋学期〕

「—知の基礎を築く・Ⅱ—」

【月曜日クラス担当】	佐藤元状	吉田恭子 津田眞弓
【水曜日クラス担当】	磯崎敦仁	篠原俊吾 横山千晶
【木曜日クラス担当】	佐藤 望	徳永聡子 新井和広

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行われる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、本年度は基礎編「アカデミック・スキルズⅠ」〔春学期〕と応用編にあたる「アカデミック・スキルズⅡ」〔秋学期〕が開講されます。

「アカデミック・スキルズⅡ」の履修者は、原則として春学期に「アカデミック・スキルズⅠ」を履修することを前提とします。

各「アカデミック・スキルズⅡ」の定員は20名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。「アカデミック・スキルズⅡ」の履修希望者は、春学期のガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ（Ⅰ・Ⅱ）」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

〔教科書〕

佐藤望編著『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）

その他、適宜プリントを使用します。

〔参考書〕

授業を通じて適宜指示します。

「アカデミック・スキルズⅢ」

「人文科学的知を究める——知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導」

武藤浩史 横山千晶
佐藤元状

〔授業科目の内容〕

知識を集めても、情報を整理しても、真の知には至らない。知とはこの世で最も人間らしいアクロバティックな運動だから。

大学における知でまず大切なのは、講義や読書に啓発されて自分で考え、それについて他人と議論したり、自分のテーマを見つけてそれについてリサーチを行いその

成果をプレゼンテーションしたり論文にまとめたりする能力だが、その基本を身につけた後で、独創的で一流の思索者になるためにさらなる飛躍をすることが意外に難しい。アカデミック・スキルズの基本を習得した後で、さらに伸びるためにはどうするかという問題に、決まった正答はない。

しかし、それでも、このアカデミック・スキルズⅢ（そしてⅣ）は、複数の教員が力を合わせて、学生たちに考えることの真髄を妥協せずに伝えることを目指す授業である。学問のそれぞれの領域にはそれぞれに固有の真理があるけれども、ここでは人文科学的な知をとことん学生に叩きこむことを目指そうと思う。そのことによって学生を、知ること・考えることの快樂におぼれさせるのが、当講座の目標となる。

具体的には、一流の文学テキストを徹底的に読みこむ訓練を課すとともに、優れた歴史研究を合わせ読むことで、文学研究の方法の教授に限定することなく、知とは何か、言語とは何か、思考とは何か、人間の営み（＝歴史）とは何かなどの根源的な問題について深い思考を、学生たちの中に育みたい。

〔教科書〕

小説：村上春樹『中国行きのスロウボート』、J・M・クッツェー『恥辱』、カート・ヴォネガット『スローターハウス5』他。

歴史研究：ヘイドン・ホワイト、カルロ・ギンズブルグ、ホミ・バーバラの論考を、主としてプリントで紹介する。

ナラティブ研究：授業で紹介する。

アカデミック・スキルズ：佐藤望編著『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）

「アカデミック・スキルズⅣ」

「人文科学的知を究める——知の在り方、文学の読み方、歴史の見方の徹底指導」

武藤浩史 横山千晶
佐藤元状

〔授業科目の内容〕

アカデミック・スキルズⅢからの継続です。授業の目的・内容については、Ⅲの講義要項を参照してください。

〔教科書〕

小説：村上春樹『中国行きのスロウボート』、J・M・クッツェー『恥辱』、カート・ヴォネガット『スローターハウス5』他。

歴史研究：ヘイドン・ホワイト、カルロ・ギンズブルグ、ホミ・バーバラの論考を、主としてプリントで紹介する。

ナラティブ研究：授業で紹介する。

アカデミック・スキルズ：佐藤望編著『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）

「生命の教養学」〔春学期〕

「生き延びること——生死の後へ」

吉田泰将 鈴木 忠
高桑和巳

〔授業科目の内容〕

21世紀は「生命の時代」と言われる。なるほど、分子生物学、脳科学、生殖医療、臓器移植といった生命科学の諸問題はきわめて刺激的であり、報道される機会も多い。しかし、自分の生に密接に関わるはずのこれらの問題は、多くのばあい社会の最先端で起こっている驚異（すばらしい科学！）と脅威（おそろしい科学！）の物語として提示されるだけで、私たちはこれらを自分の「生命」と結びつけるには至らない。そもそも私たちは、そこで問われている「生命」が何であるか、本当のところわかってはいない。自然科学のみならず人文科学や社会科学をも含む広い視野に立って「生命」を問いなおすことから始めなければならないのではないかと？

本講座「生命の教養学」は、受講者が今日の「生命」を多角的に、また自分の問題として捉えられるようになることを目標としている。年度ごとに新たなテーマを設定し、多彩な講師陣を迎えている。

今年度のテーマは「生き延びること」。一見すると、それは単に生きるということと区別できない。しかしそこには「ありえない苦境、死に瀕するまでの困難を超えて生きる」という強烈なニュアンスがある。死んでしまってもおかしくなかった、実際に仲間が多く死んでしまった、自分のなかの何かが死んでしまった——そのような状況を超えてさらに生き続けるというニュアンスである。英語でsurvival（超えた生）、ドイツ語でNachleben（後の生）と言われる「生き延び」には、文字どおり「通常想定される生死を超え、例外的にその後に延長される生」という含意がある。

今回、その広い含意に対して探求を挑む研究分野は、遺体科学、政治思想、医療人類学、労働環境に関する考察、細胞生物学、スポーツ科学、文学研究……。一見たがいに無関係にも見える多様な分野だが、それら各分野からの最良の応答が見せる共通点や齟齬の数々に立ち会って考えを深めた私たちは、必ずや「生き延び」について、また生き延びる「生命」自体について、新たな認識を獲得できるはずである。

〔参考書〕

必要に応じて授業中に指示します。

8 国際センター

研究講座

国際センターでは、外国、国際関係および日本の文化や社会を理解するための英語による講座を開講しています。

本年度国際研究講座で取り扱う国／地域は、アジア・オセアニア、北米・南米、ヨーロッパからアフリカにおよぶほか、国際社会、異文化理解をうながす講座もあります。一方日本研究講座では、社会、経済、ビジネス、政治をはじめ歴史、文学、芸術、思想・宗教など幅広い側面から日本を探究します。

内容については、国際センター発行のパンフレットもしくは以下のURLを参照してください。

<http://www.ic.keio.ac.jp/iccourse/index.html>

ただし、新入生は対象となりません。

2008年7月、イタリア・ミラノのボッコニー大学がサマースクールを三田キャンパスで行うことになりました(概要は下記参照)。ボッコニー大学は経営学・経済学・法学で知られており、特にそのMBAプログラムは常に世界ランキングの上位に入っています。

このサマースクールの日本での開催は今回が初めてで、ボッコニー大学の教員がすべて英語で講義し、ボッコニー大学学生が参加するものですが、慶應義塾大学の学部学生・大学院生も自分の希望する授業を受講できることになりました。

日程、時間割、講義内容等の詳細は国際センターWEBSITEで公開し、5月下旬ごろに受講希望者を募集する予定です。単位には該当しませんが、知識の幅を広げ、学問を通じた交流を行う絶好の機会となりますので、興味のある学生はWEBSITEを参照してください。

ボッコニー大学サマースクール

(Campus Abroad Program) 概要 (予定)

日 時：2008年7月第2週～第4週 火曜～土曜の1・2限集中

授業分野：経済、経営、ビジネス等：計24コマ、日本事情研究：2コマ

使用言語：英語

参加者：ボッコニー大学学部2、3年生 20～30名

在外研修プログラム

全学部・研究科在籍生を対象に、夏季・春季休業期間中に開催されます。単なる語学研修でなく、講義やディスカッションのほか大学内の寮生活をはじめとする多彩な諸活動を通して様々な異文化交流を体験することで国際性豊かな学生を育成することを目的としており、短期間で集中して国外学習を経験できる貴重な機会になっています。

現地への出発前には事前研修を数回実施します。(事後研修を実施する場合があります。)

なお、プログラムは、自然災害、戦争、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合があります。をあらかじめご了承ください。

〔問合せ先〕 三田国際センター

URL : <http://www.ic.keio.ac.jp/index.html>

「海外に関心のある塾生へ」の「短期プログラム」

詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

春季講座の詳細は10月ごろホームページで発表します。

〔夏季講座ガイダンス〕

4月4日 (金)	矢上 11-41番教室	12:00～13:00
	SFC Ω11番教室	16:30～18:00
4月5日 (土)	三田 528番教室	10:45～12:15
	日吉 33番教室	16:30～18:00

〔夏季講座応募について〕 (すべて予定)

- (1) オンラインレジストレーション期限 4月13日(日)
- (2) 募集期間 4月14日(月)、15日(火)
- (3) 一次合格発表 4月24日(木)
- (4) 面接審査 4月26日(土)
- (5) 選考結果発表 5月2日(金)

〔単位について〕

各講座の単位は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは、各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。ただし、春季講座は次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は対象外となります。

①ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ夏季講座

ケンブリッジ大学教員による6つの講義の中から3つを自由に選択する方式のため、自分の専攻分野の学習を深めるだけでなく、知識の幅を広げることができます。

〔現地研修期間〕

2008年8月4日(月)～9月3日(水) (予定)

〔研修内容〕

講義(午前)、ケンブリッジ大生(TA)をまじえてのディスカッション(午後)。エッセイ作成(週末)。

〈開講予定科目〉(予定)

English Literature, British Art,
Ancient Greece and Western Civilization,
Astronomy: Unveiling the Universe, The Science of
Chaos, Evolution and Behaviour

〔単位数〕 4単位
〔募集人数〕 60名

②ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座

ウィリアム・アンド・メアリー大学は創立1693年の州立大学で、教育・研究で高い評価を得ています。両校の学生が混在する小グループで日米文化をめぐるトピックを研究します。

〔現地研修期間〕

2008年7月29日（火）～8月12日（火）（予定）

〔研修内容〕

ダイアログクラス、ウィリアム・アンド・メアリー大生をまじえてのグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーションなど

〔単位数〕 4単位
〔募集人数〕 40名

③ワシントン大学夏季講座

シアトルの豊かな自然を活かしたフィールドトリップを織り込みながら「環境」を多面的な視点から学びます。この講座にはAPRU（環太平洋大学協会）に加盟している海外大学からも数名の学生が参加する予定です。

〔現地研修期間〕

2008年8月4日（月）～8月26日（火）（予定）

〔研修内容〕

講義／ワークショップ、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション、体験宿泊旅行

〔単位数〕 4単位
〔募集人数〕 30名

④オックスフォード大学リンカーンコレッジ夏季講座

ディベート、演劇のワークショップなどを織り込みながら、イギリスの歴史・政治・文化を学びます。また、800年に亘り英国エリートを輩出してきたオックスフォード教育を体験できます。

〔現地研修期間〕

2008年8月22日（金）～2008年9月6日（土）（予定）

〔研修内容〕

講義、ディベート、ディスカッション、ワークショップ、演劇の見学など

〔単位数〕 4単位（予定）
〔募集人数〕 20名

⑤西安交通大学中国語・中国文化夏季講座

西安交通大学は、工学、医学のみならず文学、法学まで9つの学科を擁する国家教育部直属の総合重点大学で2006年に創立110周年を迎えました。

国際交流も幅広く行っており、中国で最も早く留学生を受け入れ始めた大学の1つです。研修を通じて中国語だけでなく、中国文化全般を理解することができます。

〔現地研修期間〕

2008年8月28日（木）～2008年9月14日（日）（予定）

〔研修内容〕

中国語授業、中国文化講義、太極拳などのアクティビティ、中国の大学生との交流活動、西安市の名所旧跡の見学

〔単位数〕 2単位

〔募集人数〕 15名（学部生対象）

⑥パリ政治学院春季講座

拡大するEUの政治・経済・社会・文化の諸問題、EU対諸外国との国際関係等、ヨーロッパをめぐる様々なテーマを学びます。フランス語の研修もあり、2カ国語を同時に磨く機会となります。

講義はすべて英語で行われます。

〔現地研修 2007年度参考〕

2008年2月16日～2008年3月16日

〔講義内容 2007年度参考〕

共通ブロック1つと、選択ブロックの中から2つの計3ブロックを履修。

共通ブロック

“Europe: what are we talking about?”

選択ブロック

“Economics of the Euro area”

“Europe and its external relations”

“Migration and identities”

〔単位数〕 4単位

〔募集人数〕 定員：20名

⑦延世大学春季講座

政治・経済・社会・文化についての講義、韓国語の授業や延世大学学生との交流、慶州へのツアー、テコンドー教室などがあり、韓国を全般的に理解することができます。

講義はすべて英語で行われます。

〔現地研修 2007年度参考〕

2008年2月9日～2008年2月27日

〔研修内容 2007年度参考〕

- 1 Modern and Pre-modern Korea: A Historical Overview
- 2 Modernization and Social Transformation in Korea: A Sociological Perspective
- 3 Confucian Korea: Past and Present
- 4 Korean Economy
- 5 Political Economy of Korean Development
- 6 North-South Korean Relations: South Korean Perspective & Policies
- 7 Contemporary Korean Pop Culture and the Cultural Wave of “Hallyu” in Asia and Beyond
- 8 Information Technology in Korea
- 9 Modern Art in Korea
- 10 Korea in a Newly Emerging Regional Security Order

〔単位数〕 2単位（予定）

〔募集人数〕 20名（学部生対象、大学院生は要相談）

9 言語文化研究所

言語文化研究所特殊講座は三田に設置されています。時間割は文学部（2・3・4年）時間割に掲載してありますので履修希望者は文学部時間割を参照してください。

〔参考〕平成20年度言語文化研究所特殊講座

科目名	教員名	単位数
サンスクリット初級Ⅰ	土田龍太郎	半期 1単位
サンスクリット初級Ⅱ	土田龍太郎	
サンスクリット中級Ⅰ	土田龍太郎	
サンスクリット中級Ⅱ	土田龍太郎	
アラビア語基礎Ⅰ	榮谷温子	
アラビア語基礎Ⅱ	榮谷温子	
アラビア語現代文講読Ⅰ	榮谷温子	
アラビア語現代文講読Ⅱ	榮谷温子	
アラビア語古典Ⅰ	岩見 隆	
アラビア語古典Ⅱ	岩見 隆	
アラビア語文献講読Ⅰ	岩見 隆	
アラビア語文献講読Ⅱ	岩見 隆	
ヴェトナム語初級Ⅰ	嶋尾 稔	
ヴェトナム語初級Ⅱ	嶋尾 稔	
ヴェトナム語中級Ⅰ	嶋尾 稔	
ヴェトナム語中級Ⅱ	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読Ⅰ	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読Ⅱ	嶋尾 稔	
朝鮮語文献講読Ⅰ	李 美江	
朝鮮語文献講読Ⅱ	野村伸一	
ヘブライ語初級Ⅰ	笈川博一	
ヘブライ語初級Ⅱ	笈川博一	
ヘブライ語中級Ⅰ	笈川博一	
ヘブライ語中級Ⅱ	笈川博一	
ペルシャ語初級Ⅰ	関 喜房	
ペルシャ語初級Ⅱ	関 喜房	
ペルシャ語中級Ⅰ	岩見 隆	
ペルシャ語中級Ⅱ	岩見 隆	
タイ語初級Ⅰ	三上直光	
タイ語初級Ⅱ	三上直光	
タイ語中級Ⅰ	ポンシー, ライト	
タイ語中級Ⅱ	ポンシー, ライト	
トルコ語初級Ⅰ	ヤマンラール, アイドウン	
トルコ語初級Ⅱ	ヤマンラール, アイドウン	
トルコ語中級Ⅰ	ヤマンラール, アイドウン	
トルコ語中級Ⅱ	ヤマンラール, アイドウン	
カンボジア語初級Ⅰ	三上直光	
カンボジア語初級Ⅱ	三上直光	
古代エジプト語初級Ⅰ	笈川博一	
古代エジプト語初級Ⅱ	笈川博一	
古代エジプト語中級Ⅰ	笈川博一	
古代エジプト語中級Ⅱ	笈川博一	
アッカド語初級Ⅰ	高井啓介	
アッカド語初級Ⅱ	高井啓介	
アッカド語中級Ⅰ	高井啓介	
アッカド語中級Ⅱ		

サンスクリット初級Ⅰ（春）**サンスクリット初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 土田龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語入門の講義である。ほぼ一年かけて、サンスクリット語文法体系のあらましを修得することを目的とする。

参加者は、練習問題の予習が必要となる。

〔教科書〕

ヤン・ホンダ著 鎧淳 訳「サンスクリット語初等文法」（春秋社）

辻 直四郎著「サンスクリット文法」（岩波書店）

サンスクリット中級Ⅰ（春）**サンスクリット中級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 土田龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語の初歩をすでに一通り修得したもののための授業である。

〔教科書〕

参加者の希望で決める。

アラビア語基礎Ⅰ（春）**アラビア語基礎Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

正則アラビア語（フスハー）のアラビア文字の読み方、綴り方からはじめ、一年間で基礎文法を習得することを目的とします。また正則アラビア語による簡単な日常会話フレーズも練習します。

〔教科書〕

佐々木淑子著『アラビア語入門』（翔文社、2004年、1905円）

必要に応じてプリントや練習問題を配付します。

〔参考書〕

黒柳恒男・飯森嘉助『現代アラビア語入門』（大学書林）

アラビア語現代文講読Ⅰ（春）**アラビア語現代文講読Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

基礎文法の習得を終えた人を対象として現代文の講読を行います。講読を通して、アラビア語の基本的な文章構造の理解、さらには母音記号などの補助記号がない文章にたいする読解力の養成を目的とします。

〔教科書〕

プリントを配布します。

辞書はHans Wehr, A Dictionary of Modern Written Arabic-English を使用します。

〔参考書〕

佐々木淑子著『アラビア語入門』（翔文社）

黒柳恒男・飯森嘉助『現代アラビア語入門』（大学書林）

アラビア語古典Ⅰ（春）**アラビア語古典Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

母音符号のついていない普通のアラビア語テキストを読めるようになるための演習です。文法の知識をテキスト読みにどう生かすかを課題としてやります。

〔教科書〕

Brünnow-Fischer: Arabische Chrestomathie

プリントで配ります

〔参考書〕

井筒俊彦：アラビア語入門、慶應出版社1950

アラビア語文献講読Ⅰ（春）**アラビア語文献講読Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

アラビア語の定評ある古典の中、平易な散文（叙事の文）をあたりまえに読めるようになることを目指します。

〔教科書〕

受講者と相談して決めます

〔参考書〕

Wright : Arabic Grammar Cambridge Univ. Press, 1962

ヴェトナム語初級Ⅰ（春）**ヴェトナム語初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 准教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

簡単なヴェトナム語が読めるようになることを目指します。前期は、下記の教科書を用いて、発音、基礎文法、基礎会話を学びます。後期から基礎表現の練習と平行して、簡単な文章を読んでいきます。

〔教科書〕

三上直光『ニューエクスプレスベトナム語』（白水社、2007年）

〔参考書〕

Nguyen Dinh Hoa, *Ntc's Vietnamese English Dictionary*.

ヴェトナム語中級Ⅰ（春）**ヴェトナム語中級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 准教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

新聞記事程度のヴェトナム語が読めるようになることを目指します。前期は基礎的な文章を読みます。後期は、ウェブ上のヴェトナム語の新聞から面白そうな記事を拾って読みます。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決めます。

〔参考書〕

小高泰・Nguyen Thi Mai Hoa『会話で覚えるベトナム語666』（東洋書店、2005年）

ベトナム語文献講読Ⅰ（春）

ベトナム語文献講読Ⅱ（秋）

言語文化研究所 准教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ベトナム語で書かれた学術論文を読みます。あるいは、もし希望者がいればチューノムで書かれたベトナム語の文章に挑戦します。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決めます。

〔参考書〕

富田健次『ベトナム語の世界：ベトナム語基本文典』（大学書林、2000年）

ペルシア語初級Ⅰ（春）

ペルシア語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 関 喜房

〔授業科目の内容〕

現代ペルシア語文法を全くの初歩から講義します。教科書の文法が終わり次第、易しい文章を読むつもりです。その際、文法書には記されていない文法上の例外事項などについて詳しく説明するつもりです。

〔教科書〕

岡崎正孝著『基礎ペルシア語』（大学書林）

〔参考書〕

黒柳恒男著『ペルシア語の話』（大学書林）

ペルシア語中級Ⅰ（春）

ペルシア語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

ペルシア語の文の流れをつかみとれるように、平易なペルシア語散文をできるだけたくさん読みます。

〔教科書〕

受講する人と相談して決めます。

〔参考書〕

Lambton : Persian grammar. Cambridge Univ. Press, 1974

タイ語初級Ⅰ（春）

タイ語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 教授 三上直光

〔授業科目の内容〕

タイ語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

タイ語中級Ⅰ（春）

タイ語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 ポンシー, ライト

〔授業科目の内容〕

タイの小学校二年生の教科書より短編ストーリーを用いて、タイ語の運用能力向上を目指します。

〔教科書〕

プリント使用。

トルコ語初級Ⅰ（春）

トルコ語初級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 ヤマンラール, アイドウン

〔授業科目の内容〕

トルコ共和国の現代トルコ語初級文法を講義します。基礎的な文法事項を学習しますが、簡単な講義も行います。

〔教科書〕

プリント使用

トルコ語中級Ⅰ（春）

トルコ語中級Ⅱ（秋）

言語文化研究所 講師 ヤマンラール, アイドウン

〔授業科目の内容〕

初級文法を学んだ人を対象に講義を行います。文法事項の復習にも重点を置きます。

〔教科書〕

プリント使用

朝鮮語文献講読Ⅰ（春）

言語文化研究所講師 李 美江

朝鮮語文献講読Ⅱ（秋）

文学部教授 野村伸一

〔授業科目の内容〕

大韓民国という国家、社会と現状を知るためのテキストを講読します。

文学作品は同時代の社会を強く反映しているといえます。1920年代から1980年代にかけての韓国を代表する文学作品に数多く接し、その時代の社会の有様と、韓国人のものの見方や考え方を探ることを目的とします。

〔教科書〕

イ・ナムホ編『今日の韓国小説』民音社、2000年

イ・ナムホ編『韓国短編文学選』民音社、1998年

カンボジア語初級Ⅰ（春）**カンボジア語初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 教授 三上直光

〔授業科目の内容〕

カンボジア語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

ヘブライ語初級Ⅰ（春）**ヘブライ語初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

旧約聖書ヘブライ語の初歩。まったくの初心者进行を想定している。

〔教科書〕

テキストは比較的繰り返しの多い創世記を用いるが、プリントを授業で配布する。

〔参考書〕

英語ないしドイツ語による辞書（¥2500～¥10000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

ヘブライ語中級Ⅰ（春）**ヘブライ語中級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

旧約聖書サムエル記の講読。

〔教科書〕

テキストはプリントを授業で配布する。

〔参考書〕

英語ないしドイツ語による辞書（¥2500～¥10000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語初級Ⅰ（春）**古代エジプト語初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

文法体系が比較的良好に分かっている後期エジプト語の初歩。まったくの初心者进行を想定している。

〔教科書〕

テキストは「ヴェナモン」を用いるが、プリントを授業で配布する。

〔参考書〕

5月ごろから辞書（約¥9000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語中級Ⅰ（春）**古代エジプト語中級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

中期エジプト語の初歩。

〔教科書〕

テキストは「難破した水夫」であるが、プリントを授業で配布する。

〔参考書〕

辞書はRaymond O. Faulkner "A Concise Dictionary of Middle Egyptian" Oxford (Amazon JPで¥3542)、あるいはその日本語訳が必要となる。

アッカド語初級Ⅰ（春）**アッカド語初級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 高井啓介

〔授業科目の内容〕

アッカド語を学ぶ際の基礎となる古バビロニア方言（Old Babylonian）の初級文法及び文字表記システムの修得を目的とします。下記に指定した教科書を使いますが、足りないところは適宜プリントによって補っていく予定です。文法事項を学び進めながら、アッカド語が記されるときに使われた楔形文字のうち主要なものを覚えていきます。秋学期以降には、ハンムラビ法典など著名な作品の雰囲気にも触れていきたいと考えています。

〔教科書〕

Richard Caplice, *Introduction to Akkadian* (Biblical Institute Press)

〔参考書〕

開講時に指示します。

アッカド語中級Ⅰ（春）**アッカド語中級Ⅱ（秋）**

言語文化研究所 講師 高井啓介

〔授業科目の内容〕

アッカド語の初級文法を一通り学んだ人を対象に文献講読を行います。文法事項を再度確認しながら、簡単なものからはじめていろいろなジャンルのテキストを読んでいくことにします。具体的なテキストは受講者と相談して選びます。

〔教科書〕

テキストはプリントを準備します。

10 知的資産センター設置講座

1. 知的資産センター設置講座について

慶應義塾大学では、研究成果の社会への還元を、教育・研究と並ぶ大学の使命と考えています。そして、「慶應義塾で生れた研究成果は義塾にとって貴重な知的資産であり、大学はこれら知的資産の保護と活用を積極的に促進・支援する」という理念を公表しています。

こうした方針に基づき、知的資産センターは慶應義塾で生れた研究成果を社会へ還元するために、慶應義塾大学の技術移転機関として1998年11月に設立されました。技術に関するものだけでなく、デジタルメディアを始めとして広汎な研究成果を対象とするとともに、新しい事業の創出に資するという意味をこめて「知的資産センター」と名付けられました。

知的資産センターの事業は、研究成果の特許保護、技術の移転、共同研究や受託研究の支援、ベンチャー起業の支援というように、研究成果の社会への還元をいろんな形で支援してまいります。そして、教職員の熱意と高いポテンシャルをもった研究成果に支えられ、既に数多くの慶應義塾の特許出願が生まれ、技術移転も活発化し、多くの新製品やサービスの提供につながっています。さらに、バイオ分野を中心に多くのベンチャー企業がスタートアップしました。

これらの業務に加え、知的資産センターは技術移転の側面を中心に、知的財産に関する教育・研究も任務としています。今や知的創造の時代ですが、時代とともに知的財産の範囲や期待される役割なども変化します。こうした時代の変化に対応していくためには、専攻分野に係わらず知的財産に関する幅広い知識と理解が求められます。そこで、知的財産に関する教育の一環として、全学部の学生を対象として知的財産全般について基本的な事項の理解を図るため、設置講座を設けています。

2. 設置科目、履修上の取扱いについて

今年度は「知的資産概論」の1科目を、春学期 三田キャンパスで開講します。

授業時間は水曜日 18:10~19:40、単位は2単位です。その他授業に関する情報は、三田掲示板、<http://www.ipc.keio.ac.jp>でお知らせします。

受講を希望する方は、履修の取扱いについて各学部、研究科の履修案内で確認の上、各学部窓口で履修申告をしてください。

3. 講義要綱

知的資産概論

「知的財産の保護と活用をめぐる課題（ナテグリニド特別講座）」

知的資産センター所長（教授〔大学所属〕）
羽鳥 賢一

〔授業科目の内容〕

種々の知的資産や制度について、その仕組みを概括した上で、その保護のあり方や活用の方策に関し、今日の課題やその課題への対応策を考えます。また、その中で、現在および将来の知的財産のあり方に関する幅広い知識を修得することを目標とします。

知的財産には、技術（特許やノウハウ）、デザイン（意匠）、ブランド（商標）、プログラムやデータベース（著作権）、音楽・映画等のコンテンツ（著作権）といったものがありますが、その権利の内容や活用法は、それぞれ固有の特色があります。また、同じ知的財産が世界共通的に保護・活用される場合でも、国によってその取扱いが異なることもあります。本講義では、こうした種々の知的財産の保護と活用をめぐる現状と課題について、テーマに応じ、その分野の第一線でご活躍の有識者を招いて、講演および質疑応答の中で理解を深めてまいります。

〔教科書〕

講義資料を配布します。

〔参考書〕

「知的創造時代の知的財産」清水啓助他著、慶應義塾大学出版会

「よくわかる特許」羽鳥賢一他著、オーム社

「著作権の考え方」岡本著、岩波新書

11 教職課程センター

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。本塾大学では「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年学年初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、その教職課程ガイダンスに出席し、本塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。

1998年に教育職員免許法の改正がなされ、2000年度入学者から新免許法が適用されることになりました。それ以前に入学した人は88年改正免許法が適用されます。したがって、入学年度により免許状取得に必要な履修科目および単位数が異なりますので、注意してください。

以下の説明は、98年改正法適用者向けとなっています。

本塾大学の教職課程で取得できる教員免許状の種類および教科は以下のとおりです。

文学部	人文社会学科	中学校 1種	国語、社会、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）
		高等学校 1種	国語、地理歴史、公民、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）、情報
経済学部	経済学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
法学部	法律学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
	政治学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
商学部	商学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民、商業
理工学部	機械工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	電子工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
	応用化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	物理情報工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	管理工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	数理科学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	物理学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	化学科	中学校 1種	理科
高等学校 1種			
システムデザイン工学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種	情報	
情報工学科	中学校 1種	数学	
	高等学校 1種	情報	
生命情報学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種		

教職課程履修案内

【教職課程の履修・登録の学年について】

〈1 教職課程の履修学年〉

教職課程を区分しますと、次の4領域にわたっています。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) (1) と (2) と (3) 以外の科目

以上のうち、(1) はそのほとんどを第3学年から履修します。(2) および (3) は第2学年から履修できます。(4) は「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけるための科目で、学部によって名称が異なりますが、総合教育科目などと呼ばれている科目です。この科目は第1学年から履修します。以上はおおよその目安であり、学部のカリキュラムによって多少の違いがあります。

(注) 法学部秋学期入学の学生は教職課程の履修の仕方に異なる点がありますから、個別に学習指導を受けてください。

〈2 教職課程の登録〉

教職課程を履修しようとする人は、所定の登録をしなければなりません。教職課程登録は第2学年から行っています。

登録学年		登録場所
文学部	第2学年	(三田) 教職課程センター
経済学部	第2学年	(日吉) 学事センター
法学部	第2学年	
商学部	第2学年	
理工学部	第2学年	

参考：登録の際「教職課程費」(現行30,000円)を納入しなければなりません。

【2 科目の履修について】

前述の教職課程の4つの領域について、各領域ごとにその履修解説をしておきます。

〈1 教科に関する科目〉

この科目群の詳細については、教職課程の登録の際の三田または矢上で行われる「教職課程ガイダンス」で学習指導担当者が説明します。ここでは履修上学生がよく誤解する点のみ以下に述べます。

- (1) 「教科に関する科目」は、学則上以下の3つの科目区分にわたって設置されています。
 - ①所属学部・学科の専門的領域に属する科目
 - ②各学部・学科の「教職課程教科に関する科目」
 - ③教職課程センター設置の「教科に関する科目」

①の科目の名称は、学部ごとに異なり、以下のようになっています。

文学部 専門教育科目

経済学部 専門教育科目
 法学部法律学科 法律学科目
 法学部政治学科 政治学科目、社会科学科目
 商学部 専攻科目
 理工学部 専門教育科目、基礎教育科目

以上の科目のうちすべてが「教科に関する科目」とはなりません。当該学部・学科で取得できる免許教科に関連する科目が「教科に関する科目」となります。学部1・2学年に配当されている所属学部・学科の科目のうち、この科目にあたるものがありますので、なるべく単位を取得しておく方が望ましいです。第1・2学年に配当されている「教科に関する科目」のうち、特に第1・2学年で単位取得が望ましい科目については、4月の「教職課程ガイダンス」で説明しますので、必ず出席するようにしてください。

②と③の科目は、第2学年以降で履修しますので、教職課程登録を行う学年に進級した際に各キャンパスで行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、学習指導担当者の説明を聞いて履修してください。

(2) 同一名称や類似名称の科目であっても、専門教育科目・法律学科目・政治学科目・専攻科目および「教職課程教科に関する科目」でない科目は、原則として「教科に関する科目」とならないので、注意してください。詳細につきましては、「教職課程ガイダンス」で説明します。

〈2 教職に関する科目〉

「教職に関する科目」は、教職課程を登録する学年から履修できます。これらの科目に関する学部での履修上の扱いは、多くは「自由科目」となっています。学部によって「自由科目」の扱いが異なる場合がありますので、学生諸君は履修申告の際、十分注意を払う必要があります。

〈3 教科又は教職に関する科目〉

主に三田キャンパスに設置されている科目です。履修については「教職課程ガイダンス」で説明します。

〈4 1、2、3以外の科目〉

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。各学部で以下のような科目区分で設置されている科目を所属学部・学科の学則に従って履修すれば、この規定の要件は達成されます。

文学部 総合教育科目
 経済学部 総合教育科目、保健体育科目
 法学部 人文科学科目、自然科学科目、数学・統計・情報処理科目、社会科学科目、保健体育科目
 商学部 総合教育科目
 理工学部 総合教育科目

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が

必修となっていますので注意してください。

(1)「法学（憲法を含む）」(4単位) 必修。または、「法学Ⅰ（憲法を含む）」(2単位)と「法学Ⅱ（憲法を含む）」(2単位)の2科目必修。Ⅰのみ、あるいはⅡのみでは認められません。

(2)「体育」2単位必修

このうち、1単位は必ず実技科目でなくてはなりません。残りの1単位は、体育学講義、体育理論、体育学演習、体育実技のうちから選択できます。

(3)「外国語コミュニケーション」必修

卒業するための単位に含まれている外国語に関する必修科目を履修することによって単位修得できます。

(4)「情報機器の操作」必修

以下の科目のいずれかを修得しなければなりません。

文学部 基礎情報処理

経済学部 情報処理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

法学部 情報処理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

商学部 情報リテラシー（情報処理Ⅰ）
データとの対話（情報処理Ⅱ）

理工学部 情報処理同実習

なお、「法学（憲法を含む）」と「体育」は、第1・2学年に配当・設置されていることが多いので、なるべく配当学年の内に取得しておくこと。また、所属学部設置されている科目を原則として履修すること。

【3 教職課程履修開始の心構え】

安易な気持ちで教職課程を履修することがないようにしてください。特に以下の点は十分に理解することが必要です。

(1) 教員免許状を取得するには卒業に必要な単位のほかに、かなり多くの単位を余分に履修しなければならないということ。

(2) 教員免許状が取得できたとしても、教員の需給の関係からして就職は最近特に困難であるということ。

将来中学校・高校の教員になることを志望している学生諸君は、以上の点をよく考慮した上で、教職課程の履修を第2学年からはじめてください。

【4 介護等体験について】

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（通称・介護等体験特例法）が成立し、平成10年4月1日から施行されました。これにより、小学校教諭または中学校教諭の普通免許状は取得しようとする人には、7日間を下らない範囲内で、盲学校、聾学校若しくは養護学校または社会福祉施設等で、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等が必要となります。この法律は平成10年4月1日以降に入学した学生に適用されます。教職課程ガイダンスで、そのことについての説明がありますので、注意して聞いてください。なお、教職課程登録をした、3年生以上の学生のみが大学を通して社会福祉施設等に申し込むことができます。

【5 その他の注意】

(1) 教職課程の掲示板は、第4校舎19番教室手前にあります。重要な事項および各種ガイダンス日程などを掲示します。見落としのないよう十分注意してください。

(2) 教職課程ガイダンスについて

教職課程に興味のある1年生は、1年生向けの教職課程ガイダンスに出席してください。また、教職課程を履修しようとする2年生は、新規登録希望者向けの教職課程ガイダンスに必ず出席してください。

12 外国語学校

外国語学校は、昭和17年10月語学研究所（現在の言語文化研究所）の設置と同時にその実践部門として開校され、以来塾生はもとより、他校学生、一般社会人の外国語学習の場として、高い評価を得ています。現在、欧米諸国語はもとより、アジア諸言語など14外国語科を設置し、約1,000名の学生が在学しています。授業は、義塾内外の外国語担当教授をはじめ、外国語を使って実際の場で活躍している職業人、外国人講師など、優れた教員によって行われています。

授業は、三田キャンパスで18：30～20：00（英会話のみ16：30～18：00もあり）に開講しています。受講に当たっては外国語学校の定める入学手続きが必要で、詳細については、「外国語学校入学案内」（一部500円、三田・日吉正門警備室でも取扱う）を参照して下さい。開講は4月と10月で入学願書の受付は2月上旬～3月上旬、8月上旬～9月上旬の年2回です。

法学部の学生は、学部教授会によって認定された右表の科目を自由科目として春・秋学期各2単位履修することができます。履修申告の方法は、学部の自由科目の申告方法と同じです。必ず学部にお問い合わせください。

外国語学校の入学手続きは、4月期（春学期）の場合、履修申告手続よりも前に行わなければならないので、後日もし学部の履修科目と時間が重なったことが判った時は、直ちに外国語学校事務室に相談して下さい。

また、日吉キャンパスでは日吉特別講座を18：30～20：00に開講しています。開講する語学は英語・ドイツ語・フランス語の3カ国語です。詳しくは、外国語教育研究センター日吉事務室へお問合せください。

<http://www.fl.s.keio.ac.jp/>

●外国語学校で学べる外国語

三田

英語、英会話、ビジネス・イングリッシュ、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、イタリア語、インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、ベトナム語、タイ語

日吉

英語、ドイツ語、フランス語

外国語学校開講科目のうち、法学部の自由科目とすることができるもの

語学科	クラス	週間授業数
(1) 英語	上 級	3回
(2) 英会話	中 級 上 級	2回 2回
(3) ビジネス・イングリッシュ		2回
(4) ドイツ語	基礎級	3回
(5) フランス語	初 級	3回
(6) スペイン語		
(7) 中国語	中 級	※3回
(8) イタリア語	上 級	※3回
(9) ロシア語	基礎級	2回
(10) インドネシア語		
(11) アラビア語	初 級	2回
(12) 朝鮮語	中 級	2回
(13) ベトナム語		
(14) タイ語	上 級	2回

※スペイン語上級および中国語中級・上級は週2回

索引

索引

科目

B	B (1) 薬学への招待	263
C	C1 (1) 物質の構造	264
	C1 (2) 物質の状態 I	264
	C2 (1) 化学平衡	264
	C2 (2) 化学物質の検出と定量	264
	C4 (2) 有機化合物の骨格	264
	C8 (2) 生命体の基本単位としての細胞	264
	C9 (1) 細胞を構成する分子	265
E	EEP	218
F	F (3) 基礎物理	265
	F (4) 基礎化学	265
	F (5) 基礎生物	265
	F (6) 基礎微分積分学	263
	F (9) 有機化学演習 I	265、266
	F (10) 化学演習	266
	F (11) 生物学演習 I	266
	F (12) 物理学演習	266
あ	アカド語初級 I	305
	アカド語初級 II	305
	アカド語中級 I	305
	アカド語中級 II	305
	アフリカ現代史 I	191
	アラビア語文献講読 I	303
	アラビア語文献講読 II	303
	アラビア語基礎 I	303
	アラビア語基礎 II	303
	アラビア語現代文講読 I	303
	アラビア語現代文講読 II	303
	アラビア語古典 I	303
	アラビア語古典 II	303
	アルゴリズム	223
	アルゴリズム同演習	223
	アルゴリズムと情報処理	223
	アルゴリズム論	224
い	位相数学	224
	遺伝子の科学	259
	医療・福祉の行政	4
	医療科学 I	218
	インダストリアル・エンジニアリング	224
う	ヴェトナム語初級 I	303
	ヴェトナム語初級 II	303
	ヴェトナム語中級 I	303
	ヴェトナム語中級 II	303
	ヴェトナム語文献講読 I	304
	ヴェトナム語文献講読 II	304
	宇宙科学	259
	宇宙の科学	209
え	映像・音響文化論	4
	エレクトロニクス・デバイス	224
	エレクトロニクス基礎	224
	エレクトロニクス創造演習	224
	演習 I	194~197
	演習 II	198~200
お	応用解析第1	225
	応用解析第2	225
	応用化学計算基礎	225
	応用確率論	226
	応用経営学	206
	応用数学	226
	応用電気電子回路	227
	応用電磁気学同演習	227
	応用簿記	207
	オペレーションズ・リサーチ第1	227
	音楽	4~8
	音楽 I	4~8
	音楽 II	4~8
か	会計学	214
	解析 I	213
	解析 II	213
	解析学入門 I	165
	解析学入門 II	165
	解析力学	227
	回路とシステム第1	227
	回路とシステム第2	228
	化学	8~10
	化学 I	8~10、216
	化学 II	8~10、216
	化学 A	221
	化学 B	221
	化学 C	221
	化学 D	222
	科学技術と現代社会	10
	科学史 I	10
	科学史 II	11
	化学実験	217
	化学統計熱力学	228
	化学統計熱力学演習	228
	科学と社会	11
	学外実習第1	228
	確率	228、229
	確率・統計	229
	確率論入門 I	165
	確率論入門 II	165
	確率論基礎	210、214
	環境化学概論	229
	監査論	207
	関数論第1同演習	229
	漢文	11
	漢文 a	11
	漢文 b	11
	カンボジア語初級 I	305
	カンボジア語初級 II	305
	管理会計論	207
	管理工学基礎演習 I	229
	管理工学基礎演習 II	229
	管理工学用数学第1	230
き	機械工学創造演習	230
	機械力学の基礎	230
	企業法	208
	基礎化学実験	230
	基礎情報処理 (A) ~ (I)	142
	基礎数学 I	168
	基礎数学 II	168
	基礎生物学	230
	基礎生命実験	231
	基礎統計学 I	168
	基礎統計学 II	169
	基礎の数学	11
	基礎物理演習	266
	基礎分子細胞生物学 I	217
	基本簿記と財務諸表の見方	204
	教育学	11、12
	教育学 I	11
	教育学 II	12
	行政学 I	191

行政学Ⅱ	191	現代日本史	19
行政法	186	現代物理学概論	259
教養研究センター極東証券寄附講座	298、299	現代メディア論	19
近代思想史	12、13	憲法	186
近代思想史Ⅰ	12、13	憲法Ⅰ	175
近代思想史Ⅱ	12、13	憲法ⅠA	175
近代日本と福澤諭吉	289	憲法ⅠB	175
く 空間設計製図A	231	憲法Ⅱ	175
け 経営学	203、213	憲法ⅡA	175
経営管理論	231	憲法ⅡB	175
経済学	13、14、201、212	こ 光学基礎	233
経済学Ⅰ	13、14、208、209	光学システム	234
経済学Ⅱ	14、208、209	工学数学	234
経済学基礎Ⅰ	201	高分子化学基礎	234
経済学基礎Ⅱ	201	国語国文	20
経済原論Ⅰ	187	国語国文Ⅰ	19
経済原論Ⅱ	187、188	国語国文Ⅱ	20
経済史	213	国語国文a	20
経済史Ⅰ	159、202	国語国文b	20
経済史Ⅱ	159、202	国際化と法	185
経済思想の歴史Ⅰ	160、161	国際政治基礎	191
経済思想の歴史Ⅱ	161、162	国際政治論Ⅱ	192
経済人類学	14	国際法	187
経済人類学a	14	古代エジプト語初級Ⅰ	305
経済人類学b	14	古代エジプト語初級Ⅱ	305
経済数学Ⅰ	162	古代エジプト語中級Ⅰ	305
経済数学ⅠA	162	古代エジプト語中級Ⅱ	305
経済数学ⅠB	162	コンピュータ実習	234
経済数学Ⅱ	162、163	さ 細胞生物学第Ⅰ	234
経済数学Ⅲ	162、163	財務会計論	207
経済数学入門Ⅰ	166	材料力学の解法	234
経済数学入門Ⅱ	166	材料力学の基礎	235
経済と環境	163	酸塩基及び酸化還元	235
計算機科学同実習	231	産業経済論	214
計算機基礎	231	産業経済論a	206
計算機構成同演習	232	産業経済論b	206
計算力学の基礎Ⅰ	232	サンスクリット初級Ⅰ	303
計算力学の基礎Ⅱ	232	サンスクリット初級Ⅱ	303
計算論理学	232	サンスクリット中級Ⅰ	303
形状情報の表現	233	サンスクリット中級Ⅱ	303
計測工学	233	し ジェンダー論Ⅰ	20
刑法	187	ジェンダー論Ⅱ	21
刑法Ⅰ	178、179	時事英語Ⅰ	269
刑法ⅠA	178	時事英語Ⅱ	269
刑法ⅠB	178	システム制御論	235
刑法Ⅱ	178	システムデザイン工学概論	235
刑法ⅡA	179	システムデザイン工学基礎演習	236
刑法ⅡB	179	自然科学研究会Ⅰ	115
計量経済学概論	163、164	自然科学研究会Ⅱ	116
ゲーム理論基礎	210	自然科学実験	222
健康科学	14	自然科学特論Ⅰ	149、173
言語学	15	自然科学特論Ⅱ	149、173
言語学Ⅰ	15	自然人類学	21
言語学Ⅱ	15	私法基礎	213
言語学Ⅲ	16	私法基礎Ⅰ	203
言語学Ⅳ	16	私法基礎Ⅱ	203
言語認識論	16	社会・経済と工学	236
現代化学概論	17	社会科学概論Ⅰ	21
現代芸術論	17	社会科学概論Ⅱ	21
現代思想論	17	社会科学特論	148
現代社会と医学Ⅰ	290	社会科学特論Ⅰ	148、149
現代社会と医学Ⅱ	290	社会科学特論Ⅱ	148、149
現代社会論	18	社会科学の考え方	12、21、212
現代生物学概論	18	社会学	22、23、185
現代世界史	19	社会学Ⅰ	22、23

社会学Ⅱ	21、23	数学Ⅰ	142、169、215
社会学a	22	数学Ⅱ	143、169、215
社会学b	22	数学Ⅲ	170、215
社会経済学	213	数学Ⅳ	170
社会経済学Ⅰ	202	数学A1	219
社会経済学Ⅱ	202	数学A2	219
社会心理学Ⅰ	23	数学A3	219
社会心理学Ⅱ	23	数学A4	219
社会との対話D	209	数学B1	219
社会との対話S	209	数学B2	219
社会との対話S・D	214	数学B3	220
社会変動論Ⅰ	192	数学B4	220
社会問題Ⅰ	164	数学解析第1	238
社会問題Ⅱ	164	数学解析第2	239
周期表の化学基礎	236	数学概論Ⅰ	150
周期表の化学第1	236	数学概論Ⅱ	151
宗教学	23	数理科学基礎第1	239
宗教学Ⅰ	24	数理科学基礎第2	239
宗教学Ⅱ	24	数理形画法	239
宗教学a	23	数理計画法	210、213
宗教学b	23	図形情報処理	239
自由研究セミナー	105～114	せ 生化学	240
自由研究セミナーa	105～114	政治学	35～39
自由研究セミナーb	105～114	政治学Ⅰ	35～39
集合論	236	政治学Ⅱ	35～39
住宅・建築史概論	25	政治学基礎Ⅰ	189
商学概論	212	政治学基礎Ⅱ	189
商業学	213	政治思想基礎	189
商業学Ⅰ	205、206	政治文化論	192
商業学Ⅱ	205、206	生体計測論	240
情報経済学	237	生体反応論第1	240
情報処理Ⅰ	155、156、171、172、212	生体物質の化学	240
情報処理Ⅱ	156～158、171、172、212	生体分子構造論	240
情報処理Ⅲ	157、158、172	生物科学	39～41
情報処理Ⅳ	172	生物学入門	260
情報処理応用Ⅰ	295	生物学	39～45、216
情報処理概論Ⅰ	295	生物学Ⅰ	39～45
情報処理概論Ⅱ	295	生物学Ⅱ	40～45
情報処理システム	237	生物学実験	217、261
情報処理同実習	222	生物学実験集中	261
情報数学概論	237	生物学序論	222
情報通信工学基礎	237	生物量子化学	241
情報リテラシー基礎	210	生命科学のための確率論	241
情報理論	237	生命系の数学	241
女性学	25	生命系の有機化学	241
書物の世界Ⅰ	142	生命現象の分子科学	45
書物の世界Ⅱ	142	生命の科学	46
人体の生理	260	生命物理化学第1	241
身体文化論	26	生命物理化学第2	242
振動と波動	238	西洋外交史Ⅰ	193
人文科学特論	145、146	世界経済の現状と問題	151
人文科学特論Ⅰ	116～118、143、146、147	世界の経済	261
人文科学特論Ⅱ	118、119、144、146～148	世界の政治	46
人文総合講座	26	線形代数	150、211、213、242
人文総合講座Ⅰ	26	線形代数演習	211、214
人文総合講座Ⅱ	26	線形代数統論	150
心理学	29、30、34	戦争と社会	46
心理学Ⅰ	29～34、260	そ 造形・デザイン論	46、47
心理学Ⅱ	29～34、260	総合教育セミナーⅠ	104、133～135
人類学	34、142	総合教育セミナーⅡ	104、105、135～139
人類学Ⅰ	34	総合教育セミナーD(Ⅰ類)	120、121
人類学Ⅱ	34	総合教育セミナーD(Ⅱ類)	121～129
人類学a	34	総合教育セミナーD(Ⅲ類)	129、130
人類学b	34	総合教育セミナーS(Ⅰ類)	131
す 数学	142、143	総合教育セミナーS(Ⅱ類)	131、132

- ソフトウェア工学 242
- た 体育学演習 274
- 体育学講義 272、273
- 体育実技A (アーチェリー) 283
- 体育実技A (合気道) 280
- 体育実技A (ウォーキング・エクササイズ) 282
- 体育実技A (エアロビクス) 281、282
- 体育実技A (空手) 284
- 体育実技A (器械体操) 286
- 体育実技A (弓術) 284
- 体育実技A (剣道 日本剣道形クラス) 280
- 体育実技A (剣道) 280
- 体育実技A (ゴルフ) 282
- 体育実技A (サッカー) 275
- 体育実技A (自動車) 283
- 体育実技A (柔道) 280
- 体育実技A (ジョギング) 282
- 体育実技A (水泳) 284
- 体育実技A (ソフトテニス) 275
- 体育実技A (体力UPコース) 281
- 体育実技A (卓球) 277
- 体育実技A (ダンス) 282
- 体育実技A (テニス) 275~277
- 体育実技A (トランポリン) 283
- 体育実技A (軟式野球) 279
- 体育実技A (ニュースポーツ) 283
- 体育実技A (バスケットボール) 277、278
- 体育実技A (バドミントン) 277
- 体育実技A (バレーボール) 278、279
- 体育実技A (ハンドボール) 279
- 体育実技A (フェンシング) 280
- 体育実技A (フットサル) 275
- 体育実技A (フライングディスク) 284
- 体育実技A (ボクシング) 281
- 体育実技A (ボディメイクエクササイズ) 281
- 体育実技A (野球) 279
- 体育実技A (陸上競技) 283
- 体育実技B (アウトドアレクリエーション) 287
- 体育実技B (山岳) 285
- 体育実技B (スキー) 287
- 体育実技B (スケート) 288
- 体育実技B (ニュースポーツ) 283
- 体育実技B (馬術) 285
- 体育実技B (バレーボール) 279
- 体育実技B (ビーチバレー) 287
- 体育実技B (フライングディスク) 283
- 体育実技B (ヨット) 286
- タイ語初級Ⅰ 304
- タイ語初級Ⅱ 304
- タイ語中級Ⅰ 304
- タイ語中級Ⅱ 304
- 代数学基礎同演習 243
- ダイナミカルシステム 243
- 団体法 184
- ち 地域研究-スペイン事情Ⅰ 47
- 地域研究-スペイン事情Ⅱ 47
- 地域研究-中国事情Ⅰ 47
- 地域研究-中国事情Ⅱ 48
- 地域研究-中国事情Ⅲ 48
- 地域研究-中国事情Ⅳ 48
- 地域研究-北米事情Ⅰ 48
- 地域研究-北米事情Ⅱ 48
- 地域研究基礎 190
- 地域生態文化論 49
- 地域文化論 49
- 地域文化論Ⅰ 50、51、53、55~58
- 地域文化論Ⅱ 50、52~55、57、58
- 地域文化論Ⅲ 51~54、56、57
- 地域文化論Ⅳ 51~54、56、57
- 地学 59、60
- 地学Ⅰ 59、60
- 地学Ⅱ 59、60
- 地球科学概論Ⅰ 60
- 地球科学概論Ⅱ 60
- 知的資産概論 306
- 中級線形代数 211、214
- 中級微積分 211、214
- 中国事情 61
- 中国政治史Ⅱ 193
- 朝鮮語文献講読Ⅰ 304
- 朝鮮語文献講読Ⅱ 304
- 朝鮮文化・文学の歴史 143
- 朝鮮文化・文学の歴史Ⅰ 143
- 朝鮮文化・文学の歴史Ⅱ 143
- 地理学 61~63
- 地理学Ⅰ 62
- 地理学Ⅱ 62
- 地理学a 61~63
- 地理学b 61~63
- つ 通信システム 243
- て デジタル回路 243
- データ解析Ⅰ 166
- データ解析Ⅱ 166
- データ解析入門Ⅰ 167
- データ解析入門Ⅱ 167
- データとの対話D 211、212
- デザインリテラシー演習 244
- デジタル・アナログ回路 244
- デジタル基礎 244
- 哲学 63~68
- 哲学Ⅰ 63~68
- 哲学Ⅱ 63~68
- 電気回路基礎 244
- 電気回路同演習 245
- 電気回路理論 245
- 電気電子工学セミナーⅠ 245
- 電気電子工学セミナーⅡ 245
- 電気電子材料 245
- 電磁エネルギー変換工学 246
- 電子回路基礎 245、246
- 電子回路同演習 246
- 電磁気学 246
- 電磁気学第Ⅰ 247
- 電磁気学同演習 247
- 電磁気工学 247
- 天文学 68、261
- 天文学a 68
- 天文学b 68
- と 統計解析 247
- 統計学Ⅰ 159、170、201、213
- 統計学Ⅱ 159、170、201、213
- 統計学Ⅲ 170
- 統計学Ⅳ 171
- 動物行動学 69
- トルコ語初級Ⅰ 304
- トルコ語初級Ⅱ 304
- トルコ語中級Ⅰ 304
- トルコ語中級Ⅱ 304
- に 21世紀の実学 69
- 日本外交史Ⅰ 193

日本経済の現状と問題	151	文化人類学Ⅱ	85、188
日本政治基礎	190	分子生物学第1	253
日本の経済	262	文章作法Ⅰ	269
日本の産業と経営	210、214	文章作法Ⅱ	269
日本の政治	69	分析化学Ⅰ	254
ね 熱物理	247	分析化学基礎	254
熱力学	247	分布系の数理	255
熱力学の基礎	248	文明学説史Ⅰ	85
熱流体システム第1	248	文明学説史Ⅱ	86
熱流体システム第2	248	へ ヘブライ語初級Ⅰ	305
は バイオプログラミング第1	249	ヘブライ語初級Ⅱ	305
バイオプログラミング第2	249	ヘブライ語中級Ⅰ	305
反応有機化学	249	ヘブライ語中級Ⅱ	305
ひ 比較文化論	69、262	ペルシア語初級Ⅰ	304
比較文化論 a	69	ペルシア語初級Ⅱ	304
比較文化論 b	69	ペルシア語中級Ⅰ	304
光デバイス工学	249	ペルシア語中級Ⅱ	304
美術	70~73	ほ 法学	86~89、174、185、186
美術Ⅰ	70~73	法学Ⅰ	86~89、174
美術Ⅱ	70~73	法学Ⅱ	86~89、174
微積分Ⅰ	201	法学演習	179~182
微積分Ⅱ	201	法学情報処理	183
微積分演習	211、214	法制史	184
人の尊厳	74	法制史Ⅰ	184
微分積分	150	法制史Ⅱ	184
微分積分入門	150	法制史概論Ⅰ	184
微分法	201、213	法制史概論Ⅱ	184
ヒューマン・ファクターズ	250	法の基礎	185
表象文化論	74	法律外国語演習	183
表象文化論 a	74	簿記	166
表象文化論 b	74	簿記 a	166
ふ ファイナンス数学Ⅰ	167	簿記 b	166
ファイナンス数学Ⅱ	167	簿記論	212
複素解析	250	ま マーケティング・マネジメント論	208
物質の精製分析	250	マクロ経済学初級Ⅰ	159
物性科学	262	マクロ経済学初級Ⅱ	160
物理化学Ⅰ	250	マス・コミュニケーション論Ⅰ	193
物理化学演習	251	マテリアルデザイン概論1	255
物理化学基礎	251	マテリアルデザイン概論2	255
物理学	75~77	マルクス経済学Ⅰ	164
物理学Ⅰ	75~77、215	マルクス経済学Ⅱ	164
物理学Ⅱ	75~77、215、216	み ミクロ経済学初級Ⅰ	160
物理学A	220	ミクロ経済学初級Ⅱ	160
物理学B	220	民主主義思想論Ⅰ	193
物理学C	220	民族文化論	89
物理学D	220	民法Ⅰ	175~178、186
物理学演習第1	251	民法ⅠA	175、176、178
物理学演習第2	251	民法ⅠB	175、176、178
物理学実験	216	民法Ⅱ	175~178、186
物理情報数学A	251	民法ⅡA	175~177
物理情報数学B	252	民法ⅡB	175、177
プログラミング演習	252	民法Ⅲ	177、178
プログラミング基礎同演習	252	民法ⅢA	177、178
プログラミング言語	252	民法ⅢB	177、178
プログラミング実習	252	民法演習Ⅰ	179、180
プログラミング第1同演習	253	民法演習ⅠA	179、180
プログラミング第3同演習	253	民法演習ⅠB	179、180
プログラム実習	253	民法演習Ⅱ	180、181
文学	78~84	民法演習ⅡA	180、181
文学Ⅰ	78~84	民法演習ⅡB	181
文学Ⅱ	78~80、82~84	む 無機化学1	255
文学 a	78、81、82	無機化学2	255
文学 b	78、81、82	や 薬科学概論	263
文化人類学	84、85	ゆ 有機化学基礎	256
文化人類学Ⅰ	85、188	有機立体化学	256

ら	ラテンアメリカ研究	90
	ラテンアメリカ研究 a	90
	ラテンアメリカ研究 b	90
り	力学的アナリシス	256
	力学的モデリング	256
	理工学概論	223
	理工学基礎実験	256
	立法過程論 I	194
	流体力学の基礎	257
	量子化学基礎	257
	量子力学基礎	257
	量子力学第 1	258
	量子力学入門	258
	理論経済学 I	214
	倫理学	90~92
	倫理学 I	90~92
	倫理学 II	90~92
れ	歴史	92~99
	歴史 I	92~99
	歴史 II	92~99
ろ	論理学	99~100
	論理学 I	99~100
	論理学 II	99~100
	論理学序論	100
	論理学本論	100

教員名

- あ 相沢 幸悦 (アイザワ コウエツ) 262
 相磯 貞和 (アイソ サダカズ) 46
 相原 義弘 (アイハラ ヨシヒロ) 150
 相吉英太郎 (アイヨシ エイタロウ) 252
 青木健一郎 (アオキ ケンイチロウ) 75、105、163
 青山藤詞郎 (アオヤマ トウジロウ) 236、244
 赤川 元章 (アカガワ モトアキ) 202、213
 明石 欽司 (アカシ キンジ) 185
 赤林 由雄 (アカバヤシ ヨシオ) 155~157、159
 秋山 豊子 (アキヤマ トヨコ) 39、40、115、116、173
 秋山 裕 (アキヤマ ユタカ) 105、159、163
 阿久沢利明 (アクザワ トシアキ) 184
 明田ゆかり (アケダ ユカリ) 46
 浅川 順子 (アサカワ ジュンコ) 121
 朝倉 浩一 (アサクラ コウイチ) 225、251
 浅野 光紀 (アサノ コウキ) 63
 朝比奈 緑 (アサヒナ ミドリ) 80、121
 麻生 良文 (アソウ ヨシブミ) 187
 足立 健次 (アダチ ケンジ) 104
 足立 修一 (アダチ シュウイチ) 251
 足立 典子 (アダチ ノリコ) 122
 厚地 淳 (アツジ アツシ) 150、162、165
 跡田 直澄 (アトダ ナオスミ) 206、214
 阿部 祥人 (アベ ヨシト) 146
 阿部 芳廣 (アベ ヨシヒロ) 264
 天野 隆弘 (アマノ タカヒロ) 218
 天野 英晴 (アマノ ヒデアール) 232、243
 新井 和広 (アライ カズヒロ) 92、122、298
 荒金 直人 (アラカネ ナオト) 17、133、135
 荒畑 靖宏 (アラハタ ヤスヒロ) 64
 荒谷 大輔 (アラヤ ダイスケ) 64
 栗津 賢太 (アワツ ケンタ) 21
 安藤 勝英 (アンドウ カツヒデ) 280
 安藤 寿康 (アンドウ ジュコウ) 74
 安藤 広道 (アンドウ ヒロミチ) 92、93、146
 アンリ・ナタリー (アンリ・ナタリー) 116、118
- い 李 宇諤 (イ ウヨン) 275
 李 泰文 (イ テムン) 143
 李 美江 (イ ミガン) 304
 飯島 正 (イイジマ タダシ) 242
 飯田 隆 (イイダ タカシ) 64
 飯田 恭 (イイダ タカシ) 159
 飯箸 泰宏 (イイハシ ヤスヒロ) 210、212
 井奥 成彦 (イオク シゲヒコ) 145
 伊香賀 俊治 (イカガ トシハル) 235
 井垣 竹晴 (イガキ タケハル) 31、32
 井口 達雄 (イグチ タツオ) 219、220、238
 池田 薫 (イケダ カオル) 150
 池田 真朗 (イケダ マサオ) 174、183
 池田 緑 (イケダ ミドリ) 18
 池田 幸弘 (イケダ ユキヒロ) 160
 池原 雅章 (イケハラ マサアキ) 225、245
 石井 一平 (イシイ イッペイ) 219、220
 石井 拓 (イシイ タク) 142
 石井 達朗 (イシイ タツロウ) 78
 石川浩一郎 (イシカワ コウイチロウ) 155
 石川さと子 (イシカワ サトコ) 263、265
 石川 史郎 (イシカワ シロウ) 219、238、239
- 石川 透 (イシカワ トオル) 19、142、146
 石樽 崇明 (イシグレ タカアキ) 247
 石黒 仁揮 (イシクロ ヒロキ) 135、244、245
 石多 正男 (イシタ マサオ) 4
 石手 靖 (イシデ ヤスシ) 278、287
 石橋 孝次 (イシバシ コウジ) 160
 石原あえか (イシハラ アエカ) 131
 石光 輝子 (イシミツ テルコ) 78、122、209、214
 石渡 哲 (イシワタ サトシ) 86
 井関 睦美 (イゼキ ムツミ) 104
 磯崎 敦仁 (イソザキ アツヒト) 58、298
 磯部 徹彦 (イソベ テツヒコ) 221、255
 井田 良 (イダ マコト) 178、185
 板垣 悦子 (イタガキ エツコ) 281
 出岡 直也 (イツオカ ナオヤ) 185
 井手 秀樹 (イデ ヒデキ) 206、214
 伊藤 佳子 (イトウ ヨシコ) 264~266
 伊藤 研祐 (イトウ ケンスケ) 178
 伊藤誠一郎 (イトウ セイイチロウ) 161
 伊藤 正時 (イトウ マサトキ) 221
 伊藤 幹夫 (イトウ ミキオ) 159、167
 伊東 裕司 (イトウ ユウジ) 149
 伊藤 行雄 (イトウ ユキオ) 106
 稲田奈緒美 (イナタ ナオミ) 26
 稲葉 由之 (イナバ ヨシユキ) 159
 稲見 圭子 (イナミ ケイコ) 264~266
 犬伏 由子 (イヌブシ ユキコ) 185
 井上 一明 (イノウエ カズアキ) 190、191、198
 井上 京子 (イノウエ キョウコ) 16、84、133
 井上 聡 (イノウエ サトシ) 93
 井上 秀成 (イノウエ ヒデナリ) 255
 井上 浩義 (イノウエ ヒロヨシ) 216、217
 井上 能裕 (イノウエ ヨシヒロ) 179、180
 今井 潤一 (イマイ ジュンイチ) 231
 今井 宏明 (イマイ ヒロアキ) 255
 今井 倫太 (イマイ ミチタ) 222
 今泉 忠 (イマイズミ タダシ) 166、167
 今口 忠政 (イマグチ タダマサ) 204、213
 井本 正哉 (イモト マサヤ) 18、222、231、234
 岩崎 陸 (イワサキ アツシ) 275
 岩下 真好 (イワシタ マサヨシ) 53、117、118
 岩谷 十郎 (イワタニ ジュウロウ) 184、289
 岩波 敦子 (イワナミ アツコ) 93
 岩松研吉郎 (イワマツ ケンキチロウ) 146
 岩見 隆 (イワミ タカシ) 303、304
- う 宇 振領 (ウ シンリョウ) 47、48
 植田 毅 (ウエタ ツヨシ) 258
 植田 利久 (ウエダ トシヒサ) 248
 植田 史生 (ウエダ フミオ) 280
 上野 健 (ウエノ タケシ) 40
 牛島 利明 (ウシジマ トシアキ) 129、202、213
 牛場 潤一 (ウシバ ジュンイチ) 249、281
 白杵 陽 (ウスキ アキラ) 89
 内山 孝憲 (ウチヤマ タカノリ) 233、244
 内山 太郎 (ウチヤマ タロウ) 234、247
 内山 真 (ウチヤマ マコト) 269
 宇津木愛子 (ウツギ アイコ) 122
 馬田 啓一 (ウマダ ケイチ) 151
 梅垣 真祐 (ウメガキ シンスケ) 257
 梅澤 一夫 (ウメザワ カズオ) 240、259
 梅津 光弘 (ウメヅ ミツヒロ) 203、204、213
- え 栄長 泰明 (エイナガ ヤスアキ) 17、221
 エインジ, マイケル W (エインジ, マイケル W) 26、106
 江上 正 (エガミ タダシ) 243

- 江藤 幹雄 (エトウ ミキオ) 220、251
 お オイ ションゴウ (オイ ションゴウ) 194、198
 笈川 博一 (オイカワ ヒロカズ) 305
 大石 毅 (オオイシ タケシ) 217
 大久保教宏 (オオクボ ノリヒロ) 55
 大坂 武男 (オオサカ タケオ) 235
 大沢 秀介 (オオサワ ヒデユキ) 186
 大路 樹生 (オオジ タツオ) 59
 太田 克弘 (オオタ カツヒロ) 136、219、239
 太田 達也 (オオタ タツヤ) 174、185
 太田 博樹 (オオタ ヒロキ) 21
 大嶽 真人 (オオタケ マサト) 275
 大槻 知明 (オオツキ トモアキ) 226
 大出 敦 (オオデ アツシ) 54
 大沼あゆみ (オオヌマ アユミ) 163
 大野 裕 (オオノ ヒロシ) 290
 大野 将樹 (オオノ マサキ) 253
 大野 義夫 (オオノ ヨシオ) 223、295
 大場 茂 (オオバ シゲル) 8、9、104
 大橋 洋士 (オオハシ ヨウジ) 136
 大畑 純一 (オオハタ ジュンイチ) 122
 大平 哲 (オオヒラ サトシ) 106、160
 大前 和幸 (オオマエ カズユキ) 46
 大宮 正毅 (オオミヤ マサキ) 222、234、235
 大村 達弥 (オオムラ タツヤ) 151
 大村 亮 (オオムラ リョウ) 248
 大村 廉 (オオムラ レン) 253
 大森 貴秀 (オオモリ タカヒデ) 170、171
 大森 浩充 (オオモリ ヒロミツ) 227、229
 大森 正仁 (オオモリ マサヒト) 185
 大矢 玲子 (オオヤ レイコ) 123
 大山 耕輔 (オオヤマ コウスケ) 191
 大和田俊之 (オオワダ トシユキ) 26、51
 岡 浩太郎 (オカ コウタロウ) 133、241、242
 岡 誠 (オカ マコト) 155
 岡 美佳子 (オカ ミカコ) 264、266
 小笠原小枝 (オガサワラ サエ) 56
 岡田あおい (オカダ アオイ) 18
 小湊 昭夫 (オガタ アキオ) 74、78、107
 岡田 英史 (オカダ エイジ) 224、226、253
 岡田 光弘 (オカダ ミツヒロ) 99、232
 岡田 有策 (オカダ ユウサク) 250
 岡野 栄之 (オカノ ヒデユキ) 46
 岡本真一郎 (オカモト シンイチロウ) 46
 岡山 裕 (オカヤマ ヒロシ) 35
 小川原正道 (オガワラ マサミチ) 35
 小木曾啓示 (オギソ ケイジ) 150、162
 奥田 暁代 (オクダ アキヨ) 26、50
 奥田 和夫 (オクダ カズオ) 65
 奥山 静代 (オクヤマ シズヨ) 281
 尾崎 裕之 (オザキ ヒロユキ) 160
 長田 進 (オサダ ススム) 61、62、107
 長名 寛明 (オサナ ヒロアキ) 107
 小山内州一 (オサナイ シュウイチ) 223
 小沢 慎治 (オザワ シンジ) 237
 小澤 正典 (オザワ マサノリ) 230
 織田 輝哉 (オダ テルヤ) 149
 小田 芳彰 (オダ ヨシアキ) 219、242
 尾高 暁子 (オダカ アキコ) 5
 小野 晃典 (オノ アキノリ) 208
 小野 修三 (オノ シュウゾウ) 12、21、35、36、123、212
 小野 裕剛 (オノ ヒロタケ) 40、41、222
 小野 雅之 (オノ マサユキ) 173
 小原 京子 (オハラ キョウコ) 133
 小原 實 (オハラ ミノル) 220
 小尾晋之介 (オビ シンノスケ) 232、257
 表 實 (オモテ ミノル) 75、120、209、289
 恩田 憲一 (オンダ ノリカズ) 171、210、212、295
 か 垣内 史敏 (カキウチ フミトシ) 221
 柿沼 康弘 (カキヌマ ヤスヒロ) 234
 蔭山 宏 (カゲヤマ ヒロシ) 189、194
 笠井 裕之 (カサイ ヒロユキ) 79
 笠原 忠 (カサハラ タダシ) 263
 笠原 英彦 (カサハラ ヒデヒコ) 190
 鹿島 晴雄 (カシマ ハルオ) 46、218
 柏崎千佳子 (カシワザキ チカコ) 129
 霞 信彦 (カスミ ノブヒコ) 174、184
 片木 智年 (カタギ トモトシ) 79
 片田 真一 (カタダ シンイチ) 163
 片山 直也 (カタヤマ ナオヤ) 177
 片山 素秀 (カタヤマ モトヒデ) 12、13、36、192
 片山 靖 (カタヤマ ヤスシ) 251
 片山 善博 (カタヤマ ヨシヒロ) 36、37
 勝又 正浩 (カツマタ マサヒロ) 282
 桂 誠一郎 (カツラ セイイチロウ) 234
 勝良 健史 (カツラ タケシ) 219
 加藤 幸司 (カトウ コウジ) 272、277
 加藤 大雄 (カトウ ヒロオ) 275
 加藤 浩子 (カトウ ヒロコ) 5
 加藤 大仁 (カトウ ヒロヒト) 273、278
 加藤万里子 (カトウ マリコ) 68、136、259、261
 加藤 良信 (カトウ ヨシノブ) 155
 門松 秀樹 (カドマツ ヒデキ) 194
 金沢 孝 (カナザワ タカシ) 224
 金澤 秀子 (カナザワ ヒデコ) 263、264、266
 金山 信宏 (カナヤ ノブヒロ) 41、115、116
 山谷 弘昌 (カナヤマ ヒロマサ) 70、144
 金子 新 (カネコ シン) 195、198
 金子 隆司 (カネコ タカシ) 286
 金子 洋之 (カネコ ヒロユキ) 41、42、222
 金子 勝 (カネコ マサル) 107
 金子 善彦 (カネコ ヨシヒコ) 65
 鹿野菜穂子 (カノ ナオコ) 175
 上村 佳孝 (カミムラ ヨシタカ) 42、43、120
 亀谷 幸生 (カメタニ ユキオ) 136、219、236
 河合 秀樹 (カワイ ヒデキ) 180、159、163
 河上 裕 (カワカミ ユタカ) 260
 川口 春馬 (カワグチ ハルマ) 234
 川城 丈夫 (カワシロ タケオ) 218
 河内 恵子 (カワチ ケイコ) 146
 河内谷幸子 (カワチヤ サチコ) 210、212
 川西 大介 (カワニシ ダイスケ) 283
 河邊 博史 (カワベ ヒロシ) 290
 川村 晃生 (カワムラ テルオ) 146
 河村 好彦 (カワムラ ヨシヒコ) 86
 河原田有一 (カワラダ ユウイチ) 87
 神崎 忠昭 (カンザキ タダアキ) 94、145
 神田さやこ (カンダ サヤコ) 159
 神成 文彦 (カンナリ フミヒコ) 220
 神林 靖 (カンバヤシ ヤスシ) 155
 き 菊地 啓太 (キクチ ケイタ) 279
 菊池 秀悦 (キクチ シュウエツ) 283
 岸 由二 (キシ ユウジ) 11、43、49、108
 岸田 和明 (キシダ カズアキ) 142
 来住野 究 (キシノ キワム) 208
 木島 伸彦 (キジマ ノブヒコ) 33、130
 岸本 達也 (キシモト タツヤ) 25、231
 木津 純子 (キズ ジュンコ) 263
 北居 功 (キタイ イサオ) 178、182

- 北川 尚 (キタガワ ヒサシ) 157
 北川 雄光 (キタガワ ユウコウ) 46
 北澤 安紀 (キタザワ アキ) 183
 北村 洋基 (キタムラ ヒロモト) 164
 木塚 孝幸 (キヅカ タカユキ) 278
 木戸 一夫 (キド カズオ) 210~213
 木下 亮 (キノシタ アキラ) 70、71
 木下 京子 (キノシタ キョウコ) 19、46、137
 木下 岳司 (キノシタ タケシ) 233、246
 君嶋 祐子 (キミジマ ユウコ) 185
 木村 彰男 (キムラ アキオ) 218
 木村 和宏 (キムラ カズヒロ) 277
 木村 敏夫 (キムラ トシオ) 250、251
 木村 満 (キムラ ミツル) 218
 木元 宏次 (キモト ヒロツグ) 171
 許 曼麗 (キョ マンレイ) 123
 許 光俊 (キョ ミツトシ) 53、117、119
 清原 聖子 (キヨハラ ショウコ) 195、198
 く 久我 俊二 (クガ シュンジ) 117、119
 串田 裕彦 (クシダ ヒロヒコ) 99
 工藤多香子 (クドウ タカコ) 89、90、108
 久野 禎子 (クノ ヨシコ) 155
 久保田正美 (クボタ マサミ) 284
 久保田真理 (クボタ マリ) 216、217
 神代 光朗 (カマシロ ミツオ) 161、164
 楯沢 栄一 (タケサワ エイイチ) 4
 倉石 立 (クラishi リツ) 43、105、261
 倉沢 愛子 (クラサワ アイコ) 164
 栗田 治 (クリタ オサム) 227
 栗原 将人 (クリハラ マサト) 137、219、220、242
 栗山 保之 (クリヤマ ヤスユキ) 94
 グレーヴァー香子 (グレーヴァー タカコ) 160
 黒川 行治 (クロカワ ユキハル) 207、214
 黒田 忠広 (クロダ タダヒロ) 223
 こ 小坏 淳子 (コアクツ ジュンコ) 180、181
 小池信太郎 (コイケ シンタロウ) 182
 古池 達彦 (コイケ タツヒコ) 252
 香田 芳樹 (コウダ ヨシキ) 147
 河野 武司 (コウノ タケシ) 37、195、199
 小嶋 祥三 (コジマ ショウゾウ) 29
 児島やよい (コジマ ヤヨイ) 47
 小菅 隼人 (コスゲ ハヤト) 79、80
 小瀬村誠治 (コセムラ セイジ) 9、115
 小林 邦夫 (コバヤシ クニオ) 134、137
 小林 茂文 (コバヤシ シゲフミ) 94
 小林 節 (コバヤシ セツ) 175、185
 小林 宏充 (コバヤシ ヒロミチ) 76、115、116
 小林 良彰 (コバヤシ ヨシアキ) 189
 小檜山雅之 (コヒヤマ マサユキ) 229
 駒形 哲哉 (コマガタ テツヤ) 164
 小松 恭三 (コマツ キョウゾウ) 279
 小松 英海 (コマツ ヒデミ) 33
 コミネッテイ、フィリップ (コミネッテイ、フィリップ) 123
 小宮 繁 (コミヤ シゲル) 134
 小室 正紀 (コムロ マサミチ) 159、161、289
 米家志乃布 (コメイエ シノブ) 62
 小茂鳥 潤 (コモトリ ジュン) 234、235
 小屋 逸樹 (コヤ イツキ) 15、118、119
 小安 重夫 (コヤス シゲオ) 46
 小山 剛 (コヤマ ゴウ) 181、183、185
 小山 正 (コヤマ タダシ) 288
 近藤 明彦 (コンドウ アキヒコ) 272~274、281、282
 近藤 寛 (コンドウ ヒロシ) 236
 近藤 光雄 (コンドウ ミツオ) 26、48
 近藤 幸夫 (コンドウ ユキオ) 17、19、71、134、136
 さ 崔 吉道 (サイ ヨシミチ) 263
 齋藤 敏治 (サイキ トシハル) 224
 齋藤 郁夫 (サイトウ イクオ) 272、290
 齋藤 英治 (サイトウ エイジ) 227、252
 齋藤 和夫 (サイトウ カズオ) 177、185
 齋藤 隆男 (サイトウ タカオ) 284
 齋藤 直樹 (サイトウ ナオキ) 19
 齋藤 英雄 (サイトウ ヒデオ) 226、246
 齋藤 博昭 (サイトウ ヒロアキ) 234、295
 齋藤 通貴 (サイトウ ミチタカ) 205、213
 齋藤 幸夫 (サイトウ ユキオ) 220、247
 境 一三 (サカイ カズミ) 108
 坂井 利彰 (サカイ トシアキ) 277
 酒井 良清 (サカイ ヨシキヨ) 159
 榮谷 温子 (サカエダニ ハルコ) 303
 坂上 貴之 (サカガミ タカユキ) 149
 榊 博文 (サカキ ヒロブミ) 22
 榊 玲子 (サカキ レイコ) 56
 榊原 康文 (サカキバラ ヤスブミ) 223、249
 坂口 博 (サカグチ ヒロシ) 204
 坂原 正夫 (サカハラ マサオ) 185
 坂本 邦彦 (サカモト クニヒコ) 85
 櫻井 彰人 (サクライ アキト) 252
 櫻庭ゆみ子 (サクラバ ユミコ) 130
 桜本 光 (サクラモト ヒカル) 201、212
 佐々木昭則 (ササキ アキノリ) 99
 佐々木美帆 (ササキ ミホ) 123
 佐々木玲子 (ササキ レイコ) 272、274、282
 笹平 裕史 (ササヒラ ヒロフミ) 150
 里 嘉千茂 (サト カチシゲ) 59
 佐藤 孝雄 (サトウ タカオ) 146
 佐藤 拓磨 (サトウ タクマ) 87、187
 佐藤 徹哉 (サトウ テツヤ) 262
 佐藤 徹 (サトウ トオル) 218
 佐藤 智典 (サトウ トシノリ) 240、241
 佐藤 寅夫 (サトウ トラオ) 261
 佐藤 望 (サトウ ノゾミ) 5、6、124、298
 佐藤 春樹 (サトウ ハルキ) 222、236、248
 佐藤真基子 (サトウ マキコ) 66
 佐藤 方宣 (サトウ マサノブ) 162
 佐藤 道生 (サトウ ミチオ) 20、146
 佐藤 元状 (サトウ モトノリ) 51、52、298、299
 佐藤 康廣 (サトウ ヤスヒロ) 204、207
 佐藤 和 (サトウ ヤマト) 209、214
 佐藤 洋平 (サトウ ヨウヘイ) 235、248
 眞田 幸俊 (サナダ ユキトシ) 223
 佐野 昭 (サノ アキラ) 225、239、243
 佐谷真木人 (サヤ マキト) 69、89
 澤井 敦 (サワイ アツシ) 185
 澤田 達男 (サワダ タツオ) 138、225
 三瓶 慎一 (サンベ シンイチ) 53
 し 椎木 一夫 (シイキ カズオ) 258
 シェイ、デイビッド P. (シェイ、デイビッド P.) 124
 塩澤 修平 (シオザワ シュウヘイ) 159
 塩澤 寛樹 (シオザワ ヒロキ) 71
 塩原 良和 (シオバラ ヨシカズ) 185、192、196
 鹿園 直建 (シカヅノ ナオタツ) 60、229
 重野 寛 (シゲノ ヒロシ) 234、243
 篠崎 信雄 (シノザキ ノブオ) 229、247
 篠沢 佳久 (シノザワ ヨシヒサ) 222、252
 篠原しげ子 (シノハラ シゲコ) 282
 篠原 俊吾 (シノハラ シュンゴ) 298
 柴田 里程 (シバタ リテイ) 241

- 洪谷 誉一郎 (シブヤ ヨウイチロウ) 146
 嶋尾 稔 (シマオ ミノル) 303、304
 島田 桂太郎 (シマダ ケイタロウ) 281
 島田 由美子 (シマダ ユミコ) 171
 清水 健一 (シミズ ケンイチ) 9、163
 清水 透 (シミズ トオル) 90
 志村 正 (シムラ タダシ) 10、116、173
 下坂 英 (シモサカ エイ) 10、11
 下遠野 久美子 (シモトオノ クミコ) 265
 下村 俊 (シモムラ シュン) 219、229、239
 下村 晋 (シモムラ ススム) 238
 下村 裕 (シモムラ ユタカ) 76
 首藤 聡史 (シュトウ サトシ) 286
 鄭 潤澈 (ジョン ユンチョル) 205、213
 白井 義昌 (シライ ヨシマサ) 160
 白根 孝胤 (シラネ コウイン) 95
 白波 瀬丈一郎 (シラハセ ジョウイチロウ) 46
 白旗 優 (シラハタ マサル) 69、131、201、211、213、214
 新保 一成 (シンボ カズシゲ) 201、213
 神保 剛 (ジンボ ツヨシ) 124
 す 水津 太郎 (スイズ タロウ) 186
 末岡 浩 (スエオカ ヒロシ) 46
 末松 誠 (スエマツ マコト) 217
 須貝 威 (スガイ タケシ) 264~266
 菅田 節朗 (スガタ セツロウ) 265、266
 菅野 智巳 (スガノ サトシ) 180、181
 菅野 理樹夫 (スガノ リキオ) 32
 菅原 昭博 (スガワラ アキヒロ) 201、211、213
 菅原 万里子 (スガワラ マリコ) 181
 杉浦 章介 (スギウラ ショウスケ) 26
 杉浦 晋 (スギウラ ススム) 80
 杉浦 敦 (スギタ アツシ) 4
 杉野 元子 (スギノ モトコ) 146
 杉原 賢彦 (スギハラ カツヒコ) 74
 杉村 浩哉 (スギムラ ヒロヤ) 72
 杉本 智俊 (スギモト トモトシ) 146
 杉本 憲彦 (スギモト ノリヒコ) 77
 杉山 伸也 (スギヤマ シンヤ) 159
 鈴木 晃仁 (スズキ アキヒト) 20、21、95、109
 鈴木 恵美子 (スズキ エミコ) 55
 鈴木 孝治 (スズキ コウジ) 230、254
 鈴木 左斗志 (スズキ サトシ) 179、182
 鈴木 順二 (スズキ ジュンジ) 124
 鈴木 岳之 (スズキ タケシ) 263
 鈴木 忠 (スズキ アツシ) 216、217、222、299
 鈴木 達夫 (スズキ タツオ) 150
 鈴木 千佳子 (スズキ チカコ) 185
 鈴木 恒男 (スズキ ツネオ) 32、33
 鈴木 透 (スズキ トオル) 26、51、89
 鈴木 秀男 (スズキ ヒデオ) 228
 鈴木 正彦 (スズキ マサヒコ) 196、199
 鈴木 由紀 (スズキ ユキ) 215
 須田 伸一 (スダ シンイチ) 160
 栖原 学 (スハラ マナブ) 14
 鷺見 全弘 (スミ マサヒロ) 284
 諏訪 俊男 (スワ トシオ) 263
 せ 瀬川 清 (セガワ キヨシ) 210、212
 関 喜房 (セキ ヨシフサ) 304
 関根 謙 (セキネ ケン) 146
 関場 武 (セキバ タケシ) 74
 瀬古 美喜 (セコ ミキ) 159
 芹沢 一也 (セリザワ カズヤ) 18
 千田 憲孝 (センダ ノリタカ) 221
 そ 五月 女仁子 (ソウトメ ヒロコ) 210、212
 曾我 重司 (ソガ シゲジ) 30
 園田 智昭 (ソノダ トモアキ) 207
 園田 よし子 (ソノダ ヨシコ) 265
 た 高井 啓介 (タカイ ケイスケ) 305
 高木 久夫 (タカギ ヒサオ) 23、24
 高久 隆太 (タカク リュウタ) 166、212
 高乘 和巳 (タカクワ カズミ) 17、134、138、299
 高田 京子 (タカダ キョウコ) 204、207
 高野 宏 (タカノ ヒロシ) 220、252、258
 鷹野 宏行 (タカノ ヒロユキ) 204、207
 高橋 郁夫 (タカハシ イクオ) 208
 高橋 勇 (タカハシ イサム) 146
 高橋 邦弘 (タカハシ クニヒロ) 234、235
 高橋 幸吉 (タカハシ コウキチ) 125
 高橋 信一 (タカハシ シンイチ) 224、249
 高橋 伸夫 (タカハシ ノブオ) 193
 高橋 宣也 (タカハシ ノブヤ) 81
 高橋 正樹 (タカハシ マサキ) 222、252
 田上 竜也 (タガミ タツヤ) 125
 高宮 利行 (タカミヤ トシユキ) 142
 高山 博 (タカヤマ ヒロシ) 34、104、105、142
 高山 緑 (タカヤマ ミドリ) 34、260
 瀧本 佳容子 (タキモト カヨコ) 125
 竹内 勤 (タケウチ ツトム) 46
 竹内 美佳子 (タケウチ ミカコ) 69、80、131
 武田 朗子 (タケダ アキコ) 227
 竹之内 一幸 (タケノウチ カズユキ) 186
 竹鼻 真 (タケハナ マコト) 264、266
 竹村 研治郎 (タケムラ ケンジロウ) 230
 竹村 りょうこ (タケムラ リョウコ) 276
 竹森 俊平 (タケモリ シュンペイ) 151、261
 武山 政直 (タケヤマ マサナオ) 163
 田代 真 (タシロ マコト) 69
 只野 金一 (タダノ キンイチ) 256
 立谷 洋平 (タチヤ ヨウヘイ) 150
 田所 昌幸 (タドコロ マサユキ) 191、199
 田中 孝明 (タナカ タカアキ) 150、229、243
 田中 辰雄 (タナカ タツオ) 164
 田中 敏幸 (タナカ トシユキ) 252
 田中 真人 (タナカ マサト) 252
 田中 正隆 (タナカ マサタカ) 188
 田中 由美子 (タナカ ユミコ) 280
 田辺 秋守 (タナベ シュウジ) 17
 谷 温之 (タニ アツシ) 225
 谷 寿美 (タニ スミ) 144
 谷口 和弘 (タニグチ カズヒロ) 203、204、213
 谷下 一夫 (タニシタ カズオ) 248
 種村 和史 (タネムラ カズフミ) 61、89、126
 田上 雅徳 (タノウエ マサナル) 193、196
 玉田 康成 (タマダ ヤスナリ) 160
 田村 明久 (タムラ アキヒサ) 138、219、237、239
 田村 次朗 (タムラ ジロウ) 185
 田村 高幸 (タムラ タカユキ) 211、212
 田村 要造 (タムラ ヨウゾウ) 219
 樽井 正義 (タルイ マサヨシ) 218、289
 丹野 貴行 (タンノ タカユキ) 142
 ち 崔 在東 (チュ ゼドン) 109、159
 千田 大介 (チダ ダイスケ) 11、48
 中条 潮 (チュウジョウ ウシオ) 130
 つ 塚原 康博 (ツカハラ ヤスヒロ) 188
 柘植 尚則 (ツゲ ヒサノリ) 90
 辻 幸夫 (ツジ ユキオ) 16、118、119
 辻岡 三南子 (ツジオカ ミナコ) 272、290
 津田 正太郎 (ツダ ショウタロウ) 193、199
 津田 裕之 (ツダ ヒロユキ) 244、245

- 津田 眞弓 (ツダ マユミ) 20、81、109、298
 蔦木 能雄 (ツタキ ノリオ) 109、161
 土田 龍太郎 (ツチダ リウタロウ) 303
 土屋 博政 (ツチヤ ヒロマサ) 110
 堤林 剣 (ツツミバヤシ ケン) 189
 常山 菜穂子 (ツネヤマ ナホコ) 26、50
 坪田 幸政 (ツボタ ユキマサ) 60
 津曲 正俊 (ツマガリ マサトシ) 160
 津谷 典子 (ツヤ ノリコ) 110
 敦賀 公子 (ツルガ キミコ) 90
- て 手島 智佳子 (テシマ チカコ) 275、276
 手島 玲子 (テシマ レイコ) 14
 鉄野 昌弘 (テツノ マサヒロ) 81、82
 寺岡 文男 (テラオカ フミオ) 253
 寺坂 宏一 (テラサカ コウイチ) 225
 寺沢 和洋 (テラサワ カズヒロ) 216
 寺澤 行忠 (テラサワ ユキタダ) 82
- と 土居 洋平 (ドイ ヨウヘイ) 22
 遠山 朋子 (トオヤマ トモコ) 172
 徳岡 直静 (トクオカ ナオチカ) 233
 徳永 聡子 (トクナガ サトコ) 298
 徳村 光昭 (トクムラ ミツアキ) 290
 戸瀬 信之 (トセ ノブユキ) 150、162、166
 戸部 良一 (トベ リョウイチ) 193
 富田 章 (トミタ アキラ) 72
 富田 広士 (トミタ ヒロシ) 190、199
 富田 豊 (トミタ ユタカ) 235、241、256
- な 内藤 正人 (ナイトウ マサト) 72、144
 内藤 恵 (ナイトウ メグミ) 185
 長井 孝紀 (ナガイ タカトシ) 216~218、222
 長岡 修平 (ナガオカ シュウヘイ) 228
 長沖 暁子 (ナガオキ サトコ) 11、20、21、25、44、110
 中川 純男 (ナカガワ スミオ) 143
 中川 正雄 (ナカガワ マサオ) 237
 長坂 雄次 (ナガサカ ユウジ) 248
 中澤 和夫 (ナカザワ カズオ) 252
 中澤 英夫 (ナカザワ ヒデオ) 217
 長澤 英俊 (ナガサワ ヒデオ) 66
 中嶋 敦 (ナカジマ アツシ) 221、228
 中島 恵美 (ナカジマ エミ) 263
 仲田 均 (ナカダ ヒトシ) 219
 中田 雅也 (ナカタ マサヤ) 221
 中西 はるみ (ナカニシ ハルミ) 155、222
 中野 誠彦 (ナカノ ノブヒコ) 253
 中野 文平 (ナカノ ブンペイ) 168、169
 中野 泰志 (ナカノ ヤスシ) 30、31、111
 永見 尊 (ナガミ タカシ) 204、207
 中村 公則 (ナカムラ キミノリ) 95
 中村 慎助 (ナカムラ シンスケ) 160
 中村 真理子 (ナカムラ マリコ) 260
 中山 和久 (ナカヤマ カズヒサ) 22
 中山 幹夫 (ナカヤマ ミキオ) 162
 名古屋 創 (ナゴヤ ハジメ) 150
 ナコルチェフスキー、アンドロイ (ナコルチェフスキー、アンドロイ) 82
 夏井 利恵 (ナツイ リエ) 150
 奈良 雅俊 (ナラ マサトシ) 90
 成田 和信 (ナリタ カズノブ) 90、91、126
 南里 清一郎 (ナンリ セイイチロウ) 290
- に 新島 進 (ニイジマ ススム) 111
 西 宏章 (ニシ ヒロアキ) 252
 西尾 修 (ニシオ オサム) 82
 西岡 久美子 (ニシオカ クミコ) 150、151、162
 西川 賢 (ニシカワ マサル) 196
 西川 正二 (ニシカワ ショウジ) 126
 西川 純雄 (ニシカワ スミオ) 44
 西川 尚生 (ニシカワ ヒサオ) 144
 西川 僚介 (ニシカワ リョウスケ) 126
 西澤 直子 (ニシザワ ナオコ) 289
 西野 純也 (ニシノ ジュンヤ) 37、191、197、199
 西村 忍 (ニシムラ シノブ) 274、281
 西村 多美子 (ニシムラ タミコ) 14
 西村 由貴 (ニシムラ ユキ) 290
 西山 繁 (ニシヤマ シゲル) 222
 西山 千恵子 (ニシヤマ チエコ) 25
 新田 宗土 (ニッタ ムネト) 77、131
 二瓶 栄輔 (ニヘイ エイスケ) 138
- ね の 鼠屋 将志 (ネズミヤ マサシ) 172
 納富 信留 (ノウトミ ノブル) 66、67
 野口 和行 (ノグチ カズユキ) 272、274、278、283、287
 野口 裕久 (ノグチ ヒロヒサ) 256
 野寺 隆 (ノデラ タカシ) 231
 野々村 芳和 (ノノムラ ヨシカズ) 275
 延近 充 (ノブチカ ミツル) 164
 野村 伸一 (ノムラ シンイチ) 143、304
- は 萩原 滋 (ハギワラ シゲル) 23
 萩原 眞一 (ハギワラ シンイチ) 139
 萩原 将文 (ハギワラ マサフミ) 222
 萩原 能久 (ハギワラ ヨシヒサ) 189
 橋本 順一 (ハシモト ジュンイチ) 126
 長谷 公隆 (ハセ キミタカ) 218
 長谷川 淳一 (ハセガワ ジュンイチ) 46、159
 長谷川 由利子 (ハセガワ ユリコ) 45、120
 長谷部 史彦 (ハセベ フミヒコ) 145
 羽田 功 (ハダ イサオ) 89、112
 畑山 明聖 (ハタヤマ アキヨシ) 227、247
 羽鳥 賢一 (ハトリ ケンイチ) 306
 花房 博文 (ハナフサ ヒロフミ) 176
 英 知明 (ハナブサ チアキ) 132
 馬場 章 (ババ アキラ) 96
 浜 日出夫 (ハマ ヒデオ) 148
 濱岡 豊 (ハマオカ ユタカ) 208
 浜田 望 (ハマダ ノゾム) 227、228
 濱名 邦雄 (ハマナ クニオ) 275
 林 栄美子 (ハヤシ エミコ) 74、112
 林 温 (ハヤシ オン) 73
 林田 愛 (ハヤシダ アイ) 112
 早見 均 (ハヤミ ヒトシ) 201、213
 原 学 (ハラ マナブ) 269
 原田 隆史 (ハラダ タカシ) 148、183
 針谷 寛 (ハリガヤ ヒロシ) 13
 坂内 健一 (バンナイ ケンイチ) 219、224
 ハンリー、マシュー M. (ハンリー、マシュー M.) 127
- ひ 東 利則 (ヒガシ トシノリ) 264~266
 光 道隆 (ヒカリ ミチタカ) 150、151
 樋口 一貴 (ヒグチ カズタカ) 73
 樋口 美雄 (ヒグチ ヨシオ) 208、214
 日野原 健司 (ヒノハラ ケンジ) 73
 日向 裕幸 (ヒユウガ ヒロユキ) 220
 兵藤 充利 (ヒヨウドウ ミツトシ) 263
 平井 克英 (ヒライ カツヒデ) 277
 平井 俊行 (ヒライ トシユキ) 163
 平島 碩 (ヒラシマ ヒロシ) 221
 平田 光司 (ヒラタ コウジ) 259
 平野 隆 (ヒラノ タカシ) 202、213、289
 平野 裕之 (ヒラノ ヒロユキ) 176
 平野 公晟 (ヒラノ マサアキ) 263

- 平林 正司 (ヒラバヤシ マサジ) 96
 平林 義彰 (ヒラバヤシ ヨシアキ) 135、139
 広沢 麻美 (ヒロサワ アサミ) 6
 広瀬 大介 (ヒロセ ダイスケ) 7
 広瀬 信義 (ヒロセ ノブヨシ) 218
 広瀬 寛 (ヒロセ ヒロシ) 290
 広田すみれ (ヒロタ スミレ) 170
ふ フィリップ・オステン (フィリップ・オステン) 185
 フォーグル, ヴァルター (フォーグル, ヴァルター) 127
 深潟 康二 (フカガタ コウジ) 257
 深澤はるか (フカザワ ハルカ) 127
 深谷太香子 (フカヤ タカコ) 131、201、211、213
 福澤 利彦 (フクザワ トシヒコ) 45、121
 福島 紀子 (フクシマ ノリコ) 263
 福田 浩章 (フクダ ヒロアキ) 142
 福田 史夫 (フクダ フミオ) 69
 福田礼次郎 (フクダ レイジロウ) 220、227、258
 福中 冬子 (フクナカ フユコ) 7
 藤井 孝一 (フジイ コウイチ) 8
 藤川 千歳 (フジカワ チトセ) 22
 藤崎 康 (フジサキ コウ) 74
 藤澤 啓子 (フジサワ ケイコ) 12
 藤田 祥子 (フジタ サチコ) 87、88
 藤田 苑子 (フジタ ソノコ) 145
 藤田 眞幸 (フジタ マサユキ) 46
 藤田 康範 (フジタ ヤスノリ) 112、151
 藤谷 洋平 (フジタニ ヨウヘイ) 247
 藤平 信一 (フジヒラ シンイチ) 280
 伏見 岳志 (フシミ タケシ) 56、90、97、128、209、214
 藤村 光 (フジムラ ヒカル) 295
 藤原 茂樹 (フジワラ シゲキ) 146
 藤原 忍 (フジワラ シノブ) 251
 藤原淳一郎 (フジワラ ジュンイチロウ) 185
 舟橋 啓 (フナバシ ケイ) 249
 古田 和子 (フルタ カズコ) 159
 古野 泰二 (フルノ タイジ) 215、216
 不破 有理 (フワ ユリ) 113
ほ 星 浩司 (ホシ コウジ) 15
 星 元紀 (ホシ モトノリ) 230
 星野 嶽男 (ホシノ タケオ) 67
 星野 晴彦 (ホシノ ハルヒコ) 218
 星野 昌裕 (ホシノ マサヒロ) 38、197、200
 細川 達己 (ホソカワ タツミ) 158
 細田 壮一 (ホソダ ソウイチ) 285
 細谷 雄一 (ホソヤ ユウイチ) 193
 法橋 量 (ホツキョウ ハカル) 85
 堀田 篤 (ホッタ アツシ) 225
 堀江 聡 (ホリエ サトシ) 143
 堀越比呂志 (ホリコシ ヒロシ) 206、213
 ポンシー, ライト (ポンシー, ライト) 304
 本田 郁二 (ホンダ イクジ) 250
 本田 耕一 (ホンダ コウイチ) 88、203、213
 本多 敏 (ホンダ サトシ) 233、251、255
 本谷 裕子 (ホンヤ ユウコ) 56、185
ま 真家 和生 (マイエ カズオ) 34
 前川 千春 (マエカワ チハル) 207
 前島 信 (マエジマ マコト) 219、220
 前田 淳 (マエダ ジュン) 203、213
 前田 吉昭 (マエダ ヨシアキ) 219、242
 真壁 利明 (マカベ トシアキ) 226
 牧 厚志 (マキ アツシ) 201、212
 増野 匡彦 (マシノ タダヒコ) 263
 増田早哉子 (マスタ サヤコ) 31
 増田 直衛 (マスタ ナオエ) 29、34
 増田 靖 (マスタ ヤスシ) 229、237
 増山 幹高 (マシヤマ ミキタカ) 190、194
 松浦 寿幸 (マツウラ ヒサユキ) 201、212
 松浦 良充 (マツウラ ヨシミツ) 11、149
 松尾垂紀子 (マツオ アキコ) 257
 松尾 弘 (マツオ ヒロシ) 203、213
 松岡 勝男 (マツオカ カツオ) 170
 松方 冬子 (マツカタ フユコ) 97、98
 松田 隆美 (マツダ タカミ) 146
 松田 雅之 (マツダ マサユキ) 277、282、283
 松永 賢次 (マツナガ ケンジ) 172
 松原 彰子 (マツバラ アキコ) 62、113、163
 松村 友視 (マツムラ トモミ) 146
 松村 宏 (マツムラ ヒロシ) 13、85、86、130
 松本健太郎 (マツモト ケンタロウ) 276
 松本 智 (マツモト サトル) 224
 松本 典久 (マツモト フミヒサ) 98
 松元 雅和 (マツモト マサカズ) 197、200
 松本 緑 (マツモト ミドリ) 222、228、240、261
 松本 佳宣 (マツモト ヨシノリ) 227、233
 松森奈津子 (マツモリ ナツコ) 56
 松山 保幸 (マツヤマ ヤスユキ) 283
 的場 正憲 (マトバ マサノリ) 247
 眞中 裕子 (マナカ ヒロコ) 201、213
 丸 誠一郎 (マル セイイチロウ) 285
 丸田千花子 (マルタ チカコ) 55
 丸山 徹 (マルヤマ トオル) 160
 丸山 文綱 (マルヤマ フミツナ) 11、142、143、156、157
み 美浦 隆 (ミウラ タカシ) 221
 三浦 直子 (ミウラ ナオコ) 23
 三上 直光 (ミカミ ナオミツ) 304、305
 三木 則尚 (ミキ ノリヒサ) 135、230
 三澤日出巳 (ミサワ ヒデミ) 263
 三島 憲之 (ミシマ ノリユキ) 162
 水嶋 一雄 (ミズシマ カズオ) 63
 水谷 賢史 (ミズタニ ケンジ) 240
 溝部 良恵 (ミゾベ ヨシエ) 113
 三田 彰 (ミタ アキラ) 236
 三谷 淳 (ミタニ ジュン) 179
 道上 知弘 (ミチウエ トモヒロ) 69
 三井 隆久 (ミツイ タカヒサ) 215、216
 三井 宏隆 (ミツイ ヒロタカ) 149
 光武亜代理 (ミツタケ アヨリ) 251
 水戸 克典 (ミト カツノリ) 69
 南 就将 (ミナミ ナリユキ) 215
 南谷 晴之 (ミナミタニ ハルユキ) 244、245
 三根 慎二 (ミネ シンジ) 142
 峯島 宏次 (ミネシマ コウジ) 100
 岑村 傑 (ミネムラ スグル) 147、148
 三船 毅 (ミフネ ツヨシ) 172
 宮内 環 (ミヤウチ タマキ) 159
 宮川 尚理 (ミヤカワ ショウリ) 49
 宮崎 琢也 (ミヤザキ タクヤ) 219、243、250
 宮崎 直哉 (ミヤザキ ナオヤ) 150、165
 宮下 照夫 (ミヤシタ テルオ) 246
 宮下理恵子 (ミヤシタ リエコ) 53、54
 宮島 英紀 (ミヤジマ ヒデキ) 247
 宮田 昌悟 (ミヤタ ショウゴ) 222
 宮本 憲二 (ミヤモト ケンジ) 240
む 向井 久了 (ムカイ ナガノリ) 186
 向井万起男 (ムカイ マキオ) 46
 武川 幸嗣 (ムカワ コウジ) 177、182、185、186
 武藤 功 (ムトウ イサオ) 13、14
 武藤 浩史 (ムトウ ヒロシ) 52、83、298、299

- 村上 俊之 (ムラカミ トシユキ) 246、247
 村松 憲 (ムラマツ タダシ) 272、274、276
 村松 太郎 (ムラマツ タロウ) 218
 村山 光義 (ムラヤマ ミツヨシ) 272、274、278、279、283、284
- め 明田ゆかり (メイダ ユカリ) 46
- も 孟 若燕 (モウ ジャクエン) 61、128、209、214
 望月 要 (モチヅキ カナメ) 29、30
 森 久和 (モリ ヒサカズ) 264、265
 森 英樹 (モリ ヒデキ) 83、262
 森 正明 (モリ マサアキ) 272、290
 森 康彦 (モリ ヤスヒコ) 248
 森木 隆典 (モリキ タカノリ) 290
 森田 寿郎 (モリタ トシオ) 230、239
 森田 裕子 (モリタ ユウコ) 264、265
 森山 剛 (モリヤマ ツヨシ) 142
 森吉 直子 (モリヨシ ナオコ) 128
 森吉 仁志 (モリヨシ ヒトシ) 219
 両角 政彦 (モロゾミ マサヒコ) 63
- や 矢向 高弘 (ヤコウ タカヒロ) 237、252
 矢澤 達宏 (ヤザワ タツヒロ) 55
 八嶋由香利 (ヤシマ ユカリ) 47、90
 安井 伸 (ヤスイ シン) 90、128
 泰岡 顕治 (ヤスオカ ケンジ) 220、230、232
 安田 公美 (ヤスタ クミ) 121、201、210、211、213、214
 安田 淳 (ヤスタ ジュン) 57
 安富 潔 (ヤストミ キヨシ) 185
 安元 稔 (ヤスモト ミノル) 159
 谷田部雅嗣 (ヤタベ マサツグ) 10
 屋名池 誠 (ヤナイケ マコト) 146
 柳川 弘志 (ヤナガワ ヒロシ) 45、253
 柳沢 遊 (ヤナギサワ アソブ) 113、159、164
 柳田 利夫 (ヤナギダ トシオ) 19
 柳瀬 昇 (ヤナセ ノボル) 38
 矢野 久 (ヤノ ヒサシ) 46、159
 藪下 聡 (ヤブシタ サトシ) 221、241、257
 藪野 浩司 (ヤブノ コウジ) 220
 山内 賢 (ヤマウチ ケン) 274、278、279、281
 山内 憲一 (ヤマウチ ケンイチ) 168、169
 山内 志朗 (ヤマウチ シロウ) 91、144
 山岸 敬幸 (ヤマギシ ヒロユキ) 218
 山口 昭彦 (ヤマグチ アキヒコ) 98
 山口 高平 (ヤマグチ タカヒラ) 224
 山口 祥司 (ヤマグチ ヨシカズ) 150
 山口 徹 (ヤマグチ トオル) 146
 山崎 達也 (ヤマザキ タツヤ) 67
 山崎 信寿 (ヤマザキ ノブトシ) 135
 山崎 信行 (ヤマザキ ノブユキ) 231、253
 山下 輝彦 (ヤマシタ テルヒコ) 146
 山下 久直 (ヤマシタ ヒサナオ) 245
 山下 真史 (ヤマシタ マサフミ) 84
 山田 篤裕 (ヤマダ アツヒロ) 114
 山田 太門 (ヤマダ タモン) 160
 山田 徹 (ヤマダ トオル) 221、249、256
 山田 恒 (ヤマダ ヒサシ) 57、58
 山田美枝子 (ヤマダ ミエコ) 88、279
 山地 秀美 (ヤマチ ヒデミ) 155
 山手 正史 (ヤマテ マサシ) 185
 山中 直明 (ヤマナカ ナオアキ) 231
 山梨 あや (ヤマナシ アヤ) 149
 山本 昭代 (ヤマモト アキヨ) 90
 山本 勲 (ヤマモト イサム) 209、214
 山本 賀代 (ヤマモト カヨ) 69、114
 山元 公寿 (ヤマモト キミヒサ) 221、236、250
- 山本 純一 (ヤマモト ジュンイチ) 90
 山本 剛史 (ヤマモト タカシ) 91
 山本 信人 (ヤマモト ノブト) 192
 山本 喜一 (ヤマモト ヨシカズ) 222
 ヤマンラール、アイドゥン (ヤマンラール、アイドゥン) 304
- ゆ 柚木 克之 (ユギ カツユキ) 222、235、249
 弓削 隆一 (ユゲ リュウイチ) 100
 尹 仁河 (ユン インハ) 88、89、183、185、187
- よ 横井 康平 (ヨコイ コウヘイ) 226
 横尾 剛 (ヨコオ ツヨシ) 68
 横田 絵理 (ヨコタ エリ) 209、214
 横田恵理子 (ヨコタ エリコ) 265
 横森 剛 (ヨコモリ タケシ) 222
 横山 千晶 (ヨコヤマ チアキ) 52、298、299
 横山 裕一 (ヨコヤマ ヒロカズ) 290
 横山和加子 (ヨコヤマ ワカコ) 90、129
 吉岡 完治 (ヨシオカ カンジ) 201、213
 吉岡 忠昭 (ヨシオカ タダアキ) 14
 吉岡 直樹 (ヨシオカ ナオキ) 221、225
 吉岡 祐次 (ヨシオカ ユウジ) 187
 吉田 栄介 (ヨシダ エイスケ) 209、210、214
 吉田 和夫 (ヨシダ カズオ) 256
 吉田 量彦 (ヨシダ カズヒコ) 92
 吉田 恭子 (ヨシダ キョウコ) 298
 吉田 武 (ヨシダ タケシ) 277
 吉田建一郎 (ヨシダ タテイチロウ) 99
 吉田 友子 (ヨシダ トモコ) 129
 吉田 久男 (ヨシダ ヒサオ) 287
 吉田 泰将 (ヨシダ ヤスマサ) 272、280、299
 吉永 壮介 (ヨシナガ ソウスケ) 146
 吉村 典久 (ヨシムラ ノリヒサ) 185
 米山 光儀 (メネヤマ ミツノリ) 289
 頼松 瑞生 (ヨリマツ タマオ) 89
- り 李 精 (リ セイ) 166、212
 林 秀光 (リン シュウコウ) 56、57
- れ レイサイド・ジュームズ M (レイサイド・ジュームズ M) 84、117、118
- ろ 六車 明 (ロクシャ アキラ) 185
- わ 和井内由充子 (ワイナイ ユミコ) 272、290
 和田 俊憲 (ワダ トシノリ) 179
 和田 寛伸 (ワダ ヒロノブ) 39、197、200
 綿田 博人 (ワタダ ヒロヒト) 279、282
 渡部 直樹 (ワタナベ ナオキ) 206
 渡辺 秀樹 (ワタナベ ヒデキ) 74
 渡部 和孝 (ワタナベ ワコウ) 201、213
 渡部 睦夫 (ワタベ ムツオ) 121、201、211、213、214